2025年度
理工・生命科学部教養科目
講義概要（シラバス）

法政大学

科目一覧［発行日：2025/5/1］最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス（https://syllabus.hosei.ac.jp/）で確認してください。

凡例　その他属性

〈他〉：他学部公開科目
〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目
〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs
〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ
〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル
〈グ〉：グローバル・オープン科目
〈実〉：実務経験のある教員による授業科目
〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室

英語科目【H3001】コミュニケーション・ストラテジー［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 1
英語科目【H3002】コミュニケーション・ストラテジー［太田　美智子］春学期授業/Spring 3
英語科目【H3003】コミュニケーション・ストラテジー［FRITZ Erik］春学期授業/Spring 4
英語科目【H3005】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 6
英語科目【H3006】コミュニケーション・ストラテジー［NEIL CONWAY］春学期授業/Spring 8
英語科目【H3007】コミュニケーション・ストラテジー［早舩　由紀見］秋学期授業/Fall 10
英語科目【H3010】コミュニケーション・ストラテジー［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 11
英語科目【H3011】コミュニケーション・ストラテジー［磯部　芳恵］春学期授業/Spring 12
英語科目【H3012】コミュニケーション・ストラテジー［磯部　芳恵］秋学期授業/Fall 13
英語科目【H3014】コミュニケーション・ストラテジー［ALDER mark］春学期授業/Spring 14
英語科目【H3016】コミュニケーション・ストラテジー［ALDER mark］秋学期授業/Fall 15
英語科目【H3017】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］秋学期授業/Fall 16
英語科目【H3018】コミュニケーション・ストラテジー［太田　美智子］秋学期授業/Fall 18
英語科目【H3020】コミュニケーション・ストラテジー［NEIL CONWAY］秋学期授業/Fall 19
英語科目【H3022】コミュニケーション・ストラテジー［平賀　史子］春学期授業/Spring 21
英語科目【H3023】コミュニケーション・ストラテジー［KOPROWSKI MARK］春学期授業/Spring 23
英語科目【H3024】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 25
英語科目【H3026】コミュニケーション・ストラテジー［早舩　由紀見］春学期授業/Spring 26
英語科目【H3027】コミュニケーション・ストラテジー［早舩　由紀見］秋学期授業/Fall 27
英語科目【H3028】コミュニケーション・ストラテジー［染谷　昌弘］秋学期授業/Fall 28
英語科目【H3029】コミュニケーション・ストラテジー［染谷　昌弘］春学期授業/Spring 30
英語科目【H3030】コミュニケーション・ストラテジー［庭山　雄吉］春学期授業/Spring 31
英語科目【H3031】コミュニケーション・ストラテジー［庭山　雄吉］秋学期授業/Fall 32
英語科目【H3032】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］秋学期授業/Fall 33
英語科目【H3033】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］春学期授業/Spring 34
英語科目【H3035】コミュニケーション・ストラテジー［KOPROWSKI MARK］秋学期授業/Fall 35
英語科目【H3036】コミュニケーション・ストラテジー［鈴木　幸］秋学期授業/Fall 37
英語科目【H3037】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］秋学期授業/Fall 38
英語科目【H3039】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［花﨑　一夫］春学期授業/Spring 39
英語科目【H3040】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［柏原　俊樹］春学期授業/Spring 40
英語科目【H3043】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［渡邊　晶子］春学期授業/Spring 41
英語科目【H3045】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 42
英語科目【H3046】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［花﨑　一夫］春学期授業/Spring 43
英語科目【H3047】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［柏原　俊樹］春学期授業/Spring 44
英語科目【H3048】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［小畑　美貴］春学期授業/Spring 45
英語科目【H3050】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［今政　肇］春学期授業/Spring 46
英語科目【H3051】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［島田　顕］春学期授業/Spring 48
英語科目【H3052】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［小林　直樹］春学期授業/Spring 50
英語科目【H3053】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［中野　里美］春学期授業/Spring 51
英語科目【H3054】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［FRITZ Erik］春学期授業/Spring 52
英語科目【H3056】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［島田　顕］春学期授業/Spring 53
英語科目【H3057】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［小畑　美貴］春学期授業/Spring 55
英語科目【H3058】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［小屋　多恵子］春学期授業/Spring 56
英語科目【H3059】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［平賀　史子］春学期授業/Spring 57

英語科目【H3060】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［藤井　哲郎］春学期授業/Spring 58
英語科目【H3062】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［花﨑　一夫］秋学期授業/Fall 60
英語科目【H3063】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［柏原　俊樹］秋学期授業/Fall 61
英語科目【H3066】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［渡邊　晶子］秋学期授業/Fall 62
英語科目【H3068】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［HUGO L DRAINVILLE］秋学期授業/Fall 63
英語科目【H3069】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［花﨑　一夫］秋学期授業/Fall 64
英語科目【H3070】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［柏原　俊樹］秋学期授業/Fall 65
英語科目【H3071】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［小畑　美貴］秋学期授業/Fall 66
英語科目【H3073】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［今政　肇］秋学期授業/Fall 67
英語科目【H3074】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［島田　顕］秋学期授業/Fall 69
英語科目【H3075】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［小林　直樹］秋学期授業/Fall 71
英語科目【H3076】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［中野　里美］秋学期授業/Fall 72
英語科目【H3077】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［FRITZ Erik］秋学期授業/Fall 73
英語科目【H3079】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［島田　顕］秋学期授業/Fall 74
英語科目【H3080】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［小畑　美貴］秋学期授業/Fall 76
英語科目【H3081】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［小屋　多恵子］秋学期授業/Fall 77
英語科目【H3082】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［平賀　史子］秋学期授業/Fall 78
英語科目【H3083】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［藤井　哲郎］秋学期授業/Fall 79
人文・社会・自然科学系【H3085】哲学入門［沖本　龍哉］秋学期授業/Fall 81
人文・社会・自然科学系【H3086】哲学入門［沖本　龍哉］春学期授業/Spring 82
人文・社会・自然科学系【H3087】哲学入門［美頭　千不美］春学期授業/Spring 83
人文・社会・自然科学系【H3088】言語学概論［小屋　多恵子］春学期授業/Spring 85
人文・社会・自然科学系【H3089】言語学概論［梨本　邦直］秋学期授業/Fall 86
人文・社会・自然科学系【H3090】日本文化論［横山　泰子］春学期授業/Spring 87
人文・社会・自然科学系【H3091】日本文化論［横山　泰子］春学期授業/Spring 88
人文・社会・自然科学系【H3092】アジア文化論［呉　暁林］秋学期授業/Fall 89
人文・社会・自然科学系【H3093】ヨーロッパ・アメリカ文化論［庭山　雄吉］春学期授業/Spring 90
人文・社会・自然科学系【H3094】アフリカ文化論［福島　亮］春学期授業/Spring 91
人文・社会・自然科学系【H3095】比較文化論［横山　泰子］秋学期授業/Fall 92
人文・社会・自然科学系【H3096】比較文化論［横山　泰子］秋学期授業/Fall 93
人文・社会・自然科学系【H3097】映像芸術［山口　雅敏］春学期授業/Spring 94
人文・社会・自然科学系【H3098】映像芸術［山口　雅敏］秋学期授業/Fall 95
人文・社会・自然科学系【H3099】音楽芸術［竹内　誠］秋学期授業/Fall 96
人文・社会・自然科学系【H3100】音楽芸術［竹内　誠］春学期授業/Spring 98
人文・社会・自然科学系【H3101】こころの働き［山本　晃輔］秋学期授業/Fall 100
人文・社会・自然科学系【H3102】パーソナリティ［伊藤　ひろみ］春学期授業/Spring 101
人文・社会・自然科学系【H3103】知的所有権［武生　昌士、安田　和史］秋学期授業/Fall 102
人文・社会・自然科学系【H3104】知的所有権［武生　昌士、安田　和史］春学期授業/Spring 103
人文・社会・自然科学系【H3105】社会科学の方法論［ギユモ　セレスト］春学期授業/Spring 104
人文・社会・自然科学系【H3106】国際関係論［福島　亮］秋学期授業/Fall 105
人文・社会・自然科学系【H3107】基礎経済学［呉　暁林］春学期授業/Spring 106
人文・社会・自然科学系【H3108】応用経済学［王　娜］春学期授業/Spring 107
人文・社会・自然科学系【H3109】企業マネージメント［坂　裕和］春学期授業/Spring 109
人文・社会・自然科学系【H3110】現代政治学　［宗像　俊輔］秋学期授業/Fall 110
人文・社会・自然科学系【H3111】キャリアデザイン［斎藤　真一郎］秋学期授業/Fall 112
人文・社会・自然科学系【H3112】法学（日本国憲法）［浅野　毅彦］春学期授業/Spring 115
人文・社会・自然科学系【H3113】法学（日本国憲法）［浅野　毅彦］春学期授業/Spring 116
人文・社会・自然科学系【H3114】法と社会［浅野　毅彦］秋学期授業/Fall 117
人文・社会・自然科学系【H3115】法と社会［浅野　毅彦］秋学期授業/Fall 119
人文・社会・自然科学系【H3116】科学技術史［馬場　敏幸］春学期授業/Spring 121
人文・社会・自然科学系【H3117】科学技術史［馬場　敏幸］秋学期授業/Fall 122
人文・社会・自然科学系【H3119】先端技術・社会論［原　昌己］秋学期授業/Fall 123
人文・社会・自然科学系【H3120】先端技術・社会論［原　昌己］春学期授業/Spring 124
人文・社会・自然科学系【H3121】技術者倫理［詫間　直樹］秋学期授業/Fall 125
人文・社会・自然科学系【H3122】情報倫理［笹原　和織］秋学期授業/Fall 127
人文・社会・自然科学系【H3123】環境と資源［中嶋　吉弘］春学期授業/Spring 128
人文・社会・自然科学系【H3124】環境と資源［中嶋　吉弘］秋学期授業/Fall 130

人文・社会・自然科学系【H3125】環境と資源［片谷　教孝］春学期授業/Spring 132
人文・社会・自然科学系【H3126】宇宙と地球［石川　壮一］春学期授業/Spring 134
人文・社会・自然科学系【H3127】宇宙と地球［石川　壮一］秋学期授業/Fall 135
人文・社会・自然科学系【H3128】生命の起源と進化［田島　寛隆］秋学期授業/Fall 136
人文・社会・自然科学系【H3129】生命の起源と進化［石黒　亮］春学期授業/Spring 137
人文・社会・自然科学系【H3130】生命の起源と進化［田島　寛隆］春学期授業/Spring 138
人文・社会・自然科学系【H3131】生物の多様性［青木　誠志郎、柴尾　晴信］春学期授業/Spring 139
人文・社会・自然科学系【H3132】生物の多様性［柴尾　晴信］秋学期授業/Fall 141
人文・社会・自然科学系【H3133】生物の多様性［青木　誠志郎］春学期授業/Spring 143
人文・社会・自然科学系【H3134】物質科学と先端技術［尾池　秀章］春学期授業/Spring 144
選択語学系【H3175】英語中級コミュニケーション［長谷川　秀子］秋学期授業/Fall 145
選択語学系【H3176】英語中級コミュニケーション［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 147
選択語学系【H3178】英語中級コミュニケーション［KOPROWSKI MARK］秋学期授業/Fall 148
選択語学系【H3179】英語中級リーディング［長谷川　秀子］春学期授業/Spring 149
選択語学系【H3181】英語中級リーディング［柳川　浩三］秋学期授業/Fall 150
選択語学系【H3182】英語中級リーディング［梨本　邦直］春学期授業/Spring 151
選択語学系【H3186】ビジネス英語［小林　直樹］秋学期授業/Fall 152
選択語学系【H3189】基礎英語［小林　直樹］春学期授業/Spring 153
選択語学系【H3190】基礎英語［染谷　昌弘］春学期授業/Spring 154
選択語学系【H3191】基礎英語［島田　顕］秋学期授業/Fall 155
選択語学系【H3193】基礎英語［井上　敏郎］春学期授業/Spring 157
選択語学系【H3194】基礎英語［ギユモ　セレスト］秋学期授業/Fall 158
選択語学系【H3195】英語資格試験準備講座［島田　顕］春学期授業/Spring 159
選択語学系【H3196】英語資格試験準備講座［井上　敏郎］春学期授業/Spring 160
選択語学系【H3199】基礎ドイツ語Ⅰ［鈴木　淳子］春学期授業/Spring 161
選択語学系【H3200】基礎ドイツ語Ⅰ［高橋　完治］春学期授業/Spring 162
選択語学系【H3208】基礎フランス語Ⅰ［沖本　龍哉］春学期授業/Spring 163
選択語学系【H3209】基礎フランス語Ⅰ［沖本　龍哉］春学期授業/Spring 164
選択語学系【H3211】基礎フランス語ⅠⅠ［沖本　龍哉］秋学期授業/Fall 165
選択語学系【H3212】基礎フランス語ⅠⅠ［沖本　龍哉］秋学期授業/Fall 166
選択語学系【H3218】基礎スペイン語Ⅰ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 167
選択語学系【H3219】基礎スペイン語Ⅰ［渡辺　雅哉］春学期授業/Spring 168
選択語学系【H3220】基礎スペイン語ⅠⅠ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 169
選択語学系【H3221】基礎スペイン語ⅠⅠ［渡辺　雅哉］秋学期授業/Fall 170
選択語学系【H3231】基礎中国語ⅠⅠ［渡辺　浩司］秋学期授業/Fall 171
選択語学系【H3236】基礎朝鮮語Ⅰ［松本　ジュン］春学期授業/Spring 172
選択語学系【H3237】基礎朝鮮語Ⅰ［松本　ジュン］春学期授業/Spring 173
選択語学系【H3238】基礎朝鮮語ⅠⅠ［松本　ジュン］秋学期授業/Fall 174
選択語学系【H3239】基礎朝鮮語ⅠⅠ［松本　ジュン］秋学期授業/Fall 175
リテラシー系【H3244】文章作法［矢口　貢大］春学期授業/Spring 176
リテラシー系【H3245】情報リテラシーと表現技術［山岸　昌夫］春学期授業/Spring 177
リテラシー系【H3246】情報リテラシーと表現技術［岩城　敏］春学期授業/Spring 178
リテラシー系【H3247】情報リテラシーと表現技術［若林　哲］春学期授業/Spring 179
リテラシー系【H3249】情報リテラシーと表現技術［若林　哲］春学期授業/Spring 181
リテラシー系【H3250】情報リテラシーと表現技術［今枝　佑輔］春学期授業/Spring 183
リテラシー系【H3251】情報処理技法［東原　正智］秋学期授業/Fall 185
リテラシー系【H3252】情報処理技法［陸名　雄一］秋学期授業/Fall 186
リテラシー系【H3253】情報処理技法［三橋　秀生］秋学期授業/Fall 187
リテラシー系【H3254】情報処理技法［坂田　繁洋］秋学期授業/Fall 188
リテラシー系【H3255】情報処理技法［伊藤　賢太郎］秋学期授業/Fall 189
リテラシー系【H3256】情報リテラシーと表現技術［山岸　昌夫］春学期授業/Spring 190
理系教養科目（数学系）【H3258】線形代数学及び演習ⅠⅠ［杉山　健一］秋学期授業/Fall 191
理系教養科目（数学系）【H3263】線形代数学及び演習Ⅰ［礒島　伸］春学期授業/Spring 192
理系教養科目（数学系）【H3264】線形代数学及び演習Ⅰ［礒島　伸］春学期授業/Spring 193
理系教養科目（数学系）【H3265】線形代数学及び演習Ⅰ［伊藤　賢太郎］春学期授業/Spring 194
理系教養科目（数学系）【H3267】線形代数学及び演習Ⅰ［本多　恭子］春学期授業/Spring 195
理系教養科目（数学系）【H3268】線形代数学及び演習Ⅰ［本多　恭子］春学期授業/Spring 196

理系教養科目（数学系）【H3269】線形代数学及び演習ＩＩ［杉山　健一］秋学期授業/Fall 197
理系教養科目（数学系）【H3271】線形代数学及び演習ＩＩ［木村　真琴］秋学期授業/Fall 198
理系教養科目（数学系）【H3272】線形代数学及び演習ＩＩ［寺田　至］秋学期授業/Fall 199
理系教養科目（数学系）【H3273】線形代数学及び演習ＩＩ［木村　真琴］秋学期授業/Fall 200
理系教養科目（数学系）【H3274】線形代数学及び演習ＩＩ［三橋　秀生］秋学期授業/Fall 201
理系教養科目（数学系）【H3275】線形代数学及び演習ＩＩ［三橋　秀生］秋学期授業/Fall 202
理系教養科目（数学系）【H3276】線形代数学及び演習ＩＩ［礒島　伸］秋学期授業/Fall 203
理系教養科目（数学系）【H3277】線形代数学及び演習ＩＩ［礒島　伸］秋学期授業/Fall 204
理系教養科目（数学系）【H3278】線形代数学及び演習ＩＩ［伊藤　賢太郎］秋学期授業/Fall 205
理系教養科目（数学系）【H3280】線形代数学及び演習ＩＩ［本多　恭子］秋学期授業/Fall 206
理系教養科目（数学系）【H3281】線形代数学及び演習ＩＩ［本多　恭子］秋学期授業/Fall 207
理系教養科目（数学系）【H3290】微分積分学及び演習Ｉ［寺杣　友秀］春学期授業/Spring 208
理系教養科目（数学系）【H3291】微分積分学及び演習Ｉ［寺杣　友秀］春学期授業/Spring 209
理系教養科目（数学系）【H3292】微分積分学及び演習Ｉ［伊藤　賢太郎］春学期授業/Spring 210
理系教養科目（数学系）【H3293】微分積分学及び演習Ｉ［伊藤　賢太郎］春学期授業/Spring 211
理系教養科目（数学系）【H3294】微分積分学及び演習Ｉ［伊藤　賢太郎］春学期授業/Spring 212
理系教養科目（数学系）【H3296】微分積分学及び演習ＩＩ［渡邉　昇］秋学期授業/Fall 213
理系教養科目（数学系）【H3297】微分積分学及び演習ＩＩ［坂田　繁洋］秋学期授業/Fall 214
理系教養科目（数学系）【H3298】微分積分学及び演習ＩＩ［寺田　至］秋学期授業/Fall 215
理系教養科目（数学系）【H3299】微分積分学及び演習ＩＩ［坂田　繁洋］秋学期授業/Fall 216
理系教養科目（数学系）【H3300】微分積分学及び演習ＩＩ［坂田　繁洋］秋学期授業/Fall 217
理系教養科目（数学系）【H3301】微分積分学及び演習ＩＩ［陸名　雄一］秋学期授業/Fall 218
理系教養科目（数学系）【H3302】微分積分学及び演習ＩＩ［渡邉　昇］秋学期授業/Fall 219
理系教養科目（数学系）【H3303】微分積分学及び演習ＩＩ［髙澤　兼二郎］秋学期授業/Fall 220
理系教養科目（数学系）【H3304】微分積分学及び演習ＩＩ［髙澤　兼二郎］秋学期授業/Fall 221
理系教養科目（数学系）【H3305】微分積分学及び演習ＩＩ［伊藤　賢太郎］秋学期授業/Fall 222
理系教養科目（数学系）【H3306】微分積分学及び演習ＩＩ［伊藤　賢太郎］秋学期授業/Fall 223
理系教養科目（数学系）【H3307】微分積分学及び演習ＩＩ［伊藤　賢太郎］秋学期授業/Fall 224
理系教養科目（理科系）【H3308】物理学基礎Ｉ［早坂　太志］春学期授業/Spring 225
理系教養科目（理科系）【H3309】物理学基礎Ｉ［早坂　太志］春学期授業/Spring 226
理系教養科目（理科系）【H3310】物理学基礎Ｉ［小鍋　哲］春学期授業/Spring 227
理系教養科目（理科系）【H3311】物理学基礎Ｉ［加来　滋］春学期授業/Spring 228
理系教養科目（理科系）【H3312】物理学基礎Ｉ［今枝　佑輔］春学期授業/Spring 229
理系教養科目（理科系）【H3313】物理学基礎Ｉ［今枝　佑輔］春学期授業/Spring 230
理系教養科目（理科系）【H3314】物理学基礎Ｉ［池田　浩治］春学期授業/Spring 231
理系教養科目（理科系）【H3315】物理学基礎Ｉ［加来　滋］春学期授業/Spring 233
理系教養科目（理科系）【H3316】物理学基礎Ｉ［小鍋　哲］春学期授業/Spring 234
理系教養科目（理科系）【H3317】物理学基礎Ｉ［小鍋　哲］春学期授業/Spring 235
理系教養科目（理科系）【H3318】物理学基礎ＩＩ［今枝　佑輔］秋学期授業/Fall 236
理系教養科目（理科系）【H3319】物理学基礎ＩＩ［今枝　佑輔］秋学期授業/Fall 237
理系教養科目（理科系）【H3320】物理学基礎ＩＩ［小鍋　哲］秋学期授業/Fall 238
理系教養科目（理科系）【H3321】物理学基礎ＩＩ［加来　滋］秋学期授業/Fall 239
理系教養科目（理科系）【H3322】物理学基礎ＩＩ［今枝　佑輔］秋学期授業/Fall 240
理系教養科目（理科系）【H3323】物理学基礎ＩＩ［今枝　佑輔］秋学期授業/Fall 241
理系教養科目（理科系）【H3324】物理学基礎ＩＩ［池田　浩治］秋学期授業/Fall 242
理系教養科目（理科系）【H3325】物理学基礎ＩＩ［加来　滋］秋学期授業/Fall 244
理系教養科目（理科系）【H3326】物理学基礎ＩＩ［小鍋　哲］秋学期授業/Fall 245
理系教養科目（理科系）【H3327】物理学基礎ＩＩ［小鍋　哲］秋学期授業/Fall 246
理系教養科目（理科系）【H3328】化学基礎Ｉ［落合　剛］春学期授業/Spring 247
理系教養科目（理科系）【H3329】化学基礎Ｉ［落合　剛］春学期授業/Spring 250
理系教養科目（理科系）【H3330】化学基礎Ｉ［普神　敬悟］春学期授業/Spring 253
理系教養科目（理科系）【H3331】化学基礎Ｉ［尾池　秀章］春学期授業/Spring 255
理系教養科目（理科系）【H3332】化学基礎Ｉ［見附　孝一郎］春学期授業/Spring 256
理系教養科目（理科系）【H3333】化学基礎Ｉ［普神　敬悟］春学期授業/Spring 258
理系教養科目（理科系）【H3334】化学基礎Ｉ［島田　恵理子］春学期授業/Spring 260
理系教養科目（理科系）【H3335】化学基礎Ｉ［大波　英幸］春学期授業/Spring 262
理系教養科目（理科系）【H3336】化学基礎Ｉ［島田　恵理子］春学期授業/Spring 263

理系教養科目（理科系）【H3338】化学基礎ＩＩ［落合　剛］秋学期授業/Fall 265
理系教養科目（理科系）【H3339】化学基礎ＩＩ［落合　剛］秋学期授業/Fall 268
理系教養科目（理科系）【H3340】化学基礎ＩＩ［普神　敬悟］秋学期授業/Fall 271
理系教養科目（理科系）【H3341】化学基礎ＩＩ［尾池　秀章］秋学期授業/Fall 272
理系教養科目（理科系）【H3342】化学基礎ＩＩ［見附　孝一郎］秋学期授業/Fall 273
理系教養科目（理科系）【H3343】化学基礎ＩＩ［普神　敬悟］秋学期授業/Fall 275
理系教養科目（理科系）【H3344】化学基礎ＩＩ［島田　恵理子］秋学期授業/Fall 276
理系教養科目（理科系）【H3345】化学基礎ＩＩ［大波　英幸］秋学期授業/Fall 278
理系教養科目（理科系）【H3346】化学基礎ＩＩ［島田　恵理子］秋学期授業/Fall 280
理系教養科目（理科系）【H3348】科学実験Ｉ［加来　滋］春学期授業/Spring 282
理系教養科目（理科系）【H3349】科学実験Ｉ［小鍋　哲］春学期授業/Spring 283
理系教養科目（理科系）【H3350】科学実験Ｉ［加来　滋］秋学期授業/Fall 284
理系教養科目（理科系）【H3351】科学実験Ｉ［加来　滋］秋学期授業/Fall 285
理系教養科目（理科系）【H3352】物理学実験［吉野　理貴］秋学期授業/Fall 286
理系教養科目（理科系）【H3353】科学実験Ｉ［吉野　理貴］春学期授業/Spring 287
理系教養科目（理科系）【H3354】科学実験ＩＩ［尾池　秀章］春学期授業/Spring 288
理系教養科目（理科系）【H3355】科学実験ＩＩ［大波　英幸］春学期授業/Spring 289
理系教養科目（理科系）【H3356】科学実験ＩＩ［尾池　秀章］秋学期授業/Fall 290
理系教養科目（理科系）【H3357】科学実験ＩＩ［尾池　秀章］秋学期授業/Fall 291
理系教養科目（理科系）【H3358】化学実験［大波　英幸］秋学期授業/Fall 292
理系教養科目（理科系）【H3359】科学実験ＩＩ［尾池　秀章］春学期授業/Spring 293
理系教養科目（理科系）【H3360】科学実験ＩＩＩ［田島　寛隆］春学期授業/Spring 294
理系教養科目（理科系）【H3361】科学実験ＩＩＩ［水澤　直樹、大森　楓河、大野　真］秋学期授業/Fall 295
理系教養科目（理科系）【H3362】科学実験ＩＩＩ［水澤　直樹、大森　楓河、大野　真］春学期授業/Spring 296
理系教養科目（理科系）【H3363】生物学実験［田島　寛隆］秋学期授業/Fall 297
理系教養科目（理科系）【H3364】科学実験ＩＩＩ［水澤　直樹］秋学期授業/Fall 298
理系教養科目（理科系）【H3365】科学実験ＩＩＩ［水澤　直樹］春学期授業/Spring 299
理系教養科目（理科系）【H3380】生物学基礎Ｉ［石黒　亮］春学期授業/Spring 300
理系教養科目（理科系）【H3381】生物学基礎Ｉ［水澤　直樹］春学期授業/Spring 301
理系教養科目（理科系）【H3382】生物学基礎Ｉ［細谷　茂生］春学期授業/Spring 302
理系教養科目（理科系）【H3383】生物学基礎Ｉ［石黒　亮］春学期授業/Spring 303
理系教養科目（理科系）【H3384】生物学基礎ＩＩ［田島　寛隆］秋学期授業/Fall 304
理系教養科目（理科系）【H3385】生物学基礎ＩＩ［水澤　直樹］秋学期授業/Fall 305
理系教養科目（理科系）【H3386】生物学基礎ＩＩ［細谷　茂生］秋学期授業/Fall 306
理系教養科目（理科系）【H3387】生物学基礎ＩＩ［石黒　亮］秋学期授業/Fall 307
英語科目【H3439】アカデミック・リーディングＩ［村上　弥生］春学期授業/Spring 308
英語科目【H3440】アカデミック・リーディングＩ［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 310
英語科目【H3441】アカデミック・リーディングＩ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 312
英語科目【H3442】アカデミック・リーディングＩ［小町　将之］春学期授業/Spring 313
英語科目【H3443】アカデミック・リーディングＩ［中野　里美］春学期授業/Spring 314
英語科目【H3444】アカデミック・リーディングＩ［小畑　美貴］春学期授業/Spring 315
英語科目【H3445】アカデミック・リーディングＩ［ギユモ　セレスト］春学期授業/Spring 317
英語科目【H3446】アカデミック・リーディングＩ［ギユモ　セレスト］春学期授業/Spring 318
英語科目【H3447】アカデミック・リーディングＩ［今政　肇］春学期授業/Spring 319
英語科目【H3448】アカデミック・リーディングＩ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 320
英語科目【H3449】アカデミック・リーディングＩ［今政　肇］春学期授業/Spring 321
英語科目【H3450】アカデミック・リーディングＩ［乾　展子］春学期授業/Spring 322
英語科目【H3451】アカデミック・リーディングＩ［尾関　裕子］春学期授業/Spring 323
英語科目【H3452】アカデミック・リーディングＩ［安田　孝子］春学期授業/Spring 324
英語科目【H3453】アカデミック・リーディングＩ［磯部　芳恵］春学期授業/Spring 326
英語科目【H3454】アカデミック・リーディングＩ［安田　孝子］春学期授業/Spring 327
英語科目【H3455】アカデミック・リーディングＩ［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 329
英語科目【H3457】アカデミック・リーディングＩ［鈴木　幸］春学期授業/Spring 331
英語科目【H3458】アカデミック・リーディングＩ［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 332
英語科目【H3459】アカデミック・リーディングＩＩ［村上　弥生］秋学期授業/Fall 333
英語科目【H3460】アカデミック・リーディングＩＩ［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 335
英語科目【H3461】アカデミック・リーディングＩＩ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 337

英語科目【H3462】アカデミック・リーディングＩＩ［小町　将之］秋学期授業/Fall 338
英語科目【H3463】アカデミック・リーディングＩＩ［中野　里美］秋学期授業/Fall 339
英語科目【H3464】アカデミック・リーディングＩＩ［小畑　美貴］秋学期授業/Fall 340
英語科目【H3465】アカデミック・リーディングＩＩ［ギユモ　セレスト］秋学期授業/Fall 342
英語科目【H3466】アカデミック・リーディングＩＩ［ギユモ　セレスト］秋学期授業/Fall 343
英語科目【H3467】アカデミック・リーディングＩＩ［今政　肇］秋学期授業/Fall 344
英語科目【H3468】アカデミック・リーディングＩＩ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 345
英語科目【H3469】アカデミック・リーディングＩＩ［今政　肇］秋学期授業/Fall 346
英語科目【H3470】アカデミック・リーディングＩＩ［乾　展子］秋学期授業/Fall 347
英語科目【H3471】アカデミック・リーディングＩＩ［尾関　裕子］秋学期授業/Fall 348
英語科目【H3472】アカデミック・リーディングＩＩ［安田　孝子］秋学期授業/Fall 349
英語科目【H3473】アカデミック・リーディングＩＩ［磯部　芳恵］秋学期授業/Fall 351
英語科目【H3474】アカデミック・リーディングＩＩ［安田　孝子］秋学期授業/Fall 352
英語科目【H3475】アカデミック・リーディングＩＩ［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 354
英語科目【H3477】アカデミック・リーディングＩＩ［鈴木　幸］秋学期授業/Fall 356
英語科目【H3478】アカデミック・リーディングＩＩ［HUGO L DRAINVILLE］秋学期授業/Fall 357
英語科目【H3479】アカデミック・ライティング［小林　直樹］春学期授業/Spring 358
英語科目【H3480】アカデミック・ライティング［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 359
英語科目【H3481】アカデミック・ライティング［ギユモ　セレスト］春学期授業/Spring 361
英語科目【H3482】アカデミック・ライティング［中野　里美］春学期授業/Spring 362
英語科目【H3483】アカデミック・ライティング［LOWRI E HUMBERSTONE］秋学期授業/Fall 363
英語科目【H3484】アカデミック・ライティング［中野　里美］秋学期授業/Fall 365
英語科目【H3485】アカデミック・ライティング［ギユモ　セレスト］秋学期授業/Fall 366
英語科目【H3487】アカデミック・ライティング［NEIL CONWAY］春学期授業/Spring 367
英語科目【H3488】アカデミック・ライティング［NEIL CONWAY］秋学期授業/Fall 369
英語科目【H3490】アカデミック・ライティング［太田　美智子］春学期授業/Spring 371
英語科目【H3492】アカデミック・ライティング［尾関　裕子］春学期授業/Spring 372
英語科目【H3493】アカデミック・ライティング［ALDER mark］秋学期授業/Fall 373
英語科目【H3494】アカデミック・ライティング［乾　展子］秋学期授業/Fall 374
英語科目【H3496】アカデミック・ライティング［太田　美智子］秋学期授業/Fall 375
英語科目【H3497】アカデミック・ライティング［乾　展子］春学期授業/Spring 376
英語科目【H3498】アカデミック・ライティング［尾関　裕子］秋学期授業/Fall 377
英語科目【H3499】アカデミック・ライティング［磯部　芳恵］春学期授業/Spring 378
英語科目【H3500】アカデミック・ライティング［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 379
英語科目【H3501】アカデミック・ライティング［村上　弥生］春学期授業/Spring 380
英語科目【H3502】アカデミック・ライティング［長谷川　秀子］春学期授業/Spring 382
英語科目【H3503】アカデミック・リーディングＩＩ［LOWRI E HUMBERSTONE］秋学期授業/Fall 383
英語科目【H3504】アカデミック・ライティング［FRITZ Erik］秋学期授業/Fall 385
英語科目【H3505】アカデミック・ライティング［ALDER mark］秋学期授業/Fall 386
英語科目【H3506】アカデミック・ライティング［尾関　裕子］秋学期授業/Fall 387
英語科目【H3508】アカデミック・ライティング［早舩　由紀見］春学期授業/Spring 388
英語科目【H3509】アカデミック・ライティング［ALDER mark］春学期授業/Spring 389
英語科目【H3510】アカデミック・ライティング［尾関　裕子］春学期授業/Spring 390
英語科目【H3511】アカデミック・ライティング［早舩　由紀見］秋学期授業/Fall 391
英語科目【H3512】アカデミック・ライティング［磯部　芳恵］秋学期授業/Fall 392
英語科目【H3514】アカデミック・ライティング［村上　弥生］秋学期授業/Fall 393
英語科目【H3517】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 395
英語科目【H3518】コミュニケーション・ストラテジー［鈴木　幸］春学期授業/Spring 396
英語科目【H3519】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 397
英語科目【H3520】コミュニケーション・ストラテジー［鈴木　幸］秋学期授業/Fall 398
英語科目【H3523】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］秋学期授業/Fall 399
英語科目【H3524】コミュニケーション・ストラテジー［鈴木　幸］春学期授業/Spring 400
英語科目【H3525】コミュニケーション・ストラテジー［平賀　史子］秋学期授業/Fall 401
英語科目【H3527】コミュニケーション・ストラテジー［FRITZ Erik］秋学期授業/Fall 403
英語科目【H3529】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［神　康介］春学期授業/Spring 404
英語科目【H3530】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［渡邊　晶子］春学期授業/Spring 405
英語科目【H3531】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［神　康介］秋学期授業/Fall 406

英語科目【H3532】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［渡邊　晶子］秋学期授業/Fall 407
英語科目【H3533】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［小畑　美貴］春学期授業/Spring 408
英語科目【H3534】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［小畑　美貴］秋学期授業/Fall 409
英語科目【H3535】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［梨本　邦直］春学期授業/Spring 410
英語科目【H3536】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［梨本　邦直］秋学期授業/Fall 411
英語科目【H3537】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［今政　肇］春学期授業/Spring 412
英語科目【H3538】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［今政　肇］秋学期授業/Fall 414
【H3539】中級英語II［村上　弥生］秋学期授業/Fall 416
英語科目【H3540】アカデミック・リーディングＩ［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 417
選択語学系【H3542】基礎ドイツ語ＩＩ［鈴木　淳子］秋学期授業/Fall 419
選択語学系【H3543】基礎ドイツ語ＩＩ［高橋　完治］秋学期授業/Fall 420
選択語学系【H3546】基礎中国語Ｉ［平井　新］春学期授業/Spring 421
人文・社会・自然科学系【H3556】パーソナリティ［山本　晃輔］春学期授業/Spring 422
人文・社会・自然科学系【H3557】こころの働き［伊藤　ひろみ］秋学期授業/Fall 423
人文・社会・自然科学系【H3558】パーソナリティ［伊藤　ひろみ］春学期授業/Spring 424
人文・社会・自然科学系【H3559】こころの働き［伊藤　ひろみ］秋学期授業/Fall 425
人文・社会・自然科学系【H3560】パーソナリティ［山本　晃輔］春学期授業/Spring 426
人文・社会・自然科学系【H3561】こころの働き［山本　晃輔］秋学期授業/Fall 427
人文・社会・自然科学系【H3562】日本文化論［横山　泰子］春学期授業/Spring 428
人文・社会・自然科学系【H3563】比較文化論［横山　泰子］秋学期授業/Fall 429
人文・社会・自然科学系【H3564】日本文化論［追川　吉生］春学期授業/Spring 430
人文・社会・自然科学系【H3565】比較文化論［追川　吉生］秋学期授業/Fall 432
人文・社会・自然科学系【H3566】日本文化論［追川　吉生］春学期授業/Spring 434
人文・社会・自然科学系【H3567】比較文化論［追川　吉生］秋学期授業/Fall 436
リテラシー系【H3573】文章作法［矢口　貢大］春学期授業/Spring 438
英語科目【H3574】アカデミック・ライティング［ALDER mark］春学期授業/Spring 439
英語科目【H3576】アカデミック・ライティング［早舩　由紀見］春学期授業/Spring 440
英語科目【H3577】アカデミック・ライティング［早舩　由紀見］秋学期授業/Fall 441
英語科目【H3578】アカデミック・ライティング［FRITZ Erik］秋学期授業/Fall 442
英語科目【H3580】アカデミック・リーディングＩ［長谷川　秀子］春学期授業/Spring 443
英語科目【H3581】アカデミック・リーディングＩＩ［長谷川　秀子］秋学期授業/Fall 444
英語科目【H3582】アカデミック・リーディングＩ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 445
英語科目【H3583】アカデミック・リーディングＩＩ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 446
英語科目【H3584】アカデミック・ライティング［太田　美智子］春学期授業/Spring 447
英語科目【H3585】アカデミック・ライティング［太田　美智子］秋学期授業/Fall 448
選択語学系【H3586】英語資格試験準備講座［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 449
選択語学系【H3587】英語資格試験準備講座［井上　敏郎］秋学期授業/Fall 450
選択語学系【H3588】基礎中国語Ｉ［呉　暁林］春学期授業/Spring 451
選択語学系【H3589】基礎中国語ＩＩ［呉　暁林］秋学期授業/Fall 452
選択語学系【H3590】英語資格試験準備講座［井上　敏郎］秋学期授業/Fall 453
英語科目【H3592】コミュニケーション・ストラテジー［NEIL CONWAY］春学期授業/Spring 454
英語科目【H3593】コミュニケーション・ストラテジー［ALDER mark］春学期授業/Spring 456
英語科目【H3594】コミュニケーション・ストラテジー［FRITZ Erik］春学期授業/Spring 457
英語科目【H3595】コミュニケーション・ストラテジー［NEIL CONWAY］秋学期授業/Fall 458
英語科目【H3596】コミュニケーション・ストラテジー［ALDER mark］秋学期授業/Fall 460
英語科目【H3597】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［小町　将之］春学期授業/Spring 461
英語科目【H3598】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［村上　弥生］春学期授業/Spring 462
英語科目【H3599】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［長谷川　秀子］春学期授業/Spring 463
英語科目【H3600】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩ［神　康介］春学期授業/Spring 464
英語科目【H3601】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［小町　将之］秋学期授業/Fall 465
英語科目【H3602】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［村上　弥生］秋学期授業/Fall 466
英語科目【H3603】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［長谷川　秀子］秋学期授業/Fall 467
英語科目【H3604】コンプリヘンシヴ・イングリッシュＩＩ［神　康介］秋学期授業/Fall 468
理系教養科目（数学系）【H3605】線形代数学及び演習Ｉ［岩沢　美佐子］春学期授業/Spring 469
理系教養科目（数学系）【H3606】線形代数学及び演習Ｉ［岩沢　美佐子］春学期授業/Spring 470
理系教養科目（数学系）【H3607】線形代数学及び演習ＩＩ［岩沢　美佐子］秋学期授業/Fall 471
理系教養科目（数学系）【H3608】線形代数学及び演習ＩＩ［岩沢　美佐子］秋学期授業/Fall 472

理系教養科目（数学系）【H3609】微分積分学及び演習Ⅰ［金沢　誠］春学期授業/Spring 473
理系教養科目（数学系）【H3610】微分積分学及び演習Ⅰ［金沢　誠］春学期授業/Spring 474
理系教養科目（数学系）【H3611】微分積分学及び演習ⅠⅠ［金沢　誠］秋学期授業/Fall 475
理系教養科目（数学系）【H3612】微分積分学及び演習ⅠⅠ［金沢　誠］秋学期授業/Fall 476
理系教養科目（理科系）【H3613】物理学基礎Ⅰ［佐藤　修一］春学期授業/Spring 477
理系教養科目（理科系）【H3614】物理学基礎Ⅰ［佐藤　修一］春学期授業/Spring 478
理系教養科目（理科系）【H3615】物理学基礎ⅠⅠ［佐藤　修一］秋学期授業/Fall 479
理系教養科目（理科系）【H3616】物理学基礎ⅠⅠ［佐藤　修一］秋学期授業/Fall 480
選択語学系【H3617】基礎ドイツ語Ⅰ［外山　知子］春学期授業/Spring 481
選択語学系【H3618】基礎ドイツ語ⅠⅠ［外山　知子］秋学期授業/Fall 483
英語科目【H3619】コミュニケーション・ストラテジー［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 485
選択語学系【H3620】基礎フランス語Ⅰ［平岡　敦］春学期授業/Spring 486
英語科目【H3621】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］春学期授業/Spring 487
選択語学系【H3622】基礎フランス語ⅠⅠ［平岡　敦］秋学期授業/Fall 488
英語科目【H3623】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］春学期授業/Spring 489
英語科目【H3624】コミュニケーション・ストラテジー［LOWRI E HUMBERSTONE］秋学期授業/Fall 490
選択語学系【H3625】基礎中国語Ⅰ［渡辺　浩司］春学期授業/Spring 491
選択語学系【H3626】基礎中国語Ⅰ［景　旻］春学期授業/Spring 492
選択語学系【H3628】基礎中国語ⅠⅠ［景　旻］秋学期授業/Fall 493
英語科目【H3629】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 494
英語科目【H3630】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 495
リテラシー系【H3631】文章作法［矢口　貢大］秋学期授業/Fall 496
英語科目【H3632】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 497
選択語学系【H3689】基礎中国語Ⅰ［杉本　公子］春学期授業/Spring 498
選択語学系【H3690】基礎中国語II［杉本　公子］秋学期授業/Fall 499
英語科目【H3695】コミュニケーション・ストラテジー［今政　肇］秋学期授業/Fall 500
英語科目【H3696】コミュニケーション・ストラテジー［小屋　多恵子］秋学期授業/Fall 501
英語科目【H3697】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠ［ALAN D MORGAN］春学期授業/Spring 502
英語科目【H3698】コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 503
英語科目【H3699】コミュニケーション・ストラテジー［HUGO L DRAINVILLE］春学期授業/Spring 504
英語科目【H3700】コミュニケーション・ストラテジー［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 505
英語科目【H3701】コミュニケーション・ストラテジー［永井　誠］秋学期授業/Fall 506
【H3704】中級英語I［KOPROWSKI MARK］春学期授業/Spring 507
【H3705】中級英語I［小林　直樹］春学期授業/Spring 509
【H3706】中級英語I［小林　直樹］秋学期授業/Fall 510
【H3707】中級英語I［FRITZ Erik］秋学期授業/Fall 511
【H3708】中級英語II［宗像　俊輔］春学期授業/Spring 512
【H3709】中級英語II［村上　弥生］春学期授業/Spring 513
【H3710】中級英語II［柳川　浩三］秋学期授業/Fall 515
英語科目【H3711】アカデミック・ライティング［ALAN D MORGAN］秋学期授業/Fall 516
英語科目【H3712】アカデミック・リーディングⅠ［乾　展子］春学期授業/Spring 517
英語科目【H3713】アカデミック・リーディングⅠⅠ［乾　展子］秋学期授業/Fall 518
英語科目【H3714】アカデミック・リーディングⅠ［LOWRI E HUMBERSTONE］春学期授業/Spring 519
英語科目【H3715】アカデミック・リーディングⅠⅠ［LOWRI E HUMBERSTONE］秋学期授業/Fall 520
英語科目【H3716】アカデミック・リーディングⅠ［柳川　浩三］春学期授業/Spring 521
英語科目【H3717】アカデミック・リーディングⅠⅠ［柳川　浩三］秋学期授業/Fall 522
選択語学系【H3718】基礎英語［小屋　多恵子］秋学期授業/Fall 523
英語科目【H3719】アカデミック・リーディングⅠ［NEIL CONWAY］春学期授業/Spring 524
英語科目【H3720】アカデミック・リーディングⅠⅠ［NEIL CONWAY］秋学期授業/Fall 526
選択語学系【H3721】基礎英語［小林　直樹］秋学期授業/Fall 528
選択語学系【H3723】英語中級ライティング［KOPROWSKI MARK］春学期授業/Spring 529
選択語学系【H3724】英語中級ライティング［LOWRI E HUMBERSTONE］秋学期授業/Fall 530
英語科目【H3725】アカデミック・ライティング［KOPROWSKI MARK］秋学期授業/Fall 532
英語科目【H3726】アカデミック・ライティング［KOPROWSKI MARK］春学期授業/Spring 534
英語科目【H3727】アカデミック・ライティング［宗像　俊輔］秋学期授業/Fall 536
英語科目【H3729】アカデミック・ライティング［小屋　多恵子］春学期授業/Spring 538
英語科目【H3730】アカデミック・ライティング［小屋　多恵子］秋学期授業/Fall 539

英語科目【H3731】アカデミック・ライティング［村上　弥生］秋学期授業/Fall 540
英語科目【H3732】アカデミック・ライティング［宗像　俊輔］春学期授業/Spring 542
選択語学系【H3734】英語資格試験準備講座［柳川　浩三］秋学期授業/Fall 544
英語科目【H3735】アカデミック・ライティング［FRITZ Erik］春学期授業/Spring 545
選択語学系【H3765】上級英語［FRITZ Erik］春学期授業/Spring 546
選択語学系【H3766】上級スペイン語［日高　憲三］春学期授業/Spring 547
選択語学系【H3767】上級ドイツ語［高橋　完治］春学期授業/Spring 548
選択語学系【H3768】上級フランス語［平岡　敦］春学期授業/Spring 549
選択語学系【H3769】上級中国語［東　会娟］春学期授業/Spring 550
選択語学系【H3770】上級朝鮮語［魏　聖銓］春学期授業/Spring 551
選択語学系【H3778】ビジネス英語［早舩　由紀見］春学期授業/Spring 552
選択語学系【H3779】英語資格試験準備講座［宗像　俊輔］秋学期授業/Fall 553
英語科目【H3782】生命機能学基礎英語　Ⅰ［豊岡　博子、山本　兼由、佐藤　勉、川岸　郁朗、常重　アントニオ、廣野　雅文、水澤　直樹、曽和　義幸、林　真人］秋学期授業/Fall 554
英語科目【H3783】生命機能学基礎英語　ⅠⅠ［山本　兼由、佐藤　勉、西川　正俊、廣野　雅文、豊岡　博子、水澤　直樹、曽和　義幸、常重　アントニオ、金子　智行、川岸　郁朗］春学期授業/Spring 555
英語科目【H3785】生命機能学英語　Ⅰ［佐藤　勉、西川　正俊、廣野　雅文、水澤　直樹、曽和　義幸、川岸　郁朗、山本　兼由、金子　智行、豊岡　博子］秋学期授業/Fall 556
選択語学系【H3786】生命機能学英語　ⅠⅠ［金子　智行、佐藤　勉、川岸　郁朗、曽和　義幸、水澤　直樹、廣野　雅文、山本　兼由、西川　正俊、豊岡　博子］春学期授業/Spring 558
選択語学系【H3787】生命機能学英語　ⅠⅠⅠ［豊岡　博子、廣野　雅文、曽和　義幸、金子　智行、金子　智行、川岸　郁朗、山本　兼由、佐藤　勉、西川　正俊、水澤　直樹］秋学期授業/Fall 560
理系教養科目（数学系）【H3789】線形代数学演習Ⅰ［杉山　健一］春学期授業/Spring 562
理系教養科目（数学系）【H3790】線形代数学演習Ⅰ［杉山　健一］春学期授業/Spring 563
理系教養科目（数学系）【H3791】線形代数学演習Ⅰ［木村　真琴］春学期授業/Spring 564
理系教養科目（数学系）【H3792】線形代数学演習Ⅰ［木村　真琴］春学期授業/Spring 565
理系教養科目（数学系）【H3793】線形代数学演習Ⅰ［三橋　秀生］春学期授業/Spring 566
理系教養科目（数学系）【H3794】線形代数学演習Ⅰ［三橋　秀生］春学期授業/Spring 567
理系教養科目（数学系）【H3796】線形代数学演習Ⅰ［高木　悟］秋学期授業/Fall 568
理系教養科目（数学系）【H3797】線形代数学及び演習Ⅰ［陸名　雄一］秋学期授業/Fall 569
理系教養科目（数学系）【H3798】微分積分学演習Ⅰ［渡邉　昇］春学期授業/Spring 570
理系教養科目（数学系）【H3799】微分積分学演習Ⅰ［渡邉　昇］春学期授業/Spring 571
理系教養科目（数学系）【H3800】微分積分学演習Ⅰ［寺田　至］春学期授業/Spring 572
理系教養科目（数学系）【H3801】微分積分学演習Ⅰ［坂田　繁洋］春学期授業/Spring 573
理系教養科目（数学系）【H3802】微分積分学演習Ⅰ［坂田　繁洋］春学期授業/Spring 574
理系教養科目（数学系）【H3803】微分積分学演習Ⅰ［陸名　雄一］春学期授業/Spring 575
理系教養科目（数学系）【H3805】微分積分学演習Ⅰ［高木　悟］秋学期授業/Fall 576
理系教養科目（数学系）【H3806】微分積分学及び演習Ⅰ［陸名　雄一］秋学期授業/Fall 577
理系教養科目（数学系）【H3807】入門数学［高木　悟］春学期授業/Spring 578
理系教養科目（理科系）【H3808】入門物理学［鈴木　健夫］春学期授業/Spring 579
スポーツ健康科学系【H3810】スポーツ健康科学実習Ⅰ［高橋　正則］春学期授業/Spring 580
スポーツ健康科学系【H3811】スポーツ健康科学実習Ⅰ［高橋　正則］春学期授業/Spring 581
スポーツ健康科学系【H3812】スポーツ健康科学実習Ⅰ［谷内　花恵］春学期授業/Spring 582
スポーツ健康科学系【H3813】スポーツ健康科学実習Ⅰ［谷内　花恵］春学期授業/Spring 584
スポーツ健康科学系【H3814】スポーツ健康科学実習Ⅰ［植村　直己］春学期授業/Spring 585
スポーツ健康科学系【H3815】スポーツ健康科学実習Ⅰ［高橋　正則］秋学期授業/Fall 586
スポーツ健康科学系【H3816】スポーツ健康科学実習Ⅰ［高橋　正則］秋学期授業/Fall 587
スポーツ健康科学系【H3817】スポーツ健康科学実習Ⅰ［谷内　花恵］秋学期授業/Fall 588
スポーツ健康科学系【H3818】スポーツ健康科学実習Ⅰ［谷内　花恵］秋学期授業/Fall 590
スポーツ健康科学系【H3819】スポーツ健康科学実習Ⅰ［植村　直己］秋学期授業/Fall 592
スポーツ健康科学系【H3820】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］春学期授業/Spring 593
スポーツ健康科学系【H3821】スポーツ健康科学実習Ⅱ［越智　英輔］春学期授業/Spring 594
スポーツ健康科学系【H3822】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］春学期授業/Spring 595
スポーツ健康科学系【H3823】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］春学期授業/Spring 596
スポーツ健康科学系【H3824】スポーツ健康科学実習Ⅱ［越智　英輔］春学期授業/Spring 597
スポーツ健康科学系【H3825】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］秋学期授業/Fall 598
スポーツ健康科学系【H3826】スポーツ健康科学実習Ⅱ［越智　英輔］秋学期授業/Fall 599

スポーツ健康科学系【H3827】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］秋学期授業/Fall 600
スポーツ健康科学系【H3828】スポーツ健康科学実習Ⅱ［金光　興二］秋学期授業/Fall 601
スポーツ健康科学系【H3829】スポーツ健康科学実習Ⅱ［越智　英輔］秋学期授業/Fall 602
スポーツ健康科学系【H3830】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］春学期授業/Spring 603
スポーツ健康科学系【H3831】スポーツ健康科学実習Ⅲ［植田　央］春学期授業/Spring 604
スポーツ健康科学系【H3832】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］春学期授業/Spring 605
スポーツ健康科学系【H3833】スポーツ健康科学実習Ⅲ［高田　佑輔］春学期授業/Spring 606
スポーツ健康科学系【H3834】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］春学期授業/Spring 607
スポーツ健康科学系【H3835】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］秋学期授業/Fall 608
スポーツ健康科学系【H3836】スポーツ健康科学実習Ⅲ［植田　央］秋学期授業/Fall 609
スポーツ健康科学系【H3837】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］秋学期授業/Fall 610
スポーツ健康科学系【H3838】スポーツ健康科学実習Ⅲ［高田　佑輔］秋学期授業/Fall 611
スポーツ健康科学系【H3839】スポーツ健康科学実習Ⅲ［越智　英輔］秋学期授業/Fall 612
スポーツ健康科学系【H3840】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植田　央］春学期授業/Spring 613
スポーツ健康科学系【H3841】スポーツ健康科学実習Ⅳ［高田　佑輔］春学期授業/Spring 614
スポーツ健康科学系【H3842】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植村　直己］春学期授業/Spring 615
スポーツ健康科学系【H3843】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植村　直己］春学期授業/Spring 616
スポーツ健康科学系【H3844】スポーツ健康科学実習Ⅳ［金光　興二］春学期授業/Spring 617
スポーツ健康科学系【H3845】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植田　央］秋学期授業/Fall 618
スポーツ健康科学系【H3846】スポーツ健康科学実習Ⅳ［高田　佑輔］秋学期授業/Fall 619
スポーツ健康科学系【H3847】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植村　直己］秋学期授業/Fall 620
スポーツ健康科学系【H3848】スポーツ健康科学実習Ⅳ［植村　直己］秋学期授業/Fall 621
スポーツ健康科学系【H3849】スポーツ健康科学実習Ⅳ［金光　興二］秋学期授業/Fall 622
スポーツ健康科学系【H3850】スポーツ健康科学講義Ⅰ［高田　佑輔］春学期授業/Spring 623
スポーツ健康科学系【H3851】スポーツ健康科学講義Ⅰ［高田　佑輔］秋学期授業/Fall 624
スポーツ健康科学系【H3852】スポーツ健康科学講義Ⅱ［高田　佑輔］春学期授業/Spring 625
スポーツ健康科学系【H3853】スポーツ健康科学講義Ⅱ［高田　佑輔］秋学期授業/Fall 626
英語科目【H3854】アカデミック・ライティング［長谷川　秀子］秋学期授業/Fall 627
【H3855】アカデミック・ライティング［染谷　昌弘］秋学期授業/Fall 628
【H3856】SAプログラム［加藤　友規］秋学期授業/Fall 630
【H3857】宗教と社会［立田　由紀恵］秋学期授業/Fall 634
【H3858】地学基礎［辻　忠恭］春学期授業/Spring 636
【H3859】地学基礎［辻　忠恭］秋学期授業/Fall 637
【H3860】入門化学［田　艶］春学期授業/Spring 638
【H3861】入門生物学［齋藤　理佳］春学期授業/Spring 639
【H3862】入門数学［高木　悟］春学期授業/Spring 641
【H3863】物理学基礎Ⅰ［小鍋　哲］春学期授業/Spring 642
【H3864】物理学基礎ⅠⅠ［小鍋　哲］秋学期授業/Fall 643
【H3865】入門物理学［鈴木　健夫］春学期授業/Spring 644
【H3866】生物学基礎Ⅰ［清水　隆］春学期授業/Spring 645
【H3867】生物学基礎ⅠⅠ［清水　隆］秋学期授業/Fall 646
【H3868】情報リテラシーと表現技術［若林　哲］春学期授業/Spring 647
選択語学系【H3869】基礎ドイツ語コミュニケーション［高橋　完治］春学期授業/Spring 648
選択語学系【H3870】基礎ドイツ語コミュニケーション［高橋　完治］秋学期授業/Fall 649
選択語学系【H3871】中級ドイツ語リーディング［高橋　完治］春学期授業/Spring 650
選択語学系【H3872】中級ドイツ語コミュニケーション［鈴木　淳子］秋学期授業/Fall 651
選択語学系【H3873】中級ドイツ語コミュニケーション［高橋　完治］秋学期授業/Fall 652
選択語学系【H3874】中級ドイツ語ライティング［高橋　完治］秋学期授業/Fall 653
選択語学系【H3875】基礎ドイツ語コミュニケーション［鈴木　淳子］春学期授業/Spring 654
選択語学系【H3876】基礎フランス語コミュニケーション［ギユモ　セレスト］春学期授業/Spring 655
選択語学系【H3877】中級フランス語リーディング［平岡　敦］春学期授業/Spring 656
選択語学系【H3878】基礎フランス語コミュニケーション［沖本　龍哉］秋学期授業/Fall 657
選択語学系【H3879】中級フランス語コミュニケーション［ギユモ　セレスト］秋学期授業/Fall 658
選択語学系【H3880】中級フランス語ライティング［平岡　敦］秋学期授業/Fall 659
選択語学系【H3881】中級フランス語コミュニケーション［平岡　敦］秋学期授業/Fall 660
選択語学系【H3882】基礎フランス語コミュニケーション［沖本　龍哉］春学期授業/Spring 661
選択語学系【H3883】基礎スペイン語コミュニケーション［渡辺　雅哉］春学期授業/Spring 662

選択語学系【H3884】基礎スペイン語コミュニケーション［日高　憲三］秋学期授業/Fall 663
選択語学系【H3885】中級スペイン語コミュニケーション［日高　憲三］秋学期授業/Fall 664
選択語学系【H3886】中級スペイン語コミュニケーション［渡辺　雅哉］秋学期授業/Fall 665
選択語学系【H3887】基礎スペイン語コミュニケーション［日高　憲三］春学期授業/Spring 666
選択語学系【H3888】中級スペイン語リーディング［日高　憲三］春学期授業/Spring 667
選択語学系【H3889】中級スペイン語ライティング［日高　憲三］秋学期授業/Fall 668
選択語学系【H3890】基礎スペイン語Ⅰ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 669
選択語学系【H3891】基礎朝鮮語コミュニケーション［松本　ジュン］春学期授業/Spring 670
選択語学系【H3892】基礎朝鮮語コミュニケーション［魏　聖銓］秋学期授業/Fall 671
選択語学系【H3893】中級朝鮮語コミュニケーション［魏　聖銓］秋学期授業/Fall 672
選択語学系【H3894】中級朝鮮語コミュニケーション［松本　ジュン］秋学期授業/Fall 673
選択語学系【H3895】基礎朝鮮語コミュニケーション［魏　聖銓］春学期授業/Spring 674
選択語学系【H3896】中級朝鮮語リーディング［魏　聖銓］春学期授業/Spring 675
選択語学系【H3897】中級朝鮮語ライティング［魏　聖銓］秋学期授業/Fall 676
選択語学系【H3898】基礎朝鮮語Ⅰ［松本　ジュン］春学期授業/Spring 677
選択語学系【H3899】基礎中国語コミュニケーション［景　旻］春学期授業/Spring 678
選択語学系【H3900】基礎中国語コミュニケーション［杉本　公子］春学期授業/Spring 679
選択語学系【H3901】基礎中国語コミュニケーション［渡辺　浩司］春学期授業/Spring 680
選択語学系【H3902】中級中国語コミュニケーション［杉本　公子］春学期授業/Spring 681
選択語学系【H3905】基礎中国語コミュニケーション［平井　新］秋学期授業/Fall 682
選択語学系【H3906】中級中国語コミュニケーション［景　旻］秋学期授業/Fall 683
選択語学系【H3907】中級中国語コミュニケーション［杉本　公子］秋学期授業/Fall 684
選択語学系【H3908】中級中国語コミュニケーション［渡辺　浩司］秋学期授業/Fall 685
選択語学系【H3909】中級中国語リーディング［呉　暁林］春学期授業/Spring 686
選択語学系【H3910】中級中国語ライティング［呉　暁林］秋学期授業/Fall 687

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
Students will be able to communicate and elicit information in a range of everyday social and academic interactions. Students will acquire an awareness of basic techniques to facilitate communication cross-culturally.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Each unit of the textbook is themed, structures and vocabulary associated with the theme is presented ias a listening, then used as a basis for guided practice in group and pair work. Critical academic skills are introduced with a short reading and a short video based on the theme (which may be done outside the class). A communicative activity carried out in pairs, groups or as a whole class reinforces the practical application of the language presented in each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Unit 1　Life Experiences	Explanation of class structure, grading criteria and rules. Introduction to online content Introductions Present Perfect and Simple Past Asking follow-up questions
2	Unit 2　Events	Simple Past and Past Continuous Showing Interest
3	Unit 3　Opinions	*Too* and *Enough* with adjectives and nouns Repetition &Showing Attention
4	Unit 4 Customs	Cross-cultural Advice *It* +infinitve, gerunds as subjects Asking for more information
5	Unit 5 Professions and Skills	Job Interviews Present Perfect with *how long*, *since*, and *for* Using formal language
6	Unit 6 Recent Activities	Present Perfect Continuous Expressing surprise
7	Review &Mid-term Review Test	Review Units 1-6
8	Unit 7　Leisure Time	Present Perfect Continuous and Present Perfect Adding information
9	Unit 8 Appearance	Changes in Appearance *Used to* Using phrases to agree
10	Unit 9 Habits	Early life *How long* with varied verb tenses Asking open questions
11	Unit 10 Stories	Reported Speech Asking yourself questions Refusing politely
12	Unit 11 In the News	Polite Request forms *While* and *when* clauses
13	Unit 12 Travel Stories	Continuing coversations Present Perfect for experiences
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some elements of the units that are suitable may be assigned as work to be done outside class. Completion of tasks set outside class will utilise the Language Management system to confirm completion.

【テキスト（教科書）】
Stretch 3 (Susan Stempelski, Oxford University Press,2014) ISBN 978-0-19-460314-0 c.￥3,200

【参考書】
Online resources are available after registration with an access code provided with the student textbook at www.oxfordlearn.com

【成績評価の方法と基準】
Unit Review Testing 35%
In-class contribution 20%
Mid-term Review test 15 %
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】
The element of play and competition in pair and group activities provided to facilitate language practice will be accentuated.The language items taught will be challenging enough for all students.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need to use a computer to access online resources and to access tests and quizzes on the Education Management System.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

太田　美智子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to heighten your vocabulary, listening and English communication skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
You will learn and use key vocabulary and useful phrases. You will be given listening tasks.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Explanation of Class Rules. Get to know each other.
2	Unit 1	William's Notting Hill &She
3	Unit 2	Surreal,But Nice
4	Unit 3	A Goddess Is A Movie Star
5	Unit 4	Birthday Party
6	quiz	Quiz
7	Unit 5	A Date With Anna
8	Unit 6	She's Gone
9	Unit 7	She's Back
10	Unit 8	Rude Awakening
11	quiz	quiz
12	Unit 9	Like Me Again
13	Unit 10	The Right Decision
14	quiz	quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】You are expected to preview each lesson.

【テキスト（教科書）】
Notting Hill, Richard Curtis, Shohakusya, 2018, 2100yen

【参考書】
No references.

【成績評価の方法と基準】
Class work and participation 30%
Short reports 20%
Examinations 50%

【学生の意見等からの気づき】
Learning English through movies are effective. Let's study English together.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students.
The goal of this class is to heighten your vocabulary, listening and English communication skills.
You will learn and use key vocabulary and useful phrases. You will be given listening tasks.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.
You are expected to preview each lesson.
Grading:
Class work and participation 30%
Short reports 20%
Examinations 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

FRITZ Erik

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
・英語で得た情報の内容を的確に把握できる。
・英語で得た情報の要旨を、英語で適切にまとめられる。
・自分の考えを英語で組み立て、（効果的に）発言できる。
・英語で効果的にコミュニケーションできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
英語のでグループワークのディスカッションができるようになることを目指して授業を行います。学生の主体的な参加や発言を歓迎します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introductions	Explanation of syllabus & course introduction Speaking fluency practice
第2回	Discussion skill #1	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to ask Follow-up Questions
第3回	Discussion skill #2	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to extend answers
第4回	Discussion skill #3	Speaking fluency practice Discussion Skill: Listening practice - How to make reactions in English
第5回	Discussion skill #4	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to clarify politely in English
第6回	Discussion topic #1	Speaking fluency practice Discussion Topic: Explain one scientific observation or experiment that you were involved in, in English
第7回	Discussion topic #2	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about your department and science courses in English
第8回	Discussion topic #3	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about a recent science news article (not from a research journal) in English
第9回	Discussion topic #4	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about which laboratory (and research project) most interests you right now, in English
第10回	Discussion Topics & Skills 1-4 Review	Speaking fluency practice Review all four discussion topics and skills in class
第11回	Oral Examination #1 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第12回	Making a Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make and implement their communication strategies learning plan
第13回	Oral Examination #2 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第14回	Making a Revised Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make a revised learning plan, based on their two oral examinations and in-class activities, for effectively communicating in English in the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。
・予習や準備が前提の授業なので、指定された箇所の予習や準備を必ずしてくること。
・授業の内容を振り返り、授業で学んだ新しい言い回しなどを復習すること。

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided online by the professor.

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（貢献度・平常点）：　30％
口頭試験：７０％

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
自身のPCを毎回持参してください。

【その他の重要事項】
毎週の授業への出席は必須です。
・5回以上の理由のない欠席で成績は不合格（D）とします（当校の『履修の手引き』に記載の通り）。
・遅刻は2回で欠席1回分にカウントします。
・期日内の課題提出も必須です。予習をして来ない、授業中に違うことをやっている、授業中におけるアクティビティに参加しようとしない、など授業態度が著しく欠ける人は、評価の対象外、即ち不合格（D）となります。
・受講者の積極的な参加を期待し、特に授業中における積極的な発言を高く評価し授業への貢献度・平常点に加算していきます。
※授業計画や形式は参加者のレベルや進み具合等により、変更される場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】

The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will be able to:
Correctly understand the content of information obtained in English.
Summarize the information effectively in English.
Construct their own thoughts in English and (effectively) express them.
Communicate effectively in English.
【Learning activities outside of classroom】
Your study time will be more than four hours for a class.
【Grading Criteria /Policy】
Attendance and contribution to the lecture: 30％
Oral Exam #1: 30%
Oral Exam #2: 40%
Your attendance to this class is mandatory.
Your contribution to the class will be evaluated by your participation in group discussion activities and in-class preparations.
For five or more unexcused absences, the final grade will be "D" as specified in the “Course Registration Guide” of our school.
Two instances of tardiness will be counted as one absence.
*The course outline may be subject to change depending on progress.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided
documentation and complete a brief preparation task that will be
explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:

This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided
documentation and complete a brief preparation task that will be
explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%
)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

NEIL CONWAY

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Class time will be focused on group and pair work; Active Learning methodologies will be evidenced in all project work. There will be opportunities for students to write and prepare short research-based presentations. Students will be expected to read assigned (or researched) texts each week and report both in verbal and written form. During class, feedback on homework is given using examples from successful reports /assignments. Students are encouraged to share their work and reflect on methods of improvement. The grading methodology is explained at the start of the course along with key information on presenting work properly and advice on achieving good grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction to the course and the work to be ccovered.	Students will recieve guidance on how to successfully complete the course,
2.	Introductions	Talking about other people. Focus on Speaking: voice, posture.
3.	Continuation of the previous theme. First Book Report.	Continuation. Each student will make a book report to their group.
4.	Writing a Book Review	Introduction to the paragraph format. Template for written book review homework.
5.	A Favorite Place	Talking about places. Descriptive language, using voice inflection.
6.	Presentation of the previous theme.	Focusing on voice, posture, eye contact.
7.	A prized possession	Focusing on description and emotion.
8.	Presentation of the previous theme.	Voice, posture, eye contact and gestures.
9.	A Memorable Experience	Organization. Using visual aids.
10.	Presentation of the previous theme.	Putting together all that we have covered.
11.	Show Me How	Show us how to do something.
12.	Presentation of the previous theme.	Clear explanations. Sign posts and transitions.
13.	Movies and Music	Talking about likes and dislikes. Expressing an opinion.
14.	Presentation of the previous theme.	Organization.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.

【テキスト（教科書）】
You must have a dictionary: paper or electronic (NOT a phone).
No textbook. Materials will be supplied by the teacher and students.

【参考書】
Bailey, S., Academic Writing: A Handbook for International Students (Fourth Edition). Routledge (2015). ISBN: 978-1138778504.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
A good dictionary is required. One example is:
Longman Dictionary of Contemporary English (Fifth edition). (2009). Harlow: Pearson Education Limited.
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%

【学生の意見等からの気づき】
Presentations may now use automated slide progression. Add an audio-visual element has been introduced to assist in understanding summary writing. Book genres have been clarified in the Week 3 lesson. More time is now available in class for practice.

【学生が準備すべき機器他】
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/coloured pencils for making notes
an inexpensive timer (such as a 100 Yen shop kitchen timer) which can display seconds and minutes. A digital watch with a countdown function is fine, although an analogue watch is not. *You may not use a smartphone for this purpose*

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.
Grading Criteria:
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%
This class has a strict "NO Smartphones" policy. Your teacher will explain it to you on the first day of class.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

早舩　由紀見

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
本授業では、大学生活やサイエンスに関わる英語表現を学び、それを応用して英語でコミュニケーションできる能力を身に付け、グローバル化した社会への対応力を養う。
具体的には以下を目標とする。
1）基礎的な会話力を身につける。
2）文法知識を定着させる。
3）基礎的な英語力を発展させ、自分の話したいことが話せるよう応用力を身につける。
毎回の授業で以下内容を実施し、目標を達成できるようにしていく。
・例文の暗唱や短文の音読によりスムーズに話せるよう練習
・文法の復習を行い、文法的に正しい文を話す
・教科書の各章のテーマについてペアやグループでのディスカッションを行う

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
音読や例文を暗唱することからスタートし、徐々に自分の言葉で話せるよう練習します。
教科書に沿って毎回1テーマについて会話の練習を行い、文法の復習、リスニング、リーディングなどの課題も行います。
教科書の内容について、グループ内プレゼンテーションを複数回行い、自分の考えをまとめて話す練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	文法：be動詞・疑問詞 会話テーマ：スモールトーク
2	Unit 2	文法：一般動詞(現在形) 会話テーマ：クラブ活動
3	Unit 3	文法：一般動詞(過去形) 会話テーマ：専攻
4	Unit 4	文法：進行形 会話テーマ：アルバイト
5	Unit 5	文法：未来表現 会話テーマ：学校行事
6	中間テスト Unit 6	文法：助動詞 会話テーマ：プレゼン準備1
7	Unit 7	文法：受動態 会話テーマ：プレゼン準備2
8	Unit 8	文法：現在完了形 会話テーマ：情報倫理
9	Unit 9	文法：不定詞 会話テーマ：実験
10	Unit 10	文法：形容詞・副詞 会話テーマ：レポート
11	Unit 11	文法：分詞 会話テーマ：アプリ開発
12	Unit 12	文法：動名詞 会話テーマ：語学研修
13	Unit 13	文法：関係詞 会話テーマ：試験勉強
14	期末テスト	期末テストおよび振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・予習(リーディングの文を読んでくる)
・新しい語や表現を調べる
・授業で習った表現を復習する

【テキスト（教科書）】
Let's Read Aloud &Learn English
音読で学ぶ基礎英語《サイエンス編》
成美堂

【参考書】
必要に応じて、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（課題への取り組み度合い、提出物）　70%
中間テスト 15%
期末テスト 15%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習の時間を増やす。
学生の理解を確認しながら授業を進めていく。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコンを使用する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens.　Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will develop listening skills and apply them to acquire the ability to communicate in English.
【Learning activities outside of classroom】
- Preparation for the next class (text reading)
- Look up a dictionary for new vocabulary and expressions
【Grading Criteria /Policy】
Participation in class (in and out of class assignments) 70%
Mid-term exam 15%
End-of-term exam 15%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
Students will be able to communicate and elicit information in a range of everyday social and academic interactions. Students will acquire an awareness of basic techniques to facilitate communication cross-culturally.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Each unit of the textbook is themed, structures and vocabulary associated with the theme is presented ias a listening, then used as a basis for guided practice in group and pair work. Critical academic skills are introduced with a short reading and a short video based on the theme (which may be done outside the class). A communicative activity carried out in pairs, groups or as a whole class reinforces the practical application of the language presented in each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Unit 1　Hobbies	Explanation of class structure, grading criteria and rules. Introduction to online content Introductions Verb+Infinitive
2	Unit 2　Clothes and Colors	Comparatives Asking Opinions
3	Unit 3　An active life	Verb + Noun Repetition &Showing Attention
4	Unit 4 Getting around	Indirect Questions Interrupting politely
5	Unit 5 Personality	Simple Present vs Present Continuous Showing surprise
6	Unit 6 Cooking	Imperatives and Sequence Markers Showing understanding
7	Review &Mid-term Review Test	Review Units 1-6
8	Unit 7　Weather	Superlatives Asking to confirm understanding
9	Unit 8　Everyday Activities	Past Continuous Apologising
10	Unit 9 Maths, History &Art	Adjectives ending *-ed* and *-ing* Softening opinions
11	Unit 10 A busy semester	Present Perfect Agreeing
12	Unit 11 Favors and requests	Polite Request forms Explaining Reasons
13	Unit 12 Before you travel	Obligation - *have to* Asking follow up questions
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some elements of the units that are suitable may be assigned as work to be done outside class. Completion of tasks set outside class will utilise the Language Management system to confirm completion.

【テキスト（教科書）】
Stretch 2 (Susan Stempelski, Oxford University Press,2014) ISBN 978-0-19-460313-3 c.￥3,500

【参考書】
Online resources are available after registration with an access code provided with the student textbook at www.oxfordlearn.com

【成績評価の方法と基準】
Unit Review Testing 35%
In-class contribution 20%
Mid-term Review test 15 %
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】
The element of play and competition in pair and group activities provided to facilitate language practice will be accentuated.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need to use a computer to access online resources and to access tests and quizzes on the Education Management System.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

磯部　芳恵

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。
Students will be able to communicate and elicit information based on the film. Students will acquire an awareness of basic techniques to facilitate communication cross-culturally.

【到達目標】
This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Classroom methods include:
1. watching the video
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
4. Acting out Exercise F
Feedback will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	授業の進め方、評価方法について説明する。
第2回	Unit 1 Meeting Truman	単語、リスニング。
第3回	Unit 1 Meeting Truman	内容理解問題、ディスカッション。
第4回	Unit　2 Fear of the Ocean	単語、リスニング。
第5回	Unit 2 Fear of the Ocean	リスニング。
第6回	Unit 3 Lauren & Sylvia	内容理解問題、ディスカッション。
第7回	Unit 3 Lauren & Sylvia	内容理解問題。
第8回	Unit 4 Something Strange Is Going On	単語、リスニング。
第9回	Unit 4 Something Strange Is Going On	内容理解問題。
第10回	Unit　5 Truman Tries to Leave	単語、リスニング。
第11回	Unit 5 Truman Tries to Leave	内容理解問題。
第12回	Unit 6 Truman and Meryle Go for a Ride	単語、リスニング。
第13回	Unit 6 Truman and Meryle Go for a Ride	内容理解問題とTOEIC 模擬テスト。
第14回	Review &wrap up	春学期の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to　have read the relevant chapter(s) from the text.
Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
The Truman Show New Format Edition（松柏社）
『TOEIC TEST リスニング スピードマスター』（Jリサーチ出版）1,400円。

【参考書】
必要に応じて講義中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided on the following:
term-end exam 40%, homework 30%, in class contribution 30%.
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間を多くする。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や血でき、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。
・対面授業を最低８回は確保する。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students
The first goal of the course is for students to increase the knowledge of American culture. The second goal is for students to express their own thoughts and opinions.
Classroom methods include:
1. watching the video
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
4. Acting out Exercise F
Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(30%), and quizzes and tests(30%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

磯部　芳恵

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will be able to communicate and elicit information based on the film. Students will acquire an awareness of basic techniques to facilitate communication cross-culturally.
「本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course will help students to improve their ability to communicate in English. Students will increase their confidence in English through talking about a variety of everyday topics. Students will focus in particular on developing and explaining their own opinions and ideas.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Classroom methods include:
1. watching the video
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
4. Acting out Exercise F
Feedback about assingements will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	授業の進め方、評価方法について説明する。
第2回	Unit 1 Meeting Truman	単語、リスニング。
第3回	Unit 1 Meeting Truman	内容理解問題、ディスカッション。
第4回	Unit　2 Fear of the Ocean	単語、リスニング。
第5回	Unit 2 Fear of the Ocean	リスニング。
第6回	Unit 3 Lauren & Sylvia	内容理解問題、ディスカッション。
第7回	Unit 3 Lauren & Sylvia	内容理解問題。
第8回	Unit 4 Something Strange Is Going On	単語、リスニング。
第9回	Unit 4 Something Strange Is Going On	内容理解問題。
第10回	Unit　5 Truman Tries to Leave	単語、リスニング。
第11回	Unit 5 Truman Tries to Leave	内容理解問題。
第12回	Unit 6 Truman and Meryle Go for a Ride	単語、リスニング。
第13回	Unit 6 Truman and Meryle Go for a Ride	内容理解問題とTOEIC 模擬テスト。
第14回	Review &wrap up	春学期の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to　have read the relevant chapter(s) from the text.
Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
The Truman Show New Format Edition（松柏社）
『TOEIC TEST リスニング スピードマスター』（Jリサーチ出版）1,400円。

【参考書】
必要に応じて講義中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided on the following:
term-end exam 40%, homework 30%, in class contribution 30%.
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間を多くする。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や血でき、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。
・対面授業を最低８回は確保する。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students
The first goal of the course is for students to increase the knowledge of American culture. The second goal is for students to express their own thoughts and opinions.
Classroom methods include:
1. watching the video
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
4. Acting out Exercise F
Grading will be based on participation in class activities(40%), homework(30%), and quizzes and tests(30%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALDER mark

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to enhance students skills of fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Techniques for handling introductions and increasing the length and interest level of conversations.
2	Family and leadership	Talking about lifestyle choices
3	Describing/Manners	Students will have the opportunity to talk about some of their favorite things.
4	Ted Talk	Students will listen to a Ted Talk about communication strategies and write a report
5	The Past	Students will have the opportunity to tell stories from their childhood memories
6	Travel and Rules	Students will discuss living arrangements and thoughts about order and structure
7	Consolidation	Students will have the opportunity to create longer conversations based on the vocabulary and phrases from earlier chapters to create realistic conversations
8	Problems and Solutions	Students will discuss a variety of scenarios about their future.
9	Describing trends	Students will discuss trends, past and present and how they affect culture
10	VOA current news summary and opinion	Using the Voice of America app, students will review current news events and write a report using vocabulary from the text
11	DVD-harassment	DVD listening and creative writing practice with the theme of bullying
12	Friendship and marriage	Students will discuss dating and marriage customs and how the culture of romance is changing
13	Travel	Students will discuss aspects of travel and practice their storytelling technique.
14	Final conversation review	Partner based conversation to show consolidation of the second part of the course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Most of the work done outside class will be summary writing tasks assigned at the end of each class. Some creative conversation tasks will also be assigned.

【テキスト（教科書）】
Speak Now 3.
Oxford
ISBN:978-0-19-403017-5

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Mid-term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments40%

【学生の意見等からの気づき】
There will be more emphasis on conversations based on daily life issues.

【学生が準備すべき機器他】
DVD player, Blackboard

【None】
None

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, levelled classes for maximum effectiveness.
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.
Learning activities outside this class will focus on watching video of TED talk lectures and preparing discussion and summary points. Also, regular homework-grammar and vocabulary practice from the review sections of the textbook.
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.
Mid-term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALDER mark

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
This class will be student centred, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Techniques for handling introductions and increasing the length and interest level of conversations.
2	Family and Leadership	Talking about lifestyle choices
3	Describing/Manners	Students will have the opportunity to talk about some of their favorite things.
4	Ted Talk	Students will watch and listen to a Ted Talk about communication strategies and write a report
5	Younger days	Students will have the opportunity to tell stories from their childhood memories
6	Travel and Rules	Students will discuss living arrangements and thoughts order and structure
7	Consolidation	Students will have the opportunity to create and present longer conversations based on the first chapters of the book
8	Problems and Solutions	Students will discuss a variety of scenarios about their future
9	Describing trends	Students will discuss some trends in Japan, past and present, and how they affect culture
10	VOA current news, summary and opinion	Using the Voice of America app, students will review current news events and write a report using vocabulary from the text
11	Bullying	DVD listening and watching with a creative writing practice, focusing on a bullying theme
12	Marriage and Partnerships	Students will discuss marriage customs and how they are changing our ideas about couples
13	Exciting times	Students will discuss aspects of travel and practice their storytelling technique.
14	Final conversation	Partner based conversation/ storytelling to show consolidation of the second part of the course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】All of the work done outside class will be Summary writing tasks assigned at the end of each class. Some creative conversation tasks will also be assigned.

【テキスト（教科書）】
Speak Now 3.
Oxford.
ISBN: 978-0-19-403017-5

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Mid term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments 40%

【学生の意見等からの気づき】
There will be more emphasis on talking about small everyday aspects of student life.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionary

【None】
None

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, levelled classes for maximum effectiveness.
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.
Learning activities outside this class will focus on watching video of TED talk lectures and preparing discussion and summary points. Also, regular homework-grammar and vocabulary practice from the review sections of the textbook.
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.
Mid-term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided
documentation and complete a brief preparation task that will be
explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:

This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided
documentation and complete a brief preparation task that will be
explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%
)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

太田　美智子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to heighten your vocabulary, listening and English communication skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
You will learn and use key vocabulary and useful phrases. You will be given listening tasks.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Explanation of Class Rules. Get to know each other.
2	Unit 1	William's Notting Hill &She
3	Unit 2	Surreal,But Nice
4	Unit 3	A Goddess Is A Movie Star
5	Unit 4	Birthday Party
6	quiz	Quiz
7	Unit 5	A Date With Anna
8	Unit 6	She's Gone
9	Unit 7	She's Back
10	Unit 8	Rude Awakening
11	quiz	quiz
12	Unit 9	Like Me Again
13	Unit 10	The Right Decision
14	quiz	quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】You are expected to preview each lesson.

【テキスト（教科書）】
Notting Hill, Richard Curtis, Shohakusya, 2018, 2100yen

【参考書】
No references.

【成績評価の方法と基準】
Class work and participation 30%
Short reports 20%
Examinations 50%

【学生の意見等からの気づき】
Learning English through movies are effective. Let's study English together.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students.
The goal of this class is to heighten your vocabulary, listening and English communication skills.
You will learn and use key vocabulary and useful phrases. You will be given listening tasks.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.
You are expected to preview each lesson.
Grading:
Class work and participation 30%
Short reports 20%
Examinations 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

NEIL CONWAY

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Class time will be focused on group and pair work; Active Learning methodologies will be evidenced in all project work. There will be opportunities for students to write and prepare short research-based presentations. Students will be expected to read assigned (or researched) texts each week and report both in verbal and written form. During class, feedback on homework is given using examples from successful reports /assignments. Students are encouraged to share their work and reflect on methods of improvement. The grading methodology is explained at the start of the course along with key information on presenting work properly and advice on achieving good grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction to the course and the work to be ccovered.	Students will recieve guidance on how to successfully complete the course,
2.	Introductions	Talking about other people. Focus on Speaking: voice, posture.
3.	Continuation of the previous theme. First Book Report.	Continuation. Each student will make a book report to their group.
4.	Writing a Book Review	Introduction to the paragraph format. Template for written book review homework.
5.	A Favorite Place	Talking about places. Descriptive language, using voice inflection.
6.	Presentation of the previous theme.	Focusing on voice, posture, eye contact.
7.	A prized possession	Focusing on description and emotion.
8.	Presentation of the previous theme.	Voice, posture, eye contact and gestures.
9.	A Memorable Experience	Organization. Using visual aids.
10.	Presentation of the previous theme.	Putting together all that we have covered.
11.	Show Me How	Show us how to do something.
12.	Presentation of the previous theme.	Clear explanations. Sign posts and transitions.
13.	Movies and Music	Talking about likes and dislikes. Expressing an opinion.
14.	Presentation of the previous theme.	Organization.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.

【テキスト（教科書）】
You must have a dictionary: paper or electronic (NOT a phone).
No textbook. Materials will be supplied by the teacher and students.

【参考書】
Bailey, S., Academic Writing: A Handbook for International Students (Fourth Edition). Routledge (2015). ISBN: 978-1138778504.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
A good dictionary is required. One example is:
Longman Dictionary of Contemporary English (Fifth edition). (2009). Harlow: Pearson Education Limited.
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%

【学生の意見等からの気づき】
Presentations may now use automated slide progression. Add an audio-visual element has been introduced to assist in understanding summary writing. Book genres have been clarified in the Week 3 lesson. More time is now available in class for practice.

【学生が準備すべき機器他】
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/coloured pencils for making notes
an inexpensive timer (such as a 100 Yen shop kitchen timer) which can display seconds and minutes. A digital watch with a countdown function is fine, although an analogue watch is not. *You may not use a smartphone for this purpose*

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.
Grading Criteria:
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%
This class has a strict "NO Smartphones" policy. Your teacher will explain it to you on the first day of class.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

平賀　史子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the following:
(1) Students will develop the ability to use English language skills to communicate various topics.
(2) Students will acquire four language skills (Reading, Writing, Listening, and Speaking) in English communication more fluently and confidently.
(3) Students will develop the ability to think critically and express their opinions in discussions and short presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this course, students will work on activities individually or in small groups. They are expected to work collaboratively to do various tasks such as group discussion, researching, and presenting topics of interest. Students also do presentations using YouTube. The instructor will provide ongoing support and feedback for students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction /Orientation	Introduction of the course, Orientation, Warm-up activity.
2	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 1	Explanation of YouTube presentation, skills-based work based on the textbook unit.
3	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
4	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 3	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
5	Unit 2 Festivals and Celebrations – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
6	Unit 2 Festivals and Celebrations – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
7	Assessment 1	Preparation and practice. Assessment 1.
8	Unit 3 The Internet and Technology – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
9	Unit 3 The Internet and Technology – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
10	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
11	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
12	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 3	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
13	Assessment 2	Preparation and practice. Assessment 2.
14	Course Review	Review of the course, make-ups, and goal setting.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
本授業の準備・復習時間は、計4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Unlock 2nd edition Level 2 Reading, Writing and Critical Thinking Student's Book A with Digital Pack
Richard O'Neil and Michele Lewis with Chris Sowton
Cambridge University Press (ISBN: 9781009364874) 2,600 yen (+ tax)

【参考書】
Teacher will provide additional material.

【成績評価の方法と基準】
The final grade will be decided based on the following:
Assessment 1 (20%), Assessment 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

【学生の意見等からの気づき】
This is the first time for the instructor to teach this course. However, the instructor is willing to be available to take student concerns under consideration throughout the semester.

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to bring either a smartphone, tablet, or laptop computer. Please make sure that it is fully charged before the class and can connect to the internet easily. Also, students are welcome to bring their dictionary (electric or book) in class.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be at least four hours for a class.
The final grade will be decided based on the following:
Assessment 1 (20%), Assessment 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

KOPROWSKI MARK

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students will feel more confident and comfortable discussing everyday topics in English. Students will also learn to use a range of natural communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The development of pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use key vocabulary and conversation strategies in order to have more natural and fluent conversations.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Individual students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Course introduction and explanation	The teacher and students will have an opportunity to introduce and talk about themselves
第2回	Unit 1 Good to Meet You	Key Vocabulary: Meeting someone for the first time Speaking/Listening: Meeting someone new Conversation Strategy 1: Meeting people Conversation Strategy 2: Bouncing
第3回	Unit 2 It Runs in the Family	Key Vocabulary: Physical and personality adjectives Speaking/Listening: Family Conversation Strategy 1: Getting time to think Conversation Strategy 2: Asking for More information
第4回	Unit 3 School Daze	Key vocabulary: School Speaking/Listening: School life Conversation Strategy 1: Agreeing Conversation Strategy 2: Disagreeing
第5回	Unit 4 You Are What You Eat	Key Vocabulary: Food Speaking/Listening: Food and exercise Conversation Strategy 1: Getting more information Conversation Strategy 2: Getting more details
第6回	Unit 5 Shop Till You Drop Unit 6 TGIF (Review 1)	Key Vocabulary: Shopping Speaking/Listening: Going shopping Conversation Strategy 1: Explaining Conversation Strategy 2: Body language
第7回	MID-TERM EXAMINATION (speaking test)	10-minute speaking test (in small groups)
第8回	Unit 7 Friends	Key vocabulary: Friends Speaking/Listening: Friends Conversation Strategy 1: Using tag questions Conversation Strategy 2: Giving compliments
第9回	Unit 8 Road Trip	Key Vocabulary: Travel Speaking/Listening:: Travel Conversation Strategy 1: Making suggestions Conversation Strategy 2: Responding to suggestions
第10回	Unit 9 Blind Date	Key vocabulary: Dating Speaking/Listening: Dating Conversation Strategy 1: Checking for understanding Conversation Strategy 2: Summarizing
第11回	Unit 10 Job Hunting	Key vocabulary: Work Speaking/Listening: Work Conversation Strategy 1: Changing direction Conversation Strategy 2: Changing the topic
第12回	Unit 11 Let's Catch a Flick	Key vocabulary: Movies Speaking/Listening: Movies Conversation Strategy 1: Sharing news Conversation Strategy 2: Reacting to news
第13回	FINAL EXAMINATION & REVIEW: Part 1 (paper test)	Practice for final speaking examination
第14回	FINAL EXAMINATION & REVIEW: Part 2 (speaking)	10-minute speaking test (in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students will be responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time and late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
By the Way... : Strategies for Successful Conversation
Authors: Michael Hensley &Bill Burns
(Macmillan LanguageHouse, 2011, ISBN 9784777363803)

【参考書】
An English-Japanese dictionary will be useful. A good online English-Japanese dictionary can be found here:
https://eow.alc.co.jp/

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments: 20%
Mid-term examination (speaking test):20%
Final examination (paper test):20%
Final examination (speaking test): 20%

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
Students are expected to have the textbook by the second week of class and bring it to class every week. Students should consider the board as an extension of their textbook. As a result, they should take notes on everything the teacher writes on it.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
By the end of the course, students will feel more confident and comfortable discussing everyday topics in English. Students will also learn to use a range of natural communication strategies.
The development of pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use key vocabulary and conversation strategies in order to have more natural and fluent conversations.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Individual students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments: 20%
Mid-term examination (speaking test):20%
Final examination (paper test):20%
Final examination (speaking test): 20%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

早舩　由紀見

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
本授業では、大学生活やサイエンスに関わる英語表現を学び、それを応用して英語でコミュニケーションできる能力を身に付け、グローバル化した社会への対応力を養う。
具体的には以下を目標とする。
1）基礎的な会話力を身につける。
2）文法知識を定着させる。
3）基礎的な英語力を発展させ、自分の話したいことが話せるよう応用力を身につける。
毎回の授業で以下内容を実施し、目標を達成できるようにしていく。
・例文の暗唱や短文の音読によりスムーズに話せるよう練習
・文法の復習を行い、文法的に正しい文を話す
・教科書の各章のテーマについてペアやグループでのディスカッション

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
音読や例文を暗唱することからスタートし、徐々に自分の言葉で話せるよう練習します。
教科書に沿って毎回1テーマについて会話の練習を行い、文法の復習、リスニング、リーディングなどの課題も行います。
教科書の内容について、グループ内プレゼンテーションを複数回行い、自分の考えをまとめて話す練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	文法：be動詞・疑問詞 会話テーマ：スモールトーク
2	Unit 2	文法：一般動詞(現在形) 会話テーマ：クラブ活動
3	Unit 3	文法：一般動詞(過去形) 会話テーマ：専攻
4	Unit 4	文法：進行形 会話テーマ：アルバイト
5	Unit 5	文法：未来表現 会話テーマ：学校行事
6	中間テスト Unit 6	文法：助動詞 会話テーマ：プレゼン準備1
7	Unit 7	文法：受動態 会話テーマ：プレゼン準備2
8	Unit 8	文法：現在完了形 会話テーマ：情報倫理
9	Unit 9	文法：不定詞 会話テーマ：実験
10	Unit 10	文法：形容詞・副詞 会話テーマ：レポート
11	Unit 11	文法：分詞 会話テーマ：アプリ開発
12	Unit 12	文法：動名詞 会話テーマ：語学研修
13	Unit 13	文法：関係詞 会話テーマ：試験勉強
14	期末テスト	期末テストおよび振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・予習(リーディングの文を読んでくる)
・新しい語や表現を調べる
・授業で習った表現を復習する

【テキスト（教科書）】
Let's Read Aloud &Learn English
音読で学ぶ基礎英語《サイエンス編》
成美堂

【参考書】
必要に応じて、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（課題への取り組み度合い、提出物）　70%
中間テスト 15%
期末テスト 15%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習の時間を増やす。
学生の理解を確認しながら授業を進めていく。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコンを使用する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will develop listening skills and apply them to acquire the ability to communicate in English.
【Learning activities outside of classroom】
- Preparation for the next class (text reading)
- Look up a dictionary for new vocabulary and expressions
【Grading Criteria /Policy】
Participation in class (in and out of class assignments) 70%
Mid-term exam 15%
End-of-term exam 15%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

早舩　由紀見

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
本授業では、大学生活やサイエンスに関わる英語表現を学び、それを応用して英語でコミュニケーションできる能力を身に付け、グローバル化した社会への対応力を養う。
具体的には以下を目標とする。
1）基礎的な会話力を身につける。
2）文法知識を定着させる。
3）基礎的な英語力を発展させ、自分の話したいことが話せるよう応用力を身につける。
毎回の授業で以下内容を実施し、目標を達成できるようにしていく。
・例文の暗唱や短文の音読によりスムーズに話せるよう練習
・文法の復習を行い、文法的に正しい文を話す
・教科書の各章のテーマについてペアやグループでのディスカッション

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
音読や例文を暗唱することからスタートし、徐々に自分の言葉で話せるよう練習します。
教科書に沿って毎回1テーマについて会話の練習を行い、文法の復習、リスニング、リーディングなどの課題も行います。
教科書の内容について、グループ内プレゼンテーションを複数回行い、自分の考えをまとめて話す練習を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 1	文法：be動詞・疑問詞 会話テーマ：スモールトーク
2	Unit 2	文法：一般動詞(現在形) 会話テーマ：クラブ活動
3	Unit 3	文法：一般動詞(過去形) 会話テーマ：専攻
4	Unit 4	文法：進行形 会話テーマ：アルバイト
5	Unit 5	文法：未来表現 会話テーマ：学校行事
6	中間テスト Unit 6	文法：助動詞 会話テーマ：プレゼン準備1
7	Unit 7	文法：受動態 会話テーマ：プレゼン準備2
8	Unit 8	文法：現在完了形 会話テーマ：情報倫理
9	Unit 9	文法：不定詞 会話テーマ：実験
10	Unit 10	文法：形容詞・副詞 会話テーマ：レポート
11	Unit 11	文法：分詞 会話テーマ：アプリ開発
12	Unit 12	文法：動名詞 会話テーマ：語学研修
13	Unit 13	文法：関係詞 会話テーマ：試験勉強
14	期末テスト	期末テストおよび振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・予習(リーディングの文を読んでくる)
・新しい語や表現を調べる
・授業で習った表現を復習する

【テキスト（教科書）】
Let's Read Aloud &Learn English
音読で学ぶ基礎英語《サイエンス編》
成美堂

【参考書】
必要に応じて、授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（課題への取り組み度合い、提出物）　70%
中間テスト 15%
期末テスト 15%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習の時間を増やす。
学生の理解を確認しながら授業を進めていく。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコンを使用する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will develop listening skills and apply them to acquire the ability to communicate in English.
【Learning activities outside of classroom】
- Preparation for the next class (text reading)
- Look up a dictionary for new vocabulary and expressions
【Grading Criteria /Policy】
Participation in class (in and out of class assignments) 70%
Mid-term exam 15%
End-of-term exam 15%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

染谷　昌弘

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「コミュニケーション・ストラテジー」２単位 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。
Communication Strategies (2 credits) for【Outline and objectives】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

【到達目標】
・日常生活でやりとりされる英語を聞いて理解できる。
・正確にディクテーションやシャドーイングができる。
・自分の身近なことについて、英語で意見が述べられる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では主に日常的な会話を正確に聴き取り、さらにトピックに関連する内容を自分で作成して発表することを目的とする。テキストにある様々な場面に関する設問に解答しながら進めます。翌週の授業でディクテーションその他の小テストを行うことで、学習内容の定着を図ります。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，対面とします。課題等の提出は、Web Classより行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	テキスト、授業の進め方、課題の提出の仕方、評価方法などについての解説をする。
2	Unit1: Asking and answering personal information Questions	personal information
3	Uni2: Describing people	people
4	Unit3: Asking and talking about special events	special events
5	Unit4: Asking and talking about school subjects	school subjects
6	Unit5: Asking and talking about a trip	trip
7	Unit6: Asking about and describing homes	homes
8	Unit7: Discussing and bargaining for consumer goods	consumer goods
9	Unit8: Asking about and describing jobs	jobs
10	Unit9: Asking for information and making excues	making excues
11	Unit10: Asking for and giving tour information	tour information
12	Unit11: Placing and taking orders for take-out food	orders for take-out food
13	Unit12: Asking and talking about stress and relaxation	stress and relaxation
14	Unit13: Asking and talking about news stories	news stories

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・本授業の準備・復習時間は各４時間を標準とします。
・授業前に指定された課題の準備をする。
・前回の授業で学習した内容を確認し、小テストに備える。
・前回の授業で学習したUnitを各自で視聴し直す。
・次週の授業のテーマを確認し、自分の意見・立場を考え、必要な情報を事前に調べておく。

【テキスト（教科書）】
Hear Me Out 2 David Nunan, Noriko Tomioka センゲージラーニング　2017 (￥2,200)
※教科書は教科書販売期間内に指定の場所で必ず購入して下さい。

【参考書】
英和・和英辞書を毎回必ず持参して下さい。（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業への積極的な参加姿勢　20％
小テスト　50％
提出課題　30%

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムWeb Classを使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に、授業履修に関しての注意事項を説明します。必ず参加すること。
また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業に忘れずに持参すること。この教科書は、一般の本屋さんやアマゾンなどでは購入できませんので、必ず大学で購入して下さい。

【Outline (in English)】
Communication Strategies (2 credits) for【Outline and objectives】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Goal
· To be able to understand daily English conversation.
· To be able to express your own idea of your familiar things.
· To be able to use appropriate word for expression according to the content of the each Unit.
Work to be done outside of classroom
Work to be done outside of class (preparation, etc.)
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues.
Grading criteria
Your overall grade in the class will be decided based on the following:Presentation (50%). Quiz (20%). Submission Assignment (20%). Group Discussion(10%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

染谷　昌弘

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「コミュニケーション・ストラテジー」２単位 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。
Communication Strategies (2 credits) for【Outline and objectives】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

【到達目標】
・日常生活でやりとりされる英語を聞いて理解できる。
・正確にディクテーションやシャドーイングができる。
・自分の身近なことについて、英語で意見が述べられる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では主に日常的な会話を正確に聴き取り、さらにトピックに関連する内容を自分で作成して発表することを目的とする。テキストにある様々な場面に関する設問に解答しながら進めます。翌週の授業でディクテーションその他の小テストを行うことで、学習内容の定着を図ります。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，対面とします。課題等の提出は、Web Class より行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	テキスト、授業の進め方、課題の提出の仕方、評価方法などについての解説をする。
2	Unit1: Asking and answering personal information Questions	personal information
3	Uni2: Describing people	people
4	Unit3: Asking and talking about special events	special events
5	Unit4: Asking and talking about school subjects	school subjects
6	Unit5: Asking and talking about a trip	trip
7	Unit6: Asking about and describing homes	homes
8	Unit7: Discussing and bargaining for consumer goods	consumer goods
9	Unit8: Asking about and describing jobs	jobs
10	Unit9: Asking for information and making excues	making excues
11	Unit10: Asking for and giving tour information	tour information
12	Unit11: Placing and taking orders for take-out food	orders for take-out food
13	Unit12: Asking and talking about stress and relaxation	stress and relaxation
14	Unit13: Asking and talking about news stories	news stories

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・本授業の準備・復習時間は各４時間を標準とします。
・授業前に指定された課題の準備をする。
・前回の授業で学習した内容を確認し、小テストに備える。
・前回の授業で学習したUnitを各自で視聴し直す。
・次週の授業のテーマを確認し、自分の意見・立場を考え、必要な情報を事前に調べておく。

【テキスト（教科書）】
Hear Me Out 2 David Nunan, Noriko Tomioka センゲージラーニング 2017 (￥2,200)
※教科書は教科書販売期間内に指定の場所で必ず購入して下さい。

【参考書】
英和・和英辞書を毎回必ず持参して下さい。（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業への積極的な参加姿勢　20％
小テスト　50％
提出課題　30%

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムWeb Classを使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に、授業履修に関しての注意事項を説明します。必ず参加すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業に忘れずに持参すること。この教科書は、一般の本屋さんやアマゾンなどでは購入できませんので、必ず大学で購入して下さい。

【Outline (in English)】
Communication Strategies (2 credits) for【Outline and objectives】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Goal
・To be able to understand daily English conversation.
・To be able to express your own idea of your familiar things.
・To be able to use appropriate word for expression according to the content of the each Unit.
Work to be done outside of classroom
Work to be done outside of class (preparation, etc.)
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues.
Grading criteria
Your overall grade in the class will be decided based on the following:Presentation (50%). Quiz (20%). Submission Assignment (20%). Group Discussion(10%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

庭山　雄吉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
テキストの内容をただ暗記するのではなく、日常の場面で実践できる英語力を習得することを目指し、実用的な英語力を身につけ、自分自身の意見を英語で発信できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・授業は講義形式ではなく、基本的に学生が主体となる参加型の授業です。毎回、小グループに分かれ、ペアワーク、ロールプレイ、ディスカッションを行います。また、本授業では、プレゼンテーションも取り入れ、効果的なプレゼンテーションの実践について解説します。
・課題等についてのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業全体の概要説明 授業の進め方、予習、復習、Presentation、Role Playing、Class Activitiesについて解説。
2	Unit 2 Are you ready for your first job interview?	就職活動に関連する英語表現を習得します。
3	Unit 3 Do you exercise?	運動やストレッチに関連するた英語表現を習得します。
4	Unit 4 Are you afraid of the future?	世界の未来像について関連する英語表現を習得します。
5	Unit 5 What will happen to the global economy?	世界経済の見通しに関連する英語表現を習得します。
6	Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?	罪のない嘘に関連する英語表現を習得します。
7	Presentation	タイトルをはじめ詳細については2週間前までに授業内で伝達します。
8	Unit 7 Can you eat sushi?	すしや和食に関連する英語表現を習得します。
9	Unit 8 Hobby, habit, or addiction	趣味や習慣に関連する英語表現を習得します。
10	Unit 9 Can money buy happiness?	幸せの価値観に関連する英語表現を習得します。
11	Role Playing	詳細については2週間前までに授業内で伝達します。
12	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?	同調圧力や友人からの圧力に関連する英語表現を習得します。
13	Unit 14 What is the most effective way to study?	効果的な語学の学習方法に関連する英語表現を習得します。
14	総復習	これまで学習した重要表現、重要語句の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各4時間を標準とします。
・Unitの会話文を熟読。
・テキストの巻末にあるGlossariesに記載された英単語を確認。
・UnitのCDを聞き発音を確認。
・Unitの内容について自分自身の意見を英語でまとめる。

【テキスト（教科書）】
マイケル・シェルマン、岩本典子、吉田宏予『REFLECTIONS:Talking about Things That Matter 話題別に学ぶ英語表現術』（南雲堂、2011）1,700円＋税

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
・授業参加度（Class Activitiesへの取り組み）　20%
・Presentation　20%
・Role Playing 20%
・確認テスト　40%

【学生の意見等からの気づき】
・受講生が間違いを恐れず、英語で発言しやすい雰囲気をつくりたいと思います。
・授業内では、受講生どうしが英語で話し合える場をできるだけ多く提供したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書があれば望ましい。

【その他の重要事項】
・欠席は5回となった時点で単位取得不可となります。
・遅刻は2回で1回の欠席とします。
・授業開始から30分以上経過しての遅刻は欠席1回とします。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness. This course offers an opportunity to learn practical communication skills in English through various exercises such as pair work, role playing, and discussion. By the end of the course, students should be able to present their own opinions in practical English. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on class activities (20%), presentation (20%), role playing (20%), and examination (40%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

庭山　雄吉

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
テキストの内容をただ暗記するのではなく、日常の場面で実践できる英語力を習得することを目指し、実用的な英語力を身につけ、自分自身の意見を英語で発信できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・授業は講義形式ではなく、基本的に学生が主体となる参加型の授業です。毎回、小グループに分かれ、ペアワーク、ロールプレイ、ディスカッションを行います。また、本授業では、プレゼンテーションも取り入れ、効果的なプレゼンテーションの実践について解説します。
・課題等についてのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業全体の概要説明 授業の進め方、予習、復習、Presentation、Role Playing、Class Activitiesについて解説。
2	Unit 2 Are you ready for your first job interview?	就職活動に関連する英語表現を習得します。
3	Unit 3 Do you exercise?	運動やストレッチに関連する英語表現を習得します。
4	Unit 4 Are you afraid of the future?	世界の未来像について関連する英語表現を習得します。
5	Unit 5 What will happen to the global economy?	世界経済の見通しに関連する英語表現を習得します。
6	Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?	罪のない嘘に関連する英語表現を習得します。
7	Presentation	タイトルをはじめ詳細については2週間前までに授業内で伝達します。
8	Unit 7 Can you eat sushi?	すしや和食に関連する英語表現を習得します。
9	Unit 8 Hobby, habit, or addiction	趣味や習慣に関連する英語表現を習得します。
10	Unit 9 Can money buy happiness?	幸せの価値観に関連する英語表現を習得します。
11	Role Playing	詳細については2週間前までに授業内で伝達します。
12	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?	同調圧力や友人からの圧力に関連する英語表現を習得します。
13	Unit 14 What is the most effective way to study?	効果的な語学の学習方法に関連する英語表現を習得します。
14	総復習	これまで学習した重要表現、重要語句の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各4時間を標準とします。
・Unitの会話文を熟読。
・テキストの巻末にあるGlossariesに記載された英単語を確認。
・UnitのCDを聞き発音を確認。
・Unitの内容について自分自身の意見を英語でまとめる。

【テキスト（教科書）】
マイケル・シェルマン、岩本典子、吉田宏予『REFLECTIONS:Talking about Things That Matter 話題別に学ぶ英語表現術』（南雲堂、2011）1,700円＋税

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
・授業参加度（Class Activitiesへの取り組み）　20%
・Presentation　20%
・Role Playing 20%
・確認テスト　40%

【学生の意見等からの気づき】
・受講生が間違いを恐れず、英語で発言しやすい雰囲気をつくりたいと思います。
・授業内では、受講生どうしが英語で話し合える場をできるだけ多く提供したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書があれば望ましい。

【その他の重要事項】
・欠席は5回となった時点で単位取得不可となります。
・遅刻は2回で1回の欠席とします。
・授業開始から30分以上経過しての遅刻は欠席1回とします。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness. This course offers an opportunity to learn practical communication skills in English through various exercises such as pair work, role playing, and discussion. By the end of the course, students should be able to present their own opinions in practical English. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on class activities (20%), presentation (20%), role playing (20%), and examination (40%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

KOPROWSKI MARK

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students will feel more confident and comfortable discussing everyday topics in English. Students will also learn to use a range of natural communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
The development of pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use key vocabulary and conversation strategies in order to have more natural and fluent conversations.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Individual students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Course introduction and explanation	The teacher and students will have an opportunity to introduce and talk about themselves
第2回	Unit 1 Good to Meet You	Key Vocabulary: Meeting someone for the first time Speaking/Listening: Meeting someone new Conversation Strategy 1: Meeting people Conversation Strategy 2: Bouncing
第3回	Unit 2 It Runs in the Family	Key Vocabulary: Physical and personality adjectives Speaking/Listening: Family Conversation Strategy 1: Getting time to think Conversation Strategy 2: Asking for More information
第4回	Unit 3 School Daze	Key vocabulary: School Speaking/Listening: School life Conversation Strategy 1: Agreeing Conversation Strategy 2: Disagreeing
第5回	Unit 4 You Are What You Eat	Key Vocabulary: Food Speaking/Listening: Food and exercise Conversation Strategy 1: Getting more information Conversation Strategy 2: Getting more details
第6回	Unit 5 Shop Till You Drop Unit 6 TGIF (Review 1)	Key Vocabulary: Shopping Speaking/Listening: Going shopping Conversation Strategy 1: Explaining Conversation Strategy 2: Body language
第7回	MID-TERM EXAMINATION (speaking test)	7-8 minute speaking test (in pairs)
第8回	Unit 7 Friends	Key vocabulary: Friends Speaking/Listening: Friends Conversation Strategy 1: Using tag questions Conversation Strategy 2: Giving compliments
第9回	Unit 8 Road Trip	Key Vocabulary: Travel Speaking/Listening:: Travel Conversation Strategy 1: Making suggestions Conversation Strategy 2: Responding to suggestions
第10回	Unit 9 Blind Date	Key vocabulary: Dating Speaking/Listening: Dating Conversation Strategy 1: Checking for understanding Conversation Strategy 2: Summarizing
第11回	Unit 10 Job Hunting	Key vocabulary: Work Speaking/Listening: Work Conversation Strategy 1: Changing direction Conversation Strategy 2: Changing the topic
第12回	Unit 11 Let's Catch a Flick	Key vocabulary: Movies Speaking/Listening: Movies Conversation Strategy 1: Sharing news Conversation Strategy 2: Reacting to news
第13回	FINAL EXAMINATION & REVIEW: Part 1 (paper test)	Practice for final speaking examination
第14回	FINAL EXAMINATION & REVIEW: Part 2 (speaking)	7-8 minute speaking test (in pairs)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students will be responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time and late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
By the Way... : Strategies for Successful Conversation
Authors: Michael Hensley &Bill Burns
(Macmillan LanguageHouse, 2011, ISBN 9784777363803)

【参考書】
An English-Japanese dictionary will be useful. A good online English-Japanese dictionary can be found here:
https://eow.alc.co.jp/

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments: 20%
Mid-term examination (speaking test): 20%
Final examination (paper test): 20%
Final examination (speaking test): 20%

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
Students are expected to have the textbook by the second week of class and bring it to class every week. Students should consider the board as an extension of their textbook. As a result, they should take notes on everything the teacher writes on it.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
By the end of the course, students will feel more confident and comfortable discussing everyday topics in English. Students will also learn to use a range of natural communication strategies.
The development of pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use key vocabulary and conversation strategies in order to have more natural and fluent conversations.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Individual students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments: 20%
Mid-term examination (speaking test): 20%
Final examination (paper test): 20%
Final examination (speaking test): 20%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

鈴木　幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語コミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To express personal opinions in English.
2. To discuss familiar/social issues in English.
3. To enhance overall English proficiency.
日常生活に関わる簡単な英会話から始め、英語ニュースやTOEIC教材を手掛かりにして英語４技能を包括的に伸ばす：
・身近な問題や時事問題に対する自分の意見を論理的に述べることができる（Speaking &Writing）
・相手の質問・意見に対して応答できる（Listening &Speaking）
・英語ニュースに慣れる（Reading &Listening）
・TOEIC問題に慣れる（Listening &Speaking）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class, you students will study a specific topic each week, using the textbook, handouts and news website. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: writing/speaking quiz, listening, Q &A, group/pair work, and presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	・Guidance ・Critical Thinking and Discussion ① ・Lesson 1 ・Lesson 2	・Orientation ・Let's read news together!① ・Living Room &Bedroom ・Kitchen
2	・Critical Thinking and Discussion ② ・Lesson 3 ・Lesson 4	・Let's read news together!② ・Bathroom ・Housekeeping
3	・Critical Thinking and Discussion ③ ・Lesson 5 ・Lesson 15	・Let's read news together!③ ・Jobs (1) ・Jobs (2)
4	・Critical Thinking and Discussion ④ ・Lesson 6 ・Lesson 7	・Let's read news together!④ ・Public Transportation ・Car ・Speaking Quiz 1
5	・Critical Thinking and Discussion ⑤ ・Lesson 8 ・Lesson 20	・Let's read news together!⑤ ・School ・Playground ・Writing Quiz 1
6	・Critical Thinking and Discussion ⑥ ・Lesson 9 ・Lesson 10	・Let's read news together!⑥ ・Hospital ・Office
7	・Critical Thinking and Discussion ⑦ ・Lesson 11 ・Lesson 12	・Let's read news together!⑦ ・Sports ・Leisure ・Speaking Quiz 2
8	・Critical Thinking and Discussion ⑧ ・Lesson 13	・Let's read news together!⑧ ・Shopping ・Writing Quiz 2
9	・Critical Thinking and Discussion ⑨ ・Lesson 14	・Let's read news together!⑨ ・Restaurant
10	・Critical Thinking and Discussion ⑩ ・Lesson 16 ・Lesson 17	・Let's read news together!⑩ ・Street ・Crime &Accident ・Speaking Quiz 3
11	・Critical Thinking and Discussion ⑪ ・Lesson 18	・Let's read news together!⑪ ・Party ・Writing Quiz 3
12	・Critical Thinking and Discussion ⑫ ・Lesson 19	・Let's read news together!⑫ ・Airport
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Konaka, Hidehiko, 2014, A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions, Nan'Un-Do. 700 yen (+ tax) ISBN9784523177654
小中秀彦, 2014,『A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions 5分間　日常動作を表す英語表現』南雲堂.

【参考書】
Free news website will be used;
Breaking News English
https://breakingnewsenglish.com/

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
I hope you students enjoy studying English.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To discuss familiar/social issues in English.
2. To express personal opinions in English.
3. To enhance overall English proficiency.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria/Policies】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

花﨑　一夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
リーディングでは、様々なリーディングスキルを活用しながら内容を効率よく把握する力を養成する。
リスニングでは、英語の音声の特徴を踏まえた上で、要点を把握・整理しながら聴くことが出来るようになる。
各種資格試験においても求められる実践的な英語力の土台を固める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業計画におよその学習範囲を提示してありますが、授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。この授業では、学習する部分の内容に関連する課題を各自やって提出してもらうことがあります。それに対するフィードバックは、基本的に次の時間に行います。具体的には、皆さんが提出してくれた答案の中から良いものを取り上げて共有したり、理解が不十分な場合にはどこを修正すべきなのかについてコメントします。そうすることで英文の内容に関する理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1対面	Chapter1	Concepts We Live By
2対面	Chapter2	The Systematicity of Metaphorical Concepts
対面	Chapter3	Metaphorical Systematicity: Highlighting and Hiding
4対面	Chapter4	Orientational Metaphors
5.対面	Chapter5	Metaphor and Cultural Coherence
6対面	Chapter6	Ontological Metaphors
7.対面	Chapter7	Personification
8オンライン	Chapter8	Metonymy
9オンライン	Chapter9	How is Our Conceptual System Grounded?
10.オンライン	Chapter10	How Metaphor Can Give Meaning to Form
11 オンライン	Chapter11	New Meaning
12 オンライン	Chapter12	TBA
13対面	Chapter13	TBA
14.対面	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業中に学習した内容を定着させるために、音読などの演習を自宅などで行う。

【テキスト（教科書）】
Metaphors We Live By
メタファーに満ちた日常世界　１７００円（税抜き）

【参考書】
授業中などに適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
課題５０パーセントと期末テスト５０パーセントを基準とする。変更がある場合には、Hoppiiなどで事前にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
授業の内容に関する課題に対する学生の理解度を知り、それをフィードバックすることが大切であると毎年気づかされているので、今年度の授業でも継続していきたい。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students should be able to attain basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Assignments: 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

柏原　俊樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語の豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、映画やインタビューを通じた効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
複雑な英文も英文の流れのままに頭の中で自然に区切っていけること、また、ごく普通にしゃべっているネイティブの英語をある程度聞き取れるようになることを目標に学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
主に3つの切り口から学んでいく。1つには、映画の脚本を通じて、日常よく使う表現の習得やわかりにくい内容の理解に取り組む。もう1つには、随時実践的な [やや難しい] リスニングも取り入れる。さらに、日本語になくて、どんな分野であろうと英語を深く理解し使いこなしていくためには必要不可欠な、けれどもあまり学習されていないと思われる、いわゆる冠詞についても継続的に勉強していく。口語的表現、実践的リスニング、冠詞のいずれについても、まだまだ訓練の余地がある領域と思われるため、重点的に取り組みたい。原則いつでも受け入れる質問やリアクション、期限を設けたリアクションペーパーや課題については、できる限り早いタイミングでいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパーなどにおけるよいコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 1: HEATHROW ARRIVALS GATE
2	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 1: FAIRTRADE OFFICE
3	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 1: JAMIE'S HOUSE
4	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 2: CHURCH
5	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 2: RADIO STATION
6	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 2: TONY'S STREET
7	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 3: FAIRTRADE OFFICE
8	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 3: GALLERY
9	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 3: WHITEHALL
10	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 4: PM'S OFFICE
11	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 4: MARK'S FLAT
12	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 5: DANIEL'S HOUSE
13	総復習	総復習
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　教科書の予習は必須。
リスニングについては、聞き取ってみたい材料があれば、ぜひチャレンジしてみてください。短い範囲をできればわかるまで繰り返し聞き、解答を見るのは最後の最後にすると効果的です。解答がない場合は、できる限り答え合わせに協力します。

【テキスト（教科書）】
教科書: 『映画総合教材「ラブ・アクチュアリー」』（松柏社）

【参考書】
できれば語源欄のある辞書を使ってください。

【成績評価の方法と基準】
学習したことを身につけているかを試験（学期末試験その他の試験）によって確認する（70％）。英語を通じた知識の獲得・拡充に努めていることを授業への取り組み態度（積極的な質問・発表・小テスト・レポートなど）で示すことを評価する（30％）。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの需要が多いことに改めて気づきました。

【学生が準備すべき機器他】
辞書必携。その他授業中に指示されたものも忘れないようにしてください。

【その他の重要事項】
積極的に発言・質問してください（思い込み歓迎）。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge of the English language, and, based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches through things like films and interviews will be used to strengthen basic English competency.
【Learning Objectives】
The goals of this class is to get to understand complicated English sentences and to be able to hear normally spoken English.
【Learning activities outside of classroom】
It is necessary to read the textbook beforehand.
Also try to write down normally spoken English as much as you can. If you don't have the answers, I'll help you.
【Grading Criteria /Policy】
70 % of the grade is the results of the tests given you. 30 % is according to your attitude of studying.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

渡邊　晶子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
基本的な文法を確実なものにし、語彙を増やしていく。
構文をしっかり理解した上で長文を正確に読めるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習を前提とし、毎回全員を指名していくので、しっかりと準備をしておくこと。
課題等に対するフィードバックは授業内に全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス・小テスト	授業の進め方について説明する。
2	The Bee Colony	品詞について学ぶ。 ミツバチのコロニーについての英文を読む。
3	Space Junk	動詞について学ぶ。 宇宙ゴミについての英文を読む。
4	The Gift of Energy	句動詞について学ぶ。 エネルギーについての英文を読む。
5	Water and Living Things	時制について学ぶ。 水と生き物についての英文を読む。
6	The Sun, Our Powerful Star	時制について学ぶ。 太陽についての英文を読む。
7	Tomorrow's Transportation	主語と動詞の一致について学ぶ。 近未来の乗物についての英文を読む。
8	All That Glitters, Spread, and Stretches	代名詞について学ぶ。 金についての英文を読む。
9	Bioclock - the Time of Your Life	名詞・冠詞について学ぶ。 体内時計についての英文を読む。
10	Right Brain, Left Brain	前置詞について学ぶ。 右脳と左脳についての英文を読む。
11	The Miracle of Vitamins	助動詞について学ぶ。 ビタミンについての英文を読む。
12	Unlocking Submarine Secrets	海底の謎についての英文を読む。
13	Frozen Foods	冷凍食品の発見についての英文を読む。
14	まとめ・試験	重要構文などの確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】テキストの英文の日本語訳を全文、ノートにきちんと書いてくること。

【テキスト（教科書）】
The Wonders of Science　科学の世界（成美堂）
A Shorter Course in Usage and Vocabulary　ポイントで解く語法・語彙問題（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点20％　レポート課題20％　期末テスト60％

【学生の意見等からの気づき】
提出課題や質問等で気づいたことを解説に織り込んでいく。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
The required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。
i)Increasing general proficiency in understanding English texts
ii)Heightening comprehension skills for listening to and reading from English texts

【到達目標】
Development of grammatical and lexical expression in English, as well as contextual meaning through completion of classroom tasks, homework assignments, and a final presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Small teams will engage in practical problem solving exercises to become familiar with the grammar and vocabulary of each lesson. The results of their cooperative efforts will be presented on the blackboard. Individual assignments will also be given, and in-class personal consultations will be available. Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction; Cross-cultural communication	Class operation and materials; Cross-cultural communication (discussion), Online questionnaire
Class 2	Introduction; Cross-cultural communication	Analyzing the results of the questionnaire (workshop)
Class 3	Culture and Difference 1	Events and Festivals. Language focus: gerund.
Class 4	Culture and Difference 2	Habits and Hobbies. Language focus: auxiliary verbs, frequency adverbs.
Class 5	Past Experiences 1	Language focus: past simple and time adverbials.
Class 6	Past Experiences 2	Language focus: present perfect and time adverbials.
Class 7	Past Experiences 3	Language Focus: past simple and present perfect.
Class 8	Societal Issues 1	Environmental Issues: small actions Language focus: suggestions, obligations, and demands
Class 9	Societal Issues 2	Urbanisation and Quality of Life Language focus: comparatives
Class 10	Science and Technology 1	Science and Technology : from past to present Language focus: present perfect (past action with relevance in the present)
Class 11	Science and Technology 2	Science and Technology: Science Education Speaking Skill: showing interest
Class 12	Science and Technology 3	Science and Technology: looking into the future Language focus: future tenses and auxiliaries
Class 13	Class summary and preparation for final presentation	Summary and the contents covered; feedback; instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
Class 14	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
TED Talks;
Breaking News English;
BBC Learning English;
Other materials developed by the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%).

【学生の意見等からの気づき】
Increased practice in oral skills of pronunciation and intonation.

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Caution】
Changes to the schedule may be made in accordance to the proficiency level of the class.

【Outline (in English)】
Course outline:
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive
development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language.Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the
development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Learning Objectives:
Development of grammatical and lexical expression in English, as well as contextual meaning through completion of classroom tasks, homework assignments, and a final presentation.
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

花﨑　一夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
リーディングでは、様々なリーディングスキルを活用しながら内容を効率よく把握する力を養成する。
リスニングでは、英語の音声の特徴を踏まえた上で、要点を把握・整理しながら聴くことが出来るようになる。
各種資格試験においても求められる実践的な英語力の土台を固める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業計画におよその学習範囲を提示してありますが、授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。この授業では、学習する部分の内容に関連する課題を各自やって提出してもらうことがあります。それに対するフィードバックは、基本的に次の時間に行います。具体的には、皆さんが提出してくれた答案の中から良いものを取り上げて共有したり、理解が不十分な場合にはどこを修正すべきなのかについてコメントします。そうすることで英文の内容に関する理解を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1対面	Chapter1	Concepts We Live By
2対面	Chapter2	The Systematicity of Metaphorical Concepts
対面	Chapter3	Metaphorical Systematicity: Highlighting and Hiding
4対面	Chapter4	Orientational Metaphors
5.対面	Chapter5	Metaphor and Cultural Coherence
6対面	Chapter6	Ontological Metaphors
7.対面	Chapter7	Personification
8オンライン	Chapter8	Metonymy
9オンライン	Chapter9	How is Our Conceptual System Grounded?
10.オンライン	Chapter10	How Metaphor Can Give Meaning to Form
11 オンライン	Chapter11	New Meaning
12 オンライン	Chapter12	TBA
13対面	Chapter13	TBA
14.対面	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業中に学習した内容を定着させるために、音読などの演習を自宅などで行う。

【テキスト（教科書）】
Metaphors We Live By
メタファーに満ちた日常世界　１７００円（税抜き）

【参考書】
授業中などに適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
課題５０パーセントと期末テスト５０パーセントを基準とする。変更がある場合には、Hoppiiなどで事前にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
授業の内容に関する課題に対する学生の理解度を知り、それをフィードバックすることが大切であると毎年気づかされているので、今年度の授業でも継続していきたい。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students should be able to attain basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Assignments: 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

柏原　俊樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語の豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、映画やインタビューを通じた効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
複雑な英文も英文の流れのままに頭の中で自然に区切っていけること、また、ごく普通にしゃべっているネイティブの英語をある程度聞き取れるようになることを目標に学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
主に3つの切り口から学んでいく。1つには、映画の脚本を通じて、日常よく使う表現の習得やわかりにくい内容の理解に取り組む。もう1つには、随時実践的な [やや難しい] リスニングも取り入れる。さらに、日本語になくて、どんな分野であろうと英語を深く理解し使いこなしていくためには必要不可欠な、けれどもあまり学習されていないと思われる、いわゆる冠詞についても継続的に勉強していく。口語的表現、実践的リスニング、冠詞にいずれについても、まだまだ訓練の余地がある領域と思われるため、重点的に取り組みたい。原則いつでも受け入れる質問やリアクション、期限を設けたリアクションペーパーや課題については、できる限り早いタイミングでいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパーなどにおけるよいコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 1: Hotel's Open Sun Desk
2	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 1: Lampert Apartment House
3	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 2: Granpiere's Office
4	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 2: Funeral Chapel
5	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 3: The American Embassy
6	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 3: Bartholomew's Office
7	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 4: Park
8	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 4: Nightclub
9	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 5: Hotel
10	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 5: A Villain's Room
11	文法・語法に基づいた内容の理解	SCENE 5: THE DRAWING ROOM AT NUMBER 9 THORNTON SQUARE
12	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 6: Regina's Room
13	総復習	総復習
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　教科書の予習は必須。
リスニングについては、聞き取ってみたい材料があれば、ぜひチャレンジしてみてください。短い範囲をできればわかるまで繰り返し聞き、解答を見るのは最後の最後にすると効果的です。解答がない場合は、できる限り答え合わせに協力します。

【テキスト（教科書）】
教科書: 『シャレード』（開文社出版）

【参考書】
できれば語源欄のある辞書を使ってください。

【成績評価の方法と基準】
学習したことを身につけているかを試験（学期末試験その他の試験）によって確認する（70％）。英語を通じた知識の獲得・拡充に努めていることを授業への取り組み態度（積極的な質問・発表・小テスト・レポートなど）で示すことを評価する（30％）。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの需要が多いことに改めて気づきました。

【学生が準備すべき機器他】
辞書必携。その他授業中に指示されたものも忘れないようにしてください。

【その他の重要事項】
積極的に発言・質問してください（思い込み歓迎）。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge of the English language, and, based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches through things like films and interviews will be used to strengthen basic English competency.
【Learning Objectives】
The goals of this class is to get to understand complicated English sentences and to be able to hear normally spoken English.
【Learning activities outside of classroom】
It is necessary to read the textbook beforehand.
Also try to write down normally spoken English as much as you can. If you don't have the answers, I'll help you.
【Grading Criteria /Policy】
70 % of the grade is the results of the tests given you. 30 % is according to your attitude of studying.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小畑　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit2 Sleep Matters (Health Science) Part A	「睡眠の重要性」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit2 Sleep Matters (Health Science) Part B	「睡眠の重要性」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit 3 Cyborg Tech (Engineering) Part A	「サイボーグ」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit 3 Cyborg Tech (Engineering) Part B	「サイボーグ」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 2-3	Unit 2-3の単語テスト及びレビューを行う。
7	Unit 4 Happy Planet (Statistics) Part A	「幸福度の測定」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit 4 Happy Planet (Statistics) Part B	「幸福度の測定」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit 5 Career Paths (Business) Part A	「将来設計」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit 5 Career Paths (Business) Part B	「将来設計」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 4-5	Unit 4-5の単語テスト及びレビューを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEICのReading, Listeningセクションの問題を解き、長期休暇期間中の英語の学習の仕方を学ぶ。
13	春学期のまとめ	春学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 3)", Cengage Learning.
ISBN: 9781305265714
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15％
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

今政　肇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語のリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの四技能の総合的な発展を目的とします。言わずもがなですが、理工系・生命系の学生にとって英語は知識生産の世界共通言語として必須です。それだけでなく、その習得はますます複雑に変化していく世界の中で専門分野をより理解し、何らかの貢献をするためにも欠かせません。そうした目標を念頭に置きつつ、本授業はリスニングやリーディングというインプットをベースに総合的なコミュニケーション能力を培っていくことを基本方針に様々な教授方法を取り入れ実施します。

【到達目標】
①リアルな英語の発話や表現を視聴覚的に接することで、感覚的な素地を整えリスニング力が高まります
②多読により英語を読むことに慣れ、より高度なテキストの読解を併用することで豊富な語彙および表現に接することが出来ます。
③そうした語彙や表現を作文や発話に使用することで自分のものに出来ます。
④英語を使ったディスカッションやプレゼンテーションの技術を習得することが出来ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは原則的に授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。
必要に応じて授業の進め方や方法を変更することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit2 Trends Part A	Trendsに関する本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答します。
3	Unit 2 Trends Part B	Trendsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答します。
4	Unit 3 Improving Lives Part A	Improving Livesに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit 3 Improving Lives Part B	Improving Livesに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Unit 4 Designing the Web Part A	Designing websitesに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
7	Unit 4 Designing the Web Part B	Designing websitesに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
8	Mid-term Review	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
9	Unit 5 Community Builders Part A	Community Buildersに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit 5 Community Builders Part B	Community Buildersに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Unit 6 Clear Communication Part A	Clear Communicationに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
12	Unit 6 Clear Communication Part B	Clear Communication に関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
13	小グループに分かれてプレゼンテーションの準備	ワークショップとリハーサル
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション、読書ログの提出、今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。
・プレゼンテーションやクイズの準備
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分)、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください)。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., &Stephenson, H., (2021) Keynote, American English Level 3 with Spark Access + e-Book (1 year access), National Geographic Learning/Cengage Learning.
ISBN: 9798214333878
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
学習者用の英英辞書（英和辞書よりも英英辞書を使ってください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　１５％
小テスト　１５％
授業への参加　３０％
プレゼンテーション　２５％
読書ログ　１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The objective of this class is comprehensive development of four skills–listeing, reading, speaking and writing. Needless to say, learning English is necessary for students in science, engineering and life sciences as a global common language for knowledge production. Not only that, mastering it is also essential to deepen one's understanding of their specialized field within an increasingly complex and changing world and to make some sort of contribution. With these goals in mind, this class will incorporate a variety of teaching methods with the basic policy of cultivating comprehensive communicative ability based on input–namely listening and reading.
[Learning Objectives]
(1) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop a sensory foundation and improve your listening ability.
(2) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(3) By using them in your own writing and speech, you can make them your own.
(4) You can develop discussion and presentation skills in English.
[Learning activities outside of classroom]
Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.

Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (15%), [2] quiz (15%), [3] class participation (30%), [4] presentation (25%), [5]reading log [15%]

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

島田　顕

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を養うことが目標である。英国の歴史に関するテキストを用いる。まずテープを何度も聴いて、イントネーションや速さなどのネイティブの発音になれてほしい。そしてテキストを何度も読み、正しく翻訳し、内容を確実に把握し、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現をしっかりと身につける。さらには英作文、リスニングを中心とした練習問題を通じて、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を会話、作文で自由に使えるようになるように体得する。総じて英語表現力を豊かなものにする。また英国の歴史についてのテキストを用いることから英国の歴史、さらにはヨーロッパの歴史についていくらかでも知ってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な語彙・基礎的な文法の知識の定着を図ると同時に、それに支えられたリスニング力、リーディング力、ライティング力、スピーキング力を向上させるために、具体的にやることは次の通りである。①テキストを何度も声に出して読むこと（授業内では実際に声に出して読んでもらう）。②テープを何度も聞くこと（授業内では最低2回は聴く。できれば予復習でも複数回聴いてほしい）。③ネイティブの発音（イントネーション、速さ）になれること（リスニング問題も含めて。何度も聞くことによりなれてくる）。④テキストを正確に翻訳すること（意訳ではなくテキストの表現に沿って訳してほしい。予習では日本語訳をノートに書くことをお勧めする。授業中では正しい訳、内容を知り、自分が書いてきたものを訂正する）。⑤テキストの内容を正確に把握すること。⑥テキストの内容を把握したのちに、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を体得すること（会話、作文で使えるようにする。新出単語を含む文章は書き出しておくこと）。⑦英語表現力（英作文）をより豊かなものにすること（英作文問題も含めて）。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Lesson　1	Lesson　1 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Lesson　2	Lesson　2 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Lesson　3	Lesson　3 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Lesson　4	Lesson　4 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Lesson　5	Lesson　5 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	小テスト	小テスト 答え合わせ 復習 その他
第8回	Lesson　6	Lesson　6 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Lesson　7	Lesson　7 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Lesson　8	Lesson　8 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Chapter　9	Chapter　9 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Lesson　10	Lesson　10 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめ or 予備日	まとめ その他
第14回	授業内試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、EXERCISES等の問題は全員にあてる。予習は必ずやること。単語調べだけの「予習」は予習にあらず。必ず訳をノートに書いてくること。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。また原則として遅刻は認めない（遅刻は欠席とみなす）。尚、各学期４回以上欠席の場合は、期末試験の受験資格を失うものとする。

【テキスト（教科書）】
テキスト：『Spotlight on Britain イギリスを探る』（南雲堂）

【参考書】
豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）：文法の参考書である。
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進み方を速くし，小テスト・提出物の回数を多くする。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
（Course outline）

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
（Learning Objectives）
We aim to cultivate comprehensive English basic skills in this lesson. Using texts about History of England, we read the contents, translate, grasp, hold down the expression used in the text and enrich expressiveness by practice questions centered on English composition and listening. Since the theme of text is British history, we must learn the history of Britain, European history and world history, as a sub-theme of this lesson.
（Learning activities outside of classroom）
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson. The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
（Grading Criteria /Policy）
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小林　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力正確な文法力の定着を図り、それに支えられた４技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な英語力の向上を目的とする。また、理工・生命系の分野においては、英語が世界の共通語となっていることを受け、将来の技術者・研究者に求められる、英語での理解力・発信力を培うための授業とする。併せて、英文を楽しんで読む機会を設ける。

【到達目標】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。また、英文を楽しんで読む能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
英文の読解を中心にするが、リスニングや英作文の練習も行う。オンラインで授業を進めますが、リスニング、長文読解を問う課題を提出してもらい、フィードバックを行います。対面での授業を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業と評価方法に付いての説明。
第2回	教科書以外の英文	使用するテクストの説明、英和辞典のひき方。
第3回	Unit 1	テクストを読む。
第4回	Unit 1	テクストを読む、品詞の違いなど。
第5回	Unit 2	テクストを読む、自動詞、他動詞の違いなど。
第6回	Unit 2	テクストを読む。
第7回	Unit 3	テクストを読む。
第8回	Unit 3	リスニングの練習、TOEICのための語彙。
第9回	TOEIC対策	テクストを読む。
第10回	Unit 4	テクストを読む。
第11回	Unit 5	テクストを読む。
第12回	Unit 6	英作文の練習。
第13回	Unit 7	テスト前に質問を受け付ける。
第14回	期末テスト	英文和訳を中心に試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】必ず復習をすること、そして指示された場合には予習をして授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
Reading Wonders　（金星堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】学期末の試験の点数(80%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(20%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
多様な形で英語に触れあう授業としたいと思います。しかしコロナ、インフルエンザへの対応はしっかり行っています。

【学生が準備すべき機器他】
ありません。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
【到達目標（Learning Objectives）】
The aim of this course is to help students acquire comprehensive English abilities. At the end of this course, students are expected to read various English writings and have higher listening and writing abilities.
授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
After each class meeting, students are expected to spend four hours to understand the course content.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Your overall grade in the class will be decided on the following: term-end examination 80%and in-class contribution 20%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

中野　里美

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
At the end of the course, students are expected to improve their English comprehensive skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
By listening to recorded materials about social issues and reading some other news reports, participants will be able to understand, think about or discuss the matters in the world. To begin with, you will be given warm-up handout and then engage in some tasks. Feedback will be conducted in each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction and guidance	Students will be known about this course
第2回	Knowing about the environment	Author Takano says Japan has become ‘outlying zone’ in the world
第3回	Knowing about the environment	All Japanese will be ‘Sato’ by 2531 if Japan keeps same-surname marriage system: research
第4回	Changing climate	Japan business leaders call for choice of separate surnames
第5回	Changing climate	In Taiwan, a group is battling fake news one conversation at a time
第6回	Thinking and talking about sports	Kyoto may launch tourist express bus service to beat overcrowding
第7回	Thinking and talking about sports	Osaka weighs ‘entry fee’ or foreign tourists in bid to combat overtourism
第8回	Thinking about international relationship	Illegal Mopeds and Fake Names
第9回	Thinking about international relationship	Japan produces 1st pigs designed for organ transplants
第10回	Thinking about international relationship	Marshall Islands seeks to partner with Japan on nuclear issues
第11回	Thinking about international relationship	Mass kidnappings of Nigerian students leave parents in shock and despair
第12回	Thinking about playing in active in the world	Foreign firefighters stifled by Japan government bureaucratic smoke screen
第13回	Thinking about playing in active in the world	UN chief urges the EU to avoid ‘double standards’ over Gaza and Ukraine
第14回	Review	Final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Students will be asked to prepare for texts before and after the class.

【テキスト（教科書）】
A print or PDF will be distributed and uploaded.

【参考書】
Participants will be given some information in the class.

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 60%, and tasks in this class 40%
理由のない半期の3分の1以上または5回以上の欠席で不合格とし、評価の対象外とします。公欠届、病欠（診断書、日付とフルネーム入りの病院の領収書など）などは証明できるものを持参すること。遅刻は授業開始１５分以降の入室から。３回目の遅刻を１回欠席に換算します。こちらも遅延証明書があれば、当授業内に、持参した場合のみ有効とします。期末テスト60%,平常点やタスク40%

【学生の意見等からの気づき】
If you have any questions, please feel free to ask them in the class.

【Outline (in English)】
（Course outline）This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking).
（Learning Objectives）In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning activities outside of classroom）It is necessary for students to prepare for this class and review the lesson.
（Grading Criteria /Policy）Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 50%, and tasks in this class 50%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

FRITZ Erik

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Goal #1: Students will be able to give a short science-based presentation in English using only Google Slides (without reading from notes).
Goal #2: Students will be able to ask questions regarding the content of their peer's presentations, just like presenters do at international conferences.
Goal #3: Students will be able to search for and read scientific readings about their chosen topic in English.
Goals #4: Students will be able to write a concise script and create easy-to-understand slides.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In every class students will speak in English to discuss their chosen topics in groups. Students will also give peer feedback to each other on their presentations. The professor will also provide feedback on two presentations so that students can improve their presentation delivery and content.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Orientation and presentation topics	Course overview Explain presentation guidelines & topics
2回目	Introduction section	Decide on a presentation topic and begin writing the introduction and background section
3回目	Problem section	Explain a scientific problem that interests you
4回目	Solution section	Explain a solution to this problem
5回目	Conclusion section	Discuss the main findings and propose the next step for future research
6回目	Question &answer section	Learn how to field questions and answer difficult questions appropriately
7回目	Slide creation	Learn how to make effective slides
8回目	Presentation preparation	Make final edits and practice delivering presentation
9回目	Peer review	Present to your peers and receive feedback
10回目	Presentation #1	Present to the class and receive feedback from the professor
11回目	Presentation #1	Present to the class and receive feedback from the professor
12回目	Revisions	Revise and improve presentations based on feedback from peers and professor
13回目	Presentation #2	Present to the class and receive feedback from the professor
14回目	Presentation #2	Present to the class and receive feedback from the professor

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Students will need to prepare for their presentations outside of class by searching for relevant information, writing their scripts, making their slides, and practicing their presentation delivery.

【テキスト（教科書）】
The professor will provide all learning materials online.

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介

【成績評価の方法と基準】
In-class participation (discussions, preparations, &peer feedback): 30%
Presentation #1: 30%
Presentation #2: 40%
※上記の評価に加え、欠席１回につき２％減、遅刻１回につき１％減とする。
※交通機関の乱れによる遅刻については、遅延証明がある場合は考慮する。
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Students must bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【その他の重要事項】
・授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students will be able to improve all four skills. Speaking: students will be able to give presentations about a science-based topic of their interest and discuss this content with their peers. Listening: students will be able to listen to their peers' presentations and ask questions based on the content. Reading: students will be able to search for relevant information about their chosen topic in English and summarize their findings. Writing: students will be able to write a script and create slides that clearly explain their chosen topic.
Outside of class, students will be expected to spend four hours per week preparing for this course.
Grades will be decided based on class participation (30%), Presentation #1 (30%), Presentation #2 (40%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

島田　顕

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を養うことが目標である。英国の歴史に関するテキストを用いる。まずテープを何度も聴いて、イントネーションや速さなどのネイティブの発音になれてほしい。そしてテキストを何度も読み、正しく翻訳し、内容を確実に把握し、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現をしっかりと身につける。さらには英作文、リスニングを中心とした練習問題を通じて、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を会話、作文で自由に使えるようになるように体得する。総じて英語表現力を豊かなものにする。また英国の歴史についてのテキストを用いることから英国の歴史、さらにはヨーロッパの歴史についていくらかでも知ってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な語彙・基礎的な文法の知識の定着を図ると同時に、それに支えられたリスニング力、リーディング力、ライティング力、スピーキング力を向上させるために、具体的にやることは次の通りである。①テキストを何度も声に出して読むこと（授業内では実際に声に出して読んでもらう）。②テープを何度も聞くこと（授業内では最低2回は聴く。できれば予復習でも複数回聴いてほしい）。③ネイティブの発音（イントネーション、速さ）になれること（リスニング問題も含めて。何度も聞くことによりなれてくる）。④テキストを正確に翻訳すること（意訳ではなくテキストの表現に沿って訳してほしい。予習では日本語訳をノートに書くことをお勧めする。授業中では正しい訳、内容を知り、自分が書いてきたものを訂正する）。⑤テキストの内容を正確に把握すること。⑥テキストの内容を把握したのちに、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を体得すること（会話、作文で使えるようにする。新出単語を含む文章は書き出しておくこと）。⑦英語表現力（英作文）をより豊かなものにすること（英作文問題も含めて）。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Lesson　1	Lesson　1 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Lesson　2	Lesson　2 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Lesson　3	Lesson　3 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Lesson　4	Lesson　4 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Lesson　5	Lesson　5 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	小テスト	小テスト 答え合わせ 復習 その他
第8回	Lesson　6	Lesson　6 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Lesson　7	Lesson　7 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Lesson　8	Lesson　8 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Lesson　9	Lesson　9 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Lesson　10	Lesson　10 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめ or 予備日	まとめ その他
第14回	授業内試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、ＥＸＥＲＣＩＳＥＳ等の問題は全員にあてる。予習は必ずやること。単語調べだけの「予習」は予習にあらず。必ず訳をノートに書いてくること。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。また原則として遅刻は認めない（遅刻は欠席とみなす）。尚、各学期４回以上欠席の場合は、期末試験の受験資格を失うものとする。

【テキスト（教科書）】
テキスト：『Spotlight on Britain イギリスを探る』（南雲堂）

【参考書】
豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）：文法の参考書である。
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進み方を速くし，小テスト，提出物の回数を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
（Course outline）

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
（Learning Objectives）
We aim to cultivate comprehensive English basic skills in this lesson. Using texts about History of England, we read the contents, translate, grasp, hold down the expression used in the text and enrich expressiveness by practice questions centered on English composition and listening. Since the theme of text is British history, we must learn the history of Britain, European history and world history, as a sub-theme of this lesson.
（Learning activities outside of classroom）
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson. The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
（Grading Criteria /Policy）
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小畑　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit2 Sleep Matters (Health Science) Part A	「睡眠の重要性」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit2 Sleep Matters (Health Science) Part B	「睡眠の重要性」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit 3 Cyborg Tech (Engineering) Part A	「サイボーグ」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit 3 Cyborg Tech (Engineering) Part B	「サイボーグ」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 2-3	Unit 2-3の単語テスト及びレビューを行う。
7	Unit 4 Happy Planet (Statistics) Part A	「幸福度の測定」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit 4 Happy Planet (Statistics) Part B	「幸福度の測定」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit 5 Career Paths (Business) Part A	「将来設計」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit 5 Career Paths (Business) Part B	「将来設計」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 4-5	Unit 4-5の単語テスト及びレビューを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEICのReading, Listeningセクションの問題を解き、長期休暇期間中の英語の学習の仕方を学ぶ。
13	春学期のまとめ	春学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 3)", Cengage Learning.
ISBN: 9781305265714
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15％
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小屋　多恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、基礎的な文法力と語彙力の定着を図ると同時に、それに支えられたライティング力の向上を目的とする。ライティングは高校までの授業で最も学習する機会が少ないにも関わらず、大学以降ますます要求される重要な技能である。基礎的な文法知識を復習し、語彙の中でも語法とコロケーションに焦点を当て、日本人学習者のエラーに留意したテキストを使用して正確で自然なライティング力養成を目指す。

【到達目標】
1)日本人英語学習者のエラーを項目別に再確認し、正しい文法と語法・コロケーションに支えられた自然な英文を習得できる。
2)自然な英文を文字だけでなく音声も合わせて身に着けられる。
3)日本語的な表現を、日英発想の違いを念頭に置いて、直訳ではなく、効果的に英語で表現することができる。
4)2年次に履修するアカデミック・ライティングの準備として、まとまりのある文章が書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業では、上記の目標を達成するために、授業中実施することは主に次の6つである。
1)warming-up activity: 先週の復習をする。
2)文法・基本例文をおさらいする。
3)音読・リスニング・ディクテーションにより学習ポイントを確認する。
4)日本人英語学習者のエラーを項目別に再確認する。
5)日本人英語学習者のエラー項目に注意して英文を書く。
6)正確な文法に支えられた文をもとに、英語でまとまった文章を書く。
・この授業は講義形式ではなく、演習形式で行われる。そのため、受講者の積極的な参加が求められる。
・各授業において、先週のポイントや受講者が行った課題や宿題の良かった点や修正すべき点、共有すべき重要な点などを紹介しながら解説することによって、理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Introduction	授業の進め方、学習の仕方、評価などの説明。英語力チェック。
2回目	主語の選択＋名詞の誤り	英語独特の用法や構文に気をつけよう
3回目	Unit 1 名詞の誤り	Salary と wage はどう違う？
4回目	Unit 2 冠詞の誤り	可算名詞でも冠詞がつかない慣用表現
5回目	代名詞の誤り	人称代名詞、指示代名詞、不定代名詞の誤りやすい箇所をおさらい
6回目	Review エッセイを書いてみよう(1)	中間試験 これまで確認してきた文法や1文レベルの英文をもとに、まとまった英文を書いてみよう。
7回目	Unit 3 動詞の誤り (1)	put on と wear の違い
8回目	Unit 4 動詞の誤り (2)	rise と raise の違い
9回目	Unit 5 時制の誤り	日・英時制のずれ
10回目	Unit 6 動詞+名詞の誤り	「注目を集める」に collect や gather は使えるか？
11回目	Unit 7 準動詞の誤り	look forward to の後は通例名詞
12回目	準動詞の誤り	不定詞・動名詞・分詞の誤り
13回目	期末試験	学習したことが定着しているか確認しよう
14回目	エッセイを書いてみよう(2)	これまで確認してきた文法や1文レベルの英文をもとに、まとまった英文を書いてみよう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・各授業後に学習した内容を振り返り、理解した箇所と不明な箇所を明確にする。
・理解した内容は関係書物にあたって学習を深め、不明な点は自主学習によって解決を目指す。
・教科書の一部指定した箇所を予習し、補足プリントをやってみる。

【テキスト（教科書）】
Common Errors in English Writing
『読み・書く英語表現のポイント15章』
木塚　晴夫/ノースリッジ・ロジャー著
音羽書房鶴見書店

【参考書】
必要に応じて提示する

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題・小テスト20%
中間テスト・学期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】
次の4点に留意する。
1) 一つ一つの活動には明確な目的や意図があるが、学生がそれを十分に理解した上で実行できるように分かりやすく説明する。
2) 学生の興味や学習の理解度に応じて、授業内容や進度に関して柔軟に対応する。
3) わかりやすく見やすい提示を心がける。
4) 質問しやすい環境と時間を作る。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する

【その他の重要事項】
・５回欠席した時点で単位取得不可となる。
・遅刻・中抜け・早退は２回を持って欠席１回とみなす。

【Outline (in English)】
Course outline:
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Learning objectives:
The goals of this course are to review correct grammar, usages and collocations, understand the differences between Japanese and English ideas and express them effectively in English.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to do regular homework, clarify what they haven't understood and resolve it through independent study.
Grading Criteria:
In-class activities, homework and quizzes (20%), mid-term and final exams (80%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

平賀　史子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Students will develop ability of using English language skills to communicate in various situations. Students will acquire four language skills (Reading, Writing, Listening, and Speaking) in English communication more fluently and confidently.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Students will do various speaking activities such as pair work and group work about suggested topics in the textbook. Students also do presentations using YouTube. They are expected to work collaboratively to do various tasks such as group discussion, researching, and presenting topics of interest. The instructor will provide ongoing support and feedback for students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction / Orientation	Introduction of the course, Orientation, Warm-up activity
第2回	Unit 1: Where are you from?	Explanation of YouTube presentation, skills-based work based on the textbook unit.
第3回	Unit 2: What do you do?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第4回	Unit 2: What do you do?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第5回	Unit 4: Do you play the guitar?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第6回	Preparation for Speaking Task 1	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
第7回	Speaking Task 1	Speaking Task 1, practice, active listening.
第8回	Unit 6: How often do you run?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第9回	Unit 6: How often do you run?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第10回	Unit 7: We went dancing!	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第11回	Unit 7: We went dancing!	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第12回	Preparation for Speaking Task 2	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
第13回	Speaking Task 2	Speaking Task 2, practice, active listening.
第14回	Make-Ups	Make-Ups, Reflections, Feedback, and Goal setting

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Interchange Fifth Edition (Level 1) Student's Book with Online Self-Study
Jack C. Richards with Jonathan Hull and Susan Proctor
Cambridge University Press (ISBN: 978-1-316-62031-1) 3, 250 yen (3, 575 yen tax included)

【参考書】
The teacher will provide additional material.

【成績評価の方法と基準】
Speaking Task 1 (20%), Speaking Task 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

【学生の意見等からの気づき】
The instructor is willing to be available to take student concerns under consideration throughout the semester.

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to bring either a smartphone, tablet, or laptop computer. Please make sure that it is fully charged before the class and can connect to the internet easily. Also, students are welcome to bring their dictionary (electric or book) in class.

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Activities outside of classroom]
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be decided based on the following:
Speaking Task 1 (20%), Speaking Task 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

藤井　哲郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Students will develop and practice speaking, listening, reading and writing English communication skills through a variety of everyday topics. By the end of the course, students will feel more comfortable using general English and be able to express themselves more fluently and confidently.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
The development and practice of useful grammar, vocabulary, pronunciation and functional language will be a regular feature of the course. Pair work and small group work will be emphasized. English will be used as the medium for instruction at all times.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students will also receive individual written feedback and error correction on writing assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction & Explanation	Students will receive a self-introduction by the teacher. Students will have a chance to ask questions and introduce themselves to their classmates.
2	Unit 1A My interests	Vocabulary: Interests Speaking: Ask and talk about interests Grammar: Present of 'be'
3	Unit 1B My interests	Speaking: Ask for repetition; ask for someone to speak more slowly Listening: About a party Pronunciation: Intonation of yes/no and Wh-questions
4	Unit 1C My interests	Vocabulary: Sports and exercise Grammar: Simple present Speaking: Ask and talk about sports and exercise habits
5	Unit 1D My interests	Reading: a blog post Speaking: Talk about free-time activities Writing: Write about your interests
6	Unit 2A Descriptions	UNIT 1 QUIZ Vocabulary: Personality adjectives Grammar: What... like? Speaking: Ask and talk about people's personalities
7	Unit 2B Descriptions	Speaking: Say you think something is or isn't true Listening: People's personalities Pronunciation: 'Is he' or 'Is she'
8	Unit 2C Descriptions Unit 2D Descriptions	Vocabulary: Appearance Grammar: What...look like? Speaking: Ask and talk about people's appearance Reading: Online profiles Listening: An online profile Writing: Write a description of yourself
9	Unit 3A Rain or shine	UNIT 2 QUIZ Vocabulary: Weather Grammar: adverbs of intensity; quantifiers with verbs Listening: The weather in different cities Speaking: Talk about the weather and seasons
10	Unit 3B Rain or shine	Speaking: Ask for and give an opinion Listening: A good time to visit places
11	Unit 3C Rain or shine	Vocabulary: Indoor activities Grammar: would like + infinitive Pronunciation: Reduction of 'would you' Speaking: Talk about what you would like to do
12	Unit 3D Review for final examination	Reading: Where would you like to go? Speaking: A Place I'd Like to Visit UNIT 3 QUIZ
13	FINAL EXAMINATION (paper test)	Final paper examination: UNITS 1, 2, 3
14	FINAL EXAMINATION (speaking test)	7 to 8-minute speaking test (in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students are responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time. Late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
Four Corners Level 2A Online Workbook Level 2A (2nd Edition) by Jack C. Richards and David Bohlke (Published by Cambridge)
ISBN: 9781009286459

【参考書】
Four Corners Level 2A Online Workbook Level 2A (2nd Edition) https://www.cambridgeone.org/

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments (textbook, writing &online workbook): 20%
Quizzes (Units 1, 2, 3): 20%
Final examination (paper) (Units 1, 2, 3): 20%
Final examination (speaking) (Units 1, 2, 3): 20%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Students will develop and practice speaking, listening, reading and writing English communication skills through a variety of everyday topics. By the end of the course, students will feel more comfortable using general English and be able to express themselves more fluently and confidently.

The development and practice of useful grammar, vocabulary, pronunciation and functional language will be a regular feature of the course. Pair work and small group work will be emphasized. English will be used as the medium for instruction at all times.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students will also receive individual written feedback and error correction on writing assignments.
Students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.
Class participation (speaking English, taking notes) 20%
Homework assignments (textbook, writing &online workbook) 20%
Quizzes (Units 1, 2, 3) 20%
Final examination (paper) (Units 1, 2, 3) 20%
Final examination (speaking) (Units 1, 2, 3) 20%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

花﨑　一夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
基本的にはテキストに沿って学習をすすめる。１回の授業でどのくらい進むかについては、学習支援システムを通して事前にお知らせする予定です。
毎回、授業の内容が理解できているかを確認するための小テストを実施する予定です。皆さんの小テストの出来具合を見て、翌週に必要に応じてコメント・解説をしてフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1. 対面/face to face	Introduction	Language and mind rethought
2. 対面/face to face	Chapter1	Language and mind rethought
3.対面	Chapter2	Is human language unrelated to animal communication systems?
4.対面	Chapter2	Is human language unrelated to animal communication systems?
5.対面	Chapter3	Are there language universals?
6.対面	Chapter3	Are there language universals?
7.対面	Chapter4	Is language innate?
8. オンライン	Chapter4	Is language innate?
9. オンライン	Chapter5	Is language a distinct module in the mind?
10.オンライン	Chapter5	Is language a distinct module in the mind?
11.オンライン	Chapter6	Is there a universal Mentalese?
12.オンライン	Chapter6	Is there a universal Mentalese?
13. 対面/face to face	Chapter7	Is thought independent of language?
14. 対面/face to face	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業の内容に関連する予習用課題を授業前に学習する。授業後は、もう一度その課題に取り組み、授業で学習した内容を定着させる。

【テキスト（教科書）】
The Language Myth
Vyvyan Evans著
Cambridge University Press
アマゾンで電子書籍版が￥4679で
購入可能です。
ペーパーバックは２０２５年１月４日現在、￥4822となっております。

【参考書】
授業中などに適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
課題など：５０％
期末テスト：５０％

【学生の意見等からの気づき】
小テストを多く実施することで、学生の理解度を確認することができたので、今年度も小テストを多く実施し、その結果を授業にフィードバックしたいと考えている。

【その他の重要事項】
①授業には必ず辞書を持参すること（電子辞書可）
②初回授業で履修上の注意点を詳細に説明するので、必ず参加すること。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students should be able to attain basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Assignments: 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

柏原　俊樹

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語の豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、映画やインタビューを通じた効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
複雑な英文も英文の流れのままに頭の中で自然に区切っていけること、また、ごく普通にしゃべっているネイティブの英語をある程度聞き取れるようになることを目標に学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
主に3つの切り口から学んでいく。1つには、映画の脚本を通じて、日常よく使う表現の習得やわかりにくい内容の理解に取り組む。もう1つには、随時実践的な
[やや難しい] リスニングも取り入れる。さらに、日本語になくて、どんな分野であろうと英語を深く理解し使いこなしていくためには必要不可欠な、けれどもあまり学習されていないと思われる、いわゆる冠詞についても継続的に勉強していく。口語的表現、実践的リスニング、冠詞のいずれについても、まだまだ訓練の余地がある領域と思われるため、重点的に取り組みたい。
原則いつでも受け入れる質問やリアクション、期限を設けたリアクションペーパーや課題については、できる限り早いタイミングでいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパーなどにおけるよいコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 5: 10 DOWNING STREET
2	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 6: SARAH'S FLAT
3	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 6: FAIRTRADE OFFICE
4	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 6: TONY'S FLAT
5	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 7: AIRPORT
6	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 7: MIA'S BEDROOM
7	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 8: JOE'S FLAT
8	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 8: HARRIS STREET
9	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 8: SCHOOL CAR PARK
10	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 8: SCHOOL CAR PARK
11	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 9: SCHOOL YARD
12	文法・語法に基づいた内容の理解	Unit 9: RESTAURANT
13	総復習	総復習
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　教科書の予習は必須。
リスニングについては、聞き取ってみたい材料があれば、ぜひチャレンジしてみてください。短い範囲をできればわかるまで繰り返し聞き、解答を見るのは最後の最後にすると効果的です。解答がない場合は、できる限り答え合わせに協力します。

【テキスト（教科書）】
教科書: 『映画総合教材「ラブ・アクチュアリー」』（松柏社）

【参考書】
できれば語源欄のある辞書を使ってください。

【成績評価の方法と基準】
学習したことを身につけているかを試験（学期末試験その他の試験）によって確認する（70％）。英語を通じた知識の獲得・拡充に努めていることを授業への取り組み態度（積極的な質問・発表・小テスト・レポートなど）で示すことを評価する（30％）。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの需要が多いことに改めて気づきました。

【学生が準備すべき機器他】
辞書必携。その他授業中に指示されたものも忘れないようにしてください。

【その他の重要事項】
積極的に発言・質問してください（思い込み歓迎）。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge of the English language, and, based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches through things like films and interviews will be used to strengthen basic English competency.
【Learning Objectives】
The goals of this class is to get to understand complicated English sentences and to be able to hear normally spoken English.
【Learning activities outside of classroom】
It is necessary to read the textbook beforehand.
Also try to write down normally spoken English as much as you can. If you don't have the answers, I'll help you.
【Grading Criteria /Policy】
70 % of the grade is the results of the tests given you. 30 % is according to your attitude of studying.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

渡邊　晶子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
基本的な文法を確実なものにし、語彙を増やしていく。
構文をしっかり理解した上で長文を正確に読めるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習を前提とし、毎回全員を指名していくので、準備をしておくこと。
課題等に対するフィードバックは授業内に全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Your Immune Defense System	不定詞について学ぶ。 免疫防御系についての英文を読む。
2	The Earth We Live On	動名詞について学ぶ。 地球の内部についての英文を読む。
3	Science Looks Twice at Twins	分詞について学ぶ。 双子についての英文を読む。
4	Memory Miracles	比較について学ぶ。 記憶力についての英文を読む。
5	Products of the Sea	否定について学ぶ。 海の産物についての英文を読む。
6	If the Oceans Should Die	受動態について学ぶ。 海についての英文を読む。
7	小テスト	重要構文などの確認と 小テストを行う。
8	Moving Continents	関係詞について学ぶ。 大陸移動についての英文を読む。
9	Who Needs Spiders?	接続詞について学ぶ。 クモについての英文を読む。
10	It's the Humidity	仮定法について学ぶ。 湿気についての英文を読む。
11	Blue Babe - a Messenger from the Ice Age	語彙（紛らわしい語）について学ぶ。 氷河時代の野牛の遺骸の発見についての英文を読む。
12	The New Zoo - a Modern Ark	現代の動物園の意義についての英文を読む。
13	Wonderworker - New Drugs	新薬についての英文を読む
14	まとめ・試験	重要構文などの確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】テキストの日本語訳を全文、ノートにきちんと書いてくること。

【テキスト（教科書）】
The Wonders of Science　科学の世界（成美堂）
A Shorter Course in Usage and Vocabulary　ポイントで解く語法・語彙問題（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点20％　レポート課題20％　期末テスト60％

【学生の意見等からの気づき】
提出課題や質問等から気づいたことを解説に織り込んでいく。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
The required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。
i)Increasing general proficiency in understanding English texts.
ii)More refined comprehension skills for listening to and reciting from English texts.

【到達目標】
Development of grammatical and lexical expression in English, as well as contextual meaning through completion of classroom tasks, homework assignments, and a final presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Small teams will engage in practical problem solving exercises to become familiar with the grammar and vocabulary of each lesson. The results of their cooperative efforts will be presented on the blackboard. Individual assignments will also be given, and in-class personal consultations will be available. Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction	Class operation and materials; self-presentations; general communication workshop
Class 2	Recent events	Talking about recent events in one's life Language focus: present perfect and past simple
Class 3	Decisions for the future	Language focus: going to and will
Class 4	Describing things	Giving presents, things we own. Language focus: adjectives and passive forms
Class 5	Guesses and deductions	Guessing what other people are doing, how are their lives. Language focus: modal verbs of deduction
Class 6	Alternate reality	Imagining a different reality, fantastic or realistic. Language focus: second conditional
Class 7	Talking about a discussion	Talking about people we have met, things we have been told. Language focus: reported speech
Class 8	Cultural products	Talking about movies, music, and other cultural products Language focus: adjectives, comparatives and superlatives
Class 9	School days	Remembering people and activities. Language focus: past tenses
Class 10	Food	Habits and preferences, cooking. Language focus: adjectives, frequency adverbials
Class 11	Regrets	Talking about what might have been, what could have been done. Language focus: third conditional
Class 12	Socializing	How to make small talk, keep a conversation going. Language focus: vocabulary and expressions
Class 13	Landing On Mars	Reading Practice: Logical Phrasal Connections/Conjunctions; Reordering Sentences/Paragraph Cohesion; Conjunctions/ Transitions.
Class 14	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
Open source online resources, and other materials developed by the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%).

【学生の意見等からの気づき】
More intensive practice in the oral skills of pronunciation and intonation.

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Caution】
Changes to the schedule may be made in accordance with the general proficiency and progress level in the class.

【Outline (in English)】
Course Outline:
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English proficiently. Therefore this course emphasizes the further development of basic, comprehensive skills and knowledge as well as the ability to apply these. As in the previous semester, a variety of effective approaches will be used to improve both understanding and communicative competency.
Learning Objectives:
Development of grammatical and lexical expression in English, as well as contextual meaning through completion of classroom tasks, homework assignments, and a final presentation.
Learning activities outside the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

花﨑　一夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
基本的にはテキストに沿って学習をすすめる。１回の授業でどのくらい進むかについては、学習支援システムを通して事前にお知らせする予定です。
毎回、授業の内容が理解できているかを確認するための小テストを実施する予定です。皆さんの小テストの出来具合を見て、翌週に必要に応じてコメント・解説をしてフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1. 対面/face to face	Introduction	Language and mind rethought
2. 対面/face to face	Chapter1	Language and mind rethought
3.対面	Chapter2	Is human language unrelated to animal communication systems?
4.対面	Chapter2	Is human language unrelated to animal communication systems?
5.対面	Chapter3	Are there language universals?
6.対面	Chapter3	Are there language universals?
7.対面	Chapter4	Is language innate?
8. オンライン	Chapter4	Is language innate?
9. オンライン	Chapter5	Is language a distinct module in the mind?
10.オンライン	Chapter5	Is language a distinct module in the mind?
11.オンライン	Chapter6	Is there a universal Mentalese?
12.オンライン	Chapter6	Is there a universal Mentalese?
13. 対面/face to face	Chapter7	Is thought independent of language?
14. 対面/face to face	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業の内容に関連する予習用課題を授業前に学習する。授業後は、もう一度その課題に取り組み、授業で学習した内容を定着させる。

【テキスト（教科書）】
The Language Myth
Vyvyan Evans著
Cambridge University Press
アマゾンで電子書籍版が￥4679で
購入可能です。
ペーパーバックは２０２５年１月４日現在、￥4822となっております。

【参考書】
授業中などに適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
課題など：５０％
期末テスト：５０％

【学生の意見等からの気づき】
小テストを多く実施することで、学生の理解度を確認することができたので、今年度も小テストを多く実施し、その結果を授業にフィードバックしたいと考えている。

【その他の重要事項】
①授業には必ず辞書を持参すること（電子辞書可）
②初回授業で履修上の注意点を詳細に説明するので、必ず参加すること。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students should be able to attain basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 50%, Assignments: 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

柏原　俊樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語の豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、映画やインタビューを通じた効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
複雑な英文も英文の流れのままに頭の中で自然に区切っていけること、また、ごく普通にしゃべっているネイティブの英語をある程度聞き取れるようになることを目標に学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
主に3つの切り口から学んでいく。1つには、映画の脚本を通じて、日常よく使う表現の習得やわかりにくい内容の理解に取り組む。もう1つには、随時実践的な [やや難しい] リスニングも取り入れる。さらに、日本語になくて、どんな分野であろうと英語を深く理解し使いこなしていくためには必要不可欠な、けれどもあまり学習されていないと思われる、いわゆる冠詞についても継続的に勉強していく。口語的表現、実践的リスニング、冠詞のいずれについても、まだまだ訓練の余地がある領域と思われるため、重点的に取り組みたい。原則いつでも受け入れる質問やリアクション、期限を設けたリアクションペーパーや課題については、できる限り早いタイミングでいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。リアクションペーパーなどにおけるよいコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かしたい。
ただし、オンライン授業中心となった場合は、冠詞の勉強に特化するかもしれません。冠詞の勉強に関してご承知おきいただきたいことが2つあります。日本語のネイティブも国語のテストで必ず100点を取れるわけではないのと同様、英語のネイティブも冠詞についてすべてわかっているわけではないことと、それ故、冠詞の勉強は、大学レベルの学びにふさわしいともいえる、理論の領域に踏み込まざるを得ないことです。理論が正しいか、もっと優れた理論がないかは、現象から検証しつつ、よくよく考えていくほかありません。みなさんと一緒に、理論の深化に取り組みたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 7: St. Andres Des Arts
2	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 7: American Express
3	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 8: Hotel
4	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 9: Tex's Room
5	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 9: Scobie's Room
6	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 10: The Seine
7	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 10: Regina's Room
8	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 11: The Seine
9	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 11: The Seine
10	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 12: Adam's Room
11	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 13: Rue Gabriel
12	文法・語法に基づいた内容の理解	Lesson 14: Felix's Room
13	総復習	総復習
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　教科書の予習は必須。
リスニングについては、聞き取ってみたい材料があれば、ぜひチャレンジしてみてください。短い範囲をできればわかるまで繰り返し聞き、解答を見るのは最後の最後にすると効果的です。解答がない場合は、できる限り答え合わせに協力します。

【テキスト（教科書）】
教科書: 『シャレード』（開文社出版）

【参考書】
できれば語源欄のある辞書を使ってください。

【成績評価の方法と基準】
学習したことを身につけているかを試験（学期末試験その他の試験）によって確認する（70％）。英語を通じた知識の獲得・拡充に努めていることを授業への取り組み態度（積極的な質問・発表・小テスト・レポートなど）で示すことを評価する（30％）。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの需要が多いことに改めて気づきました。

【学生が準備すべき機器他】
辞書必携。その他授業中に指示されたものも忘れないようにしてください。

【その他の重要事項】
辞書必携。積極的に発言・質問してください（思い込み歓迎）。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge of the English language, and, based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches through things like films and interviews will be used to strengthen basic English competency.
【Learning Objectives】
The goals of this class is to get to understand complicated English sentences and to be able to hear normally spoken English.
【Learning activities outside of classroom】
It is necessary to read the textbook beforehand.
Also try to write down normally spoken English as much as you can. If you don't have the answers, I'll help you.
【Grading Criteria /Policy】
70 % of the grade is the results of the tests given you. 30 % is according to your attitude of studying.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小畑　美貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit6 Text Generation (Technology) Part A	言語とテクノロジーに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit6 Text Generation (Technology) Part B	言語とテクノロジーに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit7 Barriers and Bridges (Sociology) Part A	人のつながり関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit7 Barriers and Bridges (Sociology) Part B	人のつながりに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 6-7	Unit6-7の単語テスト１及びレビューを行う。
7	Unit9 Smart Thinking (Life Science) Part A	動物の思考に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit9 Smart Thinking (Life Science) Part B	動物の思考に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit10 Facing Fear (Psychology) Part A	恐怖心に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit10 Facing Fear (Psychology) Part B	恐怖心に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 9-10	Unit9-10の単語テスト２及びレビューを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEIC Reading, Listeningの練習問題を解き、語彙や文法を学ぶ。
13	秋学期のまとめ	今学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 3)", Cengage Learning.
ISBN: 9781305265714
※教科書販売期間中に必ず購入すること。
※春学期と同じ教科書を使用します。

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15%
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

今政　肇

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語のリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの四技能の総合的な発展を目的とします。言わずもがなですが、理工系・生命系の学生にとって英語は知識生産の世界共通言語として必須です。それだけでなく、その習得はますます複雑に変化していく世界の中で専門分野をより理解し、何らかの貢献をするためにも欠かせません。そうした目標を念頭に置きつつ、本授業はリスニングやリーディングというインプットをベースに総合的なコミュニケーション能力を培っていくことを基本方針に様々な教授方法を取り入れ実施します。

【到達目標】
①リアルな英語の発話や表現を視聴覚的に接することで、感覚的な素地を整えリスニング力が高まります
②多読により英語を読むことに慣れ、より高度なテキストの読解を併用することで豊富な語彙および表現に接することが出来ます。
③そうした語彙や表現を作文や発話に使用することで自分のものに出来ます。
④英語を使ったディスカッションやプレゼンテーションの技術を習得することが出来ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは原則的に授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。
必要に応じて授業の進め方や方法を変更することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit7 Identity Part A	Identityに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit7 Identity Part B	Identityに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit8 Transportation Solution Part A	Transportation Solutionに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit8 Transportation Solution Part B	Transportation Solutionに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Unit9 New Words Part A	New Wordsに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
7	Unit9 New Words Part B	New Wordsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
8	Mid-term Review	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
9	Unit10 Understanding Emotions Part A	Understanding Emotionsに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit10 Understanding Emotions Part B	Understanding Emotionsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Unit12 Well-being Part A	Well-beingに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
12	Unit12 Well-being Part B	Well-beingに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
13	小グループに分かれてプレゼンテーションの準備	ワークショップとリハーサル
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション、読書ログの提出、今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。
・プレゼンテーションやクイズの準備
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分)、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください)。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書)】
Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., &Stephenson, H., (2021) Keynote, American English Level 3 with Spark Access + e-Book (1 year access), National Geographic Learning/Cengage Learning.
ISBN: 9798214333878
※教科書販売期間中に必ず購入すること。
※春学期と同じ教科書を使用します。

【参考書】
学習者用の英英辞書（英和辞書よりも英英辞書を使ってください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku)
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル：
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　１５％
小テスト　１５％
授業への参加　３０％
プレゼンテーション　２５％
読書ログ　１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The objective of this class is comprehensive development of four skills–listeing, reading, speaking and writing. Needless to say, learning English is necessary for students in science, engineering and life sciences as a global common language for knowledge production. Not only that, mastering it is also essential to deepen one's understanding of their specialized field within an increasingly complex and changing world and to make some sort of contribution. With these goals in mind, this class will incorporate a variety of teaching methods with the basic policy of cultivating comprehensive communicative ability based on input–namely listening and reading.
[Learning Objectives]
(1) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop a sensory foundation and improve your listening ability.
(2) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(3) By using them in your own writing and speech, you can make them your own.
(4) You can develop discussion and presentation skills in English.
[Learning activities outside of classroom]

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (15%), [2] quiz (15%), [3] class participation (30%), [4] presentation (25%), [5]reading log [15%]

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

島田　顕

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を養うことが目標である。英国の歴史に関するテキストを用いる。まずテープを何度も聴いて、イントネーションや速さなどのネイティブの発音になれてほしい。そしてテキストを何度も読み、正しく翻訳し、内容を確実に把握し、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現をしっかりと身につける。さらには英作文、リスニングを中心とした練習問題を通じて、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を会話、作文で自由に使えるようになるように体得する。総じて英語表現力を豊かなものにする。また英国の歴史についてのテキストを用いることから英国の歴史、さらにはヨーロッパの歴史についていくらかでも知ってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な語彙・基礎的な文法の知識の定着を図ると同時に、それに支えられたリスニング力、リーディング力、ライティング力、スピーキング力を向上させるために、具体的にやることは次の通りである。①テキストを何度も声に出して読むこと（授業内では実際に声に出して読んでもらう）。②テープを何度も聞くこと（授業内では最低2回は聴く。できれば予復習でも複数回聴いてほしい）。③ネイティブの発音（イントネーション、速さ）になれること（リスニング問題も含めて。何度も聞くことによりなれてくる）。④テキストを正確に翻訳すること（意訳ではなくテキストの表現に沿って訳してほしい。予習では日本語訳をノートに書くことをお勧めする。授業中では正しい訳、内容を知り、自分が書いてきたものを訂正する）。⑤テキストの内容を正確に把握すること。⑥テキストの内容を把握したのちに、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を体得すること（会話、作文で使えるようにする。新出単語を含む文章は書き出しておくこと）。⑦英語表現力（英作文）をより豊かなものにすること（英作文問題も含めて）。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Lesson　11	Lesson　11 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Lesson　12	Lesson　12 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Lesson　13	Lesson　13 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Lesson　14	Lesson　14 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Lesson　15	Lesson　15 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	小テスト	小テスト 答え合わせ 復習 その他
第8回	Lesson　16	Lesson　16 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Lesson　17	Lesson　17 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Lesson　18	Lesson　18 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Lesson　19	Lesson　19 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Lesson　20	Lesson　20 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめ or 予備日	まとめ その他
第14回	授業内試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、ＥＸＥＲＣＩＳＥＳ等の問題は全員にあてる。予習は必ずやること。単語調べだけの「予習」は予習にあらず。必ず訳をノートに書いてくること。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。また原則として遅刻は認めない（遅刻は欠席とみなす）。尚、各学期４回以上欠席の場合は、期末試験の受験資格を失うものとする。

【テキスト（教科書）】
テキスト：『Spotlight on Britain　イギリスを探る』（南雲堂）

【参考書】
豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）：文法の参考書である。
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進み方を速くし，小テスト，提出物の回数を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
（Course outline）

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
（Learning Objectives）
We aim to cultivate comprehensive English basic skills in this lesson. Using texts about History of England, we read the contents, translate, grasp, hold down the expression used in the text and enrich expressiveness by practice questions centered on English composition and listening. Since the theme of text is British history, we must learn the history of Britain, European history and world history, as a sub-theme of this lesson.
（Learning activities outside of classroom）
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson. The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
（Grading Criteria /Policy）
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小林　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力正確な文法力の定着を図り、それに支えられた４技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な英語力の向上を目的とする。また、理工・生命系の分野においては、英語が世界の共通語となっていることを受け、将来の技術者・研究者に求められる、英語での理解力・発信力を培うための授業とする。併せて、英文を楽しんで読む機会を設ける。

【到達目標】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。また、英文を楽しんで読む能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
英文の読解を中心にするが、リスニングや英作文の練習も行う。オンラインで授業を進めますが、リスニング、長文読解を問う課題を提出してもらい、フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	教科書以外の英文を読む。	テクストを読む。
第2回	Unit 8	テクストを読む。
第3回	Unit 9	テクストを読む。
第4回	Unit 10	テクストを読む。
第5回	教科書以外の英文を読む。	テクストを読む。
第6回	Unit 11	長文を聞き取る練習。
第7回	Unit 12	リスニングの練習など。
第8回	TOEIC対策	テクストを読む。
第9回	Unit 13	テクストを読む。
第10回	教科書以外の英文	英文を読む楽しみを経験する。
第11回	Unit 14	テクストを読む。
第12回	TOEIC対策	リスニングの練習など。
第13回	Unit 15	試験前に質問を受け付ける。
第14回	期末テスト	英文和訳を中心に試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】必ず復習をすること、そして指示された場合には予習をして授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
Reading Wonders　（金星堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】学期末の試験の点数(80%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(20%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
英語に関して、多様な経験を出来るような授業に出来れば、と思っています。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

【到達目標（Learning Objectives）】
The aim of this course is to help students acquire comprehensive English abilities. At the end of this course, students are expected to read various English writings and have higher listening and writing abilities.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
After each class meeting, students are expected to spend four hours to understand the course content.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Your overall grade in the class will be decided on the following: term-end examination 80%and in-class contribution 20%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

中野　里美

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
To become familiar with and practice a range of listening and reading skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
This course will consist of some materials based on topics from the textbook to some handouts. Feedback about the classes will be carried out on the last week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Knowing about gender	Russian Veto brings an end to the UN Panel that monitors North Korea Nuclear sanction
第2回	Knowing about gender	In Moscow attack, a handful of suspects but a million Tajiks under suspicion
第3回	Learning about social issues	A guide to halal food in Japan
第4回	Learning about social issues	Olympics: Japan breaks new ground while playing to strengths in Paris
第5回	Thinking about economic difference	“Godzilla Minus One” fought the odds and won big at the Oscars
第6回	Thinking about economic difference	Chile Granny finds solace, celebrity in online gaming
第7回	Thinking about yourself	Scams hit a 15-year high, police announce in latest report
第8回	Thinking about yourself	After pandemic, young Chinese again want to study abroad, just not so much in US
第9回	Expressing opinions on politics	Stuck in space, tasty food options a lifeline for astronauts
第10回	Expressing opinions on politics	Fujitsu apologizes to hundreds affected by UK Post Office scandal
第11回	To see the world	Rhinos are returned to a plateau in central Kenya, decades after poachers wiped them out
第12回	To see the world	Protesters drove Nepal’s king off the throne 16 years ago
第13回	Developing a critical awareness	Gymnastics/New AI scoring system not replacing human judges for now
第14回	Review	Term-end exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Outside class, you will need to be prepare and review the contents of the text before class, and review the materials given in the class.

【テキスト（教科書）】
A print or PDF will be distributed and uploaded.

【参考書】
Students will be given some information in the class.

【成績評価の方法と基準】
Your overall grae in this class will be decided based on the following, Term-end examination 60%, and tasks in this class 40%
【評価方法】出席重視。出席の条件（下記の評価基準）を満たした学生を対象にテストを行う。
【評価基準】3分の1以上または5回以上の欠席で不合格。遅刻は開始15分以降の入室からとし、3回目の遅刻で1回欠席と換算する。早退も遅刻と同じ扱い。期末テスト60%,平常点やタスクなど40%

【学生の意見等からの気づき】
If you have any questions, please feel free to ask them in the class.

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
復習を行うこと

【Outline (in English)】
（Course outline）This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking).
（Learning Objectives）In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning activities outside of classroom）It is necessary for students to prepare for this class and review the lesson.
（Grading Criteria /Policy）Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 50%, and tasks in this class 50%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

FRITZ Erik

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Goal #1: Students will be able to give a short science-based presentation in English using only their posters (without reading from notes).
Goal #2: Students will be able to ask questions regarding the content of their peer's presentations, just like presenters do at international conferences.
Goal #3: Students will be able to search for and read scientific readings about their chosen topic in English.
Goals #4: Students will be able to write a concise script and create easy-to-understand posters.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In every class students will speak in English to discuss their chosen topics in groups. Students will also give peer feedback to each other on their presentations. The professor will also provide feedback on two presentations so that students can improve their presentation delivery and content.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Orientation and presentation topics	Course overview Explain presentation guidelines & topics
2回目	Introduction section	Decide on a presentation topic and begin writing the introduction and background section
3回目	Problem section	Explain a scientific problem that interests you
4回目	Solution section	Explain a solution to this problem
5回目	Conclusion section	Discuss the main findings and propose the next step for future research
6回目	Question &answer section	Learn how to field questions and answer difficult questions appropriately
7回目	Poster creation	Learn how to make effective posters
8回目	Presentation preparation	Make final edits and practice delivering presentation
9回目	Peer review	Present to your peers and receive feedback
10回目	Presentation #1	Present to the class and receive feedback from the professor
11回目	Presentation #1	Present to the class and receive feedback from the professor
12回目	Revisions	Revise and improve presentations based on feedback from peers and professor
13回目	Presentation #2	Present to the class and receive feedback from the professor
14回目	Presentation #2	Present to the class and receive feedback from the professor

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Students will need to prepare for their presentations outside of class by searching for relevant information, writing their scripts, making their posters, and practicing their presentation delivery.

【テキスト（教科書）】
The professor will provide all learning materials online.

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介

【成績評価の方法と基準】
In-class participation (discussions, preparations, &peer feedback): 30%
Presentation #1: 30%
Presentation #2: 40%
※上記の評価に加え、欠席１回につき２％減、遅刻１回につき１％減とする。
※交通機関の乱れによる遅刻については、遅延証明がある場合は考慮する。
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Students must bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【その他の重要事項】
・授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
By the end of the course, students will be able to improve all four skills. Speaking: students will be able to give presentations about a science-based topic of their interest and discuss this content with their peers. Listening: students will be able to listen to their peers' presentations and ask questions based on the content. Reading: students will be able to search for relevant information about their chosen topic in English and summarize their findings. Writing: students will be able to write a script and create posters that clearly explain their chosen topic.
Outside of class, students will be expected to spend four hours per week preparing for this course.
Grades will be decided based on class participation (30%), Presentation #1 (30%), Presentation #2 (40%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

島田　顕

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を養うことが目標である。英国の歴史に関するテキストを用いる。まずテープを何度も聴いて、イントネーションや速さなどのネイティブの発音になれてほしい。そしてテキストを何度も読み、正しく翻訳し、内容を確実に把握し、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現をしっかりと身につける。さらには英作文、リスニングを中心とした練習問題を通じて、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を会話、作文で自由に使えるようになるように体得する。総じて英語表現力を豊かなものにする。また英国の歴史についてのテキストを用いることから英国の歴史、さらにはヨーロッパの歴史についていくらかでも知ってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な語彙・基礎的な文法の知識の定着を図ると同時に、それに支えられたリスニング力、リーディング力、ライティング力、スピーキング力を向上させるために、具体的にやることは次の通りである。①テキストを何度も声に出して読むこと（授業内では実際に声に出して読んでもらう）。②テープを何度も聞くこと（授業内では最低2回は聴く。できれば予復習でも複数回聴いてほしい）。③ネイティブの発音（イントネーション、速さ）になれること（リスニング問題も含めて。何度も聞くことによりなれてくる）。④テキストを正確に翻訳すること（意訳ではなくテキストの表現に沿って訳してほしい。予習では日本語訳をノートに書くことをお勧めする。授業中では正しい訳、内容を知り、自分が書いてきたものを訂正する）。⑤テキストの内容を正確に把握すること。⑥テキストの内容を把握したのちに、テキストで使われる単語、熟語、文法、表現を体得すること（会話、作文で使えるようにする。新出単語を含む文章は書き出しておくこと）。⑦英語表現力（英作文）をより豊かなものにすること（英作文問題も含めて）。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Lesson　11	Lesson　11 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Lesson　12	Lesson　12 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Lesson　13	Lesson　13 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Lesson　14	Lesson　14 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Lesson　15	Lesson　15 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	小テスト	小テスト 答え合わせ 復習 その他
第8回	Lesson　16	Lesson　16 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Lesson　17	Lesson　17 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Lesson　18	Lesson　18 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Lesson　19	Lesson　19 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Lesson　20	Lesson　20 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめ or 予備日	まとめ その他
第14回	授業内試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、ＥＸＥＲＣＩＳＥＳ等の問題は全員にあてる。予習は必ずやること。単語調べだけの「予習」は予習にあらず。必ず訳をノートに書いてくること。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。また原則として遅刻は認めない（遅刻は欠席とみなす）。尚、各学期４回以上欠席の場合は、期末試験の受験資格を失うものとする。

【テキスト（教科書）】
テキスト：『Spotlight on Britain　イギリスを探る』（南雲堂）

【参考書】
豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）：文法の参考書である。
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進み方を速くし，小テスト，提出物の回数を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
（Course outline）

This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
（Learning Objectives）
We aim to cultivate comprehensive English basic skills in this lesson. Using texts about History of England, we read the contents, translate, grasp, hold down the expression used in the text and enrich expressiveness by practice questions centered on English composition and listening. Since the theme of text is British history, we must learn the history of Britain, European history and world history, as a sub-theme of this lesson.
（Learning activities outside of classroom）
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson. The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
（Grading Criteria /Policy）
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小畑　美貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit6 Text Generation (Technology) Part A	言語とテクノロジーに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit6 Text Generation (Technology) Part B	言語とテクノロジーに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit7 Barriers and Bridges (Sociology) Part A	人のつながり関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit7 Barriers and Bridges (Sociology) Part B	人のつながりに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 6-7	Unit6-7の単語テスト１及びレビューを行う。
7	Unit9 Smart Thinking (Life Science) Part A	動物の思考に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit9 Smart Thinking (Life Science) Part B	動物の思考に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit10 Facing Fear (Psychology) Part A	恐怖心に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit10 Facing Fear (Psychology) Part B	恐怖心に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 9-10	Unit9-10の単語テスト２及びレビューを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEIC Reading, Listeningの練習問題を解き、語彙や文法を学ぶ。
13	秋学期のまとめ	今学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 3)", Cengage Learning.
ISBN: 9781305265714
※教科書販売期間中に必ず購入すること。
※春学期と同じ教科書を使用します。

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15%
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小屋　多恵子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、基礎的な文法力と語彙力の定着を図ると同時に、それに支えられた更なるライティング力の向上を目的とする。基礎的な文法知識を復習し、語彙の中でも語法とコロケーションに焦点を当て、学生のエラーに留意したテキストを使用して正確で自然なライティング力養成を目指す。また、秋学期は特に次年度アカデミック・ライティングの準備も兼ねて、まとまりのある文章を書く練習を行う。

【到達目標】
1)日本人英語学習者のエラーを項目別に再確認し、正しい文法と語法・コロケーションに支えられた自然な英文を習得できる。
2)自然な英文を文字だけでなく音声も合わせて身に着ける。
3)日本語的な表現を、日英発想の違いを念頭に置いて、直訳ではなく、効果的に英語で表現することができる。
4) 正確な文法に支えられた文から文章へと発展させ、まとまりのある文章の書き方を理解できる。
5) いろいろなトピックの英語を聞いてディクテーションをし、英語で書く最新の情報を知って理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業では、上記の目標を達成するために、授業中実施することは主に次の6つである。
1)Warming-up activity: 先週の復習をする。
2)文法・基本例文をおさらいする。
3)音読・リスニング・ディクテーションにより学習ポイントを確認する。
4)日本人英語学習者のエラーを項目別に再確認する。
5)日本人英語学習者のエラー項目に注意して英文を書く。
6)トピックに合った文章を書く。
・この授業は講義形式ではなく、演習形式で行われる。そのため、受講者の積極的な授業への参加が基本となる。
・各授業において、先週のポイントや受講者が行った課題や宿題の良かった点や修正すべき点、共有すべき重要な点などを紹介しながら解説することによって、理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Introduction エッセイを書いてみよう(3)	これまで確認してきた文法や1文レベルの英文をもとに、まとまった英文を書いてみよう。
2回目	Unit 8 形容詞の誤り	狭いはいつもnarrowとは限らない
3回目	Unit 9 副詞の誤り	形容詞の最上級を修飾する副詞は？
4回目	Unit 10 比較級の誤り	比較級を修飾する副詞はfarかmuch
5回目	Unit 11 関係詞の誤り	関係代名詞の所有格はwhoseが最も一般的
6回目	Review	中間試験
7回目	エッセイを書いてみよう(4)	これまで確認してきた文法や1文レベルの英文をもとに、まとまった英文を書いてみよう。
8回目	Unit 12 接続詞の誤り	「と」はandとは限らない
9回目	Unit 13 前置詞の誤り	「朝に」は常にin the morningか？
10回目	仮定法	ifのない仮定法に注意
11回目	Unit 14 主語の選択、語順、態、否定などの誤り	「遅かれ早かれ」はlater or soonerとは言わない
12回目	Unit 15 身体に関する表現の誤り	「腹」はstomachだが。
13回目	Review	期末試験
14回目	エッセイを書いてみよう(5)	これまで確認してきた文法や1文レベルの英文をもとに、まとまった英文を書いてみよう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・各授業後に学習した内容を振り返り、理解した箇所と不明な箇所を明確にする。
・理解した内容は関係書物にあたって学習を深め、不明な点は自主学習によって解決を目指す。
・教科書の一部指定した箇所を予習し、補足プリントをやってみる。

【テキスト（教科書）】
Common Errors in English Writing
『読み・書く英語表現のポイント15章』
木塚　晴夫/ノースリッジ・ロジャー著
音羽書房鶴見書店

【参考書】
必要に応じて提示する

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題・小テスト 20%
中間テスト・学期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】
次の4点に留意する。
1) 一つ一つの活動には明確な目的・意図があるが、学生がそれを十分に理解した上で実行できるように分かりやすく説明する。
2) 学生の興味や学習の理解度に応じて、授業内容や進度を調整する。
3) わかりやすく見やすい提示を心がける。
4) 質問しやすい環境と時間を作る。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する。

【その他の重要事項】
・５回欠席した時点で単位取得不可となる。
・遅刻・中抜け・早退は２回を持って欠席１回とみなす。

【Outline (in English)】
Course outline:
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Learning objectives:
The goals of this course are to review correct grammar, usages and collocations, understand the differences between Japanese and English ideas and express them effectively in English.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to do regular homework, clarify what they haven't understood and resolve it through independent study.
Grading Criteria:
In-class activities, homework and quizzes (20%), mid-term and final exams (80%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

平賀　史子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Students will develop ability of using English language skills to communicate in various situations by building on their prior study in Comprehensive English 1. Students will continue to acquire four language skills (Reading, Writing, Listening, and Speaking) in English communication more fluently and confidently.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Students will do various speaking activities such as pair work and group work about suggested topics in the textbook. Students also do presentations using YouTube. They are expected to work collaboratively to do various tasks such as group discussion, researching, and presenting topics of interest. The instructor will provide ongoing support and feedback for students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction / Orientation	Introduction of the course, Orientation, Sign-up for YouTube presentation
第2回	Unit 9: What does she look like?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第3回	Unit 9: What does she look like?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第4回	Unit 11: It's a really nice city.	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第5回	Unit 11: It's a really nice city.	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第6回	Preparation for Speaking Task 1	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
第7回	Speaking Task 1	Speaking Task 1, practice, active listening
第8回	Unit 12: It's important to get rest.	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第9回	Unit 12: It's important to get rest.	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第10回	Unit 13: What would you like?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第11回	Unit 13: What would you like?	YouTube presentation, In-class conversation tasks, and skills-based work based on the textbook unit.
第12回	Preparation for Speaking Task 2	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
第13回	Speaking Task 2	Speaking Task 2, practice, active listening
第14回	Make-Ups	Make-Ups, Reflections, Feedback, and Goal setting

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Interchange Fifth Edition (Level 1) Student's Book with Online Self-Study
Jack C. Richards with Jonathan Hull and Susan Proctor
Cambridge University Press (ISBN: 978-1-316-62031-1) 3, 250 yen (3, 575 yen tax included)

【参考書】
The teacher will provide additional material.

【成績評価の方法と基準】
Speaking Task 1 (20%), Speaking Task 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

【学生の意見等からの気づき】
The instructor is willing to be available to take student concerns under consideration throughout the semester.

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to bring either a smartphone, tablet, or laptop computer. Please make sure that it is fully charged before the class and can connect to the internet easily. Also, students are welcome to bring their dictionary (electric or book) in class.

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Activities outside of classroom]
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be decided based on the following:
Speaking Task 1 (20%), Speaking Task 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

藤井　哲郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
Students will continue to build and practice speaking, listening, reading and writing English communication skills through a number of everyday topics. By the end of the course, students will feel more comfortable using general English, and they will be able to express themselves more fluently and confidently.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
The development and practice of useful grammar, vocabulary, pronunciation and functional language will be a regular feature of the course. Pair work and small group work will be emphasized. English will be used as the medium for instruction at all times.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students will also receive individual written feedback and error correction on writing assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction & explanation	Speaking: Talk about your summer break Check summer homework
2	Unit 4A Life at home	Vocabulary: Things in a home Grammar: How many/much Speaking: Ask and answer questions about your home
3	Unit 4B Life at home	Speaking: Make and agree to requests Pronunciation: Intonation of questions Listening: Friendly requests
4	Unit 4C Life at home	Vocabulary: Household chores Grammar: Separable two-word phrasal verbs Speaking: Talk about household chores
5	Unit 4D Life at home	Reading: "Unusual houses from around the world" Listening: A tour of Graceland Writing: Dream home
6	Unit 5A Health	UNIT 4 QUIZ Vocabulary: Parts of the Body Grammar: Imperatives; adverbs of manner Pronunciation: Reduction of 'and' Speaking: Give and follow instructions
7	Unit 5B Health	Vocabulary: Health problems Listening: What's wrong? Speaking: Say how you feel; wish someone well
8	Unit 5C Health	Vocabulary: Healthy habits Grammar: 'How' questions Speaking: Ask and talk about healthy habits
9	Unit 5D Health	Reading: "Feeling stressed?" Listening: Creative ways to manage stress Writing: Managing stress Speaking: Discuss ways to manage stress
10	Unit 6A What's on TV?	UNIT 5 QUIZ Vocabulary: Types of TV shows Grammar: Verb + infinitive or gerund Speaking: Talk about types of TV shows you like
11	Unit 6B What's on TV?	Speaking: Agree and disagree with an opinion Listening: What to watch on TV
12	Unit 6C What's on TV? Unit 6D What's on TV?	Vocabulary: Television Grammar: Present continuous for future plans Pronunciation: Sentence stress Speaking: Describe future plans Reading: Reality Shows Listening: Favorite Shows Back Home
13	FINAL EXAMINATION (paper test)	UNIT 4, 5, 6
14	FINAL EXAMINATION (speaking test)	Final examination: UNITS 4, 5, 6

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students are responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time. Late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
Four Corners Level 2A Online Workbook Level 2A (2nd edition) by Jack C. Richards and David Bohlke (Published by Cambridge) ISBN: 9781009286459

【参考書】
Four Corners Level 2A Online Workbook Level 2A (2nd edition)
https://www.cambridgeone.org/

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments (textbook, online workbook &writing): 20%
Quizzes (Units 4, 5): 20%
Final examination (paper): (Units 4, 5, 6) 20%
Final examination (speaking): (Units 4, 5, 6) 20%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Students will continue to build and practice speaking, listening, reading and writing English communication skills through a number of everyday topics. By the end of the course, students will feel more comfortable using general English, and they will be able to express themselves more fluently and confidently.
Students will also receive individual written feedback and error correction on writing assignments.
Students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.
Class participation (speaking English, taking notes): 20%
Homework assignments (textbook, online workbook &writing): 20%
Quizzes (Units 4, 5) 20%
Final examination (paper): (Units 4, 5, 6) 20%

Final examination (speaking): (Units 4, 5, 6) 20%

PHL100LC（哲学 / Philosophy 100）

哲学入門

沖本　龍哉

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・１７世紀フランスの思想家パスカルの『パンセ』を読み、私たちの人生に役立つ知恵を学ぶ。
・『パンセ』のうち、４つのテーマ（「死」「幸せ」「習慣」「イメージ」）について考える。

【到達目標】
各テーマについて、
・パスカルはどのように考えていたか理解できる。（思考力）
・自分はどのように考えるか日本語で表現できる。（文章力）
・自分の考えをどのように活かせるか話し合える。（応用力）
以上の３つの能力を、バランスよく身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、各テーマの内容について解説した後、前回の授業で提出されたコメントを紹介して読み上げ、お互いの考えを知り、テーマの理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	「死」について考える①	テーマの主旨を説明
第3回	「死」について考える②	コメントの紹介
第4回	「死」について考える③	コメントの続きとまとめ
第5回	「幸せ」について考える①	テーマの主旨を説明
第6回	「幸せ」について考える②	コメントの紹介
第7回	「幸せ」について考える③	コメントの続きとまとめ
第8回	「習慣」について考える①	テーマの主旨を説明
第9回	「習慣」について考える②	コメントの紹介
第10回	「習慣」について考える③	コメントの続きとまとめ
第11回	「イメージ」について考える①	テーマの主旨を説明
第12回	「イメージ」について考える②	コメントの紹介
第13回	「イメージ」について考える③	コメントの続きとまとめ
第14回	まとめ	この授業で何を学んだか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、２時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・毎回のコメントは、授業でもっとも印象に残ったことについて、わかりやすく読みやすい文章で書くことにより、文章力が上達するだけでなく、次回の授業で紹介されて、お互いの理解を助けることができる。

【テキスト（教科書）】
各テーマごとに、資料を用意する。

【参考書】
・パスカル『パンセ』前田陽一・由木康〔訳〕中公新書、1973年。
・パスカル『パンセ』塩川徹也〔訳〕、岩波文庫（全３巻）、2015年。
・『哲学の歴史　第５巻　デカルト革命』小林道夫〔編〕中央公論新社、2007年。

【成績評価の方法と基準】
・成績は、毎回のコメント提出（60％）と出席（40％）による、平常点で評価する。
・コメントは、少なくとも200字以上を条件として、テーマについてどのくらい理解できているか、文章は工夫して書けているかなど、総合的に評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
・わかりやすい解説を心がけています。

【その他の重要事項】
【抽選について】
・履修登録の人数が多い場合は、初回の授業後に、抽選を行いますので、かならず出席してください。
・抽選に外れてしまう可能性がありますので、あらかじめ他の授業の履修もご検討ください。
・もし抽選に外れてしまった場合は、お手数ですが、すみやかに登録の修正ないしキャンセルをお願いします。

【Outline (in English)】
We read "Pensées" by the 17th century French thinker Pascal and learn wisdom that can be useful in our lives.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (60%) and class contribution (40%).

PHL100LC（哲学 / Philosophy 100）

哲学入門

沖本　龍哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・１７世紀フランスの思想家パスカルの『パンセ』を読み、私たちの人生に役立つ知恵を学ぶ。
・『パンセ』のうち、４つのテーマ（「死」「幸せ」「習慣」「イメージ」）について考える。

【到達目標】
各テーマについて、
　・パスカルはどのように考えていたか理解できる。（思考力）
　・自分はどのように考えるか日本語で表現できる。（文章力）
　・自分の考えをどのように活かせるか話し合える。（応用力）
以上の３つの能力を、バランスよく身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、各テーマの内容について解説した後、前回の授業で提出されたコメントを紹介して読み上げ、お互いの考えを知り、テーマの理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	「死」について考える①	テーマの主旨を説明
第3回	「死」について考える②	コメントの紹介
第4回	「死」について考える③	コメントの続きとまとめ
第5回	「幸せ」について考える①	テーマの主旨を説明
第6回	「幸せ」について考える②	コメントの紹介
第7回	「幸せ」について考える③	コメントの続きとまとめ
第8回	「習慣」について考える①	テーマの主旨を説明
第9回	「習慣」について考える②	コメントの紹介
第10回	「習慣」について考える③	コメントの続きとまとめ
第11回	「イメージ」について考える①	テーマの主旨を説明
第12回	「イメージ」について考える②	コメントの紹介
第13回	「イメージ」について考える③	コメントの続きとまとめ
第14回	まとめ	この授業で何を学んだか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、２時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・毎回のコメントは、授業でもっとも印象に残ったことについて、わかりやすく読みやすい文章で書くことにより、文章力が上達するだけでなく、次回の授業で紹介されて、お互いの理解を助けることができる。

【テキスト（教科書）】
各テーマごとに、資料を用意する。

【参考書】
・パスカル『パンセ』前田陽一・由木康〔訳〕中公新書、1973年。
・パスカル『パンセ』塩川徹也〔訳〕、岩波文庫（全３巻）、2015年。
・『哲学の歴史　第５巻　デカルト革命』小林道夫〔編〕中央公論新社、2007年。

【成績評価の方法と基準】
・成績は、毎回のコメント提出（60％）と出席（40％）による、平常点で評価する。
・コメントは、少なくとも200字以上を条件として、テーマについてどのくらい理解できているか、文章は工夫して書けているかなど、総合的に評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
・わかりやすい解説を心がけています。

【その他の重要事項】
　【抽選について】
・履修登録の人数が多い場合は、初回の授業後に、抽選を行いますので、かならず出席してください。
・抽選に外れてしまう可能性がありますので、あらかじめ他の授業の履修もご検討ください。
・もし抽選に外れてしまった場合は、お手数ですが、すみやかに登録の修正ないしキャンセルをお願いします。

【Outline (in English)】
We read "Pensées" by the 17th century French thinker Pascal and learn wisdom that can be useful in our lives.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (60%) and class contribution (40%).

PHL100LC（哲学 / Philosophy 100）

哲学入門

美頭　千不美

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
西洋の学問の伝統において、哲学は諸学の基礎に位置づけられる。ではなぜ諸学問の基礎に哲学が位置づけられるのか。哲学とは何をする学問的営みであるのか。本授業では、哲学にこれまで触れたことのない受講生を対象に、学としての哲学の本質を初級者向けに解説しながら、哲学史の流れに沿って哲学の概論を講義する。あわせて、哲学用語の意味の基礎的な理解を目指す。

【到達目標】
西洋哲学以外の学問分野（たとえば宗教学、芸術学、社会学、歴史学等）との関連づけもはかりながら、古代ギリシア以来の哲学思想を西洋哲学史の流れに沿って近代の入り口まで紹介するので、自分が既に習得しているさまざまな知識とうまく関係づけながら、哲学の歴史の主流とそこで問題となる基本用語を習得すること、それが学習到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
▪　本授業は、基本的に全回対面の授業である。
なお、諸般の事情により、Zoom／ハイフレックス型の授業は実施しない。
▪　本授業は講義形態の（聴講して学ぶ）授業である。演習・ディスカッション等は実施しない。
▪　リアクションペーパーの毎回の提出を求めない代わりに、随時、Gmailでの質問・意見・感想等を受けつける。必要であれば、学習支援システム内の授業内掲示板を開設し、自由な意見交換が行なわれるよう配慮する。
毎回の授業を通じて当然生じる受講生の自由な思い・感想や意見・質問などを、積極的に受けつける。だから気になることがあれば遠慮なく直接質問するなりメールをください。
メール・アドレス：chifumi.mito.gv@hosei.ac.jp
＊　なお、授業全般に関する情報は、学習支援システム内の「お知らせ」欄を通じて告知することもあるため、学期末の授業最終週まで「お知らせ」欄に随時注意を払う必要がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	ガイダンス：講義内容概観、評価方法	▪西洋の学問的伝統において諸学の基礎と目される「哲学」の特性について。また、古代ギリシアから中世、ルネサンス、近代に至る西洋哲学思想の流れを大まかに紹介。 ▪評価方法の概略を具体的に口頭で伝える。大事な点なので、質問があれば遠慮なく直接私に質問できるようにする。 ▪期限までに簡単な自己紹介文を提出するよう案内する（今回分の出席点に加算する）。
第02回	哲学とは何か：理性をよりどころとする真理の探究、近代日本における「哲学」の導入	哲学において重視される「理性」とは何でありうるかについて、「ロゴス」を参照しながらその重要な意味について解説する。また、「ピロソピアー」に「哲学」の訳語を与えた西周（にし　あまね）についても触れる。
第03回	古代ギリシア（1）：ソクラテス以前①：自然哲学	自然哲学。タレス。アナクシマンドロス。ヘラクレイトス。ピュタゴラス。デモクリトス。
第04回	古代ギリシア（2）：ソクラテス以前②：ソフィスト	ソフィスト。プロタゴラス。
第05回	古代ギリシア（3）：ソクラテス	ソクラテス概説。無知の知。己の魂の世話。
第06回	古代ギリシア(4)：プラトン①	プラトン概説。イデア論。
第07回	古代ギリシア(5)：プラトン②	プラトンの世界観。想起説。政治思想。
第08回	古代ギリシア(6)：アリストテレス①	アリストテレス概説。形相と質料の形而上学。
第09回	古代ギリシア(7)：アリストテレス②	アリストテレスの倫理・政治思想。
第10回	ヘレニズム期：ストア派とエピクロス派	ヘレニズム期概説。ストア派の世界観と倫理思想。エピクロスの快楽主義。
第11回	西洋中世とルネサンス：スコラ哲学、ルネサンス期の思想家	キリスト教初期の教父哲学とアウグスティヌス。 中世のスコラ哲学、トマス・アクィナス。 ルネサンス：古代ギリシア・ローマの文芸復興、ヒューマニズム、ピコ・デラ・ミランドラ。
第12回	ルネサンスから近代へ：宗教改革、モラリスト	宗教改革：ルター、信仰義認、聖書中心主義。カルヴァン、予定説、職業召命観、マックス・ヴェーバー。 モラリスト：モンテーニュ、パスカル、デカルト。カントの倫理思想。
第13回	西洋近代の思想：ベーコン、デカルト、ホッブズ、ロック	フランシス・ベーコン：「知は力なり」、イドラ説、帰納法。 デカルト：良識、方法的懐疑、「我思うゆえに我あり」、演繹法。精神と物体の二元論。 ホッブズ：自然状態、「万人の万人に対する戦い」、「自然権」、社会契約。 ロック：経験論、「タブラ・ラサ」、信託。
第14回	授業時間内期末試験	習得度を確認するための筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
▪　本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、2時間を標準とする。
▪　高等学校で「倫理」を履修した者は、「高校倫理」の復習をする。
▪　授業開始以前にしておかなければならない指定された準備学習は特にない。但し、授業終了後は、毎回の授業の復習を各自きちんとこなし、質問があれば質問をし、授業中に適宜紹介される参考文献に当たるなどして授業内容の理解に積極的に努めること。そうしないと、哲学・思想の歴史的流れを踏まえながら、その基本用語の意味を理解し、実際にそれを使いこなせるようにはならない。

【テキスト（教科書）】
教科書の指定はなし。
必要な教材は適宜（てきぎ）プリントにして配布する。
また、毎回の授業ではパワーポイントを使用するが、その講義資料を授業時間内であれば自由にダウンロードすることができるように取り計らう。

【参考書】
毎回の授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
▪　平常点（30～50％程度）と期末試験（70～50％程度）とにより総合的に評価する（100点満点）。
▪　平常点の内訳（うちわけ）
　毎回の出席カード（手書き）の提出＋【本日の質問】への解答の提出（学習支援システム内に設けられた項目に期限までに解答を提出する）
▪　詳しくは初回のガイダンスの折に説明するので、受講希望者は初回のガイダンスに出席されたし。
▪　なお、期末試験（教場における筆記試験）は非常に簡単な復習テストであるので、最低ラインの点数に満たない場合、平常点が満点であったとしても、単位取得のために求められる基礎学力が決定的に不足しているとみなし、評価を「不可」とする。あるいは、平常点が著しく低い場合などは大幅減点の対象となる等の、独自の評価基準を定めている。100点満点の90点以上を取得するためには、平常点・期末試験とも満点に近い点数を取得する必要がある。

【学生の意見等からの気づき】
①講義後半の近代の内容をもう少し充実させる。
②マイクを上手に活用し、あまり大声・早口でまくしたてないよう、聴講する側に配慮して話し方に注意をする。
③講義資料において、スライド画面の見やすさ・講義内容の質をより高める。
④受講生の反応や理解度に常に注意を払う。
⑤昨年度までの試験の答案に見られた問題点を指摘し、受験の際に受講生が不正解を避けられるよう配慮する。

【学生が準備すべき機器他】
ノート型のパソコン（任意）
　※　教室内のスクリーンが小さいため、スクリーンに映し出される画面が見づらい場合もある。その場合、ノート型のパソコンを持参していると、学習支援システム内の「教材」欄に授業時間内だけアップされる講義資料を手元のパソコンの画面を通して見ることができる。

【その他の重要事項】
基本的にパワーポイントを活用して作成した講義資料をスクリーンに映写して授業を進める予定である。

【Outline (in English)】
▪【Course outline 】:In the Western academic tradition,philosophy is positioned as the foundation of various studies.So why is philosophy positioned as the foundation of academics? What is an academic act of doing philosophy? Here,we will explain the essence of philosophy as academic for elementary students for students who have never mentioned before in philosophy,and will give an overview of philosophy along the trend of philosophical history.At the same time,we aim at the fundamental understanding of philosophical terms.
▪【Learning Objectives】:The most important learning object is to acquire basic knowledge about the history of Western philosophy,from ancient Greek philosophy to modern empiricism,rationalism,and Kant.Furthermore,students will be able to practically use this basic knowledge of the history of Western philosophy while relating it to other academic fields besides philosophy (for example,religious studies,history,sociology,literature,and art).
▪【Learning activities outside of classroom】:The standard time for outside class study ,such as preparation and review for this class, is two hours.Students who have taken ＜ Ethics ＞ in high school will review ＜ High School Ethics ＞ .There is no designated preparation work that must be done before the start of class.However,after class,each student should actively strive to understand the content of the class by properly reviewing each lesson,asking any questions they may have,and referring to reference materials that are introduced during class as appropriate.Without this,students will not be able to understand the meanings of basic terms and use them effectively while keeping in mind the historical flow of philosophy and thought.
▪【Grading criteria】:Class participation (30-50 points) and final exam (70-50 points). Full attendance does not guarantee a credit. More details will be explained in the first week of the class.

LNG100LC

言語学概論

小屋　多恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
コーパスとは「電子化された言語資料」であり、コンピュータの発達により1960年代に世界初のコーパス（ブラウンコーパス）が登場して以来様々なコーパスが世界中で編纂されている。その結果、コーパスを用いて、言語の様々な特徴を極めて短時間で科学的・客観的に調査することが可能になった。
本授業では、コーパスに関する基本的知識（定義、歴史、種類）やコーパスの具体的な使用方法を学習した上で、実際に分析調査を行うことを目的とする。分析対象言語は英語とする。この授業を通して、各研究領域にコーパスによる分析手法を活用し、より深い学びや研究に寄与できるようにする。

【到達目標】
1) コーパスに関する基礎知識（定義、歴史、種類、問題点）を理解できる。
2) コンコーダンサーを使用したコーパスの基本的な分析・処理方法を理解できる。
3) 帰納的な手法から、言語の文法や語法の特徴に気づくことができる。
4) オリジナルパイロットスタディを実施し、考察できる。
5) ワードやエクセルの使い方・レポートの書き方を理解し、最終レポートを完成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は講義形式ではなく、実際に各自で調査・実践する演習形式をとる。１回の授業は次の手順で行う。
1) 復習クイズ
2) 前回の課題に対するフィードバック
3) 今日のポイント解説
4) 実践
1)は、学習支援システムのテスト機能を使って行う。各自が前回学んだ内容を確認し、また欠席してしまった学生にとっては、前回やった内容を簡単に理解した上で、その日の授業に臨めるようにする。
2)のフィードバックは、学生が行った課題の良い例や修正すべき例、間違えやすい例を提示し、解説することによって、さらなる理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	言語を科学するとは？
2	コーパス言語学とは何か コーパス言語学の歴史 概観	コーパス言語学とは？ コーパスの種類とは？ コーパスの問題点とは？ 1960年代からの４つの代表的なコーパスとは？ 1990年代以降からのコーパスとは？
3	コーパスに関する実践・研究例(1)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう
4	コーパスに関する実践・研究例(2)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう
5	コーパスに関する実践・研究例(3)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう
6	コーパスに関する実践・研究例(4)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう
7	コーパスに関する実践・研究例(5)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう。レポートにまとめてみよう。
8	コーパスに関する実践・研究例(6)	解析ソフトを使って実際に分析してみよう。レポートにまとめてみよう。
9	コーパス作成(1)	自作のコーパスを作ってみよう
10	コーパス作成(2) コーパスを利用したパイロットスタディ(1)	作成した自作のコーパスを使ってオリジナルな視点から分析してみよう
11	コーパスを利用したパイロットスタディ(2)	オリジナルな視点からコーパスを使って分析してみよう
12	コーパスを利用したパイロットスタディ(3)	オリジナルな視点からコーパスを使って分析してみよう
13	コーパスを利用したパイロットスタディ(4)	オリジナルな視点からコーパスを使って分析してみよう
14	まとめと評価	レポート作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
前の授業でわからなかった個所を明確にしておく。
授業時間内に終わらなかったタスクを次の時間までに仕上げておく。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、授業時に資料を配布する

【参考書】
必要に応じて提示する

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題　40%
最終レポート　60%

【学生の意見等からの気づき】
次の点に留意する。
1) 一つ一つの活動には明確な目的・意図があるが、学生がそれを十分に理解した上で実行できるように分かりやすく説明する。
2) 学生の興味や学習の理解度に応じ、いくつか選択肢を用意することによって、多様なニーズに応えられるようにする。
3) コンピュータの使い方が苦手な受講者をサポートする。

【学生が準備すべき機器他】
マルチメディア教室で授業を行う予定であるが、備付のパソコンではなく、自分のパソコンを使用しても良い。

【Outline (in English)】
Course outline:
This course introduces students to language corpora as a resource for linguistic analysis. Students will learn the central concepts of corpus linguistics and some basic skills necessary in conducting a corpus investigation, find out how corpora are influencing recent trends in linguistic research, and have opportunity to apply corpus-based methods in their own work.
Learning objectives:
The goals of this course are to understand basic knowledge about corpora, learn ways of basic processing of corpora using an analysis tool and conduct an original pilot study.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to complete any tasks that were not completed during the class by the next class.
Grading Criteria:
In-class activities and assignments (40%), and project and paper (60%)

LNG100LC

言語学概論

梨本　邦直

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人は言語という直線的な音・記号の連続によって世界を理解し、考えを表現する。連続する音や記号で伝えたい意味を伝達するとはどういうシステムなのだろうか。この最も基本的な疑問に答えていくのが言語学概論の目的である。

【到達目標】
上記の目的に向けて、音声学、音韻論、形態論、統語論の基本形式を理解する。意味論においては語の意味だけでなく、文法機能と構文の意味について階層構造を考察する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
主として講義形式であるが、理解を助けるために簡単な演習を授業中に行う。教科書の該当箇所と授業後に学習支援システムに載せるスライド資料を参考に復習する。
授業の初めに、前回の演習課題を振り返りフィードバックを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	言語研究とは	言語学の領域
2	音声学	調音音声学 母音、子音 国際音声字母IPA
3	音声学	音響音声学 スペクトラム分析
4	音韻論	音素とは
5	音韻論	英語の音素数と日本語の音素の考え方
6	音韻論	モーラ、音節、アクセント
7	中間テスト	音声学・音韻論を内容とする教室内中間テスト
8	統語論	構成素分析
9	統語論	ソシュールの考えと構造主義 チョムスキーの生成文法
10	統語論	文法機能と意味 品詞
11	構文意味論	英語の統語構造 文法範疇
12	構文意味論	英語の統語構造 情報構造
13	構文意味論	SVOOの文型とThere is構文
14	まとめ	日本語の文構造 主題優勢言語 英語の基本文型に対する日本語の基本文型とは？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
The PDF slides of the lecture will be posted on LMS (Hoppii) after each class. Students should review the lecture using both the slides and the textbook. Then answer the weekly questions through the test function of LMS.

【テキスト（教科書）】
風間喜代三、上野善道、松村一登、町田健『言語学 第２版』東京大学出版（2004年）

【参考書】
Crystal, David. (2010) The Cambridge Encyclopedia of Language, CUP
他に必要があれば授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
Mid-Semester Exam: 50%（教室内）
End-of-semester Exam: 50%（試験期間）

【学生の意見等からの気づき】
スライド資料は授業後ではなく授業前に授業支援システムに載せる。

【Outline (in English)】
Humans understand phenomena and express ideas by means of language which is a linear representation of sounds and words. What is the system of communication by which a meaning is conveyed in a series of sounds and language signs? The aim of this class is to answer this fundamental question by learning basic theories of phonetics, phonology, syntax, and semantics.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content using the slides uploaded on the system after the class.
At the end of this course, students will be able to:
· understand the basics of phonetics, phonology, morphology, and syntax with particular emphasis on determining the Japanese phonemes and basic sentence structures
· understand grammatical categories and their meanings in the framework of the three levels of the sentence structure
Grading Criteria
Mid-Semester Exam: 50%
End-of-semester Exam: 50%

HIS100LC（史学 / History 100）

日本文化論

横山　泰子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を考える一つの手がかりとして、妖怪文化をとりあげます。自国の文化を知るために、様々な文献やマンガ、絵画資料などにふれ、現代の文化が過去とつながっていること、海外の文化とも関係していることを知ります。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的です。
文章だけではなく、映像や絵画、マンガなども文化研究の資料です。娯楽としてそれらを楽しむだけではなく、資料として扱う方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査
2	現代日本の妖怪文化の特徴 「鬼滅の刃」について	現代の日本の妖怪文化を代表する作品を鑑賞し、その特徴を考える
3	娯楽の対象としての妖怪 鬼について	怖いはずのものが楽しみ＝娯楽になることに注目し、妖怪文化の遊びの面をとらえる
4	魔術／呪術の現代	アニメやゲームなどの世界では、魔術や妖術が流行している。古来から行われてきた呪術について考える
5	地域に根ざす妖怪文化	日本には、地域に根ざした多様な妖怪伝承がある。その地域性について考える
6	地域を超える妖怪文化	近年、日本の妖怪文化は諸外国から注目・評価されている。どの点がユニークとされ、興味を持たれているかをとらえる
7	妖怪を表現する技術	歴史的な絵画技術について学ぶ
8	妖怪を表現する技術	歴史に学びながら、自分で妖怪を作ってみる
9	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
10	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
11	日本の妖怪文化を世界で説明するために	日本文化を世界で説明することが求められる昨今、妖怪について自分なりに説明してみる
12	近代の学問と妖怪	近代の学問の発展のなかで、妖怪はどのようにとらえられるようになったかを考える。
13	近代科学と妖怪	近代科学の発展にともない、過去に妖怪のしわざとされていた現象は科学的に説明可能となった面がある。科学と怪異現象との関係について考える
14	まとめ	学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】その都度指示します

【テキスト（教科書）】
教科書を使用する予定はありません。

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
【成績評価基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
これまでの授業アンケートで「日本文化論ではあるが、海外の妖怪の内容を入れてほしい」という声があったため、数年西洋の話題をとりあげてきました。昨年「西洋の話題は不要ではないか」という声がありましたので、今年は割愛することにしました。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
いそぎの質問等は
yyoko@hosei.ac.jp
にメールで御願いします。
抽選を行う予定です。履修希望者は初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand yokai in Japan as cultural concepts and cultural products. The word yokai means creatures, presences, or phenomena that could be described as mysterious or eerie and are seen in every society.In recent years, interest in yokai culture has continued to build in Japan.After taking this course, you will be able to explain how yokai culture has built in Japan. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

HIS100LC（史学 / History 100）

日本文化論

横山　泰子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を考える一つの手がかりとして、妖怪文化をとりあげます。自国の文化を知るために、様々な文献やマンガ、絵画資料などにふれ、現代の文化が過去とつながっていること、海外の文化とも関係していることを知ります。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的です。
文章だけではなく、映像や絵画、マンガなども文化研究の資料です。娯楽としてそれらを楽しむだけではなく、資料として扱う方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査
2	現代日本の妖怪文化の特徴 「鬼滅の刃」について	現代の日本の妖怪文化を代表する作品を鑑賞し、その特徴を考える
3	娯楽の対象としての妖怪 鬼について	怖いはずのものが楽しみ＝娯楽になることに注目し、妖怪文化の遊びの面をとらえる
4	魔術／呪術の現代	アニメやゲームなどの世界では、魔術や妖術が流行している。古来から行われてきた呪術について考える
5	地域に根ざす妖怪文化	日本には、地域に根ざした多様な妖怪伝承がある。その地域性について考える
6	地域を超える妖怪文化	近年、日本の妖怪文化は諸外国から注目・評価されている。どの点がユニークとされ、興味を持たれているかをとらえる
7	妖怪を表現する技術	歴史的な絵画技術について学ぶ
8	妖怪を表現する技術	歴史に学びながら、自分で妖怪を作ってみる
9	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
10	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
11	日本の妖怪文化を世界で説明するために	日本文化を世界で説明することが求められる昨今、妖怪について自分なりに説明してみる
12	近代の学問と妖怪	近代の学問の発展のなかで、妖怪はどのようにとらえられるようになったかを考える。
13	近代科学と妖怪	近代科学の発展にともない、過去に妖怪のしわざとされていた現象は科学的に説明可能となった面がある。科学と怪異現象との関係について考える
14	まとめ	学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
その都度指示します

【テキスト（教科書）】
教科書を使用する予定はありません。

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
【成績評価基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
これまでの授業アンケートで「日本文化論ではあるが、海外の妖怪の内容を入れてほしい」という声があったため、数年西洋の話題をとりあげてきました。昨年「西洋の話題は不要ではないか」という声がありましたので、今年は割愛することにしました。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
いそぎの質問等は
yyoko@hosei.ac.jp
にメールで御願いします。
抽選を行う予定です。履修希望者は初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand yokai in Japan as cultural concepts and cultural products. The word yokai means creatures, presences, or phenomena that could be described as mysterious or eerie and are seen in every society.In recent years, interest in yokai culture has continued to build in Japan.After taking this course, you will be able to explain how yokai culture has built in Japan. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

ARSe100LC（地域研究（東アジア）/ Area studies(East Asia) 100）

アジア文化論

呉　暁林

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は東洋と西洋の文化交流を凝縮している世界文化遺産、名所旧跡などの映像資料を題材とし、学生と共にアジア地域の文化交流における人・物の往来・伝播のルートをたどりながら、異なる国と地域の生活習慣、衣食住、宗教と文字の共通性と異質性を再認識、再発見できることを目的とします。
特に漢字文化圏に属する中国、日本、朝鮮半島の交流について考察を行います。

【到達目標】
学生が様々な文化的現象について学習と議論を通して期末個人学習発表会で自ら見解を述べられることを到達目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は学習支援システムにアップした授業資料（PPT）の学習、対面講義、映像資料の視聴と期末学習発表で構成されます。
NHKスペシャル番組など映像資料を見もらい、種々の文化現象を簡潔に解説します。異文化との交流と文化摩擦の問題について考えます。
映像資料を単に視聴するだけではなくメモを取り、期限内に内容の要約や感想をワード形式のレポートとして提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション：文化とは？ 異文化交流とは？ 考えるポイントを提示します。	映像『縄文遺跡の巨大集落』、『弥生人DNAで迫る日本人の起源」
第2回	世界遺産と中華の源流	映像と解説 ＮＨＫスペシャル『中国文明の謎』：二里頭遺跡と殷墟（宮廷儀式と漢字の誕生）
第3回	世界遺産と中国の世界観	映像と解説 ＮＨＫスペシャル『中国文明の謎』：兵馬俑・始皇帝と中国の統一
第4回	文化の保護・継承と伝播	映像と解説 二つの故宮（北京と台北）とコレクション
第5回	日本と中国の文化交流	映像と解説 ＮＨＫスペシャル 「壁画の旅を行く」「クチャ音楽の旅」
第6回	文化交流の壮大なルート：シルクロード、アイアンロードと茶馬古道	解説と映像 陸のシルクロード、中央アジアの製鉄技術と周辺への伝播、お茶と馬の交易ルート
第7回	人物と日中文化交流：鑑真和尚と唐招提寺	解説と映像 正倉院コレクション 、唐招提寺大改修と新発見
第8回	仏教ロード	映像と解説 仏教の誕生と仏教伝来の道（インド・中国・大韓民国）
第9回	文化交流と創造：遣唐使・空海と東寺	解説映像 NHKスペシャル 空海の留学・人生・宗教観
第10回	海のシルクロード：陶磁器の道	解説と映像 NHKスペシャル 磁器と韓国・日本・イラン・ドイツ
第11回	学習発表と討論	学生が自らテーマを選び5分～8分ほどの映像動画を作成して発表と議論
第12回	学習発表と討論	学生が自らテーマを選び5分～8分ほどの映像動画を作成して発表と議論
第13回	学習発表と討論	学生が自らテーマを選び5分～8分ほどの映像動画を作成して発表と議論
第14回	学習発表と討論	学生が自らテーマを選び5分～8分ほどの映像動画を作成して発表と議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】毎回、授業資料（PPT）の閲読、映像資料を視聴して重要なポイント（事項、年代、人物）などのメモを取り、期限内に内容の要約と感想をワード形式のレポートとして提出してもらいます。

【テキスト（教科書）】
岡本隆司（2019）『世界史とつなげて学ぶ中国全史』、鹿本隆司（2021）『中国史とつなげて学ぶ日本史』、いずれも東洋経済新報社。
NHK取材班（2012）『中国文明の謎－中国4千年の始まりを旅する』NHK出版
鈴木薫著（2018）『文字と組織の世界史：新しい「比較文明史」のスケッチ』山川出版社
特に購入することを要求しません。

【参考書】
NHK取材班（2012）『中夏文明の誕生ー持続する中国の源を探る』講談社

【成績評価の方法と基準】
レポートなどの平常点（40％）、個人学習発表（40％）、期末レポート（20％）を合計総合して評価します。
①授業のレポート
②学習発表PPT
③最終レポート（学習発表PPTを添削して自分の感想や発見を加え、アジア文化交流の特徴や成果について記述したもの）
注意：期末レポートの提出は最終評価する上で不可欠です。

【学生の意見等からの気づき】
授業支援システムの「教材」は学習テーマの予備知識として用意されたもので、映像資料の内容の理解に役立ちます。ぜひ目を通しておいてください。
レポートの作成は大変だったのか？ 受講者にアンケートを取ったところ、慣れれば特に負担にはなりませんでした。視聴した内容について、メモを取る力、要約する力、自分の意見を述べる力のトレーニングになったとの声が多かった。

【学生が準備すべき機器他】
授業中、また視聴学習の際にメモを取り、授業終了後にレポートを提出してもらいます。

【その他の重要事項】
プロジェクター、ＤＶＤを使用する。

【Outline (in English)】
This course focuses on the world cultural heritage and people of Asian countries and discusses cross-cultural exchanges.By the end of the course, students are expected to express their own views in an individual learning presentation through learning and discussions on various cultural phenomena.Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.Scores will be based on short reports (20%), presentations (40%) and final report (40%).

ARSk100LC（地域研究（地域間比較） / Area studies(Interregional comparison) 100）

ヨーロッパ・アメリカ文化論

庭山　雄吉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、アメリカ合衆国の歴史に焦点をあて、基礎的な知識に留まらず、特に現代史における文化、社会、エスニック・マイノリティについて学び、習得することを目的とします。1950年代から1960年代に展開された公民権運動は、最終的に公民権法成立という成果に至っただけでなく、その後、女性やエスニック・マイノリティにも多大な影響を与えました。一連の運動を概観し学びとることで、現代の諸問題を考える知識を蓄え、受講生に考える機会を提供します。

【到達目標】
現代のアメリカ合衆国で垣間見られる人種をめぐる社会問題について、歴史的観点のもとで説明できる力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
対面での授業を基本とします。この授業は講義形式ですが、講師による一方向的な授業ではなく、受講生からの意見も限り取り入れ、双方向型の授業を執り行います。毎回、授業ではできる限り多くの受講生に質問をします。加えて、アクティブ・ラーニングの一環として、グループ・ディスカッションを設け、受講生どうしの啓発を促していきます。さらに、数回、授業のテーマにかんするリアクション・ペーパーの記入を課します。配布資料には、日本語のみならず英語で表記された資料も用います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、予習・復習についての説明
2	北米の先住民族	入植者達との遭遇 ポカホンタスの役割
3	アメリカ合衆国の成り立ち	北米植民地の発展とアメリカ独立革命
4	アメリカ合衆国における黒人の歴史	プランテーションの開発、黒人奴隷
5	アメリカ合衆国における公民権運動　ローザ・パークス	モンゴメリーでのバス・ボイコット運動
6	アメリカ合衆国における公民権運動　キング牧師	ワシントン大行進
7	公民権運動後の社会	女性解放運動、エスニック・マイノリティへの影響
8	グループ・ディスカッション	議題についてグループ内での討論、まとめ、発表
9	日系アメリカ人の歴史　移住開始から定住	初期移住者達の生活
10	日系アメリカ人の歴史　強制移住とその後の補償要求運動	補償要求運動の展開および成果
11	アメリカ合衆国の移民政策	国境の壁、不法移民
12	アメリカ合衆国の外交政策	アメリカ第一主義
13	9・11後のアメリカ合衆国社会	人種・エスニシティにかんする社会環境の変化
14	試験・まとめと解説	試験およびこれまでの授業の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とします。
ハンドアウトの確認および、授業内で提示された参考文献を読み、さらなる理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】
毎回、ハンドアウトを配布して授業を行います。

【参考書】
明石紀雄、飯野正子『エスニック・アメリカ〔第3版〕－多文化社会における共存の模索』（有斐閣、2011）
土田久美子『日系アメリカ人とリドレス運動－記憶と集合的アイデンティティをめぐる社会運動のダイナミクス』（日本能率協会マネジメントセンター、2021）
南川文里『アメリカ多文化社会論〔新版〕－「多からなる一」の系譜と現在』（法律文化社、2022）
ほか、授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験　90％
授業での質問に対する受け答え、グループ・ディスカッション、リアクション・ペーパー　10％
3分の1以上（5回以上）欠席すると単位修得が不可となります。
遅刻2回で欠席1回とします。授業開始後、30分経過すると入室ができないので注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
今年度からの担当であるため、受講生にとって分かりやすい授業を目指していきます。

【その他の重要事項】
最終的な履修者数により、進度や内容に変更が生じる可能性があります。
授業中は、授業目的以外でのパソコン、スマートフォンの使用は控えてください。

【Outline (in English)】
This course focuses on the history of the United States and aims to provide students with not only a basic knowledge of the United States, but also to learn and master the culture, society, and ethnic minorities, especially in the contemporary history of the country. The Civil Rights Movement not only led to the enactment of the Civil Rights Act but also had a profound impact on women and ethnic minorities in the years that followed. This course is designed to provide students with an opportunity to think about various current issues that we face today. By the end of the course, students should be able to explain the ethnic diversity within an American society. Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on in-class contribution (group discussion and reaction paper) (10%) and examination (90%).

ARSi100LC（地域研究（アフリカ） / Area studies(Africa) 100）

アフリカ文化論

福島　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、マグレブ地域、およびサハラ砂漠以南のアフリカ、さらには、アフリカ系アメリカ人やカリブ海の人々の歴史と文化を紹介します。受講生には、さまざまな事象やメディアを通して、「アフリカ」の複雑さに触れ、思考を巡らせてもらいます。そのため、この授業では「アフリカ」をサブサハラアフリカ（サハラ以南のアフリカ）に限定せず、「マグレブ」（北アフリカ）まで含むできるだけ広く、雑多な観点から論じます。「アフリカ」とひとくくりにされがちな地域や人々について、自らの言葉でその複雑さを説明したり、表現できるようになることが、この授業の目的です。

【到達目標】
・「アフリカ」と一言でくくってしまうことがなぜ問題なのか、自らの意見を自分の言葉で述べることができる。
・「アフリカ」諸地域・諸国について、それぞれの地域・国のおおまかな歴史的背景を説明できる。
・自分の専攻分野が「アフリカ」とどのように関連しているのか、関連しうるのか、考え、言葉や映像、図像等で説明できる。
・「アフリカ」やアフリカ系の作家・アーティストによる創作（映画、演劇、文学）について自らの言葉で解説や説明をすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
　この授業はオンライン環境で行う授業です。授業中は、学習支援システムやチャット機能、グループ機能を用いた双方向型の授業を行います。受講者は、掲示板上に提示されたさまざまな話題に対して発言し、議論に参加することが求められるほか、授業時間外の学習でグループ学習をすることが求められます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	授業の紹介：「アフリカ」とはどこか？	これまでの学校教育で「アフリカ」について学んだことをふり返りつつ、「アフリカ」という語が持つ複雑さについて考える。
第2回	グループワーク：自分の専攻と「アフリカ」（1）	専攻している分野と「アフリカ」とのつながりについて考え、討論や発表を行う。
第3回	「アフリカ」と歴史：音、声、文字	「アフリカ」史についていかなる語りがなされてきたのか無文字社会に着目して考える。
第4回	エイモス・チュツオーラ『やし酒飲み』	口承について考える。また、民話的・神話的な文学世界がナイジェリアの植民地史とどのように連関しているか考える。
第5回	チヌア・アチェベ『崩れゆく絆』	ナイジェリアにおけるキリスト教布教と植民地支配の関係について考える。
第6回	「アフリカ」と環大西洋	奴隷制以降の「アフリカ」史のあり方について、「環大西洋」という観点から考える。
第7回	エメ・セゼール『帰郷ノート』	環大西洋的なアフロディアスポラの文学について考える。
第8回	グループワーク：自分の専攻と「アフリカ」（2）	専攻している分野と「アフリカ」とのつながりについて考え、討論や発表を行う。発表方法は受講生の人数を踏まえて指示するが、スライド、ポスター、あるいは動画を作成し、提出・共有することを想定している。
第9回	アシア・ジェバール『愛、ファンタジア』	「マグレブ」（北アフリカ）について知る。特に、アルジェリア独立戦争について知る。
第10回	ヤミナ・ベンギギ『移民の記憶』	マグレブ系移民と旧宗主国との関係について考える。
第11回	アマドゥ・クルマ『アラーの神にもいわれはない』	内戦と少年兵の問題について考える。
第12回	Groupov『ルワンダ94』	ルワンダの虐殺をめぐる演劇について、集団創作という観点から考える。
第13回	チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ『半分のぼった黄色い太陽』	「シングルストーリー」に対してナイジェリア生まれの作家がどのように争おうとしているのか考える。
第14回	グギ・ワ・ジオンゴ『精神の非植民地化』	「非植民地化」とはどのような意味なのか、なぜそれが現代世界を考えるうえで重要なのか考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業支援システムの掲示板に示された議題に対して、書き込みをして応答して下さい。
【重要】グループ討論に備え、各自、グループのメンバーと授業時間外に共同で学習を行なう必要があります。受講生同士できちんと連絡を取り合ってください。

【テキスト（教科書）】
宮本正興、松田素二編『新書アフリカ史改訂新版』講談社現代新書、2018年、ISBN:9784065139486（書籍版、電子版、いずれでも良いです。授業中に参照するので、手もとに置きながら受講してください。なお、この本は700頁以上あるため、授業内で全ての項目を扱うわけではありません。）

【参考書】
『新版アフリカを知る事典』ISBN：9784582126402
『アフリカ文学講義』ISBN：9784622090670
その他、個々の地域や映像作品等に関する参考資料は授業内で提示します。

【成績評価の方法と基準】
・平常点50％（毎回400文字のコメントペーパー。成績評価には、10回以上のコメントペーパー提出が必要です）
・グループワークの成果50％（短いプレゼンテーションのほか、ポスター、動画、スライドの作成など、グループ学習の成果を目に見える形で表現し、参加者と共有すること）

【学生の意見等からの気づき】
授業中に受講者がテキストを十分吟味できるよう、時間の配分を工夫します。オンライン授業ではありますが、教師から学生へ、という一方通行的な授業にはならないよう工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
・オンライン授業を受けるのに必要なカメラ・マイク付きのPCを各自で用意してください。
・資料配布・課題提出等のために学習支援システム等を利用します。

【その他の重要事項】
オンライン授業のため、受講生同士のやり取りをできるだけ多くするよう工夫します。具体的にはグループワークによるスライド、ポスター、動画等の作成を行なってもらいます。そのため受講生同士で事前・事後学習の際に連絡を取り合えるよう工夫してください。
【重要】第2回目の授業と第8回目の授業で、グループワークを行います。このグループワークは成績評価の必須条件なので、第2回目と第8回目の授業には必ず参加してください。やむをえない事情によって授業を欠席する場合は、グループのメンバーと各自で連絡を取ってください。
【参考】後期に同じ教員が担当する「国際関係論」とこの授業は同じ教科書を用いますが、扱う範囲や着眼点が異なります。そのため、「国際関係論」も合わせて受講するとより理解が深まるでしょう。

【Outline (in English)】
In this course, we will explore the history and culture of the Maghreb region, sub-Saharan Africa, as well as the African American and Caribbean communities.
The goal of this course is to deepen your understanding of the diversity within "Africa," a term often used as a single entity, by examining histories and cultures of these regions and peoples. By the end of the course, you will be able to articulate this diversity in your own words.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Students are also required to work in groups.
The final grade will be based on the submission of the comment sheet (50%) and the results of the group work (50%).

HIS100LC（史学 / History 100）

比較文化論

横山　泰子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
自分たちが生活する日本という国の文化的特徴を、海外との比較をしつつ考える姿勢を身につけます。身近な生活文化に注目し、本を読み、様々な現象を調べながら、日本的な現象とされていることが本当に日本的であるかどうかを考えます。

【到達目標】
日本の文化を比較文化的にとらえるための手がかりとして、「世間」「社会」等の基本的な概念に注目することによって、自文化を相対的に見る視点と異文化に対する興味を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明とアンケート	シラバス内容の確認。「日本的」と思われるモノ・コトを考える
2	言語文化	日本の生活文化の特徴を言葉から考える
3	「世間」と「社会」について１	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
4	「世間」と「社会」について２	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
5	「世間」と「社会」について３	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
6	「空気」について	「空気」についての説明
7	贈り物の文化	贈答文化について海外の事例と比較
8	職場の文化１	職場文化を、海外の事例を加えて考える
9	職場の文化２	職場文化を、海外の事例を加えて考える
10	服装の文化	制服やリクルートスーツなどの規則を、海外の事例を加えて考える
11	服装の文化	日本のマスク文化を、海外の事例を加えて考える
12	同調性と安全性１	同調性を重視する社会の性格を考える
13	同調性と安全性２	同調性を重視する社会の性格を考える
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を読み、課題作文等を書く　（１時間程度）

【テキスト（教科書）】
鴻上尚史『空気を読んでも従わない』岩波ジュニア新書　２０１９年　８２０円

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度教科書として指定した『「空気」を読んでも従わない』が好評だったので、今回もより時間をかけて読み、別の視点からの説明も加えることにしました。異文化理解のたすけとなる外国の映画やドラマを視聴する予定です。昨年度映像鑑賞が好評だったので、より多様な作品を選びたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
急ぎの質問は、yyoko@hosei.ac.jp
に御願いします。
抽選を行う予定です。初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand Japanese culture in everyday life. We ask ourselves the questions what things and phenomena that Japanese peolple think are very Japanese are really Japanese.Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

HIS100LC（史学 / History 100）

比較文化論

横山　泰子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
自分たちが生活する日本という国の文化的特徴を、海外との比較をしつつ考える姿勢を身につけます。身近な生活文化に注目し、本を読み、様々な現象を調べながら、日本的な現象とされていることが本当に日本的であるかどうかを考えます。

【到達目標】
日本の文化を比較文化的にとらえるための手がかりとして、「世間」「社会」等の基本的な概念に注目することによって、自文化を相対的に見る視点と異文化に対する興味を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明とアンケート	シラバス内容の確認。「日本的」と思われるモノ・コトを考える
2	言語文化	日本の生活文化の特徴を言葉から考える
3	「世間」と「社会」について１	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
4	「世間」と「社会」について２	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
5	「世間」と「社会」について３	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
6	「空気」について	「空気」についての説明
7	贈り物の文化	贈答文化について海外の事例と比較
8	職場の文化１	職場文化を、海外の事例を加えて考える
9	職場の文化２	職場文化を、海外の事例を加えて考える
10	服装の文化	制服やリクルートスーツなどの規則を、海外の事例を加えて考える
11	服装の文化	日本のマスク文化を、海外の事例を加えて考える
12	同調性と安全性１	同調性を重視する社会の性格を考える
13	同調性と安全性２	同調性を重視する社会の性格を考える
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を読み、課題作文等を書く　（１時間程度）

【テキスト（教科書）】
鴻上尚史『空気を読んでも従わない』岩波ジュニア新書　２０１９年　８２０円

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度教科書として指定した『「空気」を読んでも従わない』が好評だったので、今回もより時間をかけて読み、別の視点からの説明も加えることにしました。異文化理解のたすけとなる外国の映画やドラマを視聴する予定です。昨年度映像鑑賞が好評だったので、より多様な作品を選びたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
急ぎの質問は、yyoko@hosei.ac.jp
に御願いします。
抽選を行う予定です。初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand Japanese culture in everyday life. We ask ourselves the questions what things and phenomena that Japanese peolple think are very Japanese are really Japanese.Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

ART100LC（芸術学 / Art studies 100）

映像芸術

山口　雅敏

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
写真、実写映画、アニメーション、ビデオアートなどの「映像」全般は、どうして芸術でありうるのか。この点について受講者と共に授業で考察していきます。そしてその問いについて受講者それぞれが何らかの結論に至ることを目指します。

【到達目標】
映画やその他の映像芸術について、問題意識を持って鑑賞できるようになることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
映像史や映画史を概観しつつ、映画作品の一部分を随時観ながら、映画の「ショット」と「モンタージュ」の芸術性について考えていきます。同時に、写真やアニメーションなどの芸術性にも言及していきます。
また、授業で学んだことについて課題やレポートを数回提出してもらいます。
レポートは、Hoppiiで提出してもらい、教員が講評と評価をつけます。
なお、映画作品を映画館で観てもらい、レポートを書いてもらう場合もあります。
授業内容についての質問などは、授業中もしくはメールにて受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションおよびイントロダクション	・レポートなどについての説明。 ・映像芸術全般についての概要。
2	映画前史	・写真の発明から映画の発明へ。 ・写真と映画の技術性と芸術性。
3	映画の誕生	エジソンとリュミエール兄弟。 ショットとモンタージュの発明。 ・授業課題
4	リアリズム映画からトリック映画へ	・ジョルジュ・メリエスの映画について。トリック映画からフィクション映画へ。 ・第１回レポート課題のお題発表、
5	映像でストーリーを語るということ	サイレント時代におけるハリウッド式のモンタージュの確立について。
6	１９２０年代の前衛映画とシュールレアリスム映画	・フランスとドイツにおける映像の芸術性の追求。 ・シュールレアリスム映画 ・授業課題
7	ドイツ表現主義	映画におけるドイツ表現主義の影響。
8	フランス印象主義	アベル・ガンスの「高速モンタージュ」や「トリプル・エクラン」など。
9	ソビエトモンタージュ派	・モンタージュの芸術性 ・エイゼンシュタインとヴェルトフの手法。 ・授業課題
10	サイレントからトーキーへ	・スラップスティック・コメディからスクリューボール・コメディへ。 ・第２回レポート課題のお題発表。
11	オーソン・ウェルズの初期作品	・ウェルズの技法とその芸術性について。 ・ウェルズの影響について。
12	戦後イタリアのネオレアリズモ作品	・ネオリアリズモの手法とその影響について。 ・授業課題
13	ヌーヴェルヴァーグ	ヌーヴェルヴァーグの革新性について。
14	ミュージカル映画の芸術性	演劇と映画の芸術性の違いについて。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で取り上げる映画作品などを、YouTubeその他の動画配信サイトなどで視聴するようにしてください。さらに、映画館に足を運んで、現在の映画をたくさん観るようにすることが望ましいです。
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特定のテキストはありません。

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
全四回の授業課題（３０％）、全２回のレポート（７０％）を点数化して１００点満点とし、６０点以上を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】
昔のサイレント時代の映画作品を一度も観たことのない学生が多いようなので、古い作品にも興味が持てるように授業を工夫したいと思います。

【Outline (in English)】
How can "images" in general, such as photographs, live-action films, animation, and video art, be art? We will discuss this point in class with the students. The goal is for each student to come to some kind of conclusion regarding that question.
Please try to watch the movies and other works that will be covered in class on YouTube or other video distribution sites. In addition, it is advisable to go to the cinema and watch a lot of current movies.
The standard study time outside of class hours, such as preparation and review for this class, is 4 hours.
All four class assignments (30%) and two total reports (70%) are scored to give a perfect score of 100, and a score of 60 or above is considered passing. Evaluate comprehensively.

ART100LC（芸術学 / Art studies 100）

映像芸術

山口　雅敏

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
写真、実写映画、アニメーション、ビデオアートなどの「映像」全般は、どうして芸術でありうるのか。この点について受講者と共に授業で考察していきます。そしてその問いについて受講者それぞれが何らかの結論に至ることを目指します。

【到達目標】
映画やその他の映像芸術について、問題意識を持って鑑賞できるようになることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
映像史や映画史を概観しつつ、映画作品の一部分を随時観ながら、映画の「ショット」と「モンタージュ」の芸術性について考えていきます。同時に、写真やアニメーションなどの芸術性にも言及していきます。
また、授業で学んだことについて課題やレポートを数回提出してもらいます。
レポートは、Hoppiiで提出してもらい、教員が講評と評価をつけます。
なお、映画作品を映画館で観てもらい、レポートを書いてもらう場合もあります。
授業内容についての質問などは、授業中もしくはメールにて受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションおよびイントロダクション	・レポートなどについての説明。 ・映像芸術全般についての概要。
2	映画前史	・写真の発明から映画の発明へ。 ・写真と映画の技術性と芸術性。
3	映画の誕生	エジソンとリュミエール兄弟。 ショットとモンタージュの発明。 ・授業課題
4	リアリズム映画からトリック映画へ	・ジョルジュ・メリエスの映画について。トリック映画からフィクション映画へ。 ・第１回レポート課題のお題発表、
5	映像でストーリーを語るということ	サイレント時代におけるハリウッド式のモンタージュの確立について。
6	１９２０年代の前衛映画とシュールレアリスム映画	・フランスとドイツにおける映像の芸術性の追求。 ・シュールレアリスム映画 ・授業課題
7	ドイツ表現主義	映画におけるドイツ表現主義の影響。
8	フランス印象主義	アベル・ガンスの「高速モンタージュ」や「トリプル・エクラン」など。
9	ソビエトモンタージュ派	・モンタージュの芸術性 ・エイゼンシュタインとヴェルトフの手法。 ・授業課題
10	サイレントからトーキーへ	・スラップスティック・コメディからスクリューボール・コメディへ。 ・第２回レポート課題のお題発表。
11	オーソン・ウェルズの初期作品	・ウェルズの技法とその芸術性について。 ・ウェルズの影響について。
12	戦後イタリアのネオレアリズモ作品	・ネオリアリズモの手法とその影響について。 ・授業課題
13	ヌーヴェルヴァーグ	ヌーヴェルヴァーグの革新性について。
14	ミュージカル映画の芸術性	演劇と映画の芸術性の違いについて。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で取り上げる映画作品などを、YouTubeその他の動画配信サイトなどで視聴するようにしてください。さらに、映画館に足を運んで、現在の映画をたくさん観るようにすることが望ましいです。
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特定のテキストはありません。

【参考書】
特にありません

【成績評価の方法と基準】
全四回の授業課題（３０％）、全２回のレポート（７０％）を点数化して１００点満点とし、６０点以上を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】
昔のサイレント時代の映画作品を一度も観たことのない学生が多いようなので、古い映画作品にも興味が持てるように授業を工夫したいと思います。

【Outline (in English)】
How can "images" in general, such as photographs, live-action films, animation, and video art, be art? We will discuss this point in class with the students. The goal is for each student to come to some kind of conclusion regarding that question.
Please try to watch the movies and other works that will be covered in class on YouTube or other video distribution sites. In addition, it is advisable to go to the cinema and watch a lot of current movies.
The standard study time outside of class hours, such as preparation and review for this class, is 4 hours.
All four class assignments (30%) and two total reports (70%) are scored to give a perfect score of 100, and a score of 60 or above is considered passing. Evaluate comprehensively.

ART100LC（芸術学 / Art studies 100）

音楽芸術

竹内　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人はなぜ、音楽を好むのでしょうか？
多くの人に好まれる音楽は、どのような特徴があるのでしょうか？
音楽の芸術性は、どのように判断されるのでしょうか？
音楽を好きな人ならば、１度は疑問に思ったことがあるはずです。
これらの疑問を解き明かすことが、この授業のテーマです。

【到達目標】
西洋の音楽史を一言で言うと、音楽を複雑にした歴史と言えます。これは西洋音楽が、常に新しい表現を求め続けたためです。そして２０世紀初頭には、無調音楽を生み出して、表現の限界までに至りました。
音楽の芸術性に関しても、複雑な手法で作られた音楽ほど、芸術性が高いと評価される傾向があります。しかし芸術性の評価は、人それぞれです。
音楽を作る手法、文化的背景、楽器の歴史と進化などを知ることによって、音楽の芸術性を考えられるようになることが、この授業の到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回キーワードに基づいたレクチャーを行い、レクチャーに関連する音楽と映像を鑑賞しますが、オンライン授業を余儀なくされた場合は適時対応します。
質問などへの対応は、個人的なもの以外は授業中に行います。
またオンライン授業になった場合は、授業内掲示板で質問などに対応を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス 西洋音楽史の概要	授業の進め方と成績評価方法などと、古代ギリシャから始まったとされる西洋音楽史の概要を、授業前の基礎知識として説明します。
2	音楽と記憶	人が音楽を好む理由を、記憶の面から考察します。
3	音階と和音	西洋音楽における音階と和音の変遷と、音楽に与えた影響を考察します。
4	繰り返しの手法	音楽の作られる形式にある、音楽の構成的な周期を解き明かします。
5	クラシック音楽の行き詰まり	複雑化した音楽と無調音楽の特徴と、それが生まれた背景を考察します。
6	黒人音楽の影響	ブルーノートとアフタービートなど、黒人文化が音楽へ与えた影響と、それが生まれた背景を考察します。
7	中南米の音楽	多民族社会から生まれた中南米諸国の音楽的特徴と、それが生まれた背景を考察します。
8	楽器の起源と分類	バイオリン、トランペットなど、現在使われている楽器の起源と発展を学び、人と音楽の関わりを考察します。
9	楽器の発音原理と表現	管楽器、弦楽器、打楽器の仕組みと表現を知り、音楽におけるそれぞれの役割を解き明かします。
10	衰退した楽器とその復刻	リュート、リコーダーなど衰退した楽器と、衰退した楽器が復刻した訳を考察します。
11	電気楽器と電子楽器の発展	電気楽器と電子楽器の発展と、音楽に与えた影響を考察します。
12	音楽とメディア	レコード、映画、放送など、メディアが音楽に与えた影響を考察します。
13	音楽の効果と表現	オペラ、ミュージカルなどの劇音楽の歴史から、音楽の効果と表現を考察します。
14	生活環境と音楽 音楽の芸術性	生活環境の変化による、音楽の聴き方と使われ方の変化を知り、人と音楽の関わりを考察して、音楽の芸術性を探ります。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、本学の学則に鑑みて１回につき4時間を標準とします。学習支援システムで配布している資料に、予習としてあらかじめ目を通してください。授業終了後に授業内容を思い出しながら、資料にあるリンクから動画を鑑賞して復習を行ってください。また授業で与えられたネット検索課題を行って、レポートの作成に備えてください。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムで毎週資料を配布します。

【参考書】
「音楽する」は脳に効く　重野知央編集
発行所　株式会社Gakken
https://www.amazon.co.jp/%E3%80%8C%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E3%81%99%E3%82%8B%E3%80%8D%E3%81%AF%E8%84%B3%E3%81%AB%E5%8A%B9%E3%81%8F-%E5%BC%BE%E3%81%8F%E3%83%BB%E8%81%B4%E3%81%8F%E3%83%BB%E6%AD%8C%E3%81%86%E3%81%A7%E4%B8%80%E7%94%9F%E3%82%A2%E3%82%BF%E3%83%9E%E3%81%AF%E9%80%B2%E5%8C%96%E3%81%99%E3%82%8B-%E9%87%91%E4%B8%B8-%E5%92%8C%E5%AF%8C-ebook/dp/B0BJDFX7HK/ref=sr_1_1?crid=27VQTTYTM9NZF&dib=eyJ2IjoiMSJ9.uCje9RhL2z3C4p54jAhBe9ATfyTa4PgwzghLL3z0eEE1-Xj8ayHE2NKL7sizOHvo5gmPtQTsw6Mh0dOkq4mG_7rjC4XuCMWQH2JjakkeCdzdzeD6TstZKcVc1EcyD4xAES9IXavylaZoFaiaoQ22sL6vjOdSBMdHRpQT2CtORlPY-wWUrdWJHQ2tV8843PwP0HAiqu1eYCkp04oQbV6EBCeDN-NtEYvknKyOgumZCoQ.RhgurCivdFQi1djOrwl8KW6y_-4gR9n544KX-roBx28&dib_tag=se&keywords=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%AF%E8%84%B3%E3%81%AB%E5%8A%B9%E3%81%8F&qid=1737194463&sprefix=%E3%81%8A%E3%82%93%E3%81%8C%E3%81%8F%E3%81%99%E3%82%8B%2Caps%2C162&sr=8-1

【成績評価の方法と基準】
評価はレポートのみで行います。
レポートのタイトルとフォーマットは、授業内で指示をします。
レポートの評価基準は、授業内容と主旨を理解しているかがポイントです。
また、授業内で取り上げたキーワードが、レポートに織り込まれていることが重要です。
キーワードが使われていないレポートは、内容に関わらず失格とします。
平常評価は、レポートの内容から授業に参加しているかを判断して行います。

【学生の意見等からの気づき】
授業で使用したパワーポイントのファイルが欲しいとの要望がありますが、パワーポイントは要点のみに絞ってありますので、配布はいたしません。
出席をしているかどうかは、レポートの内容から授業に参加したかどうかを判断しますので、パワーポイントからの情報ではなく、私の話を聞くことが重要です。

【学生が準備すべき機器他】
学生が授業で準備をする機器などはありませんが、学習支援システムで配布するMuseScoreのファイルを使用するためには、PCが必要となります。
レポート課題は授業内で説明を行い、レポート作成要旨を学習支援システムで配布します。学習支援システム以外の課題提出は認めません。（メールに添付などは不可。）

【その他の重要事項】
授業内では、必要に応じて映像や音楽を流します。
この間の教室からの出入りは、他の学生の迷惑となりますので、控えるようにお願いをします。

【音楽的な知識と能力に関して】
この授業の受講には、音楽の専門的な知識も能力も必要はありません。
楽譜の読めない人や、楽器を演奏したことのない人でも、大部分は理解できる授業内容です。
ある程度、音楽の専門的な話をすることもありますが、専門的な内容が理解できなくても、成績評価には全く影響しませんので、安心をして受講してください。

【履修制限】
履修者数が教室の収容人数を超える場合は、抽選により履修制限を行う場合があります。

【Outline (in English)】
Why do people like music?
What characteristics do those pieces of music loved by many people have?
How can we judge the value of musical arts?
You may have had such questions once in your lives.
The purpose of this class is to discover the answers to those questions.

Final grade will be determined by the final paper.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Specifically, please:
· Review the materials distributed via the LMS before class.
· Watch the videos linked in the materials to reinforce the class content after class.
· Prepare for writing the paper by completing the online search assignments given in class. and prepare for writing the paper.

ART100LC（芸術学 / Art studies 100）

音楽芸術

竹内　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人はなぜ、音楽を好むのでしょうか？
多くの人に好まれる音楽は、どのような特徴があるのでしょうか？
音楽の芸術性は、どのように判断されるのでしょうか？
音楽を好きな人ならば、１度は疑問に思ったことがあるはずです。
これらの疑問を解き明かすことが、この授業のテーマです。

【到達目標】
西洋の音楽史を一言で言うと、音楽を複雑にした歴史と言えます。これは西洋音楽が、常に新しい表現を求め続けたためです。そして２０世紀初頭には、無調音楽を生み出して、表現の限界までに至りました。
音楽の芸術性に関しても、複雑な手法で作られた音楽ほど、芸術性が高いと評価される傾向があります。しかし芸術性の評価は、人それぞれです。
音楽を作る手法、文化的背景、楽器の歴史と進化などを知ることによって、音楽の芸術性を考えられるようになることが、この授業の到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回キーワードに基づいたレクチャーを行い、レクチャーに関連する音楽と映像を鑑賞しますが、オンライン授業を余儀なくされた場合は適時対応します。
質問などへの対応は、個人的なもの以外は授業中に行います。
またオンライン授業になった場合は、授業内掲示板で質問などに対応を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業ガイダンス 西洋音楽史の概要	授業の進め方と成績評価方法などと、古代ギリシャから始まったとされる西洋音楽史の概要を、授業前の基礎知識として説明します。
2	音楽と記憶	人が音楽を好む理由を、記憶の面から考察します。
3	音階と和音	西洋音楽における音階と和音の変遷と、音楽に与えた影響を考察します。
4	繰り返しの手法	音楽の作られる形式にある、音楽の構成的な周期を解き明かします。
5	クラシック音楽の行き詰まり	複雑化した音楽と無調音楽の特徴と、それが生まれた背景を考察します。
6	黒人音楽の影響	ブルーノートとアフタービートなど、黒人文化が音楽へ与えた影響と、それが生まれた背景を考察します。
7	中南米の音楽	多民族社会から生まれた中南米諸国の音楽的特徴と、それが生まれた背景を考察します。
8	楽器の起源と分類	バイオリン、トランペットなど、現在使われている楽器の起源と発展を学び、人と音楽の関わりを考察します。
9	楽器の発音原理と表現	管楽器、弦楽器、打楽器の仕組みと表現を知り、音楽におけるそれぞれの役割を解き明かします。
10	衰退した楽器とその復刻	リュート、リコーダーなど衰退した楽器と、衰退した楽器が復刻した訳を考察します。
11	電気楽器と電子楽器の発展	電気楽器と電子楽器の発展と、音楽に与えた影響を考察します。
12	音楽とメディア	レコード、映画、放送など、メディアが音楽に与えた影響を考察します。
13	音楽の効果と表現	オペラ、ミュージカルなどの劇音楽の歴史から、音楽の効果と表現を考察します。
14	生活環境と音楽 音楽の芸術性	生活環境の変化による、音楽の聴き方と使われ方の変化を知り、人と音楽の関わりを考察して、音楽の芸術性を探ります。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、本学の学則に鑑みて１回につき4時間を標準とします。学習支援システムで配布している資料に、予習としてあらかじめ目を通してください。授業終了後に授業内容を思い出しながら、資料にあるリンクから動画を鑑賞して復習を行ってください。また授業で与えられたネット検索課題を行って、レポートの作成に備えてください。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムで毎週配信します。

【参考書】
「音楽する」は脳に効く　重野知央編集
発行所　株式会社Gakken
https://www.amazon.co.jp/%E3%80%8C%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E3%81%99%E3%82%8B%E3%80%8D%E3%81%AF%E8%84%B3%E3%81%AB%E5%8A%B9%E3%81%8F-%E5%BC%BE%E3%81%8F%E3%83%BB%E8%81%B4%E3%81%8F%E3%83%BB%E6%AD%8C%E3%81%86%E3%81%A7%E4%B8%80%E7%94%9F%E3%82%A2%E3%82%BF%E3%83%9E%E3%81%AF%E9%80%B2%E5%8C%96%E3%81%99%E3%82%8B-%E9%87%91%E4%B8%B8-%E5%92%8C%E5%AF%8C-ebook/dp/B0BJDFX7HK/ref=sr_1_1?crid=27VQTTYTM9NZF&dib=eyJ2IjoiMSJ9.uCje9RhL2z3C4p54jAhBe9ATfyTa4PgwzghLL3z0eEE1-Xj8ayHE2NKL7sizOHvo5gmPtQTsw6Mh0dOkq4mG_7rjC4XuCMWQH2JjakkeCdzdzeD6TstZKcVc1EcyD4xAES9IXavylaZoFaiaoQ22sL6vjOdSBMdHRpQT2CtORlPY-wWUrdWJHQ2tV8843PwP0HAiqu1eYCkp04oQbV6EBCeDN-NtEYvknKyOgumZCoQ.RhgurCivdFQi1djOrwl8KW6y_-4gR9n544KX-roBx28&dib_tag=se&keywords=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%AF%E8%84%B3%E3%81%AB%E5%8A%B9%E3%81%8F&qid=1737194463&sprefix=%E3%81%8A%E3%82%93%E3%81%8C%E3%81%8F%E3%81%99%E3%82%8B%2Caps%2C162&sr=8-1

【成績評価の方法と基準】
評価はレポートのみで行います。
レポートのタイトルとフォーマットは、授業内で指示をします。
レポートの評価基準は、授業内容と主旨を理解しているかがポイントです。
また、授業内で取り上げたキーワードが、レポートに織り込まれていることが重要です。
キーワードが使われていないレポートは、内容に関わらず失格とします。
平常評価は、レポートの内容から授業に参加しているかを判断して行います。
オンライン授業となっても、成績評価の方法に変更はありません。

【学生の意見等からの気づき】
授業で使用したパワーポイントのファイルが欲しいとの要望がありますが、パワーポイントは要点のみに絞ってありますので、配布はいたしません。
出席をしているかどうかは、レポートの内容から授業に参加したかどうかを判断しますので、パワーポイントからの情報ではなく、私の話を聞くことが重要です。

【学生が準備すべき機器他】
学生が授業で準備をする機器などはありませんが、学習支援システムで配布するMuseScoreのファイルを使用するためには、PCが必要となります。
レポート課題は授業内で説明を行い、レポート作成要旨を学習支援システムで配布します。学習支援システム以外の課題提出は認めません。（メールに添付などは不可。）

【その他の重要事項】
授業内では、必要に応じて映像や音楽を流します。
この間の教室からの出入りは、他の学生の迷惑となりますので、控えるようにお願いをします。

【音楽的な知識と能力に関して】
この授業の受講には、音楽の専門的な知識も能力も必要はありません。
楽譜の読めない人や、楽器を演奏したことのない人でも、大部分は理解できる授業内容です。
ある程度、音楽の専門的な話をすることもありますが、専門的な内容が理解できなくても、成績評価には全く影響しませんので、安心をして受講してください。

【履修制限】
履修者数が教室の収容人数を超える場合は、抽選により履修制限を行う場合があります。

【Outline (in English)】
Why do people like music?
What characteristics do those pieces of music loved by many people have?
How can we judge the value of musical arts?
You may have had such questions once in your lives.
The purpose of this class is to discover the answers to those questions.

Final grade will be determined by the final paper.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Specifically, please:
· Review the materials distributed via the LMS before class.
· Watch the videos linked in the materials to reinforce the class content after class.
· Prepare for writing the paper by completing the online search assignments given in class. and prepare for writing the paper.

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

こころの働き

山本　晃輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的なこころの機能である，感覚・知覚、注意、対人認知などに関する心理学の基礎知見を学ぶ。人間の心理，行動への理解を深めることを通して，日常生活のさまざまな場面で心理学の知識を活用するための基礎力を養うことが目的である。

【到達目標】
・心理学の研究領域が理解できる。
・心理学の基礎的な方法論が理解できる。
・感覚・知覚に関する心理学の基礎知識が理解できる。
・対人認知に関する心理学の基礎知識が理解できる。
・思考・問題解決に関する心理学の基礎知識が理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、人間のこころの共通性・一般法則などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の研究領域について説明する。
第2回	心理学における方法論	実験法，調査法，観察法などの心理学の基本的な方法論について説明する。
第3回	感覚知覚（1）	視覚，聴覚について説明する。
第4回	感覚知覚（2）	嗅覚，味覚，触覚および注意について説明する。
第5回	心理学における方法論と感覚知覚の振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第6回	対人認知（1）	対人認知を規定する要因について説明する。
第7回	対人認知（2）	対人認知の相互作用について説明する。
第8回	集団	集団の心理的メカニズムについて説明する。
第9回	社会と文化	文化心理学や個人主義，集団主義について説明する。
第10回	対人認知，集団，社会と文化の振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第11回	思考・問題解決（1）	思考と問題解決の基礎的なメカニズムについて説明する。
第12回	思考・問題解決（2）	さまざまな思考法や問題解決の技法について説明する。
第13回	心理的支援	多職種連携，心理療法の基礎について説明する。
第14回	総合的まとめ	各回の振り返りと重要事項を確認する。基礎知見の応用展開について説明する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。配布資料を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、授業で紹介した図書などに目をとおすこと。

【テキスト（教科書）】
以下の教科書を使用します。
ライブラリ　読んでわかる心理学１　読んでわかる心理学　清水寛之・瀧川真也・槙　洋一・山本晃輔　サイエンス社　2024年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
授業中に実施する小課題(60%)およびレポート課題(40%)を合わせて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度のフィードバックで好評だった学生からの質問紹介と回答は、今年度も引き続き実施する。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
The course aims to provide foundational knowledge in psychology concerning basic mental functions such as sensation, perception, attention, and interpersonal cognition. The goal is to cultivate foundational skills for applying psychological knowledge in various everyday situations by enhancing understanding of human psychology and behavior.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short examination: 60%、Short reports: 40%

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

パーソナリティ

伊藤　ひろみ

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、こころの個性を表すパーソナリティ（人格）、他者との人間関係などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や心理検査を行いたい。
○　この授業は、履修希望者が多数になった場合は抽選になることがあります。詳細は第1回目の講義でお話し致しますので、希望者は必ず第１回目の授業に出席してください。
○　教科書は必ず必要です。その他の必要な資料は、学習支援システムに掲載します。
★詳細な授業内容については、授業開始前に、学習支援システムの中の当該科目のお知らせを確認してください。★
○　最終成績は、定期試験の成績をもと（70％）とし、授業への積極性・貢献度(15%)や課題レポート1回の成績（15％）を加味して、決定します。
○　伊藤ひろみのメールアドレスは、　hiromi.ito.rk@hosei.ac.jp です。
○　状況が変化し、授業の内容と成績算定方式を変更するときには、改めて、お知らせします。

【到達目標】
「パーソナリティ」「こころの働き」という２つの授業を通じて、人間のこころのメカニズムについて知識を身につけて欲しい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、こころの個性を表すパーソナリティ（人格）、他者との人間関係などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や心理検査を行いたい。「こころの働き」とペアで履修することが望ましい。授業期間中に数回、課題の提出を求めるつもりだが、その場合は原則として提出期限１週間後に、正解を学習支援システムに掲載するので、かならず自分の答えとつきあわせて確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の幅広い内容を紹介する
第2回	心理学の対象	心理学の研究対象について説明する
第3回	基本的なこころの機能	一人一人が持っているこころの機能、すなわちパーソナリティについて説明する
第4回	心理学の研究方法	心理学が用いる研究方法について説明する
第5回	心理学の領域と周辺諸科学	心理学がどのような他の学問領域と関連しているのか説明する
第6回	パーソナリティ把握のスキーム	パーソナリティを把握するための諸理論について説明する
第7回	パーソナリティの発達	パーソナリティがどのように発達していくのか説明する
第8回	パーソナリティの形成	パーソナリティが遺伝と環境の影響を受けてどのように形成されるのか説明する
第9回	パーソナリティの能力的側面	知的能力について説明する
第10回	知能と実際的知的能力	知的能力を構成する諸特性について説明する
第11回	気質と性格	性格の内容と性格の諸理論について説明する
第12回	防衛機制	人が無意識におこなう防衛機制について説明する
第13回	パーソナリティの指向的側面	好み・関心・人生観といった指向的側面について説明する
第14回	パーソナリティの把握と心理検査	心理検査をいくつか紹介する。心理テストを自己採点してみる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
テキストの関連箇所を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、各章の末尾にある「次のステップへ」の課題を解いてみよう。課題を出すことがあるが、授業前に必ずやっておくこと。

【テキスト（教科書）】
伊藤隆一・千田雅博・渡辺昭彦　『現代の心理学』　金子書房　2003年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
総合成績は、期末試験の成績をもとに(70%)、課題レポート１回(15%)と授業への積極的参加度・貢献度(15%)を加味して決定する。
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 70%, Short report: 15%and In class contribution: 15%.

【学生の意見等からの気づき】
今後とも、わかりやすく、具体的で、実践的な授業を行って行きたい。

【学生が準備すべき機器他】
心理学に関するビデオ・ＤＶＤを見せることがある。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。
「こころの働き」とペアで履修することが望ましい。

【Outline (in English)】
This course (Personality) introduces the personal functions of the human mind, for instance, human ability, character and development, and personality tests
to students taking this course. The goal of this course is to obtain basic knowledge about general psychology. Participants are recommended not only to take this course but also to take "Functions of the Human Mind". Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 70%, Short report: 15%and In class contribution: 15%.

LAW100LC（法学 / law 100）

知的所有権

武生　昌士、安田　和史

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、知的所有権（知的財産権）を保護する知的財産法の全体像を把握することを目的とする。特に、エンジニアにとって不可欠な、特許法・著作権法・営業秘密の保護等に関する基礎的な理解を獲得することを目指す。

【到達目標】
知的財産法について、制度全体についての一通りの体系的理解及び主要な論点における基本的な考え方を身に付けてもらうことにより、今後知的財産法に関する問題に直面した際に、自分で調査し考えることができるだけの基礎的素養を涵養することを目標とする。
より具体的には、特許法・著作権法・不正競争防止法等における特定の論点について、関係する条文や概念を十分に理解し、その内容を正確に説明することができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、知的財産法の全体像について、重要な論点をピックアップしながら、講義形式で一通り説明していく。本講義は、授業動画を各自で視聴してもらうオンデマンド形式で進める。下記授業計画に示した形での講義を予定しているが、順序や内容については必要に応じ変更する可能性がある。
質問等はメール・学習支援システムを通じて随時受け付け、個別に、あるいは学習支援システムを通じて全員に対して、フィードバックすることとしたい。期末の課題に関しては学習支援システムを通じて講評を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・知的財産法の概要（武生）	本講義の概要説明、知的財産法の全体像
第2回	特許法概説（1）（武生）	特許要件など
第3回	特許法概説（2）（武生）	出願・審査手続、職務発明など
第4回	特許出願における特許事務所の役割（安田）	発明の創出から権利化までの具体的説明
第5回	意匠法概説（武生）	意匠法の全体像
第6回	意匠出願と製品デザインの保護（安田）	意匠法活用の具体例
第7回	標識法概説（武生）	商標法などの標識法の全体像
第8回	商標出願とブランド・製品名等の保護（安田）	標識法活用の具体例
第9回	不正競争防止法概説（武生）	不正競争防止法の全体像
第10回	営業秘密保護の概説（安田）	不正競争防止法による営業秘密の保護の全体像
第11回	不正競争防止法・実務編（安田）	企業活動における不正競争防止法の意義とその実相
第12回	著作権法概説（武生）	著作権法の全体像
第13回	著作権法・実務編（安田）	企業実務における著作権法上の諸問題
第14回	全体の総括・仮想事例の検討（武生・安田）	仮想事例の検討を通じて、講義全体を総括する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回の終了時に、次回までに予習すべき資料を指定する場合があるので、一読した上で授業に臨むこと。
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
教科書は特に指定しない。なお、六法を用意する・インターネットで検索するなどして、知的財産法の条文を常に確認できる状態で授業に臨んでほしい。

【参考書】
茶園成樹編『知的財産法入門〔第3版〕』（有斐閣、2020）、前田健ほか編『図録知的財産法』（弘文堂、2021）。このほか、授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末の試験を通じて評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】
一部、動画のアップロードがうまくいっていなかった回があったので、確認作業をより厳格に行うよう心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の受講が可能な環境の整備。

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
The purpose of this lecture is grasp the entire structure of Intellectual Property Law.
【到達目標（Learning Objectives）】
By the end of the course, students should be able to :
― Demonstrate knowledge and understanding of Intellectual Property Law.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally 4 hours to understand the course content.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

LAW100LC（法学 / law 100）

知的所有権

武生　昌士、安田　和史

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
　この授業は、知的所有権（知的財産権）を保護する知的財産法の全体像を把握することを目的とする。特に、エンジニアにとって不可欠な、特許法・著作権法・営業秘密の保護等に関する基礎的な理解を獲得することを目指す。

【到達目標】
　知的財産法について、制度全体についての一通りの体系的理解及び主要な論点における基本的な考え方を身に付けてもらうことにより、今後知的財産法に関する問題に直面した際に、自分で調査し考えることができるだけの基礎的素養を涵養することを目標とする。
　より具体的には、特許法・著作権法・不正競争防止法等における特定の論点について、関係する条文や概念を十分に理解し、その内容を正確に説明することができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
　この授業では、知的財産法の全体像について、重要な論点をピックアップしながら、講義形式で一通り説明していく。本講義は、授業動画を各自で視聴してもらうオンデマンド形式で進める。下記授業計画に示した形での講義を予定しているが、順序や内容については必要に応じ変更する可能性がある。
　質問等はメール・学習支援システムを通じて随時受け付け、個別に、あるいは学習支援システムを通じて全員に対して、フィードバックすることとしたい。期末の課題に関しては学習支援システムを通じて講評を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・知的財産法の概要（武生）	本講義の概要説明、知的財産法の全体像
第2回	特許法概説（1）（武生）	特許要件など
第3回	特許法概説（2）（武生）	出願・審査手続、職務発明など
第4回	特許出願における特許事務所の役割（安田）	発明の創出から権利化までの具体的説明
第5回	意匠法概説（武生）	意匠法の全体像
第6回	意匠出願と製品デザインの保護（安田）	意匠法活用の具体例
第7回	標識法概説（武生）	商標法などの標識法の全体像
第8回	商標出願とブランド・製品名等の保護（安田）	標識法活用の具体例
第9回	不正競争防止法概説（武生）	不正競争防止法の全体像
第10回	営業秘密保護の概説（安田）	不正競争防止法による営業秘密の保護の全体像
第11回	不正競争防止法・実務編（安田）	企業活動における不正競争防止法の意義とその実相
第12回	著作権法概説（武生）	著作権法の全体像
第13回	著作権法・実務編（安田）	企業実務における著作権法上の諸問題
第14回	全体の総括・仮想事例の検討（武生・安田）	仮想事例の検討を通じて、講義全体を総括する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
　各回の終了時に、次回までに予習すべき資料を指定する場合があるので、一読した上で授業に臨むこと。
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
　教科書は特に指定しない。なお、六法を用意する・インターネットで検索するなどして、知的財産法の条文を常に確認できる状態で授業に臨んでほしい。

【参考書】
　茶園成樹編『知的財産法入門〔第3版〕』（有斐閣、2020）、前田健ほか編『図録知的財産法』（弘文堂、2021）。このほか、授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
　期末の試験を通じて評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】
　一部、動画のアップロードがうまくいっていなかった回があったので、確認作業をより厳格に行うよう心がけたい。

【学生が準備すべき機器他】
　オンライン授業の受講が可能な環境の整備。

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
The purpose of this lecture is grasp the entire structure of Intellectual Property Law.
【到達目標（Learning Objectives）】
By the end of the course, students should be able to :
― Demonstrate knowledge and understanding of Intellectual Property Law.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally 4 hours to understand the course content.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

CUA100LC（文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 100）

社会科学の方法論

ギユモ　セレスト

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、社会科学研究で用いられる基本的な概念や手法を紹介する。研究の過程を通じて、課題設定やリサーチデザインの構築、データ収集と分析、そして結果の解釈や発表の技術を養う。特に、批判的思考を重視し、研究における倫理的な問題にも焦点を当てる。さらに、これらの方法を現代社会の問題にどのように応用できるかについても学び、実践的な研究能力を身につける。

【到達目標】
本授業の主な目標は以下の通りである：
- 社会科学研究における主要な方法論とアプローチを理解すること。
- 研究を批判的に分析し、考察できる力を養うこと。
- 社会科学におけるデータの収集、整理、分析の実践的な能力を身につけること。
- 研究成果をわかりやすく効果的に発表できるようになること。
- 研究における倫理の重要性を理解し、適切に実践できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、講義とアクティブラーニングの両方を取り入れている。具体的には、ディスカッション、グループワーク、映像分析といった多様な授業内活動に加え、インタビュー、アンケート、フィールドワークなどの実際の研究調査体験を行う。さらに、グループで調査を含む研究プロジェクトを計画・実施し、その成果を発表してもらう。
提出された課題やテストは採点後にフィードバックを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	授業説明	- 授業説明 - 社会科学とは何か？
2回	リサーチ・デザイン (1)	- 研究課題と仮説 - 批判的思考とデータの意味付け問題
3回	リサーチ・デザイン (2)	- 横断研究 vs. 縦断研究 - 量的 vs. 質的 - 事例研究 vs. 実験 など
4回	倫理とマナー	- 倫理・マナー - 剽窃 - バイアス
5回	調査方法（1）	- 調査法の紹介と実践 - フィールドワーク - インタビュー - アンケート
6回	調査方法（2）	- 調査法の紹介と実践 - フィールドワーク - インタビュー - アンケート
7回	調査方法（3）	- 調査法の紹介と実践 - フィールドワーク - インタビュー - アンケート
8回	調査方法（4）	- 調査法の紹介と実践 - フィールドワーク - インタビュー - アンケート
9回	データ分析	- データの分析方法
10回	研究結果の発表の仕方	- 参考文献の書き方 - 発表の仕方 - 学術論文に関するマナー
11回	プロジェクト準備	プロジェクト準備 - テーマ、課題、調査方法を決める
12回	プロジェクト準備	プロジェクト準備 - 調査実施
13回	プロジェクト準備	プロジェクト準備 - 結果分析・まとめ - 発表の準備
14回	期末試験, まとめ	プロジェクト口頭発表、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 予習・復習
- グループプロジェクト
- 調査方法の実践

【テキスト（教科書）】
教科書なし。授業でプリント配布。

【参考書】
美馬佑造『社会「科学」方法論』晃洋書房, 2023年
佐藤郁也『フィルドワーク増訂版:書を持って街へでよう』新曜社, 2006年
野村康 『社会科学の考え方』名古屋大学出版会, 2017年

【成績評価の方法と基準】
平常点（50％）、課題（30％）、期末試験(20%)
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
授業の後半はノートパソコンやタブレットが必要になる。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
Course Outline:
This course introduces the fundamental concepts and methods used in social science research. Through the research process, students will develop skills in problem formulation, research design, data collection and analysis, and the interpretation and presentation of results. Emphasis will be placed on critical thinking and ethical issues in research. Additionally, students will learn how to apply these methods to contemporary social issues, thereby developing practical research skills.
Learning Objectives:
This course aims to develop an understanding of key research methodologies, critical thinking skills, and practical abilities in data analysis and presentation. It also emphasizes ethical research practices to ensure responsible and professional study conduct.
Learning activities outside of the classroom:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class. They also will be involved in group project and fieldwork in and outside of class.
Grading Criteria:
Class participation (50%), Assignments (20%), Group project presentation (30%)

ARSl100LC（地域研究（援助・地域協力） / Area studies(Regional cooperation) 100）

国際関係論

福島　亮

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、国際関係論の枠組みをふまえて、サブサハラ・アフリカ諸地域の歴史と現在について紹介・分析を行います。その際、単なる現状分析を一方的に伝えるのではなく、様々なジャンルの資料（報道、評論、研究論文、文学作品、視聴覚メディア）等をできるだけ多く使うことで、受講生の理解が多角的なものとなるよう工夫します。講義とグループワークを通して国際関係のなかの「アフリカ」の位置付けについて自らの専攻分野と関連付けながら説明できるようになることがこの授業の目的です。

【到達目標】
・国際関係論の大枠を理解し、サブサハラ・アフリカ諸地域の歴史と実情について調べることができる。
・指定された文献をグループで読み込み、分析することができる。
・指定された文献をもとにした、短いプレゼンテーションや動画、スライド、ポスター等を作成することができる。
・文献情報を批判的に他者に伝えることができる。
・自らの専攻分野とサブサハラ・アフリカ諸地域との繋がりについて調べたり、発表したりすることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン環境での授業です。学習支援システム、チャット機能、グループ機能等を用いて、双方向授業を行います。受講生はただ講義を聞くだけでなく、自らの言葉で発表や討論をする必要があります。また、授業時間外にもグループで連絡を取り合い、事前・事後学習を共同で行う必要があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	「国際関係論」とアフリカ、グループ決め	国際関係論について、受講者の認識を相互に確認し、授業への導入とする。グループを決め、グループワークの準備を行う。
第2回	「近代世界システム」とは何か？	16世紀ヨーロッパにおける近代世界システムの成立について考える。
第3回	ヨーロッパとアフリカ	ヨーロッパとアフリカ大陸の関係を、三角貿易と奴隷制に注目しながら考える。
第4回	グループワーク（1）	近代と環大西洋奴隷制の関係についてグループで指定された資料を読み込み、発表する。
第5回	両大戦とアフリカ、グループ決め	両大戦とアフリカ大陸との関係について調べ、議論する。次のグループワークに向けて、グループ決めを行う。
第6回	第二次世界大戦後のアフリカ	冷戦体制期アフリカにおける独立運動について調べ、議論する。
第7回	1960年：アフリカ独立の年	1960年代のアフリカについて調べ、議論する。
第8回	グループワーク（2）	アフリカ独立国家の特質についてグループで指定された資料を読み込み、発表する。
第9回	1980年代のアフリカ、グループ決め	アフリカ諸国の経済と構造調整政策について調べ、議論する。次のグループワークの準備をする。
第10回	1990年代のアフリカ	冷戦の終結がアフリカ大陸にもたらした変化について調べ、議論する。
第11回	1990年代アフリカの武力紛争	ルワンダ内戦の事例を検討し、議論する。
第12回	グループワーク（3）	南アフリカの人種隔離政策についてグループで指定された資料を読み込み、発表する。
第13回	グローバル時代のアフリカ	今日の国際社会における諸問題（テロリズム、環境、人の移動など）とアフリカ大陸の関係について調べ、議論する
第14回	アフリカと世界	グローバル化時代におけるアフリカとアジアの国際関係などについて調べ、議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業支援システムの掲示板に示された議題に対して、書き込みをして応答して下さい。
授業時間外に、グループのメンバーと連絡を取り合い、事前調査や発表資料の作成を行なってください。なお、授業時間外のグループ学習はこの授業の重要な要素です。必ず受講生同士で連絡を取り合い、学習をするようにしてください。

【テキスト（教科書）】
宮本正興、松田素二編『新書アフリカ史改訂新版』講談社現代新書、2018年、ISBN:9784065139486（書籍版、電子版、いずれでも良いです。授業中に参照するので、手もとに置きながら受講してください。なお、この本は700頁以上あるため、授業内で全ての項目を扱うわけではありません。）

【参考書】
『史的システムとしての資本主義』ISBN：978-4003840016
『世界システム論講義: ヨーロッパと近代世界』ISBN：978-4480097187
その他、グループワークごとに参考書等を指定する。

【成績評価の方法と基準】
平常点40％（毎回、400文字のコメントシートを授業後に提出してください。このコメントシートの提出が10回以上あることが成績評価の必須条件です。）
グループワークの成果60％（3回のグループワークをそれぞれ20点満点で評価します。グループワークの成果とは、共同作成したスライドや動画、ポスターなどを指します）

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業ですが、ディスプレイ越しの講義だけで完結しないよう心がけます。具体的には、事前学習や事後学習をできるだけグループで行なってもらうことで、受講生が自ら考え、自らの言葉で思考を表現する機会を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
・オンライン授業に参加するためのカメラ・マイク付きPCを各自で準備してください。
・資料配布・課題提出等のために学習支援システム等を利用します。

【その他の重要事項】
【注意】この授業は、グループワークが非常に重要です。受講生は相互に連絡を取れるよう工夫してください。
【参考】前期に同じ教員が担当する「アフリカ文化論」と同じ教科書を使用しますが、扱う範囲や問題意識、着眼点が異なります。「アフリカ文化論」をあわせて受講するとより理解が深まるでしょう。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students understand African nation building in the context of International Relations.
The goal of this class is to research the history and current situation of various regions in Sub-Saharan Africa and present your findings in your own words.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.Your study time will be more than four hours for a class. Students are also required to work in groups.
The final grade will be based on the submission of the comment sheet (40%) and the results of the group work (60%).

ECN100LC（経済学 / Economics 100）

基礎経済学

呉　暁林

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として日常生活・家計の管理，また近い将来の就職，仕事などにおいて，経済学的教養と知識は不可欠であります。経済学を勉強したい,または経済や経営のことを知りたいと思っている学生を対象とする入門の授業です。
受講者が講義と読書を通して,限られた資源の効率的配置を考えるミクロ経済学の基本的な命題、一国の経済全体の機能を考えるマクロ経済学の基本的な枠組みを学び、経済学的な物事の考え方を理解できるように進めます。

【到達目標】
受講者が経済学の基本的概念と考え方を習得し、世の中の経済問題や、日ごろの経済記事と経済ニュースを理解できることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業は講義と読書を二本柱とします。
講義では経済学の基本原理，ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的な概念と考え方を解説し，それを応用して日常生活のなかの経済現象を共に考えていきます。
読書は基礎知識の理解を深めるのに不可欠です。受講者が負担にならないように世界的に読まれている標準的な教科書－『アセモグル・レインブソン・リスト入門経済学』を使用します。毎回、一つのテーマについて前半は講義で基本的な概念と考え方を解説し、後半は選択肢問題、応用問題を解いてもらい、理解を深めるように取り組んでいきます。イーラーニングサービスを利用して問題を解いて学習の理解度の向上を図ります。受講者はＰＣだけでなく、スマホやタブレットでも利用が可能で、いつでもどこでも学生はテストを受けることができます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	なぜ経済学が必要なのか?ＤＶＤ　経済学のセンス－「サンクス」「機会費用」「インセンティブ」
第2回	1．経済学の原理・実践・方法	三つの重要な概念：「最適化」、「均衡」、「経験主義＝データを使った分析」
第3回	最適化：最善を尽くす	実現可能な最善の選択肢、費用便益分析
第4回	需要、供給と均衡	市場と競争、需要曲線、供給曲線、均衡価格人と企業を動かす価格の影響力について
第5回	Ⅱミクロ経済学の基礎：　消費者とインセンティブ	Ⅱミクロ経済学の基礎　消費者とインセンティブ
第6回	生産者とインセンティブ	売り手の選択、供給曲線、生産者余剰、企業から市場へ長期的均衡
第7回	完全競争と見えざる手	完全競争と効率性、見えざる手の及ぶ範囲：個人から企業へ、産業間の資源配分、公平性と効率性
第8回	貿易	生産可能性曲線、貿易の基本：比較優位、国際貿易、反貿易の根拠
第9回	Ⅲ．国の富：マクロ経済全体を定義して測定する	マクロ経済の問題、国民経済計算：生産＝支出＝所得 GDP（国内総生産）の構成要と測定、実質GDPと名目GDP
第10回	総所得	世界の経済格差、生産性と集計的生産関数、技術の役割と決定要因 平均的アメリカ人が平均的インド人よりずっと豊かな理由は何か？
第11回	雇用と失業	雇用と失業の測定 労働市場の均衡 失業はなぜ起きるのか？ ジョブ・サーチと摩擦的失業 賃金の硬直性と構造的失業
第12回	クレジット市場と金融システム	銀行と金融仲介機関：需要と供給を合わせて考える 　貨幣・物価・ＧＤＰ・インフレーション
第13回	景気変動	景気変動と景気循環 マクロ経済均衡と景気変動 経済モデルの拡張 景気後退はなぜ起きるのか
第14回	振替レポート	経済学の基本的な考え方や心得について振り替えて記述する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】教科書を通読することを薦めます。授業開始後、イーラーニングの登録を行い、練習問題を解いて学習の理解度を図ってください。

【テキスト（教科書）】
岩本康志監訳・岩本千晴訳『アセモグル・レイブゾン・リスト入門経済学』（東洋経済新報社
書籍代が少し高いですが、非常に良質な本です。キーワードは日本語と英語が併記しており、十分に購入する価値があります。

【参考書】
井堀利宏著『大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる』KADOKAWA（2016）
伊藤元重著『入門経済学第３版』日本評論社（2009年）
神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社（2014年）
飯田泰之著『経済学思考の技術－理論・経済理論・データを使って考える』ダイヤモンド社（2008年第10刷）

【成績評価の方法と基準】
通常の場合は演習課題など(80％)、期末レポート(20％）を合点して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
イーラーニングの登録を怠らないでください。授業支援システムで案内する課題の提出期限をきちんと守って、課題を完了しましょう。

【学生が準備すべき機器他】
ノートPCを持参してください。

【その他の重要事項】
教室の意収容人数を超える場合、履修の抽選を行います。
授業中の私語、またスマートフォンによるゲーム遊びなどを禁止

【Outline (in English)】
This course is designed to help students understand the fundamental principles of microeconomics, which focuses on the efficient allocation of limited resources, and the basic framework of macroeconomics, which examines the functioning of an entire economy, through lectures and readings.Students will enhance their understanding by solving problems and aim to achieve the ability to explain economic issues in society, as well as daily economic articles and news.Grades are based on the quality of the lab report (80%) and the final report at the end of the term (20%).Students are required to read through the textbook before class and complete the practice exercises on e-learning after class.

ECN100LC（経済学 / Economics 100）

応用経済学

王　娜

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、データサイエンスの基礎として、統計学や計量経済学の手法を活用した経済データの分析方法を学びます。また、Excelを用いた基本的なデータ処理技術を習得することで、実践的なデータ分析スキルを向上させることを目指します。
※本年度は、対面授業とZoomを利用したリアルタイム形式を併用して実施します。詳細については、学習支援システムのお知らせをご確認ください。

【到達目標】
本授業では、以下の目標を達成することを目指します：
1. 統計学や計量経済学の基本的な考え方を学び、データ分析の基礎的な知識を習得する。
2. パソコン上でExcelを用いて経済データを効果的に分析できるスキルを身につける。
3. 分析結果を適切にグラフや表として可視化し、調査レポートとしてまとめるスキルを習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・講義の前半では、当日扱う分析手法やデータについて解説を行い、基礎的な理論や操作方法を学びます。
・講義の後半では、Excelを用いた演習を実施し、実際に与えられた課題を各自で解いて提出します。
・毎回の授業終了直前に、授業内容に関する小テストや課題を提出してもらいます。提出された小テストや課題に対しては、授業内で適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・講義概要の説明 ・Excelの基本操作
2	表とグラフの作成	・データベースの作成と利用 ・データの表・グラフ作成
3	データ分析の基礎(1)	・時系列データの分析 ・比率、指数、変化率
4	データ分析の基礎(2)	・横断面データの分析 ・寄与度と寄与率
5	一つの変数による記述統計(1)	・度数分布表 ・ヒストグラム
6	一つの変数による記述統計(2)	・代表値（平均値、中央値、最頻値） ・分散と標準偏差
7	二つの変数による記述統計(1)	・散布図 ・共分散 ・相関分析
8	二つの変数による記述統計(2)	・回帰分析 ・最小2乗法と決定係数
9	データからの統計的推定・仮説検定(1)	・母平均の区間推定 ・母分散の区間推定
10	データからの統計的推定・仮説検定(2)	・母平均の検定 ・等分散の検定
11	データ分析の実践(1)	・相関分析 ・回帰分析
12	データ分析の実践(2)	・t検定 ・独立性の検定
13	計量経済分析	・重回帰分析 ・ダミー変数を用いた回帰分析
14	公的統計の活用	・国民経済計算とGDP統計 ・移動平均による季節変動の調整

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：テキストの該当箇所を十分に読み込んでください（標準1時間）
復習：講義で扱った演習問題を繰り返し練習し、理解を深めてください（標準1時間）

【テキスト（教科書）】
山下隆之ほか（2022）『はじめよう経済学のための情報処理―Excelによるデータ処理とシミュレーション（第5版）』日本評論社。
＊テキストの購入は不要です。授業前に、授業支援システムを通じてアップロードされるPDFファイルを各自ダウンロードしておいてください。

【参考書】
経済データ分析の参考書として以下をオススメします。
・情報処理演習教材作成委員会（2021）『はじめて学ぶ経済系のデータ分析（第3版）』学術図書出版社。
・隅田和人ほか（2020）『ExcelとRではじめるやさしい経済データ分析入門』オーム社。
・橋本紀子（2013）『Excelで読み取る経済データ分析』新世社。
計量経済学の参考書として以下をオススメします。
・小巻泰之・山澤成康（2018）『計量経済学15講』新世社。
・山本拓・竹内明香（2013）『入門計量経済学―Excelによる実証分析へのガイド』新世社。

【成績評価の方法と基準】
①平常点および小テスト・課題（50%）
②期末レポート（50%）
＊欠席回数が5回に達した場合、またはレポートを未提出の場合、成績評価の対象外となります（単位不認定）。
＊レポート等を提出する際には、教科書、参考書、インターネット上の情報などを出典を明記せずに丸写しやコピー＆ペーストした場合（類似課題も含む）、該当受講生の点数は0点とします。

【学生の意見等からの気づき】
課題の評価方法については、より工夫を凝らし、学生の学習成果を適切に反映できるよう改善を進めてまいります。また、質疑応答や小テストを効果的に活用し、学生の理解度を的確に把握しながら、柔軟な授業運営を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
授業内でExcelを使ったデータ分析の演習を行うため、各自でPC環境（Windows推奨）およびインターネット接続環境を整えておいてください。

【その他の重要事項】
経済学の基礎知識の有無は問いませんが、最低限、Excelの基本操作（データの入力、コピー＆ペースト、保存など）ができることが望ましいです。また、受講生の理解度や要望に応じて、講義内容を変更する場合があります。

【Outline (in English)】
Outline: This course provides a guideline to study basic statistical techniques to analyze economic data. Applied statistics and econometrics are also covered in exercises using PC and statistical software (MS Excel).
Goal: To master basics of statistics and econometrics, and data-analysis skills using MS Excel.
Extracurricular exercise: weekly homework assignments need to be submitted through the online system (2 hours)

Grading: attendance(10%), quizzes and assignments(40%), final reports(50%)

MAN100LC（経営学 / Management 100）

企業マネージメント

坂　裕和

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会は多くの企業の様々な活動によって支えられている。
この授業の目的は，現代社会における企業の役割を認識するとともに，企業活動におけるマネージメントの重要性について理解を深めることにある。
なお，企業におけるマネージメントの研究は経営学の分野であるが，経営学だけでなく経済学や法学（主に会社法や労働法）などの分野からもアプローチすることにより，社会人になっても役立つような幅広い知識の習得を目指したい。

【到達目標】
企業とは何か，企業活動とは何か，企業を動かすということはどういうことか，など企業について様々な方面から考察し，そこで行われるマネージメント活動を理解することを到達目標とする。具体的には，企業におけるマネージメントの重要性，経営の意思決定，経営管理，組織・人材・資金，人々の働き方やモティベーションなどについて理解することができる。
なお，教員は，上場企業の組織内弁護士であり，ガバナンス，コンプライアンス，リスク管理などを担当する執行役員である。そのため，企業経営における意思決定プロセスはもちろんのこと，特に最近議論が高まっているコーポレートガバナンス，企業の社会的責任（CSR），ESG（環境・社会・ガバナンス），SDGsなど今日企業が取組むべき経営課題について，企業経営の最前線の視点からの理解を深めることができるほか，法令諸規則との関係や実務的な観点も学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基本的には対面の講義形式の授業とし、授業計画に従って進めていく。授業時には各回のテーマに従って教員作成の資料を配布する。具体的なテーマは，企業マネージメントと経営学・企業の定義，企業経営と経済，株式会社の仕組み（会社法，労働法），マネージメント・リーダーシップ，経営組織論，人的資源管理論，ワークモティベーション・キャリアデザイン，経営戦略論，企業会計・財務戦略，企業が取組むべき課題（コーポレートガバナンス・企業の社会的責任（CSR）等）などである。
また，理解度を確認するため課題レポートの提出を求めたり，授業内で小テスト等を実施する。課題レポートについては次回講義時にポイントを解説し，小テスト等については模範解答を配布する。
なお，授業に関する情報は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに／企業マネージメントと経営学・企業の定義	本授業を概観するとともに，本授業のテーマである企業におけるマネージメントについて解説する。
第2回	企業経営と経済	企業とはどのような存在なのかを理解するとともに，企業経営と経済の関係について解説する。
第3回	株式会社の仕組み～株式会社の概要～	企業の代表的形態である株式会社について，主に法律面から解説するとともに，上場・非上場，大企業・中小企業の違いについて理解する。
第4回	株式会社の仕組み～株式会社を構成するモノ～	株式会社における機関，取締役等の役員が果たすべき義務とその責任，役員と従業員の違いについて理解する。
第5回	企業経営とマネージメント・リーダーシップ	企業活動におけるマネージメントの重要性・リーダーシップの重要性を解説する。
第6回	経営組織のマネージメント	経営学の重要なテーマである経営組織論及び企業の具体的な経営組織を紹介する。
第7回	人材戦略のマネージメント	人的資源管理論について解説し，日本企業における人的資源管理について、実際の人事制度や企業と人との関係について紹介する。
第8回	ワークモティベーションとキャリアデザイン	マネージメントの重要な課題であるワークモティベーションと自らキャリアをデザインすることの重要性を認識する。
第9回	企業戦略のマネージメント～成長戦略～	企業戦略について概観するとともに，成長戦略の理論を紹介する。
第10回	企業戦略のマネージメント～M&A戦略～	企業戦略の中でも，特に近年，活発に行われているM&A戦略について紹介する。
第11回	企業会計と財務戦略	企業会計や財務諸表について基本的事項及び企業の資金調達について解説する。
第12回	企業業績と株式市場	企業活動の成果（経営者の定量的成績評価）である企業業績について解説するとともに、株式市場について概観する。
第13回	企業が取り組むべき課題	現代企業の課題（コーポレートガバナンス，内部統制，企業の社会的責任（CSR），ESG，SDGs等）について概観する。
第14回	これからの企業経営	これからの企業経営について解説し，試験を実施する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする】
◆原則として授業日の2日前に授業で使用する資料を配布する。資料を熟読の上，授業に参加してほしい。特に，専門用語等については事前に調べておくことが望まれる。
◆また，理解度の確認や授業で得た知識を広げるために，課題レポートの提出を求めたり，小テストを実施することとする。
◆なお，授業では企業に関する今日的なテーマも取り上げるので，企業活動に関する新聞，テレビの報道やインターネットの情報などを通じて，企業についての理解を深めることにも取組んで欲しい。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。授業の進捗に合わせて教員作成の資料を適宜配布する。

【参考書】
◆授業全体の基本書として，中山健・丹野勲・宮下清「新時代の経営マネージメント」（創成社，2018）を薦める。他に，吉沢正広編著「実学 企業とマネジメント」（学文社，2018）あるいは十川廣國「経営学入門（第2版）」（中央経済社，2013）なども良い。
◆なお，入門書としては，遠藤功「企業経営の教科書」（日経文庫，2021）が役に立つ。
◆また，授業のテーマに応じた参考書を適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は期末試験の結果をベースに，平常点，課題レポートや小テスト等の状況も踏まえて最終評価とする。
配分は，期末試験＝60％，平常点＝20％，課題レポート・小テスト等＝20％とする。

【学生の意見等からの気づき】
履修者が多いため教員からの一方的な講義になりがちであるが，そうならないよう，授業中に簡単なアンケートや小テストを行ったり，授業テーマに関連した課題レポートを課すこと等によって，学生が考える時間をとることで授業への積極的な参加を促していきたい。
また，学生にとって身近な企業や最新のニュースを取り上げることで、興味、関心を高めていきたい。

【その他の重要事項】
授業は，大学側から特段の指示がない限り，対面の授業とする。なお，履修者希望者が多数になった場合には，教員が抽選により履修者数を調整する可能性がある。そのため，履修希望者は，初回授業日に必ず履修登録をして欲しい。

【Outline (in English)】
Modern society is supported by various activities of many companies. The purpose of this lecture is to deepen the understanding of the role of companies in modern society and the importance of management in corporate activities.
Research on management in companies is in the field of business administration, but by approaching not only business administration but also economics and company law, you can acquire a wide range of knowledge that will be useful even if you become a member of society.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
The grading criteria is as follows.
Final exams（60%）, class participation（20%）, reports and quizzes（20%）.

POL100LC（政治学 / Politics 100）

現代政治学

宗像　俊輔

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
2024年のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が当選し、各界に波紋を広げています。日本の対米外交はどうなるのか、国内政策はどう影響するのか、自分たちの生活や暮らしがどう変わるのか、これまで以上に考えなければならない時代に突入しています。
これまで、政治、経済、文化、科学技術などあらゆる面で、日本とアメリカは緊密な関係を保ってきました。それだけに、事あるごとに両国間に深刻な軋轢が生じてきたことも事実です。なぜ日米関係はこれほどまでに強く結びつくこととなったのか、日米間に横たわる今日的な問題はどのように立ち現れたのか。これらの問いを歴史的に検討することを、本講義では目的としています。
本講義では政治、経済、文化、科学技術、移民と幅広い分野を扱う予定です。アメリカ史、日本史、社会問題（国内外問わず）に関心のある皆さんの受講をお待ちしています。

【到達目標】
①日米関係が強く結びつく歴史的経緯について理解する。
②日米間に横たわる今日的な問題の所在と今後の日米関係のあるべき姿について、自分なりの考えを持つようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
① 事前に配布したテキストを読み、当日のテーマについてイメージをつかむ。
② 授業では各テーマについてスライドを使いながら説明する。
③ グループディスカッションをし、当日のテーマについて授業前と授業後ではどのように理解が変わったかを話し合う。
また、この授業では指定した教科書の輪読会を設けますので、受講者にはその要約と感想をレポートにまとめ、発表してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	ガイダンス・日米関係史の概要
第2回	現代の日米関係	日米関係の基本的知識を、政治、経済、外交、文化などの面から整理する。
第3回	米軍基地問題	特に沖縄に基地が集中しているのはなぜか、このことでいかなる問題が生じているのか。
第4回	輪読会『アメリカンビレッジの夜：基地の町・沖縄に生きる女たち』	沖縄の女性たちは、どのように米軍基地と向き合ってきたか。
第5回	日米関係史①　開国～日露戦争	ペリー来航以降、日本はいかにしてアメリカとの関係を構築したか。
第6回	日米関係史②　第一次世界大戦～太平洋戦争	日本とアメリカが戦争状態に突入するに至る背景について考える。
第7回	日米関係史③　冷戦～現代	日米同盟を基軸としたことの功罪について検討する。
第8回	輪読会『なぜ原爆が悪ではないのか：アメリカの核意識』	原爆投下の是非をめぐる日米間の歴史認識の相違はどこにあり、それを乗り越えるために何が必要なのか。
第9回	日系アメリカ人史①　移民の始まり	日本人のアメリカへの移民は、いつ、いかなる理由で始まっていたのか。
第10回	日系アメリカ人史②　排日移民法の時代	日本人排斥がアメリカで繰り広げられた理由を、移民政策などから理解する。
第11回	日系アメリカ人史③　太平洋戦争と強制収容	日米開戦によって生じた、日系人強制収容の実情はどのようなものだったか。
第12回	日系アメリカ人史④　リドレスに向けて	アメリカ政府による戦時補償はなぜ実現できたのか。日系人の歴史記憶をどのように継承するか。
第13回	輪読会『黄禍論：百年の系譜』	人種論の観点から、アメリカが日本（人）をどのような眼差しでみていたのだろうか。
第14回	期末試験	これまで扱った内容から出題する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、2時間を標準とする】
予習：事前に配布された資料を複数回読み、不明な用語などを確認し、当日のテーマについてイメージをつかんで授業に臨む（50分以上）。
復習：Hoppiiに上げる授業資料と講義ノートを読み返し、基本的概念や考え方、実例を文章にまとめ、説明できるようにしておくこと(50分以上)
受講中は、日本の新聞の国際欄はもちろん、アメリカ発の報道記事、映像資料より、日米関係について記載された最新の報道に触れるようにしましょう。英語が苦手な受講生も、翻訳サービスを利用しながら読んでおくと、講義の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
① ジョンソン, アケミ（真田由美子訳）、『アメリカンビレッジの夜：基地の町･沖縄に生きる女たち』、紀伊國屋書店、2021（9784314011822）
② 宮本 ゆき、『なぜ原爆が悪ではないのか：アメリカの核意識』、岩波書店、2020（9784000241823）
③ 廣部 泉、『黄禍論：百年の系譜』、講談社、2020（9784065209219）
テキストは事前にコピーして配布しますので、購入の必要はありません。これに加えて、テーマごとに関連資料を渡します。

【参考書】
五百旗頭 真、『日米関係史』、有斐閣、2008（9784641183575）
適宜コピーし配布する予定です。また、これ以外にも必要に応じて講義中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
①授業へ積極性（特に輪読会）（30%）
②各回のリアクション・ペーパー（20%）
③期末試験（50％）

【学生の意見等からの気づき】
わからないことがあればそのままにせず、積極的に質問して解決してください

【その他の重要事項】
履修者数や授業の進み具合によってスケジュールが変更になる場合もあります。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】

Japan and the United States have maintained close relations in all aspects, including politics, economics, culture, science and technology. However, it is also true that serious frictions have arisen between the two countries on many occasions. Why have Japan-US relations become so strongly linked? How have the contemporary issues between Japan and the United States emerged? The aim of this lecture is to examine these questions from a historical perspective.
This lecture will cover a wide range of topics, including politics, economics, culture, immigration, science and technology. We look forward to welcoming students with an interest in American history, Japanese history and social issues (both domestic and international).
【到達目標（Learning Objectives）】
① To understand the historical background of the strong relationship between Japan and the United States.
② To develop your own ideas about the current issues between Japan and the United States and the ideal future relationship between the two countries.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Preparation: Read the materials distributed in advance several times, check any unfamiliar terms, and get an idea of the day's theme before the lesson.
Review: Reread the lesson materials and lecture notes to be uploaded to Hoppii, and be able to summarize and explain the basic concepts, ideas, and examples in writing.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
①Class participation (especially in the Reading Session) (30%)
②Reaction paper for each class (20%)
③Final exam (50%)

CAR100LC（キャリア教育 / Career education 100）

キャリアデザイン

斎藤　真一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
キャリアデザインとは，「まず自分自身を理解し，自分の生き方・働き方について、職業のみならず、人生の様々な場面、機会にとらえ直し、今後の方向性を検討したり、自らをデザインしていくこと」である。キャリアデザインを実感、体感をするため、ディスカッションを多く取り入れている。これまでの授業アンケートでは、次のようなコメントが寄せられている。①違う学科の方と話すことができるよい機会があり、社会に対して、同世代がどのような考えを持っているかを知ることできる。他の授業ではあまり意見の交換ができないがこの授業では意見交換ができる点が嬉しい。将来について、今後の生き方について考えさせられるともに、人生について大きなヒントをがもらえる。今後の人生に大事な点かつ今まで教わったことがないことを学べる。自分自身を客観的に見つめ直す良いきっかけになる。将来のことについて、今何をすべきかを考えるようになれる。今後の人生への行動意欲が上がる。②自分に求められている意見や率直に感じたことを相手に伝わるように発言するしたり、自分の考えを整理して口に出す練習ができる。③現在、何をしていいか分からない人、将来のことを考えたことがない人、今の自分に自信がない人に勧められる。④他人の価値観や考え方を聞き、取り入れることで自分の考えが深まり、物事のとらえ方や視野が広がる。以上のようなことを期待する学生の履修を望む。特に１，２年生の履修を期待する。

【到達目標】
キャリアデザインを考える上で、次の３つの視点、1）「自分を知る」、2）「発達課題を考える」、3）「キャリアデザインの節目に対処するアプローチを知る」を通じて、学生自身の考えを構築し、自ら実践できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
【対面授業８回＆オンライン授業６回（Zoom使用）で実施】：第１回、第４回、第６回、第８回、第10回、第11回、第13回、第14回は対面授業、資料は当日配布。オンライン授業の場合は、講師が次回の資料を事前にアップロードし、その資料を受講者が毎回の授業前にダウンロードして準備することが必要である。オンライン授業でのグループ・ディスカッションはZoomのブレイクアウトルーム機能を使用する。講義はあるが、グループ・ディスカッションが主体の授業になる。グループ・ディスカッション後の「気づき」を大切にする。受講者は働く人への「キャリアインタビュー」（第４回に実施要領を説明）を行い、第10回、第11回がその発表となる。受講者数により発表時間は相違し、第12回もキャリアインタビュー（課題）の発表になる場合がある。※毎回の授業後の振り返りとして、「今日の気づきシート」の作成（100字以上250字以内）がある。「学習支援システム」の課題フォルダに「今日の気づきシート」のワード形式のファイルを講師がアップロードし、このファイルを受講者がダウンロード後に記入し、課題フォルダにアップロードする。提出された「今日の気づきシート」には各個人へフィードバック・コメントを返信として送付する。気づきの多様性や質問等で授業で紹介したほうがよいものは適宜、授業内で紹介する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに　～キャリアデザインとは～ 自分を知る　その１	・キャリアデザインとは何かを解説する ・「３つの問い」を考える
第2回	自分を知る　その２	・仕事の価値観とライフスタイルの明確化
第3回	自分を知る　その３	・ストレングス・ファインダーのデータから自分を知る
第4回	自分を知る　その４ キャリアインタビュー（課題）準備	・キャリアシュミレーション・プログラム（ゲーム）から自分を知る ・第10回の発表に向けて
第5回	キャリアデザインの準備として、発達課題（自立）を考える　その１	・社会的自立のための課題を考える
第6回	キャリアデザインの準備として、発達課題（自立）を考える　その２	・情緒的自立のための課題を考える
第7回	キャリアデザインの準備として、発達課題（自立）を考える　その３	・経済的自立のための課題を考える
第8回	キャリアデザインの準備として、発達課題（両性の在り方）を考える　その１	・男女の考えの違いを考える
第9回	キャリアデザインの準備として、発達課題（両性の在り方）を考える　その２	・仕事を持つ男女の生き方、働き方を考える
第10回	キャリアデザインの節目に対処するアプローチを知る　その１	・キャリアインタビュー（課題）の発表（プレゼン） ・インタビューから見えてくるキャリアの節目、転機に対する処し方
第11回	キャリアデザインの節目に対処するアプローチを知る　その２	・キャリアインタビュー（課題）の発表（プレゼン） ・インタビューから見えてくるキャリアの節目、転機に対する処し方
第12回	キャリアデザインの節目に対処するアプローチを知る　その３	・シュロスバーグの転機に対するアプローチ／ブリッジズのトランジション論／ハンセンの統合的生涯設計
第13回	キャリアデザインの節目に対処するアプローチを知る　その４	・クルンボルツの「計画された偶発性理論」
第14回	評価を行う。	授業を通して自らが考えたものを表現したり、学んだものを確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、２時間を標準とする。毎回の講義で気づく自分自身の考え方を自分なりに整理することが必要である。キャリアインタビューが課題となる。キャリアインタビューは自分の身近な働く人（社会人経験10年以上の方を目安にすること。これまで家族をインタビューする人が多いです。オンラインでのインタビューも可）をインタビューする。第４回の授業でその詳細を説明する。このインタビューを通じて得られるものが多かったというコメントが多くの受講者から寄せられている。

【テキスト（教科書）】
「さあ、才能（自分）に目覚めよう 最新版　ストレングス・ファインダー2.0」（ジム・クリフトン、ギャラップ著、古屋博子訳／日本経済新聞社／2017年４月刊行の最新版の書籍を購入のこと。生協で購入可）
　・上記書籍を購入すると、インターネットでアクセスできるホームページから、「自分の強みを探索」することができる。尚、古本ではこのアクセスコードが既に使用されているため、新しい書籍の購入が必要。第３回講義でそのデータを使用した授業を行うため、第３回講義前に購入し、データを把握しておくことが必要（第１回、第２回講義で詳細を説明）。

【参考書】
「新版キャリアの心理学　第２版」（渡辺三枝子著／ナカニシヤ出版）
　・キャリアを考えるための様々なアプローチが紹介されており、これらを知ることで、人生を歩んでいく上での参考となる。

【成績評価の方法と基準】
平常点（「今日の気づきシート」の提出も平常点に含む）：30％
課題評価（キャリアインタビュー）：35％
期末試験成績：35％

【学生の意見等からの気づき】
・グループ・ディスカッションをスムーズにさせるため、初めに自分の意見をまとめる時間を取り、その後のにグループ・ディスカッションをしてもらうことにする。
・「この授業を他の人に勧めるとしたら、どんな点か？」という質問に対して多かったコメントは以下の通りである。①自分について知ることができる。②視野が広がる。③グループ・ディスカッションを通じて、他人の色々な意見を知ることができる。

【その他の重要事項】
※貸与パソコン等、大学の情報システムにアクセスでき、Zoomに参加できる情報機器が必要です。個人で登録したZoomではなく、法政大学が提供しているZoomから参加することが必要です。
※毎回のグループ・ディスカッションに参加し、様々な意見があることを実感し、自分の意見を考えることが重要である。これらのことがしっかりできた受講者にとっては期末試験は簡単なものになる。逆に言えば、参加回数が少ない受講者にとって、期末試験は難しいものになる。

【Outline (in English)】
-Outline and objectives-
Career design means, First of all, understand yourself, reconsider your way of life and work not only in your profession but also in various situations and opportunities in your life, consider future directions, and design yourself. Lessons incorporate a lot of discussions in order to experience and feel the career design. In the class questionnaire so far, the following comments have been received. 1. There is a good opportunity to talk with people from different departments, and to know what the same generation thinks about society. I can't exchange opinions very much in other lessons, but I'm happy that I can exchange opinions in this lessons. It makes you think about the future and how to live in the future, and gives you great hints about your life. It's a good opportunity to look at yourself objectively. You can start thinking about what to do now about the future. 2. You can practice to convey your opinions and frank feelings to the other person, and to organize your thoughts and put them out. 3. Recommended for those who do not know what to do now, who have never thought about the future, or who are not confident in themselves. 4. By listening to and incorporating the values and ideas of others, you can deepen your thoughts and broaden your perspective. The instructor hopes that students who expect the above will take this course. In particular, The instructor expects students to take this course in the 1st and 2nd grades.
-Goal-
In thinking about career design, the goal is to be able to build and practice the students' own ideas from the following three perspectives. 1) Know yourself, 2)Think about developmental tasks, 3) Know the approach to deal with career design milestones.
-Method(s)-
[Face to face:8 times, Online(Zoom):6 times]:Materials for face to face lessons, such as 1st, 4th, 6th, 8th, 10th, 11th, 13th, 14th will be deliverd in each lesson. Materials for on line lessons, such as 2nd, 3rd, 5th, 7th, 9th, 12th, will be uploaded to "Lesson Support System" by the instructor in advance.It is necessary for the students to download to own PC and prepare the materials before each lesson. Group discussions in online lessons will be organized by Zoom's "Breakout room feature". The students should conduct a "Career Interview" with workers (explaining the implementation procedure in the 4th session), and The students should make a presentation in the 10th and 11th lessons. The presentation time varies depending on the number of the students. If the presentation time will not enough time both the 10th and 11th lessons, the 12th lesson will be added. As a review after each lesson, the students are requierd to submit "Today's Awareness Sheet" (with 100 to 250 characters). The instructor uploads a Word-format file of "Today's Awareness Sheet" to the assignment folder of the "Learning Support System", and The students should fill in this file and uploads it to the assignment folder. Feedback and comments on the submitted "Today's Awareness Sheet" will be sent to each student. If there are diversity of awareness and questions that should be introduced in class, the instructor will introduce them in class as appropriate.
-Work to be done outside of class (preparation, etc.) -
Two hours are the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this class. It is necessary to organize your own way of thinking in each lesson. Career interviews are an issue. Career interviews are conducted with people who are close to you (with at least 10 years of working experience. Online interviews are also possible). The details will be explained in the 4th lesson. Almost students commented that much was gained through this interview.
-Textbooks-
"Sa, Sainoni Mezameyou Saishinban (English title: Strengths Finder2.0)" (written by Jim Clifton, Gallup, Inc., translated by Hiroko Furuya /Nihon Keizai Shimbun Inc./Purchase a new edition of the book published in April 2017).Please contact "SEIKYOU" in Koganei Campus.

If you purchase the above books, you can access them on the Internet and "search for your strengths". This access code is already used for used books, so you need to purchase a new book. In order to use the data in the 3rd lesson, it is necessary to purchase this book before the 3rd lesson and grasp the data (details will be explained in the 1st and 2nd lesson).
-Grading criteria-
Normal score (including submission of "Today's Awareness Sheet"): 30%
Assignment evaluation (Career Interview): 35%
Final exam results: 35%

LAW100LC（法学 / law 100）

法学（日本国憲法）

浅野　毅彦

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
法と国家・社会との関係、法の役割及び目的について、憲法（日本国憲法）を軸に学んでいく。憲法の目的や理念等を正確に把握し、憲法を中心とした法の基本的枠組みを理解する。

【到達目標】
日本国憲法を中心に、法についての基本的な理解を得ることとともに、社会に起きている問題を、法的に考え、解決する視点を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な事項の確認から授業をはじめ、法に関する基本的理解を正確に得られるようにすすめる。今日的な具体的な事件等を取り上げ、社会に起こっている問題に対する法による解決とは何か、問題点はないかを探っていく。授業においてはその都度質問をするので、積極的に答えてもらいたい。また、積極的に質問をしてもらいたい。それらを授業の展開に活かしていく。毎回の授業の最後に、次回までに考えておくべき課題を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	①法を学ぶ意義及び受講上の注意 ②法とは何か	①「法学」を履修する意義及び受講上の注意点等についての概要 ②　法とは何か、なぜ、法は必要なのか、社会生活における法の意味、法の機能を考える。
2	法と国家との関係について	法とその他の社会規範との違いの検討を通して、法と強制、法と国家との関係、法の限界について考える。
3	法の機能の多元化について	法の機能の多元化について、社会の変化と法との関係を探りながら考える。
4	「法の支配」と「立憲主義」について	「法の支配」とは何か、「立憲主義」と憲法について、歴史的に考える。「立憲主義」と民主主義との関係について検討を加える。
5	「国民主権」について	国の政治のあり方と主権者としての国民について考える－国民の意思を政治に反映させるには何が求められるか。
6	「権力分立」と司法権の独立	国家統治の基本原理としての「権力分立」について考える。司法権の独立の意義について考える。
7	「個人の尊重」と「法の下の平等」について	人権保障の基にある「個人の尊重」の意義を考える。平等を実現するための法の役割を探る。
8	「基本的人権」について（１）－基本的人権とは何か	人権の歴史的展開のなかで日本国憲法の人権規定の意義をさぐる。人権と「公共の福祉」、憲法の私人間間効力について考える。
9	「基本的人権」について（２）－思想・良心の自由、学問の自由、信教の自由、	思想・良心の自由の保障、学問の自由と大学の自治、信教の自由と政教分離原則について考える。
10	「基本的人権」について（３）－表現の自由	表現の自由の重要性とその制約について考える。通信の秘密は守られているか。
11	「基本的人権」について（４）－経済的自由と社会権	経済的自由権の制約と社会権の意義について考える。生存権、労働者の権利について考える。
12	「基本的人権」について（５）－教育を受ける権利、人権の拡大	教育を受ける権利の意味と意義について考える。現在の奨学金制度の問題点を取り上げる。環境権を中心に人権保障の拡大について考える。
13	「平和主義」について	憲法第9条の趣旨および意義をさぐり、平和をめぐる諸問題について考える。
14	まとめと憲法改正問題について	「立憲主義」「個人の尊重」について再考し、憲法改正問題について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
①授業後に、講述内容を思い出しながら、「授業レジュメ」やノートなどで整理するという「復習中心」の学習を勧める。予習については、前回の授業の最後に提示した課題について事前に予習しておくとよい。
②「覚えるべき基本知識」は求められるが、法というものを〝批判的に〟ながめ、かつ考察するということを念頭に本授業に臨んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「授業レジュメ」および適宜配布する資料を使用。

【参考書】
上記レジュメに「参考文献（基本書または概説書）」を載せるが、授業の中でも適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
定期試験及び課題レポート等で評価する（定期試験90％、課題レポート等10％）。授業時の課題提出も考慮する。
定期試験においては、解答上の指示に従い、かつ設問に即した答案内容か否かを評価ポイントとする。また、法の基本知識や基本用語について押さえておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
基本的な法律用語についてその都度説明を加える。授業時に意見を発表する機会をなるべく多く設ける。

【その他の重要事項】
授業中の私語は、認めない。他の聴講生に対する「権利侵害(聴講権の侵害)」となるゆえ。本科目は「教職課程」も兼ねているので、教師を目指す者はなおのこと講義に集中することは「基本のキ」と心得てほしい。

【Outline (in English)】
In this course, we will learn the basic point of view about the relations between the law (especially the Constitution) and the state or society.
So we will get the correct and basic understanding of the Constitution and other laws.
Before/after each lecture, students will be expected to spend four hours to understand the course contents.
Grading will be decided based on the following
Term-end examination: 90%、Short reports : 10%.

LAW100LC（法学 / law 100）

法学（日本国憲法）

浅野　毅彦

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
法と国家・社会との関係、法の役割及び目的について、憲法（日本国憲法）を軸に学んでいく。憲法の目的や理念等を正確に把握し、憲法を中心とした法の基本的枠組みを理解する。

【到達目標】
日本国憲法を中心に、法についての基本的な理解を得ることとともに、社会に起きている問題を、法的に考え、解決する視点を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的な事項の確認から授業をはじめ、法に関する基本的理解を正確に得られるようにすすめる。今日的な具体的な事件等を取り上げ、社会に起こっている問題に対する法による解決とは何か、問題点はないかを探っていく。授業においてはその都度質問をするので、積極的に答えてもらいたい。また、積極的に質問をしてもらいたい。それらを授業の展開に活かしていく。毎回の授業の最後に、次回までに考えておくべき課題を提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	①法を学ぶ意義及び受講上の注意 ②法とは何か	①「法学」を履修する意義及び受講上の注意点等についての概要 ②　法とは何か、なぜ、法は必要なのか、社会生活における法の意味、法の機能を考える。
2	法と国家との関係について	法とその他の社会規範との違いの検討を通して、法と強制、法と国家との関係、法の限界について考える。
3	法の機能の多元化について	法の機能の多元化について、社会の変化と法との関係を探りながら考える。
4	「法の支配」と「立憲主義」について	「法の支配」とは何か、「立憲主義」と憲法について、歴史的に考える。「立憲主義」と民主主義との関係について検討を加える。
5	「国民主権」について	国の政治のあり方と主権者としての国民について考える－国民の意思を政治に反映させるには何が求められるか。
6	「権力分立」と司法権の独立	国家統治の基本原理としての「権力分立」について考える。司法権の独立の意義について考える。
7	「個人の尊重」と「法の下の平等」について	人権保障の基にある「個人の尊重」の意義を考える。平等を実現するための法の役割を探る。
8	「基本的人権」について（１）－基本的人権とは何か	人権の歴史的展開のなかで日本国憲法の人権規定の意義をさぐる。人権と「公共の福祉」、憲法の私人間間効力について考える。
9	「基本的人権」について（２）－思想・良心の自由、学問の自由、信教の自由、	思想・良心の自由の保障、学問の自由と大学の自治、信教の自由と政教分離原則について考える。
10	「基本的人権」について（３）－表現の自由	表現の自由の重要性とその制約について考える。通信の秘密は守られているか。
11	「基本的人権」について（４）－経済的自由と社会権	経済的自由権の制約と社会権の意義について考える。生存権、労働者の権利について考える。
12	「基本的人権」について（５）－教育を受ける権利、人権の拡大	教育を受ける権利の意味と意義について考える。現在の奨学金制度の問題点を取り上げる。環境権を中心に人権保障の拡大について考える。
13	「平和主義」について	憲法第9条の趣旨および意義をさぐり、平和をめぐる諸問題について考える。
14	まとめと憲法改正問題について	「立憲主義」「個人の尊重」について再考し、憲法改正問題について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
①授業後に、講述内容を思い出しながら、「授業レジュメ」やノートなどで整理するという「復習中心」の学習を勧める。予習については、前回の授業の最後に提示した課題について事前に予習しておくとよい。
②「覚えるべき基本知識」は求められるが、法というものを〝批判的に〟ながめ、かつ考察するということを念頭に本授業に臨んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「授業レジュメ」および適宜配布する資料を使用。

【参考書】
上記レジュメに「参考文献（基本書または概説書）」を載せるが、授業の中でも適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
定期試験及び課題レポート等で評価する（定期試験90％、課題レポート等10％）。授業時の課題提出も考慮する。
定期試験においては、解答上の指示に従い、かつ設問に即した答案内容か否かを評価ポイントとする。また、法の基本知識や基本用語について押さえておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
基本的な法律用語についてその都度説明を加える。授業時に意見を発表する機会をなるべく多く設ける。

【その他の重要事項】
授業中の私語は、認めない。他の聴講生に対する「権利侵害(聴講権の侵害)」となるゆえ。本科目は「教職課程」も兼ねているので、教師を目指す者はなおのこと講義に集中することは「基本のキ」と心得てほしい。

【Outline (in English)】
In this course, we will learn the basic point of view about the relations between the law (especially the Constitution) and the state or society.
So we will get the correct and basic understanding of the Constitution and other laws.
Before/after each lecture, students will be expected to spend four hours to understand the course contents.
Grading will be decided based on the following
Term-end examination: 90%、Short reports: 10%.

LAW100LC（法学 / law 100）

法と社会

浅野　毅彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
私たちは、社会生活においてつねに法との関わりもっており、法的な意味を持たないものはないといえるほど、「法的な社会」に生きている。授業においては、法の意義、目的、社会と法との関係を確認しつつ、今日的な諸問題を素材として、社会に生起しているさまざまな問題に対する法的な視点からの分析、法による解決とその限界を探っていく。そのなかで、法に対する基本的理解と法的なものの考え方を身につける。

【到達目標】
社会における法の意義や役割、法の基本的な仕組みを理解する。具体的な問題に対する法的な解決を検討していく中で、多角的に問題点を探り、妥当な解決を図ることのできるリーガルマインド（法的思考力）を身につけることを目標とする。さらに、法に対する批判的視点を含め「法を見る目を養う」ことをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業においては、法についての基礎的な事項を確認しつつ、今日的な問題を取り上げ、その問題の社会的背景を探りつつ、法的にどう考えるか、妥当な法的解決は何かを考えていく。授業中、意見を求めることがありますが、積極的に発言し参加することを期待しています。毎回の授業の最後に、次回までに考えておくべき課題を提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	①法学を学ぶ意義、受講上の注意点 ②法(または「ルール」)とは何か	①履修の意義、受講上の注意点について ②法(ルール)はなぜあるのか、社会生活における法の意義・機能を考える
2	「校則」について	身近にあったルールである校則をめぐる問題を通して、学校という社会と法とのかかわりを見る中で、法のあり方について考える。
3	子どもの権利、いじめと法	子どもの権利条約から校則問題を考える。校におけるいじめに対して法はどのように対処すべきを考える。
4	「権利」と「義務」、日本人の法に対する態度	権利・義務関係（法関係）が成立するための前提を考える。日本人の法・権利に対する考え方・対応を探る。
5	日本人の「法意識」	訴訟が少ない、権利主張をしないなど従来から指摘されている日本人の法への関わり方について、歴史的・構造的に考える。
6	犯罪と法	「えん罪」はなぜ起きるか、犯罪とは何か、刑罰とは何か、罪刑法定主義の意義について考える。
7	死刑制度 少年法	死刑制度の現状と死刑制度の存否について考える。少年法の目的と改正について考える。
8	契約と法	契約とは何か、どんな契約でも結べるのか、契約を守らなかったらどうなるのか等々、契約について考える。
9	労働・働き方と法	労働者は、法においてどう保護されているか、それはなぜか、労働者の権利と労働契約について考える。過労死・ブラックバイトを取り上げる。
10	労働者の人権の保護、労働組合の役割	労働者の人権の保護と雇用平等の実現、職場におけるハラスメントからの保護、労働組合とその役割について考える。
11	社会保障と法	生存権とは何か、社会保障に対する国の責任と国民の権利について考える。
12	家族と法	選択的夫婦別姓・同性婚訴訟などを取り上げ、家族と法のあり方を考える。
13	情報社会と法	情報化の進展による問題とそれに対する法的対応、そこにおける課題について考える。
14	紛争処理と法	法的な争いはがどのように解決されるかを探る。裁判員制度等、司法の市民参加について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
①「授業レジュメ」やノートなどで内容を確認し整理するという「復習中心」の学習を勧めます。予習については、毎回の授業の最後に提示する課題について、自分なりに考えをまとめておくとよいでしょう。なお、予習・復習に要する時間はおおむね４時間を標準とします。
②「覚えるべき基本知識」はありますが、強調したいのは、むしろ法というものを〝批判的に〟ながめ、かつ考察するということです。

【テキスト（教科書）】
「授業レジュメ」および適宜上げる資料を使用。

【参考書】
上記レジュメに「参考文献（基本書または概説書）」を載せる。

【成績評価の方法と基準】
定期試験およびレポート課題等により評価。（定期試験90％、レポート等10％）授業時の課題提出も考慮する。定期試験においては、解答上の指示に従い、かつ設問に即した答案内容か否かを評価ポイントとする。また、法における基本知識や基本用語について押さえておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
基本的な法律用語についてその都度説明を加える。授業時に意見を発表する機会をなるべく多く設ける。

【その他の重要事項】
授業中の「私語」は認めない。他の聴講生にたいする「権利侵害(聴講権侵害)」となるゆえ、授業での権利侵害は認められません。

【Outline (in English)】
Today we live in ‘the legal society’. Because law is everywhere around us. And so many legal problems do concern each of us. In this course, we will learn the fundamental way of thinking about the various ideas and concepts that underlie legal issues. And we will pursue how to solve the social problems by law. Before/after each lecture, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following
Term-end examination: 90%、Short reports : 10%.

LAW100LC（法学 / law 100）

法と社会

浅野　毅彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
私たちは、社会生活においてつねに法との関わりもっており、法的な意味を持たないものはないといえるほど、「法的な社会」に生きている。授業においては、法の意義、目的、社会と法との関係を確認しつつ、今日的な諸問題を素材として、社会に生起しているさまざまな問題に対する法的な視点からの分析、法による解決とその限界を探っていく。そのなかで、法に対する基本的理解と法的なものの考え方を身につける。

【到達目標】
社会における法の意義や役割、法の基本的な仕組みを理解する。具体的な問題に対する法的な解決を検討していく中で、多角的に問題点を探り、妥当な解決を図ることのできるリーガルマインド（法的思考力）を身につけることを目標とする。さらに、法に対する批判的視点を含め「法を見る目を養う」ことをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業においては、法についての基礎的な事項を確認しつつ、今日的な問題を取り上げ、その問題の社会的背景を探りつつ、法的にどう考えるか、妥当な法的解決は何かを考えていく。授業中、意見を求めることがありますが、積極的に発言し参加することを期待しています。毎回の授業の最後に、次回までに考えておくべき課題を提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	①法学を学ぶ意義、受講上の注意点 ②法(または「ルール」)とは何か	①履修の意義、受講上の注意点について ②法(ルール)はなぜあるのか、社会生活における法の意義・機能を考える
2	「校則」について	身近にあったルールである校則をめぐる問題を通して、学校という社会と法とのかかわりを見る中で、法のあり方について考える。
3	子どもの権利、いじめと法	子どもの権利条約から校則問題を考える。校におけるいじめに対して法はどのように対処すべきを考える。
4	「権利」と「義務」、日本人の法に対する態度	権利・義務関係（法関係）が成立するための前提を考える。日本人の法・権利に対する考え方・対応を探る。
5	日本人の「法意識」	訴訟が少ない、権利主張をしないなど従来から指摘されている日本人の法への関わり方について、歴史的・構造的に考える。
6	犯罪と法	「えん罪」はなぜ起きるか、犯罪とは何か、刑罰とは何か、罪刑法定主義の意義について考える。
7	死刑制度 少年法	死刑制度の現状と死刑制度の存否について考える。少年法の目的と改正について考える。
8	契約と法	契約とは何か、どんな契約でも結べるのか、契約を守らなかったらどうなるのか等々、契約について考える。
9	労働・働き方と法	労働者は、法においてどう保護されているか、それはなぜか、労働者の権利と労働契約について考える。過労死・ブラックバイトを取り上げる。
10	労働者の人権の保護、労働組合の役割	労働者の人権の保護と雇用平等の実現、職場におけるハラスメントからの保護、労働組合とその役割について考える。
11	社会保障と法	生存権とは何か、社会保障に対する国の責任と国民の権利について考える。
12	家族と法	選択的夫婦別姓・同性婚訴訟などを取り上げ、家族と法のあり方を考える。
13	情報社会と法	情報化の進展による問題とそれに対する法的対応、そこにおける課題について考える。
14	紛争処理と法	法的な争いはがどのように解決されるかを探る。裁判員制度等、司法の市民参加について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
①「授業レジュメ」やノートなどで内容を確認し整理するという「復習中心」の学習を勧めます。予習については、毎回の授業の最後に提示する課題について、自分なりに考えをまとめておくとよいでしょう。なお、予習・復習に要する時間はおおむね４時間を標準とします。
②「覚えるべき基本知識」はありますが、強調したいのは、むしろ法というものを〝批判的に〟ながめ、かつ考察するということです。

【テキスト（教科書）】
「授業レジュメ」および適宜上げる資料を使用。

【参考書】
上記レジュメに「参考文献（基本書または概説書）」を載せる。

【成績評価の方法と基準】
定期試験およびレポート課題等により評価。（定期試験90％、レポート等10％）授業時の課題提出も考慮する。定期試験においては、解答上の指示に従い、かつ設問に即した答案内容か否かを評価ポイントとする。また、法における基本知識や基本用語について押さえておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
基本的な法律用語についてその都度説明を加える。授業時に意見を発表する機会をなるべく多く設ける。

【その他の重要事項】
授業中の「私語」は認めない。他の聴講生にたいする「権利侵害(聴講権侵害)」となるゆえ、授業での権利侵害は認められません。

【Outline (in English)】
Today we live in ‘the legal society’. Because law is everywhere around us. And so many legal problems do concern each of us. In this course, we will learn the fundamental way of thinking about the various ideas and concepts that underlie legal issues. And we will pursue how to solve the social problems by law. Before/after each lecture, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the following
Term-end examination: 90%、Short reports : 10%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学技術史

馬場　敏幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
授業の到達目標及びテーマ 本講義では科学技術の歴史について、西洋近代科学の発祥・発展を主に学ぶ。受講者は科学技術がどのように誕生し、受け継がれ、近代に至ってきたのかについての大きな流れを理解してほしい。人間社会において、常識や真実は、時代や場所によって移り変わってきた。「真実」は絶対ではないことを歴史から学び、時には固定概念にとらわれず探求する精神を育んでほしい。

【到達目標】
本講義では、紀元前から近代までの科学技術の変遷を学ぶ。科学技術はあるきっかけで誕生し、変遷、転用、融合を経て進化し、受け継がれる。そうした経緯について、西洋の事例を中心に、古代、中世、近代の例を題材に学ぶ。科学技術のさまざまな着想と発明・発見の背景、そして「常識」の危うさ、もろさ。疑問を持つことの重要性についても知見を深めてもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
スライド投影にて講義を行い、適宜理解力テストを行う。復習用に授業終了後一週間以内をめどに使用したスライドはHoppiiにアップロードする予定である。本講義は対面講義を基本とするが、事情によりオンデマンド・Zoomなどを行う場合は講義数日前～一週間前をめどに授業支援システムを通じて掲示するので各自事前に確認してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方　序論
2	はじまり	道具の使用と農業の開始
3	古代	古代都市国家の形成と技術の芽生え
4	ギリシア１	科学思想の芽生え
5	ギリシア２	科学思想体系の確立
6	アレクサンドリア１	エラトステネス・アルキメデスら
7	アレクサンドリア２	三大機械技師
8	ローマ	建築技術の発展など
9	中世ヨーロッパ１	古代科学技術の衰退と復古
10	中世ヨーロッパ２	スコラ学形成と大学の誕生
11	ルネッサンス	ダビンチによる様々な発明
12	科学革命１	コペルニクスによる地動説仮説
13	科学革命２	ブラーエとケプラーによる惑星運動理論
14	科学革命３	ガリレイ、ニュートン

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、講義前1時間半、講義後2時間半の計4時間を想定している。授業内容に関連するニュースに興味を持つようにしてほしい。

【テキスト（教科書）】
参考資料に基づき作成したスライドにより講義を行う。

【参考書】
村上陽一郎『西欧近代科学』新曜社、中川徹『文明史上における科学技術の歩み』青山社、フォーブス『古代の技術史』朝倉書店、小山慶太『科学史年表』中公新書、クーン（中山訳）『科学革命の構造』、ランデルズ（宮城訳）『古代のエンジニアリング』地人書館、荒井ら編『産業革命の技術』有斐閣、加茂儀一編『技術の歴史』毎日ライブラリ、学研図鑑『発明・発見』、その他

【成績評価の方法と基準】
講義で課題（レポートやテスト）を課し、その課題の提出状況、および授業内や授業後の課題の内容、授業時の出席状況や発言内容などに基づき成績評価を行う。課題80%、平常点20%、合計100%の予定である。

【学生の意見等からの気づき】
講義に出席せずに遠隔でテストを受ける者がいるとの指摘があった。講義を真面目に受講している学生から見て非常に不適切な行為である。この行為は発覚次第厳しい減点を行うのでしないようにしていただきたい。

【学生が準備すべき機器他】
理解力テストはHoppiiで行う。そのため、インターネット環境は必須である。テストはスマホ・タブレットでも受験可能である。

【その他の重要事項】
年により春学期に受講者が集中し、教室定員をオーバーしてしまうことがある。秋学期にも同じ講義を行っているので、場合によっては秋学期への変更も検討をお願いしたい。

【Outline (in English)】
In this class, you learn the history of a science and a technology. You should understand the main current of how a science and a technology was born, inherited and changed from an ancient age until a modern age. In human society, the common sense or the truth had been changed upon the time period or in a place. You should learn from history that “the truth” is not absolute. I hope you foster a questioning mind, thinking outside the box. As outside studies, I hope one and half hour before classroom and two and half hours after classroom. Grading is mainly based on quizzes and reports.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学技術史

馬場　敏幸

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
授業の到達目標及びテーマ 本講義では科学技術の歴史について、西洋近代科学の発祥・発展を主に学ぶ。受講者は科学技術がどのように誕生し、受け継がれ、近代に至ってきたのかについての大きな流れを理解してほしい。人間社会において、常識や真実は、時代や場所によって移り変わってきた。「真実」は絶対ではないことを歴史から学び、時には固定概念にとらわれず探求する精神を育んでほしい。

【到達目標】
本講義では、紀元前から近代までの科学技術の変遷を学ぶ。科学技術はあるきっかけで誕生し、変遷、転用、融合を経て進化し、受け継がれる。そうした経緯について、西洋の事例を中心に、古代、中世、近代の例を題材に学ぶ。科学技術のさまざまな着想と発明・発見の背景、そして「常識」の危うさ、もろさ。疑問を持つことの重要性についても知見を深めてもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
スライド投影にて講義を行い、適宜理解力テストを行う。復習用に授業終了後一週間以内をめどに使用したスライドはHoppiiにアップロードする予定である。本講義は対面講義を基本とするが、事情によりオンデマンド・Zoomなどを行う場合は講義数日前～一週間前をめどに授業支援システムを通じて掲示するので各自事前に確認してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方　序論
2	はじまり	道具の使用と農業の開始
3	古代	古代都市国家の形成と技術の芽生え
4	ギリシア１	科学思想の芽生え
5	ギリシア２	科学思想体系の確立
6	アレクサンドリア１	エラトステネス・アルキメデスら
7	アレクサンドリア２	三大機械技師
8	ローマ	建築技術の発展など
9	中世ヨーロッパ１	古代科学技術の衰退と復古
10	中世ヨーロッパ２	スコラ学形成と大学の誕生
11	ルネッサンス	ダビンチ
12	科学革命１	コペルニクス
13	科学革命２	ブラーエとケプラー
14	科学革命３	ガリレイ・ニュートン

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、講義前1時間半、講義後2時間半の計4時間を想定している。授業内容に関連するニュースに興味を持つようにしてほしい。

【テキスト（教科書）】
参考資料に基づき作成したスライドにより講義を行う。

【参考書】
村上陽一郎『西欧近代科学』新曜社、中川徹『文明史上における科学技術の歩み』青山社、フォーブス『古代の技術史』朝倉書店、小山慶太『科学史年表』中公新書、クーン（中山訳）『科学革命の構造』、ランデルズ（宮城訳）『古代のエンジニアリング』地人書館、荒井ら編『産業革命の技術』有斐閣、加茂儀一編『技術の歴史』毎日ライブラリ、学研図鑑『発明・発見』、その他

【成績評価の方法と基準】
講義で理解力テストを課し、点数を100点に案分し評価を行う（100%）。なお、状況に応じて授業への取り組み、発言など平常点で点数の加減を行う。

【学生の意見等からの気づき】
講義に出席せずに遠隔でテストを受ける者がいるとの指摘があった。講義を真面目に受講している学生から見て非常に不適切な行為である。この行為は発覚次第厳しい減点を行うのでしないようにしていただきたい。

【学生が準備すべき機器他】
理解力テストはHoppiiで行う。そのため、インターネット環境は必須である。テストはスマホ・タブレットでも受験可能である。

【Outline (in English)】
In this class, you learn the history of a science and a technology. You should understand the main current of how a science and a technology was born, inherited and changed from an ancient age until a modern age. In human society, the common sense or the truth had been changed upon the time period or in a place. You should learn from history that “the truth” is not absolute. I hope you foster a questioning mind, thinking outside the box. As outside studies, I hope one and half hour before classroom and two and half hours after classroom. Grading is mainly based on quizzes and reports.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

先端技術・社会論

原　昌己

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
社会から強く求められる「イノベーションを起こす人材」の要件を学ぶ。
「先端技術、技術革新とそれによる社会の変革」（イノベーション）は、どのような過程を通じて生み出され社会に広がっていくのか、そのために必要となる力はどのようなものなのか。
イノベーションの面白さを知り、誰もがイノベータになれる可能性があることに気づくとともに、演習を通じて「新たなモノ」を生みだすための方法を学ぶ。

【到達目標】
(1)イノベーションのプロセスと、そのために必要となる力を知る。
(2)イノベーションを起こす人材に必要となる力、習慣、その基本を知る。
(3)各人の専門の力（今後学ぶことも含む）を使って、将来何を実現したいのかを考え、整理し、まとめる。
(4)新たな製品や仕組みを「企画」する方法を知る。
(5)グループでの「企画」作りの演習を通じて、チームで成果を出すための方法、そのためのコミュニケーション、ディスカッションの方法、プレゼンテーションの方法を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。
・随時、簡易な課題を設け、授業内で全体に対してフィードバックを行う。

前半は映像資料による事例紹介。
イノベーションが起こる場面、その発展の事例を通して、そのプロセス、要件、そしてその面白さを知る。
全学部、全学年の学生が興味・関心を持てる事例をピックアップ。
過年度は以下など、様々な分野に渡るテーマを取り上げた。
・電話からトランジスタ、そしてパソコンへ
（米国ベル研究所、黎明期のApple社など）
・量子コンピュータの可能性
・DNAシーケンサ
・カーボンナノチューブ
・iPS細胞　他

中盤では「イノベーションに必要となる力」の要点を解説。
ＰＤＣＡ、思考力・発想力、コミュニケーション力、他。
演習を通じて体感するとともに、簡易な診断テストで各自の強み・弱みを考える機会を設ける。
「社会で求められる人材要件」とも共通する内容であり、１，２年生にとっては大学で学ぶための基本的な姿勢作り、３，４年生にとっては就職に向けた準備としても有効。

後半はグループワークにより、チームでの「新たなモノ」の企画に取り組む。
さまざまな専門分野のメンバーでのディスカッションを通じて「新たなモノ」を考案、アイデアを結集し「企画」としてまとめるための方法を学ぶ。
過年度では以下などの斬新な企画、イノベーション案が考案された。
・外国人旅行者をサポートする交通・ITインフラ
・ATP（アデノシン３リン酸）を活用した新エネルギー自動車
・地域を活性化する食物工場
・人工知能による痴呆防止システム

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イノベーションの必要性	イノベーションとは何か、その必要性、プロセス、そのために必要となる力など、本授業を通じて学ぶことの概要を知る。
第2回	イノベーション事例１	イノベーションの事例１～４では、過去の事例の映像資料を視聴。 事例１として、電話の発明と普及（予定） 米国・ベル研究所等
第3回	イノベーション事例２ 近年のイノベーション	パソコンの発明と普及（予定） Apple社・Steve Jobs vs Microsoft社・Bill Gates
第4回	イノベーション事例３ 現代のイノベーション	近年の事例、研究途上の事例。 量子コンピュータ、等（予定）
第5回	イノベーション事例４ 日本の現状と課題	日本発のイノベーション。 光触媒、カーボンナノチューブ、DNAシーケンサ等（予定）
第6回	イノベーションに必要となる力	イノベーションを起こす人材になるために必要となる力、習慣、心構えを学ぶ。
第7回	PDCA （plan,do,check,act）	社会での活動の基本となる行動様式、「PDCA」を学ぶ。
第8回	思考法	代表的な思考方法として、ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、ラテラルシンキングを学ぶ。
第9回	コミュニケーション/グループでの思考法	コミュニケーションの方法、グループでの思考方法、ディスカッションの方法を学ぶ。
第10回	グループワーク１	第10回～第12回を通じて、「新たな商品・サービス」(予定）をテーマとして、グループで企画を立案する。
第11回	グループワーク２	課題を設定し、課題に対する解決策を検討する。
第12回	グループワーク３	まとめ、ならびにプレゼンテーションの準備を行う。
第13回	プレゼンテーション	チームごとにプレゼンテーションを行い、相互に評価する。
第14回	試験・まとめと解説	学習した成果に基づき、新たな製品・サービスの企画を小論文としてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・新たな商品やサービス、社会の動きに対する関心を高め、さまざまな情報収集に努めること。その上で、各自が将来、社会で何をやりたいのか、何を実現したいのか考えること。
・上記などを含めた本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、全体で４時間程度を見込む。

【テキスト（教科書）】
なし。各回で資料を配布。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
１）期末、小論文。（50%）
２）グループでのプレゼンテーション。（25%）
３）平常点。（25%）

【学生の意見等からの気づき】
演習を随所に取り入れ、体感的な学びを重視。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students learn the requirements of 'human resources who bring innovation' strongly demanded by society.
【Learning Objectives】
Students learn about the fun of innovation, realize that everyone is likely to become an innovator, and learn and practice to create "new things" through exercises.
【Learning activities outside of classroom】
Students increase interest in new products, services and society and gather information about them
【Grading Criteria /Policy】
Essay/end of term(50%), Team planning and presentation（25%）, Participation in classes（25%）

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

先端技術・社会論

原　昌己

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
社会から強く求められる「イノベーションを起こす人材」の要件を学ぶ。
「先端技術、技術革新とそれによる社会の変革」（イノベーション）は、どのような過程を通じて生み出され社会に広がっていくのか、そのために必要となる力はどのようなものなのか。
イノベーションの面白さを知り、誰もがイノベータになれる可能性があることに気づくとともに、演習を通じて「新たなモノ」を生みだすための方法を学ぶ。

【到達目標】
(1)イノベーションのプロセスと、そのために必要となる力を知る。
(2)イノベーションを起こす人材に必要となる力、習慣、その基本を知る。
(3)各人の専門の力（今後学ぶことも含む）を使って、将来何を実現したいのかを考え、整理し、まとめる。
(4)新たな製品や仕組みを「企画」する方法を知る。
(5)グループでの「企画」作りの演習を通じて、チームで成果を出すための方法、そのためのコミュニケーション、ディスカッションの方法、プレゼンテーションの方法を体得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。
・随時、簡易な課題を設け、授業内で全体に対してフィードバックを行う。

前半は映像資料による事例紹介。
イノベーションが起こる場面、その発展の事例を通して、そのプロセス、要件、そしてその面白さを知る。
全学部、全学年の学生が興味・関心を持てる事例をピックアップ。
過年度は以下など、様々な分野に渡るテーマを取り上げた。
・電話からトランジスタ、そしてパソコンへ
（米国ベル研究所、黎明期のApple社など）
・量子コンピュータの可能性
・DNAシーケンサ
・カーボンナノチューブ
・iPS細胞　他

中盤では「イノベーションに必要となる力」の要点を解説。
ＰＤＣＡ、思考力・発想力、コミュニケーション力、他。
演習を通じて体感するとともに、簡易な診断テストで各自の強み・弱みを考える機会を設ける。
「社会で求められる人材要件」とも共通する内容であり、１，２年生にとっては大学で学ぶための基本的な姿勢作り、３，４年生にとっては就職に向けた準備としても有効。

後半はグループワークにより、チームでの「新たなモノ」の企画に取り組む。
さまざまな専門分野のメンバーでのディスカッションを通じて「新たなモノ」を考案、アイデアを結集し「企画」としてまとめるための方法を学ぶ。
過年度では以下などの斬新な企画、イノベーション案が考案された。
・外国人旅行者をサポートする交通・ITインフラ
・ATP（アデノシン３リン酸）を活用した新エネルギー自動車
・地域を活性化する食物工場
・人工知能による痴呆防止システム
春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イノベーションの必要性	イノベーションとは何か、その必要性、プロセス、そのために必要となる力など、本授業を通じて学ぶことの概要を知る。
第2回	イノベーション事例１	イノベーションの事例１～４では、過去の事例の映像資料を視聴。 事例１として、電話の発明と普及（予定） 米国・ベル研究所等
第3回	イノベーション事例２ 近年のイノベーション	パソコンの発明と普及（予定） Apple社・Steve Jobs vs Microsoft社・Bill Gates
第4回	イノベーション事例３ 現代のイノベーション	近年の事例、研究途上の事例。 量子コンピュータ、等（予定）
第5回	イノベーション事例４ 日本の現状と課題	日本発のイノベーション。 光触媒、カーボンナノチューブ、 DNAシーケンサ等（予定）
第6回	イノベーションに必要となる力	イノベーションを起こす人材になるために必要となる力、習慣、心構えを学ぶ。
第7回	PDCA （plan,do,check,act）	社会での活動の基本となる行動様式、「PDCA」を学ぶ。
第8回	思考法	代表的な思考方法として、ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、ラテラルシンキングを学ぶ。
第9回	コミュニケーション/グループでの思考法	コミュニケーション、グループでの思考方法、ディスカッションの方法を学ぶ。
第10回	グループワーク１	第10回～第12回を通じて、「新たな商品・サービス」(予定）をテーマとして、グループで企画を立案する。
第11回	グループワーク２	課題を設定し、課題に対する解決策を検討する。
第12回	グループワーク３	まとめ、ならびにプレゼンテーションの準備を行う。
第13回	プレゼンテーション	チームごとにプレゼンテーションを行い、相互に評価する。
第14回	試験・まとめと解説	学習した成果に基づき、新たな製品・サービスの企画を小論文としてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・新たな商品やサービス、社会の動きに対する関心を高め、さまざまな情報収集に努めること。
その上で、各自が将来、社会で何をやりたいのか、何を実現したいのか考えること。
・上記などを含めて、本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、全体で４時間程度を見込む。

【テキスト（教科書）】
なし。各回で資料を配布。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末、小論文。(50%)
グループでのプレゼンテーション。(予定)（25%）
平常点(随時のレポート等)。(25%)

【学生の意見等からの気づき】
演習を随所に取り入れ、体感的な学びを重視。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students learn the requirements of 'human resources who bring innovation' strongly demanded by society.
【Learning Objectives】
Students learn about the fun of innovation, realize that everyone is likely to become an innovator, and learn and practice to create "new things" through exercises.
【Learning activities outside of classroom】
Students increase interest in new products, services and society and gather information about them
【Grading Criteria /Policy】
Essay/end of term(50%), Team planning and presentation（25%）, Participation in classes（25%）

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

技術者倫理

詫間　直樹

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本キャンパスの学生は将来、技術者として或るいは技術に関連する人材として、様々な倫理的問題に直面することが予想される。本授業は、さまざまな状況において発生する倫理的問題に取り組む能力を涵養するため、重要概念と事例に接し、理解を深めることを目的とする。

【到達目標】
(1) 技術にまつわる倫理的問題にどのようなものがあるかを知る。
(2) 上記の倫理的諸問題に取り組むにあたって有用な概念や考え方を身につける。
(3) 上記の概念や考え方を用いて様々な事例を理解し論じる能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講師が準備したオリジナル・コンテンツをスライド等を用いて解説する。適宜、ビデオや動画を観てもらう。
また、毎回の授業後、印象に残ったトピックを一つ選んでそれに対するごく簡単な考察を行い、リアクションペーパーとして Hoppii の課題機能を使って提出してもらう。重要なコメントに対しては翌週に回答するなどして、双方向性を高める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	ガイダンスおよびイントロダクション	授業の進め方、授業の目的・到達目標、成績評価方法などについて説明する。 また、イントロダクションとして、「科学」「技術」「道徳」「倫理」といった用語の定義とニュアンスの説明を行う。
第2週	伝統的倫理学と技術(者)倫理	倫理学の考え方に親しんでもらうため、アリストテレスの徳倫理や、カントの義務倫理、ベンサムやミルによる帰結主義・功利主義倫理などを簡単に紹介する。また、こうした伝統的な倫理学と技術(者)倫理がどう違いうのか、についても説明する。
第3週	スペースシャトル・チャレンジャー号事故とその教訓（1）	スペースシャトル・チャレンジャー号事故に関する社会学者 D. Vaughan による分析をベースとし、技術的・倫理的な教訓を学ぶ。
第4週	スペースシャトル・チャレンジャー号事故とその教訓（2）	引き続きチャレンジャー号の事故を事例に、「例外的状況」における権力関係の顕在化と、その対策としての専門職倫理規定および高信頼性組織について解説する。
第5週	ユニバーサル・デザイン ― 倫理を予めデザインに埋め込む ―	「ユニバーサル・デザイン」は、障害者・高齢者と健常者の区別なく等しく利用できるという倫理的・政治的意図を予めデザインに組み込むことを提案している。ユニバーサル・デザインの7原則と倫理性、ユニバーサル・デザインの事例、米国のユニバーサル・デザインと日本のバリアフリーデザインの違い、などについて学ぶ。
第6週	アーキテクチャーの権力	ユニバーサル・デザインと関連したトピックとして、「アーキテクチャの権力」について学ぶ。人工物のアーキテクチャに、人種差別などの政治的意図が埋め込まれていることがある。そのような事例を紹介しつつ、倫理的側面を考察する。
第7週	立証責任と事前警戒原則 ― 水俣病を例に ―	事故や災害が起こるかメカニズムがよく分かっていない場合、事故・災害が発生する可能性を単に指摘することと、証拠を十分に揃えて立証するのとでは、費やす労力が全然違う。不確実な状況下における立証責任について、水俣病を例に引きつつ解説する。
第8週	現場による「カイゼン」があだになった事故 ー ライオン（株）新規開発・界面活性剤の製造プラントの爆発 ー	技術者が良かれと思って行ったことが、逆にあだとなり、事故を招いてしまうという皮肉な事もある。そのような事例として、ライオン（株）の界面活性剤の製造プラントでおきた爆発事故を取り上げ、教訓を学ぶ。
第9週	内部告発の指針	ある調査では、過去5年間に不正を知ったことがあったかという問いに対して、約20%の人が「あった」と答えている。つまり、学生諸君が将来就職して不正に遭遇する確率は思いのほか高い。そんなときのために、不正を告発するための指針や関連する制度や法令を学ぶ。
第10週	情報倫理（1）情報技術と著作権	情報技術は、最も変化の早い技術であり、それに対応する倫理学がまだ構築できていないのが現状である。従って、個々の問題ごとに倫理を考えていくしかない。今回は著作権の問題を扱い、瞬時に大量の情報を複製・伝達する技術の発達に対して、倫理(学)がどう対処できるかを検討する。
第11週	情報倫理（2）「ウィキリークス」の教訓、表現の自由、情報公開	インターネットの発達は、表現の自由といった基本理念にも再検討を迫りつつある。ウィキリークスの事件を例にとり、情報化時代の倫理について考える。併せて、情報公開のあり方についても考察する。

第12週	医療と医学研究におけるインフォーム・ドコンセント	医療や医学実験においては、ながらく、医師や研究者に治療や実験の方針をすべて決めてもらう「パターナリズム」（父権主義）が支配的な考え方であったが、ナチスドイツによる人体実験への反省をきっかけとして、第二次世界大戦後、「インフォームド・コンセント」の制度化が進められてきた。その現状と歴史について解説する。
第13週	生命倫理の入門的トピック	iPS細胞や遺伝子診断などの出現によって、生命科学は人間観を変えてしまう程の影響力を持つに至った。従って、この分野における倫理の構築は必須であるが、知識や技術の発達が早く、体系化は困難である。そこで、いくつかのトピックを紹介する。
第14週	研究倫理の初歩	大学や研究機関における Institutional Review Board (施設内倫理審査委員会)、医学・行動研究におけるインフォームド・コンセント、研究不正への対処、ほか。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間が標準である。
すでに説明したことは理解している前提で講義を進めていくので、授業が一回終わるたびに、次の授業回までによく復習をしておくこと。
授業中に、さらに進んで学習するための参考文献やウェブサイトを紹介する。学生の皆さんには、授業で興味をもったことや疑問に思ったことについて、自分で調べることを強く推奨する。

【テキスト（教科書）】
教科書は指定しない。

【参考書】
参考書はとくに指定しないが、必要に応じて参考になる文献やウェブサイトを授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40%）：毎回の授業の終了後にhoppiiに提出してもらうリアクションペーパーをもとに評価する。
中間レポート（20%）：身の周りにある、ユニバーサル・デザインとアーキテクチャの権力の事例を探し、レポートしてもらう。
期末試験（40%）：今学期講義した内容全般について筆記試験を行う。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は内容の説明が盛りだくさんになってしまったので、今年度は、説明内容をそぎ落として、余裕をもって説明し終えるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
配布資料は、PDF化して事前にHoppiiにアップロードするので、授業中にそれを参照するための機材(パソコン、スマートフォン、タブレット等)を持参されたい。

【Outline (in English)】
【Course Outline】
Many of the students who graduate from the faculties on this campus will face various ethical problems as an engineer or as a staff related to engineering. This course aims at nurturing students' capability to cope with such ethical problems, by providing typical examples in engineering ethics, together with useful concepts and ways of thinking for tackling them.
【Learning Objective (Goal)】
(1) Students learn what kind of ethical problems does technology have.
(2) Students become familiar with useful concepts and ways of thinking to cope with various ethical problems.
(3) Students become capable of applying the above-mentioned concepts and ways of thinking to concrete problems.
【Learning activities outside classroom hours】
Each class assumes that students have understood all the contents given so far in previous classes. Therefore, students must review the previous class contents by the next class.
The lecturer provide students with references used for the class material and literature for advanced learning. Students are expected to read such references and literature.
【Grading Criteria /Policy】
Class Performance (40%): Class Performance is evaluated drawing on the Reaction Papers submitted after each class.
Mid-term Report (20%): Students tries to find an example of "Universal Design" and an example of "Circumstance-managing Power" and reports them.
Term Exam (40%): Examination about the whole contents given in the course.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報倫理

笹原　和織

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では現代の「情報社会」を成立させている「インターネット」とそれを利用する我々の行動全般を視野に入れ、君たちが当たり前に感じているそれらの「光」の部分と共に、その「影」の部分を十分に理解し、まず何が「問題」であるのかを抽出し、その「問題」に対処する方法を共に考えてみたい。

【到達目標】
現状を肯定するだけでなく「問題を発見」すると同時に、その解決に向けた諸状況を理解し、整理すること。さらにはより良い「社会的な解決方法」を見出し、それが何故かを説明できるようになること。
Discover the problems from the current situation, and solve them. In addition, you must be able to explain a better social solution and why.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
新型コロナ感染対策のためWeb講義主体となっていましたが、昨年からリアル講義を半分取り入れた形態を計画しました。しかしながら受講整数が多くその中で感染者が後半から増え出したため、Web講義が多くなってしまった講義形態でした。今年度はリアル講義を主体とする予定ですが、場合によってはWeb講義を取り入れる形に変わるかも知れません。その場合は事前に課題を配信し、それをめぐってのレポートなどのやりとりが中心になるでしょう。
　当初内容は情報環境をめぐる倫理的な諸課題についての講義が中心になりますが、後半の個々の事例／具体的な問題に関しては、提供する情報をもとに、先ずそれをきちんと理解した上で共に考えてもらいたいと思います。
　受講生の皆さんには「何故？ どうして？ どうすれば？」を徹底的に考えてもらいます。
　コロナ禍への対応状況に加え、私が今接している新たな状況に応じて内容に関して弾力的に変更があると思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報倫理序論Ⅰ	まずはこの講義の目的と進行方向などを「講義ガイダンス（この資料）」として説明。 「情報」とは何か?　「倫理」とは何か?　について考えてみよう。 倫理学の中での「情報倫理」の位置づけ、「ネチケット」と「情報倫理」の関係など。
第2回	情報倫理序論Ⅱ	「情報倫理」とは何か。どんなものがそうであり、その必要性と位置付けについて。
第3回	情報社会の規制要因Ⅰ ルールについて	行為規範の意味やそれをあつかう際の注意点など。
第4回	情報社会の規制要因Ⅱ 規範の種別	様々にある規範・ルールの種別を分別してみる。
第5回	情報社会の規制要因Ⅲ レッシグの社会規制図式	情報環境を規制するものを整理して理解する。
第6回	法的規制の重要性	様々な規制要素の検討から「法」の持つ役割や重要性を確認する。
第7回	法的規制Ⅰ 前提：刑罰と損害賠償請求	「法的問題になる」とはどういうことか。特に「刑罰」と「損害賠償請求」の違いについて。
第8回	法的規制Ⅱ 刑罰的規制について	刑罰的規制について、利用者と管理者の違いを視野に入れつつ考える。
第9回	法的規制Ⅲ 民法的な規制について	民法的な規制について、使用者と管理者の立場を意識しつつ考える。
第10回	法的規制Ⅳ 「著作権」と「プライバシー」問題	インターネット利用環境での著作権とプライバシーのあり方および、今までに整理した法的枠組みの関係性を理解する。
第11回	「倫理学」の基礎理論Ⅰ	コミュニケーションにおける根本的な問題が何かを考えてみる。
第12回	「倫理学」の基礎理論Ⅱ	倫理学的な基礎概念の紹介と、現代への応用の可能性を検討する。
第13回	事例研究・発表	みなさんに具体的問題を挙げてもらい、共に考えてみたい。
第14回	ブログやFacebook、Lineなどの SNS	ブログやSNSを利用して、他者批判・企業業批判や社会批判を行うことの重み、代償を身近な事例で考えてみたい。特にその中毒性の問題など。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
　授業で取り扱うテーマ、個人情報保護、機密情報保護、著作権、先端的情報技術等に関する倫理問題や情報技術にまつわる時事問題に関して、日ごろからの新聞、ネット報道に注意すること。
　興味のある課題から、レポートのテーマを選択させる。
Pay attention to daily newspapers and online reports regarding ethical issues related to themes handled in class.

【テキスト（教科書）】
講義用資料は、講義時に随時提供する。
使用環境については、大学の提供するWebシステムを利用する予定。

【参考書】
ローレンス・レッシグ『コード』
近藤勲編著『情報と職業』(丸善)
水谷雅彦、越智貢、土屋俊編著『情報倫理の構築』（新世社）
デボラ・ジョンソン著、水谷他監訳『コンピュータ倫理学』(オーム社)

【成績評価の方法と基準】
　講義の終了後に適宜課題を設定し、その評価をもって成績評価としたい。課題提出には一定の期間を設け、期間外の提出は認めないことで計画的な学習の補助としたい。
　講義の出席率は課題の提出割合とする。
　講義内発表やレポート提出のある場合は、出席率を前提としてその評価を課題提出に伴う評価に加え、総合的に評価する。
The assignment report imposed after the lecture will be the grade evaluation.

【学生の意見等からの気づき】
受講生と共に、現代的課題について考えていきたい。特定の解答を要求してはいない。そこに至るまでの思考過程と、どれだけ広く深く考え抜くのかが大切。積極的な発言を求めたい。

【Outline (in English)】
In this lecture, we analyze the behavior in the Internet which constitutes the information society. And we must understand deeply the merits and demerits that are now commonplace, and think about how we deal with that problems.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

環境と資源

中嶋　吉弘

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉〈カ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球で大繁栄している人類が今後も生存するには資源、エネルギー、環境保全などに対するルールが必要になって来ている。なぜ循環型社会の構築が必要なのか地球の成り立ち、太陽光を唯一のエネルギー源とした自然環境を説明しながら理解を深めたい。

【到達目標】
地球環境は閉鎖系で原則として元素の増減は無く、物質も出入りしない事の理解を得る。限り有る資源の活用にはルールが必要でフェアーでなければならない。太陽光を原点とした自然エネルギーの有効利用は環境保全や永続性の観点からも必須である事を確認します。研究開発がどのように我々の生活に結びつくのか？　環境化学（科学）に興味を持てる様にしたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
環境問題や資源枯渇の問題が注目されているが、これらの問題が必ずしも一般の人々に正しく理解されているとは言えないのが現実である。この講義では環境問題やエネルギー、資源等の問題について、理科系の学部学生として最低限知っておく事が望ましい知識を伝えるとともに、これらの社会的な問題に対して問題意識を持つきっかけとなる様な機会を作る事をねらいとします。課題などに対しては学習支援システムなどを用いてフィードバックする。春学期の授業は，原則として対面での講義を行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	担当講師の自己紹介と本講義の概要、これまでの研究内容と成果の紹介などを話ながら、今後の授業方針を告知します。
第2回	地球科学の基礎	我々人類は地球上で誕生し、進化を経て地球環境の恩恵と受ける一方で、様々な問題を引き起こしています。第２回では原始地球の誕生から生物の進化、人類の誕生に至る現在の地球を取り巻く環境を、『大気』・『水域』・『土壌』の観点から講義します。
第3回	生態系と物質循環	第２回に引き続き、第３回では地球環境の現状について、『生態系』と『物質循環』の観点を加えて、生物と物質の交換を講義します。
第4回	環境保護と環境基準	科学技術の発展は人類の生活を豊かにする一方で、多くの環境および資源に関する問題を生み出しています。第４回では環境問題の歴史を振り返りながら、人類と環境汚染・環境保護・健康影響について講義します。
第5回	温室効果気体と気候変動	現在最も解決すべき環境問題として、温室効果気体の増加とそれに伴う気候変動が挙げられます。第５回では温室効果気体に関します基本的な科学的知見と気候変動に関します状況について講義します。
第6回	オゾン層破壊とオゾンホール	オゾン層破壊は国際的な枠組みが定められた大気環境学のモデルケースです。第６回ではオゾン層破壊のメカニズムとオゾンホールの発生過程、国際的な枠組みである『モントリオール議定書』とオゾン層の現状について講義します。
第7回	大気汚染と生態系への影響	『光化学オキシダント』や『PM2.5問題』、『酸性雨』などの大気汚染は我々が最も身近に接してきた環境問題です。第７回ではこれら大気汚染問題の基礎と現状、生態系への影響（第３－４回と一部重複）を講義します。
第8回	マイクロプラスチック汚染とPOP	最近マイクロプラスチック汚染が最近の環境問題として警鐘を鳴らし、これを受けてプラスチックの削減運動が進められています。第８回では『マイクロプラスチック』とは何か、なぜ発生しますのか、何が問題なのか、そしてマイクロプラスチック削減運動の現状を講義します。
第9回	資源の有効利用	人類は地球上の様々な資源を活用することで発展を遂げ、一方で環境問題を引き起こしています。第９回では人類の歴史を振り返りながら、人類が活用している、または今後活用が期待されている様々な資源について講義します。
第10回	化石燃料の今昔と新規燃料	２１世紀においても人類は多くの石油や石炭を使用し、さらに『シェールガス』や『メタンハイドレート』などの新規の化石燃料の利用を模索しています。第１０回では従来の石油石炭に加え、シェールガスやメタンハイドレートなどの化石燃料の基礎と問題点、そして近年盛んに利用されているバイオ燃料、木質バイオマス発電や水素の利用について講義します。
第11回	非化石燃料によるエネルギー獲得の現状	オイルショック以来、わが国ではエネルギー資源に関する議論が現在も続けられています。また世界に目を向けると、温室効果気体の増加に伴う脱炭素社会の行動が要求されています。第１１回では太陽光や風力、地熱などの発電および、燃料電池、原子力発電の仕組みと問題点を考えていきます。

第12回	ゴミ問題とリサイクル	『ゴミ問題』は特に大都市における最も身近な環境問題であり、その解決としてのゴミの『リサイクル』が大きな課題になっています。第１２回ではゴミ処理とリサイクルに関する基礎と現状について講義します。
第13回	バイオマスの有用性	マイクロプラスチック問題の解決策の一つとして、『紙製品』の有効利用が模索されています。また化石燃料使用による温室効果気体の増加に対する解決策の一つとして、木質資源によるバイオ燃料獲得が議論されています。本講義では環境と資源の問題の解決策として有望視されている紙や木材などの『バイオマス』や、微生物の有効利用について講義する。
第14回	『環境と資源』まとめ	第２～１３回にかけて、環境と資源に関する現状と問題点および解決策について講義してきた。第１４回では総仕上げとして、人類をとりまく環境および資源に関する諸問題について振り返り、現状で議論されている解決策についてその有用性と今後起きる可能性がある問題点などを議論する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
特に興味あるテーマに関しては授業の参考になるレベルまで学習し、授業時間内または終了後に質問する事。さらに、授業終了後自由に担当教員に議論を持ちかけるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】
特にありません。

【参考書】
『環境化学（科学）』や『地球科学（化学）』に関する教科書であれば参考になります。

【成績評価の方法と基準】
3回のレポート課題（75%）に平常点（25%）を考慮して評価します。なお3回のレポートは全て提出が必須であり、１回でも未提出の場合は不可となりますのでご注意ください。

【学生の意見等からの気づき】
多くの学部／学科の学生が参加する講義です。多人数の時は教員の声が聞きにくい、黒板の字が見えにくい等有りますが積極的に前方で講義を受ける事をお勧めします。最新のニュースや物理および化学に関する基礎知識などで（一見すると）本題から外れる事が有りますが、可能な限り簡潔にまとめるようにします。

【Outline (in English)】
[Outline]
This course will introduce basic knowledge of the changes in the natural environment. It will also introduce natural resources that are on the earth which humans use.
[Course outline]
In order for human beings, who are prosperous on the earth, to continue to survive, rules regarding resources, energy, environmental conservation, etc. are becoming necessary. I would like to deepen my understanding while explaining the origin of the earth and the natural environment where sunlight is the only energy source, why it is necessary to build a sound material-cycle society.
[Learning Objectives]
It is understood that the global environment is a closed system, and in principle, there is no increase or decrease in elements, and substances do not enter or leave. Utilization of limited resources requires rules and must be fair. We confirm that effective use of natural energy with sunlight as the origin is essential from the viewpoint of environmental conservation and permanence. How does R &D lead to our lives? I want to be interested in environmental chemistry (science).
[Learning activities outside of classroom]
4 hours is the standard for studying outside class hours such as preparation and review of this class. For topics of particular interest, study to a level that will be helpful for the class, and ask questions during or after class hours. In addition, feel free to approach the instructor in charge after the class.
[Grading Criteria /Policy]
Evaluate 3 report assignments (75%) with normal points (25%) in mind.
Please note that all three reports must be submitted, and if even one report has not been submitted, it will not be possible.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

環境と資源

中嶋　吉弘

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉〈カ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球で大繁栄している人類が今後も生存するには資源、エネルギー、環境保全などに対するルールが必要になって来ている。なぜ循環型社会の構築が必要なのか地球の成り立ち、太陽光を唯一のエネルギー源とした自然環境を説明しながら理解を深めたい。

【到達目標】
地球環境は閉鎖系で原則として元素の増減は無く、物質も出入りしない事の理解を得る。限り有る資源の活用にはルールが必要でフェアーでなければならない。太陽光を原点とした自然エネルギーの有効利用は環境保全や永続性の観点からも必須である事を確認します。研究開発がどのように我々の生活に結びつくのか？　環境化学（科学）に興味を持てる様にしたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
環境問題や資源枯渇の問題が注目されているが、これらの問題が必ずしも一般の人々に正しく理解されているとは言えないのが現実である。この講義では環境問題やエネルギー、資源等の問題について、理科系の学部学生として最低限知っておく事が望ましい知識を伝えるとともに、これらの社会的な問題に対して問題意識を持つきっかけとなる様な機会を作る事をねらいとします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	担当講師の自己紹介と本講義の概要、これまでの研究内容と成果の紹介などを話ながら、今後の授業方針を告知します。
第2回	地球科学の基礎	我々人類は地球上で誕生し、進化を経て地球環境の恩恵と受ける一方で、様々な問題を引き起こしています。第２回では原始地球の誕生から生物の進化、人類の誕生に至る現在の地球を取り巻く環境を、『大気』・『水域』・『土壌』の観点から講義します。
第3回	生態系と物質循環	第２回に引き続き、第３回では地球環境の現状について、『生態系』と『物質循環』の観点を加えて、生物と物質の交換を講義します。
第4回	環境保護と環境基準	科学技術の発展は人類の生活を豊かにする一方で、多くの環境および資源に関する問題を生み出しています。第４回では環境問題の歴史を振り返りながら、人類と環境汚染・環境保護・健康影響について講義します。
第5回	温室効果気体と気候変動	現在最も解決すべき環境問題として、温室効果気体の増加とそれに伴う気候変動が挙げられます。第５回では温室効果気体に関します基本的な科学的知見と気候変動に関します状況について講義します。
第6回	オゾン層破壊とオゾンホール	オゾン層破壊は国際的な枠組みが定められた大気環境学のモデルケースです。第６回ではオゾン層破壊のメカニズムとオゾンホールの発生過程、国際的な枠組みである『モントリオール議定書』とオゾン層の現状について講義します。
第7回	大気汚染と生態系への影響	『光化学オキシダント』や『PM2.5問題』、『酸性雨』などの大気汚染は我々が最も身近に接してきた環境問題です。第７回ではこれら大気汚染問題の基礎と現状、生態系への影響（第３－４回と一部重複）を講義します。
第8回	マイクロプラスチック汚染とPOP	最近マイクロプラスチック汚染が最近の環境問題として警鐘を鳴らし、これを受けてプラスチックの削減運動が進められています。第８回では『マイクロプラスチック』とは何か、なぜ発生しますのか、何が問題なのか、そしてマイクロプラスチック削減運動の現状を講義します。
第9回	資源の有効利用	人類は地球上の様々な資源を活用することで発展を遂げ、一方で環境問題を引き起こしています。第９回では人類の歴史を振り返りながら、人類が活用している、または今後活用が期待されている様々な資源について講義します。
第10回	化石燃料の今昔と新規燃料	２１世紀においても人類は多くの石油や石炭を使用し、さらに『シェールガス』や『メタンハイドレート』などの新規の化石燃料の利用を模索しています。第１０回では従来の石油石炭に加え、シェールガスやメタンハイドレートなどの化石燃料の基礎と問題点、そして近年盛んに利用されているバイオ燃料、木質バイオマス発電や水素の利用について講義します。
第11回	非化石燃料によるエネルギー獲得の現状	オイルショック以来、わが国ではエネルギー資源に関する議論が現在も続けられています。また世界に目を向けると、温室効果気体の増加に伴う脱炭素社会の行動が要求されています。第１１回では太陽光や風力、地熱などの発電および、燃料電池、原子力発電の仕組みと問題点を考えていきます。

第12回	ゴミ問題とリサイクル	『ゴミ問題』は特に大都市における最も身近な環境問題であり、その解決としてのゴミの『リサイクル』が大きな課題になっています。第１２回ではゴミ処理とリサイクルに関する基礎と現状について講義します。
第13回	バイオマスの有用性	マイクロプラスチック問題の解決策の一つとして、『紙製品』の有効利用が模索されています。また化石燃料使用による温室効果気体の増加に対する解決策の一つとして、木質資源によるバイオ燃料獲得が議論されています。本講義では環境と資源の問題の解決策として有望視されている紙や木材などの『バイオマス』や、微生物の有効利用について講義する。
第14回	『環境と資源』まとめ	第２～１３回にかけて、環境と資源に関する現状と問題点および解決策について講義してきた。第１４回では総仕上げとして、人類をとりまく環境および資源に関する諸問題について振り返り、現状で議論されている解決策についてその有用性と今後起きる可能性がある問題点などを議論する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
特に興味あるテーマに関しては授業の参考になるレベルまで学習し、授業時間内または終了後に質問する事。さらに、授業終了後自由に担当教員に議論を持ちかけるようにして下さい。

【テキスト（教科書）】
特にありません。

【参考書】
『環境化学（科学）』や『地球科学（化学）』に関する教科書であれば参考になります。

【成績評価の方法と基準】
3回のレポート課題（75%）に平常点（25%）を考慮して評価します。なお3回のレポートは全て提出が必須であり、１回でも未提出の場合は不可となりますのでご注意ください。

【学生の意見等からの気づき】
多くの学部／学科の学生が参加する講義です。多人数の時は教員の声が聞きにくい、黒板の字が見えにくい等有りますが積極的に前方で講義を受ける事をお勧めします。最新のニュースや物理および化学に関する基礎知識などで（一見すると）本題から外れる事が有りますが、可能な限り簡潔にまとめるようにします。

【Outline (in English)】
[Outline]
This course will introduce basic knowledge of the changes in the natural environment. It will also introduce natural resources that are on the earth which humans use.
[Course outline]
In order for human beings, who are prosperous on the earth, to continue to survive, rules regarding resources, energy, environmental conservation, etc. are becoming necessary. I would like to deepen my understanding while explaining the origin of the earth and the natural environment where sunlight is the only energy source, why it is necessary to build a sound material-cycle society.
[Learning Objectives]
It is understood that the global environment is a closed system, and in principle, there is no increase or decrease in elements, and substances do not enter or leave. Utilization of limited resources requires rules and must be fair. We confirm that effective use of natural energy with sunlight as the origin is essential from the viewpoint of environmental conservation and permanence. How does R &D lead to our lives? I want to be interested in environmental chemistry (science).
[Learning activities outside of classroom]
4 hours is the standard for studying outside class hours such as preparation and review of this class. For topics of particular interest, study to a level that will be helpful for the class, and ask questions during or after class hours. In addition, feel free to approach the instructor in charge after the class.
[Grading Criteria /Policy]
Evaluate 3 report assignments (75%) with normal points (25%) in mind.
Please note that all three reports must be submitted, and if even one report has not been submitted, it will not be possible.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

環境と資源

片谷　教孝

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：〈S〉〈カ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
環境問題や資源枯渇の問題が注目されるようになって久しい。1980年代以降はかつての四大公害事件のような激甚な公害の新たな発生はないが、地球環境問題や有害化学物質の問題など、多くの問題が現在も存在している。また2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故以降、放射性物質や放射線の問題が注目を集めるようになった。しかし、これらの問題が必ずしも市民に正しく理解されているとはいえないのが現実である。一方で、近年はSDGs(持続可能な開発目標)が国際社会に共通の理念とされ、すべての国民が必要な知識を持って取り組むことが求められるようになってきた。この授業では、SDGsの概念とともに、放射性物質を含む環境問題や、資源・エネルギー問題の全般を広く扱い、環境問題を直接の専門分野としない学生でも最低限知っておくべき知識を身につけることを目的とする。

【到達目標】
この授業では、環境問題（放射性物質の問題を含む）や資源・エネルギーの問題、さらには国際的な共通目標であるSDGsの概念について、理工系学部の学生として最低限知っておくことが望ましい知識を身につける。また、これらの社会的な問題に対して、十分な問題意識を持てるような動機づけを行うことも目標の１つとする。特に、環境問題が学際的な領域であることから、理系に限定せず、文系の視点からも問題をとらえることができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
まず環境問題とは何かを理解するため、環境問題の歴史的経緯やその本質的な部分について解説する。その中で、近年なぜSDGsという考え方が出てきたのか、その目標は何であるのかを学ぶ。次いで環境問題を自然科学のみならず人文社会科学的な観点から理解し、さらに環境問題にどう取り組んでいく必要があるのかを各自で考えてもらう。また資源、エネルギーの問題は、環境問題と不可分な関係にあることから、世界や日本の地下資源やエネルギー資源の現状を解説し、資源の有効利用と保全をいかにして両立させるかを考える。また、通常の授業形式に戻った後については、比較的多人数が履修する科目であることから、双方向的な方法はとりにくいため、基本は講義形式で進める。ただし毎回最後に短い練習問題（ミニテスト）を課し、翌週それに対するコメントを返すことによって、最低限の双方向性を確保する。このミニテスト解答の提出は、平常点に反映される。授業は原則として対面で行う。 授業方式やミニテスト解答方法の詳細は、学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション・環境問題とは何か	講義の目的、講義の進め方、成績評価方法を説明する。後半では、環境とは何か、環境問題とは何か、という基本的な点を解説する。
第2回	環境問題の歴史的経緯とSDGs	人類が地球上に誕生してから現在に至るまでの、環境問題（公害問題）の歴史的な流れを解説する。また近年なぜSDGsの考え方が出てきたのかを解説する。
第3回	SDGsが目指すもの	現在提示されているSDGsの17の目標について解説し、我々がそれにどう貢献できるかについて考える。
第4回	環境問題を自然科学の立場から理解する	地球の自然科学的なしくみを理解し、そこから環境問題が発生する根源的なしくみを理解する。
第5回	環境と生物	地球上に生命が誕生してから現在にいたる生物学的な歴史と、環境問題の関連性について考える。
第6回	近年の環境問題のトピックス（1）地球環境問題	地球環境問題の全容を解説する。また国際的な取り組みの状況や見通しについても概説する。
第7回	近年の環境問題のトピックス（2）化学物質問題	ダイオキシンや環境ホルモンに代表される、化学物質由来の環境問題の全容を解説する。
第8回	近年の環境問題のトピックス（3）放射線問題	放射線、放射能、放射性物質とは何かを解説し、原子力発電のしくみを学ぶ。次いで福島第一原発事故の影響の現状や、将来見通しについても解説する。
第9回	世界と日本の資源・エネルギーの現状と将来	世界全体や日本国内での資源採掘および利用の現状と、今後の需給見通しについて学ぶ。
第10回	日本の省エネルギーの現状と再生可能エネルギー	エネルギー消費を削減するための省エネの取り組みと、再生可能エネルギーの技術開発および導入状況について、日本の現状を中心に解説する。
第11回	環境問題と社会科学	環境問題を経済学、法学、社会学の切り口からとらえる考え方を学ぶ。
第12回	環境問題に取り組むために（1）（技術的取り組み）	環境問題を抑制するために、さまざまな技術的手法が適用されている。ここでは、環境問題に対する技術的な取り組みを歴史的にみて、その主要な手法を解説する。
第13回	環境問題に取り組むために（2）（社会的取り組み）	環境問題を抑制するための、経済学的、法学的、社会学的な取り組みについて解説する。
第14回	環境問題に取り組むために(3)　（環境リスク論）、全体の総括	環境問題によって人体にもたらされる負の影響は、環境リスクとしてとらえることができる。この環境リスク定量化の考え方と、そのリスクを提言するためのリスク管理の考え方を学ぶ。最後に学期全体の総括を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】環境問題に関連する情報源は、マスコミ報道を中心に、我々の周囲に多数存在する。この科目では、そういう一般向けの情報源からいかに自主的に情報収集を行っているかが問われる。

【テキスト（教科書）】
片谷教孝・鈴木嘉彦「循環型社会入門」オーム社（2001年刊、1900円＋税、2020年度より電子出版に移行）を必須のテキストとする。毎週使用するとは限らないが、随時参照できるように、毎回携行することが望ましい。このテキストは初版から20年以上経過しているが、主要なデータは2012年の増刷時に改訂されている。このほかの最新データについては、プリントによって補う。なおこの教科書は、早い時期に通読（斜め読みでよい）しておくことが必須と理解されたい。担当教員は、履修者が教科書に目を通してあるという前提で授業を進める。また、授業の要点を記載したプリントは、毎回配布する。ただしこのプリントは、教科書を補足するためのものであり、教科書の代用となるものではない。

【参考書】
授業中に随時紹介する。環境問題に関する出版物は、非常に多く出版されている。それらの中には、科学的に正しくないものや、一部の情報を極端に強調したものなど、誤った理解を増幅するようなものも含まれている。正しい知識を得るために有益な参考書を授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業の終了前10分程度の時間で、個々の学生の見解を問うための簡単な練習問題（ミニテスト）を課し、その解答提出をもって平常点とする。チェックの基準は解答内容の科学的な正誤ではなく、授業内容に基づいて自ら考えた解答であるかによって判定される。「特になし」などの解答や、白紙解答の場合は、平常点を与えられない。この平常点を50％、期末試験の得点を50％の割合で合算し、評価を行う。なお、ミニテストの解答を提出しても、授業開始から30分以上経過して入室した場合には平常点を与えられない。ただしこの30分の余裕は、交通機関の乱れ等による影響を吸収するためのものであり、30分遅刻してよいという意味ではないので、注意されたい。あくまでも始業時刻に着席していることが大原則である。

【学生の意見等からの気づき】
画像・映像情報の使用を増やす要望が毎年出ているので、今年度もなるべく多くのPowerpointスライドや映像情報を使用するように配慮する。

【学生が準備すべき機器他】
授業では映像情報やPowerpointのようなプレゼンテーションソフト上の情報を時折使用する。ただし学生に情報機器の使用を義務づけることはしない。ただし感染症に感染して登校できない等の事情で、やむを得ず自宅からオンライン受講する場合には、言うまでもなくネットワーク接続された機器が必要になる。また授業の最後に実施するミニテストでは、Google Formを使用して回答する形式なので、スマホまたはノートPC、タブレットなどの電子機器が必要になる。

【その他の重要事項】
担当教員は非常勤であるので、質問がある場合には毎回のミニテストの解答の中に記載するか、メールで質問を送信することを推奨する。質問に対しては公平性の観点から、原則として次週の授業時に全員あてに回答する。質問用のメールアドレスは、katatani＠obirin.ac.jp（@を半角文字にして送信のこと）。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
Environmental issues are very important social problems. It is necessary for every people to understand the mechanism of these issues, but at present, the necessity has not been performed yet. In addition, the concept of SDGs(Sustainable Development Goals) has become a internationally common sense. This lecture aims to study fundamental understandings of SDGs concept and environmental issues including global environmental issues, local issues, radioactive species, and so on.
[Learning Objectives]
The main objective of this class is to get enough knowledge on the environmental problems, resources and energy problems, and the concept of SDGs as a internationally common goals. Another objective is to have a mind to have a interest on these social problems. Particularly, as the environmental problems are interdisciplinary issues, it is important for the students to be able to understand a problem from the viewpoint of not only natural sciences but also social sciences.
[Learning activities outside of classroom]
"The standard study time outside of classroom is not less than 4 hours." The information related to the environmental issues can be obtained from the mass-media news, internet websites, newspapers, and so on . It is important for students to gather those information by themselves.
[Grading Criteria/Policy]
An short exercise (mini-test) is conducted to ask the opinion of individual student in the last 10 minutes of the class every week. The answer of the mini-test is reflected to the regular point. In the case that the answer is "nothing" or a blank paper answer, no regular point is assigned. The total of the regular point is counted as 50%of the total score. another 50%is evaluated by the term-end examination in July.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

宇宙と地球

石川　壮一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
太陽系外惑星、ダークマター、オーロラなど、宇宙や地球に関する最近の研究成果を題材として、それぞれの現象の理解、地球と宇宙との関係や歴史について講義する。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要
第2回	運動の法則	ニュートンの運動法則と万有引力の法則について
第3回	星の運動	重力に基づく運動の例として、惑星の運動や、銀河内部の恒星の運動について
第4回	地球上での運動	空気抵抗や自転による慣性力等地球上における運動について
第5回	電磁気の法則	電磁気現象の基本的法則について
第6回	物の色と光(1)	光の現象の例として、地上の風景、物の温度と色との関係等について
第7回	物の色と光(2)	光の干渉や屈折による現象、原子スペクトル等について
第8回	オーロラと地磁気	オーロラの発光機構、オーロラと太陽、オーロラと地磁気等、オーロラ現象の物理学について
第9回	宇宙の歴史	宇宙の歴史を知るための方法や、宇宙の始まりについて
第10回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生と死について
第11回	星の一生と元素合成(2)	恒星内部で起こっている元素合成と、星の一生との関係について
第12回	太陽系の形成	我々の太陽系の形成過程について
第13回	地球の物理	地球の表面のプレート運動や地球の内部構造に関する最近の話題について
第14回	系外惑星	太陽系外惑星の探査の方法とその最近の成果について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。　また、別途提示する演習問題を解いておくこと。
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J.T.Shipman著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
・「世界のたね－真理を追いもとめる科学の物語」 アイリック・ニュート著、猪苗代英徳訳（日本放送出版協会、1999）
「基礎物理学」　第３版　原　康夫　著（学術図書出版社、2006）
（その他必要に応じて、授業内で紹介する）

【成績評価の方法と基準】
期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。
配分は、期末試験の結果を７割、平常点を３割とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外学習をほとんど行っていない人が多いようなので、予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムを利用する。

【Outline (in English)】
In this class, students will learn recent research results of various phenomena in the universe and the earth such as the aurora, the existence of extrasolar planets, dark matter, etc.
At the end of the course, students are expected to deepen the understanding of the universe and the earth: history and their relations.
Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination(70%) and in class contribution including short reports (30%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

宇宙と地球

石川　壮一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
太陽系外惑星、ダークマター、オーロラなど、宇宙や地球に関する最近の研究成果を題材として、それぞれの現象の理解、地球と宇宙との関係や歴史について講義する。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要
第2回	運動の法則	ニュートンの運動法則と万有引力の法則について
第3回	星の運動	重力に基づく運動の例として、惑星の運動や、銀河内部の恒星の運動について
第4回	地球上での運動	空気抵抗や自転による慣性力等地球上における運動について
第5回	電磁気の法則	電磁気現象の基本的法則について
第6回	物の色と光(1)	光の現象の例として、地上の風景、物の温度と色との関係等について
第7回	物の色と光(2)	光の干渉や屈折による現象、原子スペクトル等について
第8回	オーロラと地磁気	オーロラの発光機構、オーロラと太陽、オーロラと地磁気等、オーロラ現象の物理学について
第9回	宇宙の歴史	宇宙の歴史を知るための方法や、宇宙の始まりについて
第10回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生と死について
第11回	星の一生と元素合成(2)	恒星内部で起こっている元素合成と、星の一生との関係について
第12回	太陽系の形成	我々の太陽系の形成過程について
第13回	地球の物理	地球の表面のプレート運動や地球の内部構造に関する最近の話題について
第14回	系外惑星	太陽系外惑星の探査の方法とその最近の成果について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。　また、別途提示する演習問題を解いておくこと。
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J.T.Shipman著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
・「世界のたね－真理を追いもとめる科学の物語」 アイリック・ニュート著、猪苗代英徳訳（日本放送出版協会、1999）
「基礎物理学」　第３版　原　康夫　著（学術図書出版社、2006）
（その他必要に応じて、授業内で紹介する）

【成績評価の方法と基準】
期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。
配分は、期末試験の結果を７割、平常点を３割とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外学習をほとんど行っていない人が多いようなので、予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムを利用する。

【Outline (in English)】
In this class, students will learn recent research results of various phenomena in the universe and the earth such as the aurora, the existence of extrasolar planets, dark matter, etc.
At the end of the course, students are expected to deepen the understanding of the universe and the earth: history and their relations.
Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination(70%) and in class contribution including short reports (30%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生命の起源と進化

田島　寛隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命はどのように誕生し，進化してきたのか？
現在の知見を元にその道筋を概説する．

【到達目標】
始原生命の発生から人類の誕生に至るまでの生物進化の経緯について，科学的に説明できるようになることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
最初の数回で，授業内容を理解するための基本的なの知識について説明し，その後に生命の誕生と進化について概説する．高校で生物を選択しなかった学生にも分かりやすいように平易・簡潔な講義を行う．またトピックスに関連した回覧資料・視覚教材を適宜提供する．
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生命とは	生命とは何か
2	自然発生説と化学進化説	生命はどのようにして誕生したか
3	種とは何か	種の概念と分類法
4	進化論1	進化の概念
5	進化論2	進化論の変遷
6	原核生物の誕生	原核生物の出現と光合成の開始
7	真核生物の誕生	真核生物の起源と細胞共生説
8	エディアカラ生物群	多細胞生物の誕生と進化
9	カンブリア爆発	カンブリア紀の生物の爆発的多様化
10	オルドビス紀～シルル紀	魚類の出現と植物の陸上進出
11	デボン紀～ペルム紀	動物の陸上進出と進化
12	三畳紀～ジュラ紀	恐竜の出現と繁栄
13	白亜紀～新第三紀	恐竜の絶滅と鳥類・哺乳類の進化
14	人類	ヒトの出現と進化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は各2時間程度を標準とする．配付資料と授業ノートをよく読み返し，内容を十分に理解すること．生物の起源と進化に関連する書籍等を読み，理解をより深めるのが望ましい．

【テキスト（教科書）】
特に指定しない．適宜，資料を配布する．

【参考書】
講義中に適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
基本的に学期末に行う試験で評価する．
授業の実施状況に伴い評価方法は変更することがある．

【学生の意見等からの気づき】
板書が読みにくい旨の指摘が多かったので改善する。

【その他の重要事項】
講義内容に関する質問・感想・要望は随時受け付ける．

【Outline (in English)】
【Outline】
How did life come into being and how did it evolve?
This lecture outlines the pathway based on current knowledge.
【Objectives】
The object of this course is to enable students to scientifically explain the history of biological evolution from the development of primordial life to the birth of humans.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review for this class should take about several hours. Read the handouts and class notes carefully to fully understand the content. It is recommended to read books related to the origin and evolution of organisms to deepen your understanding.
【Grading Criteria /Policy】
Basically, the evaluation is done by the examination at the end of the term. The evaluation method is subject to change depending on the status of the class.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生命の起源と進化

石黒　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命はどのように誕生し、現在の我々に至るまで進化してきたのか？
生命の誕生からヒトの誕生に至るまでのその道筋を時系列順に概説する。

【到達目標】
受講生が、『生物の進化』の概念を理解し、生命の誕生から人類の誕生に至るまでの歴史を把握できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物学を履修しなかった学生もフォローできるように、視覚的資料を多数用意し平易な表現を用いて生命の誕生と進化について概説する。
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。春学期の授業は，原則として対面で行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論	講義内容の概説と現代の地球上の生物の多様性について。
第2回	細胞・生体高分子	生物の構成単位である細胞とそこに含まれる生体内高分子の働きについて。
第3回	進化論	自然発生説と進化論。
第4回	生命の起源	始原地球の環境と生命の誕生。
第5回	光合成細菌の誕生	光合成について。
第6回	好気呼吸の発明	酸素を利用したエネルギー獲得方法の誕生。
第7回	真核生物の誕生	真核生物の誕生と細胞分化による役割分担。
第8回	多様な生物の出現	先カンブリア時代及びカンブリア大爆発と無脊椎動物の進化。
第9回	海洋生物の繁栄と陸上進出	脊椎動物の誕生および動植物の上陸戦略。
第10回	両生類と爬虫類の進化	肺を得た動物の適応放散と形態変化。地球規模で起こった大量絶滅。
第11回	恐竜の時代	恐竜や大型ハチュウ類の進化と繁栄、その絶滅
第12回	鳥類と哺乳類の進化	鳥類と哺乳類の環境適応と恒常性および繁殖。
第13回	現世人類の登場	類人猿の進化と現世人類の誕生。
第14回	病原体と進化	ウイルス、寄生生物の起源と進化、RNAワールド仮説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配布した資料や授業支援システムにアップロードされたファイルを参照し、内容を予習・復習すること。本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、2時間を標準とする

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。

【参考書】
特に指定しないが、必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
成績の評価はレポートの提出により行う。加えて、講義内容を確認する為の小テストを講義時間中に実施する場合がある。具体的な方法と基準は、講義の中で伝える。
成績評価要素：平常点（25%)、小テスト（25%）、レポート（50%)

【学生の意見等からの気づき】
授業支援システムを活用する。

【Outline (in English)】
How has life occurred and has evolved to the present? Outlines the path from the origin of life to the emergence of humans.The goal is to enable students to understand the concept of "Evolution of living things" and to understand the history from the birth of life to the birth of humankind. This lecture requires the submission of a report to evaluate grades. In addition, quizzes to confirm the content of the lecture may be held during the lecture time. The specific procedure will be given in the lecture.
Grade evaluation factors: Normal score (25%), quiz (25%), report (50%)

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生命の起源と進化

田島　寛隆

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命はどのように誕生し，進化してきたのか？
現在の知見を元にその道筋を概説する．

【到達目標】
始原生命の発生から人類の誕生に至るまでの生物進化の経緯について，受講学生が科学的に説明できるようになることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
最初の数回で，授業内容を理解するための基本的なの知識について説明し，その後に生命の誕生と進化について概説する．高校で生物を選択しなかった学生にも分かりやすいように平易・簡潔な講義を行う．またトピックスに関連した回覧資料・視覚教材を適宜提供する．
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生命とは	生命とは何か
2	自然発生説と化学進化説	生命はどのようにして誕生したか
3	種とは何か	種の概念と分類法
4	進化論1	進化の概念
5	進化論2	進化論の変遷
6	原核生物の誕生	原核生物の出現と光合成の開始
7	真核生物の誕生	真核生物の起源と細胞共生説
8	エディアカラ生物群	多細胞生物の誕生と進化
9	カンブリア爆発	カンブリア紀の生物の爆発的多様化
10	オルドビス紀～シルル紀	魚類の出現と植物の陸上進出
11	デボン紀～ペルム紀	動物の陸上進出と進化
12	三畳紀～ジュラ紀	恐竜の出現と繁栄
13	白亜紀～新第三紀	恐竜の絶滅と鳥類・哺乳類の進化
14	人類	ヒトの出現と進化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は各2時間程度を標準とする．配付資料と授業ノートをよく読み返し，内容を十分に理解すること．生物の起源と進化に関連する書籍等を読み，理解をより深めるのが望ましい．

【テキスト（教科書）】
特に指定しない．適宜資料を配布する．

【参考書】
講義中に適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
基本的に学期末に行う試験で評価する．
授業の実施状況に伴い評価方法は変更することがある．

【学生の意見等からの気づき】
板書が読みにくい旨の指摘が多かったので改善する。

【その他の重要事項】
講義内容に関する質問・感想・要望は随時受け付ける．

【Outline (in English)】
【Outline】
How did life come into being and how did it evolve?
This lecture outlines the pathway based on current knowledge.
【Objectives】
The object of this course is to enable students to scientifically explain the history of biological evolution from the development of primordial life to the birth of humans.
【Learning activities outside of classroom】
Preparation and review for this class should take about several hours. Read the handouts and class notes carefully to fully understand the content. It is recommended to read books related to the origin and evolution of organisms to deepen your understanding.
【Grading Criteria /Policy】
Basically, the evaluation is done by the examination at the end of the term. The evaluation method is subject to change depending on the status of the class.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物の多様性

青木　誠志郎、柴尾　晴信

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球上の生物はその誕生以来約40億年という歴史の中、さまざまな環境に適応し多様化を遂げてきました。多様な生物が示す性質の中には、現在の科学で解明にようやく近づきつつある謎がたくさんあります。例えば、アリやハチにはなぜ社会的な行動が見受けられるのでしょうか？ メスとオスの形の違いは、なぜ存在するのでしょうか？ 果たしてDNAや遺伝子の研究で、生物の形や性質の多様性は、すべて説明できるのでしょうか？ 本講義では第一に、これらの謎の不思議やその面白さについて、具体的な紹介から始めます。そして、生物の特徴が世代と共に変化し環境に適応する基本的な仕組みの解明の学問である、進化学や生態学を理解することで、そのような謎に迫る研究とその方法について解説します。さらに進化が生み出した生物多様化の結果とその歴史、そして生物同士の関わり合いを学び、ヒトを含めた生物の多様性と自然環境全体との関係を考えることを、全体の目的とします。

【到達目標】
生物同士あるいは生物と環境（生物も環境の一部であることに注意）の関わりについて興味と関心をもち、生物の階層としての遺伝子-個体-集団の理解を背景に、生物の多様性と進化についての普遍的な考え方と、それら原理の理解を深めることを第一の目標とします。さらに、生物多様性の減少が将来の地球環境に及ぼす影響を理解し、生態系の保全方法について科学的な視点から捉えて評価・提案できる応用的な能力を養成することを第二の目標とします。具体的には、以下のようなことがらの理解を目指します。
・進化の概念について社会通念と科学的考え方の違いを説明できる。
・「そもそも生物にとって環境とは何か？」の問いを元に、生物が環境に適応する機構を説明できる。
・生物個体は他の生物と関わりながら、お互いに支えあって生きていることを説明できる。
・生物と自然環境の関わりを推論できる。
・生物個体にとって自分以外の周りのものはすべて環境であること、（そして環境の一部である生物も進化するので）生物的環境は一定ではないことを説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本講義は、第1回から第3回までをオンライン授業、第4回以降を対面授業として実施する予定です。第1回はHoppiiとZoomを使用したオンライン授業となりますので、ご注意ください。授業は柴尾晴信と青木誠志郎の2名の教員が分担して担当します。第1回から第7回までは柴尾が、第8回から第14回までは青木が担当します。講義では、配布プリントとスライドを使用して進めます。
　毎回の授業では、リアクションペーパー（授業内容に関する問題、感想、質問、要望など）を配布し、授業終了後に回収します。また、Hoppiiのテスト/アンケートを活用して宿題を出します。単位を取得するには、授業ごとのリアクションペーパーの提出、Hoppiiを用いた宿題の提出、期末試験の受験の3つが必要です。授業内容や運営に変更が生じた場合は、学習支援システムを通じてお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	柴尾1: 性の進化と多様性	性の起源と役割、生殖多様性
第2回	柴尾2: 性の進化と多様性	雄と雌はなぜ姿が異なるのか? 性的二型と性淘汰
第3回	柴尾3: 生活史の多様性	自然淘汰、適応、トレードオフ
第4回	柴尾4: 生物間相互作用	生物環境に対する適応：共進化と軍拡競争
第5回	柴尾5: 信号・コミュニケーション	種内・種間コミュニケーションの多様性、信号の発信者と受信者の共進化
第6回	柴尾6: 社会性・協力行動	社会性進化と血縁淘汰、包括適応度
第7回	柴尾7: 社会性昆虫はなぜ進化したのか？	社会性進化の生態的条件、昆虫社会内の遺伝的多様性と利害対立
第8回	青木1: 社会性・協力行動をもう一歩深める	協力行動とゲーム理論
第9回	青木2: 性の進化をもう一歩深める	性比の考え方
第10回	青木3: 生物の多様性の調べ方 1	系統学
第11回	青木4: 生物の多様性の調べ方 2	分子系統学
第12回	青木5: ウィルスから多様性を考える 1	突然変異
第13回	青木6: ウィルスから多様性を考える 2	進化学
第14回	青木7: 生物の集団の考え方	集団遺伝学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。レポート課題あるいは宿題、リアクションペーパーなどを活用してください。また授業の配布資料を読んで準備学習や復習をして欲しいと考えています。

【テキスト（教科書）】
特定のものは指定しません。講義の理解に必要な内容は、全て配布しますので、ご安心ください。授業中あるいはWeb上で、随時プリントとして配ります。

【参考書】
C. ジンマー著「進化-生命のたどる道」岩波書店
ニコラス・H. バートンら著「進化―分子・個体・生態系」メディカルサイエンスインターナショナル
D. サダヴァ他著「カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書第4巻　進化生物学」講談社(ブルーバックス)
日本生態学会編「生態学入門」第2版、東京化学同人
日本生態学会編「行動生態学」共立出版
デイビス・クレブス・ウェスト著「行動生態学」原著第4版、共立出版
Jon C. Herron 他著「Evolutionary Analysis」Pearson
木村資生著「生物進化を考える」岩波新書
スティーヴン・ジェイグールド著「ダーウィン以来―進化論への招待」早川書房
　その他、参考書は授業時間内に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、リアクションペーパーや宿題を含む平常点およびレポート（40～60%）、期末試験（40～60%）を総合して評価します。単位を取得するには、授業終了時に回収するリアクションペーパーの提出、Hoppiiのテスト/アンケートを用いた宿題の提出、期末試験の受験の3つが必要です。また、授業への積極的な参加（質問など）も平常点として評価に加えます。

【学生の意見等からの気づき】
質問や要望をいつでも応募しています。早急に授業に反映させたいと考えています。分かりやすい授業への対応を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
講義の順序や内容は、大学あるいは教員の都合により変更する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course introduces biodiversity science to students. Biodiversity science is an emerging and highly integrative field of research dealing with all aspects of biological diversity and the relationship among living organisms. It also deals with the history of life in the world and the cause of why various organisms and their relationships have been originated and maintained on earth. This course will incorporate ecological and evolutionary perspectives to understand the various subjects such as the tree of life, the taxonomy of organisms, biological interaction, animal communication, social behavior, sexual reproduction, and sexual dimorphism. We will also address approaches and techniques for the analyses of ecology, ethology, phylogeny, and evolutionary biology.
【Learning Objectives】
Students who successfully complete this course will be able to:
A. Understand the sources of genetic variation, evolutionary process, and consequent biodiversity.
B. Explain the importance of biological interactions and signals for social behavior.
C. Show the methods of how to draw a timeline of the history of life on earth.
D. Explain why sexual reproduction and dimorphism are present in many organisms.
【Learning activities outside of classroom】
Before and after each class meeting, students will be expected to read the handouts. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is about two hours for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy】
Overall grade in the class will be decided based on the assignments and reports (50%) and term-end examination (50%), and in-class contribution.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物の多様性

柴尾　晴信

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球上の生物は、その誕生から約40億年の間に、多様な環境に適応し、多彩な進化を遂げてきました。本講義では、生物の多様性と共通性に焦点を当て、進化学や生態学の視点からそのメカニズムを学びます。
講義では、宇宙や地球の誕生から生命の起源に至るまでの歴史を辿り、生命進化の基盤となる分子レベルの変化や遺伝のメカニズムを探ります。また、自然淘汰が環境適応に与える影響を理解し、中立進化（生存や繁殖に影響を与えない突然変異の広がり）が遺伝的多様性を蓄積する仕組みについて考察します。
さらに、性の進化や生殖戦略、オスとメスが異なる形質（性的二型）を持つ理由について学び、性淘汰が進化に与える影響を具体例を通じて考えます。また、生物の生活史におけるトレードオフや、生物間相互作用が形成する適応パターン、共進化のダイナミクスについても探ります。特に、生物が色や音、化学物質を通じて信号を発し、種内外で情報を伝達する仕組みに注目します。これらのコミュニケーションが生存や繁殖成功に結びつく事例を通じて、信号発信者と受信者の共進化を学びます。また、種分化と多様性について、種の定義や進化的な分岐プロセス、適応放散の事例を考察し、生物多様化の背景を理解します。さらに、アリやハチなどの社会性昆虫やヒトを含む社会性動物が進化の中で協力行動を発展させたメカニズムについても探ります。
最後に、生物多様性の進化的背景とその生態学的意義を学びながら、生物多様性喪失が引き起こす影響を考察します。本講義を通じて、自然環境と私たちの生活の深い関係性を理解し、生物多様性保全の重要性について考えることを目的とします。

【到達目標】
本講義では、生物と環境、生物同士の相互関係に対する興味を育み、生物多様性や進化に関する基本原理を理解することを目指します。また、生物多様性の減少が地球環境に与える影響を科学的に評価し、生態系の保全に貢献する視点を養うことを目標とします。
具体的には以下の点を理解できることを目指します：
1. 進化と環境の関係
・ 生物個体にとって、自分以外の周りのものすべてが「環境」であることを説明できる。
・環境の一部である生物も進化するため、生物的環境が一定ではないことを具体例と共に説明できる。
2. 進化と適応のメカニズム
・生物が自然淘汰を通じて環境に適応してきた仕組みを説明できる。
・性淘汰や性的二型を含む性の進化を理解し、社会性や協力行動の進化が生物間の適応に与える役割を説明できる。
3. 生物間相互作用と共進化
・生物同士の相互作用が適応や進化に与える影響を説明できる。
・捕食者と被食者あるいは寄生者と宿主の「軍拡競争」や共生関係を含む共進化の具体例、さらに生物間のコミュニケーションが進化に与える影響を説明できる。
4. 応用的視点
・生物多様性の減少が地球環境や生態系に与える影響を理解し、その保全方法を科学的視点に基づいて評価・提案できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本講義は、全14回を対面授業で実施する予定です。授業はスライドを使用して進めます。毎回の授業では、リアクションペーパー（質問、講義を受けての感想、要望など）を配布し、授業終了後に回収する予定です。また、授業後には学習支援システムを通じて確認テストを実施します。単位を取得するには、これらの提出が必要です。変更が生じた場合は、詳細を学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生物界の共通性と多様性１	宇宙と地球の誕生
第2回	生物界の共通性と多様性２	化学進化と生命進化
第3回	進化のメカニズム１	進化をもたらす分子、遺伝と突然変異
第4回	進化のメカニズム２	自然淘汰と中立進化
第5回	適応と自然淘汰	進化の論理と具体例
第6回	性の進化と多様性１	性の起源と役割、生殖戦略の多様性
第7回	性の進化と多様性２	オスとメスはなぜ姿が異なるのか？ 性的二型と性淘汰
第8回	生活史の多様性	自然淘汰、適応、トレードオフ
第9回	生物間相互作用１	生物環境に対する適応：多様な関係が形づくる適応のパターン
第10回	生物間相互作用２	個体からゲノムレベルまでの共進化と軍拡競争
第11回	種分化と多様性	種の定義、異所的種分化、同所的種分化、適応放散
第12回	社会性・協力行動	社会性進化と血縁淘汰、包括適応度
第13回	社会性昆虫はなぜ進化したのか？	社会性進化の生態的条件、昆虫社会内の遺伝的多様性と利害対立
第14回	信号・コミュニケーション	種内外のコミュニケーションの多様性、信号の発信者と受信者の共進化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備および復習時間は、それぞれ2時間を目安としてください。レポート課題、確認テスト、リアクションペーパーなどを積極的に活用し、理解を深めてください。また、学習支援システムを通じて配布する授業スライドを活用し、効果的に準備学習や復習を進めていただければと思います。

【テキスト（教科書）】
特定のものは指定しません。講義の理解に必要な内容はすべて配布しますので、ご安心ください。授業スライドは学習支援システム上で随時配布いたします。

【参考書】
C. ジンマー著「進化-生命のたどる道」岩波書店
ニコラス・H. バートンら著「進化―分子・個体・生態系」メディカルサイエンスインターナショナル
D. サダヴァ他著「カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書第4巻　進化生物学」講談社(ブルーバックス)
日本生態学会編「生態学入門」第2版、東京化学同人
日本生態学会編「行動生態学」共立出版
デイビス・クレブス・ウェスト著「行動生態学」原著第4版、共立出版
木村資生著「生物進化を考える」岩波新書
スティーヴン・ジェイグールド著「ダーウィン以来―進化論への招待」早川書房
　その他、参考書は授業時間内に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業で実施するリアクションペーパーや確認テストを含む平常点およびレポートで40～60%、期末に実施するオンライン到達度確認テストで40～60%を目安に評価します。単位取得には、リアクションペーパー、確認テスト、レポートの提出、ならびに期末の到達度確認テストの受験が必須です。また、授業中の質問や積極的な参加も平常点に含めて評価します。

【学生の意見等からの気づき】
質問や要望はいつでも受け付けています。いただいた意見は、必要に応じて授業に反映します。分かりやすい授業を目指して対応していきます。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
講義の順序や内容は、大学あるいは教員の都合により変更する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Life on Earth has undergone remarkable diversification and adaptation over approximately 4 billion years since its origin. This course explores the diversity and commonalities of living organisms through the perspectives of evolutionary biology and ecology, using the tree of life as a guiding framework to understand how all organisms are interconnected.
This course will begin by examining the history of the universe and Earth, leading up to the origins of life, and explore the molecular and genetic mechanisms that form the foundation of evolution. Students will learn how natural selection, neutral evolution, and adaptation have shaped the diversity of life, recognizing that the "environment" for any organism encompasses not only physical factors (climate, geology) but also dynamic interactions with other organisms.
Building upon these foundational concepts, we will delve into the evolution of sex and reproductive strategies. We will discuss why males and females often exhibit different physical traits (sexual dimorphism), with an emphasis on sexual selection as a driving force behind these differences.
Furthermore, this course will cover biological interactions and coevolution, exploring how predator-prey dynamics, host-parasite interactions, symbiotic relationships, and communication systems drive adaptation at ecological and genomic levels. We will emphasize that these interspecies interactions are crucial components of the ever-changing "environment" for each organism.
In addition, the processes of speciation, evolutionary divergence, and adaptive radiation will be studied to understand how biodiversity arises. We will examine the social evolution of animals, including humans, and investigate how kin selection, cooperation, and communication contribute to the formation of complex societies.
Finally, students will explore the role of biodiversity in maintaining ecosystems and consider the broader implications of biodiversity loss, recognizing that the loss of any species can have cascading effects on the entire "web of life".
By the end of the course, students will gain a comprehensive understanding of the principles of evolution and ecology, appreciate the interconnectedness of life as visualized through the tree of life, and critically evaluate how evolutionary and ecological processes shape the natural world and human societies, recognizing the dynamic nature of the environment and the crucial role of interspecies interactions in driving evolutionary change.
【Learning Objectives】
Students who successfully complete this course will be able to:
A. Describe the sources of genetic variation (mutation, recombination, gene flow), mechanisms of evolution (natural selection, genetic drift, gene flow, sexual selection, kin selection), and how these processes contribute to the origin and maintenance of biodiversity, including the dynamic interactions between organisms and their environment.
B. Describe biological interactions and coevolution, with examples such as predator-prey dynamics, host-parasite relationships, symbiosis, and communication systems, and explain how these interactions drive evolutionary change in both interacting species.
C. Analyze and interpret scientific data related to biodiversity and critically evaluate the impact of human activities on biodiversity.
D. Evaluate the impact of biodiversity loss on ecosystems and propose scientifically-based conservation strategies to address these challenges.
【Learning activities outside of classroom】
Before and after each class meeting, students will be expected to read the handouts. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is about four hours for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy〉】
Overall grade in the class will be decided based on the assignments and reports (50%) and term-end examination (50%), and in-class contribution.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物の多様性

青木　誠志郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生物学には、生物を構成要素として分析する還元的なアプローチと、生物同士や生物と環境の関係性を探るアプローチがあります。本授業では主に後者に焦点を当て、生物多様性について学びます。たとえば、「なぜ生物は競争だけではなく、協力するのか？」「オスとメスの形態や行動の違いはどのように進化したのか？」「遺伝子のみで生物の形や性質を説明できるのか？」といった問いについて、具体例を交えながら考察します。
　生物多様性（Biodiversity）は一般に「生態系の多様性」「種多様性」「遺伝的多様性」の3つの観点から説明されます。本授業では、それぞれを生態学、系統分類学、集団遺伝学と関連付けながら学びます。さらに、多様性の変化と環境適応の仕組みを探る進化学の視点を取り入れ、最終的に生物多様性と人間を含む生態系全体との関わりを理解することを目標とします。

【到達目標】
　本授業では、以下の理解を目指します。
・遺伝子・個体・集団といった階層構造を踏まえて、生物の多様性を説明できる。
・生物多様性を生態系、生物種、遺伝子の観点から説明できる。
・進化の概念について、社会通念と科学的考え方の違いを説明できる。
・「生物にとって環境とは何か？」を考え、生物が環境に適応する仕組みを説明できる。
・生物個体は他の生物と関わりながら生きていることを説明できる。
・性の進化的意義とその生物学的背景を説明できる。
・生物多様性の変化が地球環境に与える影響を理解し、生態系の保全方法について科学的な視点から考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義は配布プリントとスライドを使用して進めます。授業スライド資料は学習支援システムを通じて事前に配布します。講義前にダウンロードし、授業中にはタブレットやノートパソコンを利用して参照するとともに、復習にも利用してください。毎回、授業内容に関する小テストや質問を記入するリアクションペーパーを配布し、回収します。また、学習支援システムを活用して宿題小テストを出題します。成績はリアクションペーパー、宿題小テスト、期末試験を総合して評価します。授業内容の変更は、学習支援システムを通じて通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要、様々な生物の多様性の考え方
第2回	系統分類学(1)	系統樹の考え方
第3回	系統分類学(2)	系統解析の方法
第4回	性選択	オスとメスの違いはなぜ生まれるのか？
第5回	有性生殖の原因	性はなぜ存在するのか？
第6回	性比	オスとメスの数が1:1になるのは当たり前か？
第7回	生態学(1)	生態系から見た多様性
第8回	生態学(2)	種多様性
第9回	進化学	遺伝的多様性
第10回	生物間相互作用(1)	利己的行動と利他的行動
第11回	生物間相互作用(2)	血縁選択
第12回	生物間相互作用(3)	進化ゲーム理論入門
第13回	集団遺伝学(1)	ハーディー・ワインベルク平衡、移動による進化
第14回	集団遺伝学(2)	選択と変異、浮動による進化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。宿題小テストやリアクションペーパーなどを活用してください。また授業の配布資料を準備学習や復習に利用してください。

【テキスト（教科書）】
特定のものは指定しません。講義の理解に必要な内容は、授業中あるいは学習支援システムを用いて全て配布しますので、ご安心ください。

【参考書】
池内他監訳「キャンベル生物学」第11版（丸善出版）
Herron他著「Evolutionary Analysis」（Pearson）
デイビス他著「行動生態学」第4版（共立出版）
酒井他著「生き物の進化ゲーム」初版、共立出版
Axelrod著「つきあい方の科学」（ミネルヴァ書房）
　その他、参考書は授業時間内に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の3つの要素を総合して評価します。
・リアクションペーパー（25%）：授業終了時に回収する小テストとしつもんについてのリアクションペーパー
・宿題小テスト（25%）：学習支援システムのテスト/アンケートを通じて出題される宿題小テスト
・期末試験（50%）：授業全体の理解度を測る試験
　さらに、授業への積極的な参加（質問など）も平常点として評価に加えます。

【学生の意見等からの気づき】
分かりやすい授業への対応を心がけます。質問や要望は随時受け付け、授業に反映します。

【学生が準備すべき機器他】
特にございません。

【その他の重要事項】
講義の順序や内容は、進行状況や学習の必要に応じて調整する場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course introduces students to biodiversity science. Biology encompasses both a reductionist approach, which analyzes organisms as a collection of components, and a holistic approach, which explores relationships among organisms and between organisms and their environment. This course primarily focuses on the latter, examining biodiversity through key questions such as:
· Why do organisms cooperate rather than compete exclusively?
·How have morphological and behavioral differences between males and females evolved?
· Can an organism's form and traits be explained solely by its genes?
These topics will be explored through concrete examples.
Biodiversity is generally classified into three levels: ecosystem diversity, species diversity, and genetic diversity. This course examines each of these aspects in relation to ecology, systematics, and population genetics, respectively. Additionally, an evolutionary perspective will be incorporated to explore changes in biodiversity and mechanisms of environmental adaptation. The ultimate goal of the course is to develop an understanding of the relationship between biodiversity and ecosystems, including human influences.
【Learning Objectives】
By the end of this course, students will be able to:
· Explain biological diversity based on the hierarchical structure of genes, individuals, and populations.
· Describe biodiversity from the perspectives of ecosystems, species, and genes.
· Explain the concept of evolution and distinguish between scientific understanding and common societal perceptions.
· Consider the question, What is the environment for an organism? and explain the mechanisms by which organisms adapt to their environment.
· Explain how individual organisms interact with other organisms in their ecosystem.
· Explain the evolutionary significance of sex and its biological background.
· Understand the impact of biodiversity changes on the global environment and evaluate ecosystem conservation methods from a scientific perspective.
【Learning activities outside of classroom】
Before and after each class session, students are expected to review the provided handouts. Additionally, students must complete all assigned coursework. On average, students should plan to spend approximately two hours per class meeting on preparation and review.
【Grading Criteria /Policy】
Final grades will be determined based on the following components:
· Reaction papers (25%)
· Homework quizzes (25%)
· Term-end examination (50%)
In-class participation and contributions may also be considered in the final evaluation.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物質科学と先端技術

尾池　秀章

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物質科学は自然現象を明らかにするだけでなく，先端技術の開発基盤となる学問である。身のまわりの物質が，環境問題，エネルギー問題，社会生活にどのように関わっているかを意識しながら，その性質について概説する。理系学生の一般教養レベルとして知っておくべき事項および考え方を身につける。

【到達目標】
物質の構成要素を理解する。物質の様々な機能の発現機構を理解する。社会生活に物質科学がどのように応用されているかを理解する。また環境問題，エネルギー問題に対して，物質科学の観点から自身の考えをもてるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
具体的なテーマとして「空気」「オゾン層」「温暖化」「エネルギー」「水」「酸性雨」「原子力」「次世代エネルギー」「高分子材料」をとりあげ，配布するオンライン資料に沿って概説する。またテーマごとに内容の理解度をはかり自身の考えを問う課題を課す。なお，基本的には授業計画に沿って進めるが，授業進度等により適宜変更することがある。また課題等に対しては，必要に応じて学習支援システムまたは授業時にフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション，および 空気と物質科学	最初に授業の進め方について説明する。「空気と物質科学」では，空気の組成などを例にとりながら，物質のもととなる，元素，化合物に対する理解を深める。
第2回	空気と物質科学	第１回に引き続き，「空気と物質科学」をテーマに，大気汚染物質とはどのようなものかについても概説する。
第3回	オゾン層における物質科学	オゾンによる紫外線の遮蔽などを考えることによって，光のエネルギーが物質に与える影響について理解を深める。またオゾンの破壊にどのような物質が関わっているかについても考える。
第4回	地球温暖化に関わる物質	二酸化炭素の増大は地球を温暖化させると言われている。二酸化炭素のもつ温室効果ガスとしての働きを通して，分子の基底状態と励起状態を知る。また炭素の循環を考え，質量や物質量の概念についても概説する。
第5回	エネルギーと物質	人間社会の営みは，エネルギーの生産と消費という視点でもとらえることができる。エネルギーの変換を熱力学的な観点および分子レベルでの変化で考える。また石炭，石油といったエネルギー源について概説する。
第6回	水と物質科学	水は地球上で最も重要な物質であると言える。水は様々な物質を溶かすが，この溶解という事象を物質科学的な観点から理解する。また飲料水として利用するための浄水技術，海水の淡水化技術などについて概説する。
第7回	酸性雨に関わる物質	酸性雨の原因，影響を考えることで，酸・塩基について再確認する。また大気汚染物質とそれらの浄化に向けた技術，あるいは施策などについて概説する。
第8回	原子力と物質科学１	核分裂で電力が生まれる仕組みについて理解することは重要である。ここでは原子力発電で生成する放射性廃棄物の取り扱いも含めて概説する。
第9回	原子力と物質科学２	原子力については社会的な課題と絡まった複雑な部分もある。ここでは，科学者としての立場から問題をどうとらえるかについて考える。
第10回	次世代エネルギーと物質科学１	燃料の燃焼によるエネルギー生産は，資源的，環境的課題を含んでいる。一方，化学的エネルギーを電気的エネルギーに変換するシステムである電池は次世代エネルギーとして発展する可能性をもつ。ここでは電池一般について概説する。
第11回	次世代エネルギーと物質科学２	次世代エネルギーとして期待されている燃料電池，太陽電池について概説する。
第12回	高分子材料の構造と機能１	プラスチックスに代表される高分子材料は，人類の生活に欠かせないものとなっている。ここでは，プラスチックスやゴム，繊維といった身近にある高分子材料について概説する。
第13回	高分子材料の構造と機能２	高分子は，小さな分子が多数連結してできているものであるが，その合成法の分類や特徴について概説する。
第14回	まとめと意見紹介	各テーマの課題で回答してもらった各自の意見を紹介して全体を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業において各テーマに関する資料をオンライン配布するので，それについて個人で調べたり考えたりしておくこと。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。オンライン資料を配付する。

【参考書】
実感する化学（上下巻）：廣瀬千秋（翻訳），エヌ・ティー・エス
また，必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（25％）
内容の理解度をはかり自身の考え方を問う課題（各授業ごとにオンライン課題にて行う）（75％）

【学生の意見等からの気づき】
資料の見やすさについて引き続き改善する。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Material science is powerful tool to develop advanced technologies as well as to understand the nature of life. In this lecture, how materials play a critical role in a human life including the world's environmental and energy matters is discussed. Not only for the students in chemistry course but also for the students who are not major in chemistry, the series of lectures show the typical topics of material science.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
・To understand classification of matter and basic chemical and physical properties of matter.
・To understand how material science contributes to our life and society.
・To express own opinions concerning various environmental problems.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process: quizzes for each topic (75%) and in-class contribution (25%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級コミュニケーション

長谷川　秀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、語彙力・文法力、構文などを確認しながら4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目指す。ニュース英語を使いながら、グローバル社会における英語の役割を考え、将来の技術者・研究者に必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、高度な英語運用能力の習得を目指していく。学生の積極的な参加が大事となる。

【到達目標】
この授業では各トピックに関する語彙を確認しながら各自が自分の意見や考えを英語で表現できるようにしていく。グループワークやミニプレセンテーションを通じて練習をしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
There will be many pair and group activities in class to practice conversing and discussing in English. Students will also make mini presentations almost every week. Students are askes to express their opinions and thoughts in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	How to use the textbook. Things we do in class.
第2回	Unit 1 The Challenging of Teaching English amid Coronavirus (1)	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第3回	The Challenging of Teaching English amid Coronavirus (2)	News Story Review the Key Expressions Discussion
第4回	Unit 3 A Bitter Taste for Healthy Fish (1)	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第5回	A Bitter Taste for Healthy Fish (1)	Mini presentation News Story Review the Key Expressions Discussion
第6回	Unit 4 Robots Luring Diners Back (1)	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第7回	Robots Luring Diners Back (2)	Mini presentation News Story Review the Key Expressions Discussion
第8回	Robots Luring Diners Back (1)	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第9回	Robots Luring Diners Back (2)	Mini presentation News Story Review the Key Expressions Discussion
第10回	Teaching About Black Lives Matter(1)	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第11回	Teaching About Black Lives Matter(2)	Mini presentation News Story Review the Key Expressions Discussion
第12回	Space Development	Mini presentation Group work Before You Watch, Watch the News, Understand the News
第13回	Presentation Exam (1)	Select one Unit and present your opinion
第14回	Presentation Exam (2)	Select one Unit andpresent your opinion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業で出される課題や教科書の準備と終わったところの確認をしてくる。教科書の問題やグループワークやミニプレゼンの用意をし授業参加をすること。

【テキスト（教科書）】
NHK NEWSLINE 5 (purple one)
Tatsuro Yamazaki, Stella M. Yamazaki (2022) KINSEIDO
ISBN978-4-7647-4144-7

【参考書】
Students should bring a dictionary to class every week.

【成績評価の方法と基準】
課題、ミニプレゼンテーション　　50%
期末試験（プレゼンテーション、スクリプト）50%

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
Students who wish to attain a high grade and be more successful in expressing themselves in English should come to class every week. Students who have five or more unexcused absences will probably fail the course. Students who miss the scheduled midterm evaluation should have a good excuse for their absence. The evaluation will be rescheduled. Students who miss the final exam must present a certified excuse to the office as quickly as possible. In that case, the instructor and student will agree to reschedule or another alternative manner of evaluating the student's progress in the course.

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course is intended for students who already feel fairly comfortable talking about everyday situations in English and want to be able to express themselves with more depth and precision. We aim to improve not only the 4 skills, but also vocabularies, grammar and sentence structures.
[Learning Objectives]
Students will learn to discuss topics of general interest with an emphasis on expressing themselves. They will become more comfortable making short individual or group presentations in class. They will learn vocabularies related to the topics covered.
[Learning Activities Outside the Classroom]

Students should expect to do homework every week to prepare for the activities in class. Most often this will consist of making notes for group discussions or presentations so that students are ready to participate.
[Grading]
Evaluation criteria is as follows;
Mini presentation 50%and assignment 50%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級コミュニケーション

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
Students will develop their English communication skills through discussion and presentation.
Students will improve their spoken English and will be able to express their opinions in informal class discussions and shirt presentations.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete reading comprehension activities from the textbook and discuss the topics they introduce with partners and as a class. Students will respond to discussion questions in short essay form as homework. There will be a short end of semester exam essay to be written in class. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com . Emma Sensei will post corrections, comments and feedback for homework assignments on Hoppii, and for more specific feedback students can contact the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction and explanation	Get to know your teacher and each other. Learn what is expected of you in class.
2	Unit 1 - What kind of person do you respect?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
3	Unit 2 Are you ready for your first job interview?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
4	Unit 4 Are you afraid of the future?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
5	Unit 5 What will happen to the global economy?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
6	Unit 6 Have you every been guilty of telling a white lie?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
7	Unit 8 Hobby, Habit, or addiction?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
8	Midterm Class discussion	which topics did you enjoy the most, and why? Which topics did you enjoy the least and why? Do you disagree with any of the attitudes and opinions presented in the textbook?
9	Unit 9 Can money buy happiness?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
10	Unit 10 - Is it positive or negative peer pressure?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
11	Unit 11 Do you vote?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
12	Unit 12 Are you an easy or difficult person to get along with?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
13	Unit 13 Can you live without your cellphone?	Reading, reading comprehension exercise, dictation exercise, partner discussion, class discussion. HOMEWORK - Mini essay
14	Final assessment: Mini essay to be written in class	Respond to an essay question in class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework, revising material from previous lessons and preparing for upcoming lessons. Homework will involve writing assignments based on class topics. Homework submitted late will receive partial credit.

【テキスト（教科書）】
マイケル・シェルマン、岩本典子、吉田宏予『REFLECTIONS:Talking about Things That Matter 話題別に学ぶ英語表現術』（南雲堂、2011）

【参考書】
Check Hoppii for Emma's supplemental essay writing guides and additional resources.

【成績評価の方法と基準】
The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
End of Semester test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
None.

【学生が準備すべき機器他】
None.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness. This course aims to help students develop their spoken and written English skills through discussion and writing exercises. Using the textbook as a starting point for class discussion and homework writing exercises, we will aim to improve students fluency, accuracy and confidence. The class encourages active learning and class discussion. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級コミュニケーション

KOPROWSKI MARK

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course students should be able:
1) To use the discussion skills and vocabulary learned in this course to participate in discussions on both general and academic topics in multicultural settings.
2) To develop the ability to listen actively, such as using English backchannels in conversation, asking relevant follow-up questions, as well as clarifying for meaning when something is not understood.
3) To develop discussion skills like asking on-topic questions, giving extended answers, and paraphrasing group members' utterances.
4) To use basic common vocabulary and expressions in discussions as well as learn and use new academic words and phrases.
5) To increase their fluency by practicing speaking in groups in English only for a limited time on a variety of easy topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Developing pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use common discussion phases and expressions in order to have more natural and fluent conversations. Pair work and group work will emphasized.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction and explanation	Get to know your teacher and each other. Learn what is expected of you in class.
2	Lesson 1	Introduction to Discussion and Communication Skills
3	Lesson 2	Lesson 2 Reading Quiz Reading: The Importance of Communication Discussion Skill 1: Opinions
4	Lesson 3	Lesson 3 Reading Quiz Reading: Entering University Discussion Skill 2: Supporting Opinions
5	Lesson 4	Lesson 4 Reading Quiz Reading: Life at University Discussion Skill 2: Follow-up Questions
6	Lesson 5	Lesson 5 Reading Quiz Reading: Becoming Independent Communication Skill 1: Comprehension
7	Lesson 6	Lesson 6 Reading Quiz Reading: Living Abroad Discussion Skill 4: Connecting Ideas
8	MID-TERM EXAMINATION (speaking test)	Lessons 1, 2, 3, 4, 5, 6 10-15 minute speaking test (in small groups)
9	Lesson 7	Lesson 7 Reading Quiz Reading: The Globalization of Japanese Culture Discussion Skill 5: Joining a Discussion
10	Lesson 8	Lesson 8 Reading Quiz Reading: Japanese and Foreign Customs Discussion Skill 6: Changing Topics
11	Lesson 9	Lesson 9 Reading Quiz Reading: Learning a Foreign Language Communication Skill 2: Paraphrasing
12	Lesson 10	Lesson 10 Reading Quiz Reading: Entering the Workforce Discussion Skill 7: Different Viewpoints
13	Lesson 11	Lesson 11 Reading Quiz Reading: Social Media Discussion Skill B: Balancing Opinions
14	FINAL EXAMINATION: (speaking test)	Lessons 7, 8, 9, 10, 11 10-15 minute speaking test (in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students will be responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time and late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
What Does Everyone Think? Interactive Skills for Effective Discussion (Asahi Press, DTP Publishing, 2025, ISBN 9784255157436)

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 25%
Reading Quizzes (10): 25%
Mid-term examination (speaking test): 25%
Final examination (speaking test): 25%

【学生の意見等からの気づき】
None.

【学生が準備すべき機器他】
None.

【その他の重要事項】
Students are expected to have the textbook by the second week of class and bring it to class every week. Students should consider the board as an extension of their textbook. As a result, they should take notes on everything the teacher writes on it.

【Outline (in English)】
This course aims to improve each student's speaking fluency and ability to effectively communicate in English through the discussion of a variety of general and academic topics.
Students will also learn and use common discussion phrases and expressions in order to have more natural and fluent conversations. Pair work and group work will emphasized.
Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級リーディング

長谷川　秀子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
この授業では、専門的で学術的な文章を読む時に必要な基本的な語彙力、文法力、構文などを確認しながら、リーディング力の向上を図る。語彙については単に暗記するだけでなく、文脈や文構造を理解する力を鍛える。また文の内容を正確に把握し、文章全体を簡潔に要約できる読解力の養成を目指す。トピックは現代社会における国内外の社会、仕事と余暇、環境、ビジネスと経済などを扱い、グローバル社会において世の中の情勢を理解し、意見を表現できることを目標とする。また、後半部では日本、英語圏の言語、社会、文化の繋がりを論文を読んで考えていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや課題からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行い、授業内で確認していく。このクラスの教科書は Introduction, Words in context, Reading, Comprehension 1&2,Vocabulary, Listening 1&2, Your opinion とあり予習が必要な部分と授業で行うところがある。読むことだけではなく、聞くこと、書くこと、話すことも行う。トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。
授業形態や成績評価の方法が変更する場合は、学習支援システムにて予定を提示するので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進めかた、テキストの使い方等の説明。
第2回	Unit 1	Mini Presentation Smart Phones Deserve Smart Users
第3回	Unit 2	The Animals in Our Lives
第4回	Unit 3	Mini Presentation Reforming Japan's Education System
第5回	Unit 4	A Hungry Future
第6回	Unit 5	Mini Presentation No More Unwelcome Advertisements
第7回	Unit 6	A Living Wage
第8回	Unit 7	Mini presentation Keeping Mothers on the Payroll
第9回	Unit 8	Slow Life
第10回	Unit 9	Mini Presentation Volunteering
第11回	The Japanese Mind (1)	Ambiguous
第12回	The Japanese Mind (2)	Sience
第13回	The Japanese Mind (3)	Bigaku
第14回	Term Exam	Unit 1-10の範囲

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間程度を標準とする】授業の前にテキストの本文を読んでくる。新しい語句の確認をし簡単な要約ができるようにしておく。オリエンテーションで詳細を説明。

【テキスト（教科書）】
未来へ続く道
What's Going On in the World?　David Peaty, Kahori Kobayashi（2017）
SEIBIDO 1900円（税別）　ISBN978-4-7919-6027-9

【参考書】
授業中に紹介の予定。
The Japanese Mind (Tuttle) Roger Davis, Osamu Ikeno

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】ミニプレゼンテーション、小テスト、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
教員との連絡方法はオリエンテーションで連絡予定。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
—
Goals :In this class, we train skills like vocabularies, grammar, sentence structures that are necessary to understand technical and academic materials. We will also practice to understand the content accurately and summarize effectively. The topics of the readings will vary from domestic and international affairs, work and leisure, environment, business and economy.
–
Work outside of class: Read the textbook, check the new vocabularies, and summarize.
——
Grading: Assignment mini presentation 50%,Term exam 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級リーディング

柳川　浩三

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際問題についての幅広い理解を英文の読解を通じて滋養する。

【到達目標】
1.英語のペーパーバックを原書で読める。
2. 国際問題について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
輪読およびペア・グループ学習
授業中の言語使用は、日本語8割、英語2割の予定である。受講者の志向にもよる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	授業の方針説明
2	動画（国連演説等）の視聴	背景理解
3	Chapter 1	輪読
4	Chapter 2	輪読
5	Chapter 3	輪読
6	Chapter 4	輪読
7	Chapter 5	輪読
8	発表	presentation
9	発表	presentation
10	Chaptrer 6	輪読
11	Chapter:Conclusion	輪読
12	Review	輪読
13	Consolidation	discussion
14	Consolidation	discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】reading assignmentが毎週出される。

【テキスト（教科書）】
The hundred years' war on Palestine

【参考書】
The Iron wall (Avid Shlaime)

【成績評価の方法と基準】
1.輪読(50%)
2.発表 (25%)
3.Discussionと貢献 (２５%)

【学生の意見等からの気づき】
精読の重要性を再認識した。

【その他の重要事項】
事前に予習が求められる。

【Outline (in English)】
This class aims to improve reading proficiency of the participants and foster different perspectives of current affaris. Hopefully, the particiants will be able to read their favorite paper books in English and have a better understanding of current global issues. They are expected to read particular chapters of the textbook beforehand. The grading is determined by the achievements of reading assignments, presetations, and discussions with the ratio of 50&, 25%m and 25%, respectively.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級リーディング

梨本　邦直

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
言葉に関するトピックから中級レベルの精読をする。文の論理構成を理解し、中級のアカデミックな語彙を増やすことを目的とする。言語と言語学の話題に興味が広がることが期待される。

【到達目標】
中級語彙についてアカデミックな語彙を中心に英語でやさしく言い換え、意味の分かる語彙を増やすだけでなく、文脈での使い方を学ぶことができる。また、言語と言語学について、14のテーマから理解を深め、なぜ外国語を学ぶ必要があるのか理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎週、課題のテクストを紙で配布する。予習として語彙ノートを作成し、音読をする。授業では音読をしてもらって発音を確認した後、新規語彙の確認、その使用法を学び、さらにパラグラフの要点、エッセイの構成を理解する。語彙増強に復習はもっとも重要である。次回の授業で簡単な確認テストを実施し、その場でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Guidance
2	1 Why language?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
3	2 How many languages?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
4	3 What was the original language?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
5	4 Do all languages come from the same source?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
6	5 Do animals use language?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
7	Mid-Semester Test	Mid-Semester Test with read-aloud exercises
8	6 Language and Thought	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
9	7 English Origin	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
10	8 Why Russian?	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
11	9 Arabic languages	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
12	10 Learning Chinese	Intensive Reading, thematic discussions, and vocabulary building sessions
13	Review	Academic vocabulary review
14	Final Examination	Final Examination with read-aloud exercises

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配布されたテクストの予習に音読を含め２時間、授業後の復習に語彙リストを編集し、再度音読するのに２時間必要である。

【テキスト（教科書）】
毎週配布します。

【参考書】
紙の辞書、または電子辞書

【成績評価の方法と基準】
課題: 20%
中間テスト: 40%
期末テスト: 40%

【学生の意見等からの気づき】
新しく担当する授業につきなし。

【学生が準備すべき機器他】
紙の辞書、または電子辞書を持参する。

【その他の重要事項】
授業中のパソコン、スマホ使用は単語の検索であっても認めない。言葉は死んだ情報ではなく、音とともに生きている。語彙を増やすには、音と綴りのイメージを文脈の中で脳に定着させる必要がある。視覚とキーボードだけに頼らないアナログ的学習法がもっとも効果的であることを理解してほしい。

【Outline (in English)】
This course is an intermediate English Reading course focusing on the topics of languages and linguistics. In addition to reading skills, other skills such as vocabulary building, writing skills and discussion skills will be also taken care of.
By the end of the course, students should be able to understand paragraph and essay structures and to increase students' academic vocabulary by taking interest in linguistic issues.
Before each class meeting, students will be expected to spend two hours to prepare for the course content, and another two hours to review the course materials.
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Assignments: 20%
Mid-Semester Test: 40%
Final Examination: 40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

ビジネス英語

小林　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ビジネスの現場における英語の会話を練習し、コミュニケーション能力を高める授業とする。また、経済、社会に関する英文を読む機会を設け、ビジネスに関する理解を深める。

【到達目標】
英語での会話に堪能になり、経済、社会に関する英文を自由に読みこなすことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
最初はリスニングを通じて、様々な局面での英語の表現を覚える。後に受講生自らが、英語で表現をする授業とする。また新聞、雑誌などの記事を通じて経済、社会についての英文に親しむ。リスニングについては、最後の授業まで、受講生一人一人の理解を確認します。聞き取れなかった等のことがあれば、こちらから答えを示してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方と評価方法の説明。
第2回	Unit 1: Writing a Resume	リスニングの練習。
第3回	Unit 2: Writing an Applicaton Letter	リスニングの練習。
第4回	Unit 3: Arranging an Interview Unit 4: A Job Interview	リスニングの練習。
第5回	Unit 5: Job Offer Unit 6: The First Dat Work	リスニングの練習。
第6回	Unit 7: Preparing to Work Unit 8: Telephonong	会話の練習。
第7回	Unit 9: Taking a Message Unit 10: Making an Appointment	会話の練習。
第8回	Unit 11: Visiting a Client Unit 12: Receiving a Visitor	会話の練習。
第9回	Unit 13: Meeting at Narita Airport Unit 14: A Business Lunch	会話の練習。
第10回	Unit 15: Visiting a Factory Unit 16: Sightseeing in Kyoto	会話の練習、英文タイプの練習など。
第11回	Unit 17: Preparing for the First Overseas Business Trip uni18: The First Overseas Business Trip	会話の練習、英文の手紙を読む。
第12回	所定教科書以外の英文	経済、社会についての英文を読む。
第13回	所定教科書以外の英文	経済、社会についての英文を読む。
第14回	所定教科書以外の英文	経済、社会についての英文を読む。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】必ず復習をすること。また、リスニングを意欲的に行うこと。

【テキスト（教科書）】
Business Talk　やさしいオフィス英語　（城由紀子ほか著　成美堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】学期末のレポート(50%)、出席・授業内での課題への取り組みをもとにした平常点（50%)により評価する、

【学生の意見等からの気づき】
リスニング、会話の練習を頑張っていきましょう。

【その他の重要事項】
授業計画はあくまでも予定です。受講生の理解度に応じて、授業内容が変わることもあります。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The aim of this course is to help students acquire the ability of business English.
[Learning Objectives]
At the end of this course, students are expected to acquire higher English conversation ability in business scenes, express their knowledge of business world in English.
[Learning Activities outside of the Classroom]
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the class content.
[Grading Criteria]
Your overall grade in the class will be decided on the following: term-end report 80%and in-class contribution 20%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

小林　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEICの形式になれる学習を通じて、基礎的な英語力を身につけることを目標とする。また、受講生の理解力を養うため、様々な英文を、リスニングによって理解する機会を多く設ける。

【到達目標】
簡単な英語の文章なら、すべて音声を聞いて書き取ることが出来る英語力を身につけること。また、読解用の英文の音声を聞いて、ある程度の内容を理解できる英語力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本講義は、TOEICでの高得点を目指すための授業を通じて、基礎的な文法を確認し、日常会話の中で使われる語彙を身につけ、リスニング能力を高めるための授業とする。また、読解向けの英文の音声を聞いて、音声のみで内容を理解する練習を行う。オンラインで授業を進めまる場合、リスニングの課題の提出を課し、フィードバックを行うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方と、評価方法の説明
第2回	Unit 1: Travel	TOEICの概要
第3回	Unit 2: Dining Out	リスニングの練習など。
第4回	Unit 3: Media	リスニングの練習など。
第5回	Unit 4: Entertainment	語彙の習得など。
第6回	Unit 5: Purchasing	語彙の習得など。
第7回	Unit 6: Clients	文法の確認など。
第8回	Unit 7: Recruiting	リスニングの練習など。
第9回	Unit 8: Personnel	リスニングの練習など。
第10回	Unit 9: Advertising	リスニングの練習、語彙の習得など。
第11回	Unit 10: Meetings	リスニングの練習、語彙の習得など。
第12回	Unit 11: Finance	リスニングの練習、語彙の習得など。
第13回	Unit 12: Offices	リスニングの練習、語彙の習得など。
第14回	期末テスト	英文の書き取り、長文の聞き取り。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】復習を欠かさないこと。また、リスニングを意欲的に行うこと。

【テキスト（教科書）】
THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING（金星堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】点数(50%)、出席・授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(50%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
TOEICと英語の基礎を学べるように授業を進められたらと思います。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The aim of this course is to help students acquire basic English ability by practicing the listening section of TOEIC.
[Learning Objectives]
At the end of this course, the students are expected to improve their ability of comprehension by listening to various English sentences.
[Learning Activities outside of the Classroom]
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the class content.
[Grading Criteria]
Your overall grade in the class will be decided on the following: term-end examination 80%and in-class contribution 20%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

染谷　昌弘

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語での基本を身に付けるコースです。基本と言っても文法からやり直すことはありません。テキストのトピックについて、簡単なモデルリーディングを行い。トピックついて、グループで話し合い、自分の意見を整理して、英語でまとめるという内容です。毎回穴埋め問題や、自分の意見を述べるような簡単な小テストを実施して定着を図ります。また、総まとめの期末テストも実施します。

【到達目標】
・平易な英文を短時間で理解し正確にまとめることができる。
・他の学生とトピックについて話し合い違う意見を取り込むことができる。
・最後に自分の意見を英語で簡潔に表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
このクラスは与えられたトピックについて簡単な英語のパッセージを短時間にそして正確に把握してまとめ、さらに、そのトピックの自分の意見を英語で簡潔に述べることを目指します。また、いくつかのテーマにそってクラス・ディスカッションを行います。毎回テキスト内のいくつかの意見を述べる英語の設問の回答をを作成して提出します。次週では提出課題の解説及び前回の内容の小テストを実施して、定着を図ります。また、期末テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、課題の提出の仕方、評価方法などを解説する。
第2回	The Beauty of the Seasons	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第3回	The History of the Hamburger	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第4回	How the Internet Evolved	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第5回	Liquid Candy	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第6回	Travel in Japan	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第7回	THe Secret of Happiness	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第8回	Shopping on the Internet	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第9回	Do Aliens and UFOs Exist?	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第10回	THe Happiest Country in the World	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第11回	Secondhand Smoke	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第12回	Plastic Surgery	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第13回	What Colors Tell About You	Reading, Discussion, Express one's idea in English
第14回	Final Exam	Quize and Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues. And the proof of Critical Thinking,Class Discussion in the form of notes should be submitted in class.

【テキスト（教科書）】
Life Topics A critical Thinking Approach to English Proficiency
島岡丘、ジョナサン・バーマン
南雲堂
2012
2310円

【参考書】
Dictionary

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Particitation in Group Discussion(20%). Submission (20%). Quiz (20%). Final Exam(40%)

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム Web Class を使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に、授業履修に関しての注意事項を説明します。必ず参加すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業に忘れずに持参すること。この教科書は、一般の本屋さんやアマゾンなどでは購入できませんので、必ず大学で購入して下さい。

【Outline (in English)】
Outline
This course introduces students to learn how to express one's own idea consicely. In order to do this, students should communicate with each other and complete one's idea in good English sentences. Students will be thinking about a different theme topic each week.At the end of each half semester students will take a simple and moderate volume of exam.
【到達目標】Goal
The goals of this course are to be able to read simple English fast and discuss in English on a variety of life topics. And at the end of the course, students are expected to be able to express thier own idea
concisely.
【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】Work to be done outside of class (preparation, etc.)
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues.
成績評価の方法と基準】Grading criteria
Your overall grade in the class will be decided based on the following:Particitation in Group Discussion(20%). Submission (20%). Quiz (20%). Final Exam(40%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

島田　顕

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語の基礎力をあげることを目標とする。基礎文法を徹底的に復習し、文法上の疑問点・問題点を解消する。練習問題で繰り返し反復し、基本的な表現と単語、熟語を押さえ、実践的な習得を目指す。

【到達目標】
英語の基礎力をあげることを目標とする。基礎力をあげるためにはまず、英語の文献によく触れ、読みこなさなければならない。本授業では、テキストを読み、訳し、内容を把握し、使われる表現から基礎語彙と熟語の復習を行う。基礎英文法を徹底的に復習し、練習問題で文法上の問題点を解消する。サブテキスト（リーディング）テキストを用いる（プリントで配布する）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業は，中学校・高等学校で学んだ英語の基礎固めをすることを目的とする。具体的には，基礎文法・語法の確認と定着，基礎語彙・熟語の復習と正確な綴りの確認，発音の向上と文強勢リズムの体得，ひとつの意味の塊で句切ることによって音読しながら意味を同時に掌握する練習などを行う。また，今までの学習の中での疑問
点，不確かな事項を解消させる。さらに異文化及び自国の文化の理解を深め，自主的な英語学習の動機につなげていく。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Unit 10 未来形	Unit 1 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Unit 13 比較	Unit 2 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Unit 3 過去形	Unit 3 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Unit 15 不定詞	Unit 4 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Unit 16 動名詞	Unit 5 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	Unit 17 接続詞	Unit 6 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第8回	Unit 18 受動態	Unit 7 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Unit 20 形容詞節	Unit 8 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Unit 21 仮定法	Unit 9 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Unit 23 名詞節	Unit 10 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Unit 24，25，26 現在完了、過去完了、未来完了	Unit 11 テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめｏｒ予備日	まとめ その他
第14回	試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、EXERCISES等の問題は全員にあてる。予習は訳をノートに書いてくることが望ましい。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。

【テキスト（教科書）】
テキスト：『Ｇｒａｍｍａｒ　Ｐｌｕｓ』（南雲堂）。
サブ・テキスト：プリント配布テキスト。

【参考書】
文法参考書：豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
受講生のレベルにより，授業の進み方を速くし，小テスト，提出物の回数を増やす。尚、今年度は要望が高いUnit（形容詞、比較、副詞節、不定詞、動名詞、接続詞、受動態、形容詞節、副詞節、仮定法、名詞節、完了形をやる。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
We aim to raise the basic strength of English.　In order to raise fundamental skills, we must read, translate, grasp contents of texts and review the basic vocabulary and idioms from the expression used in the text.　We also have to review basic English grammar thoroughly and eliminate grammatical problems using practice questions.
[Learning activities outside of the classroom]
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
[Learning Objectives]

The goal is to improve students' basic skills of English. In order to improve your basic skills, you must first familiarize yourself with and read English literature. In this class, you will read the text, translate it, understand the content, and review the basic vocabulary and idioms from the expressions used. Thoroughly review basic English grammar and solve grammar problems with exercises. Use subtext (reading) text (distribute by print).
[Grading Criteria]
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

井上　敏郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、いわゆる4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）の中で、リーディングとリスニングを中心に英語の基礎力を高めることを目標とする。さらに広汎な英語に触れることも行う。なお、この授業はオンライン（zoom）授業となる。

【到達目標】
・基本的な語彙・文法事項の把握を通じて、英語をより正確に読解できるようになる。
・単語の発音の確認やディクテーションを通じて、リスニング能力を高める。
・学んだ文法事項を用いて作文をすることで、短い英文をより正確に書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
1回の授業で配布プリントの内容を中心に授業を行う。質問をして、それに答えるというパターンを多用する。また、パズル等を使用して、多様な英語文化に接することを心掛ける。
授業内外での質問は積極的に授業に反映させる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方や成績評価の方法についての説明
2	文法事項確認	文法問題を解いて、それにレスポンスする。
3	文法事項確認	文法問題を解いて、それにレスポンスする。
4	100字程度の英文を読む	テキスト本文の内容の把握と簡潔なまとめを英文で書く。
5	100字程度の英文を読む	テキスト本文の音読と内テキスト本文の内容の把握と簡潔なまとめを英文で書く。
6	短い文のリスニングを行う	テキスト本文の音読と内容の把握 設問の解答の確認 その他エクササイズ（ディクテーション、音読、作文など）
7	短い文のリスニングを行う	テキスト本文の音読と内容の把握 設問の解答の確認 その他エクササイズ（ディクテーション、音読、作文など）
8	300字程度の英文を読む	テキスト本文の内容の把握と簡潔なまとめを英文で書く。
9	300字程度の英文を読む	テキスト本文の内容の把握と簡潔なまとめを英文で書く。
10	会話を聞いて、それにレスポンスをする	ディクテイションと発音の練習をする。 レスポンスの表現を増やす。
11	会話を聞いて、それにレスポンスをする	ディクテイションと発音の練習をする。 レスポンスの表現を増やす。
12	より長い文を読む	内容理解の方法を確認する。
13	より長い文を読む	テ内容理解の方法を確認する。
14	まとめと期末試験	授業内容の振り返りと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・この授業では授業の積極的参加を第一としますが、各授業で課題を出しますので、それを時間外学習の一つとします。
・それと、世に溢れている「英語」に日々注意を向けるという姿勢も大事です。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験　70%
小テスト　20%
授業参加　10%

＊正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、不可とします。
＊30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】
学生の発言について、できるだけ個別にフィードバックできるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
授業中は、かならずきちんとした辞書を持参してください。

【Outline (in English)】
This basic English course is designed to improve the basic skills in reading, writing, listening, speaking, through various activities such as reading the textbook, composition of short sentences, listening comprehension and dictation, and conversation exercise in pairs.This class is performed online.
Preparation is crucial in language learning. The students are required to understand the meaning of every word as well as the grammatical structure of every sentence. A quiz is given every week to help build the vocabulary.
The final grade will be calculated based on the final exam (70%), quizzes (20%), and class participation (10%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

ギユモ　セレスト

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
これまでの授業で学んだ文法や語彙を復習・応用しながら、その理解をさらに深めることを目的とした授業である。さまざまな授業内活動を通じて、言語知識を発展させ、実際に活用できる力を養う。また、言語能力だけでなく、コミュニケーション能力や批判的思考能力の向上も目指す。

【到達目標】
主な目標は以下の通りである：
- これまでに学んだ文法や語彙を応用し、有効に活用できること
- 英語の4技能（読む・書く・話す・聞く）をバランスよく伸ばすこと
- 英語で効率よく、効果的にコミュニケーションできるようになること
- 英語の短い文章やビデオの内容を理解できるようになること
- 批判的に考える力を身につけること
- グループワークに積極的に取り組むこと

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
英語コミュニケーションに必要な「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく習得することを目指し、学生主体の授業を行う。具体的には、学生の積極的な参加を促し、グループディスカッションやディベート、発表などの授業内活動に積極的に取り組んでもらう。
提出された課題やテストは採点後にフィードバックを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Class orientation Learning goals Presentation Discussion
第2回	Unit 1 - 2	- The World of Advertising - Online Advertising: Making our Lives Better?
第3回	Unit 1 - 2	- The World of Advertising - Online Advertising: Making our Lives Better?
第4回	Unit 3 - 4	- Going to Extremes - Winning at Any Cost
第5回	Unit 3 - 4	- Going to Extremes - Winning at Any Cost
第6回	Unit 5 - 6	- Our Aging population - Do You Want to Live Forever?
第7回	Unit 5 - 6	- Our Aging population - Do You Want to Live Forever?
第8回	Unit 7 - 8	- Robots in the Home - I Lost My Job to a Machine
第9回	Unit 7 - 8	- Robots in the Home - I Lost My Job to a Machine
第10回	Unit 9 - 10	- Animals: Our Research Partners? - Treatment of Animals
第11回	Unit 9 - 10	- Animals: Our Research Partners? - Treatment of Animals
第12回	Unit 11 - 12	- Online (Dis)Information - News: Fact or Fake?
第13回	Unit 11 - 12	- Online (Dis)Information - News: Fact or Fake?
第14回	Review Final Exam	Review, wrap-up, test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習（分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること）

【テキスト（教科書）】
Charles Browne, Brent Culligan, Joseph Phillips (2024) In Focus 1, Kinseido, 2,700円 + 税 、ISBN: 9784764741935

【参考書】
必要に応じて授業時に随時指示する。

【成績評価の方法と基準】
- 平常点　50％ (授業参加、課題提出、グループワーク)
- 期末試験　50％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
「Course Outline]
In this class, you will review and build on the grammar and vocabulary learned in previous lessons. Through various activities, you will deepen your understanding and develop your language skills further. In addition to improving your language ability, this class will also focus on enhancing your communication and critical thinking skills.
[Learning Objectives]
In this class, you will focus on improving the four English skills — reading, writing, speaking, and listening — while building your ability to think critically. You will actively participate in group work to enhance communication skills and learn to use grammar and vocabulary effectively. By the end of the course, you should be able to understand short English texts and videos and apply what you have learned in practical ways.
[Learning Activities outside of the Classroom]
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class.
[Grading Criteria]
Class participation 50%(In-class activites, homework), Final Exam 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

島田　顕

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC500点を目標にし、５０点から１００点のアップを目指し、試験対策に重点をおく。

【到達目標】
メイン・テキストでは、語彙力，文法力，リーディング力、リスニング力などの総合的な基礎英語力を養いながら、サブ・テキストでは、文法などの重点的な試験対策も行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，学生の英語目標レベルTOEIC400/500/600/700 点に応じたクラスを提供し，そこでTOEIC の問題傾向や特徴，効果的な解答のストラテジーやコツをつかみ，問題に慣れ，実践することによって５０点から１００点のスコアアップを目的とする。効果的にレベルアップを図るために，TOEIC対策だけでなく，基本となる英語力（語彙力，文法力，リーディング力，リスニング力等）を総合的に習得できるように授業を行う。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	Lesson 1,2 Outdoor Sports 前置詞、接続詞その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第3回	Lesson 3,4 Job Hunting 関係詞その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第4回	Lesson 5,6 At the Office 名詞、冠詞、否定その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第5回	Lesson 7,8 Working Conditions 過去時制、完了時制その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第6回	Lesson 9,10 Being Transferred 分詞、助動詞その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第7回	Lesson 11,12 Travel and Package Tours 現在時制、未来時制その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第8回	Lesson 13,14 Films 動詞、態その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第9回	Lesson 15,16 Computers and Internet 不定詞、動名詞その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第10回	Lesson 17,18 Advertisements 数詞、形容詞、副詞その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第11回	Lesson 19,20 The Economy and Banking 比較その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第12回	Lesson 21,22 Nature and Environment 代名詞、仮定法その他	テープを聞く テキスト本文音読 テキスト本文翻訳 Exercises その他
第13回	まとめor予備日	まとめ その他
第14回	授業内試験	試験 まとめ その他

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】　テキストの本文の訳、EXERCISES等の問題は全員にあてる。予習は訳をノートに書いてくることが望ましい。訳は他に頼らず、必ず自分の力で仕上げること。

【テキスト（教科書）】
メイン・テキスト『ＴＯＥＩＣ　Ｔｅｓｔ：Ｔｏ　ｔｈｅ　Ｐｏｉｎｔ　新ＴＯＥＩＣテスト：ポイント攻略』（南雲堂）
サブ・テキスト：『グラマー・プラス　ＧＲＡＭＭＡＲ　ＰＬＵＳ』（南雲堂）、プリント配布テキスト。

【参考書】
文法参考書：豊永彰『大学生のための英文法ビフォー＆アフター』（南雲堂）
その他の参考文献は授業中に提示する。また授業中にプリント資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
評価方法：期末試験、平常点、課題・宿題、小テスト
評価基準：平常点30％、課題・宿題10％、小テスト20％、期末試験40％
※評価方法、評価基準は一応の目安である（詳細は授業状況を見ながら、授業中に提示する）。

【学生の意見等からの気づき】
受講生のレベルにより，授業の進み方を速くし，小テスト，提出物の回数を増やす。尚、各回のLesson、Textは受講生のレベルにより、事前に告知したうえでその他のLesson（分子構文、接続詞、語形、形容詞節、副詞節、条件節、名詞節その他）、Textに変更する。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【Outline (in English)】
（Course outline）
We aim for 500 points from TOEIC test, aim for 100 points up from 50 points, focus on exam preparation. In this class, we have to cultivate overall comprehensive basic English ability such as vocabulary skills, grammatical skills, reading ability, listening skills, etc. We also must carry out emphasis examination measures on grammar and other important measures.
（Learning Objectives）
In the main text, you will develop comprehensive basic English skills such as vocabulary, grammar, reading, and listening skills, while in the sub text, you will also prepare for important exams such as grammar exams.
（Learning activities outside of classroom）
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] The translation of the text, EXERCISES, etc. are all addressed. Be sure to do the preparation. "Preparation" that only looks up words is not a preparation. Be sure to write the translation in your notebook. Be sure to finish it by yourself without relying on others. In principle, late arrivals are not allowed (late arrivals are considered absent). If you are absent four or more times in each semester, you will be disqualified from taking the final exam.
（Grading Criteria /Policy）
Evaluation method: Final exam, normal score, assignment /homework, quiz
Evaluation criteria: Normal score 30%, assignment /homework 10%, quiz 20%, final exam 40%
* The evaluation method and evaluation criteria are just a guide (details will be presented during class while observing the class situation).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

井上　敏郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEICテストの成績向上と共に、英語の実力も向上することを目指す。TOEICテストの7種類のパターンについて、それぞれその特徴とポイントを、実践的に行っていくつもりです。この授業はオンラインで行います。

【到達目標】
学生諸君の得意な分野と苦手な分野はそれぞれ違うでしょうが、今回はリスニングと文法を確実に向上させることを目的とするつもりです。具体的には、１００点のアップを目指しましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回TOEICの問題を使って、実際に問題に取り組みながら、その特徴や解くポイントを説明する。また、幾つかの問題は課題とする。次週に回収した解答を使って、具体的にフィードバックを行う。春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1回目	授業説明	聴きづらい音の確認、リスニングの
	リスニング　パート１	要点の確認
	リーディング　パート５	語感の説明
2回目	リスニング　パート１	問題の傾向の説明
	リーディング　パート５	語彙の傾向の説明
3回目	リスニング　パート１	選択肢の傾向の説明
	リーディング　パート５	
4回目	リスニング　パート２	話の流れを掴む練習を積む
	リーディング　パート６	
5回目	リスニング　パート２	わからない文章を前後から理解する
	リーディング　パート６	練習を積む
6回目	リスニング　パート２	語彙の確認
	リーディング　パート６	
7回目	リスニング　パート３	ポイントとなる単語やフレーズの把
	リーディング　パート７（１つの文書）	握の練習を積む
8回目	リスニング　パート３	理解の強弱をつける練習を積む
	リーディング　パート７（１つの文書）	
9回目	リスニング　パート３	リスニングのスピードに慣れる、
	リーディング　パート７（１つの文書）	読むスピードを上げる練習を積む
10回目	リスニング　パート４	何度か聞いたり、時間をかけて読み、
	リーディング　パート７（２つの文書）	文章の長さに慣れる練習を積む
11回目	リスニング　パート４	スピードを上げて、話の流れを掴む
	リーディング　パート７（２つの文書）	練習を積む
12回目	リスニング　パート４	実際のテストと同様のシステムでど
	リーディング　パート７（２つの文書）	のくらい理解できるかを確認する
13回目	リスニング　パート４	上と同様だが、それによって自分の
	リーディング　パート７（２つの文書）	長所、弱点を確認する
14回目	実際のテストに当たる（リスニング）	現在の自分の実力を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】TOEICテストに限らず、結局は問題への慣れが重要です。毎日とは言いませんが、出来るだけ多く自宅学習をやること。一番良いのは、TOEIC公式問題集です。図書館にあると思うので、借りてやってみてください。とにかく本一冊をやりきれば、どんな本でも意味があります。

【テキスト（教科書）】
授業で配布します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
毎回、問題を解きながらの授業なので、一応諸君の答案を集めて確認します。この授業の性格から、平常点重視にするつもりです。授業の積極的参加を重要視します（６０％）。最後に行う模擬テスト（４０％）と合わせて評価します。．具体的な方法と基準は，授業開始日に学習支援システムで提示する。
Our overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%. I will show you the details about Term-end examination with Hoppi.

【学生の意見等からの気づき】
ちょっと喋るテンポが速くなったり、またたまに正解の説明を忘れたりすることがあるようなので、今回はそうならないように気をつけます。

【その他の重要事項】
辞書は必ず持参して下さい。

【Outline (in English)】
I'll show you about the characteristics of TOEIC and how to solve the questions so that you can acquire the higher scores.
The goal of this course is to develop your listening and knowledge of grammar.
After each class meeting, students will be expected to solve the relevant subject(s) from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Our overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%.
This class meeting is performed on line.

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語 I

鈴木　淳子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法を習得する。

【到達目標】
ドイツ語の基本文法をしっかり身につけたうえで、簡単な読み書き、聞き取り、会話などができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の基本文法をポイントをおさえて体系的に学びながら、練習等をとおして実践力もつける。
オンライン授業が実施されるなど、授業計画・方法が変更される場合は、学習支援システムでその都度提示する。
授業の最初に前回の課題の解答を示し、解説を行って、それを総括的なフィードバックとする。オンライン授業の場合は、学習支援システムを通じて個々の学生にアドバイスも行う。春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	アルファベート、発音	P.1-3 補助プリント
2回目	挨拶表現、主語になる人称代名詞、規則動詞の現在人称変化	L.0&1 (P.4-6)
3回目	数詞(1)、不規則動詞の現在人称変化(1)	L.1 (P.5-8)
4回目	名詞の性、語順、数詞(2)	L.2 (P.9-12)
5回目	疑問文、否定文	L.2 (P.9-12)
6回目	定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形	L.3 (P.13-16)
7回目	並列の接続詞、数詞(3)	L.3 (P.13-16)
8回目	不定冠詞、所有冠詞	L.4 (P.17-20)
9回目	所有冠詞（続き）、否定冠詞	L.4 (P.17-20)
10回目	不規則動詞の現在人称変化(2)、名詞の3格、疑問代名詞	L.5 (P.21-24)
11回目	不規則動詞の現在人称変化(3)	L.5 (P.21-24)
12回目	人称代名詞1格・3格・4格	L.6 (P.25-28)
13回目	非人称主語・非人称動詞	L.6 (P.25-28)
14回目	総復習	L.1-6 (P.1-28)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
繰り返し復習し、音読することが望ましい。

【テキスト（教科書）】
秋田静男・江口陽子他著『イン・ドイチュラント』朝日出版社

【参考書】
必要に応じて講義中に紹介

【成績評価の方法と基準】
期末試験(70%)、平常点及び授業態度等(30%)を総合して評価。
オンライン授業の場合は、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始時に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の多くがドイツ及びドイツ語に強い関心を持っていることが分かった。その気持ちを汲みながら良質の授業を目指したい。

【Outline (in English)】
This course introduces students to the basic German language. It aims at helping students acquire and develop the necessary German language skills. The goal of this course is to be able to use German language properly. After each class meeting, students will be expected to review the last lesson. Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語 I

高橋　完治

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語に初めて触れる学生諸君を対象とする．日常のさまざまな場面との関連のもとに基礎的な文法事項を学び，語彙と表現を蓄積する．

【到達目標】
下記の文法事項に習熟し，短く平易なテクストの読み書きができる．明瞭でゆっくりした話し方なら，馴染みのある単語や基本的な言い回しを聞き取れる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
視覚教材を活用した語彙の導入とテクストの提示・解説の後，文法問題，インフォメーションギャップ，聞き取り，ひな型に沿った作文，平易なメールや広告から必要な情報を取り出すなど，さまざまな作業を展開する．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在人称変化（1）	ich, Sie, du の場合／Alphabet について
2	動詞の現在人称変化（2）	wir, ihr の場合／国名
3	自己紹介	自己紹介を読む・書く／専攻名／動詞の位置
4	sein の定形	1 人称と 2 人称の場合／ja, nein, doch の使い方／職業・国籍
5	並列の接続詞	und, aber, denn など／言語名
6	動詞の現在人称変化（3）	3 人称の場合／配偶関係・性格を言い表す／誘いのメールを読む・書く
7	名詞の性と冠詞	定冠詞と不定冠詞（1 格・4 格）／物を評価する
8	不規則変化動詞（1）	mögen, nehmen ／レストランでのやりとりを理解する
9	不規則変化動詞（2）	essen ／食習慣／計量の単位
10	名詞の複数形	複数形の 5 つの型／居住空間と家具
11	人称代名詞	1 格と 4 格／住まいの広告を読む
12	所有冠詞	1 格と 4 格／家族のことを語る
13	否定冠詞	1 格と 4 格／所有の有無についてやりとりする
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】授業の後，学習事項を振り返る．音声教材に繰り返し接し，発音の質や聞き取り能力の向上に努める．

【テキスト（教科書）】
新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！　1』（朝日出版社）

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
ビデオの活用と Sprachlernspiel の適宜投入は効果的だったようだ．

【Outline (in English)】
This course is designed for students with no prior knowledge of the German language. It aids them in acquiring basic grammatical rules, expressions, and vocabulary related to everyday situations. By the end of the course, students should be able to:
- Effectively utilize their grammatical knowledge when reading and writing simple, short texts
- Recognize familiar words and very basic phrases when spoken slowly and clearly
After each class meeting, students are expected to review the learning content, listen to the native speakers on audio, and practice speaking along with them. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語 I

沖本　龍哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語の基本表現ないし基礎文法を学ぶ。
・フランス語の学習をとおして、わたしたちが外国語を学ぶ目的や方法について考える。

【到達目標】
・初級フランス語の表現や文法を身につけることで、語学の意味や楽しさを知る。
・身につけた表現や文法は、どのような場面で役に立つか、具体的に考えて、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、フランス語の基本表現については、音声をくりかえし流すことで、聴く耳を慣らし、口から自然と正しい発音ができるようにする。また、基礎文法について、耳を慣らした音声に関連する文法の説明を加えることで、フランス語の理解を深めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	アルファベ 発音のルール
第3回	Leçon 2	不定冠詞・部分冠詞・定冠詞
第4回	Leçon 3	男性名詞と女性名詞 指示代名詞　ce
第5回	Leçon 4	指示形容詞と所有形容詞
第6回	前半の小テスト	Leçon 1 から 4 までの復習
第7回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第8回	Leçon 5	主語人称代名詞 動詞 être の直説法現在
第9回	Leçon 6	疑問文の作り方 動詞 avoir の直説法現在 疑問副詞 comment quand où combien
第10回	Leçon 7	非人称構文 強勢形人称代名詞
第11回	Leçon 8	否定文の作り方 代名動詞
第12回	後半の小テスト	Leçon 5 から 8 までの復習
第13回	外国語を学ぶ方法について	効率のよい学習方法を考える
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、2時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語 I

沖本　龍哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語の基本表現ないし基礎文法を学ぶ。
・フランス語の学習をとおして、わたしたちが外国語を学ぶ目的や方法について考える。

【到達目標】
・初級フランス語の表現や文法を身につけることで、語学の意味や楽しさを知る。
・身につけた表現や文法は、どのような場面で役に立つか、具体的に考えて、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、フランス語の基本表現について、音声をくりかえし流すことで、聴く耳を慣らし、口から自然と正しい発音ができるようにする。また、基礎文法について、耳を慣らした音声に関連する文法の説明を加えることで、フランス語の理解を深めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	アルファベ 発音のルール
第3回	Leçon 2	不定冠詞・部分冠詞・定冠詞
第4回	Leçon 3	男性名詞と女性名詞 指示代名詞　ce
第5回	Leçon 4	指示形容詞と所有形容詞
第6回	前半の小テスト	Leçon 1 から 4 までの復習
第7回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第8回	Leçon 5	主語人称代名詞 動詞 être の直説法現在
第9回	Leçon 6	疑問文の作り方 動詞 avoir の直説法現在 疑問副詞 comment quand où combien
第10回	Leçon 7	非人称構文 強勢形人称代名詞
第11回	Leçon 8	否定文の作り方 代名動詞
第12回	後半の小テスト	Leçon 5 から 8 までの復習
第13回	外国語を学ぶ方法について	効率のよい学習方法を考える
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、2時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語ＩＩ

沖本　龍哉

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語の基本表現ないし基礎文法を学ぶ。
・フランス語の学習をとおして、わたしたちが外国語を学ぶ目的や方法について考える。
・春学期に学んだことを復習しながら、使える表現や文法の知識を蓄えていく。

【到達目標】
・初級フランス語の表現や文法を身につけることで、語学の意味や楽しさを知る。
・身につけた表現や文法は、どのような場面で役に立つか、具体的に考えて、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、フランス語の基本表現について、音声をくりかえし流すことで、聴く耳を慣らし、口から自然と正しい発音ができるようにする。また、基礎文法について、耳を慣らした音声に関連する文法の説明を加えることで、フランス語の理解を深めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	目的語人称代名詞 中性代名詞
第3回	Leçon 2	動詞 aller の直説法現在 近接未来
第4回	Leçon 3	動詞 venir の直説法現在 近接過去
第5回	Leçon 4	関係代名詞と関係副詞
第6回	前半の小テスト	Leçon 1 から 4 までの復習
第7回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第8回	Leçon 5	複合過去・半過去・大過去
第9回	Leçon 6	単純未来と前未来
第10回	Leçon 7	比較級と最上級 現在分詞 ジェロンディフ
第11回	Leçon 8	条件法現在 接続法現在
第12回	後半の小テスト	Leçon 5 から 8 までの復習
第13回	外国語を学ぶ方法について	効率のよい学習方法を考える
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、２時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語ＩＩ

沖本　龍哉

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語の基本表現ないし基礎文法を学ぶ。
・フランス語の学習をとおして、わたしたちが外国語を学ぶ目的や方法について考える。
・春学期に学んだことを復習しながら、使える表現や文法の知識を蓄えていく。

【到達目標】
・初級フランス語の表現や文法を身につけることで、語学の意味や楽しさを知る。
・身につけた表現や文法は、どのような場面で役に立つか、具体的に考えて、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、まず、フランス語の基本表現について、音声をくりかえし流すことで、聴く耳を慣らし、口から自然と正しい発音ができるようにする。また、基礎文法について、耳を慣らした音声に関連する文法の説明を加えることで、フランス語の理解を深めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	目的語人称代名詞 中性代名詞
第3回	Leçon 2	動詞 aller の直説法現在 近接未来
第4回	Leçon 3	動詞 venir の直説法現在 近接過去
第5回	Leçon 4	関係代名詞と関係副詞
第6回	前半の小テスト	Leçon 1 から 4 までの復習
第7回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第8回	Leçon 5	複合過去・半過去・大過去
第9回	Leçon 6	単純未来と前未来
第10回	Leçon 7	比較級と最上級 現在分詞 ジェロンディフ
第11回	Leçon 8	条件法現在 接続法現在
第12回	後半の小テスト	Leçon 5 から 8 までの復習
第13回	外国語を学ぶ方法について	効率のよい学習方法を考える
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、2時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語 I

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語は世界中で多く話されている言語のうちのひとつである。スペイン、ラテンアメリカ諸国での公用語であるほか、近年では、日本にもスペイン語を話す旅行者や生活者も多く見かけられる。本講義では、スペイン語の文法を中心に学びながら、スペイン語圏の文化や習慣への関心・理解を促していく。

【到達目標】
①スペイン語への興味・関心の向上。
②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
文法中心に講義に進めていくが、必要に応じて音楽や映像などを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関心を持てるようにする。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。
※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。
　ただし、状況により、オンラインに切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義内容説明。
第2回	名詞	性と数
第3回	定冠詞／不定冠詞	un/una, el/la unos/unas, los/las
第4回	形容詞	スペイン語の形容詞の特徴、性と数
第5回	数詞	数の数え方、序数
第6回	所有格	所有形容詞／所有代名詞
第7回	指示詞	指示形容詞／指示代名詞
第8回	疑問詞	疑問詞の種類、疑問文の作り方
第9回	規則動詞・現在形①	動詞の使い方、ar型の動詞
第10回	規則動詞・現在形②	er型/ir型の動詞
第11回	不規則動詞：serとestar	英語のbe動詞に相当する２つの動詞
第12回	動詞hay・否定語・不定語	英語のthere is/areに相当する動詞、そのほか文章作りに便利なごく
第13回	時間の言い方	時刻、時間などの言い方
第14回	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。また、スペイン語は発音が非常に大事な言語です。授業内外で発音をしっかり練習することを求めます。

【テキスト（教科書）】
それぞれの課に合わせプリントを配布。

【参考書】
『超入門スペイン語』(大学書林)

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】
スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】
【Course Outline】
Improve comprehension of Spanish language communication skill, mainly through grammar but also with introducing the cultures and customs of hispanophone countries.
【Learning Objectives】
Improve comprehension of Spanish language communication skill.
【Learning activities outside of classroom】
Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following.　Term-end examination:　65%, and in-class contribution: 35%.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語 I

渡辺　雅哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の文法・作文・会話の初歩的な能力を身につける。主としてスペイン本国とイスパノアメリカからなる広大なスペイン語圏のさまざまな文化に接するための糸口とする。

【到達目標】
辞書を引きながら、簡単なスペイン文が読めたり書いたりできるようにする。また、日常的な会話能力の向上も図る。スペイン語の場合、動詞の用い方が最も重要である。春学期で扱われる動詞の時制は、いずれも直説法現在。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
概ねテキストの編集方針に沿って授業を進める。原則として、対面授業を実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回　ガイダンス	ガイダンス	授業の進め方や試験の実施方法についての説明
第2回　教科書導入	アルファベットと発音	スペイン語の読み方。アクセントの位置の見定め
第3回　教科書1課	名詞	男性名詞と女性名詞。単数形と複数形
第4回　教科書1課	冠詞。主格人称代名詞（私が、君が、彼が…）。動詞ser	定冠詞と不定冠詞。意味のうえでの、2つの二人称の区別。be動詞serの活用と使い方
第5回　教科書2課	形容詞。所有形容詞（私の、君の、彼の…）の前置形	形容詞・所有形容詞の、英語とは異なった使い方
第6回　教科書2課	動詞estar。指示形容詞（この、その、あの…）	もう1つのbe動詞estarの活用と使い方。指示形容詞の使い方
第7回　教科書3課	動詞estarとhay	存在を表現する動詞hayの使い方。動詞estarとの使い分け
第8回　教科書3課	動詞serとestar。動詞tener	2つのbe動詞serとestarの使い分け。不規則動詞tenerの基本的な使い方
第9回　教科書4課	規則動詞。基数	3つの規則動詞（-ar動詞、-er動詞、-ir動詞）の活用と使い方。100までの数え方
第 10 回　教科書4課	時刻の表現	時刻についての3つの尋ね方（「何時ですか」「何時に～をしますか」「何時間～をしますか」）と答え方
第 11 回　教科書5課	最も単純な不規則動詞	hacerその他、「私が」に対応する活用のみが不規則な動詞の活用と使い方
第 12 回　教科書5課	疑問詞。天候表現	qué、cómo、dóndeその他、疑問詞の基本的な使い方。常に3人称単数で活用される天候表現
第 13 回　教科書1～5課課	復習	特に重要な事項についての確認
第 14 回　春学期試験	試験・まとめと解説	春学期の学習の成果を問う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間以上を標準とする】　事前に教科書に目を通しておく。復習の関しては、特に動詞の用い方の理解・確認に努める。

【テキスト（教科書）】
エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで1』同学社、2023年、2400円（税別）

【参考書】
授業中に指示する。なお、早めに辞書を用意すること（辞書については、初日のガイダンスの折に何冊か紹介する）。

【成績評価の方法と基準】
平常点30％、定期試験70％の比率で評価する。「平常点」は「出席点」ではない。単に出席するだけでは意味がないので、積極的な姿勢で授業に臨むこと。

【学生の意見等からの気づき】
堅苦しい文法用語の類は、できるだけ使わない。

【その他の重要事項】
わからないことがあったら、授業中に何でも質問すること。些細な内容であってもかまわない。

【Outline (in English)】
An introduction to the Spanish language to get elementary knowledge of its grammer, writing and conversation, that will make it possible to approch the varied cultures of the Spanish-speaking countries (I).
At the end of the course, students are expected to read and write the most basic Spanish with dictionary, and also make daily conversation in the same language.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is more than one hour.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination; 70%and in-class contribution; 30%.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語ＩＩ

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期「基礎スペイン語１Ｉ」からの継続。
引き続き文法中心の授業。

【到達目標】
①スペイン語への興味・関心の向上。
②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストの解説を中心に進めていくが、必要に応じて音楽や映像などを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関心を持てるようにする。
各回テーマはあくまで目安。理解度・進度に応じて変更する。
授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法
毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第１回	不規則動詞	不規則動詞の概要、e-> ie, o-> ue, e-> i に変わる動詞
第２回	不規則動詞②	１人称単数が特殊変化する動詞、tener/venir/decir/oir
第３回	不規則動詞③	そのほかの不規則同士、まとめ
第４回	現在分詞	活用方法
第５回	過去分詞	活用方法／現在完了
第６回	前半まとめ	前半部まとめと解説
第７回	目的格	間接目的語、直接目的語、目的格人称代名詞
第８回	gustar型の動詞	前置詞、gustar動詞
第９回	再帰動詞	意味と活用
第１０回	比較	比較級／最上級
第１１回	点過去	２つの過去形について、規則活用
第１２回	点過去	不規則動詞
第１３回	線過去	規則／不規則
第１４回	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。また、スペイン語は発音が非常に大事な言語です。発音は積極的に行なってください。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
『超入門スペイン語』(大学書林)。辞書については授業内で指示。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】
スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】
Continuation of Spanish grammar from 1st semester.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語ＩＩ

渡辺　雅哉

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎スペイン語Ⅰに引き続いて、スペイン語の基本を学ぶ。春学期と同様、動詞の理解がカギになる。頻出する不規則動詞の活用をなるべくパターン化して身につけるとともに、表現の幅を広げることに努める。また、スペイン語圏の歴史や文化の一端にも触れてみる。

【到達目標】
辞書を引きながら、さまざまなレベルのスペイン文が読めるようにする。また、いろいろな動詞を用いながら、簡単な自己紹介ができる程度の表現能力を身につける。なお、秋学期で扱われる動詞の時制も、第11回と第12回を除けば直説法現在。しかし、時間が許せば、直説法過去に加えて直説法現在完了にもわずかでも言及したい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎スペイン語Ⅰと同様、概ねテキストの編集方針に沿って授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回　前期の復習	前期試験の見直し	前期試験の見直しを通じての、各人の課題の発見
第2回　教科書6課	語幹母音変化動詞（１）	querer その他、やや難しい不規則動詞（語幹母音変化動詞）の活用と用い方
第3回　教科書6課	語幹母音変化動詞（２）。日付・西暦・季節	前回に引き続いて、語幹母音変化動詞の学習。自分の誕生日の言い方
第4回　教科書7課	さまざまな不規則動詞（１）	saber と conocer その他、さまざまな不規則動詞の活用と使い方
第5回　教科書7課	不定詞表現。直接目的格人称代名詞（私を、君を、彼を…）。	不定詞の使い方。直接目的格人称代名詞の、英語とは異なった扱い
第6回　教科書8課	間接目的格人称代名詞（私に、君に、彼に…）。	間接目的格人称代名詞の扱い。接・直接の目的各人称代名詞の併用の仕方
第7回　教科書8課	さまざまな不規則動詞（２）	ir その他、不規則動詞のまとめ
第8回　教科書9課	再帰動詞（１）	再帰動詞（自分自身を～する」「自分自身に～する」）の活用と基本的な使い方
第9回　教科書9課	再帰動詞（２）。所有形容詞の後置形	再帰動詞の応用。所有形容詞の、前置形よりもやや複雑な後置形の扱い
第 10 回　教科書10・11課	動詞 gustar。比較級と最上級	好んで使われる動詞 gustar の扱い。形容詞と副詞の比較級と最上級の使い方
第 11 回　教科書 12 課	直説法点過去	直説法点過去の活用と使い方
第 12 回　教科書1～12課	復習	特に重要な事項の確認
第 13 回　秋学期試験	試験	１年間の学習の成果を問う
第 14 回　まとめと解説	まとめと解説	秋学期試験の結果についての総評

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間以上を標準とする】　事前に教科書に目を通しておく。不規則動詞に関しては、しっかり復習すること。

【テキスト（教科書）】
エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『新スペイン語のリズムで1』同学社、2023年、2400円（税別）

【参考書】
授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点30％、期末試験70％の比率で評価する。例年、月曜日は冬休み明けの授業（最終授業）が遅れてしまう（成人の日を挟むため）。このため、秋学期の試験は12月の最後の授業日に実施する。「平常点」は「出席点」ではない。単に出席するだけでは意味がないので、積極的な姿勢で授業に臨むこと。

【学生の意見等からの気づき】
堅苦しい文法用語の類は、できるだけ使わない。

【その他の重要事項】
わからないことがあったら、授業中に何でも質問すること。些細な内容であってもかまわない。

【Outline (in English)】
An introduction of the Spanish langage to get elementary knowledge of its grammer, writing and conversation, that will make it possible to approach the varied cultures of the Spanish-speaking countries (II).
At the end of the course, students are expected to read and wright the basic Sapnish with dictionary, and also make daily conversation in the same language.
Before each class meeting, students will be expected to have read the revelant chapter(s) from the text. Your required study time is more than one hour.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination; 70%and in -class contribution; 30%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語ＩＩ

渡辺　浩司

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に初級中国語の前半部分を学んだ学生を対象とした授業です。授業では，受講者が文法を中心に初級中国語の後半部分を学び，中国語力の基礎（「話す」力・「聞く」力・「書く」力）の習得を目指します。また，中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。必要に応じて，中国語検定（準4級）対策も行います。前期開講の「基礎中国語Ｉ」と同じ教科書を使います。

【到達目標】
受講者が中国語の発音（ピンイン）が正確に発音できること，授業で学習した中国語の基礎的な文法・語彙・実用会話を習得することを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，教科書（本篇：第8課～第15課）を使って，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，基本的な実用会話を学びます。また，必要に応じて，過去問題などを使って，中国語検定（準4級）対策も行います。受講者の理解を優先しますので、下記の授業計画通りには進まない可能性があります。
小テストを実施した場合は返却・解答し、最終授業で実施する期末テストは、希望者に、後日、個別の学習ポイントを指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語の文法と語彙(1)	第8課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第2回	中国語の文法と語彙(2)	第9課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第3回	中国語の文法と語彙(3)	第10課：新出単語・文法ポイント。
第4回	中国語の文法と語彙(4)	第10課：本文の説明と発音練習。ドリル。
第5回	中国語の文法と語彙(5)	第11課：新出単語・文法ポイント。
第6回	中国語の文法と語彙(6)	第11課：本文の説明と発音練習。ドリル。
第7回	中国語の文法と語彙(7)	第12課：新出単語・文法ポイント。
第8回	中国語の文法と語彙(8)	第12課：本文の説明と発音練習。ドリル。
第9回	中国語の文法と語彙(9)	第13課：新出単語・文法ポイント。
第10回	中国語の文法と語彙(10)	第13課：本文の説明と発音練習。ドリル。
第11回	中国語の文法と語彙(11)	第14課：新出単語・文法ポイント。
第12回	中国語の文法と語彙(12)	第14課：本文の説明と発音練習。ドリル。
第13回	中国語の文法と語彙(13)	第15課：新出単語・文法のまとめ。第8-14課の復習。
第14回	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストについている CD を十分に活用し、通学時にも何度も聴くくらいの努力を重ねてほしい。CD を活用した予習と復習は、文の暗記、暗唱にも大きな効果があります。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』（保坂律子・郭雲輝，朝日出版社，本体：2300円）

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の点数（70％）と平常点（30％）を総合して評価します。欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。（遅刻、早退は二回で欠席一回とする）

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ分かりやすく、全員が理解できるような授業を目指します。
毎回、出席者を複数回（なるべく多く）指名し、発音練習してもらうことも目指します。

【学生が準備すべき機器他】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して課題を出すので、インターネットに接続できる環境・機器が必要です。

【その他の重要事項】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して、授業外でも質問を受け付けます。

【Outline (in English)】
This is a class for students who have already learned "Basic Chinese I". The course focuses on learning Chinese aspect, idiomatic phrases, basic vocabulary, and other aspects of the Chinese language.
At the end of the course, students are expected to be able to do the followings:
- pronounce words and sentences accurately.
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- understand and use simple conversational expressions.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語 I

松本　ジュン

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身につけるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとハングルの仕組みおよび文章構造	韓国語の語順、語彙、分かち書きについて学習
第2回	第1課　母音（1）	基本母音10個について学習
第3回	第2課　子音	基本子音のうち平音の　について学習
第4回	第3課　子音	基本子音のうち平音の　について学習
第5回	第4課　子音・母音	鼻音の　と複合母音の　について学習
第6回	第5課　子音・母音	激音の　と複合母音の　について学習
第7回	第6課　子音	濃音の　について学習
第8回	第7課　母音（2）	複合母音7個について学習
第9回	第8課　終声（パッチム）①	終声であるパッチム7個について学習
第10回	中間試験	朝鮮語の読み試験　終声であるパッチムを理解して単語を発音してみる
第11回	第9課　発音の変化①	連音化・　音弱化・鼻音化について学習
第12回	第9課　発音の変化②	激音化・濃音化・流音化・口蓋音化について学習
第13回	第10課　単語の調べ方および日本語のハングル表記方法	辞書の引き方・日本語のハングル表記について学習
第14回	期末試験	春学期に学んだ内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『韓国語の初歩　三訂版』厳基珠　金三順　金天鶴　申鉉竣　吉川友丈　白水社　2019年　（2200円+税）

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean.　It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in korean usingbasic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differencesbetween Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation.
Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course.　With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Midterm exam 20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語 I

松本　ジュン

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身につけるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとハングルの仕組みおよび文章構造	韓国語の語順、語彙、分かち書きについて学習
第2回	第1課　母音（1）	基本母音10個について学習
第3回	第2課　子音	基本子音のうち平音について学習
第4回	第3課　子音	基本子音のうち平音について学習
第5回	第4課　子音・母音	鼻音と複合母音について学習
第6回	第5課　子音・母音	激音と複合母音について学習
第7回	第6課　子音	濃音について学習
第8回	第7課　母音（2）	複合母音7個について学習
第9回	第8課　終声（パッチム）①	終声であるパッチム7個について学習
第10回	中間試験	朝鮮語の読み試験　終声であるパッチムを理解して単語を発音してみる
第11回	第9課　発音の変化①	連音化・　音弱化・鼻音化について学習
第12回	第9課　発音の変化②	激音化・濃音化・流音化・口蓋音化について学習
第13回	第10課　単語の調べ方および日本語のハングル表記方法	辞書の引き方・日本語のハングル表記について学習
第14回	期末試験	春学期に学んだ内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『韓国語の初歩　三訂版』厳基珠　金三順　金天鶴　申鉉竣　吉川友丈　白水社　2019年　2200円+税

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean.　It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in korean usingbasic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differencesbetween Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation.
Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course.　With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語ⅠⅠ

松本　ジュン

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身に付けるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。
受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
また、毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。秋学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課	「大学生ですか」の表現を学習
第2回	第12課	「会社員ではありません」の表現を学習
第3回	第13課	「会社員ではありません」の表現を学習
第4回	第14課	「暑くありませんか」の表現を学習
第5回	第15課	「お誕生日はいつですか」の表現を学習
第6回	第16課	「どこに住んでいますか」の表現を学習
第7回	中間試験	第11課～第16課の内容で中間試験をおこなう
第8回	第17課	「先生いらっしゃいますか」の表現を学習
第9回	第18課	「何をお探しですか」の表現を学習
第10回	第19課	「何をしましたか」の表現を学習
第11回	第20課	「何を召し上がりますか」の表現を学習
第12回	第21課	「何時に会いましょうか」の表現を学習
第13回	第22課	「水泳をやっています」の表現を学習
第14回	期末試験	第17課～第22課の内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『韓国語の初歩　三訂版』厳基珠　金三順　金天鶴　申鉉竣　吉川友丈　白水社　2019年　2200円+税

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

中間試験	20％
期末試験	30％
課題	20％
授業への貢献度	30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean. It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in Korean using basic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differences between Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation.
Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course. With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following

Midterm exam	20％
Finals	30％
Assignment	20％
Class contribution	30％

A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語ⅠⅠ

松本　ジュン

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身に付けるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。
受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
また、毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。秋学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課	「大学生ですか」の表現を学習
第2回	第12課	「会社員ではありません」の表現を学習
第3回	第13課	「会社員ではありません」の表現を学習
第4回	第14課	「暑くありませんか」の表現を学習
第5回	第15課	「お誕生日はいつですか」の表現を学習
第6回	第16課	「どこに住んでいますか」の表現を学習
第7回	中間試験	第11課～第16課の内容で中間試験をおこなう
第8回	第17課	「先生いらっしゃいますか」の表現を学習
第9回	第18課	「何をお探しですか」の表現を学習
第10回	第19課	「何をしましたか」の表現を学習
第11回	第20課	「何を召し上がりますか」の表現を学習
第12回	第21課	「何時に会いましょうか」の表現を学習
第13回	第22課	「水泳をやっています」の表現を学習
第14回	期末試験	第17課～第22課の内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『韓国語の初歩　三訂版』厳基珠　金三順　金天鶴　申鉉竣　吉川友丈　白水社　2019年　2200円+税

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean. It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in korean usingbasic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differencesbetween Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation.
Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course. With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章作法

矢口　貢大

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、自己表現や意見表明を適切に行うための文章力の養成を目的とします。読み手にわかりやすい文章で、自分の意見を説得力をもって展開する技術を学んでいきます。最終的には、学術レポートが書けるようになることを目的とします。

【到達目標】
①わかりやすく正確な日本語の書き方を習得する。
②議論を構築し、文章で表現できるようになる。
③学術レポートが書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義と演習から成り、その進行は大きく三段階に分けられます。まず、読みやすく正確な文を書くための基本について学び、演習を行います。次に、説得力のある議論の立て方を学び、小論文を作成します。最後に、学術レポートを書くための文献検索や情報処理の技術を学び、期末課題としてレポートを作成します。
※演習を多く取り入れた授業構成とします。授業中に書いてもらった課題は、ピアレビューや添削によってよりよい作文に仕上げていきます。課題へのフィードバックは「学習支援システム」または紙媒体での添削とコメントによって行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション（授業内容の理解）・文章表現の基本（1）	・オリエンテーション（抽選、授業の目標、進め方および成績評価の説明） ・語順の法則
第2回	文章表現の基本（2）	・読点のうち方 ・書き言葉と話し言葉 ・小テスト（添削演習）
第3回	自己表現の実践（1）	・課題作成（怖い話／笑い話）
第4回	自己表現の実践（2）	・課題の返却と講評 ・主述の一致 ・長文の分割
第5回	論文入門（1）	・論文とは何か ・論理とは何か ・要約練習 ・文章整序
第6回	論文入門（2）	・論証とは何か ・論証のパターン① ・400字作文
第7回	論文入門（3）	・論証のパターン②（反論） ・議論分析の方法 ・400字作文
第8回	論文入門（4）	・パラグラフ・ライティング ・パッセージの構成法 ・アウトラインの作成
第9回	意見表明の実践（1）	・課題作成
第10回	意見表明の実践（2）	・課題返却と講評 ・ピアレビュー
第11回	意見表明の実践（3）	・課題作成
第12回	意見表明の実践（4）	・課題返却と講評 ・ピアレビュー
第13回	情報収集と情報処理（1）	・先行研究の調べ方 ・注と参考文献 ・話題ストラテジー
第14回	情報収集と情報処理（2）	・スキャニング ・スキミング ・要約練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・第2回：小テストを見直し、授業内容を復習する。
・第4・10・12回：課題文の返却後、添削・講評を参考に作文を書き直す。
・第13・14回：レポート作成に必要な資料を読み、文献メモを作る。レポートのアウトラインを作成する。レポートを書き、推敲する。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。レジュメを配布します。

【参考書】
戸田山和久『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHKブックス、2012年
野内良三『日本語作文術』中公新書、2010年
野矢茂樹『新版 論理トレーニング』産業図書、2006年

【成績評価の方法と基準】
配分：
平常点（小テスト・400字作文）（20％）
課題文（40％）
レポート（40％）

【学生の意見等からの気づき】
双方向的な授業にしますが、一人の学生に当てる時間が長すぎないように調整します。メールでの質問にできるだけ迅速に対応するよう留意します。

【学生が準備すべき機器他】
授業内でパソコンを使用する予定です。

【その他の重要事項】
受講希望者が定員を超えた場合は抽選になります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
The aim of this class is to provide students with writing skills to express themselves clearly and persuasively. Students will improve academic writing skills by reading articles and essays critically, editing grammatical and rhetorical errors, learning how to compose an argument, and developing research skills.
Learning activities outside of class: Students will be required to research and write a manuscript for the paper.
Grading Criteria: class participation (quizzes and short essays, 20%), assigned writing (40%), final essay (40%)

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

山岸　昌夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
パソコンの基本操作と情報モラルについて学ぶ。さらに、レポートや卒論の作成、発表に必要なパソコンの基本的なソフト（ワード、エクセル、パワーポイント等）の使い方を学ぶ。

【到達目標】
コンピュータを活用した情報収集・レポート作成ができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
ノートパソコンを使用し、パソコンの基本的操作、インターネットの利用、文書作成、表計算、グラフ作成、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションの仕方などを学ぶ。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を使用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	インターネットと電子メール	接続方法と使用方法
第2回	ワードによる文書作成（1）	文字の入力、ページ設定、移動とコピー
第3回	ワードによる文書作成（2）	文字サイズの変更・装飾、表の挿入
第4回	ワードによる文書作成（3）	ワードアート，画像と図形を活用した文書
第5回	エクセルの基本操作（1）	文字と数字、データ入力の基礎、計算式の入力
第6回	エクセルの基本操作（2）	関数を使った計算式、罫線、行の挿入
第7回	エクセルの基本操作（3）	グラフの作成、条件判定
第8回	エクセルの基本操作（4）	検索関数、条件付き書式
第9回	エクセルの基本操作（5）	並べ替え、フィルター、ワードとエクセルの連携活用
第10回	パワーポイントの基本操作（1）	基本操作
第11回	パワーポイントの基本操作（2）	グラフの活用、アニメーション効果、表と画像の挿入
第12回	パワーポイントの基本操作（3）	スライドショー、プレゼンテーションの基礎知識
第13回	プレゼンテーションの基本	デザインの一般原則、画像優位性効果
第14回	期末課題の作成	課題内容と作成手順の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】本学の学習支援システム利用ガイドおよびインターネット利用ガイドを理解しておくこと。

【テキスト（教科書）】
「30時間でマスター Office2019（Windows10対応）」、実教出版株式会社

【参考書】
「Microsoft Office 2019を使った情報リテラシーの基礎」、近代科学社
「プレゼンテーション Zen」、丸善出版

【成績評価の方法と基準】
評価方法：各授業における演習（50%）とレポート提出（50%）で評価する。
評価基準：本科目において設定した達成目標を60%以上達成している学生を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
深い理解のために、より実践的な例を取り扱うようにします。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン

【Outline (in English)】
This course introduces the fundamental operation of personal computers and the effective use of software. In addition, the course introduces how to compose PowerPoint for scientific presentation.
【Learning Objectives】
Upon completion of this lecture, students will be able to gather information and prepare reports using computers.
【Learning activities outside of classroom】
The standard time to spend preparing and reviewing this lecture is 4 hours. Students are required to be familiar the User's Guide for the university's learning support system and the Internet.
【Grading Criteria /Policy】
Students are evaluated based on exercises in each lecture (50%) and assignments (50%). More than 60%will be considered as a passing grade.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

岩城　敏

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポート作成や研究教育活動で必要な学内システムやパソコンの基本操作方法，ワード，エクセル，パワーポイント等のソフトウェアの使い方および情報モラルに関する知識の取得を目的とする．

【到達目標】
研究レポートの作成方法，データの処理方法，わかりやすいプレゼンテーションの作成方法および適切な情報の扱い方を習得する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
貸与パソコンを用いて多くの演習を行うことで基本スキルを身に着ける。授業進捗に応じて適宜レポート課題を与える。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業計画の説明・概論，PCの使い方
第2回	インターネットと学内システムの利用	インターネット，メール，学習支援システム，文献調査
第3回	ワードの概要	ワードの基本操作
第4回	ワードによる文章作成	レポート作成に必要な操作
第5回	エクセルの概要	エクセルの基本操作
第6回	エクセルによる図表作成	表の操作とグラフ作成
第7回	エクセルの基本関数機能	基本関数機能を用いたデータ処理
第8回	エクセルによる基本関数機能の応用	関数機能を用いたデータ処理の応用
第9回	エクセルによるデータ処理演習	電気電子分野のデータを利用したエクセルの演習
第10回	レポート作成の概要	レポートの作法や文章作成
第11回	ワードやエクセルを用いたレポート作成	レポート作成に用いるワードやエクセルの操作方法
第12回	パワーポイントの概要	パワーポイントの基本操作
第13回	パワーポイントによるプレゼンテーションの作成	プレゼンテーションの作成方法
第14回	プレゼンテーション演習	ワード，エクセル，パワーポイントを用いた総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
パソコン操作に慣れるように，授業後は復習を行うこと．

【テキスト（教科書）】
特に指定しない．

【参考書】
矢野文彦　『情報リテラシー教科書』オーム社
小野目如快『Office2021で学ぶコンピュータリテラシー』実教出版
木下是雄 『理科系の作文技術』中央公論新社

【成績評価の方法と基準】
授業内で課すレポート課題，発表内容80％，平常点20％とし，総合的に評価したうえで100点満点中60点以上を合格とする．

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません．

【学生が準備すべき機器他】
貸与PCを利用する．資料配布・課題提出等のために学習支援システム等を利用する．

【その他の重要事項】
情報通信系民間企業で研究・開発・商品化・技術営業を経験した教員が，訴求力のあるプレゼン方法についても講義する．

【Outline (in English)】
< Course outline >
The purpose of this course is to acquire knowledge of basic computer operations, how to use software(Word, Excel, and PowerPoint), and computer literacy.
< Learning Objectives >
The goals of this course are to acquire methods for writing research reports, processing data, creating a clear presentation, and handling information appropriately.
< Learning activities outside of classroom >
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours understanding the course content.
< Grading Criteria /Policy >
The final grade will be calculated according to the following process Reports, presentation(80%), and in-class contribution(20%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

若林　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系レポートにふさわしい表現力や効果的なプレゼンテーションの仕方を習得する。

【到達目標】
理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、ワード・エクセル・パワーポイントを用いた効果的なレポート作成とインパクトのあるプレゼンテーションの仕方を習得すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
対面講義と演習を行う。
ワード・エクセル・パワーポイントを用いたレポート作成演習を行う。この演習を通して、理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、効果的なプレゼンテーションについても学習する。提出課題については授業内でのフィードバックと個別フィードバックを適宜行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報リテラシーってなんだ？	情報リテラシーとは何についてを学ぶのか、情報モラルや情報セキュリティについて学ぶ。
第2回	ワードは便利？ それとも不便？	実際にWordを使ってできる便利な機能、日本語作成にとっては不便な部分を克服する方法を学ぶ。著作権や個人情報に関する理解を深める。
第3回	エクセルで文書作成？	表計算のツールでもあるExcelを使ってレポートの作成もできる可能性を探る。情報環境の近代史など情報に関して学ぶ。
第4回	ワードとエクセルでレポート作成！	文章設計や科学論文の書き方を学び、IoT機器の結果からレポートを作成する。
第5回	パワーポイントでプレゼン！	PowerPointを使ってどんなプレゼンができるのかチャレンジする。
第6回	エクセル演習	ピボットテーブルの使い方を学び、課題を用いて演習を行う。
第7回	パワーポイントにエクセルの表やグラフを組み込む	PowerPointのプレゼンにExcelで作成した表や動画・写真などをきれいに入れる技を習得する。情報セキュリティの時事ネタからどのような事に気をつけなければならないかを学ぶ。
第8回	レポートを作成しよう【中間テスト】	実験データを提供し、その値を元に実験レポートをWordとExcelで作成する。 インターネットを用いて調査し、レポートをまとめる。後半は【中間テスト】
第9回	事例による個人情報と著作権	個人情報や著作権の取り扱い方法を学ぶ。情報セキュリティに関する事例を紹介し、対策などをグループ討議する。
第10回	マナーとモラルをもう一度	個人情報保護、著作権の侵害などの情報モラルや情報セキュリティに関する内容を改めて詳しく解説する。仮想卒業論文をネタにWordの使い方を演習する。
第11回	グラフの作成	Excelを使ったグラフ作成方法の基本と応用を習得する。自己PR資料を作成する。
第12回	困ったときにどうするか？	Officeの利用方法をインターネット検索で調べる方法のこつを学ぶ。仮想エントリーシートを作成して、自己アピールを作成する。
第13回	パワーポイント演習と実践	PowerPointを使ってプレゼン作成の演習。自己PRを例に良いプレゼントは何かを学ぶ。
第14回	授業時間内テスト	授業時間内で提示されたデータを元にOfficeで資料を作成する課題を完成させる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】教科書は基本的に自習用となっており、事前に独習して進める。授業中は基本的な使い方は教科書で自習している前提で演習を行う。
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
演習課題は、残りを時間外に復習も兼ねて完成させ、レポートにまとめ期日までに提出する。

【テキスト（教科書）】
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
下記書籍を生協では準備してもらっている。
書籍名：30時間でマスター　Office2021
出版社：実教出版
定価　：本体1150円
ISBN　：978-4-407-35937-4

【参考書】
書籍名：サイエンス・ライティング入門
著者名：落合洋文
出版社：ナカニシヤ出版
定価　：本体1500円
ISBN978-4-7795-0139-5
書籍名：理科系の作文技術
著者名：木下是雄
出版社：中公新書
定価　：本体700円
ISBN4-12-100624-0
情報モラルや情報セキュリティの最新情報は下記のWebなどで収集して欲しい。
https://www.ipa.go.jp/

【成績評価の方法と基準】
評価方法：　演習や課題の提出物(40%)、中間テスト(20%)、最終課題(20%)、授業内テスト(20%)で総合的に評価する。
評価基準：　本科目において設定した達成目標を60％以上達成している学生を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
日本語に限らず、情報を発信するために必要な事柄を身につけて欲しい。

【学生が準備すべき機器他】
貸与されたノートパソコンまたはOfficeが使えるノートパソコン。

【その他の重要事項】
授業形態は大学からの指示に従い、対面が禁止されない限りは対面で実施の方向で考えています。
基本的にOfficeのアプリの基本的な使い方は教科書を読みながら自習して事前に進めておく事。授業内では自習でわからなかった部分の質問に対応する形とする。

【Outline (in English)】
[Course outline] Acquire the ability to express yourself appropriately for scientific and technical reports and how to give effective presentations.
[Learning Objectives] In this course, you will acquire the ability to express yourself appropriately for writing scientific and technical reports, and learn how to create effective reports and make impactful presentations using Microsoft Word, Excel, and PowerPoint.
[Learning outside of class hours] Approximately 2 hours of study is required for preparation and review for each class in order to understand the course content.
[Grading Criteria] Grades will be based on the following criteria and a score of 60%or above will be considered a pass.
< Exercises and assignment submissions: 40%, midterm exams: 20%, final assignments: 20%, in-class exams: 20%> [Course Overview] Acquire the ability to express yourself appropriately for scientific and technical reports and how to give effective presentations.
[Learning Objectives] In this course, you will acquire the ability to express yourself appropriately for writing scientific and technical reports, and learn how to create effective reports and make impactful presentations using Microsoft Word, Excel, and PowerPoint.
[Study outside of class hours] Approximately 4 hours of study is required for preparation and review for each class in order to understand the course content.
[Grading Method and Criteria] Grades will be based on the following criteria and a score of 60%or above will be considered a pass.

< Exercises and assignment submissions: 40%, midterm exams: 20%,
final assignments: 20%, in-class exams: 20%>

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

若林　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系レポートにふさわしい表現力や効果的なプレゼンテーションの仕方を習得する。

【到達目標】
理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、ワード・エクセル・パワーポイントを用いた効果的なレポート作成とインパクトのあるプレゼンテーションの仕方を習得すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
対面講義と演習を行う。
ワード・エクセル・パワーポイントを用いたレポート作成演習を行う。この演習を通して、理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、効果的なプレゼンテーションについても学習する。提出課題については授業内でのフィードバックと個別フィードバックを適宜行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報リテラシーってなんだ？	情報リテラシーとは何についてを学ぶのか、情報モラルや情報セキュリティについて学ぶ。
第2回	ワードは便利？ それとも不便？	実際にWordを使ってできる便利な機能、日本語作成にとっては不便な部分を克服する方法を学ぶ。著作権や個人情報に関する理解を深める。
第3回	エクセルで文書作成？	表計算のツールでもあるExcelを使ってレポートの作成もできる可能性を探る。情報環境の近代史など情報に関して学ぶ。
第4回	ワードとエクセルでレポート作成！	文章設計や科学論文の書き方を学び、IoT機器の結果からレポートを作成する。
第5回	パワーポイントでプレゼン！	PowerPointを使ってどんなプレゼンができるのかチャレンジする。
第6回	エクセル演習	ピボットテーブルの使い方を学び、課題を用いて演習を行う。
第7回	パワーポイントにエクセルの表やグラフを組み込む	PowerPointのプレゼンにExcelで作成した表や動画・写真などをきれいに入れる技を習得する。情報セキュリティの時事ネタからどのような事に気をつけなければならないかを学ぶ。
第8回	レポートを作成しよう【中間テスト】	実験データを提供し、その値を元に実験レポートをWordとExcelで作成する。 インターネットを用いて調査し、レポートをまとめる。後半は【中間テスト】
第9回	事例による個人情報と著作権	個人情報や著作権の取り扱い方法を学ぶ。情報セキュリティに関する事例を紹介し、対策などをグループ討議する。
第10回	マナーとモラルをもう一度	個人情報保護、著作権の侵害などの情報モラルや情報セキュリティに関する内容を改めて詳しく解説する。仮想卒業論文をネタにWordの使い方を演習する。
第11回	グラフの作成	Excelを使ったグラフ作成方法の基本と応用を習得する。自己PR資料を作成する。
第12回	困ったときにどうするか？	Officeの利用方法をインターネット検索で調べる方法のこつを学ぶ。仮想エントリーシートを作成して、自己アピールを作成する。
第13回	パワーポイント演習と実践	PowerPointを使ってプレゼン作成の演習。自己PRを例に良いプレゼントは何かを学ぶ。
第14回	授業時間内テスト	授業時間内で提示されたデータを元にOfficeで資料を作成する課題を完成させる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】教科書は基本的に自習用となっており、事前に独習して進める。授業中は基本的な使い方は教科書で自習している前提で演習を行う。
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
演習課題は、残りを時間外に復習も兼ねて完成させ、レポートにまとめ期日までに提出する。

【テキスト（教科書）】
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
下記書籍を生協では準備してもらっている。
書籍名：30時間でマスター　Office2021
出版社：実教出版
定価　：本体1150円
ISBN　：978-4-407-35937-4

【参考書】
書籍名：サイエンス・ライティング入門
著者名：落合洋文
出版社：ナカニシヤ出版
定価　：本体1500円
ISBN978-4-7795-0139-5
書籍名：理科系の作文技術
著者名：木下是雄
出版社：中公新書
定価　：本体700円
ISBN4-12-100624-0
情報モラルや情報セキュリティの最新情報は下記のWebなどで収集して欲しい。
https://www.ipa.go.jp/

【成績評価の方法と基準】
評価方法：　演習や課題の提出物(40%)、中間テスト(20%)、最終課題(20%)、授業内テスト(20%)で総合的に評価する。
評価基準：　本科目において設定した達成目標を60％以上達成している学生を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
日本語に限らず、情報を発信するために必要な事柄を身につけて欲しい。

【学生が準備すべき機器他】
貸与されたノートパソコンまたはOfficeが使えるノートパソコン。

【その他の重要事項】
授業形態は大学からの指示に従い、対面が禁止されない限りは対面で実施の方向で考えています。
基本的にOfficeのアプリの基本的な使い方は教科書を読みながら自習して事前に進めておく事。授業内では自習でわからなかった部分の質問に対応する形とする。

【Outline (in English)】
[Course outline] Acquire the ability to express yourself appropriately for scientific and technical reports and how to give effective presentations.
[Learning Objectives] In this course, you will acquire the ability to express yourself appropriately for writing scientific and technical reports, and learn how to create effective reports and make impactful presentations using Microsoft Word, Excel, and PowerPoint.
[Learning outside of class hours] Approximately 2 hours of study is required for preparation and review for each class in order to understand the course content.
[Grading Criteria] Grades will be based on the following criteria and a score of 60%or above will be considered a pass.
< Exercises and assignment submissions: 40%, midterm exams: 20%, final assignments: 20%, in-class exams: 20%> [Course Overview] Acquire the ability to express yourself appropriately for scientific and technical reports and how to give effective presentations.
[Learning Objectives] In this course, you will acquire the ability to express yourself appropriately for writing scientific and technical reports, and learn how to create effective reports and make impactful presentations using Microsoft Word, Excel, and PowerPoint.
[Study outside of class hours] Approximately 4 hours of study is required for preparation and review for each class in order to understand the course content.
[Grading Method and Criteria] Grades will be based on the following criteria and a score of 60%or above will be considered a pass.

< Exercises and assignment submissions: 40%, midterm exams: 20%,
final assignments: 20%, in-class exams: 20%>

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

今枝　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
パソコンの基本操作、インターネットの仕組みの理解、電子メールの送受信方法を学ぶ。Microsoft Excel, Word, PowerPoint等のPCの基本的なソフトの使い方を学ぶ。

【到達目標】
・インターネットを使って必要な情報を検索できるようになる
・遠隔コミュニケーションツールを使いこなせるようになる
・オンラインストレージを使いこなせるようになる
・パソコンを使ってデータの解析ができるようになる
・パソコンを使って解析データを報告文書の形にまとめることができるようになる
・パソコンを使って解析結果を発表用資料としてまとめることができるようになる
・必要な書類をPDFファイルとしてまとめ、提出できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
各自のPCを用いた実習により各テーマを学ぶ。
レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	演習にあたって	授業の概要と進め方の説明 インターネットを使った情報検索 電子メールの使い方 オンラインストレージ(Google Drive)の使い方 手書き文書のPDF化と提出方法(Google Form)の確認 遠隔コミュニケーションツール(zoom, Google Chat, Slackなど)の使い方
第2回	表計算ソフトウェアを使ったデータ解析1	各種表計算ソフトウェアの紹介(Microsoft Excel, Google スプレッドシート, Numbers) Microsoft Excel の使用方法の確認 測定データの入力と表示 四捨五入、切り上げ、切り下げ
第3回	表計算ソフトウェアを使ったデータ解析2	セルの値を参照した計算 各種計算式の入力 範囲を指定した計算
第4回	表計算ソフトウェアを使ったデータ解析3	表の作成 グラフの作成
第5回	表計算ソフトウェアを使ったデータ解析4	Microsoft Excel を使った提出課題(円柱体積の測定)の仕上げ PDFファイルへの出力
第6回	文書作成ソフトウェアを使った報告文書の作成1	各種文書作成ソフトウェアの紹介(Microsoft Word, Google ドキュメント, Pages) Microsoft Word の使用方法の確認 文字の入力、編集
第7回	文書作成ソフトウェアを使った報告文書の作成2	書式設定 ハイパーリンクの挿入
第8回	文書作成ソフトウェアを使った報告文書の作成3	表の挿入 図形の挿入
第9回	文書作成ソフトウェアを使った報告文書の作成4	Microsoft Word を使った提出課題(円柱体積の測定)の仕上げ PDFファイルへの出力
第10回	プレゼンテーションソフトウェアを使った発表用資料の作成1	各種プレゼンテーションソフトウェアの紹介（Microsoft PowerPoint, Google Slides, Keynote） Microsoft PowerPoint の使用方法の確認 文字の入力と配置
第11回	プレゼンテーションソフトウェアを使った発表用資料の作成2	作図ソフトウェアを使った画像ファイルの作成
第12回	プレゼンテーションソフトウェアを使った発表用資料の作成3	グラフと図の貼り付け 動画の貼り付け アニメーション効果
第13回	プレゼンテーションソフトウェアを使った発表用資料の作成4	Microsoft PowerPoint を使った提出課題(円柱体積の測定)の仕上げ PDFファイルへの出力
第14回	振り返りとまとめ	表計算・文書作成・プレゼンテーションソフトウェアを使った、解析→報告→発表作業の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
普段からPCに触れ、操作に慣れる。授業で学ぶ内容は繰り返し使うことで身につくので、授業後必ず復習する。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない

【参考書】
特に指定しない
状況状況に応じたインターネット検索を強く推奨する

【成績評価の方法と基準】
各演習回毎に提出する課題に対する内容評価40%,
表計算ソフトウェア、文書作成ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアを使った提出課題に対する内容評価60%の併せて100%で評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
学生のこれまでのＰＣ操作の経験に幅広い違いがある以上、本演習は必然的にあまり経験のない学生に対する解説が主となります。最終提出課題は事前に提示するので、余裕のある学生は自分の知識経験をもとに課題を先に進めていってください。

【学生が準備すべき機器他】
貸与されたノートパソコン、もしくはMicrosoft Officeが使える環境が整備されたノートパソコン。
パソコンのOSは必ずしもWindowsであることは求めないが、解説はWindows準拠で行うので、異なる機器を使用する学生は適宜情報を自分の演習環境に読み替えて実習を行うようにすること。

【Outline (in English)】
（Course outline）
We study basic skills and knowledges of personal computers. In particular, we aim at learning how to use softwares such as Microsoft Excel, Word and PowerPoint.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to acquire basic skills and knowledges of personal computers described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Final reports : 60%, usual contribution in class: 40%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報処理技法

東原　正智

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講義ではプログラミング言語Pythonについて学ぶ。また、ライブラリとしてNumpyやPandasを特に練習をする。この講義の目的は、Pythonの言語の基礎的な文法、NumPyとPandasを講義と実習によって習得することである。

【到達目標】
Pythonの文法やライブラリ（NumPy、Pandas)を理解し、プログラムを作成できる。colabの使用方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は情報教室にて行う。開発環境はGoogle Colaboratoryで、言語はPython3系を使用する。
また、ChatGPTなど生成AIのツールも積極的に利用する。
学生の質問や課題の解説は、スライドと動画を用いてフィードバックをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Pythonの概要、開発環境のcolabについて	Pythonの概要 開発環境Google Colaboratoryの説明
第2回	Python文法	Pythonの基本、データ構造 ・変数宣言、print出力 ・リスト
第3回	Python文法	・タプル ・辞書 ・集合
第4回	Python文法	制御フロー ・条件文 ・反復文
第5回	Python文法	関数
第6回	Python文法	オブジェクトとクラス ・クラス ・オブジェクト ・特殊メソッド
第7回	Python文法	オブジェクトとクラス ・クラス ・オブジェクト ・特殊メソッド
第8回	Python文法	・ジェネレータ、デコレータなど ・モジュールとパッケージ ・import,as ・標準ライブラリ
第9回	Python文法	ファイル操作とシステム ・ファイル操作 ・入出力
第10回	NumPy	NumPy
第11回	NumPy	NumPy
第12回	グラフィックライブラリ	Matplotlib Seaborn
第13回	Pandas	Pandas
第14回	Pandas、まとめ	コード規約(pep)の解説 課題解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。特にプログラミング言語の知識を前提としない。

【テキスト（教科書）】
講義はスライドを用意する。

【参考書】
公式サイト:https://www.python.org/
・高橋麻奈『やさしいPython』SBクリエイティブ
・Python実践入門 —— 言語の力を引き出し、開発効率を高める (WEB+DB PRESS plusシリーズ) (日本語) 陶山 嶺 (著)技術評論社

【成績評価の方法と基準】
成績評価としては、レポート2回で86％、平常点は14%とする。

【学生の意見等からの気づき】
・わかりにくい内容や質問については、メール、スライド、動画にて回答する。
・進度が早いという意見があり、適宜解説を加え、進度調整を行った。
・内容が難しい、という意見については、解説を増やしていきたい。
・プログラミングが初めていう学生についてもサポートを増やしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
情報センターでのPCを使用する。

【その他の重要事項】
学生の理解を深めるたサポートページを用意している。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This lecture is about learning Python, particularly practicing libraries such as NumPy and Pandas. This lecture aims to acquire a fundamental understanding of Python syntax, as well as NumPy and Pandas through lectures and practical exercises.
【Learning Objectives】
The goal of this class is to understand the syntax and libraries of Python (NumPy, Pandas) and be able to create programs, as well as to learn how to use colab.
【Learning activities outside of classroom】
Self-study outside of class for preparation and review of this course is set at a standard of 4 hours. It does not require any prior knowledge of programming languages in particular.
【Grading Criteria /Policy】
For the grading evaluation, there will be two reports which account for 86%, and class participation which accounts for 14%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報処理技法

陸名　雄一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的な情報処理技法の中から数式処理ソフトウェア Mathematica (Wolfram Research 社) を選び、その運用法を修得する。

【到達目標】
1. Mathematica の基本的文法・関数を習得し、対話的使用ができる。
2. Mathematica プログラミングの基礎を習得し、問題解決に応用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
主にPC画面を投影し、実際の操作を確認しながら解説を行う。必要に応じて随時演習課題を設け、実践力の向上を図る。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業内容について概説と受講に必要なソフトウェア環境の確認・整備
第2回	Mathematica 入門	機能の概要、基本操作、数と文字列の取扱い
第3回	シンボルとその計算	シンボルの定義と運用
第4回	リスト	リストの定義と運用
第5回	式、パターンとパターンマッチ、遅延割り当て	式・パターンの定義、パターンマッチの概念と運用、遅延割り当ての概念と運用
第6回	関数・純関数	関数・純関数の定義と運用
第7回	ルールとその適用	ルールの概念とその運用
第8回	方程式と不等式	代数方程式・不等式・漸化式・微分方程式の解法
第9回	Mathematica プログラミングの基礎	変数の有効範囲・コンテキスト、基本的な制御構文
第10回	データの入出力	データの保存と読み込み
第11回	データの視覚化	データのプロット方法
第12回	Mathematica による問題解決（1）	Mathematica による実験データの処理例
第13回	Mathematica による問題解決（2）	Mathematica による運動シミュレーションの例
第14回	まとめ	基本的事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。】各回の内容を確実に反復し、定着させること。授業内で示される演習課題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】
資料を配布する。

【参考書】
相談に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
Mathematica の理解度・運用能力を平常点（60%）及び期末試験（40%）によって評価する。出席率や課題提出率が低い者は点数に依らず不合格とする。実習中心の授業となる為、受講態度を特に厳しく評価し、問題ある者は出席者と見做さない。

【学生の意見等からの気づき】
より実践的な内容を求める学生に応じて、応用面を強化したい。

【学生が準備すべき機器他】
講義および演習は各自の貸与PCを用いて行う。持参なき者は出席者と見做されない。

【その他の重要事項】
通知・資料提供等の手段として「学習支援システム」を使用し、これらの定期的確認を受講者の義務とする。確認を怠ったことによって生じる不利益については、それがどんなに深刻なものであったとしても、一切関知しない。担当教員への連絡方法を含め、授業運営の詳細については初回授業にて通知する。

【Outline (in English)】
This course deals with the basic way to use Mathematica, which is one of leading softwares for symbolic computation.
(Goal)
By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Understanding basic grammar of Mathematica.
2) Interactive using of Mathematica.
3) Basic programming of Mathematica.
4) Approaching scientific problems by using Mathematica.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short reports 60%, Term-end examination 40%. Those with a low attendance or report-submission rate cannot take the exam. Since the class is centered on practical training, the attendance attitude is evaluated particularly rigorously, and those with a problem are not considered to be attendees.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報処理技法

三橋　秀生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、情報化社会において、問題解決に必要な情報の処理・分析を行う基礎能力を身につけることを目標とする。そのため、「データの分析」や「統計的な推測」の概略を手始めに、その先にある統計学や統計解析の初歩を、ソフトウェアを活用しながら具体例で学ぶ。

【到達目標】
問題解決のために収集した情報の、処理・分析を行うために、技術者として最低限必要な知識およびソフトウェアの活用法を習得する。そして、情報化社会で、情報の処理と分析ができる基礎能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業ごとに理論の解説と演習を実施する。前半で背景となる統計学の解説をし、後半で（MS-Excel等を用いた）演習を行う。
また、MATLAB等を利用した情報処理を経験する。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報処理の基本操作	授業概要の説明、MS-Excelを用いた情報処理のための基礎操作　（平均、分散、標準偏差）
第2回	統計処理の基礎	度数分布、グラフの作成、サンプル抽出、不偏分散
第3回	推定	信頼区間、区間推定
第4回	カイ2乗検定	偏りの検定：カイ2乗検定
第5回	t検定（対応のない場合）	平均値と平均値の差の検定：対応のないt検定
第6回	t検定（対応のある場合）	差の平均値の検定：対応のあるt検定
第7回	相関	散布図、相関
第8回	相関係数	相関係数、相関の強さ
第9回	無相関検定	標本集団の相関係数、無相関検定
第10回	単回帰	回帰直線の計算と予測
第11回	偏相関	偏相関、偏相関係数
第12回	MATLAB導入	MATLABデスクトップの基礎、行列と配列、インデックス、ワークスペース変数
第13回	MATLABプログラミング	テキストと文字、関数呼び出し、プロット、プログラミングとスクリプト
第14回	MATLAB応用	データのインポートと情報処理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】各自教材や資料を参考にした復習を強く推奨する。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。
統計の基礎、MS-Excel等の利用に関して基礎的な内容で、各自使いやすい書籍、資料などを利用すること。

【参考書】
向後千春、冨永敦子著，統計学がわかる（技術評論社）
向後千春、冨永敦子著，統計学がわかる【回帰分析・因子分析編】（技術評論社）
東京大学教養学部統計学教室編，統計学入門（東京大学出版会）

【成績評価の方法と基準】
問題解決のために収集した情報の処理・分析を行うために、技術者として最低限必要な知識およびソフトウェアの活用法を習得できたか、そして、情報化社会で、情報の処理と分析ができる基礎能力を身につけられたかを、期末試験や演習課題レポートなどを通じて評価する。
期末試験もしくは期末レポート　(60％)
演習課題レポート（40％）
成績評価の方法と基準を変更する場合がある．その場合の具体的な方法と基準は，担当教員が学習支援システムで提示する．

【学生の意見等からの気づき】
Excelの処理を効率的に行う技法を実習を通じて示す。

【学生が準備すべき機器他】
講義および演習は、各自の貸与NotePCを用いて行う。必ず持参すること。

【その他の重要事項】
履修者の状況等に応じて内容・順序を変更することがあります．
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜，指示します．

【Outline (in English)】
（Course outline）
In this class, students will learn about the basics of statistics such as data analysis and statistical inference, using concrete examples while using software. The goal is to acquire the basic ability to process and analyze information necessary to solve problems in an information-oriented society.
（Learning Objectives）
At the end of this course, students acquire the knowledge about information processing and how to use software, and acquire the basic ability to analyze and consider various themes in information-oriented society.
（Learning activities outside of classroom）
We strongly recommend that you review by referring to your own teaching materials and materials.
Students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報処理技法

坂田　繁洋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、情報化社会において、問題解決に必要な情報の処理・分析を行う基礎能力を身につけることを目標とする。そのため、高校数学にあるような「データの分析」や「統計的な推測」の概略を手始めに、その先にある統計学の初歩を、ソフトウェアを活用しながら具体例で学ぶ。

【到達目標】
問題解決のために収集した情報の処理・分析を行うために、技術者として最低限必要な知識およびソフトウェアの活用法を習得する。そして、情報化社会で、情報の処理と分析ができる基礎能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業ごとに理論の解説と演習を実施する。前半で背景となる統計学の解説をし、後半で（MS-Excel等を用いた）演習を行う。
また、数値計算プラットフォームMATLAB等を利用した情報処理を経験する。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報処理の基本操作	授業概要の説明、MS-Excelを用いた情報処理のための基礎操作（平均、分散、標準偏差）
第2回	統計処理の基礎	度数分布、グラフの作成、サンプル抽出、不偏分散
第3回	推定	信頼区間、区間推定
第4回	カイ2乗検定	偏りの検定：カイ2乗検定
第5回	t検定（対応のない場合）	平均値と平均値の差の検定：対応のないt検定
第6回	t検定（対応のある場合）	差の平均値の検定：対応のあるt検定
第7回	相関	散布図、相関
第8回	相関係数	相関係数、相関の強さ
第9回	無相関検定	標本集団の相関係数、無相関検定
第10回	単回帰	回帰直線の計算と予測
第11回	偏相関	偏相関、偏相関係数
第12回	MATLAB導入	MATLABデスクトップの基礎、行列と配列、インデックス、ワークスペース変数
第13回	MATLABプログラミング	テキストと文字、関数呼び出し、プロット、プログラミングとスクリプト
第14回	MATLAB応用	データのインポートと情報処理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】各自教材や資料を参考にした復習を強く推奨する。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。
統計の基礎、MS-Excel等の利用に関して基礎的な内容で、各自使いやすい書籍、資料などを利用すること。

【参考書】
向後千春、冨永敦子著，統計学がわかる（技術評論社）
向後千春、冨永敦子著，統計学がわかる【回帰分析・因子分析編】（技術評論社）
東京大学教養学部統計学教室編，統計学入門（東京大学出版会）

【成績評価の方法と基準】
問題解決のために収集した情報の処理・分析を行うために、技術者として最低限必要な知識およびソフトウェアの活用法を習得できたか、そして、情報化社会で、情報の処理と分析ができる基礎能力を身につけられたかを、期末試験や演習課題レポートなどを通じて評価する。
期末試験もしくは期末レポート　(60％)
演習課題レポート（40％）
成績評価の方法と基準を変更する場合がある．その場合の具体的な方法と基準は，担当教員が学習支援システムで提示する．

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
講義および演習は、各自の貸与NotePCを用いて行う。必ず持参すること。

【その他の重要事項】
履修者の状況等に応じて内容・順序を変更することがあります。
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと。
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください。
その他の重要事項は適宜、指示します。

【Outline (in English)】
（Course outline）
In this class, students will learn about the basics of statistics that go beyond the high school mathematics such as data analysis and statistical inference, using concrete examples while using software. The goal is to acquire the basic ability to process and analyze information necessary to solve problems in an information-oriented society.
（Learning Objectives）
At the end of this course, students acquire the knowledge about information processing and how to use software, and acquire the basic ability to analyze and consider various themes in information-oriented society.
（Learning activities outside of classroom）
We strongly recommend that you review by referring to your own teaching materials and materials.
Students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報処理技法

伊藤　賢太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命科学分野の実験データを解析するため必要な統計解析と画像処理について学ぶ。

【到達目標】
背景となる数学、統計学の初歩についても学習した上で、実例を通じながら解析方法を学ぶ。計測データや画像データを適切に処理する技法を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業の前半は講義を行い、残りの時間で演習課題に取り組む。毎回ではないが、レポート課題を出題する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要の説明、Jupyter notebookの準備	Pythonプログラミングの準備
第2回	グラフの描画	グラフの作成（python, Excel)
第3回	データ解析	平均、分散、標準偏差、普遍分散
第4回	確率分布1	確率、確率密度関数、正規分布
第5回	確率分布2	正規分布の性質、信頼区間
第6回	Pythonを用いたデータ解析入門1	Pandas入門
第7回	Pythonを用いたデータ解析入門2	Pandasを用いた発展的な解析
第8回	統計、検定について1	t分布、仮説検定
第9回	統計、検定について2	検定の演習
第10回	ImageJによる画像処理（1）	ImageJの使い方、画像の二値化
第11回	ImageJによる画像処理（2）	粒子解析、面積の求め方
第12回	ImageJによる画像処理（3）	スケールバーの入れ方、動画の扱い方
第13回	ImageJによる画像処理（4）	物体追跡
第14回	まとめ	講義でやった内容のまとめと、画像認識等の発展的な内容の紹介

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
翌週の講義までに前回の講義の内容は復習しておくこと。講義資料は授業支援システムで配布するので、欠席した場合はしっかり復習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
使用しない。学習支援システムより講義資料を配布する。

【参考書】
参考になると思われるサイト、参考書について講義の中で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%）、レポート課題（80%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
プログラミング、統計処理、画像解析といった幅広い内容を教えるため、動作原理については要点は説明するが、詳細なところまでは講義中に説明する時間が確保できていない。「どうしてこのような結果になるのか」といった疑問をもった場合は教員やTAに積極的に質問して欲しい。また、授業の内容を受けてこういうことをしてみたいという意見があれば、可能な限り対応する。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、PCを使った作業を行います。対面で講義を行う際には、edu貸与ノートPCを持参してください。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course deals with statistical analysis and image processing, which are necessary for analyzing experimental data in the life sciences.
(Learning Objectives)
The goals of this course are to understand the fundamentals of statistics and to acquire techniques to appropriately process measurement and image data.
(Learning activities outside of classroom)
Review the lecture content before the next week's lecture. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short reports 80%, In-class activities 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

山岸　昌夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
パソコンの基本操作と情報モラルについて学ぶ。さらに、レポートや卒論の作成、発表に必要なパソコンの基本的なソフト（ワード、エクセル、パワーポイント等）の使い方を学ぶ。

【到達目標】
コンピュータを活用した情報収集・レポート作成ができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
ノートパソコンを使用し、パソコンの基本的操作、インターネットの利用、文書作成、表計算、グラフ作成、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションの仕方などを学ぶ。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を使用して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	インターネットと電子メール	接続方法と使用方法
第2回	ワードによる文書作成（1）	文字の入力、ページ設定、移動とコピー
第3回	ワードによる文書作成（2）	文字サイズの変更・装飾、表の挿入
第4回	ワードによる文書作成（3）	ワードアート，画像と図形を活用した文書
第5回	エクセルの基本操作（1）	文字と数字、データ入力の基礎、計算式の入力
第6回	エクセルの基本操作（2）	関数を使った計算式、罫線、行の挿入
第7回	エクセルの基本操作（3）	グラフの作成、条件判定
第8回	エクセルの基本操作（4）	検索関数、条件付き書式
第9回	ワードとエクセルの活用	並べ替え、フィルター、ワードとエクセルの連携活用
第10回	パワーポイントの基本操作（1）	基本操作
第11回	パワーポイントの基本操作（2）	グラフの活用、アニメーション効果、表と画像の挿入
第12回	パワーポイントの基本操作（3）	スライドショー、プレゼンテーションの基礎知識
第13回	プレゼンテーションの基本	デザインの一般原則、画像優位性効果
第14回	最終課題の作成	課題内容と作成手順の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】本学の学習支援システム利用ガイドおよびインターネット利用ガイドを理解しておくこと。

【テキスト（教科書）】
「30時間でマスター Office2021（Windows11対応）」、実教出版株式会社

【参考書】
「Microsoft Office 2021を使った情報リテラシーの基礎」、近代科学社
「プレゼンテーション Zen」、丸善出版

【成績評価の方法と基準】
評価方法：各授業における演習（50%）とレポート提出（50%）で評価する。
評価基準：本科目において設定した達成目標を60%以上達成している学生を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
深い理解のために、より実践的な例を取り扱うようにします。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces the fundamental operation of personal computers and the effective use of software. In addition, the course introduces how to compose PowerPoint for scientific presentation.
(Learning objectives)
Upon completion of this lecture, students will be able to gather information and prepare reports using computers.
(Learning activities outside of classroom)
The standard time to spend preparing and reviewing this lecture is 4 hours. Students are required to be familiar with the User's Guide for the university's learning support system and the Internet.
(Grading criteria/policy)
Students are evaluated based on exercises in each lecture (50%) and assignments (50%). More than 60%will be considered as a passing grade.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

杉山　健一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像，固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り，応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成，R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通し、前回の授業に対する演習問題を解くなど、復習することが望ましい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、紹介する.

【成績評価の方法と基準】
【期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。】成績は、レポート提出、期末試験の成績等の成 績を総合的に、判断して評価する。レポート提出及び成果 (30%)，期末試験の成績 (70%) として、成績を付ける。 なお，初回の授業 で課題の提出の仕方について、説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自習あるいは講義の時に分からないことがあれば、質問すること。講義中、講義の終了後でも構いません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc.,
which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

礒島　伸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ．
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する．
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する．

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける．
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する．
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．
授業内容の理解を助けるため，毎回課題が出題されるので，これに取り組むこと．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
寺田文行『新版 演習線形代数』サイエンス社 ￥2178

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する．
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する．
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける．

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して，講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと．

【学生が準備すべき機器他】
初回授業に貸与ノートPCを持参すること．
以下のように学習支援システムを利用する．
・授業資料の配布
・課題の出題および提出（ただし，内容により紙媒体で提出する課題もあり）
・オンライン形式での授業を実施する場合，その情報の提供

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
また，秋学期「線形代数学及び演習 II」を継続して履修することを勧めます．
その他の重要事項は適宜，指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

礒島　伸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ．
１）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する．
２）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する．

【到達目標】
１）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける．
２）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する．
３）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．
授業内容の理解を助けるため，毎回課題が出題されるので，これに取り組むこと．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
寺田文行『新版 演習線形代数』サイエンス社 ￥2178

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する．
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する．
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける．

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して，講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと．

【学生が準備すべき機器他】
初回授業に貸与ノートPCを持参すること．
以下のように学習支援システムを利用する．
・授業資料の配布
・課題の出題および提出（ただし，内容により紙媒体で提出する課題もあり）
・オンライン形式での授業を実施する場合，その情報の提供

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
また，秋学期「線形代数学及び演習 II」を継続して履修することを勧めます．
その他の重要事項は適宜，指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

伊藤　賢太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算、連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味をきちんと理解して使いこなせるようになったかを期末試験や演習により判断する．成績は期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する.

【学生の意見等からの気づき】
講義中の質問は、教室全体の理解度向上に資する行為なので歓迎する．また、講義時間の制約のため十分な応用例に触れられないのが残念であるが、興味のある者は行列がどのような分野で役に立つのか自ら調べてみて欲しい.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜，指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜，指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

本多　恭子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する.
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
講義や演習のときに分からないことを質問すること.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜，指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜，指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

本多　恭子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する.
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
講義や演習のときに分からないことを質問すること.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜，指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜，指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

杉山　健一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像，固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り，応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成，R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通し、前回の授業に対する演習問題を解くなど、復習することが望ましい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、紹介する.

【成績評価の方法と基準】
【期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。】成績は、レポート提出、期末試験の成績等の成績を総合的に、判断して評価する。レポート提出及び成果 (30%)，期末試験の成績 (70%) として、成績を付ける。 なお，初回の授業 で課題の提出の仕方について、説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自習あるいは講義の時に分からないことがあれば、質 問すること。講義中、講義の終了後でも構いません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc.,
which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

木村　真琴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成，R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
毎回小テストを行う.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。
評価は期末試験の得点(100%)により行う.
小テストの受験回数が、全実施回数の７割に満たない者は不合格とする.
少テストの得点を成績の微調整のために利用することがある.

【学生の意見等からの気づき】
小テストが役に立っているようである.

【学生が準備すべき機器他】
とくになし.

【その他の重要事項】
小テストを全実施回数の原則として７割以上受験しない場合，不合格とします.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Grade evaluation will be based on the final exam. For those who fail the final exam, adjustments may be made based on the total score of the Take-home tests.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

寺田　至

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で
ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成，R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して、講義のときに分からないことを質問すること.
これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

木村　真琴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
毎回小テストを行う.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。
評価は期末試験の得点(100%)により行う.
小テストの受験回数が、全実施回数の７割に満たない者は不合格とする.
少テストの得点を成績の微調整のために利用することがある.

【学生の意見等からの気づき】
小テストが役に立っているようである.

【学生が準備すべき機器他】
とくになし.

【その他の重要事項】
小テストを全実施回数の原則として７割以上受験しない場合，不合格とします.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Grade evaluation will be based on the final exam. For those who fail the final exam, adjustments may be made based on the total score of the Take-home tests.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

三橋　秀生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を８０％，演習課題等を２０％として成績をつける.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して、講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 20%, Term-end examination 80%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

三橋　秀生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を８０％，演習課題等を２０％として成績をつける.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して、講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 20%, Term-end examination 80%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

礒島　伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.
授業内容の理解を助けるため，毎回課題が出題されるので，これに取り組むこと.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
寺田文行『新版 演習線形代数』サイエンス社￥ 2178

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０%，演習課題等を３０%として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して、講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出（ただし，内容により紙媒体で提出する課題もあり）
・オンライン形式での授業を実施する場合，その情報の提供

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
この授業では，春学期「線形代数学及び演習Ⅰ」を履修済みであることを前提とします.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

礒島　伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.
授業内容の理解を助けるため，毎回課題が出題されるので，これに取り組むこと.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
寺田文行『新版 演習線形代数』サイエンス社￥ 2178

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して、講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出（ただし，内容により紙媒体で提出する課題もあり）
・オンライン形式での授業を実施する場合，その情報の提供

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
この授業では，春学期「線形代数学及び演習Ⅰ」を履修済みであることを前提とします.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

伊藤　賢太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている. 授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを期末試験や提出課題により判断する.
成績は期末試験の成績(60%)、提出課題（４０%）として総合的に評価する.
なお，初回の授業で課題の提出ルールを説明する.

【学生の意見等からの気づき】
微分積分と同様に線形代数は様々な分野で活用されている便利なツールであるが、その具体的な例の紹介にはそれほど時間を割くことができない．　とっかかりとなる情報は与えるので、是非各自で線形代数がどのように活用されているのか調べてみて欲しい.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

本多　恭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
講義や演習のときに分からないことを質問すること.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

本多　恭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像、固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ.

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り、応用できることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立, １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に、１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
ベクトル空間に関する基本概念を理解し、具体的な計算ができること、行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し、具体的な計算ができるようになったかなどを評価する.
成績は、期末試験や演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を７０％，演習課題等を３０％として成績をつける.

【学生の意見等からの気づき】
講義や演習のときに分からないことを質問すること.

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること.
その他は適宜、指示する.

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと.
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください.
その他の重要事項は適宜、指示します.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the concepts and applications of linear mapping, eigenvalues /eigenvectors, etc., which are the basis of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

寺杣　友秀

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

寺杣　友秀

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

伊藤　賢太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜、指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

伊藤　賢太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜、指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

伊藤　賢太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から、学習支援システムを通じた連絡がないか、日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜、指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

渡邉　昇

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する，また，極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する，
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税 （第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は，積分および重積分について十分な計算能力が身についていること，積分変換の基礎となる広義積分の計算法を理解していること，積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである．原則として毎授業時間に復習確認のクイズを行う．成績は期末試験の成績（９０％）を主としレポート・演習の成績や授業中の態度を平常点（１０％）として加味して総合的に評価する.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
授業中に，オンラインでの小テストを実施する。各自は，Hoppiiに接続できる機器を持参すること。また，毎回の授業後に追加資料とレポートをHoppiiに提示するので，毎回必ずチェックすること.

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 10%, Term-end examination 90%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

坂田　繁洋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績評価の方法は、期末試験(100%)である．ただし、小テストを、全実施回数の7割以上受験していない者は不合格とする.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習Ｉ」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
小テストを、全実施回数の7割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the Term-end examination 100%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

寺田　至

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績は期末試験の成績（60%）、提出課題（40%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けると良い.　講義中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する行為であるので是非積極的に質問してもらいたい.

【学生が準備すべき機器他】
もしも必要性が生じた場合には、口頭および「お知らせ欄」を通じて指示・周知する。

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

坂田　繁洋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績評価の方法は、期末試験(100%)である.
※期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.
ただし、小テストを、全実施回数の7割以上受験していない者は不合格とする.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
小テストを、全実施回数の7割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the Term-end examination 100%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

坂田　繁洋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績評価の方法は、期末試験(100%)である.
※期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.
ただし、小テストを、全実施回数の7割以上受験していない者は不合格とする.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
小テストを、全実施回数の7割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the Term-end examination 100%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

陸名　雄一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書・参考書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
相談に応じて紹介する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績は期末試験の成績（60%）、提出課題（40%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
学習の習慣化が不十分である．履修内容の理解・定着に必要な学習方法・分量について真剣に考えてもらいたい.

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・オンライン受講に必要な情報の提供
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

渡邉　昇

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する，また，極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する，
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税 （第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は，積分および重積分について十分な計算能力が身についていること，積分変換の基礎となる広義積分の計算法を理解していること，積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである．原則として毎授業時間に復習確認のクイズを行う．成績は期末試験の成績（９０％）を主としレポート・演習の成績や授業中の態度を平常点（１０％）として加味して総合的に評価する.
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません.

【学生が準備すべき機器他】
授業中に，オンラインでの小テストを実施する。各自は，Hoppiiに接続できる機器を持参すること。また，毎回の授業後に追加資料とレポートをHoppiiに提示するので，毎回必ずチェックすること.

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 10%, Term-end examination 90%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

髙澤　兼二郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．レポート等の回収・フィードバックは授業時間内に行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業を開くだけで数学を習得できることはないので、授業には予習をした上で臨む、授業後は講義内容を復習し、さらに課題や教科書の練習問題を解く等により、学習内容を習得することが求められる。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである．成績評価の方法は，毎回の提出課題（40%）および定期試験（60%）によって評価する.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けるとよい。授業中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する重要な貢献となるので、ぜひ積極的に質問してもらいたい。

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the next lesson and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Examination(s) 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

髙澤　兼二郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．レポート等の回収・フィードバックは授業時間内に行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業を開くだけで数学を習得できることはないので、授業には予習をした上で臨む、授業後は講義内容を復習し、さらに課題や教科書の練習問題を解く等により、学習内容を習得することが求められる。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである．成績評価の方法は，毎回の提出課題（40%）および定期試験（60%）によって評価する.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けるとよい。授業中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する重要な貢献となるので、ぜひ積極的に質問してもらいたい。

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the next lesson and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Examination(s) 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

伊藤　賢太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績は期末試験の成績（60%）、提出課題（40%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けると良い.　講義中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する行為であるので是非積極的に質問してもらいたい.

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

伊藤　賢太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績は期末試験の成績（60%）、提出課題（40%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けると良い.　講義中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する行為であるので是非積極的に質問してもらいたい.

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

伊藤　賢太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め、さらに2変数関数の積分を扱う.　またこれらを用いて図形の面積、体積、長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い、基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定で ある.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する、また、極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）　2300円+税
（第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
成績評価の基準は、積分および重積分について十分な計算能力が身についていること、広義積分の計算法を理解していること、積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることである.　成績は期末試験の成績（60%）、提出課題（40%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自分がいったい何の計算をしているのかわからなくなってしまうことを回避するために、できるだけ図形やグラフを描いて考える習慣を身に着けると良い.　講義中に質問することを躊躇する学生が多いようだが、教室全体の理解度向上に資する行為であるので是非積極的に質問してもらいたい.

【その他の重要事項】
春学期「微分積分学及び演習 I」を履修済みであることを前提とする.
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its application which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Acquiring the integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

早坂　太志

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎では、主に物体の運動を扱う学問である力学を中心に学習する。力学は、古典力学と呼ばれるニュートン力学を基盤としながら、現代の物理学においても重要な役割を果たす分野である。相対論や量子力学、統計物理学といった現代物理学の各分野は、それぞれ独自の概念を持つが、すべての基礎となるのは力学である。
より具体的には、運動の法則を理解することで、物体の運動を正確に記述する方法を習得する。また、摩擦力の効果について学び、現実の運動における抵抗力の影響を考察する。さらに、単振動や強制振動、減衰振動といった振動現象を扱い、周期運動の特性を探る。さらに、剛体の運動や質点系の重心運動、衝突の解析といったテーマを扱う。
また、これらの物理概念を学ぶと同時に、数学的な手法の習得にも重点を置く。微分・積分、ベクトル解析、線形代数などの数学的手法は、物理学を深く理解する上で不可欠である。講義に登場する多くの具体例を通じて、理工系の学生が身につけるべき初等的な数学についても身につける。

【到達目標】
力学は物理学分野の基礎、土台であり、今後の機械系専門分野への理解にも重要である、本講義ではその中で、基本的な運動に加え、抵抗力や振動などの運動、及び仕事、エネルギーについて理解できるのを目標にする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
春学期の開講形式は基本的に対面授業です。講義はスライドを用います。教科書はとくに指定しません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	単位、運動の表わし方	単位系、変位・速度・加速度、微積分とベクトル,等速円運動
2	運動の法則と運動方程式（I）	運動の法則と放物運動
3	運動の法則と運動方程式（II）	抵抗力がある場合の運動
4	振動運動（I）	単振動、振り子の運動
5	振動運動（II）	減衰振動と強制振動
6	仕事とエネルギー（I）	仕事の定義、エネルギー原理
7	仕事とエネルギー（II）	保存力とポテンシャルエネルギー、力学的エネルギー保存則
8	万有引力による質点の運動（I）	角運動量、万有引力
9	万有引力による質点の運動（II）	惑星の運動、ケプラーの法則
10	非慣性系の運動	慣性系、加速度系、回転座標系、慣性力、コリオリ力
11	質点系の力学	質点系の取り扱い、二体問題、衝突
12	剛体の運動（I）	剛体のつりあい、トルク、慣性モーメント
13	剛体の運動（II）	剛体の並進運動、回転運動
14	補足	春学期学習の総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】適宜、練習問題・演習問題をレポートとして課す。復習もしておくこと。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
伊東敏雄 著「な～るほど！ の力学」学術図書出版社
小出昭一郎 著「力学」　岩波書店
その他、図書館や本屋で、「力学」の入門書、専門書の中から自分に合った書を見つけるのが良い。

【成績評価の方法と基準】
平常点・レポート課題(40%)と期末試験(60%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
提出物の中に、疑問点、要望等、あれば記載する。フィードバックをかけてレベルの変更や、内容、進度を変更することがある。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
In this course, the primary focus is on mechanics, the branch of physics that deals with the motion of objects. Mechanics is based on Newtonian mechanics, also known as classical mechanics, and remains a fundamental field in modern physics.
Although modern physics includes fields such as relativity, quantum mechanics, and statistical physics, each with its own unique concepts, mechanics serves as their foundation.
Specifically, students will learn how to accurately describe the motion of objects by understanding the laws of motion. They will also study the effects of frictional forces and consider the impact of resistance in real-world motion. Furthermore, the course covers oscillatory phenomena, such as simple harmonic motion, forced oscillations, and damped oscillations, to explore the characteristics of periodic motion.
Additionally, topics such as rigid body motion, center-of-mass motion of a system of particles, and collision analysis will be covered.
This course emphasizes not only learning these physical concepts but also acquiring mathematical techniques. Calculus, vector analysis, and linear algebra are essential tools for a deeper understanding of physics. Through numerous concrete examples presented in the lectures, students will also develop fundamental mathematical skills necessary for science and engineering.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

早坂　太志

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎では、主に物体の運動を扱う学問である力学を中心に学習する。力学は、古典力学と呼ばれるニュートン力学を基盤としながら、現代の物理学においても重要な役割を果たす分野である。相対論や量子力学、統計物理学といった現代物理学の各分野は、それぞれ独自の概念を持つが、すべての基礎となるのは力学である。
より具体的には、運動の法則を理解することで、物体の運動を正確に記述する方法を習得する。また、摩擦力の効果について学び、現実の運動における抵抗力の影響を考察する。さらに、単振動や強制振動、減衰振動といった振動現象を扱い、周期運動の特性を探る。さらに、剛体の運動や質点系の重心運動、衝突の解析といったテーマを扱う。
また、これらの物理概念を学ぶと同時に、数学的な手法の習得にも重点を置く。微分・積分、ベクトル解析、線形代数などの数学的手法は、物理学を深く理解する上で不可欠である。講義に登場する多くの具体例を通じて、理工系の学生が身につけるべき初等的な数学についても身につける。

【到達目標】
力学は物理学分野の基礎、土台であり、今後の機械系専門分野への理解にも重要である、本講義ではその中で、基本的な運動に加え、抵抗力や振動などの運動、及び仕事、エネルギーについて理解できるのを目標にする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
春学期の開講形式は基本的に対面授業です。講義はスライドを用います。教科書はとくに指定しません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	単位、運動の表わし方	単位系、変位・速度・加速度、微積分とベクトル,等速円運動
2	運動の法則と運動方程式（I）	運動の法則と放物運動
3	運動の法則と運動方程式（II）	抵抗力がある場合の運動
4	振動運動（I）	単振動、振り子の運動
5	振動運動（II）	減衰振動と強制振動
6	仕事とエネルギー（I）	仕事の定義、エネルギー原理
7	仕事とエネルギー（II）	保存力とポテンシャルエネルギー、力学的エネルギー保存則
8	万有引力による質点の運動（I）	角運動量、万有引力
9	万有引力による質点の運動（II）	惑星の運動、ケプラーの法則
10	非慣性系の運動	慣性系、加速度系、回転座標系、慣性力、コリオリ力
11	質点系の力学	質点系の取り扱い、二体問題、衝突
12	剛体の運動（I）	剛体のつりあい、トルク、慣性モーメント
13	剛体の運動（II）	剛体の並進運動、回転運動
14	補足	春学期学習の総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】適宜、練習問題・演習問題をレポートとして課す。復習もしておくこと。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
伊東敏雄 著「な～るほど！ の力学」学術図書出版社
小出昭一郎 著「力学」　岩波書店
その他、図書館や本屋で、「力学」の入門書、専門書の中から自分に合った書を見つけるのが良い。

【成績評価の方法と基準】
平常点・レポート課題(40%)と期末試験(60%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
提出物の中に、疑問点、要望等、あれば記載する。フィードバックをかけてレベルの変更や、内容、進度を変更することがある。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
In this course, the primary focus is on mechanics, the branch of physics that deals with the motion of objects. Mechanics is based on Newtonian mechanics, also known as classical mechanics, and remains a fundamental field in modern physics.
Although modern physics includes fields such as relativity, quantum mechanics, and statistical physics, each with its own unique concepts, mechanics serves as their foundation.
Specifically, students will learn how to accurately describe the motion of objects by understanding the laws of motion. They will also study the effects of frictional forces and consider the impact of resistance in real-world motion. Furthermore, the course covers oscillatory phenomena, such as simple harmonic motion, forced oscillations, and damped oscillations, to explore the characteristics of periodic motion.
Additionally, topics such as rigid body motion, center-of-mass motion of a system of particles, and collision analysis will be covered.
This course emphasizes not only learning these physical concepts but also acquiring mathematical techniques. Calculus, vector analysis, and linear algebra are essential tools for a deeper understanding of physics. Through numerous concrete examples presented in the lectures, students will also develop fundamental mathematical skills necessary for science and engineering.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

小鍋　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目的とする。本講義では、物理学の中でも特に基礎的な分野である、力学と熱力学について学ぶ。力学は、力と運動に関する学問であり、物理学で必要な思考法や数学的技術を多く含んでいる。一方、熱力学は、熱に関する学問であり、車を動かす動力や気象現象を理解するには無くてはならない。古典力学の基本概念を学ぶ。具体的には、運動の記述法や運動の３法則とその応用を学ぶ。

【到達目標】
・力学では、力や力学的エネルギーなど力学の基礎概念を理解し、自由落下、単振動を通して力学の基本法則を正確に把握する。
・熱力学では、熱と温度の関係、分子運動と熱との関係、熱力学の法則について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	物理学概論序論	微積分とベクトルを用いて運動を表現する方法を学ぶ
2	質点の運動学	速度と加速度
3	質点の力学	運動の法則
4	質点の運動(1)	自由落下、粘性抵抗力のもとでの落下運動
5	質点の運動(2)	単振動
6	質点の運動(3)	減衰振動と強制振動
7	質点系の力学	重心の運動
8	演習	力学の演習
9	熱と温度(1)	熱平衡状態と温度
10	熱と温度(2)	経験温度と熱力学的温度
11	熱と温度(3)	気体の分子運動論
12	熱力学(1)	熱力学第一法則
13	熱力学(2)	熱力学第二法則
14	演習	熱力学の演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces classical mechanics and thermodynamics, which includes; mathematical representation of motion of mass point, Newton's laws of motion and their application to motion prediction for a particle, work and energy, conservative force and potential energy, conservation of energy, 1st law of thermodynamics and 2nd law of thermodynamics.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the basics of mechanics and thermodynamics described above.
(Learning activities outside of classroom)
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

加来　滋

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物体や媒質の運動を記述する力学は理工系の様々な科目の基礎である。本講義では、力学の核心である質点（大きさを考慮しなくてよい物体）の力学について、ベクトルの乗法や微分積分を駆使して学ぶ。

【到達目標】
・ニュートンの運動の法則を具体的な問題に適用できる。すなわち、物理現象と場面に応じて数式を立てることができ、得られた解から運動の様子を具体的に説明できること。
・仕事とエネルギーの関係を用いて、質点の運動を調べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義形式を基本とする。理解を深めるために適宜演習を行い、レポート課題を課す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、基礎的事項の復習	春学期の授業内容の説明 座標、位置、速度、加速度
2	力と運動	ニュートンの運動の第1法則、第2法則、第3法則
3	色々な運動 (1)	等速直線運動、等加速度運動、自由落下
4	色々な運動 (2)	斜面に沿う運動、摩擦力、空気抵抗
5	色々な運動 (3)	単振動
6	色々な運動 (4)	単振動と抵抗力
7	色々な運動 (5)	強制振動
8	色々な運動 (6)	抵抗力のある強制振動
9	色々な運動 (7)	単振り子と極座標
10	仕事とエネルギー (1)	仕事・保存力とは、力学的エネルギー保存則
11	仕事とエネルギー (2)	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析(単振動)
12	2次元の運動 (1)	抵抗力のある放物運動
13	2次元の運動 (2)	等速円運動、円錐振り子
14	2次元の場合の仕事とエネルギー	仕事・保存力・力学的エネルギー保存則を2次元に拡張する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
高校物理には出てこない新しい数学や物理的概念が出てくるので、理解できるまでよく復習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて参考書を指定する。

【参考書】
力学（戸田盛和 著 岩波書店）
カラー版レベル別に学べる物理学I（末廣一彦・斉藤準・鈴木久男・小野寺彰 著 丸善出版）

【成績評価の方法と基準】
試験を実施できる場合は、試験（80%）、平常点・レポート（20%）で評価する。
試験を実施できない場合は、平常点・レポート（100%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
理解しやすい説明を行うために、板書とスライドを併用する。講義内容の定着を図るために、授業中の演習と宿題を活用する。

【Outline (in English)】
This course introduces the particle dynamics to students taking this course.
Learning activities outside of classroom are review and preparation of reports for each class.
If mid-term and end-term examinations can be conducted, grading will be decided based on the examinations (80%) and reports (20%).
If examinations cannot be conducted, grading will be decided based on reports (100%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

今枝　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物体の運動を解析する際に必要となる物理学（力学）の考え方と、それを使った質点運動の解析方法を学ぶ。

【到達目標】
本講義で取り扱う物理学の内容は「力学」になります。高校物理でどのような力学を学んだでしょうか？ それは人それぞれ千差万別でしょうが、多くの人が何某かの「公式」を暗記して、それを適切な場面で「使用」することが力学であると勘違いしていることが多いように思います。本講義では、その皆さんが暗記したであろう「公式」がいかなる考え方により導き出されたのか？その考え方の道筋について学びます。物理学的な考え方を理解して使いこなせるようになることで、公式が適用できないより現実的な物理現象であっても、代わりにどのような関係式解いたらよいかを導くことができるようになります。具体的には、ニュートンの運動の3法則から始めて、状況に即した解くべき関係式を導き出せること、その関係式を満たす解を数学の知識を使って求められるようになること、これが本講義の目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。
また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	座標系を使った運動の表現	位置と座標系、ベクトルとスカラー、位置ベクトルと変位ベクトル、ベクトルの基本的性質、次元解析
2	位置と速度と加速度(1)	位置の時間微分によって速度、加速度を求める、微分法の復習
3	位置と速度と加速度(2)	加速度の時間積分によって速度、位置を求める、積分法の復習 初期条件とは？
4	ニュートンの運動の3法則	慣性座標系、 運動方程式、 作用反作用の法則
5	万有引力	万有引力とは？ 重力加速度とは？
6	いろいろな運動（1）	一様な重力場における運動の解析 2次元運動の解析
7	いろいろな運動（2）	抵抗力のある運動の解析
8	いろいろな運動（3）	復元力がある運動の解析 単振動
9	質点系の運動の様子(1)	運動量、運動量の保存則
10	質点系の運動の様子(2)	角運動量、各運動量の保存則
11	運動エネルギーと仕事	運動方程式の変形 運動エネルギーとは？ 仕事とは？
12	保存力とポテンシャルエネルギー	保存力とは？ ポテンシャルエネルギーとは？ 非保存力とは？
13	力学的エネルギー（1）	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析（自由落下問題）
14	力学的エネルギー（2）	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析（単振動）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習 力学 [新訂版]（今井功ほか サイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
The first goal of this course is to master the way of thinking in physics of how to derive the equations to be solved from Newton's three laws when analyzing the motion of a point mass. Then, the final goal is to solve these equations using mathematical knowledge and understand the motion of a point mass.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submitted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

今枝　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物体の運動を解析する際に必要となる物理学（力学）の考え方と、それを使った質点運動の解析方法を学ぶ。

【到達目標】
本講義で取り扱う物理学の内容は「力学」になります。高校物理でどのような力学を学んだでしょうか？ それは人それぞれ千差万別でしょうが、多くの人が何某かの「公式」を暗記して、それを適切な場面で「使用」することが力学であると勘違いしていることが多いように思います。本講義では、その皆さんが暗記したであろう「公式」がいかなる考え方により導き出されたのか？その考え方の道筋について学びます。物理学的な考え方を理解して使いこなせるようになることで、公式が適用できないより現実的な物理現象であっても、代わりにどのような関係式解いたらよいかを導くことができるようになります。具体的には、ニュートンの運動の3法則から始めて、状況に即した解くべき関係式を導き出せること、その関係式を満たす解を数学の知識を使って求められるようになること、これが本講義の目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。
また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	座標系を使った運動の表現	位置と座標系、ベクトルとスカラー、位置ベクトルと変位ベクトル、ベクトルの基本的性質、次元解析
2	位置と速度と加速度(1)	位置の時間微分によって速度、加速度を求める、微分法の復習
3	位置と速度と加速度(2)	加速度の時間積分によって速度、位置を求める、積分法の復習 初期条件とは？
4	ニュートンの運動の3法則	慣性座標系、 運動方程式、 作用反作用の法則
5	万有引力	万有引力とは？ 重力加速度とは？
6	いろいろな運動（1）	一様な重力場における運動の解析 2次元運動の解析
7	いろいろな運動（2）	抵抗力のある運動の解析
8	いろいろな運動（3）	復元力がある運動の解析 単振動
9	質点系の運動の様子(1)	運動量、運動量の保存則
10	質点系の運動の様子(2)	角運動量、各運動量の保存則
11	運動エネルギーと仕事	運動方程式の変形 運動エネルギーとは？ 仕事とは？
12	保存力とポテンシャルエネルギー	保存力とは？ ポテンシャルエネルギーとは？ 非保存力とは？
13	力学的エネルギー（1）	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析（自由落下問題）
14	力学的エネルギー（2）	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析（単振動）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習 力学 [新訂版]（今井功ほか サイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
The first goal of this course is to master the way of thinking in physics of how to derive the equations to be solved from Newton's three laws when analyzing the motion of a point mass. Then, the final goal is to solve these equations using mathematical knowledge and understand the motion of a point mass.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submitted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

池田　浩治

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学は「力学」「電磁気学」「熱統計力学」「量子力学」に大別することができますが、この科目では物理学全般の基礎となる力学（いわゆる「古典力学」）において扱う基本的な運動を「どのように取り扱うかについて」学びます。
古典力学では日常目にする運動を対象としていますが、この科目では、それらの運動の特徴は文章を用いて表現するより、「数式を用いることにより正確に表現できること」、そしてその数式を数学的に変形したり他の物理的特徴と組み合わせたりすることによって「高校物理よりも拡張された取り扱いを理解すること」を学びます。
本科目で取り扱う内容は、物理学に限定された考え方や取り扱い方ではなく、「工学全般の基礎となる考え方や手法」です。経営システム工学科のみなさんにとっては、今後の専門科目において扱う内容とは直接関わり合いがないかもしれませんが、特徴を取り出して数式化する「モデル化」や、その数式を条件式として解いて、「現象の予測」を行うための基礎として、ぜひ「慣れる」「活用できる」ようにしてほしい内容です。
なお、この科目では大きさを無視できる「質点」を中心に扱います。

【到達目標】
全ての工学における基礎的な取り扱いを身につけるため、物理的な自然現象を対象として、観察し、測定し、その結果から規則性を見出して、法則を考え出し、その取り扱いを検討する、という物理学の手法を追体験する経験を通じて、以下の各点を受講生諸君が実現できることが本科目の到達すべき目標です。
1）「位置」「速度」「加速度」などの測定量は、数学的な数値とは異なり、「誤差」を含み「精度」を意識して取り扱うことができること
2）「ニュートンの運動の法則」を理解し、場面に応じて数式の形に表すことができること
3）微分、積分、ベクトルの取り扱いを活用できること
4）運動方程式を微分方程式として考え、解を求めることができること
5）得られた解から運動の様子を具体的に説明できること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
2025年度は「原則対面講義」を予定しています。
ただし、社会情勢から新型コロナウイルス感染防止との兼ね合いなどににによって、オンライン授業となるかもしれません。具体的な授業のやり方などは、４月上旬から適宜「学習支援システム」経由でおしらせします。
対面式での授業実施が可能な場合：
出席確認は教室に設置の「出席管理システム」により行います。
授業中のQuizなどは学内ネットワーク経由でGoogleClassroomにより実施を予定していますが、2025年度から導入の新システムを利用するかもしれません。（これについては、初回講義において説明します）
オンライン式での授業実施が必要な場合：
GoogleClassroom（もしくは2025年度から導入のシステム）を用いて、出席確認、講義資料（動画）の視聴、小テストなどの実施、また、Zoomを用いてリアルタイムな質疑応答や追加説明を行うことになります。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（シラバス　2025_02_08：以下は対面式授業の場合です。オンライン授業でも大筋同様に行います)
授業は指定した教科書の内容にしたがって行います。
教科書を予習して授業に臨んでもらうことが必要です。
ただし、予習の時点で全てを理解しようとせず、「どこの部分がわからないか／どこが理解しにくいか」だけをはっきりさせておいてください。
そうすれば、１００分授業の一部に集中するだけで済むはずですから、授業時間内の緩急を自分で決めやすくなると思います。
そして、授業の後に、自分の理解が深まったことを確認するための復習を行なって、「あれ？ ここはなぜこのように考えるの？」という部分があれば次の講義までにメールなどで質問してください。
授業では、予習の段階で理解しにくそうなところ、また、予習の段階で重要さを見落としそうなところを中心として説明する予定なので、スクリーンに投影する説明が中心となりますが、みなさんの表情を見ながら補足説明を板書する場合もあります。
学期初めは、導入部分は高校で習ったことの復習から始めますが、新たに追加説明される考え方、そして将来にわたって通用する考え方へと拡張されるので、気がつかないうちに高度な内容へ移っていることになります。
そのような展開についてきてもらうとき、「納得して理解すること」に注意を払ってください。ゲームの攻略本のように「丸覚え」したり、単に繰り返しを通じて「反射的に作業する」では応用が効きません。知識の積み重ねる努力が実力に直結することにも注意してください。
毎回、みなさんの理解を確認するためのQuizを複数GoogleClassroom経由で実施します。
そのQuizでは自動採点できるように「ラジオボタンを用いた回答形式」を主に用い、回答送信後に補足説明が自動送付されるように設定する予定です。
場合によっては、授業時間内に説明できない内容、式変形に終始するために従業時間外にじっくり自分で考えてもらう必要がある内容、などを自習用動画などの形式で配布します。
学期を前半と後半に分け、前半のまとめに相当する「中間試験」、後半のまとめを中心とした「期末試験」を実施します。
これらの実施方法については、授業時間に説明します。
以上の詳細は初回に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、 測定に関連した基礎知識	(テキスト第０章) 国際単位系、実測値における有効数字と誤差、測定結果を用いた計算の仕方
2	運動の表し方（１：直交座標系における表現）	(テキスト　1.1-1.3) 一般の運動における位置、速度、加速度の関係。 平面内での等速円運動
3	運動の表し方（２：極座標系における表現）	(テキスト　1.4) 平面内での等速でない円運動、 平面内での極座標を用いた、位置、速度、加速度。
4	運動の法則（１：運動方程式）	第１章の復習 (テキスト 2.1-2.3) 運動方程式を用いた基本的な取り扱い。 １）作用する力が与えられている場合、 ２）作用する加速度が与えられている場合 ３）等速円運動の場合
5	運動の法則（２：運動量） 運動方程式を解く（１：解を仮定して解く）	４）運動量と運動の法則 (テキスト 3.1) 速度に比例する抵抗のみを受ける物体の運動について運動方程式を「解を仮定」により解く。
6	運動方程式を解く（２：変数分離により解く）	(テキスト 3.1) 速度に比例する抵抗のみを受ける物体の運動について運動方程式を「変数分離法」により解く。
7	前半のまとめ（第１回ー第６回）	第１回から第６回までの内容に関するまとめとして、中間試験を実施。
8	運動方程式を解く （３：重力を含む場合） （４：速度の２乗に比例する抵抗の場合）	（テキスト 3.2-3.3） 一定の重力が作用する場合など定数項が含まれている時の取り扱い。 速度の２乗に比例する力を受ける場合の取り扱い。
9	運動方程式を解く （５：単振動）	（テキスト 4.1） バネの復元力のみで往復運動するときの運動方程式を第３章の手順が適用できるかどうかを確かめながら解く。
10	運動の解析 （５：単振動）	（テキスト 4.1） 前回の取り扱いを、テイラー展開と結びつける。 振り子の運動と単振動についても検討する。
11	運動の解析 （６：減衰振動）	（テキスト 4.2） 復元力だけでなく抵抗を受ける運動、の場合について検討する。
12	運動の解析 （７：強制振動）	（テキスト 4.3） 外部から力を周期的に受ける時の運動について検討する。
13	ポテンシャルエネルギーとエネルギー保存（１）	（テキスト 5.1&5.2） 仕事の定義。 運動方程式から「エネルギー原理」を導く。

14	ポテンシャルエネルギーとエネルギー保存（２）	（テキスト 5.3-5.5） 特殊な場面として「保存力」に注目し、ポテンシャルエネルギーの定義を行い、「力学的エネルギー保存則」を導く。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業計画に沿って授業を実施するので、各回に対応する部分のテキストを予習して授業に臨むこと。
あらかじめ「どこがわかりにくいか」「どこが納得できないか」をはっきりさせておくと、授業が理解しやすくなる。
復習においては、テキスト、板書を丸覚えするのではなく、「自分が理解できる言葉を使って表現すること」「略図やグラフを描いて、視覚的に理解を促す」に徹すること。
微分・積分について、高校での理解が不十分な人は，教科書レベルでよいので、復習しておくこと．

【テキスト（教科書）】
理工系のための解く！　シリーズ　「力学」　第２版
著者：平山修、篠原俊二郎、　　出版社：講談社
＊古い版等では、誤りや内容の変更に対応していませんので、上記の「第２版」の「第１１刷以降」を入手してください。
＊「物理学基礎 I（担当：池田）」ではこの教科書の前半（第０章から第５章）を使用し、「物理学基礎 II（担当：池田）」ではこの教科書の後半（第６章から第１０章）を使用します。

【参考書】
必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
2025年度の講義が「対面式講義」「オンライン式講義」いずれかによって評価手法を変えざるを得ません。
具体的な方法と基準は、授業開始日までに学習支援システムで提示します。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（シラバス　2025_02_08：対面式講義の場合）
定期試験６０％（中間試験３０％、最終試験３０％）、授業中に実施するQuiz（４０％）をもとに総合的に評価します。
ただし、「出席していることが大前提」なので、出席点自体は評価に加えませんが、試験回以外の講義回について出席扱いの回数が６割を下回った場合は総合評価の対象には含めず「不可」の評価とします。
総合評価は、到達目標に対して、最低限のレベルに到達している場合を６割以上、若干の理解不足が見られるがほぼ到達目標に到達している場合を７割以上、ほぼ必要な知識を身につけていると考えられる場合を８割以上、知識を自由に運用できるとみなすことができる場合を９割以上の評価とします。
なお、感染症に罹患した、もしくは濃厚接触者となった、などの場合は、できれば事前に（事後なら回復後速やかに）大学が開設しているオンライン窓口経由で申し出てください。それにより、大学から池田宛に連絡が届きますので特例扱いします。（池田宛に個別に直接申し出ることでは、特例扱いできません）
上記についても、講義初回に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回行うQuizは「正解」「不正解」だけでは力を伸ばすことに繋がりません。「不正解」なら「何を誤解していたのか」「何が理解不足だったのか」を学生本人が理解することが一番の勉強です。
そのために、自動送付される補足説明をよく読んで、復習してください。
中間試験、最終試験の結果によれば、「だらだら計算式を並べている」「文字がはっきり書かれていないために採点できない」という答案の場合、内容を理解することをせずに「教科書や補助資料の丸写し」で済ませていることがほとんどです。
「自分にとって慣れていない、異なる考え方を理解する」が学生諸君の思考の柔軟性を養う、ということをよく理解してください。
これらを実現するためには、場合によっては「タイム・パフォーマンス」「コスト・パフォーマンス」より「失敗することを通じて理解を深める」という「ある種の遠回り、無駄と感じられるものを経験すること」が有効であることも知って欲しいものです。
その点では、自習用動画を倍速等でざっと眺める、ということでは、「重要だからこそ強調した部分、理解を促すためにゆっくり説明した部分」を感じ取ることができないことも理解してください。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
対面式講義の場合、講義中にスマートフォンなどを使って写真を撮ることは勧めません。
講義中に「ここは重要」と発言すると、スマートフォンで説明しているスクリーンや板書を写真を撮る諸君がいます。
「自分の手を使って書く」という作業を行うと、理解しやすかったり、記憶に残りやすかったりするのですが、お手軽に写真を撮るだけで済ませている諸君は手元にデータがあるだけで安心するだけで止まるのか、理解すること自体を行っていない雰囲気があります。

【Outline (in English)】
Physics is divided into four major areas, such as dynamics, electromagnetism, thermal statistical mechanics, and quantum mechanics. This course focuses on the topics in classical mechanics, as the basics of whole treatment in physics.
Topics in classical mechanics are found as the phenomena you are familiar in daily life, and main stream in this course is as follows; to know that mathematical expression is proper than expression in text, and to know how to treat the mathematical expression.
The topics in this course will be the basic background for the studies in near future for your own specialities, then it is strongly recommended to master everything in this course.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

加来　滋

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物体や媒質の運動を記述する力学は理工系の様々な科目の基礎である。本講義では、力学の核心である質点（大きさを考慮しなくてよい物体）の力学について、ベクトルの乗法や微分積分を駆使して学ぶ。

【到達目標】
・ニュートンの運動の法則を具体的な問題に適用できる。すなわち、物理現象と場面に応じて数式を立てることができ、得られた解から運動の様子を具体的に説明できること。
・仕事とエネルギーの関係を用いて、質点の運動を調べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義形式を基本とする。理解を深めるために適宜演習を行い、レポート課題を課す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、基礎的事項の復習	春学期の授業内容の説明 座標、位置、速度、加速度
2	力と運動	ニュートンの運動の第1法則、第2法則、第3法則
3	色々な運動 (1)	等速直線運動、等加速度運動、自由落下
4	色々な運動 (2)	斜面に沿う運動、摩擦力、空気抵抗
5	色々な運動 (3)	単振動
6	色々な運動 (4)	単振動と抵抗力
7	色々な運動 (5)	強制振動
8	色々な運動 (6)	抵抗力のある強制振動
9	色々な運動 (7)	単振り子と極座標
10	仕事とエネルギー (1)	仕事・保存力とは、力学的エネルギー保存則
11	仕事とエネルギー (2)	力学的エネルギー保存則に基づく運動解析(単振動)
12	2次元の運動 (1)	抵抗力のある放物運動
13	2次元の運動 (2)	等速円運動、円錐振り子
14	2次元の場合の仕事とエネルギー	仕事・保存力・力学的エネルギー保存則を2次元に拡張する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
高校物理には出てこない新しい数学や物理的概念が出てくるので、理解できるまでよく復習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて参考書を指定する。

【参考書】
力学（戸田盛和 著 岩波書店）
カラー版レベル別に学べる物理学I（末廣一彦・斉藤準・鈴木久男・小野寺彰 著 丸善出版）

【成績評価の方法と基準】
試験を実施できる場合は、試験（80%）、平常点・レポート（20%）で評価する。
試験を実施できない場合は、平常点・レポート（100%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
理解しやすい説明を行うために、板書とスライドを併用する。講義内容の定着を図るために、授業中の演習と宿題を活用する。

【Outline (in English)】
This course introduces the particle dynamics to students taking this course.
Learning activities outside of classroom are review and preparation of reports for each class.
If mid-term and end-term examinations can be conducted, grading will be decided based on the examinations (80%) and reports (20%).
If examinations cannot be conducted, grading will be decided based on reports (100%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

小鍋　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目的とする。本講義では、物理学の中でも特に基礎的な分野である、力学と熱力学について学ぶ。力学は、力と運動に関する学問であり、物理学で必要な思考法や数学的技術を多く含んでいる。一方、熱力学は、熱に関する学問であり、車を動かす動力や気象現象を理解するには無くてはならない。古典力学の基本概念を学ぶ。具体的には、運動の記述法や運動の３法則とその応用を学ぶ。

【到達目標】
・力学では、力や力学的エネルギーなど力学の基礎概念を理解し、自由落下、単振動を通して力学の基本法則を正確に把握する。
・熱力学では、熱と温度の関係、分子運動と熱との関係、熱力学の法則について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	物理学概論序論	微積分とベクトルを用いて運動を表現する方法を学ぶ
2	質点の運動学	速度と加速度
3	質点の力学	運動の法則
4	質点の運動(1)	自由落下、粘性抵抗力のもとでの落下運動
5	質点の運動(2)	単振動
6	質点の運動(3)	減衰振動と強制振動
7	質点系の力学	重心の運動
8	演習	力学の演習
9	熱と温度(1)	熱平衡状態と温度
10	熱と温度(2)	経験温度と熱力学的温度
11	熱と温度(3)	気体の分子運動論
12	熱力学(1)	熱力学第一法則
13	熱力学(2)	熱力学第二法則
14	演習	熱力学の演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces classical mechanics and thermodynamcis, which includes; mathematical representation of motion of mass point, Newton's laws of motion and their application to motion prediction for a particle, work and energy, conservative force and potential energy, conservation of energy, 1st law of thermodynamics and 2nd law of thermodynamics.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of mechanics and thermodynamics described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

小鍋　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目的とする。本講義では、物理学の中でも特に基礎的な分野である、力学と熱力学について学ぶ。力学は、力と運動に関する学問であり、物理学で必要な思考法や数学的技術を多く含んでいる。一方、熱力学は、熱に関する学問であり、車を動かす動力や気象現象を理解するには無くてはならない。古典力学の基本概念を学ぶ。具体的には、運動の記述法や運動の３法則とその応用を学ぶ。

【到達目標】
･力学では、力や力学的エネルギーなど力学の基礎概念を理解し、自由落下、単振動を通して力学の基本法則を正確に把握する。
･熱力学では、熱と温度の関係、分子運動と熱との関係、熱力学の法則について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	物理学概論序論	微積分とベクトルを用いて運動を表現する方法を学ぶ
2	質点の運動学	速度と加速度
3	質点の力学	運動の法則
4	質点の運動(1)	自由落下、粘性抵抗力のもとでの落下運動
5	質点の運動(2)	単振動
6	質点の運動(3)	減衰振動と強制振動
7	質点系の力学	重心の運動
8	演習	力学の演習
9	熱と温度(1)	熱平衡状態と温度
10	熱と温度(2)	経験温度と熱力学的温度
11	熱と温度(3)	気体の分子運動論
12	熱力学(1)	熱力学第一法則
13	熱力学(2)	熱力学第二法則
14	演習	熱力学の演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
･物理法則を正確に理解しているか
･物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces classical mechanics and thermodynamcis, which includes; mathematical representation of motion of mass point, Newton's laws of motion and their application to motion prediction for a particle, work and energy, conservative force and potential energy, conservation of energy, 1st law of thermodynamics and 2nd law of thermodynamics.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of mechanics and thermodynamics described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

今枝　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎Ⅰでは質点の運動についてその解析方法を学んだ。一方、運動の解析に使われた質点という対象は、より現実的な世界における物体の運動、すなわち大きさや形をもった物体の運動の解析には不十分であることも多い。本講義では質点の運動の解析方法を拡張することで、剛体と呼ばれる大きさと形を持ちながらも変形しない物体の運動の解析方法について学ぶ。

【到達目標】
質点の運動を記述する運動方程式を拡張することで、剛体の質量中心の運動を記述する運動方程式、及び回転の運動方程式がどのように導かれるのかを学ぶ。またその過程で質量に代わる物理量として、慣性テンソルや慣性モーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。さらに物体の運動を変化させる物理量としては、力のほかに力のモーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。そのうえで、実際の剛体運動の解析として解くべき関係式を導き、それを数学の知識を使って解き、具体的な剛体運動について解析できるようになることが目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	質点運動の復習	ニュートンの運動の3法則 位置・速度・加速度、及び力の関係
2	質点系の運動(1)	運動量と運動量保存則 質量中心
3	質点系の運動(2)	角運動量と角運動量保存則 ベクトル積の復習
4	剛体	剛体とは 剛体運動の持つ自由度 剛体の質量中心
5	剛体の回転運動(1)	回転運動の数式表現 回転ベクトル
6	剛体の回転運動(2)	回転の運動エネルギー
7	慣性テンソル	慣性テンソルの導入 平行軸の定理
8	角運動量ベクトル	慣性テンソルと角運動量ベクトルの関係
9	慣性モーメント	慣性主軸 主慣性モーメント 慣性乗積
10	連続体としての剛体	連続体の質量中心 連続体の慣性モーメント
11	固定軸周りの剛体の運動(1)	質量中心の運動方程式 回転の運動方程式 剛体振り子の運動
12	固定軸周りの剛体の運動(2)	ヨーヨーの運動 剛体の斜面落下
13	剛体固定座標系での運動(1)	加速度系における運動方程式 遠心力、コリオリ力、オイラー力
14	剛体固定座標系での運動(2)	オイラーの運動方程式 コマの運動

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習力学[新訂版]（今井功ほかサイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。
この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。
ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
In Basic Physics I, we learned how to analyze the motion of a point mass. On the other hand, the object used for the analysis of motion, a point mass, is often insufficient for the analysis of motion of objects in the more realistic world, i.e., objects with size and shape. In this lecture, by extending the method of analyzing the motion of a point mass, we will learn how to analyze the motion of an object called a rigid body, which has size and shape but does not deform.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submitted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

今枝　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎Ⅰでは質点の運動についてその解析方法を学んだ。一方、運動の解析に使われた質点という対象は、より現実的な世界における物体の運動、すなわち大きさや形をもった物体の運動の解析には不十分であることも多い。本講義では質点の運動の解析方法を拡張することで、剛体と呼ばれる大きさと形を持ちながらも変形しない物体の運動の解析方法について学ぶ。

【到達目標】
質点の運動を記述する運動方程式を拡張することで、剛体の質量中心の運動を記述する運動方程式、及び回転の運動方程式がどのように導かれるのかを学ぶ。またその過程で質量に代わる物理量として、慣性テンソルや慣性モーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。さらに物体の運動を変化させる物理量としては、力のほかに力のモーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。そのうえで、実際の剛体運動の解析として解くべき関係式を導き、それを数学の知識を使って解き、具体的な剛体運動について解析できるようになることが目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	質点運動の復習	ニュートンの運動の3法則 位置・速度・加速度、及び力の関係
2	質点系の運動(1)	運動量と運動量保存則 質量中心
3	質点系の運動(2)	角運動量と角運動量保存則 ベクトル積の復習
4	剛体	剛体とは 剛体運動の持つ自由度 剛体の質量中心
5	剛体の回転運動(1)	回転運動の数式表現 回転ベクトル
6	剛体の回転運動(2)	回転の運動エネルギー
7	慣性テンソル	慣性テンソルの導入 平行軸の定理
8	角運動量ベクトル	慣性テンソルと角運動量ベクトルの関係
9	慣性モーメント	慣性主軸 主慣性モーメント 慣性乗積
10	連続体としての剛体	連続体の質量中心 連続体の慣性モーメント
11	固定軸周りの剛体の運動(1)	質量中心の運動方程式 回転の運動方程式 剛体振り子の運動
12	固定軸周りの剛体の運動(2)	ヨーヨーの運動 剛体の斜面落下
13	剛体固定座標系での運動(1)	加速度系における運動方程式 遠心力、コリオリ力、オイラー力
14	剛体固定座標系での運動(2)	オイラーの運動方程式 コマの運動

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習力学[新訂版]（今井功ほかサイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。
この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。
ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
In Basic Physics I, we learned how to analyze the motion of a point mass. On the other hand, the object used for the analysis of motion, a point mass, is often insufficient for the analysis of motion of objects in the more realistic world, i.e., objects with size and shape. In this lecture, by extending the method of analyzing the motion of a point mass, we will learn how to analyze the motion of an object called a rigid body, which has size and shape but does not deform.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submitted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

小鍋　哲

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、光学と電磁気学について学ぶ。光学は、光の学問であり我々の身の回りにあるレーザーや画像処理技術などの基礎となっている。講義では、光の反射、屈折、干渉など光の波としての様々な性質を説明する。電磁気学は、電気・磁気現象に関する学問であり、携帯電話や非接触ICカードの基礎となっている。講義では、電磁気現象の基本である電場、電位、静電容量や電場のエネルギー、電流と磁場の働き、電磁誘導および電磁波の発生について説明する。

【到達目標】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	光学(1)	光の性質について学ぶ
2	光学(2)	光の反射と屈折について学ぶ
3	光学(3)	光の干渉について学ぶ
4	電場(1)	クーロンの法則について学ぶ
5	電場2)	電場と電位について学ぶ
6	電場(3)	静電容量と電場のエネルギーについて学ぶ
7	電流(1)	オームの法則について学ぶ
8	電流(2)	キルヒホッフの法則について学ぶ
9	電流(3)	電流と磁場について学ぶ
10	電流(4)	電流に働く力について学ぶ
11	電磁誘導	ファラデーの法則について学ぶ
12	電磁波	マクスウェル方程式について学ぶ
13	演習	電磁気学の演習について学ぶ
14	量子力学	光量子仮説と量子力学の誕生について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces electromagnetism, which includes; Coulomb's law, Gauss's law, Biot-Savart' law, Faraday's law.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of electromagnetism described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

加来　滋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、力学の応用事例として惑星の運動、剛体、波動について学ぶ。それぞれ、質点の力学から身近な天体の運動を計算できること、大きさと形を持つ具体的な物体の運動を理解できること、力学的な波動の性質について理解すること、を目的とする。

【到達目標】
・ニュートンの運動の法則を惑星の運動に適用できる。
・剛体の運動方程式を理解し、具体的な問題に適用できる。
・波動の性質を理解し、具体的な問題に適用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義形式を基本とする。理解を深めるために適宜演習を行い、レポート課題を課す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業内容の説明
	惑星の運動 (1)	Keplerの法則
2	惑星の運動 (2)	円錐曲線、円、楕円、放物線、双曲線
3	惑星の運動 (3)	中心力場中の運動 Keplerの法則から万有引力を求める
4	惑星の運動 (4)	万有引力の下での運動からKeplerの法則を求める エネルギー保存則
5	惑星の運動 (5)	運動方程式を解いて万有引力下の運動を求める
6	角運動量	角運動量、力のモーメント、角運動量保存則
7	2質点系の運動	相対座標、重心運動、換算質量
8	剛体 (1)	剛体の運動方程式
9	剛体 (2)	固定軸周りの剛体運動
10	剛体 (3)	慣性モーメント
11	剛体 (4)	剛体の転がり運動
12	加速度運動する系の運動	慣性力と遠心力とコリオリ力
13	波の物理 (1)	波動方程式、波の重ね合わせと干渉
14	波の物理 (2)	波の反射・透過、定在波

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
高校物理には出てこない新しい数学や物理的概念が出てくるので、理解できるまでよく復習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて参考書を指定する。

【参考書】
力学（戸田盛和 著 岩波書店）
カラー版レベル別に学べる物理学Ⅰ（末廣一彦・斉藤準・鈴木久男・小野寺彰 著 丸善出版）

【成績評価の方法と基準】
試験を実施できる場合は、試験（80%）、平常点・レポート（20%）で評価する。
試験を実施できない場合は、平常点・レポート（100%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
理解しやすい説明を行うために、板書とスライドを併用する。講義内容の定着を図るために、授業中の演習と宿題を活用する。

【Outline (in English)】
This course introduces the dynamics of planetary motion, rigid body and wave motion to students taking this course.
Learning activities outside of classroom are review and preparation of reports for each class.
If mid-term and end-term examinations can be conducted, grading will be decided based on the examinations (80%) and reports (20%).
If examinations cannot be conducted, grading will be decided based on reports (100%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

今枝　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎Ⅰでは質点の運動についてその解析方法を学んだ。一方、運動の解析に使われた質点という対象は、より現実的な世界における物体の運動、すなわち大きさや形をもった物体の運動の解析には不十分であることも多い。本講義では質点の運動の解析方法を拡張することで、剛体と呼ばれる大きさと形を持ちながらも変形しない物体の運動の解析方法について学ぶ。

【到達目標】
質点の運動を記述する運動方程式を拡張することで、剛体の質量中心の運動を記述する運動方程式、及び回転の運動方程式がどのように導かれるのかを学ぶ。またその過程で質量に代わる物理量として、慣性テンソルや慣性モーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。さらに物体の運動を変化させる物理量としては、力のほかに力のモーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。そのうえで、実際の剛体運動の解析として解くべき関係式を導き、それを数学の知識を使って解き、具体的な剛体運動について解析できるようになることが目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	質点運動の復習	ニュートンの運動の3法則 位置・速度・加速度、及び力の関係
2	質点系の運動(1)	運動量と運動量保存則 質量中心
3	質点系の運動(2)	角運動量と角運動量保存則 ベクトル積の復習
4	剛体	剛体とは 剛体運動の持つ自由度 剛体の質量中心
5	剛体の回転運動(1)	回転運動の数式表現 回転ベクトル
6	剛体の回転運動(2)	回転の運動エネルギー
7	慣性テンソル	慣性テンソルの導入 平行軸の定理
8	角運動量ベクトル	慣性テンソルと角運動量ベクトルの関係
9	慣性モーメント	慣性主軸 主慣性モーメント 慣性乗積
10	連続体としての剛体	連続体の質量中心 連続体の慣性モーメント
11	固定軸周りの剛体の運動(1)	質量中心の運動方程式 回転の運動方程式 剛体振り子の運動
12	固定軸周りの剛体の運動(2)	ヨーヨーの運動 剛体の斜面落下
13	剛体固定座標系での運動(1)	加速度系における運動方程式 遠心力、コリオリ力、オイラー力
14	剛体固定座標系での運動(2)	オイラーの運動方程式 コマの運動

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習力学[新訂版]（今井功ほかサイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。
この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。
ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
In Basic Physics I, we learned how to analyze the motion of a point mass. On the other hand, the object used for the analysis of motion, a point mass, is often insufficient for the analysis of motion of objects in the more realistic world, i.e., objects with size and shape. In this lecture, by extending the method of analyzing the motion of a point mass, we will learn how to analyze the motion of an object called a rigid body, which has size and shape but does not deform.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submuted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

今枝　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学基礎Ⅰでは質点の運動についてその解析方法を学んだ。一方、運動の解析に使われた質点という対象は、より現実的な世界における物体の運動、すなわち大きさや形をもった物体の運動の解析には不十分であることも多い。本講義では質点の運動の解析方法を拡張することで、剛体と呼ばれる大きさと形を持ちながらも変形しない物体の運動の解析方法について学ぶ。

【到達目標】
質点の運動を記述する運動方程式を拡張することで、剛体の質量中心の運動を記述する運動方程式、及び回転の運動方程式がどのように導かれるのかを学ぶ。またその過程で質量に代わる物理量として、慣性テンソルや慣性モーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。さらに物体の運動を変化させる物理量としては、力のほかに力のモーメントと呼ばれる物理量が導入されることを理解する。そのうえで、実際の剛体運動の解析として解くべき関係式を導き、それを数学の知識を使って解き、具体的な剛体運動について解析できるようになることが目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義は対面で行うが、板書はすべてzoom上のホワイトボードを共有・配信することでおこなう。資料の提示もzoomの画面共有を通じて行うので、受講に際してはzoomの受信を適切に行えるデバイスを持ち込んで使用すること。また初回授業までにzoomの使い方に慣れておくこと。zoomの接続先は別途指示する。
授業は講義形式で行うが質問は授業中随時受け付ける。受動的な受講ではなく、学生の積極的な授業参加を期待したい。また提出されたノートのうち良いものに関しては、次回の講義にてその一部を紹介し、学習の進め方、試験持ち込み用の自筆ノートの準備に対してフィードバックを行うことがある。（その際、個人情報に繋がる記述に関しては公開しない）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	質点運動の復習	ニュートンの運動の3法則 位置・速度・加速度、及び力の関係
2	質点系の運動(1)	運動量と運動量保存則 質量中心
3	質点系の運動(2)	角運動量と角運動量保存則 ベクトル積の復習
4	剛体	剛体とは 剛体運動の持つ自由度 剛体の質量中心
5	剛体の回転運動(1)	回転運動の数式表現 回転ベクトル
6	剛体の回転運動(2)	回転の運動エネルギー
7	慣性テンソル	慣性テンソルの導入 平行軸の定理
8	角運動量ベクトル	慣性テンソルと角運動量ベクトルの関係
9	慣性モーメント	慣性主軸 主慣性モーメント 慣性乗積
10	連続体としての剛体	連続体の質量中心 連続体の慣性モーメント
11	固定軸周りの剛体の運動(1)	質量中心の運動方程式 回転の運動方程式 剛体振り子の運動
12	固定軸周りの剛体の運動(2)	ヨーヨーの運動 剛体の斜面落下
13	剛体固定座標系での運動(1)	加速度系における運動方程式 遠心力、コリオリ力、オイラー力
14	剛体固定座標系での運動(2)	オイラーの運動方程式 コマの運動

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
本講義では、高校で学んだ数学のうち、ベクトル、行列、数学Ⅲの微分積分を一通りは理解しているという前提で授業を進めます。これらの理解が不十分な場合には、並行して、高校数学について復習あるいは独習を行うとともに、授業中に積極的に質問し理解に努めるようにしてください。積極的な授業参加を期待します。
また後述のように、講義ノートを毎回PDF化したうえで提出してもらいます。ノートのPDF化については手段は問いませんが、授業中にその方法の一例については紹介します。また、復習時に新たに調べて理解したことなどをノートに追記して、ノートの記載事項を充実させることを推奨します。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
演習力学[新訂版]（今井功ほかサイエンス社）
その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
毎回、講義でとったノートをPDF化した上で提出してもらう。
この提出されたノートの内容評価を40%、期末レポートの内容評価を60%として、その合計で最終評価を決定をする。
ノートの評価基準は、もし期末試験が行われたと仮定した場合に、そのノートを試験会場に持ち込んだ時に十分な解答作成資料として機能するかどうかで判断する。
期末レポートに関しては、課された内容に関して、図、文章、及び数式展開によりしっかりと論理的な説明ができているか、他人がそのレポートを読んだだけで解答者からの補足説明を受けずにその内容を理解できるものとなっているか？ で判断する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
教室講義であってもzoomのスライド共有機能、ホワイトボード機能を使用して講義を行う。各自zoomを十分に操作・視聴できる環境やデバイスを準備し、その使い方に慣れておくこと。また提出ノートやレポートはPDF書類として提出することを求める。どのようにPDF書類を作成するか、その方法は問わないが、例えば手書きのものをPDF化するならばスマホアプリのスキャナなどを利用する方法がある。詳しいことは授業開始時に指示する。

【Outline (in English)】
In Basic Physics I, we learned how to analyze the motion of a point mass. On the other hand, the object used for the analysis of motion, a point mass, is often insufficient for the analysis of motion of objects in the more realistic world, i.e., objects with size and shape. In this lecture, by extending the method of analyzing the motion of a point mass, we will learn how to analyze the motion of an object called a rigid body, which has size and shape but does not deform.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end report: 60%, Submitted notes by PDF after each lecture: 40%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ＩＩ

池田　浩治

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この科目では物理学全般の基礎となる力学（いわゆる「古典力学」）の基礎に関する理解をさらに深めることを目的として、「物理学基礎Ｉ」で対象とした「質点の並進運動」を拡張して、「質点の回転運動」「剛体の運動」「非慣性系での運動」について学ぶ。
（「物理学基礎Ｉ」のシラバスも参照してください）

【到達目標】
物理学基礎Ｉに続いて物理学の基礎のステップアップをはかるため、以下に関する物理的な意味を理解し、その数学的取り扱い方を学生諸君が修得することを目指す。
１）回転に関わる物理量を理解し、質点の回転運動に関する運動方程式から導かれる内容を説明できること
２）遠心力と向心力を明確に区別できること
３）２体問題での取り扱い方を説明できること
４）剛体のつりあい条件を説明できること
５）剛体の回転運動について考え方を説明できること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
2025年度は「原則対面講義」を予定しています。
ただし、社会情勢から新型コロナウイルス感染防止との兼ね合いなどににによって、オンライン授業となるかもしれません。具体的な授業のやり方などは、９月中旬から適宜「学習支援システム」経由でおしらせします。
対面式での授業実施が可能な場合：
出席確認は教室に設置の「出席管理システム」により行います。
授業中のQuizなどは学内ネットワーク経由でGoogleClassroomにより実施を予定していますが、2025年度から導入の新システムを利用するかもしれません。（これについては、初回講義において説明します）
オンライン式での授業実施が必要な場合：
GoogleClassroom（もしくは2025年度から導入のシステム）を用いて、出席確認、講義資料（動画）の視聴、小テストなどの実施、また、Zoomを用いてリアルタイムな質疑応答や追加説明を行うことになります。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（シラバス　2025_02_08：以下は対面式授業の場合です。オンライン授業でも大筋同様に行います)
授業は指定した教科書の内容にしたがって行います。
教科書を予習して授業に臨んでもらうことが必要です。
ただし、予習の時点で全てを理解しようとせず、「どこの部分がわからないか／どこが理解しにくいか」だけをはっきりさせておいてください。
そうすれば、１００分授業の一部に集中するだけで済むはずですから、授業時間内の緩急を自分で決めやすくなると思います。
そして、授業の後に、自分の理解が深まったことを確認するための復習を行なって、「あれ？ ここはなぜこのように考えるの？」という部分があれば次の講義までにメールなどで質問してください。
授業では、予習の段階で理解しにくそうなところ、また、予習の段階で重要さを見落としそうなところを中心として説明する予定なので、スクリーンに投影する説明が中心となりますが、みなさんの表情を見ながら補足説明を板書する場合もあります。
学期初めは、導入部分は高校で習ったことの復習から始めますが、新たに追加説明される考え方、そして将来にわたって通用する考え方へと拡張されるので、気がつかないうちに高度な内容へ移っていることになります。
そのような展開についてきてもらうとき、「納得して理解すること」に注意を払ってください。ゲームの攻略本のように「丸覚え」したり、単に繰り返しを通じて「反射的に作業する」では応用が効きません。知識の積み重ねる努力が実力に直結することにも注意してください。
毎回、みなさんの理解を確認するためのQuizを複数GoogleClassroom経由で実施します。
そのQuizでは自動採点できるように「ラジオボタンを用いた回答形式」を主に用い、回答送信後に補足説明が自動送付されるように設定する予定です。
場合によっては、授業時間内に説明できない内容、式変形に終始するために従業時間外にじっくり自分で考えてもらう必要がある内容、などを自習用動画などの形式で配布します。
学期を前半と後半に分け、前半のまとめに相当する「中間試験」、後半のまとめを中心とした「期末試験」を実施します。
これらの実施方法については、授業時間に説明します。
以上の詳細は初回に説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	力のモーメントと角運動量	物体を回転させる力の働きを「力のモーメント」として表現するための「外積」を学ぶ。 さらに物体の回転運動の大きさを表現する「角運動量」について検討する。 （テキスト　6.1 &6.2)
2	質点の回転運動（１：回転の運動方程式と中心力）	回転運動を表す運動方程式について学ぶ。 特殊な場面として中心力が作用するときについて検討する。 （テキスト 6.3 &6.4）
3	質点の回転運動（２：万有引力とそのポテンシャル）	万有引力の取り扱いを拡張する。球殻定理の背景を理解し、使い方を学ぶ。 （テキスト 7.1）
4	質点の回転運動（３：万有引力と惑星の運動）	惑星の運動に関する「ケプラーの法則」を万有引力から検討する。 （テキスト 7.2）
5	慣性力と遠心力	「向心力」と「遠心力」を正しく理解するために、どの座標系から眺めているかを意識しながら検討する （テキスト 8.1 &8.2）
6	回転座標系での運動方程式	二次元座標系において、同じ運動を静止座標系と回転座標系から眺めたときにどのように異なるかを検討。 コリオリの力についても触れる。 （テキスト　８.3 &8.4）
7	まとめ（中間）	第１回から第６回までの内容の理解度合いを確認するために、中間試験を実施。
8	質点系の力学（１：２体問題と換算質量）	２物体からなる「系」の運動をどのように取り扱うかについて検討する。 （テキスト 9.1 &9.2)
9	質点系の力学（２：２物体の衝突）	二つの物体が衝突する際の取り扱いについて検討する。 （テキスト 9.3）
10	質点系の力学（３：質量が変化する場合の運動）	燃料を燃焼ガスとして噴射しながら運動するロケットなど、質量が変化する物体の運動について、その取り扱いについて検討する。 （テキスト 9.5)
11	剛体の運動（１：剛体のつりあい条件）	大きさが無視できず、変形しない物体（剛体）が静止する条件について検討する。 （テキスト 10.1）
12	剛体の運動（２：固定軸周りの剛体の運動）	固定軸を回転中心とした剛体の回転運動について、その取り扱いを検討する。 （テキスト 10.2）
13	剛体の運動（３：剛体の平面内での運動）	平板状の円板や筒状の円筒が転がる場合、並進運動と回転運動の両方を考慮する必要がある。その取り扱いについて検討する。 （テキスト 10.3）
14	剛体の運動（４：撃力による剛体の運動）	剛体が撃力を受ける場合の運動について検討する。 （テキスト 10.4）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業計画に沿って授業を実施するので、各回に対応する部分のテキストを予習して授業に臨むこと。
あらかじめ「どこがわかりにくいか」「どこが納得できないか」をはっきりさせておくと、授業が理解しやすくなる。
復習においては、テキスト、板書を丸覚えするのではなく、「自分が理解できる言葉を使って表現すること」「略図やグラフを描いて、視覚的に理解を促す」に徹すること。
微分・積分について、高校での理解が不十分な人は，教科書レベルでよいので、復習しておくこと．

【テキスト（教科書）】
理工系のための解く！　シリーズ　「力学」　第２版
著者：平山修、篠原俊二郎、　　出版社：講談社

＊古い版等では、誤りや内容の変更に対応していませんので、上記の「第２版」の「第１１刷以降」を入手してください。
＊「物理学基礎Ⅰ（担当：池田）」ではこの教科書の前半（第０章から第５章）を使用し、「物理学基礎Ⅱ（担当：池田）」ではこの教科書の後半（第６章から第１０章）を使用します。

【参考書】
必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
2025年度の講義が「対面式講義」「オンライン式講義」いずれかによって評価手法を変えざるを得ません。
具体的な方法と基準は、授業開始日までに学習支援システムで提示します。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（シラバス　2025_02_08：対面式講義の場合）
定期試験６０％（中間試験３０％、最終試験３０％）、授業中に実施するQuiz（４０％）をもとに総合的に評価します。
ただし、「出席していることが大前提」なので、出席点自体は評価に加えませんが、試験回以外の講義回について出席扱いの回数が６割を下回った場合は総合評価の対象には含めず「不可」の評価とします。
総合評価は、到達目標に対して、最低限のレベルに到達している場合を６割以上、若干の理解不足が見られるがほぼ到達目標に到達している場合を７割以上、ほぼ必要な知識を身につけていると考えられる場合を８割以上、知識を自由に運用できるとみなすことができる場合を９割以上の評価とします。
なお、感染症に罹患した、もしくは濃厚接触者となった、などの場合は、できれば事前に（事後なら回復後速やかに）大学が開設しているオンライン窓口経由で申し出てください。それにより、大学から池田宛に連絡が届きますので特例扱いします。（池田宛に個別に直接申し出ることでは、特例扱いできません）
上記についても、講義初回に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回行うQuizは「正解」「不正解」だけでは力を伸ばすことに繋がりません。「不正解」なら「何を誤解していたのか」「何が理解不足だったのか」を学生本人が理解することが一番の勉強です。
そのために、自動送付される補足説明をよく読んで、復習してください。
中間試験、最終試験の結果によれば、「だらだら計算式を並べている」「文字がはっきり書かれていないために採点できない」という答案の場合、内容を理解することをせずに「教科書や補助資料の丸写し」で済ませていることがほとんどです。
「自分にとって慣れていない、異なる考え方を理解する」が学生諸君の思考の柔軟性を養う、ということをよく理解してください。
これらを実現するためには、場合によっては「タイム・パフォーマンス」「コスト・パフォーマンス」より「失敗することを通じて理解を深める」という「ある種の遠回り、無駄と感じられるものを経験すること」が有効であることも知って欲しいものです。
その点では、自習用動画を倍速等でざっと眺める、ということでは、「重要だからこそ強調した部分、理解を促すためにゆっくり説明した部分」を感じ取ることができないことも理解してください。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
対面式講義の場合、講義中にスマートフォンなどを使って写真を撮ることは勧めません。
講義中に「ここは重要」と発言すると、スマートフォンで説明しているスクリーンや板書を写真を撮る諸君がいます。
「自分の手を使って書く」という作業を行うと、理解しやすかったり、記憶に残りやすかったりするのですが、お手軽に写真を撮るだけで済ませている諸君は手元にデータがあるだけで安心するだけで止まるのか、理解すること自体を行っていない雰囲気があります。

【Outline (in English)】
This course focuses on the topics in classical mechanics, to deepen your understanding on the motion of rigid body as well as point mass. The analysis in non-inertial system is also discussed.
This course is the step-up course of "Physics basics I".

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

加来　滋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、力学の応用事例として惑星の運動、剛体、波動について学ぶ。それぞれ、質点の力学から身近な天体の運動を計算できること、大きさと形を持つ具体的な物体の運動を理解できること、力学的な波動の性質について理解すること、を目的とする。

【到達目標】
・ニュートンの運動の法則を惑星の運動に適用できる。
・剛体の運動方程式を理解し、具体的な問題に適用できる。
・波動の性質を理解し、具体的な問題に適用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義形式を基本とする。理解を深めるために適宜演習を行い、レポート課題を課す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業内容の説明
	惑星の運動 (1)	Keplerの法則
2	惑星の運動 (2)	円錐曲線、円、楕円、放物線、双曲線
3	惑星の運動 (3)	中心力場中の運動 Keplerの法則から万有引力を求める
4	惑星の運動 (4)	万有引力の下での運動からKeplerの法則を求める エネルギー保存則
5	惑星の運動 (5)	運動方程式を解いて万有引力下の運動を求める
6	角運動量	角運動量、力のモーメント、角運動量保存則
7	2質点系の運動	相対座標、重心運動、換算質量
8	剛体 (1)	剛体の運動方程式
9	剛体 (2)	固定軸周りの剛体運動
10	剛体 (3)	慣性モーメント
11	剛体 (4)	剛体の転がり運動
12	加速度運動する系の運動	慣性力と遠心力とコリオリ力
13	波の物理 (1)	波動方程式、波の重ね合わせと干渉
14	波の物理 (2)	波の反射・透過、定在波

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
高校物理には出てこない新しい数学や物理的概念が出てくるので、理解できるまでよく復習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて参考書を指定する。

【参考書】
力学（戸田盛和 著 岩波書店）
カラー版レベル別に学べる物理学Ⅰ（末廣一彦・斉藤準・鈴木久男・小野寺彰 著 丸善出版）

【成績評価の方法と基準】
試験を実施できる場合は、試験（80%）、平常点・レポート（20%）で評価する。
試験を実施できない場合は、平常点・レポート（100%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
理解しやすい説明を行うために、板書とスライドを併用する。講義内容の定着を図るために、授業中の演習と宿題を活用する。

【Outline (in English)】
This course introduces the dynamics of planetary motion, rigid body and wave motion to students taking this course.
Learning activities outside of classroom are review and preparation of reports for each class.
If mid-term and end-term examinations can be conducted, grading will be decided based on the examinations (80%) and reports (20%).
If examinations cannot be conducted, grading will be decided based on reports (100%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

小鍋　哲

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、光学と電磁気学について学ぶ。光学は、光の学問であり我々の身の回りにあるレーザーや画像処理技術などの基礎となっている。講義では、光の反射、屈折、干渉など光の波としての様々な性質を説明する。電磁気学は、電気・磁気現象に関する学問であり、携帯電話や非接触ICカードの基礎となっている。講義では、電磁気現象の基本である電場、電位、静電容量や電場のエネルギー、電流と磁場の働き、電磁誘導および電磁波の発生について説明する。

【到達目標】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	光学(1)	光の性質について学ぶ
2	光学(2)	光の反射と屈折について学ぶ
3	光学(3)	光の干渉について学ぶ
4	電場(1)	クーロンの法則について学ぶ
5	電場2)	電場と電位について学ぶ
6	電場(3)	静電容量と電場のエネルギーについて学ぶ
7	電流(1)	オームの法則について学ぶ
8	電流(2)	キルヒホッフの法則について学ぶ
9	電流(3)	電流と磁場について学ぶ
10	電流(4)	電流に働く力について学ぶ
11	電磁誘導	ファラデーの法則について学ぶ
12	電磁波	マクスウェル方程式について学ぶ
13	演習	電磁気学の演習について学ぶ
14	量子力学	光量子仮説と量子力学の誕生について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces electromagnetism, which includes; Coulomb's law, Gauss's law, Biot-Savart' law, Faraday's law.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of electromagnetism described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

小鍋　哲

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、光学と電磁気学について学ぶ。光学は、光の学問であり我々の身の回りにあるレーザーや画像処理技術などの基礎となっている。講義では、光の反射、屈折、干渉など光の波としての様々な性質を説明する。電磁気学は、電気・磁気現象に関する学問であり、携帯電話や非接触ICカードの基礎となっている。講義では、電磁気現象の基本である電場、電位、静電容量や電場のエネルギー、電流と磁場の働き、電磁誘導および電磁波の発生について説明する。

【到達目標】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	光学(1)	光の性質について学ぶ
2	光学(2)	光の反射と屈折について学ぶ
3	光学(3)	光の干渉について学ぶ
4	電場(1)	クーロンの法則について学ぶ
5	電場2)	電場と電位について学ぶ
6	電場(3)	静電容量と電場のエネルギーについて学ぶ
7	電流(1)	オームの法則について学ぶ
8	電流(2)	キルヒホッフの法則について学ぶ
9	電流(3)	電流と磁場について学ぶ
10	電流(4)	電流に働く力について学ぶ
11	電磁誘導	ファラデーの法則について学ぶ
12	電磁波	マクスウェル方程式について学ぶ
13	演習	電磁気学の演習について学ぶ
14	量子力学	光量子仮説と量子力学の誕生について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces electromagnetism, which includes; Coulomb's law, Gauss's law, Biot-Savart' law, Faraday's law.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of electromagnetism described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎Ⅰ

落合　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「化学が日常生活にどう結びついているか」について、化学だけでなく、自然科学全体を俯瞰しながら深く学ぶ。また、それを通して、科学的な視点・考え方から問題解決能力までを幅広く身に付けることを目的とする。

【到達目標】
1．化学の基礎知識、とくに単位や物理量とそれらの扱い方・計算法の習得
2．論文など、科学的に信頼できる情報の見分け方とその活用法の習得
3．身近な現象を科学的視点でとらえ、考え、自分の言葉で説明できる
4．科学や環境に関する諸問題について論理的に考察し、解決策を提案できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書のテーマをふまえた実験を中心に、動画、PowerPointスライド、参考になるwebサイトの紹介など、さまざまなツールを活用して講義を進める。随時、質疑応答やグループディスカッションなどをおりまぜ、リアルタイム双方向の講義を展開する。毎回の講義終了後、学習支援システムの「教材」に、講義中に演示した実験の動画や参考になるwebサイトのリンクをアップロードし、復習できるようにする。また「授業内掲示板」も活用して、受講者がまとめたノートの共有や、講義時間内に終了しなかった質疑応答などを行い、学習支援システムでも双方向に講義内容を深めていく。**2～3回、演習課題を出題し、電子メールで答案を提出してもらう。提出された答案には、それぞれ電子メールでコメントを返信する。**優秀な答案は講義内で発表してもらい、学習支援システムにもアップロードして、受講者全員で共有する。授業は、**対面＋Zoomのハイフレックス形式で行う予定である。健康上の理由などで講義室で受講できない学生はもちろん、対面で受講している学生にも、Zoomに入室してもらい、チャット機能で随時質問を受け付ける**（「気軽に質問できるうえ飛沫も飛ばず安心」という感想があったため、対面講義でもZoomを併用している）。また、教員が出張等で講義室に行けなかったり、講義室ではできない大がかりな実験を演示したりする場合は、対面ではなく完全にオンラインでの授業とする（2022年度は、教員が国際学会開催地のチリから、時差も考慮してリアルタイムオンライン授業を実施したことがあった）。下記の【授業計画】には、現時点で予定している授業形態を記載してある。詳細は毎回の講義前に学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	【実験：空はなぜ青い？】身近な現象を科学的な視点で考える
2	教科書第1章 空気①	【実験：空気とその動き】分子レベルで見た日々の呼吸
3	教科書第1章 空気②	【実験：風船からわかること①】空気の成分と濃度、空気汚染の原因物質
4	教科書第1章 空気③	【実験：風船からわかること②】空気に関する計算、空気まとめ
5	教科書第2章 オゾン層の保護①	【実験：オゾン層をつくってみる】大気圏の構造とオゾン層の正体
6	教科書第2章 オゾン層の保護②	【実験：紫外線のエネルギー】紫外線による酸素とオゾンの化学反応
7	教科書第2章 オゾン層の保護③	【実験：さまざまな光】紫外線、可視光線、赤外線・・・
8	教科書第2章 オゾン層の保護④	【実験：光とは何か】光は波？ 粒子？
9	教科書第2章 オゾン層の保護⑤	【実験：原子と周期表】原子とその性質、オゾン層の保護まとめ
10	教科書第3章 全地球的気候変動①	【実験：フーリエ解析】地球温暖化とその研究の歴史
11	教科書第3章 全地球的気候変動②	【実験：情報のとらえかた】地球温暖化をめぐる政治や社会の動き
12	教科書第3章 全地球的気候変動③	【実験：新しいエネルギー】地球温暖化と私たちの未来
13	教科書第3章 全地球的気候変動④	【グループディスカッション】地球温暖化と私たちの未来
14	演習問題、まとめ	科学的に信頼できる情報の収集方法、具体的な問題の考え方・解き方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】高校までの授業で化学が苦手だったとしても（あるいは化学を全く履修してこなかったとしても）問題ないように内容を工夫しているので、高校までの化学をしっかり理解していなくてもよい。そのかわり、インターネットを駆使して必要な情報を集める、PowerPoint等で答案を作成して電子メールで提出する、といったPCの基本的な使用方法に慣れておくこと。**2～3回、演習課題を出題するが、いずれも、受験までで接してきた「正解」のある問題ではなく、「地球温暖化問題を解決するためには、どうしたらよいか、自分の考えを述べよ。形式自由だが、PowerPointならスライド20枚以上を目安に、濃い内容とすること」といった、自分で考え、自分の言葉で説明しなければならない「難問」とする予定。インターネットやAIに答を求めたり、いわゆる「過去問」を入手したり、一夜漬けなどをしても、評価の高い答案の作成にはほとんど役立たない。提出期限を長めに設定するので、時間をかけて情報を吟味し、論理を構築して、オリジナリティの高い答案を作成すること。**

【テキスト（教科書）】
『実感する化学(上巻・地球感動編)』アメリカ化学会　著、廣瀬千秋訳著、エヌ・ティー・エス(2015 年発刊)、本体3,500円＋税
http://www.nts-book.co.jp/item/detail/summary/kagaku/20151201_158.html
※この書籍の構成にそって授業を行うが、内容を一字一句ていねいにおいかけたり、演習問題をひとつひとつ解いたりはしない。したがって、この書籍がないと毎回の講義についていけない、というわけではない。しかし、講義内容をじゅうぶんに理解し、課題について深く考察するためには、この書籍の通読が近道となる場合が多いため、この書籍を「参考書」ではなく「教科書」とした。なお【授業計画】に記した通り、春学期は第１～３章を使用する。秋学期の「化学基礎Ⅱ」で、残りの第４～６章を使用する。**春秋を通じての履修をおすすめする。**

【参考書】
『ファラデーのつくった世界　ロウソクの科学が歴史を変えた』藤嶋昭・落合剛・濱田健吾　著、化学同人(2024 年3月発刊)、本体2,000円＋税
https://www.kagakudojin.co.jp/book/b632970.html
※担当教員が実験部分を主に執筆した書籍。講義で実演する実験も多数収録されているため、より深く講義内容を理解する手助けとなる。
そのほか、参考となる書籍は、講義や学習支援システム上で随時紹介する。専門書、一般書、科学論文、webページやYouTube動画など、講義内容に関連する話題を幅広く紹介する予定。

【成績評価の方法と基準】
●上記の到達目標に記載した４つの項目の習得度を、いくつかの演習課題および期末試験問題から評価する。出題するのは、いずれも、いわゆる「正解」など存在せず、インターネットやAIで調べたり、過去問を入手したところで、簡単に高評価が得られない「難問」になっている。高校までの勉強は、ひとつの問題にひとつの正解があって、そのパターンを覚えてしまえば点が取れるが、大学では、与えられた問はきっかけにすぎず、それに答えたうえで、さらにどこまで自分の世界をひろげられるか、「自発的な学び」が重要になる。大学院や社会人になると、問すら与えられず、まず世の中のどこに問題があるか自分で探す。多くの環境問題がそうであるように、そんな問題にまだ「正解」などないので、より多くの人が納得できる答を、できれば複数、提案できる能力が求められる。つまり、みなさんのこれからの人生では、「覚えること」よりも「考え、説明すること」の方が圧倒的に多くなる。そういうわけでこの講義では**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準になる。**
●目標１については、講義や教科書の内容をもとに計算を中心とした問題を出題して評価する。目標２および３については、講義中に実際の科学論文などを参考資料として説明し、それをふまえた考察中心の問題を出題する。目標４については、科学や地球環境をめぐる時事問題に目を向け、様々な視点から新しい提案を構築する能力を問う問題を出題する。試験問題は、これらの項目すべてにわたる総合的な問題を出題する予定である。したがって、これらの演習課題や試験問題の解き方が、成績評価の主な対象となる。なお、演習課題に対し優秀な答案を提出した者については、講義中に発表してもらうことがあり、その発表姿勢も評価対象となる。平常点としては、模範解答の発表や講義の解説に対するコメントや、学習支援システムの掲示板への投稿など、積極的な講義参加を評価対象とする（科学の知識は必ずしも重要ではない。実験へのリアクションや、素朴な疑問・感想等でも評価対象となる）。上記のように**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準だから、出席しただけで加点されるような「出席点」は考慮しない。配点としては、期末試験（あるいは試験相当課題）が40%、演習課題の合計が30%、その他平常点が30%程度である。**

【学生の意見等からの気づき】
●春学期・秋学期の３・４限で計４回実施したアンケートを集計すると、下記の通りとなった（対象者数のべ100名、回答率33%）。

Q1.この授業では、積極的な工夫がされていましたか
（５段階評価での各段階の回答者数を記載）
大変工夫していた←20，10，1，1，1→あまり工夫していない
（「大変工夫していた」を5点とすると平均4.4点）
Q3.この授業内容を理解できましたか
大変理解できた←13，12，6，1，1→理解できなかった
（同、平均4.1点）
Q4.この授業を履修してよかったと思いますか
大変よかった←17，10，4，1，1→よくなかった
（同、平均4.2点）

回答した受講生の多くが講義にポジティブな印象をもっていることがうかがえた。「Q5.この授業を履修して、よかった点や改善してほしい点等を記入してください」という設問に対しては、具体的な感想や意見が寄せられ、気づくことも多々あった。それらの意見や気づきは、「教員コメント」機能を使い、受講生の意見を抜粋・引用しながら紹介し、フィードバックとした。いくつか、以下に例示する（太字が受講生の回答部分）。

●「数学などとは違って、答えのない問いに取り組むのが初めてで新鮮でした」「講義をただ受けるのではなく、主体的に授業を受けることができたのは、ほかの授業にはない部分だと思う」という感想、うれしいですね。本来、学びは自主的な行動ですので、みなさん自身が自主的に学びたくなるような工夫をいつも考えています。興味深さが増すことで、たくさんの疑問や質問も生まれていましたね。今後も、みなさんの興味を引き出しつつ、気軽に質問できる環境を準備しておきます！
●「レポートでは、今まで当たり前に思っていたことを真剣に考えることによって、新しく覚えたものや、新しい視点を持つことができました」「パワーポイントの作成等大変なこともいくつかあったが、自身の思考力が鍛えられた気がします」というコメント、ありがとうございます。課題やグループディスカッションは、みなさんの考える力や説明するスキルをきたえるために、テーマを設定する私の方も、いろいろ考えていますよ。楽しみながらしっかり力がついたようで、良かったです。
●「自宅からのZoomの際に教室では行えない様な実験をみれたのが楽しかった」「ZOOMも利用して授業をしていただけたため、僕の家にある参考書、資料集などを見直しながら授業を受けることができた」と、オンラインの良さについても感想がありました。また感染が拡大していて不安ですが、みなさんの学ぶ機会や選択肢をしっかり確保できるよう、工夫していきます。

●「（略）分野間に垣根を作らないような授業構成だったため、自身の専門にも当てはめながら考えを進めることができました。各場面でフィードバックを細かくお送りいただいていたため、どこをどう改善すればいいのか非常に分かりやすかったです。唯一残念なことといえば、この授業が一週間で一コマしか受けられないことでした。」嬉しいコメントありがとうございます。幅広い分野の学びの基礎になるよう工夫した甲斐がありました。
●「高校課程の化学を学んでこなかった自分でも楽しく受けられる授業でした。（略）敢えてマイナス面を探すとすれば、対面・zoomどちらでも可な回で対面とオンラインにあまり差別化がなく、（略）教室での参加へのモチベーションをもう少し作ってもいいのではないかと思いました。（略）課題は、最終提出日以外にも途中経過報告の義務日を明確に作った方が計画的に課題を進められるのではないかと思います。進行目安や仮提出推奨くらいでは自分はどうしても先延ばしにしてしまいがちだったので、反省しております。（略）自分でゼロから作る課題の存在はとても大変でしたが、それも込みで、履修した授業の中で一番“参加する学生のことを考えられた授業”だと感じました。」たくさんの意見ありがとうございます。私が改善すべき点もありますが、そもそも大学は主体的に学ぶ場ですから、教員のサポートに頼るのではなく、自分でも反省している通り、皆さん自身がモチベーションを保つ努力も必要かと思いますよ。
●「レポートの内容が少し難しい。また、レポートの提出方法を統一してほしい。word,パワポなど様々な方法が許可されているのが好ましくない。」これは正直言って意外です。選択肢を減らしてほしいとのこと、本当にいいですか？ 仮に提出方法をWordに統一した場合「他の方法も選ばせてほしい」という意見が出そうです。また、過去にはYouTuberのように動画で提出した人もいます。提出方法の統一は、皆さんの才能を活かす機会を奪い、それこそ「好ましくない」と思います。あなたも、得意な方法を選び、才能をぶつけてください。なお、課題は、皆さんの考える力をはかるのが目的ですので、ある程度難しくないといけません。シラバスにも「ネットで調べたり過去問を入手したところで簡単に高評価が得られない問題」と明記しています。その分、何度でも質問や仮提出を受け付けていますので、遠慮なく相談してください。ちなみに別の人は**「先生がいつも問題を優しく解答してくれました。課題の内容も面白かったです」**（原文ママ）という意見をくれました。周りの友人があなたと同じ意見か、その友人が何回私とやりとりしたか、きいてみては？
●「zoomで受ける時にコメントしないと平常点がもらえないのが意味わからない。しっかり受けてたら分かるとか、そう言う問題ではなく、知識がある人が点数高くなるのはいかがなものかと思う。あと一番やめて欲しいのが、自慢。テレビなどに出演して天狗になってるかわからないけど、あまりいい気はしない。これは全生徒が思ってる。」平常点について意図が伝わらず申し訳ないです。知識の有無に関わらず、積極的に講義に参加した人に平常点を付与していますよ。実験へのリアクションや質問等でも平常点を加算しています。さらに、講義中のコメントだけでなく、掲示板へのノートや質問の投稿も加算対象です。ぜひ、積極的に投稿してください！ 次に「自慢」について。まずは、自慢と受け取られ不快にさせたことをお詫びします。ただ、決して自慢したつもりはありませんが、自信をもって自分の研究成果等をメディアで発信していたのは事実です。あなたも、自慢と受け取られるほど、自信をもって発信できるものをもっていますか？ まずは、課題に対して「こんなに調べて考えてきました！ どうですか！」と自信をもって答案を提出できるよう、取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】
インターネットを駆使して情報を集めたり、電子メールで課題の答案を提出することがあるので、PC等を準備し、使用に慣れておくこと。とくに、学習支援システムは、講義スライドや課題の模範解答をアップロードしたり、講義に関する重要な連絡を発信したりするので、必ず登録し、使用に慣れておくこと。また、オンライン講義にも対応できるよう、Zoomをはじめとした各種ツールの準備をしておくこと。さらに、LINEオープンチャットでは、学生同士の自由な交流を主な目的として、雑談を随時展開している。参加が必須ではないが、興味があれば、LINEオープンチャットも使用できるようにしておくと良い（参加方法は講義内で説明する）。

【その他の重要事項】
●X,Yクラスに対し、それぞれ3,4限で同じ講義を行う。3限が必修科目と重なっている場合、クラス変更申請によって、4限を履修できる。詳細は、学部ホームページの「履修関連情報」を参照。
●春学期と秋学期で教科書を半分ずつ進める。春学期・秋学期合わせての履修を推奨する。

●教員は、神奈川県の公的研究機関に勤める研究者である。その実務経験もふまえ、科学の最先端で何が研究されているのか、そもそも研究とは何か、といった話も交える。いずれ取り組む卒業研究（人によっては、さらにその先の研究者人生）が充実したものになるよう、研究の楽しさや重要性を伝えていく。詳細な仕事の内容や研究に対する哲学については、2021年11月に出演した下記YouTube番組を参照（23:30頃に登場）。
https://www.youtube.com/watch?v=U5LCwhSjFSM

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will learn **"how chemistry influence our daily lives"** based on principles and methods of chemistry. You acquire the scientific thinking and problem solving skills.
【Learning Objectives】
1. Basic knowledge of chemistry, especially units and physical quantities, and how to handle and calculate them.
2. How to find and use scientifically reliable information such as papers.
3. Ability to understand familiar phenomena from a scientific perspective, think about them, and explain them in one's own words.
4. Ability to logically consider and propose solutions to various problems related to science and the environment.
【Learning activities outside of classroom】
The standard study time outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. The content of this class is designed so that even if you were not good at chemistry in high school (or even if you have not taken chemistry at all), you do not need to have a solid understanding of chemistry up to high school. **You will be given two or three exercises, all of which require you to think for yourself and explain in your own words.** It is not enough to do a little research on the Internet, so please take the time to examine the information, construct your logic, and prepare highly original answers.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 40%, Short reports: 30%, in class contribution: 30%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎Ⅰ

落合　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「化学が日常生活にどう結びついているか」について、化学だけでなく、自然科学全体を俯瞰しながら深く学ぶ。また、それを通して、科学的な視点・考え方から問題解決能力までを幅広く身に付けることを目的とする。

【到達目標】
1．化学の基礎知識、とくに単位や物理量とそれらの扱い方・計算法の習得
2．論文など、科学的に信頼できる情報の見分け方とその活用法の習得
3．身近な現象を科学的視点でとらえ、考え、自分の言葉で説明できる
4．科学や環境に関する諸問題について論理的に考察し、解決策を提案できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書のテーマをふまえた実験を中心に、動画、PowerPointスライド、参考になるwebサイトの紹介など、さまざまなツールを活用して講義を進める。随時、質疑応答やグループディスカッションなどをおりまぜ、リアルタイム双方向の講義を展開する。毎回の講義終了後、学習支援システムの「教材」に、講義中に演示した実験の動画や参考になるwebサイトのリンクをアップロードし、復習できるようにする。また「授業内掲示板」も活用して、受講者がまとめたノートの共有や、講義時間内に終了しなかった質疑応答などを行い、学習支援システムでも双方向に講義内容を深めていく。**2～3回、演習課題を出題し、電子メールで答案を提出してもらう。提出された答案には、それぞれ電子メールでコメントを返信する。**優秀な答案は講義内で発表してもらい、学習支援システムにもアップロードして、受講者全員で共有する。授業は、**対面＋Zoomのハイフレックス形式で行う予定である。健康上の理由などで講義室で受講できない学生はもちろん、対面で受講している学生にも、Zoomに入室してもらい、チャット機能で随時質問を受け付ける**（「気軽に質問できるうえ飛沫も飛ばず安心」という感想があったため、対面講義でもZoomを併用している）。また、教員が出張等で講義室に行けなかったり、講義室ではできない大がかりな実験を演示したりする場合は、対面ではなく完全にオンラインでの授業とする（2022年度は、教員が国際学会開催地のチリから、時差も考慮してリアルタイムオンライン授業を実施したことがあった）。下記の【授業計画】には、現時点で予定している授業形態を記載してある。詳細は毎回の講義前に学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	【実験：空はなぜ青い？】身近な現象を科学的な視点で考える
2	教科書第1章 空気①	【実験：空気とその動き】分子レベルで見た日々の呼吸
3	教科書第1章 空気②	【実験：風船からわかること①】空気の成分と濃度、空気汚染の原因物質
4	教科書第1章 空気③	【実験：風船からわかること②】空気に関する計算、空気まとめ
5	教科書第2章 オゾン層の保護①	【実験：オゾン層をつくってみる】大気圏の構造とオゾン層の正体
6	教科書第2章 オゾン層の保護②	【実験：紫外線のエネルギー】紫外線による酸素とオゾンの化学反応
7	教科書第2章 オゾン層の保護③	【実験：さまざまな光】紫外線、可視光線、赤外線・・・
8	教科書第2章 オゾン層の保護④	【実験：光とは何か】光は波？ 粒子？
9	教科書第2章 オゾン層の保護⑤	【実験：原子と周期表】原子とその性質、オゾン層の保護まとめ
10	教科書第3章 全地球的気候変動①	【実験：フーリエ解析】地球温暖化とその研究の歴史
11	教科書第3章 全地球的気候変動②	【実験：情報のとらえかた】地球温暖化をめぐる政治や社会の動き
12	教科書第3章 全地球的気候変動③	【実験：新しいエネルギー】地球温暖化と私たちの未来
13	教科書第3章 全地球的気候変動④	【グループディスカッション】地球温暖化と私たちの未来
14	演習問題、まとめ	科学的に信頼できる情報の収集方法、具体的な問題の考え方・解き方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】高校までの授業で化学が苦手だったとしても（あるいは化学を全く履修してこなかったとしても）問題ないように内容を工夫しているので、高校までの化学をしっかり理解していなくてもよい。そのかわり、インターネットを駆使して必要な情報を集める、PowerPoint等で答案を作成して電子メールで提出する、といったPCの基本的な使用方法に慣れておくこと。**2～3回、演習課題を出題するが、いずれも、受験までで接してきた「正解」のある問題ではなく、「地球温暖化問題を解決するためには、どうしたらよいか、自分の考えを述べよ。形式自由だが、PowerPointならスライド20枚以上を目安に、濃い内容とすること」といった、自分で考え、自分の言葉で説明しなければならない「難問」とする予定。インターネットやAIに答を求めたり、いわゆる「過去問」を入手したり、一夜漬けなどをしても、評価の高い答案の作成にはほとんど役立たない。提出期限を長めに設定するので、時間をかけて情報を吟味し、論理を構築して、オリジナリティの高い答案を作成すること。**

【テキスト（教科書）】
『実感する化学(上巻・地球感動編)』アメリカ化学会　著、廣瀬千秋訳著、エヌ・ティー・エス(2015 年発刊)、本体3,500円＋税
http://www.nts-book.co.jp/item/detail/summary/kagaku/20151201_158.html
※この書籍の構成にそって授業を行うが、内容を一字一句ていねいにおいかけたり、演習問題をひとつひとつ解いたりはしない。したがって、この書籍がないと毎回の講義についていけない、というわけではない。しかし、講義内容をじゅうぶんに理解し、課題について深く考察するためには、この書籍の通読が近道となる場合が多いため、この書籍を「参考書」ではなく「教科書」とした。なお【授業計画】に記した通り、春学期は第１～３章を使用する。秋学期の「化学基礎Ⅱ」で、残りの第４～６章を使用する。**春秋を通じての履修をおすすめする。**

【参考書】
『ファラデーのつくった世界　ロウソクの科学が歴史を変えた』藤嶋昭・落合剛・濱田健吾　著、化学同人(2024 年3月発刊)、本体2,000円＋税
https://www.kagakudojin.co.jp/book/b632970.html
※担当教員が実験部分を主に執筆した書籍。講義で実演する実験も多数収録されているため、より深く講義内容を理解する手助けとなる。
そのほか、参考となる書籍は、講義や学習支援システム上で随時紹介する。専門書、一般書、科学論文、webページやYouTube動画など、講義内容に関連する話題を幅広く紹介する予定。

【成績評価の方法と基準】

●上記の到達目標に記載した４つの項目の習得度を、いくつかの演習課題および期末試験問題から評価する。出題するのは、いずれも、いわゆる「正解」など存在せず、インターネットやAIで調べたり、過去問を入手したところで、簡単に高評価が得られない「難問」になっている。高校までの勉強は、ひとつの問題にひとつの正解があって、そのパターンを覚えてしまえば点が取れるが、大学では、与えられた問はきっかけにすぎず、それに答えたうえで、さらにどこまで自分の世界をひろげられるか、「自発的な学び」が重要になる。大学院や社会人になると、問すら与えられず、まず世の中のどこに問題があるか自分で探す。多くの環境問題がそうであるように、そんな問題にまだ「正解」などないので、より多くの人が納得できる答を、できれば複数、提案できる能力が求められる。つまり、みなさんのこれからの人生では、「覚えること」よりも「考え、説明すること」の方が圧倒的に多くなる。そういうわけでこの講義では**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準になる。**

●目標１については、講義や教科書の内容をもとに計算を中心とした問題を出題して評価する。目標２および３については、講義中に実際の科学論文などを参考資料として説明し、それをふまえた考察中心の問題を出題する。目標４については、科学や地球環境をめぐる時事問題に目を向け、様々な視点から新しい提案を構築する能力を問う問題を出題する。試験問題は、これらの項目すべてにわたる総合的な問題を出題する予定である。したがって、これらの演習課題や試験問題の解き方が、成績評価の主な対象となる。なお、演習課題に対し優秀な答案を提出した者については、講義中に発表してもらうことがあり、その発表姿勢も評価対象となる。平常点としては、模範解答の発表や講義の解説に対するコメントや、学習支援システムの掲示板への投稿など、積極的な講義参加を評価対象とする（科学の知識は必ずしも重要ではない。実験へのリアクションや、素朴な疑問・感想等でも評価対象となる）。上記のように**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準だから、出席しただけで加点されるような「出席点」は考慮しない。配点としては、期末試験（あるいは試験相当課題）が40%、演習課題の合計が30%、その他平常点が30%程度である。**

【学生の意見等からの気づき】

●春学期・秋学期の３・４限で計４回実施したアンケートを集計すると、下記の通りとなった（対象者数のべ100名、回答率33%）。

Q1.この授業では、積極的な工夫がされていましたか
（５段階評価での各段階の回答者数を記載）
大変工夫していた←20，10，1，1，1→あまり工夫していない
（「大変工夫していた」を5点とすると平均4.4点）
Q3.この授業内容を理解できましたか
大変理解できた←13，12，6，1，1→理解できなかった
（同、平均4.1点）
Q4.この授業を履修してよかったと思いますか
大変よかった←17，10，4，1，1→よくなかった
（同、平均4.2点）

回答した受講生の多くが講義にポジティブな印象をもっていることがうかがえた。「Q5.この授業を履修して、よかった点や改善してほしい点等を記入してください」という設問に対しては、具体的な感想や意見が寄せられ、気づくことも多々あった。それらの意見や気づきは、「教員コメント」機能を使い、受講生の意見を抜粋・引用しながら紹介し、フィードバックとした。いくつか、以下に例示する（太字が受講生の回答部分）。

●**「数学などとは違って、答えのない問いに取り組むのが初めてで新鮮でした」「講義をただ受けるのではなく、主体的に授業を受けることができたのは、ほかの授業にはない部分だと思う」**という感想、うれしいですね。本来、学びは自主的な行動ですので、みなさん自身が自主的に学びたくなるような工夫をいつも考えています。興味深さが増すことで、たくさんの疑問や質問も生まれていましたね。今後も、みなさんの興味を引き出しつつ、気軽に質問できる環境を準備しておきます！

●**「レポートでは、今まで当たり前に思っていたことを真剣に考えることによって、新しく覚えたものや、新しい視点を持つことができました」「パワーポイントの作成等大変なこともいくつかあったが、自身の思考力が鍛えられた気がします」**というコメント、ありがとうございます。課題やグループディスカッションは、みなさんの考える力や説明するスキルをきたえるために、テーマを設定する私の方も、いろいろ考えていますよ。楽しみながらしっかり力がついたようで、良かったです。

●**「自宅からのZoomの際に教室では行えない様な実験をみれたのが楽しかった」「ZOOMも利用して授業をしていただけたため、僕の家にある参考書、資料集などを見直しながら授業を受けることができた」**と、オンラインの良さについても感想がありました。また感染が拡大していて不安ですが、みなさんの学ぶ機会や選択肢をしっかり確保できるよう、工夫していきます。

●**「（略）分野間に垣根を作らないような授業構成だったため、自身の専門にも当てはめながら考えを進めることができました。各場面でフィードバックを細かくお送りいただいていたため、どこをどう改善すればいいのか非常に分かりやすかったです。唯一残念なことといえば、この授業が一週間で一コマしか受けられないことでした。」**嬉しいコメントありがとうございます。幅広い分野の学びの基礎になるよう工夫した甲斐がありました。

●**「高校課程の化学を学んでこなかった自分でも楽しく受けられる授業でした。（略）敢えてマイナス面を探すとすれば、対面・zoomどちらでも可な回で対面とオンラインにあまり差別化がなく、（略）教室での参加へのモチベーションをもう少し作ってもいいのではないかと思いました。（略）課題は、最終提出日以外にも途中経過報告の義務日を明確に作った方が計画的に課題を進められるのではないかと思います。進行目安や仮提出推奨くらいでは自分はどうしても先延ばしにしてしまいがちだったので、反省しております。（略）自分でゼロから作る課題の存在はとても大変でしたが、それも込みで、履修した授業の中で一番“参加する学生のことを考えられた授業”だと感じました。」**たくさんの意見ありがとうございます。私が改善すべき点もありますが、そもそも大学は主体的に学ぶ場ですから、教員のサポートに頼るのではなく、自分でも反省している通り、皆さん自身がモチベーションを保つ努力も必要かと思いますよ。

●**「レポートの内容が少し難しい。また、レポートの提出方法を統一してほしい。word,パワポなど様々な方法が許可されているのが好ましくない。」**これは正直言って意外です。選択肢を減らしてほしいとのこと、本当にいいですか？ 仮に提出方法をWordに統一した場合「他の方法も選ばせてほしい」という意見が出そうです。また、過去にはYouTuberのように動画で提出した人もいます。提出方法の統一は、皆さんの才能を活かす機会を奪い、それこそ「好ましくない」と思います。あなたも、得意な方法を選び、才能をぶつけてください。なお、課題は、皆さんの考える力をはかるのが目的ですので、ある程度難しくないといけません。シラバスにも「ネットで調べたり過去問を入手したところで簡単に高評価が得られない問題」と明記しています。その分、何度でも質問や仮提出を受け付けていますので、遠慮なく相談してください。ちなみに別の人は**「先生がいつも問題を優しく解答してくれました。課題の内容も面白かったです」**（原文ママ）という意見をくれました。周りの友人があなたと同じ意見か、その友人が何回私とやりとりしたか、きいてみては？

●**「zoomで受ける時にコメントしないと平常点がもらえないのが意味わからない。しっかり受けてたら分かるとか、そう言う問題ではなく、知識がある人が点数高くなるのはいかがなものかと思う。あと一番やめて欲しいのが、自慢。テレビなどに出演して天狗になってるかわからないけど、あまりいい気はしない。これは全生徒が思ってる。」**平常点について意図が伝わらず申し訳ないです。知識の有無に関わらず、積極的に講義に参加した人に平常点を付与していますよ。実験へのリアクションや質問等でも平常点を加算しています。さらに、講義中のコメントだけでなく、掲示板へのノートや質問の投稿も加算対象です。ぜひ、積極的に投稿してください！ 次に「自慢」について。まずは、自慢と受け取られ不快にさせたことをお詫びします。ただ、決して自慢したつもりはありませんが、自信をもって自分の研究成果等をメディアで発信していたのは事実です。あなたも、自慢と受け取られるほど、自信をもって発信できるものをもっていますか？ まずは、課題に対して「こんなに調べて考えてきました！ どうですか！」と自信をもって答案を提出できるよう、取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

インターネットを駆使して情報を集めたり、電子メールで課題の答案を提出することがあるので、PC等を準備し、使用に慣れておくこと。とくに、学習支援システムは、講義スライドや課題の模範解答をアップロードしたり、講義に関する重要な連絡を発信したりするので、必ず登録し、使用に慣れておくこと。また、オンライン講義にも対応できるよう、Zoomをはじめとした各種ツールの準備をしておくこと。さらに、LINEオープンチャットでは、学生同士の自由な交流を主な目的として、雑談を随時展開している。参加が必須ではないが、興味があれば、LINEオープンチャットも使用できるようにしておくと良い（参加方法は講義内で説明する）。

【その他の重要事項】

●X,Yクラスに対し、それぞれ3,4限で同じ講義を行う。4限が必修科目と重なっている場合、クラス変更申請によって、3限を履修できる。詳細は、学部ホームページの「履修関連情報」を参照。

●春学期と秋学期で教科書を半分ずつ進める。春学期・秋学期合わせての履修を推奨する。

●教員は、神奈川県の公的研究機関に勤める研究者である。その実務経験もふまえ、科学の最先端で何が研究されているのか、そもそも研究とは何か、といった話も交える。いずれ取り組む卒業研究（人によっては、さらにその先の研究者人生）が充実したものになるよう、研究の楽しさや重要性を伝えていく。詳細な仕事の内容や研究に対する哲学については、2021年11月に出演した下記YouTube番組を参照（23:30頃に登場）。
https://www.youtube.com/watch?v=U5LCwhSjFSM

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will learn **"how chemistry influence our daily lives"** based on principles and methods of chemistry. You acquire the scientific thinking and problem solving skills.
【Learning Objectives】
1. Basic knowledge of chemistry, especially units and physical quantities, and how to handle and calculate them.
2. How to find and use scientifically reliable information such as papers.
3. Ability to understand familiar phenomena from a scientific perspective, think about them, and explain them in one's own words.
4. Ability to logically consider and propose solutions to various problems related to science and the environment.
【Learning activities outside of classroom】
The standard study time outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. The content of this class is designed so that even if you were not good at chemistry in high school (or even if you have not taken chemistry at all), you do not need to have a solid understanding of chemistry up to high school. **You will be given two or three exercises, all of which require you to think for yourself and explain in your own words.** It is not enough to do a little research on the Internet, so please take the time to examine the information, construct your logic, and prepare highly original answers.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 40%, Short reports: 30%, in class contribution: 30%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

普神　敬悟

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
高校と大学の化学の橋渡し的役割を担う科目である。高等学校理科教員に求められる化学的素養を身につけるとともに、大学での化学を理解することができるよう、化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 数値の取扱いや単位について説明できる。
(2) モルの概念を説明できる。
(3) 化学反応の量的関係を説明できる。
(4) 原子の構造を説明できる
(5) 電子配置から周期律を説明できる。
(6) 化学結合の種類を分類し、説明できる。
(7) 分子間力の種類を分類し、説明できる。
(8) 酸と塩基の性質を説明できる。
(9) 酸と塩基の強さを説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って講義を行う。
理解が深められるように、必要に応じて補足資料を配布したり、問題演習を取り入れ、理解度を確認しながら進める。
課題等に対しては、学習支援システム上でフィードバックする。
春学期の授業は、対面授業で実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、有効数字	授業の進め方、有効数字
2	数値の取扱いと単位	SI単位、単位の換算
3	化学量論	原子量、モル、アボガドロ定数、化学変化の量的関係
4	原子の構造と電子配置	原子核と電子、原子軌道、電子配置、イオンとイオン結合
5	共有結合1、オクテット則とケクレ構造	オクテット則、分子と共有結合、非共有電子対、形式電荷、ケクレ構造
6	共有結合２、分子の形と分子間相互作用	原子価殻電子対反発（VSEPR）理論と分子の形、水素結合、ファンデルワールス力、分子の物理的性質を決める要素
7	共有結合の極性と化学反応の基礎	電気陰性度、極性分子、化学反応を記述するための「曲がった矢印」の文法と意味
8	まとめと中間テスト	前半（第７回まで）の内容についての理解度の確認
9	共鳴１	共鳴と共鳴構造
10	共鳴２	共鳴構造の重要度と電荷の分散
11	酸と塩基１	酸と塩基の定義、酸性と塩基性、共役酸と共役塩基
12	酸と塩基２	酸と塩基の強さ１、元素の種類と酸・塩基強度との関係
13	酸と塩基３	酸と塩基の強さ２、共鳴による考察
14	化学反応の予測	共鳴による非共有電子対、形式電荷およびオクテットの見極めとその応用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、１時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・配布または授業支援システムにより提供する演習問題に取り組むことを通じ，理解の度合いを確認する（任意）。
・講義内容のうち、講義内に理解できなかった部分について、講義中に示された教科書の対応ページの内容や講義メモを読み返し、講義中に実施した問題演習に再挑戦するなどして理解を深める。
・教科書の章末問題を解き、理解の改善を確かめる。
・自力で理解できない場合は、Hoppii の 掲示板や電子メールなどを活用して質問し、理解して納得できるまで粘り強く指導を受ける。

【テキスト（教科書）】
フレンドリー基礎物理化学演習、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2013年、2700円＋税

【参考書】
・高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，参考書
・フレンドリー物理化学、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2004年、2800円＋税

【成績評価の方法と基準】
・期末試験 45％
・中間テスト 35％
・平常点（授業中の課題への取り組み）20％

【学生の意見等からの気づき】
講義内容の理解を助けるために学習支援システム上の「教材」機能、「課題」機能および「テスト」機能を活用する。授業内掲示板や電子メールを活用した、講義内容について疑問の残る受講生との緊密なコミュニケーションを通じ、受講生全員が十分な理解に到達できるよう、支援に努める。

【学生が準備すべき機器他】
関数電卓を毎回持参すること。問題演習には専用のノートを用意し、活用すること。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは設けませんが、質問や要望、その他の連絡事項はすべて、学習支援システム上の授業内掲示板および電子メールで随時受け付けます。
連絡事項は随時、学習支援システムの「お知らせ」で周知します。
秋学期に開講する「化学基礎 II」と合わせて受講することをお奨めします。

【None】
None

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course is to help students brush up chemistry they have learned in high school and understand chemistry they will study in the university and they will teach in high school.
【Learning Objectives】
The aim of this couse is to understand basic principles of chemistry.
The subjects to learn in this class are composed of significant figure rules, stoichiometry, structure of atoms and molecules, basic nature of the chemical bond, intermolecular force, chemical resonance structure, and the properties of acids and bases.
【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to take an hour to read the corresponding pages of the textbook that will be referred to in the next lesson.
They are also expected to brush up what they learned by exercises given in the textbook and in the class.
Student are expected to spend an hour in total for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Mid-term examination (35%), term-end examination (45%), exercise in each class meeting (10%), and in-class contribution (10%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

尾池　秀章

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学の化学を学ぶ上で必要とする予備知識の再確認も含めて，高校と大学の化学の橋渡し的役割を担う科目である。大学での化学を理解することができるよう，化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 数値の取扱いや単位について説明できる。
(2) 物質量の概念を説明できる。
(3) 化学反応の量的関係を説明できる。
(4) 原子の構造を説明できる
(5) 電子配置から周期律を説明できる。
(6) 化学結合の種類を分類し、説明できる。
(7) 原子軌道と結合，分子の形の関係を説明できる。
(8) 分子間力の種類を分類し、説明できる。
(9) 物質の状態を化学的に理解し，説明できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基本的に書込み型のスライドを用いながら講義を行う。毎回，講義内容に沿った確認テストを課し，次回の講義中に解説を加えてフィードバックし，理解が深められるように進める。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 物質と化学	授業の進め方 物質，原子，元素の概要
2	化学の用語	化学式，構造式，命名法
3	測定と計算	単位，誤差，有効数字
4	化学反応と化学量論	化学変化と物理変化，化学反応式，物質量，収率
5	原子のエネルギー準位１	光の波動性と粒子性，電子の物理的性質
6	原子のエネルギー準位２	量子化と量子数，原子軌道の電子分布とエネルギー
7	原子のエネルギー準位３	電子配置，原子の性質の周期性
8	化学結合と分子構造１	共有結合とイオン結合，ルイス構造
9	化学結合と分子構造２	原子価殻電子対反発（VSEPR）理論と分子の形
10	化学結合と分子構造３	原子価結合理論，混成軌道
11	物質の状態１	分子間力，水素結合
12	物質の状態２	気体，液体
13	物質の状態３	固体，相変化
14	まとめと解説 期末テスト	全体の内容についての確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・教科書の例題や練習問題を解き，理解を深める。
・学習支援システムなどで課された課題・確認テストに取り組む。

【テキスト（教科書）】
ブラックマン 基礎科学，小島憲道 監訳　錦織紳一・野口徹・平岡秀一 訳，東京化学同人，2800円＋税
授業は基本的にはこの教科書の項目に沿って行うが，購入は必須ではない。

【参考書】
・ブラウン 一般化学Ⅰ，荻野和子 監訳　上野圭司・鵜沼英郎・鹿又宣弘 訳，丸善出版，3000円＋税
・マッカーリ　一般化学（上），村田滋 訳，東京化学同人，3000円＋税
・化合物から理解する　大学の有機化学　必要な機器分析とともに　若狭雅信　編著，丸善出版，3500円＋税
など。
その他，高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，参考書

【成績評価の方法と基準】
次のいずれかで点数が高いほうを採用する。
(1)平常点も含め各項目で行う確認テスト60％＋定期テスト40％
(1)平常点も含め各項目で行う確認テスト30％＋定期テスト70％

【学生の意見等からの気づき】
スライドを見やすく工夫する。また資料や問題における記述のミスをなくす。

【学生が準備すべき機器他】
授業時における課題や確認テストなどでは電卓を用いても構わない。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This lecture is designed for the students who don't fully understand or have failed to learn basic chemistry. The aim of this lecture is that the students have a knowledge and understanding of basic chemistry.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
(1) Account for numerical values and units in chemistry.
(2) Account for basic concepts of amount of substance.
(3) Account for basic concepts as well as carry out calculations in stoichiometry.
(4) Account for electronic structure in atoms.
(5) Account for the theoretical background to the periodic table.
(6) Account for different types of chemical bonds.
(7) Account for atomic orbitals and molecular structures.
(8) Account for different types of intermolecular forces.
(9) Account for states of matters.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (containing quizzes) (60%) and term-end examination (40%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

見附　孝一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学の化学を学ぶ上で必要する化学の知識を再認識する。あわせて、身近な化学的現象や専門分野での化学が理解できる化学的基礎知識を修得して、化学を通して社会人として必要な教養と人としての素養を培っていくことを目的とする。

【到達目標】
1) 数値の取扱いおよび単位とその変換に慣れ、使いこなせる。
2) 原子量、分子量、物質量の概念を説明できる。
3) 化学反応に関する化学量論計算ができる。
4) 光の粒子性と粒子の波動性の概念を受け入れられる。
5) 原子の構造、電子軌道と量子数の必要性を理解できる。
6) 各元素の電子配置を示し、原子の周期性を説明できる。
7) 化学結合、特に共有結合の成り立ちを説明できる。
8) 多重結合の成因を知り、価電子対反発から分子の形を予測できる。
9) 固体・液体・気体の性質を理解し，状態関数の計算ができる。
10) 理想気体の状態方程式を活用できる。圧力の単位に慣れる。
11) 気体分子同士の相互作用を定式化できる。
12) 理想溶液や理想希薄溶液の性質が説明できる。
13) 成分濃度の時間変化から反応速度式を組み立てられる。
14) 反応速度の温度依存性からエネルギー障壁の情報を得られる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業はパワーポイントと黒板書を中心に行う。ほぼ毎回、授業内容に沿った演習問題を課す。次の回の授業冒頭に前回の演習問題の全体あるいは一部を説明し、当該テーマに対する理解を深められるように進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業のガイダンス 単位、数値の扱い	14回分の授業の紹介、SI単位系、SI接頭語、単位の変換、有効数字
第2回	物質の分類、質量数と原子量、物質量、化学式と化学反応式	同位体と原子量の求め方、モルと物質量の概念、分子量、化合物の組成、化学反応における限定物質
第3回	原子の構造とスペクトル	水素原子のスペクトル、光の波長と振動数、ボーアのモデル、物質波
第4回	量子数と電子の軌道	シュレディンガー方程式、電子エネルギー、電子の軌道を量子数で識別
第5回	原子の電子配置、周期表	原子軌道への電子の充填、周期表の周期と族、原子とイオンの電子配置
第6回	元素の周期性	フントの規則、原子の半径、イオン化エネルギーと電子親和力
第7回	化学結合の成り立ち	価電子、オクテット、イオン結合と共有結合、ルイス構造、分子の極性
第8回	分子の電子配置と構造	VSEPR理論、混成軌道、原子価結合理論
第9回	物質の三態	状態図、固体、液体、気体、相転移、分子間力、水素結合
第10回	理想気体の性質	理想気体、ボイル・シャルルの法則、状態方程式
第11回	理想混合気体、実在気体	ドルトンの分圧の法則、ファンデルワールスの式
第12回	溶液の性質	理想溶液、蒸気圧、ヘンリーの法則、束一的性質
第13回	化学反応速度論の基礎	反応速度式、濃度の時間変化、化学量論数と反応進行度
第14回	化学反応速度論の応用	一次反応と二次反応、定常状態近似、アレニウスの式と活性化エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。
・教科書の該当する項目を予習・復習する。
・学習支援システムなどで課された確認問題に取り組む。

【テキスト（教科書）】
ブラディ・ジェスパーセン、一般化学　上・下（東京化学同人）

【参考書】
化学のコンセプト、舟橋、小林、秀島著　（化学同人）
基礎物理化学演習、尾崎・末岡・宮前・見附著（三共出版）
自然科学ヒストリア、見附著（瀬谷出版）

【成績評価の方法と基準】
・平常点の評価方法：パワーポイント中の課題にWebClassのクリッカーで答える方式などで受講態度を評価する。
・評価割合：平常点と演習問題 40%、学期末テスト 60％
・評価基準：60点以上で合格

【学生の意見等からの気づき】
2024年度までの授業担当者からの引継ぎ事項として、演習問題に関しては、次回授業の冒頭で答案を返却し解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
授業内あるいは課題において、種々の計算を必要とすることがあるので、関数電卓を用意すること。スマートホンやタブレットは定期試験には持ち込めない。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The aim of this course is to obtain basic chemical knowledge so that the students can understand familiar chemical phenomena and can reflect it in future academic research.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should gain the following abilities:
1) to quantitatively deal with energy exchange in chemical reactions.
2) to explain entropy and the spontaneity of chemical changes.
3) to understand the relation between chemical equilibrium and Gibbs free energy, and to calculate the equilibrium constants and reaction quotients.
4) to calculate various type of concentrations of solutions. Ability to list three different definitions of the acids and bases.
5) to handle the equivalent of a neutralization reactions and calculate the logarithm of pH.
6) to explain electron transfer and transport in the oxidation and reductions.
7) to write the reaction equations involved in the redox titrations.
8) to explain ionization tendency and the standard electrode potentials.

9) to calculate the standard electromotive force of chemical cells.
10) to relate the characteristic properties of two-dimensional surfaces to molecular orientations.
11) to acquire the concepts of crystal systems and Bravais lattices necessary for classifying crystals.
12) to understand the atom positions in a unit cell and relate them to the density.
13) to explain the optical properties and magnetism of transition metal complexes from their electronic structures.
14) to understand the polymerization methods and physical/chemical properties of polymer compounds.
(Learning activities)
In order to confirm how well you understand the course content, you should try to solve the preparatory exercises given in the WebClass. If some of them are difficult to solve, you should review your class note and handouts so that you can get correct answers for all the problems. Your study time will be more than four hours for a class.
(Grading Criteria)
Students will be expected to have completed the required assignment tests in class meeting every week.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60 %; Required assignment tests and In-class contribution 40 %. You can confirm your scores you have acquired so far in the corresponding course at WebClass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

普神　敬悟

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
高校と大学の化学の橋渡し的役割を担う科目である。高等学校理科教員に求められる化学的素養を身につけるとともに、大学での化学を理解することができるよう、化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 数値の取扱いや単位について説明できる。
(2) モルの概念を説明できる。
(3) 化学反応の量的関係を説明できる。
(4) 原子の構造を説明できる
(5) 電子配置から周期律を説明できる。
(6) 化学結合の種類を分類し、説明できる。
(7) 分子間力の種類を分類し、説明できる。
(8) 酸と塩基の性質を説明できる。
(9) 酸と塩基の強さを説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って講義を行う。
理解が深められるように、必要に応じて補足資料を配布したり、問題演習を取り入れ、理解度を確認しながら進める。
課題等に対しては、学習支援システム上でフィードバックする。
春学期の授業は、対面授業で実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、有効数字	授業の進め方、有効数字
2	数値の取扱いと単位	SI単位、単位の換算
3	化学量論	原子量、モル、アボガドロ定数、化学変化の量的関係
4	原子の構造と電子配置	原子核と電子、原子軌道、電子配置、イオンとイオン結合
5	共有結合1、オクテット則とケクレ構造	オクテット則、分子と共有結合、非共有電子対、形式電荷、ケクレ構造
6	共有結合２、分子の形と分子間相互作用	原子価殻電子対反発（VSEPR）理論と分子の形、水素結合、ファンデルワールス力、分子の物理的性質を決める要素
7	共有結合の極性と化学反応の基礎	電気陰性度、極性分子、化学反応を記述するための「曲がった矢印」の文法と意味
8	まとめと中間テスト	前半（第７回まで）の内容についての理解度の確認
9	共鳴１	共鳴と共鳴構造
10	共鳴２	共鳴構造の重要度と電荷の分散
11	酸と塩基１	酸と塩基の定義、酸性と塩基性、共役酸と共役塩基
12	酸と塩基２	酸と塩基の強さ１、元素の種類と酸・塩基強度との関係
13	酸と塩基３	酸と塩基の強さ２、共鳴による考察
14	化学反応の予測	共鳴による非共有電子対、形式電荷およびオクテットの見極めとその応用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、１時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・配布または授業支援システムにより提供する演習問題に取り組むことを通じ，理解の度合いを確認する（任意）。
・講義内容のうち、講義内に理解できなかった部分について、講義中に示された教科書の対応ページの内容や講義メモを読み返し、講義中に実施した問題演習に再挑戦するなどして理解を深める。
・教科書の章末問題を解き、理解の改善を確かめる。
・自力で理解できない場合は、Hoppii の 掲示板や電子メールなどを活用して質問し、理解して納得できるまで粘り強く指導を受ける。

【テキスト（教科書）】
フレンドリー基礎物理化学演習、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2013年、2700円＋税

【参考書】
・高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，参考書
・フレンドリー物理化学、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2004年、2800円＋税

【成績評価の方法と基準】
・期末試験 45％
・中間テスト 35％
・平常点（授業中の課題への取り組み）20％

【学生の意見等からの気づき】
講義内容の理解を助けるために学習支援システム上の「教材」機能、「課題」機能および「テスト」機能を活用する。授業内掲示板や電子メールを活用した、講義内容について疑問の残る受講生との緊密なコミュニケーションを通じ、受講生全員が十分な理解に到達できるよう、支援に努める。

【学生が準備すべき機器他】
関数電卓を毎回持参すること。問題演習には専用のノートを用意し、活用すること。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは設けませんが、質問や要望、その他の連絡事項はすべて、学習支援システム上の授業内掲示板および電子メールで随時受け付けます。
連絡事項は随時、学習支援システムの「お知らせ」で周知します。
秋学期に開講する「化学基礎 II」と合わせて受講することをお奨めします。

【None】
None

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course is to help students brush up chemistry they have learned in high school and understand chemistry they will study in the university and they will teach in high school.
【Learning Objectives】
The aim of this couse is to understand basic principles of chemistry.
The subjects to learn in this class are composed of significant figure rules, stoichiometry, structure of atoms and molecules, basic nature of the chemical bond, intermolecular force, chemical resonance structure, and the properties of acids and bases.
【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to take an hour to read the corresponding pages of the textbook that will be referred to in the next lesson.
They are also expected to brush up what they learned by exercises given in the textbook and in the class.
Student are expected to spend an hour in total for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Mid-term examination (35%), term-end examination (45%), exercise in each class meeting (10%), and in-class contribution (10%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

島田　恵理子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、「化学」を高校で十分学習してきていない学生や、基礎からやりなおしたい学生を主な対象にする。化学の基礎中の基礎を確実に自分のものにしながら、身近な物質や現象を化学的な視点で捉えられるようになることを目指す。
到達目標：
(1)副殻を用いて原子番号20番までの電子配置を表わすことができる。
(2)周期表で元素の化学的性質を説明できる。
(3)化学結合の極性を判別し物性を説明できる。
(4)モルを使って濃度や量の化学量論的な計算ができる。
(5)基本的なpHの計算ができる。
(6)酸化数を計算でき、酸化還元の現象を説明できる。
(7)エンタルピーで反応熱等の計算ができる。
授業時間外の学習：
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
成績評価の方法と基準：
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。

【到達目標】
(1)副殻を用いて原子番号20番までの電子配置を表わすことができる。
(2)周期表で元素の化学的性質を説明できる。
(3)化学結合の極性を判別し物性を説明できる。
(4)モルを使って濃度や量の化学量論的な計算ができる。
(5)基本的なpHの計算ができる。
(6)酸化数を計算でき、酸化還元の現象を説明できる。
(7)エンタルピーで反応熱等の計算ができる。
By the end of this course，students should be able to do the followings:
(1) Describe electronic configuration of atomic number 1 20 elements with secondary shell.
(2) Explain chemical properties of typical elements by periodic table of elements
(3) Explain properties of materials with polarities
(4) Calculate stoichiometric amount by using mole.
(5) Calculate basic pH.
(6) Calculate oxidation number.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
毎回演習を行い、その点数の合計を20点満点に換算する。また、小テスト（課題形式を含む）を2回行い、その点数の合計を30点満点とし、期末試験を50点満点とする。演習20%、小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
演習・小テストに対しては学習支援システムや授業時にフィードバックする。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス Introduction	授業の進め方，授業の到達，評価方法，化学とは，物質の分類，単位の扱い，自己確認テスト Matter and its property, Self-confirmation test
2回	物質、元素、原子、モル Material，Element，Atom，Mole	物質、元素、原子、モルの意味、周期表 Material，Element，Atom，Mole，Periodic table of elements
3回	原子の構造 Atomic structure	原子核、陽子、中性子、電子、副殻、原子軌道、4つの量子数、周期表の導入、構成の規則 Atomic nucleus，Proton, Neutron, Electron, Second shell，Atomic orbital、4 quantum number, Introduction of the Periodic Table，Electron configuration
4回	周期律① Periodic law①	多電子原子の電子配置、第一イオン化エネルギー、原子半径、電子親和力 Electron configuration of multi-electron atoms，Ionization Energy，The sizes of atoms, electron affinity.
5回	小テスト１、周期律②、化学結合の種類、結合の極性 Quiz1、Periodic law②，Types of chemical bonds，Bond polarity	小テスト１、ルイスの点電子式、電気陰性度、結合の極性 Lewis dot formula, Quiz1, Electronegativity, Bond polarity
6回	化学結合②　分子としての極性 Chemical bond② Molecular polarity	分子の形、混成軌道入門、分子としての極性と溶解性 Shape of molecular，Introduction to Hybrid orbital，Molecular polarity and solubility
7回	物質の三態、溶液 Three states of matter，Solution	純物質の状態図（液体・気体・固体），溶液の性質、濃度 Phase diagram（Liquid, Gas, Solid）, Concentration of solution
8回	気体 Gas	理想気体の状態方程式、実在気体、分圧 Equation of state，Ideal gas, Real gas , Partial pressure
9回	混合系の状態図，蒸留 Phase diagram of mixture system, Distillation	二成分混合系の状態図，蒸留，沸点と組成 Two-component phase diagram, Distillation，Boiling point, Composition
10回	小テスト２、束一性、化学反応①　酸と塩基 Quiz2，Colligative property，Chemical reaction①　Acids and bases	小テスト２、束一性、酸塩基の定義と強弱，電離度，pHの基本計算 Quiz2，The Arrhenius theory, Brensted-Lowry theory，Strong/Weak acids and bases，Degree of ionization, Basic calculation of pH
11回	化学反応②　酸と塩基の反応 Chemical reaction② Reaction of acids and bases	中和反応，中和滴定 Neutralization reaction, Neutralization titration
12回	化学反応③　酸化還元反応 Chemical reaction③ Oxidation-reduction	酸化数、半反応、酸化剤・還元剤、電池の標準起電力 Oxidation number, Half-reaction，Oxidizing and reducing agents，Battery standard electromotive force
13回	化学変化とエネルギー Chemical change and energy	熱力学第一法則、エンタルピーを使った化学反応熱の計算 First law of thermodynamics, Enthalpies，Heat of reaction
14回	期末試験と解説 Final exam and explanation	期末試験と解説 Final exam and explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【テキスト（教科書）】
・「理系のための基礎化学」増田芳男・澤田清著、化学同人
・配布資料（学習支援システムで授業の前の週に配信）

【参考書】
・「標準 基礎化学」梅本喜三郎著、裳華房

【成績評価の方法と基準】
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【学生の意見等からの気づき】
予め配布する資料に入れる穴埋め部分を増やし予習しやすくした。
Handouts for preparation of next class have been refined by increasing fill-in the blank questions.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを活用するため、使用できるPC等の環境を準備しておくこと。
It is necessary to prepare PC for using Hoppii system.

【その他の重要事項】
教員の実務経験（企業での化学研究開発ならびに起業）を生かし、問題解決のためのアプローチの仕方を紹介する。

【Outline (in English)】
This course introduces the foundations of chemistry to students taking this course.
It is desirable to attend this class for students who have not been studied chemistry enough yet and need to understand it at university.
Goal:
By the end of this course, students should be able to do the followings:
(1) Describe electronic configuration of atomic number 1 20 elements with secondary shell.
(2) Explain chemical properties of typical elements by periodic table of elements
(3) Explain properties of materials with polarities
(4) Calculate stoichiometric amount by using mole.
(5) Calculate basic pH.
(6) Calculate oxidation number.
Work to be done outside of class:
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Grading criteria：
Total score　of exercise(20 points), quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

大波　英幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
高校化学の復習をするとともに、今後専門分野を学び理解し、さらには研究・応用へ発展させるための化学的基礎知識を習得することを目的とします。

【到達目標】
高校で学習した化学の基礎的概念が理解できる。専門分野を理解するため理工・生命科学系学生に必要な化学的基礎知識を習得し、論理的な考え方ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業計画各項目の講義を中心に、理解を深めるため、得られた知識を活用するため毎回演習問題（課題）を行います。高校化学の習熟度は学生により様々だと思われるため、化学が入試科目でなかった、化学を積極的に学んでこなかった学生にも理解でき興味がもてる授業を心がけます。課題等に対しては，学習支援システムまたは授業時にフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の概要	・授業のガイダンス ・習熟度の確認
第2回	原子の構造と性質①	・原子の基本構造 ・原子と元素 ・原子の電子配置
第3回	原子の構造と性質②	・電子の波動性と電子軌道 ・電子軌道と元素の化学的性質 ・電子のエネルギーと原子の安定性
第4回	化学結合と分子の構造①	・共有結合 ・分子の構造 ・混成軌道と二重結合、三重結合 ・イオン結合、金属結合、配位結合
第5回	化学結合と分子の構造②	・極性と双極子モーメント ・極性と電気陰性度 ・水素結合とファンデルワールス力 ・化学結合と原子の大きさ
第6回	物質の三態	・物質の三態と状態変化 ・気液平衡と蒸気圧
第7回	気体の性質①	・ボイルの法則 ・熱運動 ・シャルルの法則 ・ボイル・シャルルの法則
第8回	気体の性質②	・アボガドロの法則 ・気体の状態方程式 ・混合気体 ・実在気体
第9回	溶液の性質	・溶解度 ・溶液の濃度 ・溶液の性質
第10回	気体分子の運動とエネルギーの保存	・エネルギーと温度 ・気体分子の運動 ・化学反応と衝突 ・化学エネルギーと熱エネルギー
第11回	エントロピー	・自然現象の変化の方向 ・化学反応の変化の方向
第12回	反応の速さと平衡①	・化学反応の速さ ・反応速度と濃度 ・反応速度と活性化エネルギー ・化学反応と触媒
第13回	反応の速さと平衡②	・可逆反応と化学平衡 ・化学平衡の移動
第14回	まとめ	・春学期のまとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容の復習のための演習問題（課題）を出しますので締切までに提出してください。本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とします。高校化学の教科書・参考書を見直し、理解が不十分であったところを予め把握しておいてください。

【テキスト（教科書）】
新編基礎化学第２版、藤野竜也ほか、実教出版、2021年、2300円＋税

【参考書】
①高校で使用していた化学の教科書
②[化学]ＩＢ・Ⅱの新研究、卜部吉庸著、三省堂
③これだけはおさえたい化学、井口洋夫ほか、実教出版
④生きている温泉とは何か、大河内正一著、くまざさ出版

【成績評価の方法と基準】
通常は、
授業期間内の中間試験(又はレポート)40%
期末試験50%
に授業課題平常点10%を考慮し評価します。オンラインへの変更となる場合は別途授業内で示します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の授業後の演習問題（課題）について、より詳細な解答解説の希望があったので解説時間をより多く確保できるよう努める。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Review the basics of chemistry learned in high school. Get chemical knowledge to develop into research and applications in specialized areas.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
-A. Understand the basic chemistry learned in high school.
-B. Acquire the basic chemical theory necessary to understand your specialized field.
【Learning activities outside of classroom】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process Mid-term examination (40 %), term end examination (50 %), and in class contribution(10 %).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎 I

島田　恵理子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、「化学」を高校で十分学習してきていない学生や、基礎からやりなおしたい学生を主な対象にする。化学の基礎中の基礎を確実に自分のものにしながら、身近な物質や現象を化学的な視点で捉えられるようになることを目指す。
到達目標：
(1)副殻を用いて原子番号20番までの電子配置を表わすことができる。
(2)周期表で元素の化学的性質を説明できる。
(3)化学結合の極性を判別し物性を説明できる。
(4)モルを使って濃度や量の化学量論的な計算ができる。
(5)基本的なpHの計算ができる。
(6)酸化数を計算でき、酸化還元の現象を説明できる。
(7)エンタルピーで反応熱等の計算ができる。
授業時間外の学習：
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
成績評価の方法と基準：
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。

【到達目標】
(1)副殻を用いて原子番号20番までの電子配置を表わすことができる。
(2)周期表で元素の化学的性質を説明できる。
(3)化学結合の極性を判別し物性を説明できる。
(4)モルを使って濃度や量の化学量論的な計算ができる。
(5)基本的なpHの計算ができる。
(6)酸化数を計算でき、酸化還元の現象を説明できる。
(7)エンタルピーで反応熱等の計算ができる。
By the end of this course，students should be able to do the followings:
(1) Describe electronic configuration of atomic number 1 20 elements with secondary shell.
(2) Explain chemical properties of typical elements by periodic table of elements
(3) Explain properties of materials with polarities
(4) Calculate stoichiometric amount by using mole.
(5) Calculate basic pH.
(6) Calculate oxidation number.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回演習を行い、その点数の合計を20点満点に換算する。また、小テスト（課題形式を含む）を2回行い、その点数の合計を30点満点とし、期末試験を50点満点とする。演習20%、小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
演習・小テストに対しては学習支援システムや授業時にフィードバックする。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス Introduction	授業の進め方，授業の到達，評価方法，化学とは，物質の分類，単位の扱い，自己確認テスト Matter and its property, Self-confirmation test
2回	物質、元素、原子、モル Material，Element，Atom，Mole	物質、元素、原子、モルの意味、周期表 Material，Element，Atom，Mole，Periodic table of elements
3回	原子の構造 Atomic structure	原子核、陽子、中性子、電子、副殻、原子軌道、4つの量子数、周期表の導入、構成の規則 Atomic nucleus，Proton, Neutron, Electron, Second shell，Atomic orbital、4 quantum number, Introduction of the Periodic Table，Electron configuration
4回	周期律① Periodic law①	多電子原子の電子配置、第一イオン化エネルギー、原子半径、電子親和力 Electron configuration of multi-electron atoms，Ionization Energy，The sizes of atoms, electron affinity.
5回	小テスト１、周期律②、化学結合の種類、結合の極性 Quiz1、Periodic law②，Types of chemical bonds，Bond polarity	小テスト１、ルイスの点電子式、電気陰性度、結合の極性 Lewis dot formula, Quiz1, Electronegativity, Bond polarity
6回	化学結合②　分子としての極性 Chemical bond② Molecular polarity	分子の形、混成軌道入門、分子としての極性と溶解性 Shape of molecular，Introduction to Hybrid orbital，Molecular polarity and solubility
7回	物質の三態、溶液 Three states of matter，Solution	純物質の状態図（液体・気体・固体），溶液の性質、濃度 Phase diagram（Liquid, Gas, Solid）, Concentration of solution
8回	気体 Gas	理想気体の状態方程式、実在気体、分圧 Equation of state，Ideal gas, Real gas , Partial pressure
9回	混合系の状態図，蒸留 Phase diagram of mixture system, Distillation	二成分混合系の状態図，蒸留，沸点と組成 Two-component phase diagram, Distillation，Boiling point, Composition
10回	小テスト２、束一性、化学反応①　酸と塩基 Quiz2，Colligative property，Chemical reaction①　Acids and bases	小テスト２、束一性、酸塩基の定義と強弱，電離度，pHの基本計算 Quiz2，The Arrhenius theory, Brensted-Lowry theory，Strong/Weak acids and bases，Degree of ionization, Basic calculation of pH
11回	化学反応②　酸と塩基の反応 Chemical reaction② Reaction of acids and bases	中和反応，中和滴定 Neutralization reaction, Neutralization titration
12回	化学反応③　酸化還元反応 Chemical reaction③ Oxidation-reduction	酸化数、半反応、酸化剤・還元剤、電池の標準起電力 Oxidation number, Half-reaction，Oxidizing and reducing agents，Battery standard electromotive force
13回	化学変化とエネルギー Chemical change and energy	熱力学第一法則、エンタルピーを使った化学反応熱の計算 First law of thermodynamics, Enthalpies，Heat of reaction
14回	期末試験と解説 Final exam and explanation	期末試験と解説 Final exam and explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【テキスト（教科書）】
・「理系のための基礎化学」増田芳男・澤田清著、化学同人
・配布資料（学習支援システムで授業の前の週に配信）

【参考書】
・「標準 基礎化学」梅本喜三郎著、裳華房

【成績評価の方法と基準】
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【学生の意見等からの気づき】
予め配布する資料に入れる穴埋め部分を増やし予習しやすくした。
Handouts for preparation of next class have been refined by increasing fill-in the blank questions.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを活用するため、使用できるPC等の環境を準備しておくこと。
It is necessary to prepare PC for using Hoppii system.

【その他の重要事項】
教員の実務経験（企業での化学研究開発ならびに起業）を生かし、問題解決のためのアプローチの仕方を紹介する。

【Outline (in English)】
This course introduces the foundations of chemistry to students taking this course.
It is desirable to attend this class for students who have not been studied chemistry enough yet and need to understand it at university.
Goal:
By the end of this course，students should be able to do the followings:
(1) Describe electronic configuration of atomic number 1 20 elements with secondary shell.
(2) Explain chemical properties of typical elements by periodic table of elements
(3) Explain properties of materials with polarities
(4) Calculate stoichiometric amount by using mole.
(5) Calculate basic pH.
(6) Calculate oxidation number.
Work to be done outside of class:
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Grading criteria：
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

落合　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「化学が日常生活にどう結びついているか」について、化学だけでなく、自然科学全体を俯瞰しながら深く学ぶ。また、それを通して、科学的な視点・考え方から問題解決能力までを幅広く身に付けることを目的とする。

【到達目標】
１．化学の基礎知識、とくに単位や物理量とそれらの扱い方・計算法の習得
２．論文など、科学的に信頼できる情報の見分け方とその活用法の習得
３．身近な現象を科学的視点でとらえ、考え、自分の言葉で説明できる
４．科学や環境に関する諸問題について論理的に考察し、解決策を提案できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書のテーマをふまえた実験を中心に、動画、PowerPointスライド、参考になるwebサイトの紹介など、さまざまなツールを活用して講義を進める。随時、質疑応答やグループディスカッションなどをおりまぜ、リアルタイム双方向の講義を展開する。毎回の講義終了後、学習支援システムの「教材」に、講義中に演示した実験の動画や参考になるwebサイトのリンクをアップロードし、復習できるようにする。また「授業内掲示板」では、講義時間内に終了しなかった質疑応答なども行い、学習支援システムでも双方向に講義内容を深めていく。**２～３回、演習課題を出題し、電子メールで答案を提出してもらう。提出された答案には、それぞれ電子メールでコメントを返信する。**優秀な答案は講義内で発表してもらい、学習支援システムにもアップロードして、受講者全員で共有する。授業は、**対面＋Zoomのハイフレックス形式で行う予定である。健康上の理由などで講義室で受講できない学生はもちろん、対面で受講している学生にも、Zoomに入室してもらい、チャット機能で随時質問を受け付ける**（「気軽に質問できるうえ飛沫も飛ばず安心」という感想があったため、対面講義再開後もZoomを併用している）。また、教員が出張等で講義室に行けなかったり、講義室ではできない大がかりな実験を演示したりする場合は、対面ではなく完全にオンラインでの授業とする（2022年度は、教員が国際学会開催地のチリから、時差も考慮してリアルタイムオンライン授業を実施したことがあった）。下記の【授業計画】には、現時点で予定している授業形態を記載してある。詳細は毎回の講義前に学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	教科書第4章 エネルギー①	【実験：金属から取り出す電気】エネルギーの定義とかたち
2	教科書第4章 エネルギー②	【実験：水素から取り出す電気】電池とその原理
3	教科書第4章 エネルギー③	【実験：電気の正体】エネルギーのかたちと変換
4	教科書第4章 エネルギー④	【実験：化学反応とエネルギー①】燃焼から取り出すエネルギー
5	教科書第4章 エネルギー⑤	【実験：化学反応とエネルギー②】エネルギー収支の計算
6	教科書第4章 エネルギー⑥	【実験：酸化と還元】酸素のやり取り、エネルギーまとめ
7	教科書第5章 水の化学・水の働き①	【実験：水の性質①】水をめぐる世界情勢
8	教科書第5章 水の化学・水の働き②	【実験：水の性質②】水の不思議な性質
9	教科書第5章 水の化学・水の働き③	【実験：水の分析】何が溶けているか？
10	教科書第5章 水の化学・水の働き④	【実験：水の浄化】水をきれいにする方法・水まとめ
11	教科書第6章 酸性雨①	【実験：酸とその性質①】酸とは何か
12	教科書第6章 酸性雨②	【実験：酸とその性質②】酸性雨をつくってみる
13	教科書第6章 酸性雨③	【グループディスカッション】酸性雨とその解決策
14	演習問題、まとめ	科学的に信頼できる情報の収集方法、具体的な問題の考え方・解き方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】高校までの授業で化学が苦手だったとしても（あるいは化学を全く履修してこなかったとしても）問題ないように内容を工夫しているので、高校までの化学をしっかり理解していなくてもよい。そのかわり、インターネットを駆使して必要な情報を集める、PowerPoint等で答案を作成して電子メールで提出する、といったPCの基本的な使用方法に慣れておくこと。**２～３回、演習課題を出題するが、いずれも、受験までで接してきた「正解」のある問題ではなく、「地球温暖化問題を解決するためには、どうしたらよいか、自分の考えを述べよ。形式自由だが、PowerPointならスライド20枚以上を目安に、濃い内容とすること」といった、自分で考え、自分の言葉で説明しなければならない「難問」とする予定。インターネットやAIに答を求めたり、いわゆる「過去問」を入手したり、一夜漬けなどをしても、評価の高い答案の作成にはほとんど役立たない。提出期限を長めに設定するので、時間をかけて情報を吟味し、論理を構築して、オリジナリティの高い答案を作成すること。**

【テキスト（教科書）】
『実感する化学(上巻・地球感動編)』アメリカ化学会　著、廣瀬千秋訳著、エヌ・ティー・エス(2015 年発刊)、本体3,500円＋税
http://www.nts-book.co.jp/item/detail/summary/kagaku/20151201_158.html
※この書籍の構成にそって授業を行うが、内容を一字一句ていねいにおいかけたり、演習問題をひとつひとつ解いたりはしない。したがって、この書籍がないと毎回の講義についていけない、というわけではない。しかし、講義内容をじゅうぶんに理解し、課題について深く考察するためには、この書籍の通読が近道となる場合が多いため、この書籍を「参考書」ではなく「教科書」とした。なお【授業計画】に記した通り、秋学期は第４～６章を使用する。春学期の「化学基礎Ｉ」で、第１～３章を使用する。**春秋を通じての履修をおすすめする。**

【参考書】
『ファラデーのつくった世界　ロウソクの科学が歴史を変えた』藤嶋昭・落合剛・濱田健吾　著、化学同人(2024 年3月発刊)、本体2,000円＋税
https://www.kagakudojin.co.jp/book/b632970.html
※担当教員が実験部分を主に執筆した書籍。講義で実演する実験も多数収録されているため、より深く講義内容を理解する手助けとなる。
そのほか、参考となる書籍は、講義や学習支援システム上で随時紹介する。専門書、一般書、科学論文、webページやYouTube動画など、講義内容に関連する話題を幅広く紹介する予定。

【成績評価の方法と基準】
●上記の到達目標に記載した４つの項目の習得度を、いくつかの演習課題および期末試験問題から評価する。出題するのは、いずれも、いわゆる「正解」など存在せず、インターネットやAIで調べたり、過去問を入手したところで、簡単に高評価が得られない「難問」になっている。高校までの勉強は、ひとつの問題にひとつの正解があって、そのパターンを覚えてしまえば点が取れるが、大学では、与えられた問はきっかけにすぎず、それに答えたうえで、さらにどこまで自分の世界をひろげられるか、「自発的な学び」が重要になる。大学院や社会人になると、問すら与えられず、まず世の中のどこに問題があるか自分で探す。多くの環境問題がそうであるように、そんな問題にまだ「正解」などないので、より多くの人が納得できる答を、できれば複数、提案できる能力が求められる。つまり、みなさんのこれからの人生では、「覚えること」よりも「考え、説明すること」の方が圧倒的に多くなる。そういうわけでこの講義では**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準になる。**

●目標１については、講義や教科書の内容をもとに計算を中心とした問題を出題して評価する。目標２および３については、講義中に実際の科学論文などを参考資料として説明し、それをふまえた考察中心の問題を出題する。目標４については、科学や地球環境をめぐる時事問題に目を向け、様々な視点から新しい提案を構築する能力を問う問題を出題する。試験問題は、これらの項目すべてにわたる総合的な問題を出題する予定である。したがって、これらの演習課題や試験問題の解き方が、成績評価の主な対象となる。なお、演習課題に対し優秀な答案を提出した者については、講義中に発表してもらうことがあり、その発表姿勢も評価対象となる。さらに平常点として、模範解答の発表や講義の解説に対し、秀逸な質問・コメントを発したかどうかなども評価対象とする（科学の知識は必ずしも重要ではない。実験へのリアクションや、素朴な疑問・感想等でも評価対象となる）。上記のように**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準だから、出席しただけで加点されるような「出席点」は考慮しない。配点としては、期末試験（あるいは試験相当課題）が40%、演習課題の合計が30%、その他平常点が30%程度である。**

【学生の意見等からの気づき】

●春学期・秋学期の3・4限で計4回実施したアンケートを集計すると、下記の通りとなった（対象者数のべ100名、回答率33%）。

Q1.この授業では、積極的な工夫がされていましたか
（５段階評価での各段階の回答者数を記載）
大変工夫していた←20，10，1，1，1→あまり工夫していない
（「大変工夫していた」を5点とすると平均4.4点）
Q3.この授業内容を理解できましたか
大変理解できた←13，12，6，1，1→理解できなかった
（同、平均4.1点）
Q4.この授業を履修してよかったと思いますか
大変よかった←17，10，4，1，1→よくなかった
（同、平均4.2点）

回答した受講生の多くが講義にポジティブな印象をもっていることがうかがえた。「Q5.この授業を履修して、よかった点や改善してほしい点等を記入してください」という設問に対しては、具体的な感想や意見が寄せられ、気づくことも多々あった。それらの意見や気づきは、「教員コメント」機能を使い、受講生の意見を抜粋・引用しながら紹介し、フィードバックとした。いくつか、以下に例示する（太字が受講生の回答部分）。

●**「数学などとは違って、答えのない問いに取り組むのが初めてで新鮮でした」「講義をただ受けるのではなく、主体的に授業を受けることができたのは、ほかの授業にはない部分だと思う」**という感想、うれしいですね。本来、学びは自主的な行動ですので、みなさん自身が自主的に学びたくなるような工夫をいつも考えています。興味深さが増すことで、たくさんの疑問や質問も生まれていましたね。今後も、みなさんの興味を引き出しつつ、気軽に質問できる環境を準備しておきます！

●**「レポートでは、今まで当たり前に思っていたことを真剣に考えることによって、新しく覚えたものや、新しい視点を持つことができました」「パワーポイントの作成等大変なこともいくつかあったが、自身の思考力が鍛えられた気がします」**というコメント、ありがとうございます。課題やグループディスカッションは、みなさんの考える力や説明するスキルをきたえるために、テーマを設定する私の方も、いろいろ考えていますよ。楽しみながらしっかり力がついたようで、良かったです。

●**「自宅からのZoomの際に教室では行えない様な実験をみれたのが楽しかった」「ZOOMも利用して授業をしていただけたため、僕の家にある参考書、資料集などを見直しながら授業を受けることができた」**と、オンラインの良さについても感想がありました。また感染が拡大していて不安ですが、みなさんの学ぶ機会や選択肢をしっかり確保できるよう、工夫していきます。

●**「（略）分野間に垣根を作らないような授業構成だったため、自身の専門にも当てはめながら考えを進めることができました。各場面でフィードバックを細かくお送りいただいていたため、どこをどう改善すればいいのか非常に分かりやすかったです。唯一残念なことといえば、この授業が一週間で一コマしか受けられないことでした。」**嬉しいコメントありがとうございます。幅広い分野の学びの基礎になるよう工夫した甲斐がありました。

●**「高校課程の化学を学んでこなかった自分でも楽しく受けられる授業でした。（略）敢えてマイナス面を探すとすれば、対面・zoomどちらでも可な回で対面とオンラインにあまり差別化がなく、（略）教室での参加へのモチベーションをもう少し作ってもいいのではないかと思いました。（略）課題は、最終提出日以外にも途中経過報告の義務日を明確に作った方が計画的に課題を進められるのではないかと思います。進行目安や仮提出推奨くらいでは自分はどうしても先延ばしにしてしまいがちだったので、反省しております。（略）自分でゼロから作る課題の存在はとても大変でしたが、それも込みで、履修した授業の中で一番“参加する学生のことを考えられた授業”だと感じました。」**たくさんの意見ありがとうございます。私が改善すべき点もありますが、そもそも大学は主体的に学ぶ場ですから、教員のサポートに頼るのではなく、自分でも反省している通り、皆さん自身がモチベーションを保つ努力も必要かと思いますよ。

●**「レポートの内容が少し難しい。また、レポートの提出方法を統一してほしい。word,パワポなど様々な方法が許可されているのが好ましくない。」**これは正直言って意外です。選択肢を減らしてほしいとのこと、本当にいいですか？ 仮に提出方法をWordに統一した場合「他の方法も選ばせてほしい」という意見が出そうです。また、過去にはYouTuberのように動画で提出した人もいます。提出方法の統一は、皆さんの才能を活かす機会を奪い、それこそ「好ましくない」と思います。あなたも、得意な方法を選び、才能をぶつけてください。なお、課題は、皆さんの考える力をはかるのが目的ですので、ある程度難しくないといけません。シラバスにも「ネットで調べたり過去問を入手したところで簡単に高評価が得られない問題」と明記しています。その分、何度でも質問や仮提出を受け付けていますので、遠慮なく相談してください。ちなみに別の人は**「先生がいつも問題を優しく解答してくれました。課題の内容も面白かったです」**（原文ママ）という意見をくれました。周りの友人があなたと同じ意見か、その友人が何回私とやりとりしたか、きいてみては？

●**「zoomで受ける時にコメントしないと平常点がもらえないのが意味わからない。しっかり受けてたら分かるとか、そう言う問題ではなく、知識がある人が点数高くなるのはいかがなものかと思う。あと一番やめて欲しいのが、自慢。テレビなどに出演して天狗になってるかわからないけど、あまりいい気はしない。これは全生徒が思ってる。」**平常点について意図が伝わらず申し訳ないです。知識の有無に関わらず、積極的に講義に参加した人に平常点を付与していますよ。実験へのリアクションや質問等でも平常点を加算しています。さらに、講義中のコメントだけでなく、掲示板へのノートや質問の投稿も加算対象です。ぜひ、積極的に投稿してください！ 次に「自慢」について。まずは、自慢と受け取られ不快にさせたことをお詫びします。ただ、決して自慢したつもりはありませんが、自信をもって自分の研究成果等をメディアで発信していたのは事実です。あなたも、自慢と受け取られるほど、自信をもって発信できるものをもっていますか？ まずは、課題に対して「こんなに調べて考えてきました！ どうですか！」と自信をもって答案を提出できるよう、取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

インターネットを駆使して情報を集めたり、電子メールで課題の答案を提出することがあるので、PC等を準備し、使用に慣れておくこと。とくに、学習支援システムは、講義スライドや課題の模範解答をアップロードしたり、講義に関する重要な連絡を発信したりするので、必ず登録し、使用に慣れておくこと。また、オンライン講義にも対応できるよう、Zoomをはじめとした各種ツールの準備をしておくこと。さらに、LINEオープンチャットでは、学生同士の自由な交流を主な目的として、雑談を随時展開している。参加が必須ではないが、興味があれば、LINEオープンチャットも使用できるようにしておくと良い（参加方法は講義内で説明する）。

【その他の重要事項】

●X,Yクラスに対し、それぞれ3,4限で同じ講義を行う。3限が必修科目と重なっている場合、クラス変更申請によって、4限を履修できる。詳細は、学部ホームページの「履修関連情報」を参照。

●春学期と秋学期で教科書を半分ずつ進める。春学期・秋学期合わせての履修を推奨する。

●教員は、神奈川県の公的研究機関に勤める研究者である。その実務経験もふまえ、科学の最先端で何が研究されているのか、そもそも研究とは何か、といった話も交える。いずれ取り組む卒業研究（人によっては、さらにその先の研究者人生）が充実したものになるよう、研究の楽しさや重要性を伝えていく。詳細な仕事の内容や研究に対する哲学については、2021年11月に出演した下記YouTube番組を参照（23:30頃に登場）。
https://www.youtube.com/watch?v=U5LCwhSjFSM

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will learn **"how chemistry influence our daily lives"** based on principles and methods of chemistry. You acquire the scientific thinking and problem solving skills.

【Learning Objectives】
1. Basic knowledge of chemistry, especially units and physical quantities, and how to handle and calculate them.
2. How to find and use scientifically reliable information such as papers.
3. Ability to understand familiar phenomena from a scientific perspective, think about them, and explain them in one's own words.
4. Ability to logically consider and propose solutions to various problems related to science and the environment.
【Learning activities outside of classroom】
The standard study time outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. The content of this class is designed so that even if you were not good at chemistry in high school (or even if you have not taken chemistry at all), you do not need to have a solid understanding of chemistry up to high school. **You will be given two or three exercises, all of which require you to think for yourself and explain in your own words.** It is not enough to do a little research on the Internet, so please take the time to examine the information, construct your logic, and prepare highly original answers.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 40%, Short reports: 30%, in class contribution: 30%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

落合　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「化学が日常生活にどう結びついているか」について、化学だけでなく、自然科学全体を俯瞰しながら深く学ぶ。また、それを通して、科学的な視点・考え方から問題解決能力までを幅広く身に付けることを目的とする。

【到達目標】
１．化学の基礎知識、とくに単位や物理量とそれらの扱い方・計算法の習得
２．論文など、科学的に信頼できる情報の見分け方とその活用法の習得
３．身近な現象を科学的視点でとらえ、考え、自分の言葉で説明できる
４．科学や環境に関する諸問題について論理的に考察し、解決策を提案できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書のテーマをふまえた実験を中心に、動画、PowerPointスライド、参考になるwebサイトの紹介など、さまざまなツールを活用して講義を進める。随時、質疑応答やグループディスカッションなどをおりまぜ、リアルタイム双方向の講義を展開する。毎回の講義終了後、学習支援システムの「教材」に、講義中に演示した実験の動画や参考になるwebサイトのリンクをアップロードし、復習できるようにする。また「授業内掲示板」では、講義時間内に終了しなかった質疑応答なども行い、学習支援システムでも双方向に講義内容を深めていく。**２～３回、演習課題を出題し、電子メールで答案を提出してもらう。提出された答案には、それぞれ電子メールでコメントを返信する。**優秀な答案は講義内で発表してもらい、学習支援システムにもアップロードして、受講者全員で共有する。授業は、**対面＋Zoomのハイフレックス形式で行う予定である。健康上の理由などで講義室で受講できない学生はもちろん、対面で受講している学生にも、Zoomに入室してもらい、チャット機能で随時質問を受け付ける**（「気軽に質問できるうえ飛沫も飛ばず安心」という感想があったため、対面講義再開後もZoomを併用している）。また、教員が出張等で講義室に行けなかったり、講義室ではできない大がかりな実験を演示したりする場合は、対面ではなく完全にオンラインでの授業とする（2022年度は、教員が国際学会開催地のチリから、時差も考慮してリアルタイムオンライン授業を実施したことがあった）。下記の【授業計画】には、現時点で予定している授業形態を記載してある。詳細は毎回の講義前に学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	教科書第4章 エネルギー①	【実験：金属から取り出す電気】エネルギーの定義とかたち
2	教科書第4章 エネルギー②	【実験：水素から取り出す電気】電池とその原理
3	教科書第4章 エネルギー③	【実験：電気の正体】エネルギーのかたちと変換
4	教科書第4章 エネルギー④	【実験：化学反応とエネルギー①】燃焼から取り出すエネルギー
5	教科書第4章 エネルギー⑤	【実験：化学反応とエネルギー②】エネルギー収支の計算
6	教科書第4章 エネルギー⑥	【実験：酸化と還元】酸素のやり取り、エネルギーまとめ
7	教科書第5章 水の化学・水の働き①	【実験：水の性質①】水をめぐる世界情勢
8	教科書第5章 水の化学・水の働き②	【実験：水の性質②】水の不思議な性質
9	教科書第5章 水の化学・水の働き③	【実験：水の分析】何が溶けているか？
10	教科書第5章 水の化学・水の働き④	【実験：水の浄化】水をきれいにする方法・水まとめ
11	教科書第6章 酸性雨①	【実験：酸とその性質①】酸とは何か
12	教科書第6章 酸性雨②	【実験：酸とその性質②】酸性雨をつくってみる
13	教科書第6章 酸性雨③	【グループディスカッション】酸性雨とその解決策
14	演習問題、まとめ	科学的に信頼できる情報の収集方法、具体的な問題の考え方・解き方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】高校までの授業で化学が苦手だったとしても（あるいは化学を全く履修してこなかったとしても）問題ないように内容を工夫しているので、高校までの化学をしっかり理解していなくてもよい。そのかわり、インターネットを駆使して必要な情報を集める、PowerPoint等で答案を作成して電子メールで提出する、といったPCの基本的な使用方法に慣れておくこと。**２～３回、演習課題を出題するが、いずれも、受験までで接してきた「正解」のある問題ではなく、「地球温暖化問題を解決するためには、どうしたらよいか、自分の考えを述べよ。形式自由だが、PowerPointならスライド20枚以上を目安に、濃い内容とすること」といった、自分で考え、自分の言葉で説明しなければならない「難問」とする予定。インターネットやAIに答を求めたり、いわゆる「過去問」を入手したり、一夜漬けなどをしても、評価の高い答案の作成にはほとんど役立たない。提出期限を長めに設定するので、時間をかけて情報を吟味し、論理を構築して、オリジナリティの高い答案を作成すること。**

【テキスト（教科書）】
『実感する化学(上巻・地球感動編)』アメリカ化学会　著、廣瀬千秋訳著、エヌ・ティー・エス(2015 年発刊)、本体3,500円＋税
http://www.nts-book.co.jp/item/detail/summary/kagaku/20151201_158.html
※この書籍の構成にそって授業を行うが、内容を一字一句ていねいにおいかけたり、演習問題をひとつひとつ解いたりはしない。したがって、この書籍がないと毎回の講義についていけない、というわけではない。しかし、講義内容をじゅうぶんに理解し、課題について深く考察するためには、この書籍の通読が近道となる場合が多いため、この書籍を「参考書」ではなく「教科書」とした。なお【授業計画】に記した通り、秋学期は第４～６章を使用する。春学期の「化学基礎Ｉ」で、第１～３章を使用する。**春秋を通じての履修をおすすめする。**

【参考書】
『ファラデーのつくった世界　ロウソクの科学が歴史を変えた』藤嶋昭・落合剛・濱田健吾　著、化学同人(2024 年3月発刊)、本体2,000円＋税
https://www.kagakudojin.co.jp/book/b632970.html
※担当教員が実験部分を主に執筆した書籍。講義で実演する実験も多数収録されているため、より深く講義内容を理解する手助けとなる。
そのほか、参考となる書籍は、講義や学習支援システム上で随時紹介する。専門書、一般書、科学論文、webページやYouTube動画など、講義内容に関連する話題を幅広く紹介する予定。

【成績評価の方法と基準】
●上記の到達目標に記載した４つの項目の習得度を、いくつかの演習課題および期末試験問題から評価する。出題するのは、いずれも、いわゆる「正解」など存在せず、インターネットやAIで調べたり、過去問を入手したところで、簡単に高評価が得られない「難問」になっている。高校までの勉強は、ひとつの問題にひとつの正解があって、そのパターンを覚えてしまえば点が取れるが、大学では、与えられた問はきっかけにすぎず、それに答えたうえで、さらにどこまで自分の世界をひろげられるか、「自発的な学び」が重要になる。大学院や社会人になると、問すら与えられず、まず世の中のどこに問題があるか自分で探す。多くの環境問題がそうであるように、そんな問題にまだ「正解」などないので、より多くの人が納得できる答を、できれば複数、提案できる能力が求められる。つまり、みなさんのこれからの人生では、「覚えること」よりも「考え、説明すること」の方が圧倒的に多くなる。そういうわけでこの講義では**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準になる。**

●目標１については、講義や教科書の内容をもとに計算を中心とした問題を出題して評価する。目標２および３については、講義中に実際の科学論文などを参考資料として説明し、それをふまえた考察中心の問題を出題する。目標４については、科学や地球環境をめぐる時事問題に目を向け、様々な視点から新しい提案を構築する能力を問う問題を出題する。試験問題は、これらの項目すべてにわたる総合的な問題を出題する予定である。したがって、これらの演習課題や試験問題の解き方が、成績評価の主な対象となる。なお、演習課題に対し優秀な答案を提出した者については、講義中に発表してもらうことがあり、その発表姿勢も評価対象となる。さらに平常点として、模範解答の発表や講義の解説に対し、秀逸な質問・コメントを発したかどうかなども評価対象とする（科学の知識は必ずしも重要ではない。実験へのリアクションや、素朴な疑問・感想等でも評価対象となる）。上記のように**「自分で考え、自分の言葉で説明できているか」が評価基準だから、出席しただけで加点されるような「出席点」は考慮しない。配点としては、期末試験（あるいは試験相当課題）が40%、演習課題の合計が30%、その他平常点が30%程度である。**

【学生の意見等からの気づき】

●春学期・秋学期の3・4限で計4回実施したアンケートを集計すると、下記の通りとなった（対象者数のべ100名、回答率33%）。

Q1.この授業では、積極的な工夫がされていましたか
（５段階評価での各段階の回答者数を記載）
大変工夫していた←20，10，1，1，1→あまり工夫していない
（「大変工夫していた」を5点とすると平均4.4点）
Q3.この授業内容を理解できましたか
大変理解できた←13，12，6，1，1→理解できなかった
（同、平均4.1点）
Q4.この授業を履修してよかったと思いますか
大変よかった←17，10，4，1，1→よくなかった
（同、平均4.2点）

回答した受講生の多くが講義にポジティブな印象をもっていることがうかがえた。「Q5.この授業を履修して、よかった点や改善してほしい点等を記入してください」という設問に対しては、具体的な感想や意見が寄せられ、気づくことも多々あった。それらの意見や気づきは、「教員コメント」機能を使い、受講生の意見を抜粋・引用しながら紹介し、フィードバックとした。いくつか、以下に例示する（太字が受講生の回答部分）。

●**「数学などとは違って、答えのない問いに取り組むのが初めてで新鮮でした」「講義をただ受けるのではなく、主体的に授業を受けることができたのは、ほかの授業にはない部分だと思う」**という感想、うれしいですね。本来、学びは自主的な行動ですので、みなさん自身が自主的に学びたくなるような工夫をいつも考えています。興味深さが増すことで、たくさんの疑問や質問も生まれていましたね。今後も、みなさんの興味を引き出しつつ、気軽に質問できる環境を準備しておきます！

●**「レポートでは、今まで当たり前に思っていたことを真剣に考えることによって、新しく覚えたものや、新しい視点を持つことができました」「パワーポイントの作成等大変なこともいくつかあったが、自身の思考力が鍛えられた気がします」**というコメント、ありがとうございます。課題やグループディスカッションは、みなさんの考える力や説明するスキルをきたえるために、テーマを設定する私の方も、いろいろ考えていますよ。楽しみながらしっかり力がついたようで、良かったです。

●**「自宅からのZoomの際に教室では行えない様な実験をみれたのが楽しかった」「ZOOMも利用して授業をしていただけたため、僕の家にある参考書、資料集などを見直しながら授業を受けることができた」**と、オンラインの良さについても感想がありました。また感染が拡大していて不安ですが、みなさんの学ぶ機会や選択肢をしっかり確保できるよう、工夫していきます。

●**「（略）分野間に垣根を作らないような授業構成だったため、自身の専門にも当てはめながら考えを進めることができました。各場面でフィードバックを細かくお送りいただいていたため、どこをどう改善すればいいのか非常に分かりやすかったです。唯一残念なことといえば、この授業が一週間で一コマしか受けられないことでした。」**嬉しいコメントありがとうございます。幅広い分野の学びの基礎になるよう工夫した甲斐がありました。

●**「高校課程の化学を学んでこなかった自分でも楽しく受けられる授業でした。（略）敢えてマイナス面を探すとすれば、対面・zoomどちらでも可な回で対面とオンラインにあまり差別化がなく、（略）教室での参加へのモチベーションをもう少し作ってもいいのではないかと思いました。（略）課題は、最終提出日以外にも途中経過報告の義務日を明確に作った方が計画的に課題を進められるのではないかと思います。進行目安や仮提出推奨くらいでは自分はどうしても先延ばしにしてしまいがちだったので、反省しております。（略）自分でゼロから作る課題の存在はとても大変でしたが、それも込みで、履修した授業の中で一番“参加する学生のことを考えられた授業”だと感じました。」**たくさんの意見ありがとうございます。私が改善すべき点もありますが、そもそも大学は主体的に学ぶ場ですから、教員のサポートに頼るのではなく、自分でも反省している通り、皆さん自身がモチベーションを保つ努力も必要かと思いますよ。

●**「レポートの内容が少し難しい。また、レポートの提出方法を統一してほしい。word,パワポなど様々な方法が許可されているのが好ましくない。」**これは正直言って意外です。選択肢を減らしてほしいとのこと、本当にいいですか？ 仮に提出方法をWordに統一した場合「他の方法も選ばせてほしい」という意見が出そうです。また、過去にはYouTuberのように動画で提出した人もいます。提出方法の統一は、皆さんの才能を活かす機会を奪い、それこそ「好ましくない」と思います。あなたも、得意な方法を選び、才能をぶつけてください。なお、課題は、皆さんの考える力をはかるのが目的ですので、ある程度難しくないといけません。シラバスにも「ネットで調べたり過去問を入手したところで簡単に高評価が得られない問題」と明記しています。その分、何度でも質問や仮提出を受け付けていますので、遠慮なく相談してください。ちなみに別の人は**「先生がいつも問題を優しく解答してくれました。課題の内容も面白かったです」**（原文ママ）という意見をくれました。周りの友人があなたと同じ意見か、その友人が何回私とやりとりしたか、きいてみては？

●**「zoomで受ける時にコメントしないと平常点がもらえないのが意味わからない。しっかり受けてたら分かるとか、そう言う問題ではなく、知識がある人が点数高くなるのはいかがなものかと思う。あと一番やめて欲しいのが、自慢。テレビなどに出演して天狗になってるかわからないけど、あまりいい気はしない。これは全生徒が思ってる。」**平常点について意図が伝わらず申し訳ないです。知識の有無に関わらず、積極的に講義に参加した人に平常点を付与していますよ。実験へのリアクションや質問等でも平常点を加算しています。さらに、講義中のコメントだけでなく、掲示板へのノートや質問の投稿も加算対象です。ぜひ、積極的に投稿してください！ 次に「自慢」について。まずは、自慢と受け取られ不快にさせたことをお詫びします。ただ、決して自慢したつもりはありませんが、自信をもって自分の研究成果等をメディアで発信していたのは事実です。あなたも、自慢と受け取られるほど、自信をもって発信できるものをもっていますか？ まずは、課題に対して「こんなに調べて考えてきました！ どうですか！」と自信をもって答案を提出できるよう、取り組んでください。

【学生が準備すべき機器他】

インターネットを駆使して情報を集めたり、電子メールで課題の答案を提出することがあるので、PC等を準備し、使用に慣れておくこと。とくに、学習支援システムは、講義スライドや課題の模範解答をアップロードしたり、講義に関する重要な連絡を発信したりするので、必ず登録し、使用に慣れておくこと。また、オンライン講義にも対応できるよう、Zoomをはじめとした各種ツールの準備をしておくこと。さらに、LINEオープンチャットでは、学生同士の自由な交流を主な目的として、雑談を随時展開している。参加が必須ではないが、興味があれば、LINEオープンチャットも使用できるようにしておくと良い（参加方法は講義内で説明する）。

【その他の重要事項】

●X,Yクラスに対し、それぞれ3,4限で同じ講義を行う。3限が必修科目と重なっている場合、クラス変更申請によって、4限を履修できる。詳細は、学部ホームページの「履修関連情報」を参照。

●春学期と秋学期で教科書を半分ずつ進める。春学期・秋学期合わせての履修を推奨する。

●教員は、神奈川県の公的研究機関に勤める研究者である。その実務経験もふまえ、科学の最先端で何が研究されているのか、そもそも研究とは何か、といった話も交える。いずれ取り組む卒業研究（人によっては、さらにその先の研究者人生）が充実したものになるよう、研究の楽しさや重要性を伝えていく。詳細な仕事の内容や研究に対する哲学については、2021年11月に出演した下記YouTube番組を参照（23:30頃に登場）。
https://www.youtube.com/watch?v=U5LCwhSjFSM

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will learn **"how chemistry influence our daily lives"** based on principles and methods of chemistry. You acquire the scientific thinking and problem solving skills.

【Learning Objectives】
1. Basic knowledge of chemistry, especially units and physical quantities, and how to handle and calculate them.
2. How to find and use scientifically reliable information such as papers.
3. Ability to understand familiar phenomena from a scientific perspective, think about them, and explain them in one's own words.
4. Ability to logically consider and propose solutions to various problems related to science and the environment.
【Learning activities outside of classroom】
The standard study time outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. The content of this class is designed so that even if you were not good at chemistry in high school (or even if you have not taken chemistry at all), you do not need to have a solid understanding of chemistry up to high school. **You will be given two or three exercises, all of which require you to think for yourself and explain in your own words.** It is not enough to do a little research on the Internet, so please take the time to examine the information, construct your logic, and prepare highly original answers.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 40%, Short reports: 30%, in class contribution: 30%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

普神　敬悟

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学で履修する化学的内容を十分に理解することができるよう、また、高等学校理科教員として化学を教える上で必要な、化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 気体の状態方程式とその考え方を説明できる。
(2) 化学変化をエネルギーの観点から説明できる。
(3) 化学反応の進む方向を予測できる。
(4) 溶液の濃度換算ができ、束一的性質を説明できる。
(5) 酸・塩基の性質を説明できる。
(6) 緩衝作用を説明できる。
(7) 酸化と還元を説明できる。
(8) 電池の起電力を説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って講義を行う。
理解が深められるように、必要に応じて補足資料を配布したり、問題演習を取り入れ、理解度を把握しながら進める。
課題等に対しては、学習支援システム上でフィードバックする。
対面授業で実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	気体の性質	圧力、気体の法則、理想気体の状態方程式
2	エネルギー	系、熱、仕事、エネルギー
3	内部エネルギーとエンタルピー	内部エネルギー、エンタルピー
4	反応のエンタルピー	生成エンタルピー、標準反応エンタルピー
5	熱力学第2法則	自発的変化、エントロピー
6	自由エネルギー	ギブスの自由エネルギー、正味の仕事
7	溶液の性質	モル濃度、質量モル濃度、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧
8	前半（第６回まで）の内容の理解度確認テスト・まとめと解説	前半（第７回まで）の内容についての理解度の確認
9	酸と塩基１	酸と塩基の強さ、 pKa、pH
10	酸と塩基２	解離定数、弱酸、弱塩基水溶液のpH
11	酸と塩基３	塩の水溶液のpH、緩衝液、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式
12	酸化と還元１	酸化還元の定義、酸化数、酸化剤と還元剤
13	酸化と還元２	半反応、酸化還元反応式、電池
14	酸化と還元３	標準電極電位、起電力、ネルンストの式と化学平衡

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、１時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・配布および授業支援システムにより提供する演習問題に取り組むことを通じ、理解の度合いを確認する。
・講義内容のうち、講義内に理解できなかった部分について、講義中に示されとた教科書の対応ページの内容や講義メモを読み返し、講義中に実施した問題演習に再挑戦するなどして理解を深める。
・教科書の章末問題を解き、理解の改善を確かめる。
・自力で理解できない場合は、Hoppii の 掲示板や電子メールなどを活用して質問し、理解して納得できるまで粘り強く指導を受ける。

【テキスト（教科書）】
フレンドリー基礎物理化学演習、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2013年、2700円＋税

【参考書】
・フレンドリー物理化学、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2004年、2800円＋税
・物理化学要論第7版、アトキンス、東京化学同人、2020年、6490円
・一般化学第8版（上・下）、アトキンス、東京化学同人、2025年、各3740円

【成績評価の方法と基準】
・期末試験 45％
・中間テスト 40％
・平常点（授業中の課題や宿題への取り組み）15％

【学生の意見等からの気づき】
講義内容の理解を助けるために学習支援システム上の「教材」機能および「課題」機能を活用する。授業内掲示板や電子メールを活用した、講義内容について疑問の残る受講生との緊密なコミュニケーションを通じ、受講生全員が十分な理解に到達できるよう、支援に努める。

【学生が準備すべき機器他】
毎回，教科書と電卓を持参すること。演習問題に取り組むための専用のノートを用意し、活用されたい。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、学習支援システム上の授業内掲示板や電子メールなどを活用して、質問や要望をいつでも遠慮なく寄せて下さい。

【None】
None

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course is to help students brush up chemistry they have learned in high school and understand chemistry they will study in the university and teach in high school.
【Learning Objectives】
The aim of this couse is to understand basic principles of chemistry.
The subjects to learn in this class are composed of significant figure rules, stoichiometry, structure of atoms and molecules, basic nature of the chemical bond, intermolecular force, chemical resonance structure, and acids and bases.
【Learning activities outside of classroom】
Students are expected to take an hour to read the corresponding pages of the textbook that will be referred to in the next lesson.
They are also expected to brush up what they learned by exercises given in the textbook and in the class.
Student are expected to spend an hour in total for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Mid-term examination (35%), term-end examination (45%), exercise in each class meeting (10%), and in-class contribution (10%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

尾池　秀章

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学の化学を学ぶ上で必要とする予備知識の再確認も含めて，高校と大学の化学の橋渡し的役割を担う科目である。大学での化学を理解することができるよう，化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 化学変化をエネルギーの観点から説明できる。
(2) エンタルピーとエントロピーについて説明できる。
(3) 物質変化の駆動力と化学平衡について説明できる。
(4) 溶液の組成を適切に表現でき，溶液の束一性に基づく現象を説明できる。
(5) 酸・塩基の性質を述べることができる。
(6) 緩衝作用を説明できる。
(7) 酸化と還元を説明できる。
(8) 電池の起電力を説明できる。
(9) 化学反応の速度に及ぼす因子について説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基本的に書込み型のスライドを用いながら講義を行う。毎回，講義内容に沿った確認テストを課し，次回以降の講義中に解説を加えてフィードバックし，理解が深められるように進める。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	化学熱力学１	系，熱，仕事，内部エネルギー，熱力学第一法則
2	化学熱力学２	エンタルピー，化学反応とエンタルピー変化，ヘスの法則
3	化学熱力学３	エントロピー，ギブスエネルギーと反応の自発性
4	化学平衡１	平衡定数と反応商
5	化学平衡２	平衡とギブスエネルギー，変化と応答
6	溶液と溶解度１	溶液の化学量論，混合気体，混合液体
7	溶液と溶解度２	溶解性の定量化，溶液の束一性
8	酸と塩基１	酸，塩基の定義，水素イオン指数，酸解離定数
9	酸と塩基２	塩の加水分解，緩衝液，ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式，酸塩基滴定
10	酸化還元１	酸化還元の定義，酸化数，酸化還元反応式，ガルバニ電池
11	酸化還元２	電池と起電力（電池電位），標準還元電位（標準電極電位），電気分解
12	反応速度論１	反応速度に及ぼす因子，反応速度式
13	反応速度論２	活性化エネルギー，反応機構と触媒
14	まとめと解説 期末試験	全体の内容についての確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・教科書の例題や練習問題を解き，理解を深める。
・学習支援システムなどで課された課題・確認テストに取り組む。

【テキスト（教科書）】
ブラックマン 基礎科学，小島憲道 監訳　錦織紳一・野口徹・平岡秀一 訳，東京化学同人，2800円＋税
授業は基本的にはこの教科書の項目に沿って行うが，購入は必須ではない。

【参考書】
・ブラウン 一般化学II，荻野和子 監訳　上野圭司・鵜沼英郎・鹿又宣弘 訳，丸善出版，3000円＋税
・マッカーリ　一般化学（下），村田滋 訳，東京化学同人，3000円＋税
・化合物から理解する　大学の有機化学　必要な機器分析とともに　若狭雅信　編著，丸善出版，3500円＋税
など。
その他，高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，参考書

【成績評価の方法と基準】
次のいずれかのうち高い点のほうを採用する。
(1)平常点も含め各項目で行う小テスト60％＋定期テスト40％
(1)平常点も含め各項目で行う小テスト30％＋定期テスト70％

【学生の意見等からの気づき】
スライドを見やすく工夫する。また資料や問題における記述のミスをなくす。

【学生が準備すべき機器他】
授業時における課題などでは電卓を用いても構わない。

【Outline (in English)】
【Course outline】
This lecture is designed for the students who don't fully understand or have failed to learn basic chemistry. The aim of this lecture is that the students have a knowledge and understanding of basic chemistry.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
・Account for the meaning of commonly encountered values and concepts in reaction kinetics and carry out calculations in basic kinetics.
・ Account for basic concepts as well as carry out calculations in stoichiometry, equilibria and basic thermodynamics.
・ Account for basic concepts of acids and bases.
・ Account for basic concepts in electrochemistry.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (containing quizzes) (60%) and term-end examination (40%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

見附　孝一郎

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学の化学を学ぶ上で必要する化学の知識を再認識する。あわせて、身近な化学的現象や専門分野での化学が理解できる化学的基礎知識を修得して、化学を通して社会人として必要な教養と人としての素養を培っていくことを目的とする。

【到達目標】
1) 化学反応におけるエネルギー授受を定量的に取り扱える。
2) エントロピーと化学変化の自発性について説明できる。
3）化学平衡と自由エネルギーの関係を知り、平衡定数や反応商を計算できる。
4) 溶液の各種濃度を計算し変換できる。酸と塩基の定義を複数列挙できる。
5) 中和反応の当量計算やｐＨの対数計算ができる。
6) 酸化と還元における電子授受を説明できる。
7) 酸化還元滴定の反応式を書くことができる。
8) イオン化傾向と標準電極電位について説明できる。
9) 電池の標準起電力を求められる。
10) 二次元表面に特有な性質と分子の配列を関連付けられる。
11) 結晶を分類するために必要な結晶系とブラベ格子の概念が身に付く。
12) 単位格子中の原子の配置を理解し、密度と結び付けられる。
13) 遷移金属錯体の光物性と磁性を電子構造から説明できる
14) 高分子化合物の重合方式と物理的・科学的性質を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業はパワーポイントと黒板書を中心に行う。ほぼ毎回、授業の内容に沿った演習問題を課す。次の回の授業冒頭に前回の演習問題の全体あるいは一部を説明し、当該テーマに対する理解を深められるように進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業方針の説明、反応熱、エンタルピー変化	定圧等温条件での反応熱、エンタルピー変化、標準生成エンタルピー、燃焼エンタルピー
第2回	エントロピー、平衡熱力学	熱力学第二法則、ボルツマンの式、孤立系の自発変化、ΔＳの計算
第3回	ギブズ自由エネルギー、化学平衡	定圧等温条件下の閉鎖系の自発変化、ΔＧの計算、化学平衡の法則
第4回	溶液の濃度、酸と塩基	質量パーセント濃度、体積モル濃度、質量モル濃度、酸と塩基の3種類の定義
第5回	中和反応、ｐＨ	中和滴定、体積モル濃度の計算、ｐＨの計算
第6回	酸化と還元、酸化数	酸化数の求め方、酸化剤と還元剤
第7回	酸化還元滴定	電子を含む半反応式、酸化還元反応式、当量の計算
第8回	イオン化傾向、標準電極電位	標準水素電極、化学電池の陽極（負極）と陰極（正極）
第9回	電極反応と外部電流、電気分解	各電極で起こる反応、塩橋、標準起電力の計算、ファラデーの式
第10回	表面科学、単分子膜	表面圧と分子の配向、表面張力
第11回	固体結晶の分類	結晶系、格子定数、ブラベ格子、イオン結晶、分子結晶、金属結晶
第12回	単位格子の性質	原子半径、配位数、充填率の計算、合金、格子エネルギー
第13回	遷移金属錯体	結晶場理論、分光化学系列、配位子場理論の初歩
第14回	高分子化合物、ポリマー	付加重合、縮合重合、開環重合、共重合、合成ゴム、合成樹脂、合成繊維、生体分子

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。
・教科書の該当する項目を予習・復習する。
・学習支援システムなどで課された確認問題に取り組む。

【テキスト（教科書）】
ブラディ・ジェスパーセン、　一般化学 上・下 （東京化学同人）

【参考書】
化学のコンセプト、舟橋、小林、秀島著　（化学同人）
基礎物理化学演習、尾崎・末岡・宮前・見附著（三共出版）
自然科学ヒストリア、見附著（瀬谷出版）

【成績評価の方法と基準】
・平常点の評価方法：パワーポイント中の課題にWebClassのクリッカーで答える方式などで受講態度を評価する。
・評価割合：学期末テスト 60%、毎週の演習問題 30%、平常点 10%
・評価基準：60点以上で合格

【学生の意見等からの気づき】
授業担当前任者からの引継ぎ事項として、演習問題に関しては、次回授業の冒頭で答案を返却し解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
授業および課題等では、種々の計算を必要とするので、関数電卓を準備すること。スマートホンやタブレットは定期試験には持ち込めない。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The aim of this course is to obtain basic chemical knowledge so that the students can understand familiar chemical phenomena and can reflect it in future academic research.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should gain the following abilities:
1) to evaluate the energy exchange in chemical reactions.
2) to explain the entropy and spontaneity of chemical processes.
3) to understand the relation between chemical equilibrium and change in Gibbs free energy, and to calculate the equilibrium constants and reaction quotients.
4) to calculate various type of concentrations of solutions, and to list three different definitions of the acids and bases.
5) to handle the equivalent of a neutralization reactions and calculate the logarithm of pH.
6) to explain the electron transfer and transport in the oxidation and reductions.
7) to write the reaction formulae involved in the redox titrations.
8) to explain ionization tendency and the standard electrode potentials.
9) to calculate the standard electromotive force of chemical cells.

10) to relate the characteristic properties of two-dimensional surfaces to molecular orientations.
11) to gain the concepts of crystal systems and Bravais lattices necessary for classifying crystals.
12) to understand the atom positions in a unit cell and relate them to the density.
13) to explain the optical properties and magnetism of transition metal complexes from their electronic structures.
14) to understand the polymerization methods and physical or chemical properties of polymer compounds.
(Learning activities)
In order to confirm how well you understand the course content, you should try to solve the preparatory exercises given in the WebClass. If some of them are difficult to solve, you should review your class note and handouts so that you can get correct answers for all the problems. Your study time will be more than four hours for a class.
(Grading Criteria)
Students will be expected to have completed the required assignment tests in class meeting every week.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60 %; Required assignment tests 30 %; In-class contribution 10 %. You can confirm your scores you have acquired so far in the corresponding course at WebClass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

普神　敬悟

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学で履修する化学的内容を十分に理解することができるよう、また、高等学校理科教員として化学を教える上で必要な、化学の基本的考え方・理論的背景などを中心とした基礎概念を習得することを目的とする。

【到達目標】
(1) 気体の状態方程式とその考え方を説明できる。
(2) 化学変化をエネルギーの観点から説明できる。
(3) 化学反応の進む方向を予測できる。
(4) 溶液の濃度換算ができ、束一的性質を説明できる。
(5) 酸・塩基の性質を説明できる。
(6) 緩衝作用を説明できる。
(7) 酸化と還元を説明できる。
(8) 電池の起電力を説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って講義を行う。
理解が深められるように、必要に応じて補足資料を配布したり、問題演習を取り入れ、理解度を把握しながら進める。
課題等に対しては、学習支援システム上でフィードバックする。
対面授業で実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	気体の性質	圧力、気体の法則、理想気体の状態方程式
2	エネルギー	系、熱、仕事、エネルギー
3	内部エネルギーとエンタルピー	内部エネルギー、エンタルピー
4	反応のエンタルピー	生成エンタルピー、標準反応エンタルピー
5	熱力学第2法則	自発的変化、エントロピー
6	自由エネルギー	ギブスの自由エネルギー、正味の仕事
7	溶液の性質	モル濃度、質量モル濃度、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧
8	前半（第６回まで）の内容の理解度確認テスト・まとめと解説	前半（第７回まで）の内容についての理解度の確認
9	酸と塩基１	酸と塩基の強さ、 pKa、pH
10	酸と塩基２	解離定数、弱酸、弱塩基水溶液のpH
11	酸と塩基３	塩の水溶液のpH、緩衝液、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式
12	酸化と還元１	酸化還元の定義、酸化数、酸化剤と還元剤
13	酸化と還元２	半反応、酸化還元反応式、電池
14	酸化と還元３	標準電極電位、起電力、ネルンストの式と化学平衡

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、１時間を標準とする】
・教科書の該当する項目を予習する。
・配布および授業支援システムにより提供する演習問題に取り組むことを通じ、理解の度合いを確認する。
・講義内容のうち、講義内に理解できなかった部分について、講義中に示されとた教科書の対応ページの内容や講義メモを読み返し、講義中に実施した問題演習に再挑戦するなどして理解を深める。
・教科書の章末問題を解き、理解の改善を確かめる。
・自力で理解できない場合は、Hoppii の 掲示板や電子メールなどを活用して質問し、理解して納得できるまで粘り強く指導を受ける。

【テキスト（教科書）】
フレンドリー基礎物理化学演習、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2013年、2700円＋税

【参考書】
・フレンドリー物理化学、田中潔・荒井貞夫、三共出版、2004年、2800円＋税
・物理化学要論第7版、アトキンス、東京化学同人、2020年、6490円
・一般化学第8版（上・下）、アトキンス、東京化学同人、2025年、各3740円

【成績評価の方法と基準】
・期末試験 45％
・中間テスト 40％
・平常点（授業中の課題や宿題への取り組み）15％

【学生の意見等からの気づき】
講義内容の理解を助けるために学習支援システム上の「教材」機能および「課題」機能を活用する。授業内掲示板や電子メールを活用した、講義内容について疑問の残る受講生との緊密なコミュニケーションに努め、受講生全員が十分な理解に到達できるよう、支援に努める。

【学生が準備すべき機器他】
毎回，教科書と電卓を持参すること。演習問題に取り組むための専用のノートを用意し、活用されたい。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、学習支援システム上の授業内掲示板や電子メールなどを活用して、質問や要望をいつでも遠慮なく寄せて下さい。

【None】
None

【Outline (in English)】
【Course outline】
This course is to help students brush up chemistry they have learned in high school and understand chemistry they will study in the university and teach in high school.
【Learning Objectives】
The aim of this couse is to understand basic principles of chemistry.
The subjects to learn in this class are composed of significant figure rules, stoichiometry, structure of atoms and molecules, basic nature of the chemical bond, intermolecular force, chemical resonance structure, and acids and bases.
【Learning activities outside of classroom】
Students are expected to take an hour to read the corresponding pages of the textbook that will be referred to in the next lesson.
They are also expected to brush up what they learned by exercises given in the textbook and in the class.
Student are expected to spend an hour in total for each class meeting.
【Grading Criteria /Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Mid-term examination (35%), term-end examination (45%), exercise in each class meeting (10%), and in-class contribution (10%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

島田　恵理子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、前期「化学基礎Ⅰ」で基礎を習得またはそれと同等レベルの学生を対象にする。前期に浅く学んだ範囲を学問的に踏み込み、その周辺も含めて大学化学の基礎理解を深める。
到達目標：
(1)基本的な等核二原子分子のエネルギー準位図を描き、その分子や分子イオンの磁性や安定を判断できる。
(2)混成軌道の仕組みを説明できる。
(3)発色の仕組みの概要を説明できる。
(4)平衡定数を使った物質の濃度、量の計算ができる。
(5)一次反応の速度解析ができる。また活性化エネルギーを求められる。
授業時間外の学習：
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
成績評価の方法と基準：
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。

【到達目標】
(1)基本的な等核二原子分子のエネルギー準位図を描き、その分子や分子イオンの磁性や安定を判断できる。
(2)混成軌道の仕組みを説明できる。
(3)発色の仕組みの概要を説明できる。
(4)平衡定数を使った物質の濃度、量の計算ができる。
(5)一次反応の速度解析ができる。また活性化エネルギーを求められる。
By the end of this course，students should be able to do the followings:
(1) Describe energy level diagram of molecular orbital for homo-nuclear diatomic molecule.　Based on this，explain　its stability and magnetic property.
(2) Explain mechanism of hybrid orbital.
(3) Outline mechanism of color development
(4) Calculate concentration and amount using equilibrium constant.
(5) Analyze first-order reaction. Calculate activation energy.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
【授業の進め方と方法】
毎回演習を行い、その点数の合計を20点満点に換算する。また、小テスト（課題形式を含む）を2回行い、その点数の合計を30点満点とし、期末試験を50点満点とする。演習20%、小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
演習・小テストに対しては学習支援システムや授業時にフィードバックする。
　Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス Introduction	授業の進め方、化学基礎Ⅰの復習、自己確認テスト Review of the previous term，Self-confirmation test
2回	原子価結合法 Valence bond theory	原子価結合法 Valence bond theory
3回	分子軌道法① Molecular orbital method①	等核2原子分子の分子軌道、エネルギー準位図、結合性軌道、反結合性軌道、σ 軌道，π 軌道 Molecular orbital of homo-nuclear diatomic molecule，Energy level diagram，Bonding orbital，Anti-bonding orbital，σ orbital，π orbital
4回	分子軌道法② Molecular orbital method②	等核2原子分子および分子イオン，常磁性、反磁性、結合次数 Para-magnetism，Diamagnetism，Bond order
5回	小テスト１、混成軌道と金属錯体 Quiz1，Hybrid orbital and metal complex	小テスト１、八面体金属錯体、混成軌道による錯体の電子配置の解釈 Quiz1，Octahedral metal complex，Interpretation of electronic configuration of metal complex by hybrid orbital
6回	発色と金属錯体 Color development and metal complex	発色、結晶場理論による錯体の電子配置の解釈 Color development，Interpretation of electronic configuration of metal complex by crystalline field theory
7回	化学平衡① Chemical equilibrium①	化学平衡とは、平衡定数 Introduction of chemical equilibrium，Equilibrium constant
8回	化学平衡② Chemical equilibrium②	弱酸・弱塩基水溶液のpH，加水分解，塩水溶液のpH pH of weak acid and weak base，Hydrolysis，pH of aqueous salt solution
9回	化学平衡③ Chemical equilibrium③	緩衝溶液のpH，中和滴定におけるpHの変化 pH during neutralization titration
10回	反応速度論① Chemical kinetics①	反応次数、一次反応の速度解析 Order of reaction，Analysis of first-order reaction
11回	小テスト２、反応速度論② Quiz2，Chemical kinetics②	小テスト２、逐次反応、酵素反応、活性化エネルギー Quiz2，Successive reaction，Enzyme reaction，Activation energy
12回	熱力第二法則① Second law of thermodynamics①	熱力学第二法則、自発性、エントロピー Second law of thermodynamics，Spontaneous change，Entropy
13回	熱力学第二法則② Second law of thermodynamics②	ギブズ自由エネルギーと電池、ネルンストの式、乱雑さ Gibbs free energy and battery，Nernst equation，Randomness
14回	期末試験と解説 Final exam and explanation	期末試験と解説 Final exam and explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【テキスト（教科書）】
・「理系のための基礎化学」増田芳男・澤田清著、化学同人
・配布資料（学習支援システムで授業の前の週に配信）

【参考書】
「標準 基礎化学」梅本喜三郎著、裳華房

【成績評価の方法と基準】
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【学生の意見等からの気づき】
予め配布する資料に入れる穴埋め部分を増やし予習しやすくした。
Handouts for preparation of next class have been refined by increasing the number of fill-in the blank questions.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを活用するため、使用できるPC等の環境を準備しておくこと。
It is necessary to prepare PC for using Hoppii system.

【その他の重要事項】
教員の実務経験（企業での化学研究開発ならびに起業）を生かし、問題解決に役立つアプローチの方法を解説する。

【Outline (in English)】
This course teaches the foundations of chemistry and scientific way of thinking which university students should acquire

Students are recommended to attend this class who have understood so-called high school chemistry and want to study chemistry more academically.
Goal:
By the end of this course, students should be able to do the followings:
(1) Describe energy level diagram of molecular orbital for homo-nuclear diatomic molecule. Based on this, explain its stability and magnetic property.
(2) Explain mechanism of hybrid orbital.
(3) Outline mechanism of color development
(4) Calculate concentration and amount using equilibrium constant.
(5) Analyze first-order reaction. Calculate activation energy.
Work to be done outside of class:
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Grading criteria:
Total score of exercise(20 points), quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

大波　英幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
高校化学および春学期の化学基礎Ⅰの復習をするとともに、今後専門分野を学び理解し、さらには研究・応用へ発展させるための化学的基礎知識を習得することを目的とします。

【到達目標】
高校で学習した化学の基礎的概念が理解できる。専門分野を理解するため理工・生命科学系学生に必要な化学的基礎知識を習得し、論理的な考え方ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回の授業内容の復習のための演習問題（課題）を出しますので締切までに提出してください。本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とします。高校化学の教科書・参考書を見直し、理解が不十分であったところを予め把握しておいてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の概要 春学期の復習	・授業のガイダンス ・春学期までの内容の復習
第2回	酸と塩基	・酸と塩基 ・アレニウスの酸塩基の定義 ・酸と塩基の強さ ・濃度と電離度
第3回	中和反応と塩	・水のイオン積とpH ・中和と塩の加水分解 ・緩衝液 ・塩の溶解平衡
第4回	酸化還元反応	・酸化・還元の反応式 ・酸化数 ・酸化剤と還元剤 ・金属のイオン化傾向 ・電池
第5回	元素の分類および典型元素の金属①	・典型元素と遷移元素 ・金属元素と非金属元素 ・1族（アルカリ金属元素） ・2族（アルカリ土類金属元素
第6回	元素の分類および典型元素の金属②	・12族（亜鉛、水銀の単体とその化合物 ・13族（アルミニウムの単体とその化合物） ・14族（スズ族元素とその化合物）
第7回	遷移元素の金属	・6族（クロム族元素とその化合物） ・7族（マンガンとその化合物） ・8族（鉄とその化合物） ・9族（コバルトとその化合物 ・10族（ニッケルとその化合物 ・11族（銅族元素とその化合物）
第8回	非金属元素①	・水素とその化学的性質 ・14族（炭素族元素とその化合物） ・15族（窒素族元素とその化合物）
第9回	非金属元素②	・16族（酸素族元素とその化合物 ・17族（ハロゲン元素とその化合物） ・18族（希ガス元素とその性質）
第10回	有機化合物の定義、分類、構造	・有機化合物の定義、性質 ・有機化合物の分類と官能基 ・有機化合物の構造式の決定
第11回	基本的な有機化合物と反応①	・アルカンとシクロアルカン ・アルケン ・アルキン
第12回	基本的な有機化合物と反応②	・芳香族炭化水素 ・アルコール ・フェノール ・エーテル
第13回	基本的な有機化合物と反応③	・エーテル ・アルデヒドとケトン ・カルボン酸とエステル ・その他の有機化合物
第14回	まとめ	・秋学期のまとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容の復習のための演習問題（課題）を出しますので締切までに提出してください。本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とします。高校化学の教科書・参考書を見直し、理解が不十分であったところを予め把握しておいてください。

【テキスト（教科書）】
新編基礎化学第２版、藤野竜也ほか、実教出版、2021年、2300円＋税

【参考書】
①高校で使用していた化学の教科書
②[化学]ＩＢ・Ⅱの新研究、卜部吉庸著、三省堂
③これだけはおさえたい化学、井口洋夫ほか、実教出版
④生きている温泉とは何か、大河内正一著、くまざさ出版

【成績評価の方法と基準】
通常は、
授業期間内の中間試験(又はレポート)40%
期末試験50%
に授業課題平常点10%を考慮し評価します。オンラインへの変更となる場合は別途授業内で示します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の授業後の演習問題（課題）について、より詳細な解答解説の希望があったので解説時間をより多く確保できるよう努める。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Review the basics of chemistry learned in high school and spring semester. Get chemical knowledge to develop into research and applications in specialized areas.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
-A. Understand the basic chemistry learned in high school.
-B. Acquire the basic chemical theory necessary to understand your specialized field.
【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process Mid-term examination (40 %), term end examination (50 %), and in class contribution(10 %).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学基礎ＩＩ

島田　恵理子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、前期「化学基礎Ⅰ」で基礎を習得またはそれと同等レベルの学生を対象にする。前期に浅く学んだ範囲を学問的に踏み込み、その周辺も含めて大学化学の基礎理解を深める。
到達目標：
(1)基本的な等核二原子分子のエネルギー準位図を描き、その分子や分子イオンの磁性や安定を判断できる。
(2)混成軌道の仕組みを説明できる。
(3)発色の仕組みの概要を説明できる。
(4)平衡定数を使った物質の濃度、量の計算ができる。
(5)一次反応の速度解析ができる。また活性化エネルギーを求められる。
授業時間外の学習：
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
成績評価の方法と基準：
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。

【到達目標】
(1)基本的な等核二原子分子のエネルギー準位図を描き、その分子や分子イオンの磁性や安定を判断できる。
(2)混成軌道の仕組みを説明できる。
(3)発色の仕組みの概要を説明できる。
(4)平衡定数を使った物質の濃度、量の計算ができる。
(5)一次反応の速度解析ができる。また活性化エネルギーを求められる。
By the end of this course，students should be able to do the followings:
(1) Describe energy level diagram of molecular orbital for homo-nuclear diatomic molecule.　Based on this，explain　its stability and magnetic property.
(2) Explain mechanism of hybrid orbital.
(3) Outline mechanism of color development
(4) Calculate concentration and amount using equilibrium constant.
(5) Analyze first-order reaction. Calculate activation energy.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
【授業の進め方と方法】
毎回演習を行い、その点数の合計を20点満点に換算する。また、小テスト（課題形式を含む）を2回行い、その点数の合計を30点満点とし、期末試験を50点満点とする。演習20%、小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
演習・小テストに対しては学習支援システムや授業時にフィードバックする。
　Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス Introduction	授業の進め方、化学基礎Ⅰの復習、自己確認テスト Review of the previous term，Self-confirmation test
2回	原子価結合法 Valence bond theory	原子価結合法 Valence bond theory
3回	分子軌道法① Molecular orbital method①	等核2原子分子の分子軌道、エネルギー準位図、結合性軌道、反結合性軌道、σ 軌道，π 軌道 Molecular orbital of homo-nuclear diatomic molecule，Energy level diagram，Bonding orbital，Anti-bonding orbital，σ orbital，π orbital
4回	分子軌道法② Molecular orbital method②	等核2原子分子および分子イオン，常磁性、反磁性、結合次数 Para-magnetism，Diamagnetism，Bond order
5回	小テスト１、混成軌道と金属錯体 Quiz1，Hybrid orbital and metal complex	小テスト１、八面体金属錯体、混成軌道による錯体の電子配置の解釈 Quiz1，Octahedral metal complex，Interpretation of electronic configuration of metal complex by hybrid orbital
6回	発色と金属錯体 Color development and metal complex	発色、結晶場理論による錯体の電子配置の解釈 Color development，Interpretation of electronic configuration of metal complex by crystalline field theory
7回	化学平衡① Chemical equilibrium①	化学平衡とは、平衡定数 Introduction of chemical equilibrium，Equilibrium constant
8回	化学平衡② Chemical equilibrium②	弱酸・弱塩基水溶液のpH，加水分解，塩水溶液のpH pH of weak acid and weak base，Hydrolysis，pH of aqueous salt solution
9回	化学平衡③ Chemical equilibrium③	緩衝溶液のpH，中和滴定におけるpHの変化 pH during neutralization titration
10回	反応速度論① Chemical kinetics①	反応次数、一次反応の速度解析 Order of reaction，Analysis of first-order reaction
11回	小テスト２、反応速度論② Quiz2，Chemical kinetics②	小テスト２、逐次反応、酵素反応、活性化エネルギー Quiz2，Successive reaction，Enzyme reaction，Activation energy
12回	熱力第二法則① Second law of thermodynamics①	熱力学第二法則、自発性、エントロピー Second law of thermodynamics，Spontaneous change，Entropy
13回	熱力学第二法則② Second law of thermodynamics②	ギブズ自由エネルギーと電池、ネルンストの式、乱雑さ Gibbs free energy and battery，Nernst equation，Randomness
14回	期末試験と解説 Final exam and explanation	期末試験と解説 Final exam and explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】予習には配布資料の穴埋めを活用し、復習には授業終了後に示される課題等に取り組むこと。
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【テキスト（教科書）】
・「理系のための基礎化学」増田芳男・澤田清著、化学同人
・配布資料（学習支援システムで授業の前の週に配信）

【参考書】
「標準 基礎化学」梅本喜三郎著、裳華房

【成績評価の方法と基準】
毎回行う演習20%、2回の小テスト30％、期末試験50%を合わせて100％として評価する。
Total score　of exercise(20 points)，quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

【学生の意見等からの気づき】
予め配布する資料に入れる穴埋め部分を増やし予習しやすくした。
Handouts for preparation of next class have been refined by increasing the number of fill-in the blank questions.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを活用するため、使用できるPC等の環境を準備しておくこと。
It is necessary to prepare PC for using Hoppii system.

【その他の重要事項】
教員の実務経験（企業での化学研究開発ならびに起業）を生かし、問題解決に役立つアプローチの方法を解説する。

【Outline (in English)】
This course teaches the foundations of chemistry and scientific way of thinking which university students should acquire

Students are recommended to attend this class who have understood so-called high school chemistry and want to study chemistry more academically.
Goal:
By the end of this course, students should be able to do the followings:
(1) Describe energy level diagram of molecular orbital for homo-nuclear diatomic molecule. Based on this, explain its stability and magnetic property.
(2) Explain mechanism of hybrid orbital.
(3) Outline mechanism of color development
(4) Calculate concentration and amount using equilibrium constant.
(5) Analyze first-order reaction. Calculate activation energy.
Work to be done outside of class:
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Grading criteria:
Total score of exercise(20 points), quiz(30 points), and final exam(50 points) should be more than 60 points out of the 100 points to pass.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験 I

加来　滋

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき 誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度 誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する(詳細は初回ガイダンスで説明する)。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験 I

小鍋　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき 誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度 誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する(詳細は初回ガイダンスで説明する)。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
(Learning Objectives)
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend an hour to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Grading will be decided based on lab reports (50%), and the quality of the students' experimental performance in the lab (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験 I

加来　滋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき 誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度 誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験 I

加来　滋

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する(詳細は初回ガイダンスで説明する)。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
(Learning Objectives)
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend an hour to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Grading will be decided based on lab reports (50%), and the quality of the students' experimental performance in the lab (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学実験

吉野　理貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。
これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する(詳細は初回ガイダンスで説明する)。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
(Learning Objectives)
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend an hour to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Grading will be decided based on lab reports (50%), and the quality of the students' experimental performance in the lab (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験 I

吉野　理貴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学の主な分野から電気系、力学系、熱系、光学系のテーマを実施する。
これらを通して以下のことを学ぶ。
1．実験とは何か。
2．個々のテーマに関連する物理学の部分の理論と原理に関すること。
3．実験で用いる装置や測定器のしくみと取り扱いに関すること。
4．定量的な実験におけるデータ処理の方法、グラフ作成法および結果の評価に関すること。
5．実験で得られたデータからどのように結論が導かれるかなど、実験の方法について。
6．実験の結果を第三者に公表する方法。

【到達目標】
1．実験に取り組む姿勢を理解する。
2．実施したテーマに関する原理、背景、目的を理解する。
3．実験で用いる装置，測定器などを理解しその技術を習得する．
4．測定値の整理（データ処理）のしかたを身に付け、表または図（グラフ）などで表現できるようにする。
5．測定に伴う誤差の問題を理解し、自分の測定値の誤差を自分で評価できるようにする。
6．結果を考察し、結論へと導けるようにする。
7．第三者に公表する方法（特にレポートの作り方）を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
物理学は自然の中でおこる現象を理解し、説明しようとする学問である。理論を裏付けするために実験や観測は不可欠なものである。ここで行う科学実験は比較的容易なテーマを取り上げている。これらの実験を通して理論との結びつきについて認識を深めることを大きな目標とする。初めに、実験で用いる装置や測定器の使用法、得られたデータの処理方法を理解する。次に、得られた結果からどのように結論が導かれるのか考察し議論する。さらに、報告するためのまとめ方を学ぶ。課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスおよび基礎実験１	クラス分けと実験の進め方・日程、実験記録及びレポートの書き方、成績評価法などの説明の後、簡単な実験を行う。
2	基礎実験２	長さと測定データのばらつき誤差の性質を知る。
3	基礎実験３	密度の測定と測定精度誤差の評価について
4	力学実験１	重力の加速度
5	力学実験２	球の衝突
6	コンピュータ処理１	データの統計処理とグラフ作成
7	電気実験１	電流・電圧の測定
8	電気実験２	電流計と電圧計よる抵抗測定
9	オシロスコープ	信号波形の観測と測定、リサージュによる周波数測定
10	熱学実験１	固体の比熱
11	熱学実験２	金属の温度係数の測定
12	光学実験	レンズによる結像
13	コンピュータ処理２	エクセルによる数値計算と物理現象のシミュレーション
14	まとめ	発表形式にまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
実験テーマの内容を事前に予習をすることが望ましい。そのために、配布するテキストを活用すること。
テキストの付録にも実験に関わる内容が記載されている。参考にすること。

【テキスト（教科書）】
配布する。その他に実験に必要な実験ノート，作図のためのグラフ用紙，レポート作成に必要なレポート用紙などは適宜配布する。

【参考書】
授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50%、レポート点など50%で評価する(詳細は初回ガイダンスで説明する)。

【学生の意見等からの気づき】
実験前後におけるグループ（実験チーム）内ディスカッションを行うことで実験テーマに対する目的意識や関心度の向上を図りたい。さらにレポート作成に力を入れた指導を計画している。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces basic physics experiments such as electric circuits, dynamics, thermal phenomenon and optics, to students taking this course.
(Learning Objectives)
The goals of this course are to understand
(1) What is the experiment.
(2) Physics theories and principles of each experimental theme.
(3) Mechanisms of experimental and measuring equipments.
(4) Data processing and graph creation method and evaluation of experimental results.
(5) How to draw conclusions from experiment results.
(6) How to publish experiment results.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend an hour to understand the course content.
(Grading Criteria /Policy)
Grading will be decided based on lab reports (50%), and the quality of the students' experimental performance in the lab (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩ

尾池　秀章

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした3つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また、実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	pHの世界(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	pHの世界(2)	身のまわりの水溶液のpHをpHメータを用いて測定する。また，緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第8回	pHの世界(3)	中和滴定により，水溶液中の炭酸ナトリウムを定量する。
第9回	pHの世界(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %，レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
科学実験はI，II，IIIセットで゛履修する。第1回目の授業のはじ゛めには，共通カ゛イタ゛ンスと各実験の個別カ゛イタ゛ンスか゛あるので゛，必ず゛出席すること。カ゛イタ゛ンスの実施方法は学習支援システムで゛連絡する。共通カ゛イタ゛ンスで゛は実験の実施方法・成績評価基準など゛履修する上で゛重要な説明か゛ある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩ

大波　英幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした3つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また、実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	pHの世界(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	pHの世界(2)	身のまわりの水溶液のpHをpHメータを用いて測定する。また，緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第8回	pHの世界(3)	中和滴定により，水溶液中の炭酸ナトリウムを定量する。
第9回	pHの世界(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %，レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
科学実験はI，II，IIIセットで゛履修する。第1回目の授業のはじ゛めには，共通カ゛イタ゛ンスと各実験の個別カ゛イタ゛ンスか゛あるので゛，必ず゛出席すること。カ゛イタ゛ンスの実施方法は学習支援システムで゛連絡する。共通カ゛イタ゛ンスで゛は実験の実施方法・成績評価基準など゛履修する上で゛重要な説明か゛ある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩ

尾池　秀章

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした3つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果の予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また，実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。まとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また、実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	酸・塩基と緩衝作用(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	酸・塩基と緩衝作用(2)	中和滴定により，水酸化ナトリウム標準液を標定し，これを用いて酢酸水溶液の中和滴定曲線を求める。
第8回	酸・塩基と緩衝作用(3)	緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第9回	酸・塩基と緩衝作用(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	サリチル酸を原料としてサリチル酸メチルを合成し，抽出・蒸留などの操作により目的物を単離する。サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸を合成し，ろ過・抽出・蒸留などの操作を行い目的物を単離する。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。また，実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %、レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
科学実験はI，II，IIIセットで゛履修する。第1回目の授業のはじ゛めには，共通カ゛イダ゛ンスと各実験の個別カ゛イダ゛ンスが゛あるので゛，必ず゛出席すること。カ゛イダ゛ンスの実施方法は学習支援システムで゛連絡する。共通カ゛イダ゛ンスで゛は実験の実施方法・成績評価基準など゛履修する上で゛重要な説明が゛ある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩ

尾池　秀章

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした3つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また、実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	pHの世界(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	pHの世界(2)	身のまわりの水溶液のpHをpHメータを用いて測定する。また，緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第8回	pHの世界(3)	中和滴定により，水溶液中の炭酸ナトリウムを定量する。
第9回	pHの世界(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %、レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
科学実験はI，II，IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには，共通カイダンスと各実験の個別カイダンスがあるので，必ず出席すること。カイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通カイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

化学実験

大波　英幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした3つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また、実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	pHの世界(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	pHの世界(2)	身のまわりの水溶液のpHをpHメータを用いて測定する。また，緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第8回	pHの世界(3)	中和滴定により，水溶液中の炭酸ナトリウムを定量する。
第9回	pHの世界(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %、レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
第1回目の授業のはじめに物理学実験履修者，生物学実験履修者と合同の共通ガイダンスおよび化学実験の個別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽがあるので，必ず出席すること。ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ｶﾞｲﾀﾞﾝｽでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩ

尾池　秀章

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実験を安全に行うための注意事項を学んだ後，身の回りの化学物質を素材とした4つの異なるテーマに関する実験を行う。実験では，化学現象を観察し，得られたデータを講義等で習得した知識を活用して論理的に考え，レポートにまとめる。また，実験器具や薬品の取扱い方法，実験ノートや実験レポートの書き方などについても学ぶ。

【到達目標】
1）化学実験を安全に行うことができる。
2）基本的な実験操作を行うことができる。
3）化学現象を注意深く観察し，実験結果を正確に記述することができる。
4）測定機器の取扱いを理解し，定量的なデータを得ることができる。
5）得られた実験結果を論理的に考察し，レポートにまとめることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
指導者の助言のもと，一人で考えながら，あるいは複数で討論しながら化学実験を進め，高校までの受動的な学習方法から能動的で自発的な学習方法へと転換する。また必要に応じて提出されたレポートについて添削を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育	予習の方法，実験の進め方，実験器具や薬品の取扱い，実験結果のまとめかた，報告書作成方法を学ぶ。また，実験を安全に行うために注意すべき事項を学ぶ。
第2回	金属の電極電位測定(1)	金属の酸化還元及び電池の仕組みに関する化学的知識を整理し，電極電位を測定する実験方法について理解する。
第3回	金属の電極電位測定(2)	硫酸亜鉛水溶液および硫酸銅水溶液中における亜鉛の電極電位を測定する。
第4回	金属の電極電位測定(3)	硫酸銅-硫酸亜鉛水溶液中における銅の電極電位を，水溶液中の銅イオンの濃度を変化させながら測定する。
第5回	金属の電極電位測定(4)	実験データの解析と理論的考察を行う。
第6回	酸・塩基と緩衝作用(1)	酸と塩基に関する基本的知識を整理し，中和滴定の実験操作について理解する。
第7回	酸・塩基と緩衝作用(2)	中和滴定により，水酸化ナトリウム標準液を標定し，これを用いて酢酸水溶液の中和滴定曲線を求める。
第8回	酸・塩基と緩衝作用(3)	緩衝溶液に酸や塩基を添加した際のpHの変化を測定する。
第9回	酸・塩基と緩衝作用(4)	実験データの解析，理論的考察を行う。
第10回	サリチル酸誘導体の合成(1)	サリチル酸を題材に，有機化合物の性質や反応性を整理し，合成・精製に関する実験操作について理解する。
第11回	サリチル酸誘導体の合成(2)	サリチル酸を原料としてアセチルサリチル酸を合成し，生成物の結晶をろ過して目的物を単離する。
第12回	サリチル酸誘導体の合成(3)	サリチル酸を原料としてサリチル酸メチルを合成し，抽出・蒸留などの操作により目的物を単離する。
第13回	サリチル酸誘導体の合成(4)	官能基の性質を利用して，サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸の確認を行う。また，実験結果に対する理論的考察を行う。
第14回	まとめ	各実験で学んだ理論，分析原理，化学反応などに関するまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実験テキストの指示にしたがって予習を行う。また授業後には，実験テキストを参考にレポート作成を行う。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業時またはオンライン（学習支援システム）にて配布する。

【参考書】
高等学校「化学基礎」「化学」の教科書，図説化学など。その他は，授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点50 %，レポート点など50 %で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
きめ細かなレポート指導を行う。

【その他の重要事項】
科学実験はI，II，IIIセットで゛履修する。第1回目の授業のはじ゛めには，共通カ゛イタ゛ンスと各実験の個別カ゛イタ゛ンスか゛あるので゛，必ず゛出席すること。カ゛イタ゛ンスの実施方法は学習支援システムで゛連絡する。共通カ゛イタ゛ンスで゛は実験の実施方法・成績評価基準など゛履修する上で゛重要な説明か゛ある。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Students will learn the fundamental principles of chemistry which characterized the properties of matter, and the experimental techniques necessary for further work in science. This course covers the following topics: Measurement of standard electrode potentials; Synthesis of salicylic acid derivatives; Acids, bases and buffer solutions. Students will also learn to take experimental notes and collect data, and to write accurate laboratory reports of all experiments.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Carry out chemical experiments safely.
· Develop skills in collecting and managing data in order to express their results in a precise and reliable quantitative or qualitative form on lab reports.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩＩ

田島　寛隆

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
受講学生は光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。
課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験１	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験２	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験３	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験４	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験５	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験１	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験２	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験３	ＤＮＡの分離・精製
第9回	遺伝子実験４	ＤＮＡの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験５	大腸菌プラスミドのＤＮＡ鑑定
第11回	遺伝子実験６	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）、グループディスカッション
第12回	酵素実験１	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験２	酵素活性測定
第14回	酵素実験３	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集した実習テキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物を履修していない学生も多いので、わかりやすい授業を心がける。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
【Course outline】The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
【Learning Objectives】You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports.
【Learning activities outside of classroom】Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp and image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩＩ

水澤　直樹、大森　楓河、大野　真

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
受講学生は光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。
　課題に対するフィードバックは授業内及び学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験１	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験２	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験３	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験４	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験５	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験１	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験２	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験３	ＤＮＡの分離・精製
第9回	遺伝子実験４	ＤＮＡの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験５	大腸菌プラスミドのＤＮＡ鑑定
第11回	遺伝子実験６	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）
第12回	酵素実験１	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験２	酵素活性測定
第14回	酵素実験３	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。予習復習用の「実験動画」も利用すること。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集したテキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物未履修の学生がほとんどであることをがわかりました。生物を履修していない学生さんにも理解できるように丁寧に解説します。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは、実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports.
Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp the image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩＩ

水澤　直樹、大森　楓河、大野　真

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
受講学生は光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。
　課題に対するフィードバックは授業内及び学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験１	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験２	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験３	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験４	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験５	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験１	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験２	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験３	ＤＮＡの分離・精製
第9回	遺伝子実験４	ＤＮＡの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験５	大腸菌プラスミドのＤＮＡ鑑定
第11回	遺伝子実験６	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）
第12回	酵素実験１	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験２	酵素活性測定
第14回	酵素実験３	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。予習復習用の「実験動画」も利用すること。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集したテキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物未履修の学生さんが多いことがわかりました。生物を履修していない学生さんにも理解できるように丁寧に解説します。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第1回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは、実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports. Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp the image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学実験

田島　寛隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。具体的には、光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。
課題に対するフィードバックは、オンライン授業の場合「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験１	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験２	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験３	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験４	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験５	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験１	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験２	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験３	ＤＮＡの分離・精製
第9回	遺伝子実験４	ＤＮＡの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験５	大腸菌プラスミドのＤＮＡ鑑定
第11回	遺伝子実験６	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）、グループディスカッション
第12回	酵素実験１	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験２	酵素活性測定
第14回	酵素実験３	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集したテキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物を履修していない学生が多いので、わかりやすい解説を心がける。

【履修上の注意】
科学実験はI、II、IIIセットで履修する。第１回目の授業のはしめには、共通カイダンスと各実験の個別カイダンスがあるので、必ず出席すること。カイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通カイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
【Course outline】The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
【Learning Objectives】You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports.
【Learning activities outside of classroom】Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp and image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
【Grading Criteria /Policy】Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩＩ

水澤　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
受講学生は光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験1	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験2	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験3	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験4	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験5	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験1	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験2	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験3	DNAの分離・精製
第9回	遺伝子実験4	DNAの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験5	大腸菌プラスミドのDNA鑑定
第11回	遺伝子実験6	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）、グループディスカッション
第12回	酵素実験1	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験2	酵素活性測定
第14回	酵素実験3	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。予習復習用の「実験動画」も利用すること。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集したテキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ゛生物学・細胞生物学」 羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
レポートの作成指導に力を入れてほしいとの要望があったため、よりきめ細かなレポート指導を計画している。

【学生が準備すべき機器他】
「お知らせ」などで学習支援システムを使用します。

【履修上の注意】
科学実験はⅠ、Ⅱ、Ⅲセットで履修する。第１回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
(Learning Objectives)
You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp and image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

科学実験ＩＩＩ

水澤　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命の基本単位である細胞や生体を構成する分子の構造や機能についての理解を深め、そうした概念が得られる科学的アプローチの方法を、実験を通して体系的に学ぶ。受講学生は生命現象を細胞および分子レベルで理解するための基本的な実験手法を習得する。

【到達目標】
受講学生は光学顕微鏡、マイクロピペット、遠心分離機、電気泳動槽、分光光度計などの使用方法、細胞の観察、タンパク質の定量と機能解析、DNA の単離と解析、細菌の培養と無菌操作などの実験手法、およびデータ処理の方法を習得する。レポート作成を通じて、実習内容の理解を深めると同時に論理的な文章を書く技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業は大きく「基礎実験（実験機器・器具の取り扱い、顕微鏡による細胞観察、タンパク質濃度測定）」、「遺伝子実験（大腸菌を用いた分子生物学的な解析）」、「酵素実験（酵素特性の解析）」から構成される。各回の授業開始時に実験の目的・背景・方法について解説して実験の内容理解を深めたのちに、ティーチングアシスタントの補助のもとで実験を行う。論理的な文章を書くためのレポート指導を行う。グループディスカッションを通じて、実験結果の考察を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・安全教育・基礎実験1	実験の進め方・実験器具の取扱い・記録と報告書作成方法・微量定量ピペットの使い方
第2回	基礎実験2	試薬調製（生物実験使用試薬組成・調製）
第3回	基礎実験3	顕微鏡の使い方（含マイクロミクロメーターの使用法）
第4回	基礎実験4	顕微鏡による生物試料の観察
第5回	基礎実験5	タンパク質水溶液の濃度調製と未知検体濃度測定
第6回	遺伝子実験1	無菌操作の習得
第7回	遺伝子実験2	細菌培養（大腸菌培養・増殖測定）
第8回	遺伝子実験3	DNAの分離・精製
第9回	遺伝子実験4	DNAの制限酵素による切断と電気泳動
第10回	遺伝子実験5	大腸菌プラスミドのDNA鑑定
第11回	遺伝子実験6	遺伝子発現（ラクトースオペロン発現制御の観察）、グループディスカッション
第12回	酵素実験1	酵素活性測定実験の計画、反応液調製
第13回	酵素実験2	酵素活性測定
第14回	酵素実験3	酵素反応速度の解析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】ガイダンスで配布する「実習書」を事前に読み、実習の流れ、必要な実験操作、予想される結果などについてイメージを掴んでおく。予習復習用の「実験動画」も利用すること。

【テキスト（教科書）】
担当教員が編集したテキストを第１回授業時に配布する。

【参考書】
高等学校「生物基礎」「生物」の教科書、高等学校の生物図録など資料集
和田勝著「基礎から学ぶ゛生物学・細胞生物学」 羊土社

【成績評価の方法と基準】
実験への積極的な貢献度を含む平常点50%、レポート点など50%で評価する（詳細は初回ガイダンスで説明する）。

【学生の意見等からの気づき】
レポートの作成指導に力を入れてほしいとの要望があったため、よりきめ細かなレポート指導を計画している。

【学生が準備すべき機器他】
「お知らせ」などで学習支援システムを使用します。

【履修上の注意】
科学実験はⅠ、Ⅱ、Ⅲセットで履修する。第１回目の授業のはじめには、共通ガイダンスと各実験の個別ガイダンスがあるので、必ず出席すること。ガイダンスの実施方法は学習支援システムで連絡する。共通ガイダンスでは実験の実施方法・成績評価基準など履修する上で重要な説明がある。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life, and biological molecules composing a cell, through basic biological experiments.
(Learning Objectives)
You can learn skills to use experimental devices and experimental methods and data processing methods. In addition, this course helps you to acquire a skill to write logical sentences through writing reports.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class, you refer the textbook to be distributed in guidance and grasp and image of experiment. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based on reports (50%) and in-class active contribution (50%). We will give you the details in guidance.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎 I

石黒　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球生物は、地球に存在する元素を選択的に利用して形成された生体高分子とその集合体で形成され、特異な生命機能を発揮している。この授業では生命を構成・維持する分子やシステムについて理解を深め、その上で多様な生命現象が発現する仕組みについて学ぶ。生命に対する科学的な理解を深めるとともに、専門分野で今後活躍する上で必要不可欠な生物学の基本的な知識を身につける。

【到達目標】
生物学の基本的な概念と用語を理解し自分の言葉で説明できる。生物学が関係する社会的、技術的問題について興味を持ち、科学的に考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的事項に最近発展した内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解を深める。
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生命とは何か	生物と無生物の違い。
2	細胞：生物の基本単位	細胞の構造と機能。
3	オルガネラ	オルガネラの構造とその働き。
4	個体の統合	多細胞生物と細胞分化。
5	生体を構成する分子 1	核酸とタンパク質の構造と機能。
6	生体を構成する分子 2	炭水化物,脂質の構造と機能。
7	中間テスト・解説	6回目までのテスト・まとめと解説
8	遺伝子発現	セントラルドグマと生体システム。
9	物質代謝とエネルギー代謝	合成と分解,呼吸,光合成
10	恒常性の維持	生体の内部環境を安定に保つしくみ。
11	生命システムの破綻	遺伝子発現,代謝,恒常性の破綻と疾患。
12	病原体と生体防御	ウイルス,微生物と生体防御システム。
13	現在そしてこれからの生命科学	遺伝子治療、ゲノム編集、再生医療など、最新の生命工学と今後の展望。
14	生物の多様性・生命科学と倫理	生命の誕生と進化,分類。生命科学で守るべきこと。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】ノートを読み直し、復習する。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
中間・期末の２回実施するテスト、及び平常点にて評価する。テストがオンラインでの実施となった場合は、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、講義の中で提示する。
成績評価要素：平常点（25%）、中間テスト（25%）、期末テスト（50%）

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物を選択していなかった受講者へも解り易い講義を心がける。

【その他の重要事項】
近年話題となった生物学上の発見や様々な問題点などを紹介、議論する。

【Outline (in English)】
Living organisms are formed of aggregates of biopolymers formed by selectively using Earth's elements. In this lecture, we will deepen our understanding of molecules and systems that constitute and maintain life and learn about its mechanism.
The goal is for students to understand the basic concepts and terms of biology and explain them in their own words. It is also important to be interested in and scientifically consider social and technical issues related to biology.
Grades will be evaluated based on two tests, one at the middle and the end of the term, and normal points. If the test is conducted online, the method and criteria for grade evaluation will also be changed. Specific methods and criteria will be presented in the lecture.
Grade evaluation factors: Normal score (25%), mid-term test (25%), final test (50%)

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎 I

水澤　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地球上の生命体は、地球に存在する元素を選択的に利用して形成された生体高分子とその集合体で形成され、特有な生命機能を発揮している。本授業では、受講学生は生命の基本単位である細胞とそれを構成する分子について理解を深め、多様な生命現象が発現する仕組みについて学ぶ。これらの学びを通じて、受講学生は生物に対する科学的な理解を深めるとともに、専門分野で今後活躍する上で必要不可欠な生物学の基本的な知識を身につける。

【到達目標】
生物学の基本的な概念と用語を理解し自分の言葉で説明できるようになり、生物学が関係する社会的、技術的問題について興味を持ち、科学的に考察できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物を選択しなかった学生も考慮して、平易で簡潔な講義を行う。生命科学に関する基礎的事項に加え、近年発展した学問内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解を深めていく。「生命とは何か」「細胞とは何か」など生命の基本的な概念を解説した上で、オルガネラ（細胞小器官）、細胞を構成する分子（タンパク質、核酸、脂質、糖）など各論に入る。その後、さらに、DNAの遺伝情報をもとにしたタンパク質の合成、代謝（呼吸、光合成）などの生命現象のしくみについて説明する。
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。対面授業とZoom授業両方で参加できるようにする予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生命とは何か	生物の進化、生物と無生物の違い
第2回	細胞：生物の基本単位	細胞の構造と機能
第3回	オルガネラ	オルガネラ（細胞小器官）の構造とその働き
第4回	恒常性	生体の内部環境を安定に保つしくみ
第5回	生体を構成する分子1	タンパク質
第6回	生体を構成する分子2	核酸：DNAとRNA
第7回	生体を構成する分子3	糖
第8回	生体を構成する分子4	脂質
第9回	遺伝1	DNA、ゲノム、遺伝子
第10回	遺伝2	DNAの複製、修復
第11回	遺伝3	遺伝情報の転写と翻訳
第12回	代謝1	酵素の特性と機能
第13回	代謝2	嫌気呼吸、発酵、酸素呼吸
第14回	代謝3	光合成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】まとめのプリントとノートを読み直し、復習する。課題に取り組み提出する。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を配布する。

【参考書】
東京大学生命科学教科書編集委員会「生命科学」改訂第3版　羊土社
和田勝著「基礎から学ぶ〝生物学・細胞生物学」羊土社

【成績評価の方法と基準】
平常点（15%）、課題(25%)、課題レポート（10%）、期末試験（50%）で総合的に評価する。基本的な生命科学の用語の定着、理解、生命現象のメカニズムの理解、現代社会における生命科学の重要性の理解などが試験、レポート課題の中心となる。

【学生の意見等からの気づき】
課題に対するフィードバックを丁寧にする。

【学生が準備すべき機器他】
お知らせ、資料配付に学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】
（Course outline）
The aim of this course is to help students acquire an understanding of the structure and function of a cell, the basic unit of life,biological molecules composing a cell,and the mechanisms of various biological phenomena inside the cell that occur using these molecules.
（Learning Objectives）
The goal of this course is to be able to understand the basic concepts and terms of biology and explain them in your own words, to be interested in social and technical issues related to biology, and to be able to discuss scientifically about them.
（Learning activities outside of classroom）
After each class, you will be expected to reread and review the teaching material slides. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
（Grading Criteria /Policy）
Final grade will be calculated according to the following process; Term-end examination (35%), reports (10%), school assignments(25%) in-class contribution (15%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎 I

細谷　茂生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
遺伝子工学分野をはじめとする生命科学の近年における急速な発展は、基礎生物学のみならず、医療や農業に技術革新をもたらし、社会全体にも大きな影響を及ぼすようになってきた。本講義は、受講者が生物学の基本的概念を理解し、生命科学のリテラシーを身につけられるよう、細胞学や分子生物学を中心に現代生物学の基礎を概説する。

【到達目標】
受講生が生物学の基本的概念を理解し、生命科学に関連した時事問題に対して自身で考えた意見を持てるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物学を履修しなかった学生や本学で生物学を主専攻としない学生にも理解できるよう、視覚的資料を多数用意して平易な解説を心掛ける。また、毎回小テストを行い、受講生の理解度を考慮して講義を進める。
小テストの結果に対するフィードバックは、学習支援システムを用いて行うほか、小テストの結果に基づき講義において補足説明やまとめを行う。
本授業はZoomまたはWebexと学習支援システムによるオンラインで行い、詳細は学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、生物の分類	生物の定義と分類、授業で取り上げるテーマの概要
第2回	細胞	原核細胞と真核細胞の構造とその違い、細胞小器官の構造とはたらき
第3回	生物を形作る物質1（生体膜）	生体膜の種類、細胞膜とその構造、細胞膜の様々な役割
第4回	生物を形作る物質2（タンパク質）	タンパク質の種類・構造、酵素を中心としたタンパク質の機能とはたらき
第5回	生物を形作る物質3（DNA）	DNA構造の発見の歴史、DNAの構造と性質
第6回	代謝1（呼吸1）	生物の代謝と炭素循環、呼吸等で重要な物質、解糖系とクエン酸回路の分子的メカニズム
第7回	代謝2（呼吸2、その他の代謝系）	電子伝達系の分子的メカニズム、タンパク質や脂質の代謝、嫌気呼吸
第8回	代謝3（光合成1）	植物の構造と光合成、光合成の概要、電子伝達系の分子的メカニズム
第9回	代謝4（光合成2、その他の代謝系）	カルビン回路と糖の生成の分子的メカニズム、光呼吸、C4植物とCAM植物の特徴、窒素同化
第10回	細胞分裂と染色体	細胞分裂と細胞周期、細胞周期の制御機構、染色体の構造、体細胞分裂と減数分裂のメカニズム
第11回	遺伝	メンデルの遺伝の法則、様々な遺伝形式、ヒトの遺伝形質
第12回	進化	地球と生命の歴史、生物の進化と系統樹、動物の進化とボディプラン、進化のメカニズム、種分化
第13回	生態	生物圏の成り立ち、個体群、個体群間の相互作用、生物群集と多様性、生物圏とヒトのかかわり
第14回	まとめと解説、試験	学期のまとめと解説、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：学習支援システムにアップロードされた資料を読み、授業で取り上げる内容について予習する。
復習：学習支援システムにアップロードされた資料を読み、復習すると共に、毎回の小テストに回答する。
予習・復習時間：各2時間を標準とする。
特に指定しないが、参考書に挙げた書籍の内容に沿って講義を行う。

【テキスト（教科書）】
特に指定しないが、参考書に挙げた書籍の内容に沿って講義を行う。

【参考書】
BLUE BACKSアメリカ版 新・大学生物学の教科書第1、2、3巻D・サダヴァ他編（講談社）
BLUE BACKSアメリカ版 大学生物学の教科書第4、5巻D・サダヴァ他編（講談社）
改訂版 視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録 数研出版編集部 編集（数研出版）

【成績評価の方法と基準】
小テスト（宿題）成績（40%）、期末試験成績（30%）、小テスト（授業内）成績（20%）、平常点（10%）で評価する。
また、本年度から成績評価をより厳格化する。詳細はガイダンスで連絡する。
変更する場合は学習支援システムで連絡する。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の小テストについて、学習支援システムを通してフィードバックを行うとともに、毎回の授業において解説と復習を行う。また、授業の始めにその回の重要なキーワードと学習のポイントを示す。
更に、クイズや理解度チェックを通し、授業内容への興味を引き出したり理解度をタイムリーに確認したりする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムとオンライン授業に円滑に接続できる情報機器（貸与パソコン等）と良好な通信環境が必要。

【その他の重要事項】
秋学期開講の生物学基礎IIと合わせて受講するのが望ましい。
第1回授業前に法政大学Gメールアカウントを取得し、そのメールアカウントで法政大学Zoom及びWebexアカウントを取得しておく。また、Zoom及びWebexアプリケーションをインストールしておく必要がある。
可能な限り第1回授業から出席すること。

【Outline (in English)】
The rapid development of life sciences in recent years, including the field of genetic engineering, has brought about technological innovation not only in basic biology but also in medicine and agriculture, and has come to have a great impact on society as a whole. This course outlines the basics of modern biology, focusing on cytology and molecular biology, so that you can understand the basic concepts of biology and acquire the literacy of life science.
The goals of this course are to understand the basic concepts of biology and to have your own thoughts on current affairs related to life sciences. Before class, you will be expected to read reference books to prepare for what will be covered in class, if possible. After each class, you will be expected to read the handout and answer quizzes uploaded to the learning management system. Your study time will be two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following. Quizzes after each class: 40%, term-end examination: 30%, quiz in each class: 20%, and in-class contribution: 10%. If the criteria and policy are changed, it will be presented to learning management system.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎 I

石黒　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
遺伝子工学分野をはじめとする生命科学の近年における急進な発展は、基礎生物学のみならず、医療や農業に技術革新をもたらし、社会全体にも大きな影響を及ぼすようになってきた。本講義は、受講者が生物学の基本的概念を理解し、生命科学のリテラシーを身につけられるよう、細胞学や分子生物学を中心に現代生物学の基礎を概説する。

【到達目標】
受講生が生物学の基本的概念を理解し、生命科学に関連した時事問題に対して自身で考えた意見を持てるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎的事項に最近発展した内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解 を深める。 課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授 業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可 能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。春学期の授業は，原 則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	生命とは何か	生物と無生物の違い。
第2回	細胞:生物の基本単位	細胞の構造と機能。
第3回	オルガネラ	オルガネラの構造とその働き。
第4回	個体の統合	多細胞生物と細胞分化。
第5回	生体を構成する分子 1	核酸とタンパク質の構造と機能。
第6回	生体を構成する分子 2	炭水化物, 脂質の構造と機能。
第7回	中間テスト・解説	6 回目までのテスト・まとめと解説
第8回	遺伝子発現	セントラルドグマと生体システム。
第9回	物質代謝とエネルギー代謝	合成と分解, 呼吸, 光合成
第10回	恒常性の維持	メンデルの遺伝の法則、様々な遺伝形式、ヒトの遺伝形質
第11回	生命システムの破綻	遺伝子発現, 代謝, 恒常性の破綻と疾患。
第12回	病原体と生体防御	ウイルス, 微生物と生体防御システム。
第13回	現在そしてこれからの生命科学	遺伝子治療、ゲノム編集、再生医療など、最新の生命工学と今後の展望。
第14回	生物の多様性・生命科学と倫理	生命の誕生と進化, 分類。生命科学で守るべきこと。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4 時間を標準とする】ノートを読み直し、復習する。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。

【参考書】
授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
中間・期末の2回実施するテスト、及び平常点にて評価する。テストがオン ラインでの実施となった場合は、成績評価の方法と基準も変更する。具体的 な方法と基準は、講義の中で提示する。 成績評価要素:平常点(25%)、中間テスト(25%)、期末テスト(50%)

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物を選択していなかった受講者へも解り易い講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコン等、学習支援システムにアクセスでき、zoomに参加できる情報機器が必要。

【その他の重要事項】
秋学期開講の生物学基礎IIと合わせて受講するのが望ましい。

【Outline (in English)】
Living organisms are formed of aggregates of biopolymers formed by selectively using Earth's elements. In this lecture, we will deepen our understanding of molecules and systems that constitute and maintain life and learn about its mechanism.
The goal is for students to understand the basic concepts and terms of biology and explain them in their own words. It is also important to be interested in and scientifically consider social and technical issues related to biology.
Grades will be evaluated based on two tests, one at the middle and the end of the term, and normal points. If the test is conducted online, the method and criteria for grade evaluation will also be changed. Specific methods and criteria will be presented in the lecture.
Grade evaluation factors: Normal score (25%), mid-term test (25%), final test (50%)

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎ⅠⅠ

田島　寛隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生物を構築する全ての遺伝情報は、遺伝子の集合体であるゲノムに含まれている。ゲノムに含まれる遺伝情報の発現機構、ゲノムの細胞から細胞、親から子への伝達機構、共通の祖先から由来したゲノムの多種多様な生物への分化と進化について、物質的基盤での理解を深める。

【到達目標】
生物学の基本的な概念，用語を理解し，それらを平易に説明できるようになる．また，生物学が関係する社会的，技術的問題に対して科学的に考察できるようになる．以上を目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物を選択しなかった学生も考慮して、平易簡潔な講義を行う。生命科学に関する基礎的事項に加え、近年発展した学問内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解を深めていく。生物学基礎Ⅰで学んだ内容の復習で知識を整理したのちに、遺伝情報の発現の仕組みについて、原核生物と真核生物を比較しながら講義する。つぎに、生殖、発生について、動物と植物を比較しながら講義する。さらに、再生医療、遺伝子操作技術など基礎生命科学を基礎に発展した応用的な分野についても解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生物学基礎Ⅰの復習・まとめなど
第2回	細胞	原核生物と真核生物
第3回	遺伝子1	遺伝の法則と遺伝子の発見
第4回	遺伝子2	遺伝子の構造・複製
第5回	遺伝子3	原核生物における遺伝子の発現制御
第6回	遺伝子4	真核生物における遺伝子の発現制御
第7回	細胞分裂	体細胞分裂と減数分裂
第8回	生殖1	生殖細胞の形成
第9回	生殖2	受精の仕組み
第10回	発生1	動物の発生，卵割
第11回	発生2	分化・形態形成とオーガナイザー
第12回	発生3	植物の発生
第13回	進化	生命の誕生と系統進化
第14回	遺伝子工学・細胞工学	遺伝子組換技術・再生医療

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は各2時間を標準とする．配付資料と授業ノートを良く読み返し，内容を十分に理解すること．授業内容に関連する参考書籍等を読み，理解をより深めるのが望ましい．

【テキスト（教科書）】
特に指定しない．適宜資料を配布する．

【参考書】
東京大学生命科学教科書編集委員会「生命科学」改訂第3版　羊土社
和田勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」 羊土社

【成績評価の方法と基準】
基本的に学期末に行う試験で評価する．
授業の実施状況に伴い評価方法は変更することがある．

【学生の意見等からの気づき】
板書が読みにくい旨の意見が多いため、改善する。

【その他の重要事項】
講義内容に関する質問・感想・要望は随時受け付ける．

【Outline (in English)】
All of the genetic information that builds organisms is contained in genomes, which are collections of genes. We will deepen our understanding of the mechanisms of expression of genetic information, the mechanisms of transmission of genomes from cell to cell and from parent to child, and the differentiation and evolution of genomes derived from a common ancestor into a wide variety of organisms on a material basis.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎ⅠⅠ

水澤　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生物を構築する全ての遺伝情報は、遺伝子の集合体であるゲノムに含まれている。ゲノムに含まれる遺伝情報の発現機構、ゲノムの細胞から細胞、親から子への伝達機構、共通の祖先から由来したゲノムの多種多様な生物への分化と進化について、物質的基盤での理解を深める。

【到達目標】
受講学生は生物学の基本的な概念と用語を理解し自分の言葉で説明できるようになり、生物学が関係する社会的、技術的問題について興味を持ち、科学的に考察できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物を選択しなかった学生も考慮して、平易簡潔な講義を行う。生命科学に関する基礎的事項に加え、近年発展した学問内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解を深めていく。生物学基礎Ⅰで学んだ内容の復習で知識を整理したのちに、遺伝情報の発現の仕組みについて、原核生物と真核生物を比較しながら講義する。つぎに、生殖、発生について、動物と植物を比較しながら講義する。さらに、再生医療、遺伝子操作技術など基礎生命科学を基礎に発展した応用的な分野についても解説する。
課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授業時にフィードバックする。授業方法は対面とzoom授業いずれでも参加できるようにする予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生物学基礎Ⅰで学習した内容の復習・まとめ
第2回	細胞	原核生物と真核生物
第3回	遺伝子１	遺伝の法則，遺伝子の発見，形質と遺伝子
第4回	遺伝子2	遺伝子の構造，複製，PCR法
第5回	遺伝子3	原核生物における遺伝情報の発現制御；ラクトースオペロン
第6回	遺伝子4	真核生物における遺伝情報の発現制御；クロマチン構造、エピジェネティクス
第7回	細胞分裂	体細胞分裂と減数分裂
第8回	生殖1	有性生殖と無性生殖、動物と植物における生殖細胞の形成
第9回	生殖2	動物と植物における受精のしくみ
第10回	発生1	卵割、胞胚、原腸胚への変化
第11回	発生2	オーガナイザーと胚葉分化、形態形成
第12回	発生3	植物の発生、植物ホルモン
第13回	遺伝子工学・細胞工学	遺伝子組換技術、再生医療
第14回	感染と免疫	病原体による感染、感染に対する生体防御・免疫

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
まとめのプリントとノートを読み直し、復習する。課題に取り組み提出する。まとめのプリントとノートを読み直し、復習する。課題に取り組み提出する。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した資料を配布する。

【参考書】
東京大学生命科学教科書編集委員会「生命科学」改訂第3版　羊土社
和田勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」 羊土社

【成績評価の方法と基準】
平常点15%、レポート10%、課題25%、期末試験50%で評価する。基本的な生命科学の用語の定着、理解、生命現象のメカニズムの理解、現代社会における生命科学の重要性の理解などが試験、レポート課題の中心となる。

【学生の意見等からの気づき】
課題に対するフィードバックを丁寧にする。

【学生が準備すべき機器他】
お知らせ、資料配付に学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】
（Course outline）
The course is an introduction to molecular biology, genetics and several modern
molecular methods to elucidate molecular and genetic questions that involve the description of meiosis, sexual reproduction, and classical genetics, and the principles of DNA replication and gene regulation in prokaryotic and eukaryotic cells,and PCR.
（Learning Objectives）
The goal of this course is to be able to understand the basic concepts and terms of biology and explain them in your own words, to be interested in social and technical issues related to biology, and to be able to discuss scientifically about them.
（Learning activities outside of classroom）
After each class, you will be expected to reread and review the teaching material slides. Before/after each class, you will be expected to spend at least one hour to understand the course content and prepare the report.
（Grading Criteria /Policy）
Final grade will be calculated according to the following process; term-end examination (50%), reports (10%), 'school assignments (25%), and in-class contribution (15%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎ⅠⅠ

細谷　茂生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期開講の生物学基礎Ⅰに引き続き、本講義は受講者が生物学の基本的概念を理解し、生命科学のリテラシーを身につけられるよう、遺伝学と分子生物学を中心に現代生物学の基礎を概説する。また、近年の生物学の研究動向についても紹介する。

【到達目標】
受講生が生物学の基本的概念を理解し、生命科学に関連した時事問題に対して自身で考えた意見を持てるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
高校で生物学を履修しなかった学生や本学で生物学を主専攻としない学生にも理解できるよう、視覚的資料を多数用意して平易な解説を心掛ける。また、毎回小テストを行い、受講生の理解度を考慮して講義を進める。
小テストの結果に対するフィードバックは、学習支援システムを用いて行うほか、小テストの結果に基づき講義において補足説明やまとめを行う。
本授業はZoomまたはWebexと学習支援システムによるオンラインで行い、詳細は学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、春学期の復習	生物を構成する物質、授業で取り上げるテーマの概要
第2回	遺伝情報の複製、転写、翻訳1	細胞分裂におけるDNAの複製、複製メカニズム発見の歴史、複製のメカニズム
第3回	遺伝情報の複製、転写、翻訳2	DNAと遺伝情報、転写のメカニズム、代表的な転写の制御、転写調節に関する応用例
第4回	遺伝情報の複製、転写、翻訳3	遺伝暗号解読の歴史、翻訳のメカニズム、翻訳後修飾、突然変異、翻訳と抗生物質
第5回	バクテリアとウイルス	バクテリアの特徴と遺伝学、ウイルスの特徴とライフサイクル、代表的なウイルスの特徴
第6回	真核生物の分子遺伝学	ゲノムプロジェクト、真核生物のゲノムの特徴、真核生物における転写のメカニズムと遺伝子発現のメカニズム
第7回	細胞のシグナル伝達1	細胞のシグナル伝達の分子的メカニズム、神経伝達のメカニズム、神経細胞と疾患とのかかわり
第8回	細胞のシグナル伝達2、生理学1	内分泌のメカニズム、循環器、呼吸器の概要と疾患とのかかわり
第9回	生理学2	消化器、泌尿器、骨、感覚器の概要と疾患とのかかわり
第10回	発生の生物学と分子遺伝学	発生の概要、代表的な生物における発生の過程、発生の分子的メカニズム
第11回	免疫	生体防御システムの全体像、自然免疫と獲得免疫の分子的メカニズム、免疫と疾患のかかわり
第12回	バイオテクノロジー1	DNAやタンパク質を扱う主な実験手法の原理と概要
第13回	バイオテクノロジー2	遺伝子組換え技術の基礎と応用例、ゲノム編集技術の概要、バイオテクノロジーの医療への応用
第14回	まとめと解説、試験	学期のまとめと解説、期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：学習支援システムにアップロードされた資料を読み、授業で取り上げる内容について予習する。
復習：学習支援システムにアップロードされた資料を読み、復習すると共に、毎回の小テストに回答する。
予習・復習時間：各2時間を標準とする。
特に指定しないが、参考書に挙げた書籍の内容に沿って講義を行う。

【テキスト（教科書）】
特に指定しないが、参考書に挙げた書籍の内容に沿って講義を行う。

【参考書】
BLUE BACKSアメリカ版 新・大学生物学の教科書第1、2、3巻D・サダヴァ他編（講談社）
改訂版 視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録 数研出版編集部 編集（数研出版）

【成績評価の方法と基準】
小テスト（宿題）成績（40%）、期末試験成績（30%）、小テスト（授業内）成績（20%）、平常点（10%）で評価する。
また、本年度から成績評価をより厳格化する。詳細はガイダンスで連絡する。
変更する場合は学習支援システムで連絡する。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の小テストについて、学習支援システムを通してフィードバックを行うとともに、毎回の授業において解説と復習を行う。また、授業の始めにその回の重要なキーワードと学習のポイントを示す。
更に、クイズや理解度チェックを通し、授業内容への興味を引き出したり理解度をタイムリーに確認したりする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムとオンライン授業に円滑に接続できる情報機器（貸与パソコン等）と良好な通信環境が必要。

【その他の重要事項】
春学期開講の生物学基礎Ⅰと合わせて受講するのが望ましい。
第1回授業前に法政大学Gメールアカウントを取得し、そのメールアカウントで法政大学Zoom及びWebexアカウントを取得しておく。また、Zoom及びWebexアプリケーションをインストールしておく必要がある。
可能な限り第1回授業から出席すること。

【Outline (in English)】
Continuing from Basic Biology I in the spring semester, this course focuses on genetics and molecular biology so that you can understand the basic concepts of biology and acquire the literacy of life science. I will also introduce recent trends in biology research.
The goals of this course are to understand the basic concepts of biology and to have your own thoughts on current affairs related to life sciences. Before class, you will be expected to read reference books to prepare for what will be covered in class, if possible. After each class, you will be expected to read the handout and answer quizzes uploaded to the learning management system. Your study time will be two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following. Quizzes after each class: 40%, term-end examination: 30%, quiz in each class: 20%, and in-class contribution: 10%. If the criteria and policy are changed, it will be presented to learning management system.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎ＩＩ

石黒　亮

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期開講の生物学基礎Ⅰに引き続き、本講義は受講者が生物学の基本的概念を理解し、生命科学のリテラシーを身につけられるよう、分子生物学を中心に現代生物学の基礎を概説する。また、近年の生物学の研究動向についても紹介する。

【到達目標】
受講生が生物学の基本的概念を身につけ、生物学に関連した時事問題に対して自身で考えた意見を持てるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
　高校で生物学を履修しなかった学生や本学で生物学を主専攻としない学生にも理解できるよう、視覚的資料を多数用意して平易な解説を心掛ける。基礎的事項に最近発展した内容を加えながら、生命現象に対する興味と理解 を深める。 課題等に対しては、学習支援システムを用いてフィードバックする、または授 業時にフィードバックする。授業方法は大学の行動指針に基づき変更する可 能性があり、その場合は学習支援システムで通知する。春学期の授業は，原 則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習、授業の概要	授業で取り上げるテーマの概要これまでの講義との違い
第2回	遺伝情報	ゲノムDNAとトランスポゾン
第3回	遺伝子発現制御	転写のメカニズムとクロマチンリモデリング
第4回	翻訳機構	mRNAに写し取られた遺伝情報からタンパク質を合成するシステム
第5回	タンパク質	機能性生体分子としてのタンパク質の多様性
第6回	機能性RNA	非翻訳性RNA分子の働き
第7回	中間テスト・解説	6回目までのテスト・まとめと解説
第8回	生体分子内及び分子間相互作用	生体分子の相互作用から考える生命現象
第9回	情報伝達	細胞内及び細胞間シグナル伝達システムと受容体
第10回	細胞の分化と個体の形態形成	細胞はどのように分化し、個体の発生・形態を行うのか
第11回	ストレス応答と細胞システム	生存環境の変化に応じた細胞応答と機能喪失の原因と結果
第12回	遺伝子組み換え	遺伝子組換え技術の基礎と応用例、ゲノム編集技術の概要と医療への応用
第13回	生命科学と倫理	ヒト及び動植物が直面する生命科学の現状と今後
第14回	まとめと解説	第１回目から第１３回目までのまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】ノートを読み直し、復習する。

【テキスト（教科書）】
指定しない。

【参考書】
授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
中間・期末の2回実施するテスト、及び平常点にて評価する。テストがオン ラインでの実施となった場合は、成績評価の方法と基準も変更する。具体的 な方法と基準は、講義の中で提示する。 成績評価要素:平常点(25%)、中間テスト(25%)、期末テスト(50%)

【学生の意見等からの気づき】
高校で生物を選択していなかった受講者へも解り易い講義を心がける。

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコン等、学習支援システムにアクセスでき、zoomに参加できる情報機器が必要。

【その他の重要事項】
春学期開講の生物学基礎Ⅰと合わせて受講するのが望ましい。

【Outline (in English)】
Continuing from Basic Biology I in the spring semester, this course focuses on molecular biology so that you can understand the basic concepts of biology and acquire the literacy of life science. I will also introduce recent trends in biology research.
The goals of this course are to understand the basic concepts of biology and to have your own thoughts on current affairs related to life sciences. Before class, you will be expected to read reference books to prepare for what will be covered in class, if possible. After each class, you will be expected to read the handout and answer quizzes uploaded to learning management system. Your study time will be two hours for a class.
Grade evaluation factors: Normal score (25%), mid-term test (25%), final test (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

村上　弥生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
グローバルな教養人として求められる英語の読解力、語彙力を身に着ける。
異なる社会や、現代世界が直面する諸問題を論じる文章を主に取り上げ、英語の読解力のみならず、背景的な知識のリサーチなどを通じて、日常的に得られる日本語情報を相対化し、国際人としての視野と志向を広げる。
またリスニングや視覚材料を併用しながら、音声としての英語に触れる機会を多く持つことによって、英語独自の構造に慣れ、構造に従ってスムーズに受容できる力を高める。
高度な英文の読み物については、精読、正確な和訳の作業を通して、文構造や表現、単語の理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
1．読み物については、
現代の社会、また世界において重要なテーマを1～2選び、関連する資料を学生さんの予習を前提として、丁寧に読む。また、読み物のテーマについての説明も、学生さんに英語で行ってもらったり、また教師からも随時行う。
2．テーマに関連する視聴覚材料をネット等で聞き、内容確認等を行う
3．各テーマ終了ごとに語彙や表現、内容についての応用的な小テスト、ないし訳の修正や意見文の作成を行ってもらう。
4．4. 1～3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppi、ないし授業中に作成、提出されたものを評価して返却、もしくは授業時に総評を行う。
授業は基本的に対面で行うが、情勢の変化や授業の進捗状況等によってオンラインに変更される場合もあるので、情報システムでのお知らせを常に確認されたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Problems with A.I.tools and translation	授業の進め方についての説明、受講生の自己紹介など AIツールと翻訳の問題を概観
第2回	トピック1：（社会や時代の変化に添って新たに選びなおすが、以下は昨年度の例である） A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-1 (AIが生成したコンテンツの増大と人間の発達、文化の質、AIの将に対して懸念されるに対して懸念される負の影響について	背景説明 関連する視聴覚資料の紹介
第3回	A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-2	和訳：要約の発表 重要語句、表現、文法の確認 リサーチ・意見文の紹介、発表
第4回	A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-3	背景説明、関連する資料映像等の紹介 重要語句、表現・文法の確認
第5回	review test-1 Think Before You Click （デジタルテクノロジーと電力消費）	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第6回	Think Before You Click	関連する資料、映像の紹介 和訳発表 リサーチ、意見文の発表、紹介 重要語句、表現、文法の確認
第7回	A.I. Could Soon Need as Much Electricity as an Entire Country－1	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認
第8回	A.I. Could Soon Need as Much Electricity as an Entire Country-2	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第9回	review test-2 A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm パリオリンピック開会式計画に見る多様性と多文化主義への反発	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第10回	A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm-2	背景説明、 和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第11回	A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm-3	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認 関連する資料の紹介
第12回	Shocking results of French snap election	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認
第13回	New Factories and Jobs are not enough to Stem France(s Far Right Surge	重要語句、表現、文法の確認
第14回	review test-4	前回までの内容・語句・表現の応用の復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1.読み物については、わかりやすい日本語に訳せるように十分に細部まで正確な英文理解を行うとともに、背景となっている状況なども併せて調べることが求められる。
2．読み物については音読、また、視聴覚教材については、シャドウイングなどを行いながら復習する。
3．各トピックごとに復習テスト、もしくは訳の修正を行うように準備をする。
4．全体的なテーマに関連した短い意見文を作成する。

【テキスト（教科書）】
初回に指示する。また随時教師が提供する。

【参考書】
参考書はとくに指定しない。

【成績評価の方法と基準】
予習としての和訳、リサーチ20％、授業での作文などへの積極的取組20％、復習テストもしくは和訳の修正や意見文60％。

【学生の意見等からの気づき】
英語資料を通じて、現代の世界の様々な側面を広く, また多様な視点から知ることに意義を見出してくれる学生さんが多く、十分こたえられるような題材を提供していくよう引き続き努力したい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.

This course has two major objectives. One of them is to help students acquire the level of English reading skills and vocabulary required of well-educated persons on international settings. The other objective is to help students broaden their perspectives as members of international community through dealing with English materials that expose them to contemporary global issues. Before each class meeting, students will be expected to do one or two of the following tasks. 1.carefully read assigned part of the materials. 2.Summarize a short audio-visual material. 3. Research on relevant topics. After each class meeting, students will be expected to read or watch materials again and prepare for a review test which will be frequently conducted. You will sometimes be requested to write your own ideas in English based on materials introduced in the course. Your required study time outside of the classroom is at least one hour for each class. Final grading will be decided based on your preparation for class (20%), contribution to class through presenting researches and opinions (20%), and review tests(60%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalised feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalized feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments. 春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	INTRODUCTION	Classroom routines and procedures Assignment description and examples Assignment practice
2	THEME I - THE NEWS MEDIA (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 1 -Understanding Vocabulary in Context The News Media In The Past.
3	THEME I - THE NEWS MEDIA (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 1 -Understanding Vocabulary in Context The History of Electronic Media & Expansion Reading
4	THEME I - THE NEWS MEDIA (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 2 - Finding Main Ideas Citizen Journalism
5	THEME I - THE NEWS MEDIA (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 2 - Finding Main Ideas Ethical Journalism Unit 1 Mini-test
6	THEME II EDUCATION (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 3 - Using the Dictionary Education Around the World
7	THEME II EDUCATION (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 3 - Using the Dictionary Testing In Education
8	THEME II EDUCATION (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 4 - Finding Supporting Details Alternative Education
9	THEME II EDUCATION (part 4)	Skills for the 21st Century Unit 2 Mini-test
10	THEME III: THE WORLD OF BUSINESS (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 5 - The Vocabulary of Numbers Supply and Demand in the Global Economy
11	THEME III: THE WORLD OF BUSINESS (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 5 - The Vocabulary of Numbers The Workforce of the 21st Century
12	THEME III: THE WORLD OF BUSINESS (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 6 Information in Graphs and Charts Communication Technology in Business
13	THEME III: THE WORLD OF BUSINESS (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 6 Information in Graphs and Charts Business and Sustainability n Unit 3 Mini-test
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
At the end of two of the three thematic units, an assignment will be set for the student based on their own interests relating to the themes of the units addressed in the class and the critical thinking activities in the unit. This task is intended to take 45-60 minutes.
Some readings and textbook vocabulary exercises from the textbook may be set as homework. Exercises set for home study will be completed through the Learning Management System.

【テキスト（教科書）】
Making Connections 2 -Skills and Strategies for Academic Reading (second Edition) ￥3,000 - Jo McEntire &Jessica Williams (Cambridge) - ISBN 978-1-108-65782-2

【参考書】
English-Japanese dictionaries
Online language reference - collocation resources

【成績評価の方法と基準】
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Test 30%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent five times without adequate reason.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

【学生の意見等からの気づき】
The textbook has been changed to provide more challenging readings and themes.

【学生が準備すべき機器他】
The students will need the textbook. Failure to bring the textbook to class will affect the students grade.

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content.
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalized feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.
GRADING CRITERIA
Assignments40%
Mini-tests 20%
Final Test 20%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用する語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
この授業は、テキストを中心とする講義と演習を行う。また、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは提出された課題レポートから実例や問題点を取り上げ、全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance ガイダンス	授業の説明／予習すべき項目の指示／課題の提示
②	Unit 1 The Scientific Method 精読	テキストの7ページと8ページの精読／科学的方法について／パラグラフの構造の説明／課題の提示
③	Unit 1 The Scientific Method 文法	テキストの9ページと10ページの練習問題／受動態／科学英語の語彙と数式の読み方／課題の提示
④	Unit 2 Observing the Solar System 精読	テキストの11ページと12ページの精読／太陽系の観測史について／課題の提示
⑤	Unit 2 Observing the Solar System 文法	テキストの13ページと14ページの練習問題／方程式の読み方　他動詞の目的語となる動名詞とto-不定詞／課題の提示
⑥	Unit 3 The Beauty of Mathematics 精読	テキストの15ページと16ページの精読／数式の美しさについて／課題の提示
⑦	Unit 3 The Beauty of Mathematics 文法	テキストの17ページと18ページの練習問題／数式の記号について　関係代名詞／課題の提示
⑧	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 精読	テキストの19ページと20ページの精読／電球とLEDについて／課題の提示
⑨	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 文法	テキストの21ページと22ページの練習問題／図形・面積・体積　関係副詞／課題の提示
⑩	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 精読	テキストの23ページと24ページの精読／放射性物質について／課題の提示
⑪	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 文法	テキストの25ページと26ページの練習問題／長さ・幅・高さ・深さ　分詞構文／課題の提示
⑫	Unit 6 The Man Who Saved Millions 精読	テキストの27ページと28ページの精読／ジェンナーの業績／課題の提示
⑬	Unit 6 The Man Who Saved Millions 文法	テキストの29ページと30ページの練習問題／工具と付属部品の名称　関係代名詞／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、それにテキストから覚えるべき表現や単語を書き出し、何度も反復練習をするように。

【テキスト（教科書）】
Advances in Science :　Learning from the Past, Looking to the Future,Dave Rear &Kayoko Murakami, 南雲堂, 2019, 1900円.

【参考書】
『理科系のための英語力強化法』、ジャパンタイムズ、2002年　『公式TOEIC(R)Listening &Reading 問題集 9』、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、2022年

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（25%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が5回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようお手伝いします。質問があれば何時でもどうぞ。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills.　Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese.　Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.　Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding paragraph structure.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 45%, final term assignment: 25%, final test: 25%and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

小町　将之

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
1）英文を正確に迅速に読める力を身につける。
2）語彙力と英文法の向上を図る。
3）学術論文を読み解く力を養う。
4）パラグラフの要点を抽出し、内容を簡潔にまとめられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・この授業は講義形式ではなく、演習形式で行われる。そのため、受講者の積極的な参加が求められる。
・文章の内容理解の確認や課題演習を行うために、グループワークやディスカッションを行うことがある。
・課題等へのフィードバックは授業内又は学習支援システムで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方、学習の仕方、評価などの説明。
2	Unit 1	Why diets fail
3	Unit 2	Dance moves are irresistible
4	Unit 3	The origins of tidiness
5	Unit 4	Malagasy spiders spin hte world's thoughest biological material
6	Unit 5	Say goodby to sunspots
7	Midterm exam	中間試験 units 1-5
8	Unit 6	Folklore confirmed
9	Unit 7	Safe passage for salmon?
10	Unit 8	Face to face with human mobility research
11	Unit 9	Alien gases in our atmosphere
12	Unit 10	'Altitude doping' has its limits
13	Unit 11	When pigeons flock, who's in command?
14	Final exam	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次回の範囲をおおまかに眺めて、知らない単語は辞書で引いて調べておくこと。
・各授業後に学習した内容を復習し、理解した箇所や不明な箇所を確認すること。

【テキスト（教科書）】
『Science Fair』
Yoshinobu Nozaki ほか 著
南雲堂、2012年、2,200円（税込）

【参考書】
必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】
中間試験 (40%), 期末試験(40%), 課題提出 (20%),60パーセント以上で単位習得となる。学期中に4回欠席した場合、原則として単位は認めない。遅刻・早退は2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する際は前もって連絡する。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回授業に持参すること。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【到達目標（Learning Objectives）】
1) To acquire the ability to read English sentences accurately and quickly.
2) To improve English vocabulary and grammar.
3) To develop the ability to read and understand academic papers.
4) To be able to extract the main points of a paragraph and summarize its contents concisely.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
The standard study time outside of class for this class is 1 hour. Students are expected to review the contents of the next lesson and look up unfamiliar words in a dictionary.
Review the contents after each class, and confirm what you understand and what you do not understand.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Mid-term exam (40%), final exam (40%), assignment submission (20%), the total of 60%or more is required to receive credit for the course. As a general rule, no credit will be given for four absences during a semester. Two late arrivals or early departures will be counted as one absence.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

中野　里美

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
This course also seeks to promote reading skills and promote critical thinking skills to read these global issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
To begin with, students will be given TOEIC reading as warm-up handouts, then read the textbook, and finally be given some comments. Feedback about the classes will be carried out on the last week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction and guidance	Explaining how to study in this class
第2回	Reading global issues	Author Takano says Japan has become ‘outlying zone’ in the world
第3回	Reading global issues	All Japanese will be ‘Sato’ by 2531 if Japan keeps same-surname marriage system: research
第4回	Reading global issues	Japan business leaders call for choice of separate surnames
第5回	Reading global issues	In Taiwan, a group is battling fake news one conversation at a time
第6回	Reading global issues	Kyoto may launch tourist express bus service to beat overcrowding
第7回	Reading global issues	Osaka weighs ‘entry fee’ or foreign tourists in bid to combat overtourism
第8回	Reading global issues	Illegal Mopeds and Fake Names
第9回	Reading global issues	Japan produces 1st pigs designed for organ transplants
第10回	Reading global issues	Marshall Islands seeks to partner with Japan on nuclear issues
第11回	Reading global issues	Mass kidnappings of Nigerian students leave parents in shock and despair
第12回	Reading global issues	Foreign firefighters stifled by Japan government bureaucratic smoke screen
第13回	Reading global issues	UN chief urges the EU to avoid ‘double standards’ over Gaza and Ukraine
第14回	Review	Review &term-end exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Students will need to be prepare and review for the textbook before and after this class.

【テキスト（教科書）】
English through the News Media: 2025 Edition by Masami Takahashi Asahi Press

【参考書】
Participants will be given information of references in the class.

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 60%, and tasks in this class 40%

3分の1以上または5回以上の欠席で不合格、評価の対象外とします。公欠届、病欠（診断書、日付とフルネーム入りの領収書などの証明書持参のこと）などは考慮します。遅刻は授業開始後２０分以降の入室から。３回目の遅刻を１回欠席に換算します。遅延証明書があれば、当日の授業内持参のみ考慮します。毎回の授業で平常点が２回生じます。授業内課題テスト(40%)と期末テスト(60%)を合計して１００％とし評価します。

【学生の意見等からの気づき】
If you have any questions, please feel free to ask them in the class.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
（Learning Objectives）
This course also seeks to promote reading skills and promote critical thinking skills to read these global issues.
(Learning activities outside of classroom）
Students will need to be prepare and review for the textbook before and after this class.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 50%, and tasks in this class 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

小畑　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
①アカデミックな内容の英文を正確に理解できる。
②アカデミックな内容の文章でよく使われる単語や表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit2: From Sci-Fi to Reality (Science and Technology) (1)	科学技術に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
3	Unit2: From Sci-Fi to Reality (Science and Technology) (2)	科学技術に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
4	Unit4: Celebrating the Earth (The Environment)(1)	環境に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
5	Unit4: Celebrating the Earth (The Environment)(2)	環境に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
6	Review of Units2&4 Vocabulary test 1	学習済みの２ユニットの復習をし、単語テストを行う。
7	Unit5: Visual Lives (The Internet)(1)	インターネットに関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
8	Unit5: Visual Lives (The Internet)(2)	インターネットに関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
9	Unit7: Genetically Modified Foods (Agriculture) (1)	農業に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
10	Unit7: Genetically Modified Foods (Agriculture) (2)	農業に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
11	Review of Units5&7 Vocabulary test 2	学習済みの２ユニットの復習をし、単語テストを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEICReading,Listeningの練習問題を解き、語彙や文法を学ぶ。
13	今学期のまとめ	今学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする。
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Bennett, A. (2025) Reading Fusion 2 (2nd edition). Nan'un-Do.
ISBN: 978-4-523-17973-3

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15%
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質
の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定
の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1]to understand academic texts precisely, [2] to improve English reading skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]

Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting. Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Finalgrade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

ギユモ　セレスト

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
このクラスは、アカデミックな内容を読むための基礎力を養うことを目的とする。
主な目標は以下の通りである：
- 科学記事の理解: 約400語の科学記事の概要を把握できるようになる。
- 論理構成の理解: 英語の論理構成や文脈を意識しながら読解力を向上させる。
- 速読技術の習得: スキミングとスキャニングを活用し、効率的に速読する技術を習得する。
- 要約の作成: 読んだ内容を英語で要約できるようになる。
- 表現力の強化: 授業で学んだ文法や語彙を使って、効果的に表現できるようになる。
- 問題解決: グループディスカッションなどにより、理解を深めながら問題解決力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では、読解力を養うために、スキミングやスキャニング、要約、グループディスカッションなど、さまざまな活動を行う。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、語彙テストを含む定期的な小テストを実施し、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Introduction to Academic Reading	Introduction Course overview Goal Setting
2	Unit 1	Fast Asleep?
3	Unit 1	Fast Asleep?
4	Unit 2	All Gone?
5	Unit 2	All Gone?
6	Unit 4	As Clever as Us?
7	Unit 4	As Clever as Us?
8	Unit 6	Powering our world
9	Unit 6	Powering our world
10	Unit 7	Hot, Powerful, and Clean
11	Unit 7	Hot, Powerful, and Clean
12	Unit 9	Where are all the trees
13	Unit 9	Where are all the trees
14	Review, Final Exam	Review, wrap-up, test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習（小テストを定期的に行う）
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Seisuke Yasunami and Richard S. Lavin, Science Quest, Seibido, 2,200円＋税、ISBN: 9784791972050

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
- 期末テスト　５０％
- 小テスト　３０％
- クラス内課題取り組み状況　２０％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
Learning Objectives:
This class aims to develop fundamental skills for reading academic content. The main objectives include understanding scientific articles, improving grammar and comprehension of logical structures, mastering speed reading techniques, creating effective summaries, enhancing expressive abilities, and fostering problem-solving skills.
Learning activities outside of classroom:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class. Regular vocabulary tests will be administered, so special attention should be given to reviewing new vocabulary.
Grading Criteria:
In-class activities (20%), Quizzes (30%), Final Exam (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

ギユモ　セレスト

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
このクラスは、アカデミックな内容を読むための基礎力を養うことを目的とする。
主な目標は以下の通りである：
- 科学記事の理解: 約400語の科学記事の概要を把握できるようになる。
- 論理構成の理解: 英語の論理構成や文脈を意識しながら読解力を向上させる。
- 速読技術の習得: スキミングとスキャニングを活用し、効率的に速読する技術を習得する。
- 要約の作成: 読んだ内容を英語で要約できるようになる。
- 表現力の強化: 授業で学んだ文法や語彙を使って、効果的に表現できるようになる。
- 問題解決: グループディスカッションなどにより、理解を深めながら問題解決力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では、読解力を養うために、スキミングやスキャニング、要約、グループディスカッションなど、さまざまな活動を行う。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、語彙テストを含む定期的な小テストを実施し、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Introduction to Academic Reading	Introduction Course overview Goal Setting
2	Unit 1	Fast Asleep?
3	Unit 1	Fast Asleep?
4	Unit 2	All Gone?
5	Unit 2	All Gone?
6	Unit 4	As Clever as Us?
7	Unit 4	As Clever as Us?
8	Unit 6	Powering our world
9	Unit 6	Powering our world
10	Unit 7	Hot, Powerful, and Clean
11	Unit 7	Hot, Powerful, and Clean
12	Unit 9	Where are all the trees
13	Unit 9	Where are all the trees
14	Review, Final Exam	Review, wrap-up, test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習（小テストを定期的に行う）
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Seisuke Yasunami and Richard S. Lavin, Science Quest, Seibido, 2,200円＋税、ISBN: 9784791972050

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
- 期末テスト　５０％
- 小テスト　３０％
- クラス内課題取り組み状況　２０％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
Learning Objectives:
This class aims to develop fundamental skills for reading academic content. The main objectives include understanding scientific articles, improving grammar and comprehension of logical structures, mastering speed reading techniques, creating effective summaries, enhancing expressive abilities, and fostering problem-solving skills.
Learning activities outside of classroom:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class. Regular vocabulary tests will be administered, so special attention should be given to reviewing new vocabulary.
Grading Criteria:
In-class activities (20%), Quizzes (30%), Final Exam (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

今政　肇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
・パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、英文を読めるようになる。
・十分な語彙力、文法力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
予習して分からなかったところなどを確認しながら、テキストの内容を確認します。リスニングや音読、作文、文法事項の確認なども交えます。また、語学は反復が重要ですので、随時小テストを行い、前回の授業で学んだことの定着を図ります。課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit 1 A	Mysteries (A Mysterious Visitor)
3	Unit 1 B	Mysteries (The Lost City of Atlantis)
4	Unit 2 A	Eating Extremes (The World of Speed Eating)
5	Unit 2 B	Eating Extremes (The Hottest Chilies)
6	中間レビュー	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
7	Unit 3 A	Cool Jobs (Digging for the Past)
8	Unit 3 B	Cool Jobs (Getting the Shot: An Interview with Joel Sartre)
9	Unit 4 A	Shiprwrecks (I've Found The Titanic!)
10	Unit 4 B	Shipwrecks (My Descent to The Titanic)
11	Unit 5 A	Science Investigators (The Disease Detective)
12	Unit 5 B	Science Investigators (At the Scene of a Crime)
13	Unit 6 A	Plants and Trees (Planting for the Planet)
14	小グループに分かれてプレゼンテーションおよび学期のレビュー	読書ログをもとにしたプレゼンテーションと学期のレビューを作成し発表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読み設問も解いて、「どこが分からないのか」が分かるようにしてきてください。
・各ユニットの復習を目的としてクイズをおこないますので、準備をして臨んでください。
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分)、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください)。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke,D., Douglas,N., Huntley,H., MacIntyre,P., and Rogers, B., (2020) Reading Explorer Foundations, Third Edition,
Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)
ISBN: 9798214085616
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
学習者用の英英辞書（英英辞書を積極的に使ってみてください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　３０％
小テスト　３０％
授業への参加　２０％
読書ログ　２０％
＊交通機関の乱れによる遅刻は考慮しますが、欠席は原則として一学期につき3回を上限とします。
＊正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、不可とします。
＊30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】
私語をする受講生を注意してほしいとの意見がありましたので、静かな教室環境の維持に努めます。

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
授業の進度や受講生の皆さんの要望を踏まえて、シラバスの内容を修正することがあります。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
(1) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(2) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop sensitivity toward the language in general.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (30%), [2] quiz (30%), [3] class participation (20%), [5]reading log [20%]

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用する語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
この授業は、テキストを中心とする講義と演習を行う。また、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは提出された課題レポートから実例や問題点を取り上げ、全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance ガイダンス	授業の説明／予習すべき項目の指示／課題の提示
②	Unit 1 The Scientific Method 精読	テキストの7ページと8ページの精読／科学的方法について／パラグラフの構造の説明／課題の提示
③	Unit 1 The Scientific Method 文法	テキストの9ページと10ページの練習問題／受動態／科学英語の語彙と数式の読み方／課題の提示
④	Unit 2 Observing the Solar System 精読	テキストの11ページと12ページの精読／太陽系の観測史について／課題の提示
⑤	Unit 2 Observing the Solar System 文法	テキストの13ページと14ページの練習問題／方程式の読み方　他動詞の目的語となる動名詞とto-不定詞／課題の提示
⑥	Unit 3 The Beauty of Mathematics 精読	テキストの15ページと16ページの精読／数式の美しさについて／課題の提示
⑦	Unit 3 The Beauty of Mathematics 文法	テキストの17ページと18ページの練習問題／数式の記号について　関係代名詞／課題の提示
⑧	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 精読	テキストの19ページと20ページの精読／電球とLEDについて／課題の提示
⑨	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 文法	テキストの21ページと22ページの練習問題／図形・面積・体積　関係副詞／課題の提示
⑩	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 精読	テキストの23ページと24ページの精読／放射性物質について／課題の提示
⑪	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 文法	テキストの25ページと26ページの練習問題／長さ・幅・高さ・深さ　分詞構文／課題の提示
⑫	Unit 6 The Man Who Saved Millions 精読	テキストの27ページと28ページの精読／ジェンナーの業績／課題の提示
⑬	Unit 6 The Man Who Saved Millions 文法	テキストの29ページと30ページの練習問題／工具と付属部品の名称　関係代名詞／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、それにテキストから覚えるべき表現や単語を書き出し、何度も反復練習をするように。

【テキスト（教科書）】
Advances in Science :　Learning from the Past, Looking to the Future,Dave Rear &Kayoko Murakami, 南雲堂, 2019, 1900円.

【参考書】
『理科系のための英語力強化法』、ジャパンタイムズ、2002年　『公式TOEIC(R)Listening &Reading 問題集 9』、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、2022年

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（25%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が5回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようお手伝いします。質問があれば何時でもどうぞ。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills.　Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese.　Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.　Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding paragraph structure.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 45%, final term assignment: 25%, final test: 25%and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

今政　肇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
・パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、英文を読めるようになる。
・十分な語彙力、文法力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
予習して分からなかったところなどを確認しながら、テキストの内容を確認します。リスニングや音読、作文、文法事項の確認なども交えます。また、語学は反復が重要ですので、随時小テストを行い、前回の授業で学んだことの定着を図ります。課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit 1 A	Mysteries (A Mysterious Visitor)
3	Unit 1 B	Mysteries (The Lost City of Atlantis)
4	Unit 2 A	Eating Extremes (The World of Speed Eating)
5	Unit 2 B	Eating Extremes (The Hottest Chilies)
6	中間レビュー	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
7	Unit 3 A	Cool Jobs (Digging for the Past)
8	Unit 3 B	Cool Jobs (Getting the Shot: An Interview with Joel Sartre)
9	Unit 4 A	Shiprwrecks (I've Found The Titanic!)
10	Unit 4 B	Shipwrecks (My Descent to The Titanic)
11	Unit 5 A	Science Investigators (The Disease Detective)
12	Unit 5 B	Science Investigators (At the Scene of a Crime)
13	Unit 6 A	Plants and Trees (Planting for the Planet)
14	小グループに分かれてプレゼンテーションおよび学期のレビュー	読書ログをもとにしたプレゼンテーションと学期のレビューを作成し発表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読み設問も解いて、「どこが分からないのか」が分かるようにしてきてください。
・各ユニットの復習を目的としてクイズをおこないますので、準備をして臨んでください。
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分)、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください)。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke,D., Douglas,N., Huntley,H., MacIntyre,P., and Rogers, B., (2020) Reading Explorer Foundations, Third Edition,
Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)
ISBN: 9798214085616
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
学習者用の英英辞書（英英辞書を積極的に使ってみてください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　３０％
小テスト　３０％
授業への参加　２０％
読書ログ　２０％
＊交通機関の乱れによる遅刻は考慮しますが、欠席は原則として一学期につき3回を上限とします。
＊正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、不可とします。
＊30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】
私語をする受講生を注意してほしいとの意見がありましたので、静かな教室環境の維持に努めます。

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
授業の進度や受講生の皆さんの要望を踏まえて、シラバスの内容を修正することがあります。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
(1) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(2) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop sensitivity toward the language in general.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (30%), [2] quiz (30%), [3] class participation (20%), [5]reading log [20%]

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

乾　展子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
学術的な文章を読むための十分な語彙力と文法力を身につける。また、パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、訳読に頼らず、英文を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。音読や文法事項の確認なども交えます。毎回の授業で課題を提出してもらい、次回の授業内で課題等へのフィードバックを実施します。また、各単元での学習内容の定着を目指した単元毎のテストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方などについての説明
第2回	Unit 1(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第3回	Unit 1(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第4回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 2(1)	本文内容把握
第5回	Unit 2(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第6回	単元テスト	小テスト
	Unit 3(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第7回	Unit 3(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第8回	単元テスト	理解度の確認
	Unit 4(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第9回	Unit 4(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第10回	単元テスト	小テスト
	Unit 5(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第11回	Unit 5(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第12回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 6(1)	本文内容把握
第13回	Unit 6(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第14回	単元テスト	理解度の確認
	これまでのまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
当該授業で扱うUnitの本文の予習として、音声を聞き内容を確認してください。分からない語彙は必ず辞書で調べてください。
2Unit毎で小テストを実施しますので、復習をしてください。

【テキスト（教科書）】
野﨑嘉信 /松本和子 /Alastair Graham-Marr 編著『Science Bridge ニュースでつなぐ日常と科学』（金星堂）

【参考書】
適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
各単元テスト 70％、課題 30%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【学生が準備すべき機器他】
授業には、必ず辞書を持参してください。携帯電話の辞書の使用は認めません。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく5回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
[Learning Objectives]
Based on these skills, the class aims to develop reading comprehension skills that enable students to accurately understand the content of individual sentences through close reading, to quickly and concisely summarize entire sentences, and to search for necessary information to understand them.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please listen to the audio to check the lesson content. Be sure to look up any unfamiliar words in the dictionary.There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (60%), assignments (20%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

尾関　裕子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルともとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
１英文を正確にとらえる　２情報を整理する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
毎回一章分を精読する。書かれている文章を正確にとらえたうえでエクササイズを実施し各自の読解に間違いがなかったかを確認する。後半ではひとつのテーマでかなり長い英文を使用し読解する。エクサイズ一部を提出していただき、添削、採点の上返却します。返却ののち、各問に対する解説をします。単に答えを知るだけではなく、どのようにその解答にたどり着くのかがわかるようにしたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「読むこと」について	講義。パラグラフの構成についての基礎的な知識の確認。サマリー作成の考え方。
2	テキストの英文読解 unit 1	The Concept of Beauty を読みます。「美」に対する文化、時代よる違いを確認。普遍的な美について考えます。
3	unit ２	Greek Mythology を読みます。西洋の芸術文化の根底に流れるギリシア神話の成り立ちと現在との接点も探ります。
4	unit ３	The Bible を読みます。キリスト教文化の世界観を知るために必須の知識です。ギリシア神話との接点にも触れます。
5	unit ４	Renaissanceを読みます。イタリアで始まったルネサンスの背景にある教会の抑圧と人間性の解放の問題を考えます。
6	unit ５	The Structure of Fictional Literatureを読みます。物語とはどのようなものか、その構造に「型」はあるのか、興味あるテーマを追います。
7	unit ６	The Theater and Actingを読みます。世界に存在する「演じる」という行為の歴史とバリエーションを知る。
8	unit ７	The English Languageを読みます。英語の歴史を 知り、今日の英語の成立を学びます。
9	テキスト以外の英文読解（13回まで，これまでより長いまとまった英文を読む）	英文読解 これまでの内容に比べ現代的な内容をもつ英文を読みます。内容を把握する練習とします。
10	テキスト以外の英文読解	内容を正確に把握する練習となるよう、文法的にもこれまでより複雑なものを読みます。
11	テキスト以外の英文読解	正確に英文をよみために文法、語彙の知識を生かすパーシングという手段を用いて、英文を読みます
12	テキスト以外の英文読解	パーシングの練習となるような英文を読みます。
13	テキスト以外の英文読解	パーシングの練習となるような英文を読みます。
14	これまでのまとめ/試験	英文を正確にとらえる読解が行われていたか、扱った英文内容を既習した情報として身に着けているか確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】テキストの読解、問題の予習をします。

【テキスト（教科書）】
TRANSCULTURE—Transcending Time, Region and Ethnicity by Christopher Belton and Koshi Odashima (KINSEIDO 2017年 ￥1800)

【参考書】
必用に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点３０%、提出物１５%　テスト５５%

【学生の意見等からの気づき】
授業時には和訳も行いますが、それを板書することはありません。口頭で学生の和訳を確認する程度になりますが、なるべくゆっくり皆さんが理解できるスピードで授業をすすめたいと思います。よくわからない場合は遠慮せずに質問してください。

【その他の重要事項】
英文を読むには、基本的な文法の理解と語彙の知識が欠かせません。英語読解力をアップしましょう。時には英文法の確認に時間を多く使うこともあると思いますが、感覚的に文をとらえるのではなく、正確に読む術を身につけていただきたいと思います。

【Outline (in English)】
The purpose of this calss is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
Learning Objectives: Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
Learning activities outside of class room: Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Grading Criteria:
Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Term-end examination 55%quiz 15%in-class contribution 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

安田　孝子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
（概要）
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。
（目的）
教育、経済、心理学、歴史、科学、言語などをテーマにしたエッセイを読み、専門的分野の文献を読解する力を強化することを目的とします。テキスト中のエッセイは比較的短く、一時間で読み切れる長さではありますが、アカデミックな語彙が豊富に含まれており、それら語彙の根本的な意味を深く追求しながら精読し、様々な表現力も養成します。

【到達目標】
様々な分野のエッセイを精読し、さらには音読活動を徹底的に行いながら、アカデミックな語彙力の定着と読解力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
＜進め方＞
教科書の Reading Part は、クラス全体で毎時間音読トレーニングを行います。音読を習慣化することで、正しい発音への意識を高め、英文の持つリズムをつかみます。エッセイの内容については、事前に指名した担当者に phrase reading で和訳してもらい、その後は英語/日本語の音読を全員で行い、内容の理解を深めます。また、Reading Part 以外の Exercises は、その場で指名した方に答えてもらいます。
＜方法＞
授業では、「語彙力・読解力」の育成だけでなく、「速読力・表現力」の向上も目指し、「音読・シャドーイング」活動を大いに行います。
また、前回の授業で提出された課題については模範解答を提示し、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	クラスオリエンテーション	テキスト紹介、音読活動、シャドーイング、その他について。
	Chapter 1	Chapter 1 Reading Part の音声を視聴 音読活動 訳読
第2回	Chapter 1	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第3回	Chapter 2	1. Chapter 1 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第4回	Chapter 2	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第5回	Chapter 3	1. Chapter 2 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第6回	Chapter 3	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第7回	Chapter 4	1. Chapter 3 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第8回	Chapter 4	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第9回	Chapter 5	1. Chapter 4 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第10回	Chapter 5	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第11回	Chapter 6	1. Chapter 5 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第12回	Chapter 6	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第13回	Chapter 7	1. Chapter 6 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第14回	Chapter 7 (Chapter 1～7)	期末試験 前期学習のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業での音読トレーニングを効果的に行うためにも、各課のエッセイを予め予習し、必ず理解してから授業に参加すること。また、授業後は、各自で繰り返し音読をし、内容の理解を深めること。

【テキスト（教科書）】
Introduction to Academic Reading (CENGAGE Learning) ￥2,000+税

【参考書】
毎時間英和辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】
Chapter終了毎の小テスト(10点×6回=60)と中間・期末試験(各20点)で個人が獲得した点数を全て合計し、全体の6割獲得でC-,C,C+、7割獲得でB-,B,B+、8割獲得でA-,A,A+、9割以上獲得でSとする。

【学生の意見等からの気づき】
「音読」トレーニングによる成果を各自で確認するためにも、テキストのエッセイだけでなく、様々なトピックの英文素材を提供し、語彙力、読解力および表現力のさらなる発展を目指します。

【その他の重要事項】
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・欠席は3回まで。4回以上の欠席の場合は、特別な事情でない限りは中間・期末試験の受験を認めません。
・遅刻は20分程度までは入室可ですが、30分以上の遅刻の場合は入室を許可しません。
・授業態度の悪い受講者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や欠席、ペア活動
　不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・教科書は必ず購入すること。他人の教科書をコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
This class deals with essays with a variety of themes. Reading these essays (some of them are rather short) carefully enhances the development of students' skill in reading comprehension and increasing vocabulary.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to acquire the skill of reading fluently, increasing vocabulary and a variety of expression.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the reading part of the chapter. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Criteria/Policies)
Your overall grade in the class will be decided based the following.
Mid-term exam : 20%(the date of mid-term exam is undecided)
Term-end exam : 20%
Short exams : 60%(short exams will be held 6 times, ten for each)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

磯部　芳恵

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。TOEIC教材を使用するリスニングの訓練も継続させる。
Some objectives for skills:
1. Improve reading speed and comprehension
2. Learn how to make summaries
3. Increase vocabulary skills
Some objectives for skills:
1. Improve reading speed and comprehension
2. Learn how to make summaries
3. Increase vocabulary skills

【到達目標】
The first goal of the course is for students to increase their knowledge of science about natural phenomenon. The second goal is for students to develop reading speed and comprehension and write logical summaries.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Classroom methods include:
1. short lectures and explanations by the teacher
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
Feedback about the assignments ill be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Why are Hurricanes Seasonal?	語彙、訳読。
2	Unit 7 Why are Hurricanes Seasonal?	内容理解問題、英作文。
3	Unit 8 Why does Food Rot?	語彙、訳読。
4	Unit 8 Why does Food Rot?	内容理解問題、英作文。
5	Unit 9 Why do Clocks Go Clockwise?	語彙、訳読。
6	Unit 9 Why do clocks Go Clockwise?	内容理解問題、英作文。
7	Review	Unit 7-9の復習。
8	Unit 10 Why is the Ocean so Salty?	語彙、訳読。
9	Unit 10 Why is the Ocean so Salty?	内容理解問題、英作文。
10	Unit 11 Why don't Skyscrapers Fall Over?	語彙、訳読。
11	Unit 11 Why don't Skyscrapers Fall Over?	内容理解問題、英作文。
12	Unit 12 Why does Fluoride Prevent Tooth Decay?	語彙、訳読。
13	Unit 12 Why does Fluoride Prevent Tooth Decay? TOEIC practice test	内容理解問題、英作文TOEIC　模擬テスト。
14	Review &　wrap up	秋学期の復習と授業内テスト。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1. Reading: Preparation for the reading sections of the textbooks(2-4 hours)
2. Summaries: Homework will be assigned.(2-4 hours)
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Science for Inquiring Minds(成美堂）1,900円。
『TOEIC　TEST　リスニング　スピードマスター』(Jリサーチ出版) 1,400円。

【参考書】
講義中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on participation in class activities(10%), homework(30%),and tests(60%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーでよいものは授業で発表し活用する。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。欠席は減点になります。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
The first goal of the course is for students to increase their knowledge of science about natural phenomenon. The second goal is for students to develop reading speed and comprehension and write logical summaries.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanations by the teacher
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition.
Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(30%), quizzes and tests(30%), and assignments(10%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

安田　孝子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
（概要）
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。
（目的）
教育、経済、心理学、歴史、科学、言語などをテーマにしたエッセイを読み、専門的分野の文献を読解する力を強化することを目的とします。テキスト中のエッセイは比較的短く、一時間で読み切れる長さではありますが、アカデミックな語彙が豊富に含まれており、それら語彙の根本的な意味を深く追求しながら精読し、様々な表現力も養成します。

【到達目標】
様々な分野のエッセイを精読し、さらには音読活動を徹底的に行いながら、アカデミックな語彙力の定着と読解力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
＜進め方＞
教科書のReading Partは、クラス全体で毎時間音読トレーニングを行います。音読を習慣化することで、正しい発音への意識を高め、英文の持つリズムをつかみます。エッセイの内容については、事前に指名した担当者にphrase readingで和訳してもらい、その後は英語/日本語の音読を全員で行い、内容の理解を深めます。また、Reading Part以外のExercisesは、その場で指名した方に答えてもらいます。
＜方法＞
授業では、「語彙力・読解力」の育成だけでなく、「速読力・表現力」の向上も目指し、「音読・シャドーイング」活動を大いに行います。また、前回の授業で提出された課題については模範解答を提示し、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	クラスオリエンテーション Chapter 1	テキスト紹介、音読活動、シャドーイング、その他について。 Chapter 1 Reading Partの音声を視聴 音読活動 訳読
第2回	Chapter 1	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第3回	Chapter 2	1. Chapter 1 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第4回	Chapter 2	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第5回	Chapter 3	1. Chapter 2 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第6回	Chapter 3	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第7回	Chapter 4	1. Chapter 3 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第8回	Chapter 4	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第9回	Chapter 5	1. Chapter 4 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第10回	Chapter 5	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第11回	Chapter 6	1. Chapter 5 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど

第12回	Chapter 6	1. 音声視聴 /Reading Partの音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第13回	Chapter 7	1. Chapter 6 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Partの音読 3. phrase reading で訳読 4. Exercises解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第14回	Chapter 7 (Chapter 1～7)	期末試験 前期学習のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業での音読トレーニングを効果的に行うためにも、各課のエッセイを予め予習し、必ず理解してから授業に参加すること。また、授業後は、各自で繰り返し音読をし、内容の理解を深めること。

【テキスト（教科書）】
Introduction to Academic Reading (CENGAGE Learning) ￥2,000+税

【参考書】
毎時間英和辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】
Chapter終了毎の小テスト(10点×6回=60)と中間・期末試験(各20点)で個人が獲得した点数を全て合計し、全体の6割獲得でC-,C,C+、7割獲得でB-,B,B+、8割獲得でA-,A,A+、9割以上獲得でSとする。

【学生の意見等からの気づき】
「音読」トレーニングによる成果を各自で確認するためにも、テキストのエッセイだけでなく、様々なトピックの英文素材を提供し、語彙力、読解力および表現力のさらなる発展を目指します。

【その他の重要事項】
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・欠席は3回まで。4回以上の欠席の場合は、特別な事情でない限りは中間・期末試験の受験を認めません。
・遅刻は20分程度までは入室可ですが、30分以上の遅刻の場合は入室を許可しません。
・授業態度の悪い受講者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や欠席、ペア活
動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・教科書は必ず購入すること。他人の教科書をコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
This class deals with essays with a variety of themes. Reading these essays (some of them are rather short) carefully enhances the development of students' skill in reading comprehension and increasing vocabulary.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to acquire the skill of reading fluently, increasing vocabulary and a variety of expression.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the reading part of the chapter. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Criteria/Policies)
Your overall grade in the class will be decided based the following.
Mid-term exam : 20%(the date of mid-term exam is undecided)
Term-end exam : 20%
Short exams : 60%(short exams will be held 6 times, ten for each)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalised feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of five readings in which the skills and strategies are applied and evaluated. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalized feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments. 春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	INTRODUCTION	Classroom routines and procedures Assignment description and examples Assignment practice
2	THEME I - GLOBAL HEALTH (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES Identifying Main Ideas 1 "The State of the World's Health".
3	THEME I - GLOBAL HEALTH (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 1 Identifying Main ideas 2 "Changing Attitudes to Cardiovascular Disease"
4	THEME I - GLOBAL HEALTH (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 2 Cause &Effect "Medicine &Genetic Research"
5	THEME I - GLOBAL HEALTH (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 3 - Managing Unknown vocabulary 1 "Malaria-Portrait of a Disease"
6	THEME I GLOBAL HEALTH (part 5)	SKILLS AND STRATEGIES 3 - Managing unknown vocabulary 2 "The Health Care Divide"
7	THEME I GLOBAL HEALTH (part 6)	Unit 1 Mini-test Academic Reading based on Theme 1
8	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 4 - Continuing Ideas "The Age of Immigration"
9	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 5 - Indetifying Point of View 1 "Who are Today's Immigrants?"
10	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 5 - Identifying Point of View 2 "The Meeting of Cultures"
11	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 6 - Reduced Relative Clauses 1 "One World:One Culture?"
12	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 5)	SKILLS AND STRATEGIES 6 Reduced Relative Clauses 2 Communication Technology in Business
13	THEME II MULTICULTURAL SOCIETIES (part 6)	Unit 2 Mini-test Academic Reading based on Theme 2
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
At the end of the thematic units, an assignment will be set for the student based on their own interests relating to the themes of the units addressed in the class and the critical thinking activities in the unit. This task is intended to take 45-60 minutes.
Some readings and textbook vocabulary exercises from the textbook may be set as homework. Exercises setfor home study will be completed through the Learning Management System.

【テキスト（教科書）】
Making Connections 3 -Skills and Strategies for Academic Reading (second Edition) ￥3,000 - Pakenham, McEntire &Williams (Cambridge) - ISBN 978-1-108-66226-0

【参考書】
English-Japanese dictionaries
Online language reference - collocation resources

【成績評価の方法と基準】
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

【学生の意見等からの気づき】
The textbook has been changed to provide more challenging readings and themes.

【学生が準備すべき機器他】
The students will need the textbook. Failure to bring the textbook to class will affect the students grade.

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content.
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
The rationale behind specific strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalized feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.
GRADING CRITERIA
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

鈴木　幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To build a strong vocabulary.
2. To improve grammatical competence.
3. To enhance academic reading ability.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this course, students will practice reading articles: picking out key words/sentences, understanding the flow of paragraphs, and making summaries. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: reading task, Q &A, writing quiz, and group /pair work, including presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class will be given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Orientation
	Unit 1 Images of Life ①	Unit 1A The Visual Village (close reading)
2	Unit 1 Images of Life ②	Unit 1A The Visual Village (comprehension and disccusion)
3	Unit 1 Images of Life ③	Unit 1B My Journey in Photographs (close reading)
4	Unit 1 Images of Life ④	Unit 1B My Journey in Photographs (comprehension and discussion)
5	Unit 2 Natural Attraction ①	Unit 2A Living Light (close reading)
6	Unit 2 Natural Attraction ②	Unit 2A Living Light (comprehension and discussion)
7	Unit 2 Natural Attraction ③	Unit 2B Feathers of Love (close reading)
8	Unit 2 Natural Attraction ④	Unit 2B Feathers of Love (comprehension and discussion)
9	Unit 3 Food and Health ①	Unit 3A How Safe Is Our Food? (close reading)
10	Unit 3 Food and Health ②	Unit 3A How Safe Is Our Food? (comprehension and discussion)
11	Unit 3 Food and Health ③	Unit 3B The Battle for Biotech (close reading)
12	Unit 3 Food and Health ④	Unit 3B The Battle for Biotech (comprehension and discussion)
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Macintyre, Paul, and David Bohlke, 2020, Reading Explorer 4A, 3rd edition, Cengage Learning.
ISBN9798214085876　Split 4A with Spark Access + e-Book (1 year access)　￥2,260（￥2,486 tax included）

【参考書】
Audio data will be used for homework;
National Geographic Learining
https://www.eltngl.com/sites/readingexplorerseries/about-reading-explorer/levels

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
It seems that I talked and explained too much, so I would like to try to give you fewer hints and more opportunities to think by yourselves.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【Learning Objectives】
The purpose of this class is to establish basic competence in reading academic level English thorough analysis of grammar, development of vocabulary, and knowledge of writing structure.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読むために必要となる基本的な語彙力・文法力・構文解析力を養成することによって、英語の読解力の向上を図る。語彙のついては理工系の語彙を幅広く学習する。文法と構文解析については、既習知識を活用して学術的な英文を読む力を養う。また、英語の文章を迅速かつ正確に読み進めることができる力を養成することを目指す。

【到達目標】
Acquire vocabulary and expressions often encountered in academic texts, and understand sentences from academic texts accurately.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Through individual and collaborative tasks focusing on academic texts, students will acquire techniques and reading practices that will enhance their reading efficiency and effectiveness in academic pursuits.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course and its objectives; self-presentations.
第2回	What is a writing genre?	Identifying characteristics of various writing genres.
第3回	Strategies for effective academic reading.	Some basic rules and steps to make academic reading more efficient.
第4回	Text structure 1	Identifying the main idea of a text.
第5回	Text structure 2	Understanding the structure of academic texts.
第6回	Developing vocabulary 1	Strategies for learning academic vocabulary.
第7回	Developing vocabulary 2	Using context clues to understand unfamiliar words.
第8回	Previewing 1	Skimming a text for the main ideas.
第9回	Previewing 2	Scanning a text for specific information.
第10回	Textual cohesion 1	Understanding how ideas are connected in academic texts.
第11回	Textual cohesion 2	Cohesive devices 1 Explanation of the final written assignment.
第12回	Textual cohesion 3	Cohesive devices 2 In-class preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第13回	Reading strategies review	Review of the contents of the class and exercises
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be required to have read the texts under study before each lesson. Some in-class assignments will be completed after class as homework.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【Outline (in English)】
Course Outline:
This class aims at improving students' academic reading ability through the acquirement and development of extensive vocabulary, accurate grammatical knowledge and sentence structure analysis skills. As for vocabulary development, this class focuses on comprehending and mastering a wide variety of vocabulary and useful expressions in the science and engineering fields. As for the instruction of grammar and sentence structure, it emphasizes the application of previous knowledge to read actual academic English materials rapidly and concisely. By the end of the course, students should be able to attain the basic academic reading ability.
Learning Objectives:
Acquire vocabulary and expressions often encountered in academic texts, and understand sentences from academic texts accurately.
Learning activities outside of the classroom:
Students will be required to have read the texts under study before each lesson. Some in-class assignments will be completed after class as homework.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

村上　弥生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
グローバルな教養人として求められる英語の読解力、語彙力を身に着ける。異なる社会や、現代世界が直面する諸問題を論じる文章を主に取り上げ、英語の読解力のみならず、背景的な知識のリサーチなどを通じて、日常的に得られる日本語情報を相対化し、国際人としての視野と志向を広げる。
またリスニングや視覚材料を併用しながら、音声としての英語に触れる機会を多く持つことによって、英語独自の構造に慣れ、構造に従ってスムーズに受容できる力を高める。
高度な英文の読み物については、精読、正確な和訳の作業を通して、文構造や表現、単語の理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
1．読み物については、
現代の社会、また世界において重要なテーマを1～2選び、関連する資料を学生さんの予習を前提として、丁寧に読む。また、読み物のテーマについての説明も、学生さんに英語で行ってもらったり、また教師からも随時行う。
2．テーマに関連する視聴覚材料をネット等で聞き、内容確認等を行う
3．各テーマ終了ごとに語彙や表現、内容についての応用的な小テスト、ないし訳の修正や意見文の作成を行ってもらう。
4．4. 1～3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppi、ないし授業中に作成、提出されたものを評価して返却、もしくは授業時に総評を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション（社会や時代の変化に添って新たに選びなおすが、以下は昨年度の例である） Gender Divide in America's Presidential Election-1 （アメリカ大統領選に見る男女の分断とグローバル化、多様性をめぐる分断	次週からのトピックの紹介、背景説明
第2回	Gender Divide in America's Presidential Election-2	和訳 重要語句の説明 関連する視聴覚資料の紹介
第3回	Gender Divide in America's Presidential Election-3	和訳の発表 重要語句、表現の確認
第4回	Gender Divide in America's Presidential Election-4	関連する視聴覚資料の紹介 和訳、解釈の発表 重要語句、表現の確認
第5回	review test-1 How Do You Change a Chatbot's　Mind？ A.I. による評価決定の拡大と操作の実態	前回までの内容、表現、語句の確認の応用テスト 次回からのトピックの紹介
第6回	How to manipulate A.I.'s Decisions-2	復習の小テストの見直しと文構造などの再確認 和訳の発表 重要語句、表現の確認
第7回	How to manipulate A.I.'s Decisions-3	関連する視聴覚資料の紹介
第8回	How to manipulate A.I.'s Decisions-4	和訳の発表 重要語句、表現の確認 リサーチ発表
第9回	review test-2	前回までの内容、表現、語句の確認の応用テスト
第10回	review test-2の講評 次のトピックの紹介 It Just Got Easier to Visit a Vanishing Glacier. Is that a Good Thing？ - 1 （温暖化で危機に瀕する氷河とツーリズム）	関連するビデオの視聴
第11回	Last-Chance Tourism-2	関連する視聴覚資料の紹介（衛星通信事業の寡占状態） 各段落の要約の発表 重要語句、表現とその時代的背景の説明、確認
第12回	Last-Chance Tourism-3	重要語句、表現の確認。 意見交換
第13回	Problems of Over Tourism	和訳/リサーチ等の発表 重要語句、表現の確認 関連するヴィデオのまとめ
第14回	review test-３	前回までの内容、表現、語句の確認の応用テスト 資料に基づく意見文の発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1. 読み物については、わかりやすい日本語に訳せるように十分に細部まで正確な英文理解を行うとともに、背景となっている状況なども併せて調べることが求められる。
２．読み物については音読、また、視聴覚教材については、シャドウイングなどを行いながら復習する。
３．各トピックごとに復習テスト、もしくは訳の修正を行うように準備をする。
4．全体的なテーマに関連した短い意見文を作成する。

【テキスト（教科書）】
初回に指示する。また随時教師が提供する。

【参考書】
参考書はとくに指定しない。

【成績評価の方法と基準】
予習としての和訳、リサーチ20％、授業での作文などへの積極的取組20％、復習テストもしくは和訳の修正や意見文60％。

【学生の意見等からの気づき】
英語資料を通じて、現代の世界の様々な側面を広く, また多様な視点から知ることに意義を見出してくれる学生さんが多く、十分こたえられるような題材を提供していくよう引き続き努力したい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills.　Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese.　Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.　Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.

This course has two major objectives. One of them is to help students acquire the level of English reading skills and vocabulary required of well-educated persons on international settings. The other objective is to help students broaden their perspectives as members of international community through dealing with English materials that expose them to contemporary global issues. Before each class meeting, students will be expected to do one or two of the following tasks. 1.carefully read assigned part of the materials. 2.Summarize a short audio-visual material. 3. Research on relevant topics. After each class meeting, students will be expected to read or watch materials again and prepare for a review test which will be frequently conducted. You will sometimes be requested to write your own ideas in English based on materials introduced in the course. Your required study time outside of the classroom is at least one hour for each class. Final grading will be decided based on your preparation for class (20%), contribution to class through presenting researches and opinions (20%), and review tests(60%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
At the end of each unit of study an assignment will be set for the student to select a short text extracted from a text based on their own interests relating to the themes of the units addressed in the class and answer pre-set questions about the text. This task is intended to take 45-60 minutes.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The rationale for differing strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalised feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	INTRODUCTION	Classroom routines and procedures Assignment description and examples
2	THEME I: POPULATION CHANGE AND ITS IMPACT (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 7 – Collocations Population Trends
3	THEME I: POPULATION CHANGE AND ITS IMPACT (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 7 – Collocations Global Migration &Expansion Reading
4	THEME I: POPULATION CHANGE AND ITS IMPACT (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 8 Scanning for Specific Information The Growth of Cities
5	THEME I: POPULATION CHANGE AND ITS IMPACT (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 8 Scanning for Specific Information Challenges Facing the World's Cities
6	THEME II: DESIGN IN EVERYDAY LIFE (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 9 Vocabulary Study The Design of Everyday Objects
7	THEME II: DESIGN IN EVERYDAY LIFE (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 9 Vocabulary Study Ergonomics
8	THEME II: DESIGN IN EVERYDAY LIFE (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 10 Taking Notes from a Reading The design of Living Spaces
9	THEME II: DESIGN IN EVERYDAY LIFE (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 10 Taking Notes from a Reading Fashion
10	THEME III: THE BRAIN AND BEHAVIOR (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 11 Collocations (2) Brain Development and Function
11	THEME III: THE BRAIN AND BEHAVIOR (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 11 Collocations (2) The Teenage Brain
12	THEME III: THE BRAIN AND BEHAVIOR (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 12 Preparing for a Reading Test The Male and Female Brain
13	THEME III: THE BRAIN AND BEHAVIOR (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 12 Preparing for a Reading Test Addiction and The Brain
14	Final Review Test: Summary and Explanation	Final Review Test: Summary and Explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
At the end of each unit of study an assignment will be set for the student to select a short text extracted from a text based on their own interests relating to the themes of the units addressed in the class and answer pre-set questions about the text. This task is intended to take 45-60 minutes.

【テキスト（教科書）】
Making Connections 2 -Skills and Strategies for Academic Reading (second Edition) ￥3,000 - Jo McEntire &Jessica Williams (Cambridge) - ISBN 978-1-108-65782-2

【参考書】
English-Japanese dictionaries
Online language reference - collocation resources

【成績評価の方法と基準】
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%

【学生の意見等からの気づき】
The textbook chosen has suitably challenging readings and more specifically scientific and technical themes.

【学生が準備すべき機器他】
The students will need the textbook. Failure to bring the textbook to class will affect the students grade.

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.

The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。DVDを使用するリスニングとリーディングの訓練も継続させる。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用される語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前学期に準ずる講義と演習に加えて、TOEIC形式の問題演習（プリント）を随時行い、スキルの仕上げをめざす。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	春学期末レポートのフィードバックとガイダンス	春学期末レポートのフィードバックを行い、本学期のガイダンスを実施する／課題の提示
②	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 精読	テキストの31ページと32ページの精読／アインシュタインの一般相対性理論について／課題の提示
③	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 文法	テキストの33ページと34ページの練習問題／運動を表す動詞　「原因・理由」を表す副詞節／課題の提示
④	Unit 8 The Strange World of Atoms 精読	テキストの35ページと36ページの精読／原子の世界について／課題の提示
⑤	Unit 8 The Strange World of Atoms 文法	テキストの37ページと38ページの練習問題／運動の方向を表す表現「結果・程度」を表す副詞節／課題の提示
⑥	Unit 9 Interstellar Travel 精読	テキストの39ページと40ページの精読／星間旅行について／課題の提示
⑦	Unit 9 Interstellar Travel 文法	テキストの41ページと42ページの練習問題／測定・計量を表す動詞「譲歩」を表す副詞節／課題の提示
⑧	Unit 10 Limitless Energy 精読	テキストの43ページと44ページの精読／核融合について／課題の提示
⑨	Unit 10 Limitless Energy 文法	テキストの45ページと46ページの練習問題／グラフ・図表の英語表現　比較の表し方／課題の提示
⑩	Unit 11 The Surprising Uses of Nanotechnology 要約　基礎	テキストの47ページから50ページの内容の要約／ナノテクノロジーについて　主語・目的語の名詞表現を判別し、文の「主題」をつかむ／課題の提示
⑪	Unit 12 Creating the Perfect Human 要約　基礎	テキストの51ページから54ページの内容の要約／ヒトの遺伝子編集について　「主題」のパラフレーズとディスコースマーカーの働き／課題の提示
⑫	Unit 13 The New Age of Computing 要約　応用	テキストの55ページから58ページの内容の要約／量子コンピューターについて　全体の主旨を理解する論理的思考力と無意識に活用できる文法力／課題の提示
⑬	Unit 14 The Coming of the Machines 要約　応用	テキストの59ページから62ページの内容の要約／ヒトとAIの共存について　背景知識の活用／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各１時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、覚えるべき表現や単語を書き出し何度も反復練習すること。

【テキスト（教科書）】
前期のテキストを引き続き使用し、プリントを随時配布する。秋学期からの履修者のため、タイトルを提示しておく。
Advances in Science : Learning from the Past, Looking to the Future, 南雲堂, 2019, ISBN 978-4-523-17899-6.

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（25%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)、を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が５回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようにお手伝いします。前期同様に質問があれば、気軽にしてください。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure. Students will be also trained to improve their listening and reading skills with a whole film or sequences from it.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom)
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 45%, final term assignment: 25%, final test: 25%, and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

小町　将之

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
1）英文を正確に迅速に読める力を身につける。
2）語彙力と英文法の向上を図る。
3）学術的な文章を読み解くための語彙力・文法力を身につける。
4）パラグラフの要点を抽出し、内容を簡潔にまとめられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・予習で分からなかったところを確認し、クラスでテキストを音読し、内容の理解を深める。
・テキストの内容理解を進めるために、グループワークやディスカッションを行うこともある。
・課題等へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方、学習の仕方、評価などの説明。
2	Unit 1	Sleeping on Trains
3	Unit 2	Bipedal Walking and Communication
4	Unit 3	The Male and Female Brain
5	Unit 4	The Five Tibetan Rites for Good Health
6	Unit 5	A Truly Bitter Medicinal Herbs
7	Midterm exam	中間試験 Units 1-5
8	Unit 6	The Healthiest Fruit?
9	Unit 7	Life-changing Smart Devices
10	Unit 8	The Rise of Generative AI
11	Unit 9	What Is Quantum Computing?
12	Unit 10	What if Cockroaches Were Extinct?
13	Unit 11	The Mighty Tardigrade
14	Final exam	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・予め予習として、辞書を引きながら丁寧に文章を読んで内容を理解しておくこと。
・各授業後に学習した内容を復習し、理解した箇所や不明な箇所を確認すること。

【テキスト（教科書）】
『Science Alive』
石井隆之 ほか 著
成美堂、2025年、2200円

【参考書】
必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40%）、期末試験（40%）、課題提出（20%）60パーセント以上で単位習得となる。学期中に4回欠席した場合、原則として単位は認めない。遅刻・早退は2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する際は前もって連絡する。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
授業には必ず英和辞書を持参すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回授業に持参すること。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【到達目標（Learning Objectives）】
1) To acquire the ability to read English sentences accurately and quickly.
2) To improve English vocabulary and grammar.
3) To develop the ability to read and understand academic papers.
4) To be able to extract the main points of a paragraph and summarize its contents concisely.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
The standard study time outside of class for this class is 1 hour.
Students are expected to review the contents of the next lesson and look up unfamiliar words in a dictionary.
Review the contents after each class, and confirm what you understand and what you do not understand.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Mid-term exam (40%), final exam (40%), assignment submission (20%), the total of 60%or more is required to receive credit for the course. As a general rule, no credit will be given for four absences during a semester. Two late arrivals or early departures will be counted as one absence.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

中野　里美

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
This course also seeks to promote reading skills and promote critical thinking skills to read these global issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
To begin with, students will be given TOEIC reading as warm-up handouts, then read the textbook, and finally be given some comments. Feedback about the classes will be carried out on the last week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Reading global issues	Russian Veto brings an end to the UN Panel that monitors North Korea Nuclear sanction
第2回	Reading global issues	In Moscow attack, a handful of suspects but a million Tajiks under suspicion
第3回	Reading global issues	A guide to halal food in Japan
第4回	Reading global issues	Olympics: Japan breaks new ground while playing to strengths in Paris
第5回	Reading global issues	“Godzilla Minus One” fought the odds and won big at the Oscars
第6回	Reading global issues	Chile Granny finds solace, celebrity in online gaming
第7回	Reading global issues	Scams hit a 15-year high, police announce in latest report
第8回	Reading global issues	After pandemic, young Chinese again want to study abroad, just not so much in US
第9回	Reading global issues	Stuck in space, tasty food options a lifeline for astronauts
第10回	Reading global issues	Fujitsu apologizes to hundreds affected by UK Post Office scandal
第11回	Reading global issues	Rhinos are returned to a plateau in central Kenya, decades after poachers wiped them out
第12回	Reading global issues	Protesters drove Nepal’s king off the throne 16 years ago
第13回	Reading global issues	Gymnastics/New AI scoring system not replacing human judges for now
第14回	Review	Review &term-end exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】Students will need to be prepare and review for the textbook before and after this class.

【テキスト（教科書）】
English through the News Media: 2025 Edition by Masami Takahashi Asahi Press

【参考書】
Participants will be given information of references in the class.

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 60%, and tasks in this class 40%

半期の欠席5回以上（5回含む）で、授業を放棄したとみなし、評価の対象外とします。公欠届、病欠（診断書や日付とフルネーム入りの領収書を持参すること）は考慮します。遅刻は授業開始２０分以降の入室から。３回目の遅刻で１回欠席に換算します。遅延証明書は当日の授業内持参のみ考慮します。授業内課題テスト(40%)と期末テスト(60%)を合計して100％とし評価します。

【学生の意見等からの気づき】
There is no particular pointing out to be improved, so I would like to do the best as much as I can. If you have any questions, please feel free to ask them in the class.

【Outline (in English)】
（Course outline）
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
(Learning Objectives)
This course also seeks to promote reading skills and promote critical thinking skills to read these global issues.
（Learning activities outside of classroom）
Students will need to be prepare and review for the textbook before and after this class.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end examination 50%, and tasks in this class 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

小畑　美貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
①アカデミックな内容の英文を正確に理解できる。
②アカデミックな内容の文章でよく使われる単語や表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit9 Destination: Mars (Space)(1)	宇宙に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
3	Unit9: Destination: Mars (Space)(2)	宇宙に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
4	Unit11: Muscle Memory (Health)(1)	健康に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
5	Unit11: Muscle Memory (Health)(2)	健康に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
6	Review of Units9&11 Vocabulary test 1	学習済みの２ユニットの復習をし、単語テストを行う。
7	Unit12: Maritime Piracy (Law)(1)	法に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
8	Unit12: Maritime Piracy (Law)(2)	法に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
9	Unit15: A World Currency? (Globalzation)(1)	国際化に関して、本文（前半）の読解を中心に行い、本文中の語彙を中心に学ぶ。
10	Unit15: A World Currency? (Globalzation)(2)	国際化に関して、本文（後半）の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
11	Review of Units12&15 Vocabulary test 2	学習済みの２ユニットの復習をし、単語テストを行う。
12	TOEIC練習問題（プリント配布）	TOEICReading,Listeningの練習問題を解き、語彙や文法を学ぶ。
13	今学期のまとめ	今学期に学習した内容を復習する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする。
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Bennett, A. (2025) Reading Fusion 2 (2nd edition). Nan'un-Do.
ISBN: 978-4-523-17973-3

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15%
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質
の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定
の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1]to understand academic texts precisely, [2] to improve English reading skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]

Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting. Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Finalgrade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

ギユモ　セレスト

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
このクラスは、アカデミックな内容を読むための基礎力を養うことを目的とする。
主な目標は以下の通りである：
- 科学記事の理解: 約400語の科学記事の概要を把握できるようになる。
- 論理構成の理解: 英語の論理構成や文脈を意識しながら読解力を向上させる。
- 速読技術の習得: スキミングとスキャニングを活用し、効率的に速読する技術を習得する。
- 要約の作成: 読んだ内容を英語で要約できるようになる。
- 表現力の強化: 授業で学んだ文法や語彙を使って、効果的に表現できるようになる。
- 問題解決: グループディスカッションなどにより、理解を深めながら問題解決力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では、読解力を養うために、スキミングやスキャニング、要約、グループディスカッションなど、さまざまな活動を行う。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、語彙テストを含む定期的な小テストを実施し、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Course Overview Goal Setting Reading
2	Unit 11	Reading Anywhere
3	Unit 11	Reading Anywhere
4	Unit 12	Controlling Everything
5	Unit 12	Controlling Everything
6	Unit 13	Easy Payements
7	Unit 13	Easy Payements
8	Unit 16	Flying Tonight
9	Unit 16	Flying Tonight
10	Unit 19	The Red Planet
11	Unit 19	The Red Planet
12	Unit 20	Casting a shadow
13	Unit 20	Casting a shadow
14	Review and Final Exam	Review, wrap-up, test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習（小テストを定期的に行う）
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Seisuke Yasunami and Richard S. Lavin, Science Quest, Seibido, 2,200円＋税、ISBN: 9784791972050

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
- 期末テスト　５０％
- 小テスト　３０％
- クラス内課題取り組み状況　２０％

※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
Learning Objectives:
This class aims to develop fundamental skills for reading academic content. The main objectives include understanding scientific articles, improving grammar and comprehension of logical structures, mastering speed reading techniques, creating effective summaries, enhancing expressive abilities, and fostering problem-solving skills.
Learning activities outside of classroom:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class. Regular vocabulary tests will be administered, so special attention should be given to reviewing new vocabulary.
Grading Criteria:
In-class activities (20%), Quizzes (30%), Final Exam (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

ギユモ　セレスト

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
このクラスは、アカデミックな内容を読むための基礎力を養うことを目的とする。
主な目標は以下の通りである：
- 科学記事の理解: 約400語の科学記事の概要を把握できるようになる。
- 論理構成の理解: 英語の論理構成や文脈を意識しながら読解力を向上させる。
- 速読技術の習得: スキミングとスキャニングを活用し、効率的に速読する技術を習得する。
- 要約の作成: 読んだ内容を英語で要約できるようになる。
- 表現力の強化: 授業で学んだ文法や語彙を使って、効果的に表現できるようになる。
- 問題解決: グループディスカッションなどにより、理解を深めながら問題解決力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では、読解力を養うために、スキミングやスキャニング、要約、グループディスカッションなど、さまざまな活動を行う。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、語彙テストを含む定期的な小テストを実施し、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Course Overview Goal Setting Reading
2	Unit 11	Reading Anywhere
3	Unit 11	Reading Anywhere
4	Unit 12	Controlling Everything
5	Unit 12	Controlling Everything
6	Unit 13	Easy Payements
7	Unit 13	Easy Payements
8	Unit 16	Flying Tonight
9	Unit 16	Flying Tonight
10	Unit 19	The Red Planet
11	Unit 19	The Red Planet
12	Unit 20	Casting a shadow
13	Unit 20	Casting a shadow
14	Review and Final Exam	Review, wrap-up, test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習（小テストを定期的に行う）
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Seisuke Yasunami and Richard S. Lavin, Science Quest, Seibido, 2,200円＋税、ISBN: 9784791972050

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
- 期末テスト　５０％
- 小テスト　３０％
- クラス内課題取り組み状況　２０％

※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
Learning Objectives:
This class aims to develop fundamental skills for reading academic content. The main objectives include understanding scientific articles, improving grammar and comprehension of logical structures, mastering speed reading techniques, creating effective summaries, enhancing expressive abilities, and fostering problem-solving skills.
Learning activities outside of classroom:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class. Regular vocabulary tests will be administered, so special attention should be given to reviewing new vocabulary.
Grading Criteria:
In-class activities (20%), Quizzes (30%), Final Exam (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

今政　肇

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
・パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、英文を読めるようになる。
・十分な語彙力、文法力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
予習して分からなかったところなどを確認しながら、テキストの内容を確認します。リスニングや音読、作文、文法事項の確認なども交えます。また、語学は反復が重要ですので、随時小テストを行い、前回の授業で学んだことの定着を図ります。課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 6 B	春学期からシラバスおよび多読・読書ログについて継続する点や変更点について確認します。 Plants and Trees (Fatal Attraction)
2	Unit 7 A	Mind's Eye (Understanding Dreams)
3	Unit 7 B	Mind's Eye (Seeing the Impossible)
4	Unit 8 A	Animal Wonders (Penguin's Year)
5	Unit 8 B	Animal Wonders (Do Animals Laugh?)
6	Unit 9 A	Building Beauty (A Love Poem in Stone)
7	Unit 9 B	Building Beauty (The Great Dome of Florence)
8	Unit 10 A	Forces of Nature (Wild Weather)
9	Unit 10 B	Forces of Nature (When Weird Weather Strikes)
10	Unit 11 A	Giants of the Past (The Mammoth's Tale)
11	Unit 11 B	Giants of the Past (Monsters of the Deep)
12	Unit 12 A	Technology (The Robots are Coming!)
13	Unit 12 B	Technology (How Will We Live in 2045?)
14	小グループに分かれてプレゼンテーションおよび学期のレビュー	読書ログをもとにしたプレゼンテーションと学期のレビューを作成し発表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読み設問も解いて、「どこが分からないのか」が分かるようにしてきてください。
・各ユニットの復習を目的としてクイズをおこないますので、準備をして臨んでください。
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分）、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください）。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke,D., Douglas,N., Huntley,H., MacIntyre,P., and Rogers, B., (2020) Reading Explorer Foundations, Third Edition,
Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)
ISBN: 9798214085616
※春学期から継続して使用するテキストです。

【参考書】
学習者用の英英辞書（英英辞書を積極的に使ってみてください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　３０％
小テスト　３０％
授業への参加　２０％
読書ログ　２０％
＊交通機関の乱れによる遅刻は考慮しますが、欠席は原則として一学期につき3回を上限とします。
＊正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、不可とします。
＊30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】
私語をする受講生を注意してほしいとの意見がありましたので、静かな教室環境の維持に努めます。

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
授業の進度や受講生の皆さんの要望を踏まえて、シラバスの内容を修正することがあります。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
(1) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(2) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop sensitivity toward the language in general.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (30%), [2] quiz (30%), [3] class participation (20%), [５]reading log [20%]

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。DVDを使用するリスニングとリーディングの訓練も継続させる。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用される語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前学期に準ずる講義と演習に加えて、TOEIC形式の問題演習（プリント）を随時行い、スキルの仕上げをめざす。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	春学期末レポートのフィードバックとガイダンス	春学期末レポートのフィードバックを行い、本学期のガイダンスを実施する／課題の提示
②	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 精読	テキストの31ページと32ページの精読／アインシュタインの一般相対性理論について／課題の提示
③	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 文法	テキストの33ページと34ページの練習問題／運動を表す動詞　「原因・理由」を表す副詞節／課題の提示
④	Unit 8 The Strange World of Atoms 精読	テキストの35ページと36ページの精読／原子の世界について／課題の提示
⑤	Unit 8 The Strange World of Atoms 文法	テキストの37ページと38ページの練習問題／運動の方向を表す表現「結果・程度」を表す副詞節／課題の提示
⑥	Unit 9 Interstellar Travel 精読	テキストの39ページと40ページの精読／星間旅行について／課題の提示
⑦	Unit 9 Interstellar Travel 文法	テキストの41ページと42ページの練習問題／測定・計量を表す動詞「譲歩」を表す副詞節／課題の提示
⑧	Unit 10 Limitless Energy 精読	テキストの43ページと44ページの精読／核融合について／課題の提示
⑨	Unit 10 Limitless Energy 文法	テキストの45ページと46ページの練習問題／グラフ・図表の英語表現　比較の表し方／課題の提示
⑩	Unit 11 The Surprising Uses of Nanotechnology 要約　基礎	テキストの47ページから50ページの内容の要約／ナノテクノロジーについて　主語・目的語の名詞表現を判別し、文の「主題」をつかむ／課題の提示
⑪	Unit 12 Creating the Perfect Human 要約　基礎	テキストの51ページから54ページの内容の要約／ヒトの遺伝子編集について　「主題」のパラフレーズとディスコースマーカーの働き／課題の提示
⑫	Unit 13 The New Age of Computing 要約　応用	テキストの55ページから58ページの内容の要約／量子コンピューターについて　全体の主旨を理解する論理的思考力と無意識に活用できる文法力／課題の提示
⑬	Unit 14 The Coming of the Machines 要約　応用	テキストの59ページから62ページの内容の要約／ヒトとAIの共存について　背景知識の活用／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各１時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、覚えるべき表現や単語を書き出し何度も反復練習すること。

【テキスト（教科書）】
前期のテキストを引き続き使用し、プリントを随時配布する。秋学期からの履修者のため、タイトルを提示しておく。
Advances in Science : Learning from the Past, Looking to the Future, 南雲堂, 2019, ISBN 978-4-523-17899-6.

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（25%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)、を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が５回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようにお手伝いします。前期同様に質問があれば、気軽にしてください。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure. Students will be also trained to improve their listening and reading skills with a whole film or sequences from it.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom)
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 45%, final term assignment: 25%, final test: 25%, and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

今政　肇

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
・パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、英文を読めるようになる。
・十分な語彙力、文法力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
予習して分からなかったところなどを確認しながら、テキストの内容を確認します。リスニングや音読、作文、文法事項の確認なども交えます。また、語学は反復が重要ですので、随時小テストを行い、前回の授業で学んだことの定着を図ります。課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 6 B	春学期からシラバスおよび多読・読書ログについて継続する点や変更点について確認します。 Plants and Trees (Fatal Attraction)
2	Unit 7 A	Mind's Eye (Understanding Dreams)
3	Unit 7 B	Mind's Eye (Seeing the Impossible)
4	Unit 8 A	Animal Wonders (Penguin's Year)
5	Unit 8 B	Animal Wonders (Do Animals Laugh?)
6	Unit 9 A	Building Beauty (A Love Poem in Stone)
7	Unit 9 B	Building Beauty (The Great Dome of Florence)
8	Unit 10 A	Forces of Nature (Wild Weather)
9	Unit 10 B	Forces of Nature (When Weird Weather Strikes)
10	Unit 11 A	Giants of the Past (The Mammoth's Tale)
11	Unit 11 B	Giants of the Past (Monsters of the Deep)
12	Unit 12 A	Technology (The Robots are Coming!)
13	Unit 12 B	Technology (How Will We Live in 2045?)
14	小グループに分かれてプレゼンテーションおよび学期のレビュー	読書ログをもとにしたプレゼンテーションと学期のレビューを作成し発表します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読み設問も解いて、「どこが分からないのか」が分かるようにしてきてください。
・各ユニットの復習を目的としてクイズをおこないますので、準備をして臨んでください。
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分）、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください）。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke,D., Douglas,N., Huntley,H., MacIntyre,P., and Rogers, B., (2020) Reading Explorer Foundations, Third Edition,
Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)
ISBN: 9798214085616
※春学期から継続して使用するテキストです。

【参考書】
学習者用の英英辞書（英英辞書を積極的に使ってみてください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　３０％
小テスト　３０％
授業への参加　２０％
読書ログ　２０％
＊交通機関の乱れによる遅刻は考慮しますが、欠席は原則として一学期につき3回を上限とします。
＊正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、不可とします。
＊30分以上の遅刻・早退は欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】
私語をする受講生を注意してほしいとの意見がありましたので、静かな教室環境の維持に努めます。

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
授業の進度や受講生の皆さんの要望を踏まえて、シラバスの内容を修正することがあります。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
[Learning Objectives]
(1) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(2) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop sensitivity toward the language in general.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (30%), [2] quiz (30%), [3] class participation (20%), [５]reading log [20%]

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

乾　展子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
学術的な文章を読むための十分な語彙力と文法力を身につける。また、パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、訳読に頼らず、英文を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。音読や文法事項の確認なども交えます。毎回の授業で課題を提出してもらい、次回の授業内で課題等へのフィードバックを実施します。また、各単元での学習内容の定着を目指した単元毎のテストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方などについての説明
第2回	Unit 7(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第3回	Unit 7(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第4回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 8(1)	本文内容把握
第5回	Unit 8(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第6回	単元テスト	小テスト
	Unit 9(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第7回	Unit 9(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第8回	単元テスト	理解度の確認
	Unit 10(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第9回	Unit 10(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第10回	単元テスト	小テスト
	Unit 11(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第11回	Unit 11(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第12回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 12(1)	本文内容把握
第13回	Unit 12(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第14回	単元テスト	理解度の確認
	これまでのまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
当該授業で扱うUnitの本文の予習として、音声を聞き内容を確認してください。分からない語彙は必ず辞書で調べてください。
2Unit毎で小テストを実施しますので、復習をしてください。

【テキスト（教科書）】
野﨑嘉信 /松本和子 /Alastair Graham-Marr 編著『Science Bridge ニュースでつなぐ日常と科学』（金星堂）

【参考書】
適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
各単元テスト 70％、課題 30%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【学生が準備すべき機器他】
授業には、必ず辞書を持参してください。携帯電話の辞書の使用は認めません。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく４回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
[Learning Objectives]
Based on these skills, the class aims to develop reading comprehension skills that enable students to accurately understand the content of individual sentences through close reading, to quickly and concisely summarize entire sentences, and to search for necessary information to understand them.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please listen to the audio to check the lesson content. Be sure to look up any unfamiliar words in the dictionary.There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (60%), assignments (20%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

尾関　裕子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に続き学術的文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによってリーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
１英文を正確にとらえる。文法を正確に理解し、使われている言葉のニュアンスを確認する。自分のかってな思い込みで英文をとらえないことがまず大切です。　２情報を整理する。書かれていることを図式化するなど整理することで著者のいわんとしていることがはっきりと見えてきます。歴史的背景を調べたりすることで文の背後にある世界も理解したうえで文脈をとらえます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前期に続き毎回一章分を精読する。書かれている文章を正確にとらえたうえでエクササイズを実施し各自の読解に問題がなかったかを確認する。後半では一つのテーマでかなり長い英文を使用し読解する。エクササイズの一部を提出し、採点のうえ返却される。返却の際には各問への解答および解説を実施。どのような考え方で解答につながるのかを説明する。模範的な解答については良い例として公開、解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	unit 8	The Rise of Cities を読む。文明が生まれることと川との関係を知り、都市のもつ役割について考える。
2	unit 9	Trusting in Recorded History を読む。書かれた歴史について考察する。歴史への信頼をどのようにして捉えるのかを考える。
3	unit10	Battles on Board Games を読む。人間のもつ闘争本能と古来より存在するゲームとの関連を考える。
4	unit 11	How Democrcy Works を読む。民主主義という政治システムの歴史を知り、抱える問題点を考察する。
5	unit 12	Marriage and the State を読む。婚姻と国家の関わりの歴史を概観する。
6	unit 13	The Meaning of Prayers を読む。「祈り」について様々の面からひとにとっての意味を考える。
7	unit 14	Mankind and Laughter を読む。笑うことと人間との多面的な関係を考察する。
8	unit 15	The Importance of Discipline を読む。社会のルールと家庭のしつけについてその関係性を考え、さらに宗教や徴兵制の問題からも規律のもつ意味を考える。
9	テキスト以外の英文による長文読解１	英文読解　前期に紹介したパーシングという手段を用いて正確に文を読む練習を重ねる。
10	長文読解２	パーシング練習のために続きの英文を読む。
11	長文読解３	パーシング練習のために続きの英文を読む。
12	長文読解４	パーシング練習のために続きの英文を読む。
13	長文読解５	これまでの長文のテキストを読み終え、最後にその内容についての個々の考えをまとめる。
14	これまでのまとめ/試験	これまで学んだ内容を確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】テキスト読解、問題の予習をして授業に出席してください。読解後は自分の読解内容と比べ問題があるとしたらその原因を探る。

【テキスト（教科書）】
前期に同じ。TRANSCULTURE by Christopher Beloton and Koshi Odajima (Kinseido 2017年　￥１８００）

【参考書】
必要に応じて紹介します

【成績評価の方法と基準】
平常点15％　提出物30％　テスト５５％

【学生の意見等からの気づき】
精読をする上で和訳をしてゆきますが、その和訳をすべて板書することはありません。授業の流れについてゆけない場合は遠慮することなくそのことを伝えてください。授業時間外でも結構です。

【その他の重要事項】
この授業を通して正確に英文をとらえる力をぜひつけてください。文法力や語彙力を活かし、構文解析に努める姿勢を忘れず文章を読みましょう。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
1. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
2.Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
3.Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Term-end examination 55%quiz 15%in-class contribution 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

安田　孝子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
（概要）
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。
（目的）
アカデミック・リーディングIと同様に、教育、経済、心理学、歴史、科学、言語などをテーマにしたエッセイを読み、専門的分野の文献を読解する力を強化することを目的とします。テキスト中のエッセイは比較的短く、一時間で読み切れる長さではありますが、アカデミックな語彙が豊富に含まれており、それら語彙の根本的な意味を深く追求しながら精読し、様々な表現力も養成します。

【到達目標】
アカデミック・リーディングI同様、様々な分野のエッセイを精読し、さらに音読活動を徹底的に行いながら、アカデミックな語彙力の定着と読解力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
（進め方）
アカデミック・リーディングＩ同様、テキストのReading Partはクラス全体で毎時間、音読を行い、Reading Partについては事前に指名した担当者にphrase readingで和訳してもらいます。また、Reading Part以外のExercisesはその場で指名した人に答えてもらいます。
（方法）
アカデミック・リーディングI同様、授業では、「語彙力」と「読解力」の育成だけでなく、「速読力」「表現力」の向上をも狙い、「音読・シャドーイング」活動を大いに行います。
また、前回の授業で提出された課題については模範解答を提示し、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 8	1. Chapter 7 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第2回	Chapter 8	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第3回	Chapter 9	1. Chapter 8 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第4回	Chapter 9	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第5回	Chapter 10	1. Chapter 9 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第6回	Chapter 10	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第7回	Chapter 11	1. Chapter 10 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第8回	Chapter 11	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第9回	Chapter 12	1. Chapter 11 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第10回	Chapter 12	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第11回	Chapter 13	1. Chapter 12 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど

第12回	Chapter 13	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第13回	Chapter 14	1. Chapter 13 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第14回	期末試験(Chapter8～14) まとめ・解説	期末試験 後期学習のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業での音読トレーニングを効果的に行うためにも、各課のエッセイを予め予習し、必ず理解してから授業に参加すること。また、授業後は、各自で繰り返し音読をし、内容の理解を深めること。

【テキスト（教科書）】
Introduction to Academic Reading (CENGAGE Learning) ￥2,000+税

【参考書】
毎時間英和辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】
Chapter終了毎の小テスト(10点×7回＝70)と中間・期末試験(各15点)で個人が獲得した点数を全て合計し、全体の6割獲得でC-,C,C+、7割獲得でB-,B,B+、8割獲得でA-,A,A+、9割以上獲得でSとする。

【学生の意見等からの気づき】
「音読」トレーニングにより成果を各自で確認するためにも、テキストのエッセイだけでなく、様々なトピックの英文素材を提供し、さらなる読解力の発展を目指します。

【その他の重要事項】
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・欠席は3回まで。4回以上の欠席の場合は、特別な事情でない限りは中間・期末試験の受験を認めません。
・遅刻は20分程度までは入室可ですが、30分以上の遅刻の場合は入室を許可しません。
・授業態度の悪い受講者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や欠席、ペア活動
　不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・教科書は必ず購入すること。他人の教科書をコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
This class deals with essays with a variety of themes. Reading these essays (some of them are rather short) carefully enhances the development of students' skill in reading comprehension and increasing vocabulary.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to acquire the skill of reading fluently, increasing vocabulary and a variety of expression.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the reading part of the chapter. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Criteria/Policies)
Your overall grade in the class will be decided based the following.
Mid-term exam : 20%(the date of mid-term exam is undecided)
Term-end exam : 20%
Short exams : 60%(short exams will be held 6 times, ten for each)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

磯部　芳恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。TOEIC教材を使用するリスニングの訓練も継続させる。
Some objectives for skills:
1. Improve reading speed and comprehension
2. Learn how to make summaries
3. Increase vocabulary skills
Some objectives for skills:
1. Improve reading speed and comprehension
2. Learn how to make summaries
3. Increase vocabulary skills

【到達目標】
The first goal of the course is for students to increase their knowledge of science about natural phenomenon. The second goal is for students to develop reading speed and comprehension and write logical summaries.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Classroom methods include:
1. short lectures and explanations by the teacher
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition
Feedback about assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Why are Hurricanes Seasonal?	語彙、訳読。
2	Unit 7 Why are Hurricanes Seasonal?	内容理解問題、英作文。
3	Unit 8 Why does Food Rot?	語彙、訳読。
4	Unit 8 Why does Food Rot?	内容理解問題、英作文。
5	Unit 9 Why do Clocks Go Clockwise?	語彙、訳読。
6	Unit 9 Why do clocks Go Clockwise?	内容理解問題、英作文。
7	Review	Unit 7-9の復習。
8	Unit 10 Why is the Ocean so Salty?	語彙、訳読。
9	Unit 10 Why is the Ocean so Salty?	内容理解問題、英作文。
10	Unit 11 Why don't Skyscrapers Fall Over?	語彙、訳読。
11	Unit 11 Why don't Skyscrapers Fall Over?	内容理解問題、英作文。
12	Unit 12 Why does Fluoride Prevent Tooth Decay?	語彙、訳読。
13	Unit 12 Why does Fluoride Prevent Tooth Decay? TOEIC practice test	内容理解問題、英作文TOEIC　模擬テスト。
14	Review &　wrap up	秋学期の復習と授業内テスト。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1. Reading: Preparation for the reading sections of the textbooks(2-4 hours)
2. Summaries: Homework will be assigned.(2-4 hours)
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Science for Inquiring Minds(成美堂）1,900円。
『TOEIC　TEST　リスニング　スピードマスター』(Jリサーチ出版) 1,400円。

【参考書】
講義中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on participation in class activities(10%), homework(30%),and tests(60%). Points are deducted of you are absent. In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーでよいものは授業で発表し活用する。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。欠席は減点になります。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
The first goal of the course is for students to increase their knowledge of science about natural phenomenon. The second goal is for students to develop reading speed and comprehension and write logical summaries.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanations by the teacher
2. pair and group discussions
3. The textbook includes various activities including dictation and English composition.
Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(30%), quizzes and tests(30%), and assignments(10%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

安田　孝子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
（概要）
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。
（目的）
アカデミック・リーディングIと同様に、教育、経済、心理学、歴史、科学、言語などをテーマにしたエッセイを読み、専門的分野の文献を読解する力を強化することを目的とします。テキスト中のエッセイは比較的短く、一時間で読み切れる長さではありますが、アカデミックな語彙が豊富に含まれており、それら語彙の根本的な意味を深く追求しながら精読し、様々な表現力も養成します。

【到達目標】
アカデミック・リーディングI同様、様々な分野のエッセイを精読し、さらに音読活動を徹底的に行いながら、アカデミックな語彙力の定着と読解力の向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
（進め方）
アカデミック・リーディングＩ同様、テキストのReading Partはクラス全体で毎時間、音読を行い、Reading Partについては事前に指名した担当者にphrase readingで和訳してもらいます。また、Reading Part以外のExercisesはその場で指名した人に答えてもらいます。
（方法）
アカデミック・リーディングI同様、授業では、「語彙力」と「読解力」の育成だけでなく、「速読力」「表現力」の向上をも狙い、「音読・シャドーイング」活動を大いに行います。
また、前回の授業で提出された課題については模範解答を提示し、解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 8	1. Chapter 7 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第2回	Chapter 8	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第3回	Chapter 9	1. Chapter 8 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第4回	Chapter 9	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第5回	Chapter 10	1. Chapter 9 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第6回	Chapter 10	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第7回	Chapter 11	1. Chapter 10 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第8回	Chapter 11	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第9回	Chapter 12	1. Chapter 11 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第10回	Chapter 12	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第11回	Chapter 13	1. Chapter 12 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど

第12回	Chapter 13	1. 音声視聴 /Reading Part の音読 2. phrase reading で訳読 3. Exercises 解説 4. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第13回	Chapter 14	1. Chapter 13 小テスト 2. 音声視聴 /Reading Part の音読 3. phrase readingで訳読 4. Exercises 解説 5. 音読トレーニング、シャドーイングなど
第14回	期末試験(Chapter8～14) まとめ・解説	期末試験 後期学習のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業での音読トレーニングを効果的に行うためにも、各課のエッセイを予め予習し、必ず理解してから授業に参加すること。また、授業後は、各自で繰り返し音読をし、内容の理解を深めること。

【テキスト（教科書）】
Introduction to Academic Reading (CENGAGE Learning) ￥2,000+税

【参考書】
毎時間英和辞書を持参すること。

【成績評価の方法と基準】
Chapter終了毎の小テスト(10点×7回＝70)と中間・期末試験(各15点)で個人が獲得した点数を全て合計し、全体の6割獲得でC-,C,C+、7割獲得でB-,B,B+、8割獲得でA-,A,A+、9割以上獲得でSとする。

【学生の意見等からの気づき】
「音読」トレーニングにより成果を各自で確認するためにも、テキストのエッセイだけでなく、様々なトピックの英文素材を提供し、さらなる読解力の発展を目指します。

【その他の重要事項】
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・欠席は3回まで。4回以上の欠席の場合は、特別な事情でない限りは中間・期末試験の受験を認めません。
・遅刻は20分程度までは入室可ですが、30分以上の遅刻の場合は入室を許可しません。
・授業態度の悪い受講者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻や欠席、ペア活動
　不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・教科書は必ず購入すること。他人の教科書をコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure.
This class deals with essays with a variety of themes. Reading these essays (some of them are rather short) carefully enhances the development of students' skill in reading comprehension and increasing vocabulary.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to acquire the skill of reading fluently, increasing vocabulary and a variety of expression.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the reading part of the chapter. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Criteria/Policies)
Your overall grade in the class will be decided based the following.
Mid-term exam : 20%(the date of mid-term exam is undecided)
Term-end exam : 20%
Short exams : 60%(short exams will be held 6 times, ten for each)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The rationale for differing strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalised feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	INTRODUCTION	Classroom routines and procedures Assignment description and examples
2	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE(part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 7 – Identifying the Thesis of a Reading (1) When does Language Learning Begin?"
3	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 7 – Identifying the Thesis of a Reading (2) "Learning a Language as an Adult"
4	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 8 Definition and Classification "Rules of Speaking"
5	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 9 Passive Sentences (1) "Languages in Context"
6	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE (part 5)	SKILLS AND STRATEGIES 9 Passive Sentences (2) "The advantages of Multilingualism"
7	THEME I: ASPECTS OF LANGUAGE (part 6)	Unit 1 Mini Test Reading based on Theme 1
8	THEME II: SUSTAINING PLANET EARTH (part 1)	SKILLS AND STRATEGIES 10 Problem-Solution Texts (1) "Ecology, Overpopulation,and Economic Development!
9	THEME II: SUSTAINING PLANET EARTH (part 2)	SKILLS AND STRATEGIES 10 Problem-Solution Texts (1) "The Aral Sea: an Environmental Crisis"
10	THEME II: SUSTAINING PLANET EARTH (part 3)	SKILLS AND STRATEGIES 10 Problem-Solution Texts (1) "Biodiversity and Tropical Rainforests"
11	THEME II: SUSTAINING PLANET EARTH (part 4)	SKILLS AND STRATEGIES 11 Graphic Material "The Water Crisis"
12	THEME II: SUSTAINING PLANET EARTH (part 5)	SKILLS AND STRATEGIES 12 Nominalization in Subjects "Managing Earth's Greenhouse"
13	THEME III: THE BRAIN AND BEHAVIOR (part 6)	Unit 2 Mini-test Reading based on Theme II
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
At the end of each thematic unit, an assignment will be set for the student based on their own interests relating to the themes of the units addressed in the class and the critical thinking activities in the unit. This task is intended to take 45-60 minutes.

【テキスト（教科書）】
Making Connections 3 -Skills and Strategies for Academic Reading (Third Edition) ￥3,000 - Pakenham, McEntire &Williams (Cambridge) - ISBN 978-1-108-66226-0

【参考書】
English-Japanese dictionaries
Online language reference - collocation resources

【成績評価の方法と基準】
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

【学生の意見等からの気づき】
The textbook has been updated to provide more linguistic and thematic complexity.

【学生が準備すべき機器他】
The students will need the textbook. Failure to bring the textbook to class will affect the students grade.

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content.

The class is intended to help students use their existing skills more effectively and acquire new skills that enable them to read complex academic texts in English more productively. In this class, students will improve their strategic reading skills and build their academic vocabulary enabling them to use and understand academic texts more efficiently. To do this, the class will augment and develop their critical thinking skills, provide real-time practice of the skills and strategies taught. Assignments will encourage students to use the skills that they acquire and become more confident in accessing academic texts in English.
The rationale for differing strategic reading skills is presented at the beginning of each unit and exercises provided that show how these strategies are applied to academic texts. Each unit is made up of four units, two per class, in which the skills and strategies are applied. These are reviewed periodically as the course continues. The vocabulary used in the readings is then reviewed and approaches to systematic vocabulary building are developed. Each unit ends with examples of features typical in academic texts in English to help students find their way in longer and more complicated examples of academic text.
A short mini-test will be given after each unit on the vocabulary presented in the whole unit.
General feedback will be given based on results of the mini-tests, and specific personalised feedback will given in the form of comments and corrections given to students in returned assignments.
GRADING CRITERIA
Assignments 25%
Mini-tests 25%
Final Review Test 30%
Participation 20%
No credits will be given if the student is absent four times.
Arriving between 1 and 10 minutes late three times will be one absence.
Arriving 10- 30 minutes late will be noted as a half-absence
Missing more than 30 minutes of the class without adequate will be regarded as a full absence.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

鈴木　幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To build a strong vocabulary.
2. To improve grammatical competence.
3. To enhance academic reading ability.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this course, students will practice reading articles: picking out key words/sentences, understanding the flow of paragraphs, and making summaries. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: reading task, Q &A, writing quiz, and group/pair work, including presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Orientation
	Unit 4 Design and Engineering ①	Unit 4A Design by Nature (close raeding)
2	Unit 4 Design and Engineering ②	Unit 4A Design by Nature (comprehension and discussion)
3	Unit 4 Design and Engineering ③	Unit 4B Weaving the Future (close reading)
4	Unit 4 Design and Engineering ④	Unit 4B Weaving the Future (comprehension and discussion)
5	Unit 5 Human Journey ①	Unit 5A The DNA Trail (close reading)
6	Unit 5 Human Journey ②	Unit 5A The DNA Trail (comprehension and discussion)
7	Unit 5 Human Journey ③	Unit 5B Fantastic Voyage (close reading)
8	Unit 5 Human Journey ④	Unit 5B Fantastic Voyage (comprehension and discussion)
9	Unit 6 Money and Trade ①	Unit 6A How Money Made Us Modern (close reading)
10	Unit 6 Money and Trade ②	Unit 6A How Money Made Us Modern (comprehension and discussion)
11	Unit 6 Money and Trade ③	Unit 6B The Rise of Virtual Money (close reading)
12	Unit 6 Money and Trade ④	Unit 6B The Rise of Virtual Money (comprehension and discussion)
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Macintyre, Paul, and David Bohlke, 2020, Reading Explorer 4A, 3rd edition, Cengage Learning.
ISBN9798214085876　Split 4A with Spark Access + e-Book (1 year access)　￥2,260（￥2,486 tax included）

【参考書】
Audio data will be used for homework;
National Geographic Learining
https://www.eltngl.com/sites/readingexplorerseries/about-reading-explorer/levels

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
It seems that I talked and explained too much, so I would like to try to give you fewer hints and more opportunities to think by yourselves.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【Learning Objectives】
The purpose of this class is to establish basic competence in reading academic level English thorough analysis of grammar, development of vocabulary, and knowledge of writing structure.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。
１年次で身につけた基礎英語力を更に発展させ、この授業では特にアカデミック（学術的）な内容に関して英語で書かれた文章を正確に理解できるように学習します。

【到達目標】
Acquire deeper understanding of vocabulary and sentence structures often encountered in academic writing.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Through individual and collaborative tasks focusing on academic texts, students will further develop their understanding of the workings and characteristics of academic writing, which will enhance their reading efficiency and effectiveness in academic pursuits.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction What is a genre?	Introduction to the course and its objectives; self-presentations. Identifying essential characteristics of academic writing.
2	What is a genre? Attitudes toward language	Who de we write to, why, and does that impact language?
3	Scholarly wordings	Why is academic vocabulary so complicated?
4	Definitions	Establishing common ground.
5	Appositions	The role and structure of appositions in academic writing.
6	Citations	The role and structure of citations in academic writing.
7	Paraphrasing	The role and structure of paraphrasing in academic writing.
8	Summary	Notes for gist; Arrangement of levels (generality and detail, concept and example).
9	Sentence style and Textual coherence 1	Forecasts and Key words.
10	Sentence style and Textual coherence 1	Passive voice; Emphasis.
11	Sentence style and Textual coherence 3	Reported speech.
12	Sentence style and Textual coherence 4	Reported speech. In-class preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
13	Review	Review of the contents of the class and exercises.
14	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be required to have read the texts under study before each lesson. Some in-class assignments will be completed after class as homework.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【Outline (in English)】
Course Outline
This class aims at improving students' academic reading ability through the acquirement and development of extensive vocabulary, accurate grammatical knowledge and sentence structure analysis skills. As for vocabulary development, this class focuses on comprehending and mastering a wide variety of vocabulary and useful expressions in the science and engineering fields. As for the instruction of grammar and sentence structure, it emphasizes the application of previous knowledge to read actual academic English materials rapidly and concisely.
By the end of the course, students should be able to attain the basic academic reading ability.
Learning Objectives:
Acquire deeper understanding of vocabulary and sentence structures often encountered in academic writing.
Learning Objectives outside the Classroom:
Students will be required to have read the texts under study before each lesson. Some in-class assignments will be completed after class as homework.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

小林　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
本授業は、英語で文章を書く能力を養成するためのクラスである。授業では文法的に正確なセンテンスを書くことから始め、様々なパラグラフ、エッセイを書く事を目標とする。また、それぞれの専攻内容についての英文を書くことも目標とする。
The aim of this class is to develop students' ability of English composition. The students will start from composing grammatically accurate sentences and next write various paragraphs and essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
テクストの問題を中心に進めつつ、自分なりの英語の表現を学ぶように授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方、評価の方法につての説明
第2回	Unit 1 Conclusion /Reasons	品詞と文の要素など
第3回	Unit 2 Social Trends	英語の文型など
第4回	Unit 3 Results /Causes	句と節について
第5回	Unit 4 Several Explanations	英語の時制など
第6回	Unit 5 Comparison	英語の時制など
第7回	Unit 6 For and Against	英作文の練習
第8回	Unit 7 Classification	リスニングと英文の書き取り
第9回	Unit 8 History	英作文の練習
第10回	Unit 9 Process	リスニングと英文の書き取り
第11回	Unit 10 Cause and Effect	英作文の練習
第12回	Unit 11 Definition of a New Word	パラグラフの作成とリスニング
第13回	Unit 12 Research	パラグラフの作成とリスニング
第14回	Unit 13 New Products	パラグラフの作成とリスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
必ず復習をすること、そして指示された場合には予習をして授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
Skills for Better Writing (Basic)（南雲堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】学期末のレポート(５0%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(５0%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
英語の基礎をおろそかにせず学んでいきましょう。

【Outline (in English)】
[course outline]
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
[Learning objectives]
The aim of this class is to develop students' ability of English composition. The students will start from composing grammatically accurate sentences and next write various paragraphs and essays.
[Learning activities outside of classroom]
Preparation 2 hours, review 2 hours, a total of 4 hours
[Grading Policy]
final assignment 50%
participation and attitude 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う

【到達目標】
Students will learn and develop academic writing skills in English.
Students will improve their English writing skills and will be able to identify different features of English academic writing.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to write texts which express and justify their opinions in English.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Emma sensei will post comments, corrections and feedback to homework directly on Hoppii. For more detailed assignment feedback please email Emma Sensei directly.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Introduction to the class topics and assessment methods Write a self introduction and write three personal learning objectives.
第2回	Chapter 1 Paragraph Structure	Analyse the writing model, identify parts of a paragraph and draft a paragraph about communication. HOMEWORK: Write a short essay on an assigned topic
第3回	Chapter 2 Unity and Coherence	Synonyms, learn about coherent essays HOMEWORK- A Paragraph about Health and Medicine
第4回	Chapter 3 Using Outside Sources	Using and citing sources Quotations Paraphrasing Summarising HOMEWORK- Write a summary of an article
第5回	Chapter 4 From Paragraph to Essay	Parts of an Essay Patterns of Organization Outlines of Essays HOMEWORK- Write an essay about education
第6回	Chapter 5 Process Essays	Organization Applying Vocabulary HOMEWORK- Write a process essay about Earth Science
第7回	Chapter 6 Cause / Effect Essays	Collocations Organisation Applying Vocabulary HOMEWORK - Write a Cause/ Effect essay about Psychology
第8回	Chapter 7 Comparison /Contrast Essays	Antonyms Organization Using antonyms HOMEWORK: Write a comparison/Contrast essay about culture
第9回	Chapter 8 Argumentative Essays	Collocations 2 Organization Statistics as support HOMEWORK - Write an argumentative essay about space travel
第10回	Chapter 9 Types of Sentences	Independent and Dependent Clauses Kinds of Sentences HOMEWORK- Editing Practice
第11回	Chapter 10 Parallelism and Sentence Problems	Parallel structure in sentences Sentence Problems HOMEWORK - Editing Practice
第12回	Chapter 11 Noun Clauses	THAT clauses IF/WHETHER clauses Question clauses HOMEWORK- writing practice
第13回	Chapter 12 Adverb Clauses	Time clauses Place clauses Distance, Frequency, and Manner Clauses Reason Clauses Result Clauses Purpose Clauses Contrast Clauses Conditional Clauses HOMEWORK - Writing practice
第14回	Participles and Participial Phrases	Kinds of Participles Participial Phrases FINAL ASSESSMENT: ESSAY

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework writing assignments will be set from the textbook based on class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework, revising material from previous lessons and preparing for upcoming lessons. Homework may be submitted to the teacher via email.

【テキスト（教科書）】
Longman Academic Writing Series (Level 4); Essays, Pearson Education ESL; 5th edition (June 19, 2020) (ISBN: 978-0136838630)

【参考書】
Please see Hoppii page for additional supplements

【成績評価の方法と基準】
The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Assignments: 80%

【学生の意見等からの気づき】
N/A None in particular

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
This course aims to help students develop their written academic English skills through writing exercises. Using the textbook as a starting point for class discussion and homework writing exercises, we will aim to improve students vocabulary, use of grammatical structures and understanding of English academic writing conventions.
The class encourages active learning and class discussion in order to improve confidence and fluency. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written feedback on homework, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Assignments: 80%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ギユモ　セレスト

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
主な目標は以下の通りである：
- アカデミックライティングの基本原則を理解し、適切に応用すること。
- 明確なトピックセンテンス（topic sentence）、具体的なサポート文（supporting sentences）、そして結論文（concluding sentence）を持つ、よく構成されたパラグラフを書くこと。
- 論理的で説得力のあるエッセイを書くこと。
- 文法、語彙、スタイルを向上させるために、クラスメイトや自分自身の作文を効果的に修正および編集すること。（peer review）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、4種類のパラグラフとエッセイライティングの練習を行う。毎週、（教科書の練習問題の解説）→（ライティング）→（ピアレビュー）→（編集・修正）→（提出）という流れで進めていく。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Course overview Unit 1
2	Unit 2	What is a descriptive paragraph?
3	Unit 2	- writing - peer review
4	Unit 3	What is a Comparison/ Contrast Paragraph?
5	Unit 3	- writing - peer review
6	Unit 4	What is a Cause/Effect Paragraph?
7	Unit 4	- writing - peer review
8	Unit 5	What is an opinion paragraph? (1)
9	Unit 5	- writing - peer review
10	Unit 5	- writing - peer review
11	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Outlines
12	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Writing 1
13	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Writing 2, peer review
14	Final exam, review	Final exam, review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Akira Tajino, Sayako Maswana, Yoshitaka Kato, Hironori Watari, Hiroshi Yamada, A Guide to English Academic Writing for Beginners, Asahi Press, 1800円+税, ISBN 9784255156484

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
授業平常点 60 %（毎週の宿題、授業参加、課題(paragraphx4+essayx1)）
学期末試験40％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning objectives:
This course helps students improve their academic writing skills. They will learn to write clear and well-organized paragraphs and essays. Students will also practice editing their own work and giving feedback to classmates through peer review. The focus is on building strong writing habits and improving grammar, vocabulary, and style.
Work to be done outside of class:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class.
Grading criteria:
In class activities and assignments 60％, Final exam 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

中野　里美

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
単なる和文英訳ではなく、自分の意見を論理的に述べられるように、毎回ライティングを作成する。essayの形式に則ったライティングを完成させつつ、自分の意見も持てるように、構築できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
essayの書き方の基本を学び、最終的に定型のessayを仕上げられるようにトレーニングする。毎回、複数のテーマから自由に選び、ライティングする。添削後、返却。各自、授業内で1度はessayをプレゼンし（事前に添削あり）、それらを鑑みて、最終エッセイを仕上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Explaining how to write an essay	Introduction and guidance
第2回	Learning how to write with handouts	Task 1:What is essay? Task 2:Writing what you think(based on this week's newspaper articles)
第3回	Learning how to write with handouts,	Task 1:What is paragraph? Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第4回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: What is presentation? Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第5回	Learning how to write and the explicit correction	Task 1: The common errors Japanese students make (words) Task 2:Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第6回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: The common errors Japanese students makes (words) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第7回	Learning how to write with comprehension checks	Task 1: The common errors Japanese students make (phrases) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第8回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: The common errors Japanese students make (grammar) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第9回	Learning how to write with comprehension checks	Task 1:The common errors Japanese students make (grammar) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第10回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第11回	Learning how to write with a presenter	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第12回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第13回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第14回	Submitting an essay	Review: Creating a polished essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
A print or PDF will be distributed and uploaded.

【参考書】
Participants will be informed of it in the class.

【成績評価の方法と基準】
Attendance is emphasized. Students will be excluded from evaluation if they are absent more than 5 times (including 5 times of class) in a semester. Tardiness will be counted as tardiness if the student enters the room 15 minutes after the start of class. The third tardy will be counted as one absence. Leaving early will be treated the same way. Students will also be evaluated comprehensively based on in-class tasks, essay writing, and volunteering for Q&A as audience for the presentation.
Presentation + 50%of the final essay, 50%of the regular marks (free English essays for each session, Q&A, etc.) = 100%in total.
Translated with DeepL.com (free version)
出席重視。3分の1以上または5回以上の欠席で不合格。遅刻は授業開始15分以降の入室をもって遅刻とし、3回目の遅刻を1回分の欠席に換算する。早退も同じ扱い。また授業中のタスク、エッセイライティング、プレゼンのオーディエンスとしてのQ＆Aのボランティアなどにより総合的に評価します。プレゼン＋最終エッセイ50%、平常点（毎回の自由英作文、Q＆Aなど）50%＝計100％となります。

【学生の意見等からの気づき】
If you have any questions, please feel free to ask them.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
[Learning Objectives]
Students will be given skills to write essays and make a presentation in English.
[Learning activities outside of classroom]
Students will need to practice writing in English, be prepared for presentations, and write a final essay.
[Grading Criteria /Policy]
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end essay 50%, and tasks in this class 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
Students will learn and develop academic writing skills in English.
Students will improve their English writing skills and will be able to identify different features of English academic writing.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to write texts which express and justify their opinions in English.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Emma Sensei will post corrections, comments and feedback on Hoppii or annotate emailed documents. For more detailed assignment feedback please email Emma Sensei directly.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Introduction to the class topics and assessment methods Write a self introduction and write three personal learning objectives.
第2回	Chapter 1 Paragraph Structure	Analyse the writing model, identify parts of a paragraph and draft a paragraph about communication. HOMEWORK: Write a short essay on an assigned topic
第3回	Chapter 2 Unity and Coherence	Synonyms, learn about coherent essays HOMEWORK- A Paragraph about Health and Medicine
第4回	Chapter 3 Using Outside Sources	Using and citing sources Quotations Paraphrasing Summarising HOMEWORK- Write a summary of an article
第5回	Chapter 4 From Paragraph to Essay	Parts of an Essay Patterns of Organization Outlines of Essays HOMEWORK- Write an essay about education
第6回	Chapter 5 Process Essays	Organization Applying Vocabulary HOMEWORK- Write a process essay about Earth Science
第7回	Chapter 6 Cause / Effect Essays	Collocations Organisation Applying Vocabulary HOMEWORK - Write a Cause/ Effect essay about Psychology
第8回	Chapter 7 Comparison /Contrast Essays	Antonyms Organization Using antonyms HOMEWORK: Write a comparison/Contrast essay about culture
第9回	Chapter 8 Argumentative Essays	Collocations 2 Organization Statistics as support HOMEWORK - Write an argumentative essay about space travel
第10回	Chapter 9 Types of Sentences	Independent and Dependent Clauses Kinds of Sentences HOMEWORK- Editing Practice
第11回	Chapter 10 Parallelism and Sentence Problems	Parallel structure in sentences Sentence Problems HOMEWORK - Editing Practice
第12回	Chapter 11 Noun Clauses	THAT clauses IF/WHETHER clauses Question clauses HOMEWORK- writing practice
第13回	Chapter 12 Adverb Clauses	Time clauses Place clauses Distance, Frequency, and Manner Clauses Reason Clauses Result Clauses Purpose Clauses Contrast Clauses Conditional Clauses HOMEWORK - Writing practice
第14回	Participles and Participial Phrases	Kinds of Participles Participial Phrases FINAL ASSESSMENT: ESSAY

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework writing assignments will be set from the textbook based on class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework, revising material from previous lessons and preparing for upcoming lessons. Homework may be submitted to the teacher via email.

【テキスト（教科書）】
Longman Academic Writing Series (Level 4); Essays, Pearson Education ESL; 5th edition (June 19, 2020) (ISBN: 978-0136838630)

【参考書】
Please see Hoppii for additional supplements

【成績評価の方法と基準】
The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Assignments: 80%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness. This course aims to help students develop their written academic English skills through writing exercises. Using the textbook as a starting point for class discussion and homework writing exercises, we will aim to improve students vocabulary, use of grammatical structures and understanding of English academic writing conventions. The class encourages active learning and class discussion in order to improve confidence and fluency. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written feedback on homework, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.
The passing grade in this class is 60%.

Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Assignments: 80%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

中野　里美

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
単なる和文英訳ではなく、自分の意見を論理的に述べられるように、毎回ライティングを作成する。essayの形式に則ったライティングを完成させつつ、自分の意見も持てるように、構築できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
essayの書き方の基本を学び、最終的に定型のessayを仕上げられるようにトレーニングする。毎回、複数のテーマから自由に選び、ライティングする。添削後、返却。各自、授業内で1度はessayをプレゼンし（事前に添削あり）、それらを鑑みて、最終エッセイを仕上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Explaining how to write an essay	Introduction and guidance
第2回	Learning how to write with handouts	Task 1:What is essay? Task 2:Writing what you think(based on this week's newspaper articles)
第3回	Learning how to write with handouts,	Task 1:What is paragraph? Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第4回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: What is presentation? Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第5回	Learning how to write and the explicit correction	Task 1: The common errors Japanese students make (words) Task 2:Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第6回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: The common errors Japanese students makes (words) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第7回	Learning how to write with comprehension checks	Task 1: The common errors Japanese students make (phrases) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第8回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: The common errors Japanese students make (grammar) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第9回	Learning how to write with comprehension checks	Task 1:The common errors Japanese students make (grammar) Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第10回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第11回	Learning how to write with a presenter	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第12回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第13回	Learning how to write and make a presentation	Task 1: Formatting an original essay Task 2: Writing what you think (based on this week's newspaper articles)
第14回	Submitting an essay	Review: Creating a polished essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
Handouts will be distributed and a PDF will be uploaded.

【参考書】
Participants will be informed of it in the class.

【成績評価の方法と基準】
Attendance is emphasized. Students will be excluded from evaluation if they are absent more than 5 times (including 5 times of class) in a semester. Tardiness will be counted as tardiness if the student enters the room 15 minutes after the start of class. The third tardy will be counted as one absence. Leaving early will be treated the same way. Students will also be evaluated comprehensively based on in-class tasks, essay writing, and volunteering for Q&A as audience for the presentation.
Presentation + 50%of the final essay, 50%of the regular marks (free English essays for each session, Q&A, etc.) = 100%in total.
Translated with DeepL.com (free version)
3分の1以上または5回以上の欠席で不合格。
公欠届、病欠（診断書、日付とフルネーム入りの領収書などを持参すること）は考慮します。遅刻は授業開始１５分以降の入室から。３回目の遅刻で１回欠席に換算します。遅延証明書は当日、授業内に持参すれば考慮します。毎回の自由英作文、平常点がプレゼン（自分の回＆他の人へのＱ＆Ａボランティア）、最終essayを総合的に評価します。プレゼン＋最終エッセイ50%、平常点（毎回の自由英作文、Ｑ＆Ａなど）50%＝計100％となります。

【学生の意見等からの気づき】
If you have any questions, please feel free to ask them.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
[Learning Objectives]
Students will be given skills to write essays and make a presentation in English.
[Method(s)]
Participants are expected to practice writing in English about some issues, make a presentation and finally write an essay. Feedback will be carried out every week in the mini-essay.
[Learning activities outside of classroom]
Students will need to practice writing in English, be prepared for presentations, and write a final essay.
[Method(s)]
Participants are expected to practice writing in English about some issues, make a presentation and finally write an essay. Feedback will be carried out every week in the mini-essay.
[Grading Criteria /Policy]
Your overall grade in this class will be decided based on the following, Term-end essay 50%, and tasks in this class 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ギユモ　セレスト

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
主な目標は以下の通りである：
- アカデミックライティングの基本原則を理解し、適切に応用すること。
- 明確なトピックセンテンス（topic sentence）、具体的なサポート文（supporting sentences）、そして結論文（concluding sentence）を持つ、よく構成されたパラグラフを書くこと。
- 論理的で説得力のあるエッセイを書くこと。
- 文法、語彙、スタイルを向上させるために、クラスメイトや自分自身の作文を効果的に修正および編集すること。（peer review）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、4種類のパラグラフとエッセイライティングの練習を行います。毎週、（教科書の練習問題の解説）→（ライティング）→（ピアレビュー）→（編集・修正）→（提出）という流れで進めていく。学生が積極的に発言し参加できるような場を作り、主体的な学びを促進する。教材の内容や背景についても解説を行い、理解を深めるサポートをする。また、提出された課題やテストは採点の上、返却する。課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Course overview Unit 1
2	Unit 2	What is a descriptive paragraph?
3	Unit 2	- writing - peer review
4	Unit 3	What is a Comparison/ Contrast Paragraph?
5	Unit 3	- writing - peer review
6	Unit 4	What is a Cause/Effect Paragraph?
7	Unit 4	- writing - peer review
8	Unit 5	What is an opinion paragraph? (1)
9	Unit 5	- writing - peer review
10	Unit 5	- writing - peer review
11	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Outlines
12	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Writing 1
13	Unit 6	Toward Writing a 300-Word Essay: Writing 2, peer review
14	Final exam, review	Final exam, review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
Akira Tajino, Sayako Maswana, Yoshitaka Kato, Hironori Watari, Hiroshi Yamada, A Guide to English Academic Writing for Beginners, Asahi Press, 1800円+税, ISBN 9784255156484

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
授業平常点 60 %（毎週の宿題、授業参加、課題(paragraphx4+essayx1)）
学期末試験40％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
資料配布、テスト、課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning objectives:
This course helps students improve their academic writing skills. They will learn to write clear and well-organized paragraphs and essays. Students will also practice editing their own work and giving feedback to classmates through peer review. The focus is on building strong writing habits and improving grammar, vocabulary, and style.
Work to be done outside of class:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class.
Grading criteria:
In class activities and assignments 60％, Final exam 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

NEIL CONWAY

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· Write for a clear purpose and to a specific audience, using appropriate word and style choices
· Choose, restrict, organize, and support a writing topic and/or thesis
· Understand the planning, outlining and drafting process
· Write sentences that are clear, concise, and effective, using academic essay structure and paragraphing
· Integrate sources accurate and effectively
· Write in the style of an English-language academic essay and be aware of MLA formatting.
· Read and edit their own and their peers' essays in order to improve them

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Each class will review key points in that week's topic using short reading and writing tasks, along with pair- and groupwork designed for Active Learning, this will include project-based work. Feedback will be delivered in-class. Students will be asked to consider how these tasks relate to the topic at large, and the essay type being focused on. Homework will be assigned which relates to the incremental steps of each week and also to the main assessment tasks of the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Academic Writing	Introducing the class content, expectations and discussing the course.
2	Writing Paragraphs I	Writing a paragraph Coherence &structure MLA
3	Writing Paragraphs II	Types of sentence Evidence and support Editing
4	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information I	Sources
5	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information II	MLA
6	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information III	Practice
7	Essay Structure I	From paragraph to essay
8	Essay Structure II	What goes where?
9	Essay Structure III	Practice
10	Writing an Argumentative Essay: Developing Arguments	Argument, Counter-Argument & Rebuttal
11	Writing an Argumentative Essay: Organising Argumentative Essays	Practice
12	Writing an Argumentative Essay: Proofing and Editing	Argument, Structure &MLA
13	Essay Work	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
14	Essay Work & Presentation	Students will be asked to present one of their essays in a presentation style.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments not finished within the allotted time; editing tasks; textbook exercises; research; coursework writing

【テキスト（教科書）】
You need a paper /electronic English Dictionary (NOT a phone).
No textbook: handouts and reading materials will be provided by lecturer, or will be available online. However, library access is required for students to research their chosen essay topics.
We will use these two texts throughout the course:
https://issuu.com/cambridgeupelt/docs/academic_writing_skills_student_s_book_1
https://issuu.com/cambridgeupelt/docs/academic_writing_skills_student_s_book_2

【参考書】
[Lunsford, et al.] Everyone's an Author: with Readings (Third Edition). W. W. Norton &Company (May 15, 2020)
ISBN: 978-0393420838
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to in-class research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Classwork (effort, participation): 15%
Essay (Outline, Drafts, Final draft): 20%
In-Class Writing Tasks (Essay work; Summarizing Tasks; End-of-Semester Task): 55%

【学生の意見等からの気づき】
Use power point for presentations. Add an audio-visual element to assist in understanding summary writing. More in-class practice.

【学生が準備すべき機器他】
A paper or an electronic English Dictionary (NOT a phone)
Class notebook (B5 size is good)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Writing assignments not finished within the allotted time; editing tasks; textbook exercises; research; coursework writing
Grading criteria:
Homework: 10%
Classwork (effort, participation): 15%
Essay (Outline, Drafts, Final draft): 20%
In-Class Writing Tasks (Essay work; Summarizing Tasks; End-of-Semester Task): 55%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

NEIL CONWAY

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· Write for a clear purpose and to a specific audience, using appropriate word and style choices
· Choose, restrict, organize, and support a writing topic and/or thesis
· Understand the planning, outlining and drafting process
· Write sentences that are clear, concise, and effective, using academic essay structure and paragraphing
· Integrate sources accurate and effectively
· Write in the style of an English-language academic essay and be aware of MLA formatting.
· Read and edit their own and their peers' essays in order to improve them

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Each class will review key points in that week's topic using short reading and writing tasks, along with pair- and groupwork designed for Active Learning, this will include project-based work. Feedback will be delivered in-class. Students will be asked to consider how these tasks relate to the topic at large, and the essay type being focused on. Homework will be assigned which relates to the incremental steps of each week and also to the main assessment tasks of the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Academic Writing	Introducing the class content, expectations and discussing the course.
2	Writing Paragraphs I	Writing a paragraph Coherence &structure MLA
3	Writing Paragraphs II	Types of sentence Evidence and support Editing
4	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information I	Sources
5	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information II	MLA
6	Paraphrasing, Summarizing &Citing Information III	Practice
7	Essay Structure I	From paragraph to essay
8	Essay Structure II	What goes where?
9	Essay Structure III	Practice
10	Writing an Argumentative Essay: Developing Arguments	Argument, Counter-Argument & Rebuttal
11	Writing an Argumentative Essay: Organising Argumentative Essays	Practice
12	Writing an Argumentative Essay: Proofing and Editing	Argument, Structure &MLA
13	Essay Work	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
14	Essay Work & Presentation	Students will be asked to present one of their essays in a presentation style.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments not finished within the allotted time; editing tasks; textbook exercises; research; coursework writing

【テキスト（教科書）】
You need a paper /electronic English Dictionary (NOT a phone).
No textbook: handouts and reading materials will be provided by lecturer, or will be available online. However, library access is required for students to research their chosen essay topics.
We will use these two texts throughout the course:
https://issuu.com/cambridgeupelt/docs/academic_writing_skills_student_s_book_1
https://issuu.com/cambridgeupelt/docs/academic_writing_skills_student_s_book_2

【参考書】
[Lunsford, et al.] Everyone's an Author: with Readings (Third Edition). W. W. Norton &Company (May 15, 2020)
ISBN: 978-0393420838
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Classwork (effort, participation): 15%
Essay (Outline, Drafts, Final draft): 20%
In-Class Writing Tasks (Essay work; Summarizing Tasks; End-of-Semester Task): 55%

【学生の意見等からの気づき】
Add an audio-visual element to assist in understanding summary writing. More in-class practice.

【学生が準備すべき機器他】
A paper or an electronic English Dictionary (NOT a phone)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Writing assignments not finished within the allotted time; editing tasks; textbook exercises; research; coursework writing
Grading criteria:
Homework: 10%
Classwork (effort, participation): 15%
Essay (Outline, Drafts, Final draft): 20%
In-Class Writing Tasks (Essay work; Summarizing Tasks; End-of-Semester Task): 55%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

太田　美智子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
·Reviewing basic grammatical structure in order to write more correctly.
基本的な文法の復習を通してより正確な英文を書けるようにすることを目標とする。
tly and confidently.
· You can choose the most appropriate type of essay.
The lesson will involve using both the textbook and also free-writing.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The lesson will involve using both the textbook and also free-writing.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Explanation of Class Rules. You will write a brief self-introduction.
第2回	Unit 1	* Basics for English Composition
第3回	Unit 2	* What is a Paragraph?
第4回	Unit 3	* Procedure/Process
第5回	Unit 4	* Chronological Order
第6回	Unit 5	* Spatial Order
第7回	Unit 6	* Graph Description
第8回	quiz	quiz
第9回	Unit 7	* Definition
第10回	Unit 8	* Illustration
第11回	Unit 9	* Classification
第12回	Unit 10	* Comparison and Contrast
第13回	Review	Review
第14回	Check	Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4 時間を標準とする】You are expected to preview each lesson, also do exercises assigned in the textbook.

【テキスト（教科書）】
5 Steps for Paragraph Writing, Akihiro Maeda, Junko Kono, Simon Fosati, Tsurumi Shoten, 2021, 2000 yen

【参考書】
Writing Series, Kerry Ito, Kenkyusha

【成績評価の方法と基準】
Class Work and Participation　30 %
Short Reports　30 %
Term-Examination 40 %

【学生の意見等からの気づき】
It is important for us to find interesting topics.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating into English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.

·Reviewing basic grammatical structure in order to write more correctly and confidently.
· You can choose the most appropriate type of essay.
Grading:
Class Work and Participation　30 %
Short Reports　30 %
Term-Examination 40 %

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

尾関　裕子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身に着け、エッセイ・ライティング、アカデミックライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
基本的論理展開に必要な考え方・表現・文法を確認し、典型的なエッセイの論理展開の理解を深め、実際にエッセイを書けるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
毎回テキストの chapter 1つを進めます。テキストのエクササイズを実施のうえ各自のオリジナルな文章を作り提出します。提出されたものは採点されたうえで返却されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Daily lives	日常生活のなかで起きた事柄を羅列するのではなく、ひとつのパラグラフを成立するエッセイとしてまとめる。
2	2.Documents	フォーマットのある書類に記入するスタイルで書類をまとめる（履歴書の作成など。）
3	3.Basic communication	メッセージを相手に伝える文章を作成する（e-mailなど）。
4	4. Travel	「場所」に関する情報を与える文章を作成する。
5	5. What's he like?	人物を説明する文章を作る。（姿、性格など）
6	6. What's the difference?	比較するという手段を用いて事柄を説明する文章を作る。
7	7. How do you do that？	あることを成し遂げるための指示を与える文章を作る。
8	8. What do you think？	意見を述べる文章を作成する。
9	9. What are the facts？	データを使用して起きた事柄を述べる文章を作る。
10	10. What's a paragraph?（1）	パラグラフにおけるトピックセンテンス作成する術を確認する。
11	11. What's a paragraph?(2)	パラグラフにおける支持文、結論文を作成する術を確認する。
12	12. Persuasive paragraphs	自分の意見に賛同してもらえるような説得力のある文を作る。
13	13. The five-paragraph essay(1)	エッセイのテーマの述べ方を確認する。
14	14. The five-paragraph essay(2)	エッセイの導入と結論の述べ方を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、４時間を標準とする】授業相当範囲の問題、読解用英文などエクササイズは予習しておくようにします。

【テキスト（教科書）】
Simply Writing（Diane Hawley Nagatomo著）金星堂2,300円

【参考書】
「日本人に共通する英語のミス」（The Japan Times)ほか。授業時に必用に応じて紹介します

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業時提出物回数・予習など授業への参加姿勢）４０％
提出物への評価,小テスト６０％
提出物は授業時内に提出することを基本とします。病欠、公欠といった証明できる欠席については後日の提出を認めますが、それ以外の欠席については後日の提出は認められません。
遅刻、早退などは二回で一回の欠席と数える。成績評価を受けるには授業の三分の二は出席のこと。遅延証明の有効は３回までです。
授業時には電子辞書の使用は認められるが、パソコンや携帯電話の使用は禁止。

【学生の意見等からの気づき】
黒板に書かれる学生の作文を直すだけでは個々人の問題点をなかなか発見しずらいですので、各授業の終わりには課題にそった英文を提出していただき、個々の問題点を指摘できるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞書

【その他の重要事項】
授業内に、英文によるライティングを実施し提出します。辞書を使用しますので忘れずに持参のこと。スマートフォンやパソコンの使用は禁じます。
出席が不足すると授業時提出物の回数も不足しますので気をつけましょう。
基本となるひとつずつの英文が正確であることが求められます。語彙、文法などこれまで学んだことを活かし、まずは正確な（相手に理解される）英文を作る努力をしましょう。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Class are leveled and enrollment held to to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
*Learning Objectives: to develop strategies for writing.
*Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
*Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Quiz, assignment 60%;in-class contribution 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALDER mark

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure. By the end of this course, students will understand how and why to write different kinds of essays and how to turn their essay into a power point oral presentation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
There will be a lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write an essay employing the essay type being focused on. Essays topics will be mostly chosen from the student's major. Feedback will be given one to one and as a class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to academic writing	Introduce the class content, expectations and offer guidance.
2	How to write essays 1	Discussion of writing for different purposes, and a variety of pre-writing techniques.
3	How to write essays 2	An introduction of several various kinds of essays. Students will practice writing introductions and conclusions.
4	Descriptive essays 1	Students will review examples of descriptive essays and be introduced to rhetorical focus ideas and start to write their essays
5	Descriptive essays 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
6	Opinion Essay 1	Students will understand the basics of writing an opinion essay and be given some class time to write.
7	Opinion Essay 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
8	Cause and Effect Essay 1	Students will understand the basics of writing a cause and effect essay and be given some class time to write.
9	Cause and Effect Essay 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
10	Ted Talk-writing	Students will understand the basics of writing through watching a Ted talk on the topic of academic writing.
11	DVD- social issues	Students will work in teams to create a coherent narrative on the topic of workplace harassment after watching a DVD
12	Problem/Solution 1	Students will understand the basics of writing with no technical support and be given some class time to write.
13	Problem Solution 2	Students will receive their essays back and will create an AI version of their essay and then create a hybrid finished draft.
14	Final Essay	Students will be asked to choose one essay style and compose an essay from their major course of study.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments as well as self-editing tasks. Also, preparation for the final essay.

【テキスト（教科書）】
None

【参考書】
Ready to Write More. Karen Blanchard. Longman Press.
Effective Academic Writing 2. Oxford Press

【成績評価の方法と基準】
Essays and in class work-75%
Final Essay-25%

【学生の意見等からの気づき】
No changes will be made based on the student evaluation.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries. Notebooks

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating into English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure. By the end of this course, students will understand how and why to write different kinds of essays and how to turn their essay into a power point oral presentation.
Learning objectives outside of class will be to use the library and internet to effectively research current topics related to their majors. Also video will be watched and summarized.
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on. Essays topics will be mostly chosen from the student's major. Feedback will be given one to one and as a class.
Grading:
Essays and in class assignments-75%
Final Essay/presentation-25%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

乾　展子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。
また、ライティングの字句や文章の推敲のスキル、徹底的に、かつ客観的に文章を読み、間違いを見つける校正のスキルも学習します。この学習を通して，アカデミック・ライティングの構成、表現ルール、情報内容を理解し実践できることを目指します。またアカデミック・ライティングにおける、文章推敲・校正スキルを育成します。

【到達目標】
・アカデミック・ライティングの構成、表現ルール、情報内容を理解し実践できる。
・アカデミック・ライティングにおける、文章推敲・校正スキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。また、毎回の授業で課題を提出してもらい、学習内容の定着を目指した小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容および進め方の説明
第2回	Unit 1	エッセイ（essay）の重要な特徴を学ぶ
第3回	Unit 3	序論（introduction）の役割を学ぶ
第4回	序論の執筆	実際にテーマを決め序論を書く
第5回	Unit 4（1）	本論（body）の構造を学ぶ
第6回	Unit 4（2）	本論（body）の構造を学ぶ
第7回	本論の執筆	前回決めたテーマでの序論に続く本論を書く
第8回	Unit 5	結論部（conclusion）のまとめ方を学ぶ
第9回	結論の執筆	前回決めたテーマでの序論・本論に続く結論を書く
第10回	Unit 6	フィードバックについて学ぶ
第11回	序論・本論・結論の修正	フィードバックをもとに自分の原稿を修正する。
第12回	Unit 2	タイトルの付け方について学ぶ
第13回	Unit 7	最終原稿の仕上げ方を学ぶ
第14回	essayの形にまとめる	タイトルをつけ、序論・本論・結論からなる1つのエッセイにまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
当該授業で扱う箇所のテキスト内容を予習すること。
2Unit毎で小テストを行うので、復習してください。

【テキスト（教科書）】
深山晶子 /幸重美津子 /尾鍋智子 /村尾純子 /Ashley Moore 著『3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language　３つの要素で学ぶアカデミック・ライティングの基本』（金星堂）

【参考書】
必要に応じて適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
エッセイ 50％、課題 30%、小テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく４回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に指示のある時以外に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
In addition, students will also learn the skills of lexical and textual elaboration and proofreading skills to find errors by reading the text thoroughly and objectively.
[Learning Objectives]
Through these learning experiences, students can understand the structure, conventions of expression, and information content of academic writing and use the skills.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please check the lesson content. There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (50%), assignments (30%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

太田　美智子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
· Reviewing basic grammatical structure in order to write more correctly and confidently.
· You can choose the most appropriate type of essay.
The lesson will involve using both the textbook and also free-writing.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.
基本的な文法の復習を通してより正確な英文を書けるようにすることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The lesson will involve using both the textbook and also free-writing.
At the beginning of the class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Explanation of Class Rules. You will write a brief self-introduction.
第2回	Unit 1	* Basics for English Composition
第3回	Unit 2	* What is a Paragraph?
第4回	Unit 3	* procedure/Process
第5回	Unit 4	* Chronological Order
第6回	Unit 5	* Spatial Order
第7回	Unit 6	* Graph Description
第8回	quiz	quiz
第9回	Unit 7	* Definition
第10回	Unit 8	* Illustration
第11回	Unit 9	* Classification
第12回	Unit 10	* Comparison and Contrast
第13回	Review	Review
第14回	Check	Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4 時間を標準とする】You are expected to preview each lesson, also do exercises assigned in the textbook.

【テキスト（教科書）】
5 Steps for Paragraph Writing, Akihiro Maeda, Junko Kono, Simon Fosati, Tsurumi Shoten, 2021, 2000 yen

【参考書】
Writing Series, Kerry Ito, Kenkyusha

【成績評価の方法と基準】
Class Work and Participation　30 %
Short Reports　30 %
Term-Examination 40 %

【学生の意見等からの気づき】
It is important for us to find interesting topics.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
The class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics and content-based writing.
· Reviewing basic grammatical structure in order to write more correctly and confidently.
· You can choose the most appropriate type of essay.
Grading:
Class Work and Participation　30 %
Short Reports　30 %
Term-Examination 40 %

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

乾　展子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。
また、ライティングの字句や文章の推敲のスキル、徹底的に、かつ客観的に文章を読み、間違いを見つける校正のスキルも学習します。この学習を通して，アカデミック・ライティングの構成、表現ルール、情報内容を理解し実践できることを目指します。またアカデミック・ライティングにおける、文章推敲・校正スキルを育成します。

【到達目標】
・アカデミック・ライティングの構成、表現ルール、情報内容を理解し実践できる。
・アカデミック・ライティングにおける、文章推敲・校正スキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。また、毎回の授業で課題を提出してもらい、学習内容の定着を目指した小テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容および進め方の説明
第2回	Unit 1	エッセイ（essay）の重要な特徴を学ぶ
第3回	Unit 3	序論（introduction）の役割を学ぶ
第4回	序論の執筆	実際にテーマを決め序論を書く
第5回	Unit 4（1）	本論（body）の構造を学ぶ
第6回	Unit 4（2）	本論（body）の構造を学ぶ
第7回	本論の執筆	前回決めたテーマでの序論に続く本論を書く
第8回	Unit 5	結論部（conclusion）のまとめ方を学ぶ
第9回	結論の執筆	前回決めたテーマでの序論・本論に続く結論を書く
第10回	Unit 6	フィードバックについて学ぶ
第11回	序論・本論・結論の修正	フィードバックをもとに自分の原稿を修正する。
第12回	Unit 2	タイトルの付け方について学ぶ
第13回	Unit 7	最終原稿の仕上げ方を学ぶ
第14回	essayの形にまとめる	タイトルをつけ、序論・本論・結論からなる1つのエッセイにまとめる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
当該授業で扱う箇所のテキスト内容を予習すること。
2Unit毎で小テストを行うので、復習してください。

【テキスト（教科書）】
深山晶子 /幸重美津子 /尾鍋智子 /村尾純子 /Ashley Moore 著『3-Point Academic Writing: Organization, Content, Language　3つの要素で学ぶアカデミック・ライティングの基本』（金星堂）

【参考書】
必要に応じて適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
エッセイ 50％、課題 30%、小テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく４回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に指示のある時以外に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
In addition, students will also learn the skills of lexical and textual elaboration and proofreading skills to find errors by reading the text thoroughly and objectively.
[Learning Objectives]
Through these learning experiences, students can understand the structure, conventions of expression, and information content of academic writing and use the skills.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please check the lesson content. There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (50%), assignments (30%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

尾関　裕子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身に着け、エッセイ・ライティング、アカデミックライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
基本的論理展開に必要な考え方・表現・文法を確認し、典型的なエッセイの論理展開の理解を深め、実際にエッセイを書けるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
毎回テキストのchapter 1つを進めます。テキストのエクササイズを実施のうえ各自のオリジナルな文章を作り提出します。提出されたものは採点されたうえで返却されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Daily lives	日常生活のなかで起きた事柄を羅列するのではなく、ひとつのパラグラフを成立するエッセイとしてまとめる。
2	2.Documents	フォーマットのある書類に記入するスタイルで書類をまとめる（履歴書の作成など。）
3	3.Basic communication	メッセージを相手に伝える文章を作成する（e-mailなど）。
4	4. Travel	「場所」に関する情報を与える文章を作成する。
5	5. What's he like?	人物を説明する文章を作る。（姿、性格など）
6	6. What's the difference?	比較するという手段を用いて事柄を説明する文章を作る。
7	7. How do you do that？	あることを成し遂げるための指示を与える文章を作る。
8	8. What do you think？	意見を述べる文章を作成する。
9	9. What are the facts？	データを使用して起きた事柄を述べる文章を作る。
10	10. What's a paragraph?（1）	パラグラフにおけるトピックセンテンス作成する術を確認する。
11	11. What's a paragraph?(2)	パラグラフにおける支持文、結論文を作成する術を確認する。
12	12. Persuasive paragraphs	自分の意見に賛同してもらえるような説得力のある文を作る。
13	13. The five-paragraph essay(1)	エッセイのテーマの述べ方を確認する。
14	14. The five-paragraph essay(2)	エッセイの導入と結論の述べ方を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、４時間を標準とする】授業相当範囲の問題、読解用英文などエクササイズは予習しておくようにします。

【テキスト（教科書）】
Simply Writing（Diane Hawley Nagatomo著）金星堂2,300円

【参考書】
「日本人に共通する英語のミス」（The Japan Times)ほか。授業時に必用に応じて紹介します

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業時提出物回数・予習など授業への参加姿勢）４０％
提出物への評価及び小テスト６０％
提出物は授業時内に提出することを基本とします。病欠、公欠といった証明できる欠席については後日の提出を認めますが、それ以外の欠席については後日の提出は認められません。
遅刻、早退などは二回で一回の欠席と数える。成績評価を受けるには授業の三分の二は出席のこと。遅延証明の有効は３回までです。
授業時には電子辞書の使用は認められるが、パソコンや携帯電話の使用は禁止。

【学生の意見等からの気づき】
黒板に書かれる学生の作文を直すだけでは個々人の問題点をなかなか発見しずらいですので、各授業の終わりには課題にそった英文を提出していただき、個々の問題点を指摘できるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞書

【その他の重要事項】
授業内に、英文によるライティングを実施し提出します。辞書を使用しますので忘れずに持参のこと。スマートフォンやパソコンの使用は禁じます。
出席が不足すると授業時提出物の回数も不足しますので気をつけましょう。
基本となるひとつずつの英文が正確であることが求められます。語彙、文法などこれまで学んだことを活かし、まずは正確な（相手に理解される）英文を作る努力をしましょう。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Class are leveled and enrollment held to to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
*Learning Objectives: to develop strategies for writing.
*Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
*Your overall grade in the class will be decided based on the following. quiz, assignment 60%;in-class contribution 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

磯部　芳恵

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
This subject aims to improve students' overall confidence in communicating and writing skills. It also aims at improving their listening skills by using the textbook for TOEIC.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Exercises will be done both in class and as homework. Students will give a presentation at the end of the semester.
The first language of the classroom is English.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanation by the teacher
2. pair and group practice
3. writing essays
4. presentation

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション Unit 1 Things Happen for a Reason	授業の進め方と評価、プレゼンテーションのについて説明する。
第2回	Unit 1 Things Happen for a Reason	原因・結果を論じるパラグラフの書き方。
第3回	Unit 2 Same or Different?	比較・対照するパラグラフの書き方。
第4回	Unit 2 Same or Different?	比較級を用いて比較したり、用いないで比較を表す表現。
第5回	Review &Presentation	Unit 1のテーマでまとめたパラグラフを発表する。
第6回	Unit 3 Here's What I Think	意見を述べるパラグラフの書き方。
第7回	Unit 3 Here's What I Think	不定詞の用法とExercise。
第8回	Unit 4 Sorting Things Out	物事を分類するパラグラフの書き方。
第9回	Unit 4 Sorting Things Out	受動態とExercise.
第10回	Review	Unit 2 のテーマでまとめたパラグラフの発表。
第11回	Unit 5 Step by Step	製造工程を述べるパラグラフの書き方。
第12回	Unit 5 Step by Step	時を表す表現とExercise。
第13回	Review	Unit 3 のテーマでまとめたパラグラフの発表。
第14回	Wrap-up	まとめとリスニングテスト。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1.Reading and Grammar: Preparation for the passage and writing strategy (2-4 hours every three weeks)
2. Writing: Preparation for the paragraph　writing sections of the textbooks.(2-4 hours every three weeks)
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Jigsaw　Insightful Reading to Successful Writing(センゲージラーニング）2,15円。
『TOEIC TEST リスニング　スピードマスター』（ＪリサーチＰ出版）1,400円

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on participation in class activities(30%), in-class end-of-term test(30%), homework(30%), assignments(10%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーでよいものは授業で発表し活用する。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。欠席は減点になります。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
This subject aims to improve students' overall confidence in communicating and writing skills. It also aims at improving their listening skills by using the textbook for TOEIC.
This is a hybrid class, we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Exercises will be done both in class and as homework. Students will give a presentation at the end of the semester.
The first language of the classroom is English.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanation by the teacher
2. pair and group practice
3. writing essays
4. presentation
Grading will be based on participation in class activities(30%), assignments(30%), presentations(10%) and homework(30%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
Students will be able to create accurate simple, compound and complex sentences. Students will be able to punctuate these sentences. Students will be able to use reference accurately. Students will be able to outline, organise and write viable paragraphs. Students will acquire the vocabulary necessary to understand further feedback and instruction to enable ongoing instruction in writing in English.
Students will be introduced to specific discreet skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Students will be introduced to specific discrete writing skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation: Writing Skills 1-3 :	Orientation - Class rules and grading criteria Simple Sentences &Elements of a paragraph Outside Class - Subject-Verb agreement
2	Skills 4-6	Capitalisation Rules 1 & Punctuation 1 Outside Class - Consistent pronoun use
3	Skills 7-8	Avoiding run-ons and comma splices &Avoiding sentence fragments Outside Class - Simple editing task
4	Skills 9-11	Topic sentences &Supporting sentences Outside Class - Concluding sentences
5	Skill 12	Sentences with Relative Clauses
6	Skills 13-15	Simple vs Compound sentences Complex sentences Outside Class - Sentence Combination
7	Skills 19-20, 16	Transition Words: Chronological order &Verb tense consistency Outside Class - Giving specific examples MID-SEMESTER ASSIGNMENT
8	Skills 17-18, 20	Punctuation 2 and Capitalisation 2 Outside Class - Verb Tense Consistency
9	Skills 22-24	Outlines &Facts vs Opinions Outside Class - Review of Simple, Compound and Complex sentences
10	Skills 25-26, 29	Contrasting opinions and contrast transitions Outside Class - Review Combining sentences
11	Skills 28,31	Writing for an academic audience Transitions of opinion and conclusion
12	Skills 21 &30	Giving specific examples 2 and Irrelevant vs relevant information
13	Skill 32	The essay Outside Class - Outline
14	FINAL WRITTEN REVIEW TEST	WRITTEN TEST &FEEDBACK ON FINAL ASSIGNMENT

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some preparation and testing of understanding will be done outside of the classroom, recorded by means the Learning Management System. Feedback on performance will be available to students.
Two written assignments will be assigned to test students ability to integrate skills in writing longer texts.

【テキスト（教科書）】
Skills For Effective Writing 2, (Cambridge University Press, 2013) ￥2,600 before tax. ISBN 978-1-107-61353-9

【参考書】
No specific reference.

【成績評価の方法と基準】
First Assignment 15%
Final Assignment 30%
Final Review Test 35%
Participation 20%

【学生の意見等からの気づき】
Greater emphasis will be placed on developing student's ability to produce longer form writing as essays.

【学生が準備すべき機器他】
A computer or cellphone will be needed to access the Learning Management system for work outside class.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Students will be able to create accurate simple, compound and complex sentences. Students will be able to punctuate these sentences. Students will be able to use reference accurately. Students will be able to outline, organise and write viable paragraphs. Students will acquire the vocabulary necessary to understand further feedback and instruction to enable ongoing instruction in writing in English.
Students will be introduced to specific discreet skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.
Some preparation and testing of understanding will be done outside of the classroom, recorded by means the Learning Management System. Feedback on performance will be available to students.
Two written assignments will be assigned to test students ability to integrate skills in writing longer texts.
First Assignment 15%
Final Assignment 30%
Final Review Test 35%
Participation 20%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

村上　弥生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
大学生は、すでにかなりの文法、語彙を知識として蓄えながらも、実際には頭のどこか深くにしまいこみ、不安定なスキルとなり、発信する英語に生かせないことが多い。翻訳ツールの生成した英語、さらには元となる日本語の適切さを確認する作業も随時行いながら、重要な文法・表現・語彙の固定化を行う。
そのうえで、大学生にふさわしいやや高度なトピックについて、自分の集めた情報、考えをまとめて、効果的な短いエッセイを作成する力を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
①ネット等から、講師、もしくは学生さん個々人が選んだテーマについて、短いニュース記事を授業内に読む。その過程で注意すべき文法、重要な表現などをクラスで学んでいく。
②①で紹介されたニュースについてクラス全体でBrain Stormingを行う。ニュースと関連した情報、連想される問題や事象をその場で自由に出し合い、視野を広げる。その過程で、関連する基本的な英語表現を身に着ける。
③　①,②で紹介されたニュースやブレインストーミングから着想を得て、各自簡単なリサーチを行い、また自由にテーマを設定し、エッセイを書くと仮定して、第一パラグラフを書く。その過程で効果的な段落構成、エッセイ作成の基本を学ぶ。
④学期終了前に、③で書いた第一段落から一つ選び、簡単なリサーチを行ってエッセイ全体を作成する。
⑤　一つ一つのセンテンスを正確に作成する訓練の一環として、頻繁に英作文の小テストや課題を行う。
⑥　③、④については、クラスでの講評、教員からのアドバイスを受けて、1～2回修正、書き直しを行い完成作品とする。
授業は基本的に対面で行う。しかし、情勢や授業の進捗状況に合わせてオンラインに変更されることもあるので、随時学習支援システムで確認されたい。
授業計画に示している題材は、昨年度の例であるので、今年度はまた異なるトピックを選ぶことになる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の説明 受講生各自の自己紹介など
第2回	ニュースの紹介 Furry　Slippers and Sweatpants: Young Chinese Embrace 'Gross Outfits'あtWork-1(昨年度の例）競争社会への静かな抵抗	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第3回	Gross Outfits at Work-2 brain storming	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第4回	Gross Outfits at Work-３	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第5回	Gross Outfits at Work-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第6回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1 国家が強制するボランティア活動	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第7回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第8回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第9回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第10回	Eco-anxiety－1 (気候変動と環境不安）	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第11回	Eco-anxiety-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第12回	Eco-anxiety-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第13回	Eco-anxiety-4	第一段落の発表、総評
第14回	エッセイの準備と発表、講評	上記三つの大罪のうち一つを選択し各自エッセイを作成する本格的準備と指導

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

毎週、ないし隔週で、授業で紹介されたニュースやbrain storming から着想を得てテーマを設定し、簡単なリサーチを行ったり、第一パラグラフを作成する。
教師の指示に従ってパラグラフの書き直しを行う。
また、授業で得た英語表現の知識をもとに、正確なセンテンスの作成の練習を行う。
学期中に1－2回程度作成するエッセイについて、より詳しいリサーチなどを行い充実したエッセイを書く。また教師やクラスでの検討を経て、エッセイの再作成を行う。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
特になし。ネットで視聴可能なものを教師が指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組み(ニュース、リサーチの発表、ブレインストーミングへの貢献など)（30％）小テスト（20％)、英文エッセーの作成の過程（50％）

【学生の意見等からの気づき】
各受講生の様々な意見や情報をクラス全体で共有することが豊かな経験だったという言葉が多く聞かれるが、同時に翻訳ツールに英語を、またAIにリサーチを頼りすぎてしまうという反省意見も聞かれ、また教師として課題提出物をを確認する際に同感する場面も多い。日本語、英語ともに何を言語で表現したいのか、絶えず問い返していく試みを多くし、一文、一文、また段落構成としても適切なものが作成できるような訓練を積み重ねていきたい。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning Objectives
Activities in the course are designed to meet two goals. Firstly, students will acquire a solid basis required for constructing accurate sentences through expressing information and ideas in English and being given feedback from the instructor in each class. Secondly, students will acquire the basic skill of writing English essays effectively by constantly writing paragraphs based on a variety of topics and research.
Learning activities outside of the classroom
Students will be expected to do one or two preparations in the following list before each class. 1.Browse news websites created for English learners and select some stories. 2.Summarize one of those stories to be shared in class. 3.Do research to collect relevant information and/or shape your opinions. 4.Write first paragraphs. After each class, students will be expected to do some of the following tasks. 1.Rewrite first paragraphs following suggestions from the instructor 2. Research more extensively or in a more focused manner. 3.Write short essays or rewrite them following instructions from the instructor. 4.Review useful expressions and grammatical knowledge acquired in each class meeting. Your required study time is at least four hours for each class meeting.
Grading Criteria
Your final grading will be decided based on contribution and active participation in activities held in the classroom such as brainstorming and exchange of ideas and information (30%,) sentence writing tests（20％）and the process of writing essays (50%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

長谷川　秀子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
授業では英語で自分の考えや、身の回りのことを話す、書くということから始め、英語のアカデミックライティングまでを学んでいく。”Output English”にフォーカスを置き、いままで学んだ"Input English"を使いながら、話す、書くを磨く。授業中は書く時間やミニプレゼンテーションの時間をとる。このクラスは少人数構成が望ましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや課題などからからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
教科書を使いながら英文の書き方を学び、トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。オリエンテーションで教科書の使い方、準備すべきことを説明の予定。1つのユニットを大体2回で終わるように授業を行うが、教科書以外の内容もカバーする予定。クラスの中で書いたり、発表する時間には積極的な参加を望む。
フィードバックに関しては質問、提出物からまとめてクラスで口頭、又はファイルを見ながら行う。授業内容の変更などは講義連絡を通じて連絡をするので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	テキストの使い方と授業準備授業の進め方の説明 Writing
第2回	Unit 1 (1) Mini presentation	What is a Paragraph?
第3回	Unit 1 (2)	What is a Paragraph? Writing
第4回	Unit 2 (1) Mini presentation	Narration Writing
第5回	Unit 2 (2)	Narration Writing
第6回	Unit 3 (1) Mini presentation	Mini presentation Process Writing
第7回	Unit 3 (2)	Process Writing
第8回	Unit 4 (1) Mini presentation	Description of Feelings Writing
第9回	Unit 4 (2)	Description of Feelings Writing
第10回	Unit 5 (1) Mini presentation	Description of People Writing
第11回	Unit 5 (2)	Description of People Writing（1） Outline
第12回	Unit 6	Description of Places &Locations Writing（2） Introdection, Body
第13回	Unit 7	Definition Writing（3） Conclusion, Refererences
第14回	Term Review and Exam	復習と試験 試験範囲　Unit 1-6

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1.5時間程度を標準とする】
各ユニットの項目を理解すること。課題などのWriting, ミニプレゼンの用意をする。

【テキスト（教科書）】
はじめてのパラグラフ・ライティング
”Smart Writing”
Active Approach to Paragraph Writing
By Miyako Nakaya, Manabu Yoshihara, Ruth Fallon (2017)
SEIBIDO
ISBN978-4-7919-6032-3

【参考書】
必要に応じて授業、学習主演システムで紹介。

【成績評価の方法と基準】
ミニプレゼンテーション、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
担当者の連絡先はオリエンテーションで連絡。
授業では辞書が必要なので用意をしておくこと。
学習支援システムで連絡、確認事項、授業資料などを確認すること。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students’ basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Goals: We focus on "Output English" using "Input English" you have already leaned, and practice expressing yourself (speaking and writing) and your opinions in English.
Work outside of the classroom:　Understand each unit’s contents, complete homework and prepare for mini presentations.
Grading: Assignment mini presentation 50%
Term Exam 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
Students will learn and develop academic reading in English.
Students will expand their vocabularies and understanding of English Grammar.
Students will participate in read and analyse English texts as individuals and as a class.
Students will submit brief written assignments and tests in English based on class topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted either on the Hoppii system or annotated on email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Overview	Class introduction and theme overview Academic Reading I review. Assessment methods and grading
2	Unit 1: Social relationships	The ape in the office Gender in the Wild
3	Unit 2: Science and Investigation	Tech detectives King Tut's family secrets
4	Unit 3: City Solutions	The City Solution Urban Visionary
5	Unit 4: Danger Zone	Scientists Seek Foolproof Signal to Predict Earthquakes, Birds May Have Sensed Severe Storm Days in Advance When Yellowstone Explodes
6	Unit 5: The Travel Business	One on One: Jonathan Tourtellot Ecotourism
7	Midterm review	Review of key vocabulary, grammar and reading skills
8	Unit 6: Information Design	Infographics Even Graphics Can Speak with a Foreign Accent
9	Unit 7: Global Challenges	Seven Things to Know About Climate Change Nine Ways to Make a Difference
10	Unit 8: Medical Innovations	The Method of Medicine Regenerative medicine
11	Unit 9: World Languages	English in Decline as a First Language, Study Says, Language Death
12	Unit 10: Survival Instinct	K2: Danger and Desire on the Savage Mountain Traveler of the Year
13	Group study	group study and final test preparation
14	Final test	Final test to make up 30%of grade.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. I may also assign questions and short quizzes based on texts related to class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
Pathways 3, Reading, Writing, and Critical Thinking, Second Edition
Colleen Sheils ISBN: 9781337625128

【参考書】
Please see Hoppii for additional supplements and aids.

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on

an understanding of paragraph structure. This class aims to improve students' accuracy and confidence in reading English academic texts. By using the textbook and additional reading resources as a starting point, this class encourages students to expand their vocabularies and understanding of different grammatical structures to enhance their overall comprehension skills. Students are expected to spend 4 hours per week completing homework assignments and additional self-study to reinforce their classroom learning. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

FRITZ Erik

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
・明確な目的を持って特定の読者に向けて適切な語彙とスタイルで書くことができる。
・論理構成や段落分けを理解し簡潔で効果的な文章で書くことができる。
・書くプロセス（planning, outlining, drafting）に沿って書けるようになる。
・剽窃(plagiarism)を避けるために様々な引用の仕方を理解し使えるようになる。
・クラスメートのエッセイを読み直し、編集できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・授業計画に従い、グループワークやディスカッションを盛り込み、参加型の授業を実施する。具体的には、ライティングの演習問題を、グループワークで実施し、クラス内で発表し相互理解を深める。ピア編集を活用し、お互いの書いたものを校正、編集し、ライティングスキルの向上につなげる。また、教員による個別フィードバックがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Explanation of syllabus &course introduction Introduction to fluency writing
第2回	Paragraph writing	Fluency writing How to write paragraphs Formatting guidelines and avoiding plagiarism
第3回	Paragraph writing	Fluency writing Learn how to reference your sources
第4回	Paragraph writing	Fluency writing Start Writing #1
第5回	Paragraph writing	Fluency writing Finish &turn in Writing #1 at the end of class
第6回	Paragraph writing	Fluency writing Revise Writing #1
第7回	Essay writing	Fluency writing Finish &turn in Revised Writing #1 at the beginning of the class Brainstorming Write 2 arguments &1 counter argument
第8回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 1
第9回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 2
第10回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 3
第11回	Essay Writing	Fluency writing Introduction &conclusion
第12回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 rough draft due at the end of class
第13回	Essay writing	Fluency writing Revise Writing #2
第14回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 final draft due at the end of the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間程度を標準とする】
・ライティング課題は、全て、初稿提出⇒ピア編集⇒書き直し⇒最終稿提出で進んでいくので、期限までに初稿、最終稿を提出すること。
・リサーチのテーマに沿って、様々なリーディング素材を英語で読みながらまとめていくので、しっかりと事前準備をして進めていくこと。

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by the professor online.

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
・ライティング課題 ７０％　（パラグラフ２０％、エッセイ４０％、 Fluency １０％）
・ピア編集、ピアフィードバック等を含む、クラス内課題取り組み状況　３０％
※上記の評価に加え、欠席１回につき２％減、遅刻１回につき１％減とする。
※交通機関の乱れによる遅刻については、遅延証明がある場合は考慮する。
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
Students need to bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【その他の重要事項】
・授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The course is designed to help students develop skills to communicate effectively in writing. Students will practice group writing assignments that require planning, drafting, revising and editing.
By the end of the course, students will be able to: 1) write for a clear purpose and to a specific audience, using appropriate word and style choices, 2) understand the planning, outlining and drafting process, 3) integrate sources accurately and effectively, 4) write in the style of an English-language academic essay, 5) read and edit their essays in order to improve them.
Each week students will be expected to spend four hours outside of class preparing for their writing assignments.
Final grades will be based on class participation (30%) and writing assignments (70%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALDER mark

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure.　By the end of this course, students will understand how and why to write different types of essays as well as how to complete a finished high quality paper.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on.　Essays topics will be mostly chosen from the student's major.　Feedback will be given one to one and as a class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to academic writing	Introduce the class content, expectations and offer guidance.
2	How to write essays 1	Discussion of writing for different purposes, and a variety of pre-writing techniques.
3	How to write essays 2	An introduction of several various kinds of essays. Students will practice writing introductions and conclusions.
4	Description essay 1	Students will be introduced to the basic skills for writing descriptive essays and start writing their first draft.
5	Descriptive essay 2	Students will receive their opinion essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
6	Opinion essay 1	Students will understand the basics of writing an opinion essay and be given some class time to write.
7	Opinion essay 2	Students will receive their opinion essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
8	Cause effect essay 1	Students will understand the basics of writing a cause and effect essay and be given some class time to write.
9	Cause and Effect Essay 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
10	Ted Talk-writing	Students will understand the basics of writing through watching a Ted talk on the topic of academic writing.
11	DVD-social issues	Students will work in teams to create a coherent narrative on the topic of harrassment after watching a DVD
12	Writing Problem Solution 1	Students will understand the basics of writing a summary and be given some class time to write *with no tech support.
13	Writing Problem Solution 2	Students will receive their essays back and will create an AI version of their essay and then create a hybrid finished draft
14	Final Presentation	Students will be asked to choose an essay style and write a coherent, structurally sound essay on a topic related to their major.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments as well as self-editing tasks.

【テキスト（教科書）】
None

【参考書】
Ready to Write More. Karen Blanchard. Longman Press.
Academic Writing 2. Oxford Press

【成績評価の方法と基準】
Course Essays-75%
Final essay-25%

【学生の意見等からの気づき】
Based on the student evaluations, no changes will be made.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionary, notebook

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating into English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure. By the end of this course, students will understand how and why to write different kinds of essays and how to turn their essay into a power point oral presentation.
Learning objectives outside of class will be to use the library and internet to effectively research current topics related to their majors. Also, video will be watched and summarized.
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on. Essays topics will be mostly chosen from the student's major. Feedback will be given one to one and as a class.
Grading:
Essays-75%
Final Essay/presentation-25%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

尾関　裕子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身に着け、エッセイ・ライティング、アカデミックライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
基本的論理展開に必要な考え方・表現・文法を確認し、典型的なエッセイの論理展開の理解を深め、実際にエッセイを書けるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回テキストのchapter 1つを進めます。テキストのエクササイズを実施のうえ各自のオリジナルな文章を作り提出します。提出されたものは採点されたうえで返却されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Daily lives	日常生活のなかで起きた事柄を羅列するのではなく、ひとつのパラグラフを成立するエッセイとしてまとめる。
2	2.Documents	フォーマットのある書類に記入するスタイルで書類をまとめる（履歴書の作成など。）
3	3.Basic communication	メッセージを相手に伝える文章を作成する（e-mailなど）。
4	4. Travel	「場所」に関する情報を与える文章を作成する。
5	5. What's he like?	人物を説明する文章を作る。（姿、性格など）
6	6. What's the difference?	比較するという手段を用いて事柄を説明する文章を作る。
7	7. How do you do that？	あることを成し遂げるための指示を与える文章を作る。
8	8. What do you think？	意見を述べる文章を作成する。
9	9. What are the facts？	データを使用して起きた事柄を述べる文章を作る。
10	10. What's a paragraph?（1）	パラグラフにおけるトピックセンテンス作成する術を確認する。
11	11. What's a paragraph?(2)	パラグラフにおける支持文、結論文を作成する術を確認する。
12	12. Persuasive paragraphs	自分の意見に賛同してもらえるような説得力のある文を作る。
13	13. The five-paragraph essay(1)	エッセイのテーマの述べ方を確認する。
14	14. The five-paragraph essay(2)	エッセイの導入と結論の述べ方を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】授業相当範囲の問題、読解用英文などエクササイズは予習しておくようにします。

【テキスト（教科書）】
Simply Writing（Diane Hawley Nagatomo著）金星堂2,300円

【参考書】
「日本人に共通する英語のミス」（The Japan Times)ほか。授業時に必用に応じて紹介します

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業時提出物回数・予習など授業への参加姿勢）４０％
提出物への評価及び小テスト６０％
提出物は授業時内に提出することを基本とします。病欠、公欠といった証明できる欠席については後日の提出を認めますが、それ以外の欠席については後日の提出は認められません。
遅刻、早退などは二回で一回の欠席と数える。成績評価を受けるには授業の三分の二は出席のこと。遅延証明の有効は３回までです。
授業時には電子辞書の使用は認められるが、パソコンや携帯電話の使用は禁止。

【学生の意見等からの気づき】
黒板に書かれる学生の作文を直すだけでは個々人の問題点をなかなか発見しずらいですので、各授業の終わりには課題にそった英文を提出していただき、個々の問題点を指摘できるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞書

【その他の重要事項】
授業内に、英文によるライティングを実施し提出します。辞書を使用しますので忘れずに持参のこと。スマートフォンやパソコンの使用は禁じます。
出席が不足すると授業時提出物の回数も不足しますので気をつけましょう。
基本となるひとつずつの英文が正確であることが求められます。語彙、文法などこれまで学んだことを活かし、まずは正確な（相手に理解される）英文を作る努力をしましょう。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Class are leveled and enrollment held to to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
*Learning Objectives: to develop strategies for writing.
*Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
*Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Quiz, assignment 60%;in-class contribution 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

早舩　由紀見

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
アカデミックライティングの手法を身につけ、400ワード程度の英語論文を完成させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行い、英語論文ライティングの手法を学ぶ。
学んだ手法を使って、授業中に英文を作成する。
英文作成に必要な文法事項の復習を、クイズ形式で行う。
提出された英文については、次の授業で返却し、各自フィードバックを行うほか、授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	What is Academic Writing	論文の構成を知る。
第2回	Choosing a topic	自分の書く論文のテーマを様々な手法で絞りこむ。
第3回	How to find resources	参考文献の役割、探し方について知る。
第4回	Taking Notes	参考文献の記録方法について知る。
第5回	Plagiarism	盗作、盗用の定義を知る。
第6回	In-text Citations	盗作とならないように、参考文献を自分の論文内に引用する方法を学ぶ。
第7回	Planning and Writing an Outline	自分の論文の概要を作成する。
第8回	Main ideas and supporting ideas	論文の本文の構成を学ぶ。
第9回	Topic Sentences and Paragraphs Developing Supporting Ideas and Detail	本文の書き方を学ぶ。
第10回	Introductions Conclusions	イントロダクションと結論について学び、実際に書く。
第11回	Proofreading	自分の書いた英文を校正する。 他人の書いた英文を校正する。
第12回	論文概要完成	作成する論文の概要を完成させる。
第13回	論文完成	学んだことをふまえて、英語論文を完成させる。
第14回	論文評価	完成した論文を評価する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】英文読解、英作文、文法、ボキャブラリーの習得。

【テキスト（教科書）】
指定教科書なし。

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度：20%
授業内演習および宿題提出：20%
論文：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
提出された英作文へのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】
ノートPC必須

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment is held to approximately 20 students to maximize teaching effectiveness.
【Learning Objectives】
To complete an academic paper of around 400 words on the topic students' choose by themselves after learning how to write it in the class.
【Learning activities outside of classroom】
- Review of the class
- Assignments
- Next class preparation
【Grading Criteria/Policy】
Active participation in class 20%
Assignments in the class and after the class 20%
Complete academic paper submission 30%
Final test 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALDER mark

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure.　Students will be able to understand how and why to write different types of essays as well as how to turn their essay into a power point presentation.
Grading:
Essays and in class assignments 75%
Final essay and presentation 25%

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on.　Essays topics will be mostly chosen from the student's major.　Feedback will be given one to one and as a class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to academic writing	Introduce the class content, expectations and offer guidance.
2	How to write essays 1	Discussion of writing for different purposes, and a variety of pre-writing techniques.
3	How to write essays 2	An introduction of several various kinds of essays. Students will practice writing introductions and conclusions.
4	Description Essay 1	Students will be introduced to the basic skills for writing descriptive essays and start writing their first draft.
5	Descriptive Essay 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
6	Opinion Essay 1	Students will understand the basics of writing an opinion essay and be given some class time to write.
7	Opinion Essay 1	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
8	Cause and Effect Essay 1	Students will understand the basics of writing a cause and effect essay and be given some class time to write.
9	Cause and Effect Essay 2	Students will receive their essays back and will engage in self and peer editing to create a finished draft.
10	Ted talk- writing	Students will understand the basics of writing through watching a Ted talk on the topic of academic writing
11	DVD- social issues	Students will work in teams to draft a coherent narrative on the topic of workplace harrassment, after watching a DVD.
12	Writing Problem Solution1	Students will understand the basics of writing a summary and be given some class time to write * with no tech support.
13	Writing Problem Solution 2	Students will receive their essays back and will create an AI version of their essay and then create a hybrid finished draft
14	Final Presentation 1	Students will be asked to choose an essay style and write a coherent, structurally sound essay on a topic related to their major.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments not finished within the alloted time as well as self-editing tasks. Also creating a power point presentation for the final evaluation.

【テキスト（教科書）】
None

【参考書】
Ready to write more. Karen Blanchard. Longman Press.
Effective Academic writing. Oxford Press

【成績評価の方法と基準】
Essays and in class assignments 75%
Final essay and presentation 25%

【学生の意見等からの気づき】
From the student evaluations, there will be no adjustment this year.

【学生が準備すべき機器他】
Notebook, electronic dictionary/smartphone app

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing.　Attention will be paid to not merely translating into English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing.　Classes are leveled and enrolment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure.　By the end of this course, students will understand how and why to write different kinds of essays and how to turn their essay into a power point oral presentation.
Learning objectives outside of class will be to use the library and internet to effectively research current topics related to their majors. Also video will be watched and summarized.
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on.　Essays topics will be mostly chosen from the student's major.　Feedback will be given one to one and as a class.
Grading:
Essays and in class assignments-75%
Final Essay/presentation-25%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

尾関　裕子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身に着け、エッセイ・ライティング、アカデミックライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
基本的論理展開に必要な考え方・表現・文法を確認し、典型的なエッセイの論理展開の理解を深め、実際にエッセイを書けるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎回テキストのchapter 1つを進めます。テキストのエクササイズを実施のうえ各自のオリジナルな文章を作り提出します。提出されたものは採点されたうえで返却されます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1.Daily lives	日常生活のなかで起きた事柄を羅列するのではなく、ひとつのパラグラフを成立するエッセイとしてまとめる。
2	2.Documents	フォーマットのある書類に記入するスタイルで書類をまとめる（履歴書の作成など。）
3	3.Basic communication	メッセージを相手に伝える文章を作成する（e-mailなど）。
4	4. Travel	「場所」に関する情報を与える文章を作成する。
5	5. What's he like?	人物を説明する文章を作る。（姿、性格など）
6	6. What's the difference?	比較するという手段を用いて事柄を説明する文章を作る。
7	7. How do you do that？	あることを成し遂げるための指示を与える文章を作る。
8	8. What do you think？	意見を述べる文章を作成する。
9	9. What are the facts？	データを使用して起きた事柄を述べる文章を作る。
10	10. What's a paragraph?（1）	パラグラフにおけるトピックセンテンス作成する術を確認する。
11	11. What's a paragraph?(2)	パラグラフにおける支持文、結論文を作成する術を確認する。
12	12. Persuasive paragraphs	自分の意見に賛同してもらえるような説得力のある文を作る。
13	13. The five-paragraph essay(1)	エッセイのテーマの述べ方を確認する。
14	14. The five-paragraph essay(2)	エッセイの導入と結論の述べ方を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、４時間を標準とする】授業相当範囲の問題、読解用英文などエクササイズは予習しておくようにします。

【テキスト（教科書）】
Simply Writing（Diane Hawley Nagatomo著）金星堂2,300円

【参考書】
「日本人に共通する英語のミス」（The Japan Times)ほか。授業時に必用に応じて紹介します

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業時提出物回数・予習など授業への参加姿勢）４０％
提出物への評価及び小テスト６０％
提出物は授業時内に提出することを基本とします。病欠、公欠といった証明できる欠席については後日の提出を認めますが、それ以外の欠席については後日の提出は認められません。
遅刻、早退などは二回で一回の欠席と数える。成績評価を受けるには授業の三分の二は出席のこと。遅延証明の有効は３回までです。
授業時には電子辞書の使用は認められるが、パソコンや携帯電話の使用は禁止。

【学生の意見等からの気づき】
黒板に書かれる学生の作文を直すだけでは個々人の問題点をなかなか発見しずらいですので、各授業の終わりには課題にそった英文を提出していただき、個々の問題点を指摘できるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞書

【その他の重要事項】
授業内に、英文によるライティングを実施し提出します。辞書を使用しますので忘れずに持参のこと。スマートフォンやパソコンの使用は禁じます。
出席が不足すると授業時提出物の回数も不足しますので気をつけましょう。
基本となるひとつずつの英文が正確であることが求められます。語彙、文法などこれまで学んだことを活かし、まずは正確な（相手に理解される）英文を作る努力をしましょう。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Class are leveled and enrollment held to to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
*Learning Objectives: to develop strategies for writing.
*Before/After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
*Your overall grade in the class will be decided based on the following. Assignment, quiz 60%; in-class contribution 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

早舩　由紀見

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
アカデミックライティングの手法を身につけ、400ワード程度の英語論文を完成させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行い、英語論文ライティングの手法を学ぶ。
学んだ手法を使って、授業中に英文を作成する。
英文作成に必要な文法事項の復習を、クイズ形式で行う。
提出された英文については、次の授業で返却し、各自フィードバックを行うほか、授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	What is Academic Writing	論文の構成を知る。
第2回	Choosing a topic	自分の書く論文のテーマを様々な手法で絞りこむ。
第3回	How to find resources	参考文献の役割、探し方について知る。
第4回	Taking Notes	参考文献の記録方法について知る。
第5回	Plagiarism	盗作、盗用の定義を知る。
第6回	In-text Citations	盗作とならないように、参考文献を自分の論文内に引用する方法を学ぶ。
第7回	Planning and Writing an Outline	自分の論文の概要を作成する。
第8回	Main ideas and supporting ideas	論文の本文の構成を学ぶ。
第9回	Topic Sentences and Paragraphs Developing Supporting Ideas and Detail	本文の書き方を学ぶ。
第10回	Introductions Conclusions	イントロダクションと結論について学び、実際に書く。
第11回	Proofreading	自分の書いた英文を校正する。 他人の書いた英文を校正する。
第12回	論文概要完成	作成する論文の概要を完成させる。
第13回	論文完成	学んだことをふまえて、英語論文を完成させる。
第14回	論文評価	完成した論文を評価する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】英文読解、英作文、文法、ボキャブラリーの習得。

【テキスト（教科書）】
指定教科書なし。

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度：20%
授業内演習および宿題提出：20%
論文：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
提出された英作文へのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】
ノートPC必須

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment is held to approximately 20 students to maximize teaching effectiveness.
【Learning Objectives】
To complete an academic paper of around 400 words on the topic students' choose by themselves after learning how to write it in the class.
【Learning activities outside of classroom】
- Review of the class
- Assignments
- Next class preparation
【Grading Criteria/Policy】
Active participation in class 20%
Assignments in the class and after the class 20%
Complete academic paper submission 30%
Final test 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

磯部　芳恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
This subject aims to improve students' overall confidence in communicating and writing skills. It also aims at improving their listening skills by using the textbook for TOEIC.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Exercises will be done both in class and as homework. Students will give a presentation at the end of the semester.
The first language of the classroom is English.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanation by the teacher
2. pair and group practice
3. writing essays
4. presentation

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション Unit 1 Things Happen for a Reason	授業の進め方と評価、プレゼンテーションのについて説明する。
第2回	Unit 1 Things Happen for a Reason	原因・結果を論じるパラグラフの書き方。
第3回	Unit 2 Same or Different?	比較・対照するパラグラフの書き方。
第4回	Unit 2 Same or Different?	比較級を用いて比較したり、用いないで比較を表す表現。
第5回	Review &Presentation	Unit 1のテーマでまとめたパラグラフを発表する。
第6回	Unit 3 Here's What I Think	意見を述べるパラグラフの書き方。
第7回	Unit 3 Here's What I Think	不定詞の用法とExercise。
第8回	Unit 4 Sorting Things Out	物事を分類するパラグラフの書き方。
第9回	Unit 4 Sorting Things Out	受動態とExercise.
第10回	Review	Unit 2 のテーマでまとめたパラグラフの発表。
第11回	Unit 5 Step by Step	製造工程を述べるパラグラフの書き方。
第12回	Unit 5 Step by Step	時を表す表現とExercise。
第13回	Review	Unit 3 のテーマでまとめたパラグラフの発表。
第14回	Wrap-up	まとめとリスニングテスト。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1.Reading and Grammar: Preparation for the passage and writing strategy (2-4 hours every three weeks)
2. Writing: Preparation for the paragraph　writing sections of the textbooks.(2-4 hours every three weeks)
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Jigsaw　Insightful Reading to Successful Writing(センゲージラーニング）2,15円。
『TOEIC TEST リスニング　スピードマスター』（ＪリサーチＪ出版）1,400円

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on participation in class activities(30%), in-class end-of-term test(30%), homework(30%), assignments(10%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーでよいものは授業で発表し活用する。

【その他の重要事項】
・欠席は4回となった時点で単位取得の資格を失います。欠席は平常点から減点となります。病気等で欠席の場合、それを証明する書類を提出すること。
・音読やペア活動では、積極的に周囲と協力しながら行うこと。
・３０分以内の遅刻、早退は３回で１回とみなします。
・３０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。欠席は減点になります。
・授業態度の悪い者（携帯電話の使用、居眠り、私語、度重なる遅刻、ペア活動不参加など）は、減点の対象となるので注意すること。
・テキストは必ず購入すること。他人のテキストをコピーすることは認めません。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
This subject aims to improve students' overall confidence in communicating and writing skills. It also aims at improving their listening skills by using the textbook for TOEIC.
This is a hybrid class, we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Exercises will be done both in class and as homework. Students will give a presentation at the end of the semester.
The first language of the classroom is English.
Classroom methods include:
1. short lectures and explanation by the teacher
2. pair and group practice
3. writing essays
4. presentation
Grading will be based on participation in class activities(30%), assignments(30%), presentations(10%) and homework(30%).
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

村上　弥生

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
大学生は、すでにかなりの文法、語彙を知識として蓄えながらも、実際には頭のどこか深くにしまいこみ、不安定なスキルとなり、発信する英語に生かせないことが多い。翻訳ツールの生成した英語、さらには元となる日本語の適切さを確認する作業も随時行いながら、重要な文法・表現・語彙の固定化を行う。そのうえで、大学生にふさわしいやや高度なトピックについて、自分の集めた情報、考えをまとめて、効果的な短いエッセイを作成する力を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
①ネット等から、講師、もしくは学生さん個々人が選んだテーマについて、短いニュース記事を授業内に読む。その過程で注意すべき文法、重要な表現などをクラスで学んでいく。
②①で紹介されたニュースについてクラス全体でBrain Storming を行う。ニュースと関連した情報、連想される問題や事象をその場で自由に出し合い、視野を広げる。その過程で、関連する基本的な英語表現を身に着ける。
③　①,②で紹介されたニュースやブレインストーミングから着想を得て、各自簡単なリサーチを行い、また自由にテーマを設定し、エッセイを書くと仮定して、第一パラグラフを書く。その過程で効果的な段落構成、エッセイ作成の基本を学ぶ。
④学期終了前に、③で書いた第一段落から一つ選び、簡単なリサーチを行ってエッセイ全体を作成する。
⑤　一つ一つのセンテンスを正確に作成する訓練の一環として、頻繁に英作文の小テストや課題を行う。
⑥　③、④については、クラスでの講評、教員からのアドバイスを受けて、1～2回修正、書き直しを行い完成作品とする。
授業は基本的に対面で行う。しかし、情勢や授業の進捗状況に合わせてオンラインに変更されることもあるので、随時学習支援システムで確認されたい。授業計画に示している題材は、昨年度の例であるので、今年度はまた異なるトピックを選ぶことになる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の説明 受講生各自の自己紹介など
第2回	ニュースの紹介 Furry　Slippers and Sweatpants: Young Chinese Embrace 'Gross Outfits' あtWork-1(昨年度の例) 競争社会への静かな抵抗	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第3回	Gross Outfits at Work-2 brain storming	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第4回	Gross Outfits at Work-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第5回	Gross Outfits at Work-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第6回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1 国家が強制するボランティア活動	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第7回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第8回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第9回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第10回	Eco-anxiety－1 (気候変動と環境不安)	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第11回	Eco-anxiety-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第12回	Eco-anxiety-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第13回	Eco-anxiety-4	第一段落の発表、総評
第14回	エッセイの準備と発表、講評	上記三つの大罪のうち一つを選択し各自エッセイを作成する本格的準備と指導

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎週、ないし隔週で、授業で紹介されたニュースやbrain stormingから着想を得てテーマを設定し、簡単なリサーチを行ったり、第一パラグラフを作成する。
教師の指示に従ってパラグラフの書き直しを行う。
また、授業で得た英語表現の知識をもとに、正確なセンテンスの作成の練習を行う。
学期中に1－2回程度作成するエッセイについて、より詳しいリサーチなどを行い充実したエッセイを書く。また教師やクラスでの検討を経て、エッセイの再作成を行う。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
特になし。ネットで視聴可能なものを教師が指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組み(ニュース、リサーチの発表、ブレインストーミングへの貢献など)（30％）小テスト（20％）、英文エッセーの作成の過程（50％）

【学生の意見等からの気づき】
各受講生の様々な意見や情報をクラス全体で共有することが豊かな経験だったという言葉が多く聞かれるが、同時に翻訳ツールに英語を、またAIにリサーチを頼りすぎてしまうという反省意見も聞かれ、また教師として課題提出物をを確認する際に同感する場面も多い。日本語、英語ともに何を言語で表現したいのか、絶えず問い返していく試みを多くし、一文、一文、また段落構成としても適切なものが作成できるような訓練を積み重ねていきたい。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning Objectives
Activities in the course are designed to meet two goals. Firstly, students will acquire a solid basis required for constructing accurate sentences through expressing information and ideas in English and being given feedback from the instructor in each class. Secondly, students will acquire the basic skill of writing English essays effectively by constantly writing paragraphs based on a variety of topics and research.
Learning Activities Outside of Class

Students will be expected to do one or two preparations in the following list before each class. 1.Browse news websites created for English learners and select some stories. 2.Summarize one of those stories to be shared in class. 3.Do research to collect relevant information and /or shape your opinions. 4.Write first paragraphs. After each class, students will be expected to do some of the following tasks. 1.Rewrite first paragraphs following suggestions from the instructor 2. Research more extensively or in a more focused manner. 3.Write short essays or rewrite them following instructions from the instructor. 4.Review useful expressions and grammatical knowledge acquired in each class meeting. Your required study time is at least four hours for each class meeting.
Grading Criteria
Your final grading will be decided based on contribution and active participation in activities held in the classroom such as brainstorming and exchange of ideas and information (30%,) sentence writing tests（20％）and the process of writing essays (50%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
※このクラスは補講クラスです。学生証番号が「24」から始まる新入生はこのクラスには原則参加出来ません。指定されたクラスで履修するようにして下さい※
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，全回対面としますが、必要に応じてオンラインを使用します。詳細は学習支援システムより連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance／第１回課題の提示	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、第１回課題を説明します。
2	Unit1: No Moon at All (1)	月が地球にもたらす影響に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
3	Unit1: No Moon at All (2)	月が地球にもたらす影響に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
4	Unit2: Tackling Violent Wildfires (1)	山火事に対する科学的対策に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
5	Unit2: Tackling Violent Wildfires (2)	山火事に対する科学的対策に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
6	Unit3: Check the Soil First (1)	土壌分析に援用される分光学に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
7	Unit3: Check the soil First (2)	土壌分析に援用される分光学に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
8	Unit4: The Beauty of Snowflakes (1)	雪の結晶に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
9	Unit4: The Beauty of Snowflakes (2)	雪の結晶に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
10	Unit5: Coping with the Extreme Weather (1)	高度情報化社会における防災に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
11	Unit5: Coping with the Extreme Weather (2)	高度情報化社会における防災に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
12	Unit6: Is Love an Addiction? (1)	恋愛をつかさどる脳の働きに関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
13	Unit6: Is Love an Addiction?(2)	恋愛をつかさどる脳の働きに関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
14	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末の文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、各１時間を標準とする】
・学生の皆さんは次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読むこと。
・学生の皆さんは授業前に指定されている課題を行い、提出期限を守り提出すること。

【テキスト（教科書）】
Alastair Graham-Marr. "Inside Science", 金星堂、 2019年、2000円.
※教科書販売期間中に必ず購入すること。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
課題レポート（全13回）　45％
学期末課題レポート　25％
学期末文法・語彙確認テスト　25％
授業への積極的な参加姿勢　5％
成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。質問等があれば、授業終了後対応します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムHoppiiを使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated according to the following process: [1] 13 weekly assignments (45%), [2] final term assignment (25%), [3] final test (25%) and〔4〕in-class contribution (5%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

鈴木　幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語コミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To express personal opinions in English.
2. To discuss familiar/social issues in English.
3. To enhance overall English proficiency.
日常生活に関わる簡単な英会話から始め、英語ニュースやTOEIC教材を手掛かりにして英語４技能を包括的に伸ばす：
・身近な問題や時事問題に対する自分の意見を論理的に述べることができる（Speaking &Writing）
・相手の質問・意見に対して応答できる（Listening &Speaking）
・英語ニュースに慣れる（Reading &Listening）
・TOEIC問題に慣れる（Listening &Speaking）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class, you students will study a specific topic each week, using the textbook, handouts and news website. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: writing/speaking quiz, listening, Q &A, group/pair work, and presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	・Guidance ・Critical Thinking and Discussion ① ・Lesson 1 ・Lesson 2	・Orientation ・Let's read news together!① ・Living Room &Bedroom ・Kitchen
2	・Critical Thinking and Discussion ② ・Lesson 3 ・Lesson 4	・Let's read news together!② ・Bathroom ・Housekeeping
3	・Critical Thinking and Discussion ③ ・Lesson 5 ・Lesson 15	・Let's read news together!③ ・Jobs (1) ・Jobs (2)
4	・Critical Thinking and Discussion ④ ・Lesson 6 ・Lesson 7	・Let's read news together!④ ・Public Transportation ・Car ・Speaking Quiz 1
5	・Critical Thinking and Discussion ⑤ ・Lesson 8 ・Lesson 20	・Let's read news together!⑤ ・School ・Playground ・Writing Quiz 1
6	・Critical Thinking and Discussion ⑥ ・Lesson 9 ・Lesson 10	・Let's read news together!⑥ ・Hospital ・Office
7	・Critical Thinking and Discussion ⑦ ・Lesson 11 ・Lesson 12	・Let's read news together!⑦ ・Sports ・Leisure ・Speaking Quiz 2
8	・Critical Thinking and Discussion ⑧ ・Lesson 13	・Let's read news together!⑧ ・Shopping ・Writing Quiz 2
9	・Critical Thinking and Discussion ⑨ ・Lesson 14	・Let's read news together!⑨ ・Restaurant
10	・Critical Thinking and Discussion ⑩ ・Lesson 16 ・Lesson 17	・Let's read news together!⑩ ・Street ・Crime &Accident ・Speaking Quiz 3
11	・Critical Thinking and Discussion ⑪ ・Lesson 18	・Let's read news together!⑪ ・Party ・Writing Quiz 3
12	・Critical Thinking and Discussion ⑫ ・Lesson 19	・Let's read news together!⑫ ・Airport
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Konaka, Hidehiko, 2014, A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions, Nan'Un-Do. 700 yen (+ tax) ISBN9784523177654
小中秀彦, 2014,『A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions 5分間　日常動作を表す英語表現』南雲堂.

【参考書】
Free news website will be used;
Breaking News English
https://breakingnewsenglish.com/

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
This is a remedial course, so variations in class size, students responses, etc. may lead to changes in this syllabus. All changes will be explained. Some flexibility is required.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To discuss familiar/social issues in English.
2. To express personal opinions in English.
3. To enhance overall English proficiency.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria/Policies】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
※このクラスは補講クラスです。学生証番号が「24」から始まる新入生はこのクラスには原則参加出来ません。指定されたクラスで履修するようにして下さい※
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，対面としますが、必要に応じてオンラインを併用します。詳細は学習支援システムより連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、第1回課題を説明します。
2	Unit7: Self-Driving Future (1)	未来に向けたハイテク搭載車両に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
3	Unit7: Self-Driving Future (2)	未来に向けたハイテク搭載車両に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
4	Unit8: No Needle, No Thread? (1)	自己修復する布に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
5	Unit8: No Needle, No Thread? (2)	自己修復する布に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
6	Unit9: Aiming for a Perfect Squeeze (1)	「ロータス効果」に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
7	Unit9: Aiming for a Perfect Squeeze (2)	「ロータス効果」に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
8	Unit10: Identifying Fake Drugs (1)	偽造薬を見破るアプリに関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
9	Unit10: Identifying Fake Drugs (2)	偽造薬を見破るアプリに関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
10	Unit11: Sensory Judgement is Important (1)	「サイコレオロジー」に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
11	Unit11: Sensory judgement is Important (2)	「サイコレオロジー」に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
12	Unit12: Dangerous Debris in Space (1)	宇宙ゴミの回収に関する映像と英文を視聴・精読する リスニング／リーディング
13	Unit12: Dangerous Debris in Space (2)	宇宙ゴミの回収に関する英文を読み、単語、表現、文法などを習得する 文法／ライティング
14	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末の文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、各1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出期限を守り提出する。

【テキスト（教科書）】
Alastair Graham-Marr. "Inside Science", 金星堂、 2019年、2000円.
※教科書販売期間中に必ず購入すること。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
課題レポート（全13回）　45％
学期末課題レポート　25％
学期末文法・語彙確認テスト　25％
授業への積極的な参加姿勢　5％
成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。質問等があれば、授業終了後対応します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムHoppiiを使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated according to the following process: [1] 13 weekly assignments (45%), [2] final term assignment (25%), [3] final test (25%) and〔4〕in-class contribution (5%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

鈴木　幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語コミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To express personal opinions in English.
2. To discuss familiar/social issues in English.
3. To enhance overall English proficiency.
日常生活に関わる簡単な英会話から始め、英語ニュースやTOEIC教材を手掛かりにして英語４技能を包括的に伸ばす：
・身近な問題や時事問題に対する自分の意見を論理的に述べることができる（Speaking &Writing）
・相手の質問・意見に対して応答できる（Listening &Speaking）
・英語ニュースに慣れる（Reading &Listening）
・TOEIC問題に慣れる（Listening &Speaking）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class, you students will study a specific topic each week, using the textbook, handouts and news website. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: writing/speaking quiz, listening, Q &A, group/pair work, and presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	・Guidance ・Critical Thinking and Discussion ① ・Lesson 1 ・Lesson 2	・Orientation ・Let's read news together!① ・Living Room &Bedroom ・Kitchen
2	・Critical Thinking and Discussion ② ・Lesson 3 ・Lesson 4	・Let's read news together!② ・Bathroom ・Housekeeping
3	・Critical Thinking and Discussion ③ ・Lesson 5 ・Lesson 15	・Let's read news together!③ ・Jobs (1) ・Jobs (2)
4	・Critical Thinking and Discussion ④ ・Lesson 6 ・Lesson 7	・Let's read news together!④ ・Public Transportation ・Car ・Speaking Quiz 1
5	・Critical Thinking and Discussion ⑤ ・Lesson 8 ・Lesson 20	・Let's read news together!⑤ ・School ・Playground ・Writing Quiz 1
6	・Critical Thinking and Discussion ⑥ ・Lesson 9 ・Lesson 10	・Let's read news together!⑥ ・Hospital ・Office
7	・Critical Thinking and Discussion ⑦ ・Lesson 11 ・Lesson 12	・Let's read news together!⑦ ・Sports ・Leisure ・Speaking Quiz 2
8	・Critical Thinking and Discussion ⑧ ・Lesson 13	・Let's read news together!⑧ ・Shopping ・Writing Quiz 2
9	・Critical Thinking and Discussion ⑨ ・Lesson 14	・Let's read news together!⑨ ・Restaurant
10	・Critical Thinking and Discussion ⑩ ・Lesson 16 ・Lesson 17	・Let's read news together!⑩ ・Street ・Crime &Accident ・Speaking Quiz 3
11	・Critical Thinking and Discussion ⑪ ・Lesson 18	・Let's read news together!⑪ ・Party ・Writing Quiz 3
12	・Critical Thinking and Discussion ⑫ ・Lesson 19	・Let's read news together!⑫ ・Airport
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Konaka, Hidehiko, 2014, A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions, Nan'Un-Do. 700 yen (+ tax) ISBN9784523177654
小中秀彦, 2014,『A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions 5分間　日常動作を表す英語表現』南雲堂.

【参考書】
Free news website will be used;
Breaking News English
https://breakingnewsenglish.com/

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
This is a remedial course, so variations in class size, students responses, etc. may lead to changes in this syllabus. All changes will be explained. Some flexibility is required.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To discuss familiar/social issues in English.
2. To express personal opinions in English.
3. To enhance overall English proficiency.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria/Policies】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

鈴木　幸

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語コミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To express personal opinions in English.
2. To discuss familiar/social issues in English.
3. To enhance overall English proficiency.
日常生活に関わる簡単な英会話から始め、英語ニュースやTOEIC教材を手掛かりにして英語４技能を包括的に伸ばす：
・身近な問題や時事問題に対する自分の意見を論理的に述べることができる（Speaking &Writing）
・相手の質問・意見に対して応答できる（Listening &Speaking）
・英語ニュースに慣れる（Reading &Listening）
・TOEIC問題に慣れる（Listening &Speaking）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class, you students will study a specific topic each week, using the textbook, handouts and news website. You will be expected to attend all classes and contribute to classroom activities: writing/speaking quiz, listening, Q &A, group/pair work, and presentation. You must be willing to try to express your ideas in English. At the beginning of class, feedback for the previous class is given using some comments from submitted reaction papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	・Guidance ・Critical Thinking and Discussion ① ・Lesson 1 ・Lesson 2	・Orientation ・Let's read news together!① ・Living Room &Bedroom ・Kitchen
2	・Critical Thinking and Discussion ② ・Lesson 3 ・Lesson 4	・Let's read news together!② ・Bathroom ・Housekeeping
3	・Critical Thinking and Discussion ③ ・Lesson 5 ・Lesson 15	・Let's read news together!③ ・Jobs (1) ・Jobs (2)
4	・Critical Thinking and Discussion ④ ・Lesson 6 ・Lesson 7	・Let's read news together!④ ・Public Transportation ・Car ・Speaking Quiz 1
5	・Critical Thinking and Discussion ⑤ ・Lesson 8 ・Lesson 20	・Let's read news together!⑤ ・School ・Playground ・Writing Quiz 1
6	・Critical Thinking and Discussion ⑥ ・Lesson 9 ・Lesson 10	・Let's read news together!⑥ ・Hospital ・Office
7	・Critical Thinking and Discussion ⑦ ・Lesson 11 ・Lesson 12	・Let's read news together!⑦ ・Sports ・Leisure ・Speaking Quiz 2
8	・Critical Thinking and Discussion ⑧ ・Lesson 13	・Let's read news together!⑧ ・Shopping ・Writing Quiz 2
9	・Critical Thinking and Discussion ⑨ ・Lesson 14	・Let's read news together!⑨ ・Restaurant
10	・Critical Thinking and Discussion ⑩ ・Lesson 16 ・Lesson 17	・Let's read news together!⑩ ・Street ・Crime &Accident ・Speaking Quiz 3
11	・Critical Thinking and Discussion ⑪ ・Lesson 18	・Let's read news together!⑪ ・Party ・Writing Quiz 3
12	・Critical Thinking and Discussion ⑫ ・Lesson 19	・Let's read news together!⑫ ・Airport
13	Presentation	Let's give an end-of-term presentation!
14	Final Examination	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
Students are supposed to prepare for each class, quiz and assignment.

【テキスト（教科書）】
Konaka, Hidehiko, 2014, A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions, Nan'Un-Do. 700 yen (+ tax) ISBN9784523177654
小中秀彦, 2014, 『A Shorter Course in Expressions for Everyday Actions 5分間　日常動作を表す英語表現』南雲堂.

【参考書】
Free news website will be used;
Breaking News English
https://breakingnewsenglish.com/

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
In-class activities &Homework: 30%
Assignment: 20%
Quiz: 20%
Exam: 30%
There is an absence limit of 1/3 of classes.

【学生の意見等からの気づき】
I hope you students enjoy studying English.

【Outline (in English)】
【Course Outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1. To discuss familiar/social issues in English.
2. To express personal opinions in English.
3. To enhance overall English proficiency.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
【Grading Criteria/Policies】
Final grade will be calculated according to the following process: In-class activities &Homework (30%), Assignment (20%), Quiz (20%), and Exam (30%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

平賀　史子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the following:
(1) Students will develop the ability to use English language skills to communicate various topics.
(2) Students will acquire four language skills (Reading, Writing, Listening, and Speaking) in English communication more fluently and confidently.
(3) Students will develop the ability to think critically and express their opinions in discussions and short presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this course, students will work on activities individually or in small groups. They are expected to work collaboratively to do various tasks such as group discussion, researching, and presenting topics of interest. Students also do presentations using YouTube. The instructor will provide ongoing support and feedback for students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction /Orientation	Introduction of the course, Orientation, Warm-up activity.
2	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 1	Explanation of YouTube presentation, skills-based work based on the textbook unit.
3	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
4	Unit 1 Places – Reading, Writing, and Discussion 3	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
5	Unit 2 Festivals and Celebrations – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
6	Unit 2 Festivals and Celebrations – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
7	Assessment 1	Preparation and practice. Assessment 1.
8	Unit 3 The Internet and Technology – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
9	Unit 3 The Internet and Technology – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
10	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 1	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
11	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 2	YouTube presentation, In-class conversation tasks, skills-based work based on the textbook unit.
12	Unit 4 Weather and Climate – Reading, Writing, and Discussion 3	YouTube presentation, group work, researching topics of interest.
13	Assessment 2	Preparation and practice. Assessment 2.
14	Course Review	Review of the course, make-ups, and goal setting.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
本授業の準備・復習時間は、計4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Unlock 2nd edition Level 2 Reading, Writing and Critical Thinking Student's Book A with Digital Pack
Richard O'Neil and Michele Lewis with Chris Sowton
Cambridge University Press (ISBN: 9781009364874) 2,600 yen (+ tax)

【参考書】
Teacher will provide additional material.

【成績評価の方法と基準】
The final grade will be decided based on the following:
Assessment 1 (20%), Assessment 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

【学生の意見等からの気づき】
The instructor is willing to be available to take student concerns under consideration throughout the semester.

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to bring either a smartphone, tablet, or laptop computer. Please make sure that it is fully charged before the class and can connect to the internet easily. Also, students are welcome to bring their dictionary (electric or book) in class.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be at least four hours for a class.
The final grade will be decided based on the following:
Assessment 1 (20%), Assessment 2 (20%), Homework (20%), Quizzes and YouTube presentation (20 %), In-class Participation/ Self-Evaluation (20 %)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

FRITZ Erik

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
・英語で得た情報の内容を的確に把握できる。
・英語で得た情報の要旨を、英語で適切にまとめられる。
・自分の考えを英語で組み立て、（効果的に）発言できる。
・英語で効果的にコミュニケーションできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
英語でグループワークのディスカッションができるようになることを目指して授業を行います。学生の主体的な参加や発言を歓迎します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introductions	Explanation of syllabus &course introduction Speaking fluency practice
第2回	Discussion skill #1	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to ask Follow-up Questions
第3回	Discussion skill #2	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to extend answers
第4回	Discussion skill #3	Speaking fluency practice Discussion Skill: Listening practice - How to make reactions in English
第5回	Discussion skill #4	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to clarify politely in English
第6回	Discussion topic #1	Speaking fluency practice Discussion Topic: Explain one scientific observation or experiment that you were involved in, in English
第7回	Discussion topic #2	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about your department and science courses in English
第8回	Discussion topic #3	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about a recent science news article (not from a research journal) in English
第9回	Discussion topic #4	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about which laboratory (and research project) most interests you right now, in English
第10回	Discussion Topics & Skills 1-4 Review	Speaking fluency practice Review all four discussion topics and skills in class
第11回	Oral Examination #1 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第12回	Making a Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make and implement their communication strategies learning plan
第13回	Oral Examination #2 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第14回	Making a Revised Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make a revised learning plan, based on their two oral examinations and in-class activities, for effectively communicating in English in the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。
・予習や準備が前提の授業なので、指定された箇所の予習や準備を必ずしてくること。
・授業の内容を振り返り、授業で学んだ新しい言い回しなどを復習すること。

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided online by the professor.

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（貢献度・平常点）：　30％
口頭試験：７０％

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
自身のPCを毎回持参してください。

【その他の重要事項】
毎週の授業への出席は必須です。
・5回以上の理由のない欠席で成績は不合格（D）とします（当校の『履修の手引き』に記載の通り）。
・遅刻は2回で欠席1回分にカウントします。
・期日内の課題提出も必須です。予習をして来ない、授業中に違うことをやっている、授業中におけるアクティビティに参加しようとしない、など授業態度が著しく欠ける人は、評価の対象外、即ち不合格（D）となります。
・受講者の積極的な参加を期待し、特に授業中における積極的な発言を高く評価し授業への貢献度・平常点に加算していきます。
※授業計画や形式は参加者のレベルや進み具合等により、変更される場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will be able to:
Correctly understand the content of information obtained in English.
Summarize the information effectively in English.
Construct their own thoughts in English and (effectively) express them.
Communicate effectively in English.
【Learning activities outside of classroom】
Your study time will be more than four hours for a class.
【Grading Criteria /Policy】
Attendance and contribution to the lecture: 30％
Oral Exam #1: 30%
Oral Exam #2: 40%
Your attendance to this class is mandatory.
Your contribution to the class will be evaluated by your participation in group discussion activities and in-class preparations.
For five or more unexcused absences, the final grade will be "D" as specified in the “Course Registration Guide” of our school.
Two instances of tardiness will be counted as one absence.
*The course outline may be subject to change depending on progress.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

神　康介

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
本授業は主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イディオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応する内容を演習する。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続くExercisesで物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を行い、語彙力が高まるように学習する。テキスト本文既出の構文を応用すれば書ける英作文の演習を行う。
　授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、辞書指導等	授業の進め方、英語の勉強法などを説明する。
2	1. Ken Watanabe 2. Sakana-kun 3. Kohei Uchimura 4. Hiromi Miyake	日本の著名人について学習する。
3	5. Taiwan	日本の歴史について学習する。
4	6. Apples	健康について学習する。
5	7. B-Class Food Boom	日本の新しい産業について学習する。
6	8. Food Traceability	食品トレーサビリティ について学習する。
7	9. Naming Rights	経済について学習する。
8	10. Smart Cities	工業技術について学習する。
9	11. Geopark	農業について学習する。
10	12. Rare Earths	最新工業について学習する（1）。
11	13. Biomass	最新工業について学習する（2）。
12	14. Green Curtains	環境について学習する。
13	15. The Robot Industry	産業について学習する。
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回任意の数人が発表するので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推して読み進めること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
Japan Innovation　南雲堂

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
クラスでの平常点で40％、期末試験の結果で60％で評価する。原則として半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業を有効活用する。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

渡邊　晶子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
基本的な文法を確実なものにし、語彙を増やしていく。
構文をしっかり理解した上で長文を正確に読めるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習を前提とし、毎回全員を指名していくので、しっかりと準備をしておくこと。
課題等に対するフィードバックは授業内に全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス・小テスト	授業の進め方について説明する。
2	The Bee Colony	品詞について学ぶ。 ミツバチのコロニーについての英文を読む。
3	Space Junk	動詞について学ぶ。 宇宙ゴミについての英文を読む。
4	The Gift of Energy	句動詞について学ぶ。 エネルギーについての英文を読む。
5	Water and Living Things	時制について学ぶ。 水と生き物についての英文を読む。
6	The Sun, Our Powerful Star	時制について学ぶ。 太陽についての英文を読む。
7	Tomorrow's Transportation	主語と動詞の一致について学ぶ。 近未来の乗物についての英文を読む。
8	All That Glitters, Spread, and Stretches	代名詞について学ぶ。 金についての英文を読む。
9	Bioclock - the Time of Your Life	名詞・冠詞について学ぶ。 体内時計についての英文を読む。
10	Right Brain, Left Brain	前置詞について学ぶ。 右脳と左脳についての英文を読む。
11	The Miracle of Vitamins	助動詞について学ぶ。 ビタミンについての英文を読む。
12	Unlocking Submarine Secrets	海底の謎についての英文を読む。
13	Frozen Foods	冷凍食品の発見についての英文を読む。
14	まとめ・試験	重要構文などの確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】テキストの英文の日本語訳を全文、ノートにきちんと書いてくること。

【テキスト（教科書）】
The Wonders of Science　科学の世界（成美堂）
A Shorter Course in Usage and Vocabulary　ポイントで解く語法・語彙問題（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点20％　レポート課題20％　期末テスト60％

【学生の意見等からの気づき】
提出課題や質問等で気づいたことを解説に織り込んでいく。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
The required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

神　康介

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イディオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応するよう工夫する予定である。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続く練習問題で物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
　読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を用意し、語彙力が高まるよう工夫する。基本的な英作文の演習を行うが、テキスト本文既出の構文を応用すれば書けるように工夫する。
　授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. EXILE HIRO	EXILE HIRO 代名詞
	2. Ebizo Ichikawa	伝統的歌舞伎を超越する市川海老蔵 冠詞
2	3. 400m Relay Silver Medal	400m リレー銀メダル 強調・倒置
	4. The Kimono	着物復権 助動詞
3	5. The Sanriku Railway	恋する三陸鉄道 時制
4	6. Local Issues	地方活性化の鍵 完了形
5	7. Digital Manga	進化するデジタル漫画 受動態
6	8. Stock Investment	トライ　株式投資！　不定詞
7	9. Japan House	魅力発信のジャパン・ハウス 分詞
8	10. Meat Types	ミートタイプ 動名詞
9	11. Functional Foods	機能性食品 仮定法
10	12. Sake	世界の日本酒 関係代名詞
11	13. Royalty-free Strategy	燃料電池車特許権無償 比較
12	14. Telematics	会話する車 前置詞
13	15. Biogas	代替燃料　バイオガス 接続詞
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
毎回任意の数人に発表してもらうので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては,大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句,専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推してみること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
Breakthrough Japan　(躍進日本）南雲堂

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
クラスでの平常点で40％、期末試験の結果で60％で評価する。半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

【学生の意見等からの気づき】
視聴覚機器をもっと活用したい。

【学生が準備すべき機器他】

【Outline (in English)】
(Course outline)
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning objectives)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

渡邊　晶子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
基本的な文法を確実なものにし、語彙を増やしていく。
構文をしっかり理解した上で長文を正確に読めるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習を前提とし、毎回全員を指名していくので、準備をしておくこと。
課題等に対するフィードバックは授業内に全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Your Immune Defense System	不定詞について学ぶ。 免疫防御系についての英文を読む。
2	The Earth We Live On	動名詞について学ぶ。 地球の内部についての英文を読む。
3	Science Looks Twice at Twins	分詞について学ぶ。 双子についての英文を読む。
4	Memory Miracles	比較について学ぶ。 記憶力についての英文を読む。
5	Products of the Sea	否定について学ぶ。 海の産物についての英文を読む。
6	If the Oceans Should Die	受動態について学ぶ。 海についての英文を読む。
7	小テスト	重要構文などの確認と 小テストを行う。
8	Moving Continents	関係詞について学ぶ。 大陸移動についての英文を読む。
9	Who Needs Spiders?	接続詞について学ぶ。 クモについての英文を読む。
10	It's the Humidity	仮定法について学ぶ。 湿気についての英文を読む。
11	Blue Babe - a Messenger from the Ice Age	語彙（紛らわしい語）について学ぶ。 氷河時代の野牛の遺骸の発見についての英文を読む。
12	The New Zoo - a Modern Ark	現代の動物園の意義についての英文を読む。
13	Wonderworker - New Drugs	新薬についての英文を読む
14	まとめ	重要構文などの確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】テキストの日本語訳を全文、ノートにきちんと書いてくること。

【テキスト（教科書）】
The Wonders of Science（成美堂）
A Shorter Course in Usage and Vocabulary（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点20％　レポート課題20％　期末テスト60％

【学生の意見等からの気づき】
提出課題や質問等を解説に織り込んでいきたい。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English
competency.
The required study time is at least one hour for each class meeting.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%、Short reports : 30%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小畑　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit1 Why Explore? (Science) Part A	「探求すること」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit1 Why Explore? (Science) Part B	「探求すること」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit 2 Success and Failurer (Education) Part A	「成功と失敗」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit 2 Success and Failurer (Education) Part B	「成功と失敗」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 1-2	Unit 1-2の単語テスト及びレビューを行う。
7	Unit 3 Power Shifts (Business) Part A	「権力の移行」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit 3 Power Shifts (Business) Part B	「権力の移行」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit 4 Creative Sparks (Media) Part A	「創造性」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit 4 Creative Sparks (Media) Part B	「創造性」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 3-4	Unit 3-4の単語テスト及びレビューを行う。
12	Unit 5 Hope and Equality (Sociology and Economics) Part A	「平等であること」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
13	Unit 5 Hope and Equality (Sociology and Economics) Part B	「平等であること」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 4)", Cengage Learning.
ISBN: 9781305265721
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15％
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小畑　美貴

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とします。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められます。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるため、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
①英文法を理解し一定の語彙力を身につけることで、アカデミックな内容の英語で書かれた文章を正確に読み解くことが出来る。
②音声を通して英語母語話者が話す音声に触れることで、リスニング力を高めることが出来る。
③科学の分野でよく使用される単語や表現を身につけることが出来る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、最新科学の話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。
課題等へのフィードバックは授業内で行います。授業は，原則対面とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。また、発表の担当個所を決めます。
2	Unit6 Backing up History (Archaeology) Part A	考古学とテクノロジーに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit6 Backing up History (Archaeology) Part B	考古学とテクノロジーに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit7 Food for All (Agriculture) Part A	食物に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit7 Food for All (Agriculture) Part B	食物に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Vocabulary test 1 and Review of Unit 6-7	Unit6-7の単語テスト１及びレビューを行う。
7	Unit8 Future Jobs (Technology) Part A	「未来の仕事」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
8	Unit8 Future Jobs (Technology) Part B	「未来の仕事」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
9	Unit9 How We Learn (Psychology) Part A	「学習」に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit9 How We Learn (Psychology) Part B	「学習」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Vocabulary test 2 and Review of Unit 8-9	Unit8-9の単語テスト２及びレビューを行う。
12	Unit10 A Brighter Tomorrow (Environment) Part A	環境問題に関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
13	Unit10 A Brighter Tomorrow (Environment) Part B	「環境問題」に関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
14	授業内学期末課題	今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。

【テキスト（教科書）】
Longshaw, Robin (2014) "21st Century Reading Creative Thinking and Reading with TED Talks (Level 4)", Cengage Learning.
ISBN: 978-1-305-26572-1
※教科書販売期間中に必ず購入すること。
※春学期と同じ教科書を使用します。

【参考書】
英和辞典を持参すること（電子辞書可）

【成績評価の方法と基準】
授業前課題　60％
単語テスト　15%
学期末課題　15％
授業への積極的な参加姿勢　10％

【学生の意見等からの気づき】
過去のZOOM授業での経験を活かし、オンラインでも対面でも変わらない質の授業が提供出来るように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを使用します。
授業にはパソコンを持参して下さい。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
[Learning Objectives]
The goals of this course are [1] to understand academic texts precisely, [2] to improve English listening skills, [3] to acquire words and expressions used in scientific fields of study.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Students are expected to read the designated texts and to complete the required assignments before each class meeting.
Students are expected to spend one hour to understand the course content.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments (60%), [2] vocabulary test (15%), [3] in-class contribution (10%), and [4] final assignment (15%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

梨本　邦直

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
英語の論理構成を学ぶとともに語彙力の増強とと言い換え表現を豊かにする。TEDによるプレゼンを視聴して、論理構成を理解する。語彙力を高めるにあたって難度の高い語句について文脈に則した言い換え表現を考える。
At the end of this course, students will be able to:
・read pre-intermediate reading topics based on TED presentations
・understand authentic English of TED presentations
・rephrase new words in plain English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・毎週、復習として教科書の問題から指定された部分を授業支援システムに提出する。その提出された復習課題から毎回授業中にフィードバックを行う。
Students will be asked to submit online exercise questions of the textbook each week. The feedback of the exercises to students will be done in class every week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Introduction	Introduction
2回目	Unit 1, Inspired Leadership	Lesson A, Reading skills
3回目	Unit 1, How to Start a Movement	Lesson B, TED TALK comprehension
4回目	Unit 2, Trouble for the Air Plants	Lesson A, Reading skills
5回目	Unit 2, Conserving the Canopy	Lesson B, TED TALK comprehension
6回目	Unit 2, Review of Unit 2	Review of Unit 2
7回目	授業内中間テスト	復習中間テスト（音読テストを含む）
8回目	Unit 3, Big Problems, Simple Solutions	Lesson A, Reading Skills
9回目	Unit 3, A Warm Embrace that Saves Lives	Lesson B, TED TALK comprehension
10回目	Unit 4, Is Gaming Good for You?	Lesson A, Reading skills
11回目	Unit 4, Gaming Can make a Better World	Lesson B, TED TALK comprehension
12回目	Unit 5, Engaging Learners	Lesson A, Reading skills
13回目	Unit 5, The Key to Success? Grit	Lesson B, TED TALK comprehension
14回目	授業内期末試験	復習期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・Lesson AのPre-ReadingとDeveloping Reading Skillsは予習して授業に臨む。テクスト部分は音読する。Lesson Bについては、冒頭にある背景説明の序文を読んで準備する。TEDのプレゼンは、https://www.ted.com/でタイトルを検索して見る。その際、教科書p.148以降にあるVideo Transcriptsを参照する。ただし、プレゼンによっては教科書の抜粋よりかなり長い。予習に時間をかけてプレゼンの全体を理解しておくことが望ましい。
Please prepare for the texts and exercises of Lesson A before the class. Reading aloud is essential to improve your English. With regard to Lesson B, read the background information beforehand, and also watch the presentation at the TED site https://www.ted.com/. The video transcripts at the end of the textbook p.148 onwards will help you to understand the details of the presentations.

【テキスト（教科書）】
Laurie Blass et al. (2016) 21st Century Reading. National Geographic learning/Cengage Learning

【参考書】
・教科書のサイト https://eltngl.com/sites/21st-century-reading/student/book-2/video
・TEDのサイト https://www.ted.com/talks

【成績評価の方法と基準】
Assignments：20%
Mid-semester test：30%（reviewing Units 1-2）
End-of-semester exam：50%（reviewing Units 3-5）

【学生の意見等からの気づき】
言い換え表現が分かりやすく習得できるようにスライドを工夫した。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Learning activities outside of classroom:
The preparation for the texts and exercises of Lesson A will be required. Reading aloud at home is essential to improve your English. With regard to Lesson B, read the background information beforehand, and also watch the presentation at the TED site https://www.ted.com/. The video transcripts at the end of the textbook p.148 onwards will help you to understand the details of the presentations.
Grading Criteria:
Assignments：20%
Mid-semester test：30%（reviewing Units 1-2）
End-of-semester exam：50%（reviewing Units 3-5）

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

梨本　邦直

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
英語の論理構成を学ぶとともに語彙力の増強とと言い換え表現を豊かにする。TEDによるプレゼンを視聴して、論理構成を理解する。語彙力を高めるにあたって難度の高い語句について文脈に則した言い換え表現を考える。
At the end of this course, students will be able to:
・read pre-intermediate reading topics based on TED presentations
・understand authentic English of TED presentations
・rephrase new words in plain English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・毎週、復習として教科書の問題から指定された部分を授業支援システムに提出する。その提出された復習課題から毎回授業中にフィードバックを行う。
Students will be asked to submit online exercise questions of the text each week. The feedback of the exercises to students will be done in class every week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Unit 6, Food Revolution	Lesson A, Reading skills
2回目	Unit 6, Teach Every Child about Food	Lesson B, TED TALK comprehension
3回目	Unit 6, Review of Unit 6	Review of Unit 6
4回目	Unit 7, Power Poses	Lesson A, Reading skills
5回目	Unit 7, Your Body Language Shapes Who You Are	Lesson B, TED TALK comprehension
6回目	Unit 7, Review of Unit 7	Review of Unit 7
7回目	授業内中間テスト	復習テスト（音読テストを含む）
8回目	Unit 8, Kite Power	Lesson A, Reading skills
9回目	Unit 8, How I harnessed the Wind	Lesson B, TED TALK comprehension
10回目	Unit 9, Thinking in Pictures	Lesson A, Reading skills
11回目	Unit 9, Deep Sea Diving in a Wheelchair	Lesson B, TED TALK comprehension
12回目	Unit 10, Information is Beautiful	Lesson A, Reading skills
13回目	Unit 10, The Beauty of Data Visualization	Lesson B, TED TALK comprehension
14回目	授業内期末試験	期末復習試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・Lesson AのPre-ReadingとDeveloping Reading Skillsは予習して授業に臨む。テクスト部分は音読する。Lesson Bについては、冒頭にある背景説明の序文を読んで準備する。TEDのプレゼンは、https://www.ted.com/でタイトルを検索して見る。その際、教科書p.148以降にあるVideo Transcriptsを参照する。ただし、プレゼンによっては教科書の抜粋よりかなり長い。予習に時間をかけてプレゼンの全体を理解しておくことが望ましい。
Please prepare for the texts and exercises of Lesson A before the class. Reading aloud is essential to improve your English. With regard to Lesson B, read the background information beforehand, and also watch the presentation at the TED site https://www.ted.com/. The video transcripts at the end of the textbook p.148 onward will help you to understand the details of the presentations.

【テキスト（教科書）】
Laurie Blass et al. (2016) 21st Century Reading. National Geographic learning/Cengage Learning

【参考書】
・教科書のサイト https://eltngl.com/sites/21st-century-reading/student/book-2/video
・TEDのサイト https://www.ted.com/talks

【成績評価の方法と基準】
Assignments：20%
Mid-semester test：30%（reviewing Units 6-7）
End-of-semester exam：50%（reviewing Units 8-10）

【学生の意見等からの気づき】
言い換え表現が分かりやすく習得できるようにスライドを工夫した。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
Learning activities outside of classroom:
The preparation for the texts and exercises of Lesson A will be required. Reading aloud at home is essential to improve your English. With regard to Lesson B, read the background information beforehand, and also watch the presentation at the TED site https://www.ted.com/. The video transcripts at the end of the textbook p.148 onward will help you to understand the details of the presentations.
Grading Criteria:
Assignments：20%
Mid-semester test：30%（reviewing Units 6-7）
End-of-semester exam：50%（reviewing Units 8-10）

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

今政　肇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語のリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの四技能の総合的な発展を目的とします。言わずもがなですが、理工系・生命系の学生にとって英語は知識生産の世界共通言語として必須です。それだけでなく、その習得はますます複雑に変化していく世界の中で専門分野をより理解し、何らかの貢献をするためにも欠かせません。そうした目標を念頭に置きつつ、本授業はリスニングやリーディングというインプットをベースに総合的なコミュニケーション能力を培っていくことを基本方針に様々な教授方法を取り入れ実施します。

【到達目標】
①リアルな英語の発話や表現を視聴覚的に接することで、感覚的な素地を整えリスニング力が高まります
②多読により英語を読むことに慣れ、より高度なテキストの読解を併用することで豊富な語彙および表現に接することが出来ます。
③そうした語彙や表現を作文や発話に使用することで自分のものに出来ます。
④英語を使ったディスカッションやプレゼンテーションの技術を習得することが出来ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは原則的に授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。
必要に応じて授業の進め方や方法を変更することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit2 Trends Part A	Trendsに関する本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答します。
3	Unit 2 Trends Part B	Trendsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答します。
4	Unit 3 Improving Lives Part A	Improving Livesに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit 3 Improving Lives Part B	Improving Livesに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Unit 4 Designing the Web Part A	Designing websitesに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
7	Unit 4 Designing the Web Part B	Designing websitesに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
8	Mid-term Review	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
9	Unit 5 Community Builders Part A	Community Buildersに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit 5 Community Builders Part B	Community Buildersに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Unit 6 Clear Communication Part A	Clear Communicationに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
12	Unit 6 Clear Communication Part B	Clear Communication に関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
13	小グループに分かれてプレゼンテーションの準備	ワークショップとリハーサル
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション、読書ログの提出、今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。
・プレゼンテーションやクイズの準備
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分）、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください）。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書）】
Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., &Stephenson, H., (2021) Keynote, American English Level 3 with Spark Access + e-Book (1 year access), National Geographic Learning/Cengage Learning.
ISBN: 9798214333878
※教科書販売期間中に必ず購入すること。（秋学期も継続して使用します。）

【参考書】
学習者用の英英辞書（英和辞書よりも英英辞書を使ってください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku)
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル；
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　１５％
小テスト　１５％
授業への参加　３０％
プレゼンテーション　２５％
読書ログ　１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください）。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The objective of this class is comprehensive development of four skills–listeing, reading, speaking and writing. Needless to say, learning English is necessary for students in science, engineering and life sciences as a global common language for knowledge production. Not only that, mastering it is also essential to deepen one's understanding of their specialized field within an increasingly complex and changing world and to make some sort of contribution. With these goals in mind, this class will incorporate a variety of teaching methods with the basic policy of cultivating comprehensive communicative ability based on input–namely listening and reading.
[Learning Objectives]
(1) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop a sensory foundation and improve your listening ability.
(2) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.

(3) By using them in your own writing and speech, you can make them your own.
(4) You can develop discussion and presentation skills in English.
[Learning activities outside of classroom]
Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (15%), [2] quiz (15%), [3] class participation (30%), [4] presentation (25%), [5] reading log [15%]

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

今政　肇

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語のリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの四技能の総合的な発展を目的とします。言わずもがなですが、理工系・生命系の学生にとって英語は知識生産の世界共通言語として必須です。それだけでなく、その習得はますます複雑に変化していく世界の中で専門分野をより理解し、何らかの貢献をするためにも欠かせません。そうした目標を念頭に置きつつ、本授業はリスニングやリーディングというインプットをベースに総合的なコミュニケーション能力を培っていくことを基本方針に様々な教授方法を取り入れ実施します。

【到達目標】
①リアルな英語の発話や表現を視聴覚的に接することで、感覚的な素地を整えリスニング力が高まります
②多読により英語を読むことに慣れ、より高度なテキストの読解を併用することで豊富な語彙および表現に接することが出来ます。
③そうした語彙や表現を作文や発話に使用することで自分のものに出来ます。
④英語を使ったディスカッションやプレゼンテーションの技術を習得することが出来ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
テキストは、TEDトークでの話題に関して、わかりやすい英文で書かれたものを使用します。２回の授業で各ユニットを終わらせる予定で授業を進めます。課題を事前に提出してもらうことで、予習に基づいた授業を行います。課題等へのフィードバックは原則的に授業内で行います。授業は，原則対面で実施します。
必要に応じて授業の進め方や方法を変更することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	履修上の注意、評価方法などシラバスを説明します。多読および読書ログについて説明します。
2	Unit7 Identity Part A	Identityに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
3	Unit7 Identity Part B	Identityに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
4	Unit8 Transportation Solution Part A	Transportation Solutionに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
5	Unit8 Transportation Solution Part B	Transportation Solutionに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
6	Unit9 New Words Part A	New Wordsに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
7	Unit9 New Words Part B	New Wordsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
8	Mid-term Review	単語および熟語レビュー 読書ログについてのフィードバック
9	Unit10 Understanding Emotions Part A	Understanding Emotionsに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
10	Unit10 Understanding Emotions Part B	Understanding Emotionsに関して、映像を視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
11	Unit12 Well-being Part A	Well-beingに関して、本文の読解を中心に行い、内容理解の問題を解答する。
12	Unit12 Well-being Part B	Well-beingに関して、DVDを視聴し、リスニング及び内容理解の問題を解答する。
13	小グループに分かれてプレゼンテーションの準備	ワークショップとリハーサル
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション、読書ログの提出、今学期の学習内容のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・次の授業で使用するテキストの本文をしっかりと読む。
・授業前に指定されている課題を行い、提出する。
・プレゼンテーションやクイズの準備
・大学図書館の英語多読図書（YL＝読みやすさレベル：0.8 2.4)を週70分（1日10分)、約7000字読むことを目標に、読書ログ（タイトル、感想、字数）をつける。
多読の原則:
・ 辞書なしに読める本を選んでください（一ページに５つ以上、分からない単語があるものは読まないでください)。
・ 完璧な理解よりも、なるべく早く、量をこなすことを目的に読んでください。
・ 自分が面白いと感じるものを読んでください。面白くなければ途中でも別の本を読んでください。

【テキスト（教科書)】
Bohlke, D., Dummett, P., Lansford, L., &Stephenson, H., (2021) Keynote, American English Level 3 with Spark Access + e-Book (1 year access), National Geographic Learning/Cengage Learning.
ISBN: 9798214333878
※教科書販売期間中に必ず購入すること。
※春学期と同じ教科書を使用します。

【参考書】
学習者用の英英辞書（英和辞書よりも英英辞書を使ってください）：
https://dictionary.cambridge.org/
法政大学の多読サイト： https://hosei.libguides.com/tadoku)
初級レベル：
・ Oxford Reading Tree (YL 0.8-0.9):
Picture-based, perfect for beginners
・ Penguin Readers Easystarts (YL 0.8):
Simple stories, many topics
中級レベル：
・ Cambridge/Oxford/Macmillan Readers:
Wide range of original and adapted stories
・ Penguin Readers:
Large selection including movie adaptations

【成績評価の方法と基準】
授業前課題と宿題　１５％
小テスト　１５％
授業への参加　３０％
プレゼンテーション　２５％
読書ログ　１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
携帯、タブレット、またはパソコンなどのいずれか。

【その他の重要事項】
初回授業時に履修に関する注意事項を話しますので、必ず出席すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
The objective of this class is comprehensive development of four skills–listeing, reading, speaking and writing. Needless to say, learning English is necessary for students in science, engineering and life sciences as a global common language for knowledge production. Not only that, mastering it is also essential to deepen one's understanding of their specialized field within an increasingly complex and changing world and to make some sort of contribution. With these goals in mind, this class will incorporate a variety of teaching methods with the basic policy of cultivating comprehensive communicative ability based on input–namely listening and reading.
[Learning Objectives]
(1) By coming into contact with authentic English speech and expressions through audiovisual media, you can develop a sensory foundation and improve your listening ability.
(2) By reading graded books extensively, you can feel more comfortable reading English, and by reading more advanced texts, you can come into contact with a richer vocabulary and expressions.
(3) By using them in your own writing and speech, you can make them your own.
(4) You can develop discussion and presentation skills in English.
[Learning activities outside of classroom]

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.
Set aside approximately 10 minutes a day or 70 minutes a week to read the books that you have chosen and fill out your reading log.
[Grading Criteria/Policy]
Final grade will be calculated based on [1] pre-class assignments and homework (15%), [2] quiz (15%), [3] class participation (30%), [4] presentation (25%), [5]reading log [15%]

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語II

村上　弥生

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目は、理工学に関する新聞・雑誌記事、専門論文を読むためのリーディング力を伸ばすことを目的とする。基本的語彙の定着と専門的な語彙力の増強、文章の論理構成の理解、背景知識の活用・応用によるリーディングスキルの育成に重点を置く。これらのスキルをもとに、個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力を獲得し、研究や社会のニーズに寄与することを目指す。学生のリーディング力をベースに、他技能との統合も含め、効果的な教授方法により実施する。

【到達目標】
グローバルな教養人として求められる英語の読解力、語彙力を身に着ける。
異なる社会や、現代世界が直面する諸問題を論じる文章を主に取り上げ、英語の読解力のみならず、背景的な知識のリサーチなどを通じて、日常的に得られる日本語情報を相対化し、国際人としての視野と志向を広げる。
またリスニングや視覚材料を併用しながら、音声としての英語に触れる機会を多く持つことによって、英語独自の構造に慣れ、構造に従ってスムーズに受容できる力を高める。
高度な英文の読み物については、精読、正確な和訳の作業を通して、文構造や表現、単語の理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
1. 読み物については、
現代の社会、また世界において重要なテーマを1～2選び、関連する資料を学生さんの予習を前提として、丁寧に読む。また、読み物のテーマについての説明も、学生さんに英語で行ってもらったり、また教師からも随時行う。
2. テーマに関連する視聴覚材料をネット等で聞き、内容確認等を行う
3. 各テーマ終了ごとに語彙や表現、内容についての応用的な小テスト、ないし訳の修正や意見文の作成を行ってもらう。
4. 4. 1～3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppi、ないし授業中に作成、提出されたものを評価して返却、もしくは授業時に総評を行う。
授業は基本的に対面で行うが、情勢の変化や授業の進捗状況等によってオンラインに変更される場合もあるので、情報システムでのお知らせを常に確認されたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Problems with A.I.tools and translation	授業の進め方についての説明、受講生の自己紹介など AIツールと翻訳の問題を概観
第2回	トピック1：（社会や時代の変化に添って新たに選びなおすが、以下は昨年度の例である） A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-1 (AIが生成したコンテンツの増大と人間の発達、文化の質、AIの将に対して懸念されるに対して懸念される負の影響について	背景説明 関連する視聴覚資料の紹介
第3回	A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-2	和訳：要約の発表 重要語句、表現、文法の確認 リサーチ・意見文の紹介、発表
第4回	A.I.-Generated Garbage Is Polluting Our Culture-3	背景説明、関連する資料映像等の紹介 重要語句、表現・文法の確認
第5回	review test-1 Think Before You Click （デジタルテクノロジーと電力消費）	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第6回	Think Before You Click	関連する資料、映像の紹介 和訳発表 リサーチ、意見文の発表、紹介 重要語句、表現、文法の確認
第7回	A.I. Could Soon Need as Much Electricity as an Entire Country－1	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認
第8回	A.I. Could Soon Need as Much Electricity as an Entire Country-2	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第9回	review test-2 A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm パリオリンピック開会式計画に見る多様性と多文化主義への反発	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第10回	A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm-2	背景説明、 和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第11回	A French-Malian Singer Is Caught in an Olympic Storm-3	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認 関連する資料の紹介
第12回	Shocking results of French snap election	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認
第13回	New Factories and Jobs are not enough to Stem France(s Far Right Surge	重要語句、表現、文法の確認
第14回	review test-4	前回までの内容・語句・表現の応用の復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1. 読み物については、わかりやすい日本語に訳せるように十分に細部まで正確な英文理解を行うとともに、背景となっている状況なども併せて調べることが求められる。
2．読み物については音読、また、視聴覚教材については、シャドウイングなどを行いながら復習する。
3．各トピックごとに復習テスト、もしくは訳の修正を行うように準備をする。
4. 全体的なテーマに関連した短い意見文を作成する。

【テキスト（教科書）】
初回に指示する。また随時教師が提供する。

【参考書】
参考書はとくに指定しない。

【成績評価の方法と基準】
予習としての和訳、リサーチ☒%、授業での作文などへの積極的取組20 %、復習テストもしくは和訳の修正や意見文60 %。

【学生の意見等からの気づき】
英語資料を通じて、現代の世界の様々な側面を広く, また多様な視点から知ることに意義を見出してくれる学生さんが多く、十分こたえられるような題材を提供していくよう引き続き努力したい。

【Outline (in English)】
This class aims to improve students' reading skills to comprehend newspapers, magazine articles, and technical papers related to science and engineering. This class focuses on consolidating basic vocabulary, expanding specialized vocabulary, understanding the logical structure of sentences, and developing reading skills through background knowledge. Based on these skills, the aim is to acquire reading comprehension skills that enable students to grasp the meaning of individual sentences accurately, summarize the whole text concisely and quickly, search for necessary information, and contribute to research and society's needs. A variety of effective teaching methods, including the integration of other skills, will be employed based on students' reading skills.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
Students will learn and develop academic reading in English.
Students will expand their vocabularies and understanding of English Grammar.
Students will participate in read and analyse English texts as individuals and as a class.
Students will submit brief written assignments and tests in English based on class topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted either on the Hoppii system or annotated on email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Overview	Class introduction and theme overview Assessment methods and grading
2	Unit 1: Happiness	Reading exercises: Is there a recipe for happiness? Four Keys to Happiness
3	Unit 2: Inventive Solutions	Reading exercises: The power of creativity Big ideas, Little Packages
4	Unit 3: Connected Lives	Reading exercises: The Power of Crowds Internet Island
5	Unit 4: Saving Our Seas	Reading exercises: Where have all the fish gone? What we eat makes a difference
6	Unit 5: Memory and Learning	Reading exercises: The Art of Memory Sleep and Memory
7	Midterm review	Review skills and vocabulary
8	Unit 6: Animals and Medicine	Reading exercises: The snake chaser A haven for Chimps
9	Unit 7: Nature's Fury	Reading exercises: When tornadoes strike Wildfires
10	Unit 8: Building Wonders	Reading exercises: Unfinished masterpiece Amazing Structures
11	Unit 9: Form and Function	Reading exercises: What are feathers for? Design by nature
12	Unit 10: Smart Advice	Reading exercises: Turning ideas into reality Lessons in Business
13	Group study and tips for final test	Review practice test questions as a class
14	Final test	Final test to determine 30%of final grade

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. I may also assign questions and short quizzes based on texts related to class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking: 2nd Edition
ISBN 978133762511　(10-digit ISBN: 1337625116)

【参考書】
Please check Hoppii for supplements and additional aids.

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on

an understanding of paragraph structure. This class aims to improve students' accuracy and confidence in reading English academic texts. By using the textbook and additional reading resources as a starting point, this class encourages students to expand their vocabularies and understanding of different grammatical structures to enhance their overall comprehension skills. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted either on the Hoppii system or annotated on email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語ＩＩ

鈴木　淳子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎ドイツ語Ⅰに引き続き、ドイツ語の基本文法を学習する。

【到達目標】
文法の知識をさらに深めるとともに、実践力も強化する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
基礎ドイツ語Ⅰで習った文法事項を確認しながら、新しい項目についても体系的に学習する。
オンライン授業が実施されるなど、授業計画・方法が変更される場合は、学習支援システムでその都度提示する。
授業の最初に前回の課題の解答を示し、解説を行って、それを総括的なフィードバックとする。オンライン授業の場合は、学習支援システムを通じて個々の学生にアドバイスも行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎ドイツ語Ⅰの学習内容の確認	L.1-6 (p.5-28)
第2回	前置詞	L.7 (p.29-32)
第3回	前置詞と定冠詞の融合形、数詞④	L.7 (p.29-32)
第4回	話法の助動詞	L.8 (p.33-36)
第5回	話法の助動詞 不定代名詞manの用法	L.8 (p.33-36)
第6回	分離動詞 数詞⑤	L.9 (p.37-40)
第7回	命令形	L.9 (p.37-40)
第8回	時刻表現 数詞⑥	L.9 (p.37-40)
第9回	形容詞の用法	L.10 (p.41-44)
第10回	形容詞の格変化	L.10 (p.41-44)
第11回	再帰動詞・再帰代名詞	L.10 (p.41-44)
第12回	再帰動詞・再帰代名詞	L.10 (p.41-44)
第13回	動詞の３基本形 過去人称変化	L.11 (p.46-47)
第14回	総復習	L.7-10 (p.29-44)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基礎ドイツ語Ⅰの内容も含めて繰り返し復習すること。

【テキスト（教科書）】
秋田靜男他著『イン・ドイチュラント』朝日出版社

【参考書】
必要に応じて授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
試験成績(70%)、平常点及び授業態度等(30%)を総合して評価する。
オンライン授業の場合は、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始時に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の多くがドイツ語及びドイツに強い関心をもっていることが分かった。その気持ちを汲みながら良質の授業を目指したい。

【Outline (in English)】
This course introduces students to the basic German language. It aims at helping students acquire and develop the necessary German language skills. The goal of this course is to be able to use German language properly. After each class meeting, students will be expected to review the last lesson. Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語ＩＩ

高橋　完治

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「基礎ドイツ語1」もしくは「基礎ドイツ語コミュニケーション」を履修した学生諸君を対象とする．日常のさまざまな場面との関連のもとにさらなる文法事項を学び，語彙と表現を拡充する．

【到達目標】
下記の文法事項に習熟し，短く平易なテクストの読み書きができる．明瞭でゆっくりした話し方なら，馴染みのある単語や基本的な言い回しを聞き取れる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
視覚教材を活用した語彙の導入とテクストの提示・解説の後，文法問題，インフォメーションギャップ，聞き取り，ひな型に沿った作文，平易な広告やエッセイから必要な情報を取り出すなど，さまざまな作業を展開する．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	不規則変化動詞（1）	fahren, treffen, lesen, sehen／趣味について
2	不規則変化動詞（2）	wissen／頻度／何曜日に何をするか
3	3格の用法（1）	人称代名詞の3格／3格支配の動詞，3・4格支配の動詞／身に着ける物／誰に何を贈るか
4	3格の用法（2）	所有冠詞の3格／大きな数字／暦年数
5	助動詞（1）	können, müssen, wollen／得手不得手を言い表す／誘いを断る理由を挙げる
6	助動詞（2）	dürfen／禁止と許可をめぐって――共同生活のルールを作る
7	前置詞（1）	位置関係を表す前置詞／道順の説明を理解する／道順を書く
8	前置詞（2）	手段を表す前置詞，方向を表す前置詞／前置詞と定冠詞の融合
9	分離動詞（1）	時刻の言い表し方／分離動詞を用いて一日の行動を時間軸に沿って述べる
10	分離動詞（2）	分離動詞を用いて鉄道による移動を叙述する／駅のインフォメーションを理解する
11	時をめぐる様々な表現	営業時間を理解する／順序を表す言葉／観光の予定を立てる
12	現在完了形（1）	過去分詞の作り方／haben支配とsein支配
13	現在完了形（2）	過去の事を述べる
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】授業の後，学習事項を振り返る．音声教材に繰り返し接し，発音の質や聞き取り能力の向上に努める．

【テキスト（教科書）】
新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！　1』（朝日出版社）

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
ビデオの活用とSprachlernspielの適宜投入は効果的だったようだ．

【Outline (in English)】
This German course will continue to assist students in acquiring basic grammatical rules, expressions, and vocabulary related to everyday situations. By the end of the course, students should be able to:
- Effectively apply their grammatical knowledge when reading and writing simple, short texts
- Recognize familiar words and very basic phrases when spoken slowly and clearly

After each class meeting, students are expected to review the learning content, listen to the native speakers on audio, and practice speaking along with them. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語 I

平井　新

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初めて中国語を学ぶ学生を主な対象とする授業です。中国語の基礎（中国語の発音要領と表記法、基本語彙、文の構成原理＝単語の並べ方、基本文型）を学びます。受講者が中国語の基礎力（声に出して読む力、書く力、話す力、聞く力）など習得できることを目標とします。適宜，視聴覚教材を使用して中国文化の紹介も行います。
なお、本授業は、金曜日開講の「基礎中国語コミュニケーション」の授業と相互補完しております。私のほうの授業では、文法の習得を中心に進めていく予定です。

【到達目標】
中国語の発音が正確にできること、ピンイン（表音文字）の読み書きができること、簡体字を正しく書け、基礎的な語彙・文法を習得することを目標とします。
言葉は、文法の基礎を理解してこそ、上達します。がんばって一緒に勉強しましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，教科書（発音篇、本篇：第１課～第6課）を使って，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，あいさつ言葉や基本的な実用会話を学びます。発音練習、聞き取り練習、発話練習を行い，基礎力を養います。また，適宜，視聴覚教材も使って中国文化の紹介も行います。提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。春学期の授業は，原則として対面で行う予定だが、コロナ禍の状況に応じてオンラインで行う場合もあります。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス＋中国映画を見る	授業の進め方の説明。中国語に触れてみよう。
第2回	中国語発音①	「中国語とは何か」。テキスト発音一、二の部分：声調、母音、複母音、ピンインのつづり方①、声調記号のつけ方、練習１の１、練習２の６。
第3回	中国語発音②	テキスト発音三の部分：子音、無気音と有気音、そり舌音、三つのi、ピンインのつづり方②、練習３の１と２。
第4回	中国語発音③	テキスト発音四の部分：鼻母、r化、ピンインのつづり方③、声調の組み合わせ、中国語の音節構造、練習１と２。
第5回	中国語発音④	テキスト発音五の部分：発音総復習。ピンインのつづり方の規則、声調の変化、声調記号のつけ方の規則、練習１と３と５。
第6回	中国語文法・テキスト第1課	人称代名詞、動詞述語文、「～⊠?」の疑問文・本文の説明と発音練習。ドリル⑤。
第7回	中国語文法・テキスト第２課	指示代詞、「的」について、疑問詞疑問文、「也」について。ドリル⑤。
第8回	中国語文法・テキスト第３課	量詞、「有」のあれこれ、数のたずね方「几」と「多少」。ドリル⑤⑥。
第9回	中国語文法・テキスト第４課	形容詞述語文、反復疑問文、「呢?」の疑問文について。ドリル⑤⑥。
第10回	中国語文法・テキスト第５課	場所指示代詞、存在の「有・在」の違い、助動詞「想・要」と否定形の注意事項。ドリル③⑥。
第11回	中国語文法・テキスト第６課	日付・時を表す言葉、名詞述語文と肯定文「是」の省略、変化の「了」、「吧」の使い方。ドリル⑤⑥。
第12回	中国語文法・テキスト第７課	連動文・時間量・前置詞文あれこれ・「どのくらい～なのか」の文。ドリル④⑥
第13回	前期授業内容の確認・まとめ＋中国語で歌を歌ってみよう＋中国語を読んでみよう。	期末試験＋「中国語で遊ぶ」
第14回	復習とまとめ	試験返却＋前期文法の重要ポイント総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】予習復習してください。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』（保坂律子・郭雲輝，朝日出版社，本体：2300円）。

【参考書】
電子辞書、たとえばCASIO　EX-wordなどを持っていると便利です。ただし、その辞書には、講談社か小学館の日中・中日辞典が入っているものを選んで下さい。そして携帯の電子辞書も、無料のものではなく、上述のものがあることが望ましいです。紙の辞書については、授業中に述べます。辞書はあるほうが望ましいですが、急いで買う必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点20%（出席・受講態度・発声音量）、期末試験80%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は日々の積み重ねが大切です。
語学力向上のためには、学生は欠かさず出席し、積極的に授業参加すること。授業中、教員の板書は必ず丁寧にノートをとること。その週に新出した単語は、その週のうちに覚えること。
そして何より重要なのは、その言語を使う地域への限りない好奇心です。言葉だけでなく、中国に関する書籍をなるべく多く読むようにして下さい。

【その他の重要事項】
前期に一、二度プロジェクターやブルーレイ、ＤＶＤ、ＣＤを使用する授業をしますが、基本的に黒板に板書をする形の講義です。
中国語の基礎を教える授業なので、中国人留学生は基本的に受け入れることはできません。

【Outline (in English)】
This is a course for students studying Chinese for the first time.Using textbooks,students acquire grammar rules,Chinese pronunciation,essential vocabulary.word order,and other aspects of the Chinese language.
The goal is for students to be able to pronounce Chinese correctly, read and write Pinyin (phonetic characters), write simplified Chinese characters correctly, and acquire basic vocabulary and grammar. Language can only be improved by understanding the basics of grammar. Let's do our best and study together.
The standard study period outside of class time for preparation, review, etc. for this class is one hour.
Attendance is a prerequisite for evaluation. Evaluation will be based on a total of 20%normal points (attendance, performance, and contribution for the class) and 80%for the final exam.

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

パーソナリティ

山本　晃輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間の性格のことを，心理学ではパーソナリティと呼ぶ。本授業では，心理学の観点から，パーソナリティの性質と特徴，測定法などに関して実証的な知見をもとに学ぶ。人間の心理，行動への理解を深めることを通して，日常生活のさまざまな場面で心理学の知識を活用するための基礎力を養うことが目的である。

【到達目標】
・パーソナリティ心理学の研究領域が理解できる。
・パーソナリティ心理学の基礎的な方法論が理解できる。
・パーソナリティ心理学の理論が理解できる。
・心理学における個人差の問題が理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
パーソナリティ心理学の理論や研究方法などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	パーソナリティとは	パーソナリティの定義について説明する
第2回	パーソナリティの理論（1）	類型論について説明する
第3回	パーソナリティの理論（2）	特性論について説明する
第4回	ビッグファイブ	ビッグファイブの理論とその発展形について説明する
第5回	パーソナリティの理論に関する振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第6回	パーソナリティの測定法（1）	投影法，面接法について説明する。
第7回	パーソナリティの測定法（2）	投影法，面接法について説明する。
第8回	パーソナリティの発達	遺伝と発達，青年期，成人期とパーソナリティとの関係性について説明する。
第9回	国，地域の影響	国や地域とパーソナリティとの関係性について説明する。
第10回	パーソナリティの測定法，発達，文化差に関する振り返り	パーソナリティの測定法，発達，文化差に関する振り返りおよび確認を行う。
第11回	ダークトライアド	サイコパスやナルシシズムなどについて説明する。
第12回	パーソナリティと健康	タイプA行動やタイプCパーソナリティについて説明する。
第13回	パーソナリティの病理	パーソナリティ障害について説明する。
第14回	まとめ	各回の振り返りと重要事項を確認する。基礎知見の応用展開について説明する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、各4時間を標準とする。配布資料を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、授業で紹介した図書などに目をとおすこと。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】
ライブラリ読んでわかる心理学１　読んでわかる心理学　清水寛之・瀧川真也・槙　洋一・山本晃輔　共著　サイエンス社　2024年

【成績評価の方法と基準】
授業中に実施する小課題(60%)およびレポート課題(40%)を合わせて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度のフィードバックで好評だった学生からの質問紹介と回答は、今年度も引き続き実施する。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
This course is based on empirical findings on the nature of personality and its measurement methods from the perspective of psychology. The goal is to cultivate foundational skills for applying psychological knowledge in various everyday situations by enhancing understanding of human psychology and behavior.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short examination: 60%、Short reports : 40%

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

こころの働き

伊藤　ひろみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的なこころの機能である、感覚・知覚、動機づけ、学習、記憶などについて講義する。必要に応じて、小実験なども行いたい。
○　この授業は、履修希望者が多数になった場合は抽選になることがあります。詳細は第1回目の講義でお話し致しますので、希望者は必ず第１回目の授業に出席してください。
○　教科書は必ず必要です。その他の必要な資料は、学習支援システムに掲載しま★詳細な授業内容については、授業開始前に、学習支援システムの中の当該科目のお知らせを確認してください。★
○　最終成績は、定期試験の成績をもと（70％）とし、授業への積極性・貢献度(15%)や課題レポート1回の成績（15％）を加味して、決定します。
○　伊藤ひろみのメールアドレスは、　hiromi.ito.rk@hosei.ac.jp です。
○　状況が変化し、授業の内容と成績算定方式を変更するときには、改めて、お知らせします。
す。

【到達目標】
さまざまなこころの機能を学び、日々の人間の行動について考え、理解していくことをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、人間のこころの共通性・一般法則などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。「パーソナリティ」とペアで履修することが望ましい。
授業期間中に数回、課題の提出を求めるつもりだが、その場合は原則として提出期限１週間後に、正解を学習支援システムに掲載するので、かならず自分の答えとつきあわせて確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の幅広い内容について説明する
第2回	基本的なこころの機能	感覚・知覚、動機づけ、学習、記憶、思考といった基本的なこころの働きについて説明する
第3回	感覚の種類（1）	８つの感覚について説明する
第4回	感覚の種類（2）	〃　　（２）
第5回	知覚の法則	大脳の働きとして起こる、さまざまな知覚の法則を説明する
第6回	錯覚	対象を誤って知覚する錯覚について、錯視図や多義図形などを用いて説明する
第7回	動機づけのメカニズム	行動を引き起こすエネルギーとしての動機づけについて説明する
第8回	一時的動機と二次的動機、外発的動機と内発的動機	さまざまな動機の種類について説明する
第9回	欲求不満、葛藤	動機が充足されない状況である欲求不満状況や葛藤について説明する
第10回	学習の定義	経験による永続的な行動変容を意味する学習について説明する
第11回	本能行動、初期学習行動、無条件反射行動	さまざまな行動を、学習か遺伝かという形成要因をもとに分類する
第12回	条件反射行動、自発的行動、条件づけ	学習によって形成される行動と条件づけのメカニズムについて説明する
第13回	効果的な学習方法	効果的な学習方法について、具体的に説明する
第14回	記憶のメカニズム	覚え、貯蔵し、思い出す、記憶のメカニズムについて説明する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
各回の授業内容がテキストのどの章、どの節の記述と対応しているのか、テキストを熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、テキスト各章の末尾にある「次のステップへ」の課題を解いてみよう。

【テキスト（教科書）】
伊藤隆一・千田雅博・渡辺昭彦　『現代の心理学』　金子書房　2003年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
総合成績は、期末試験の成績をもとに(70%)、課題レポート１回(15%)と授業への積極的参加度・貢献度(15%)を加味して決定する。
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、さらに実践的な授業をめざしたい。

【学生が準備すべき機器他】
心理学に関するビデオ・DVDを見せることがある。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。
「パーソナリティ」とペアで履修することが望ましい。

【Outline (in English)】
This course (Functions of the Human Mind) introduces the fundamental functions of the human mind, for instance, sensation and perception, motivation, learning and memory to students taking this course. The goal of this course is to obtain basic knowledge about general psychology.
Participants are recommended not only to take this course but also to take "Personality".
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

パーソナリティ

伊藤　ひろみ

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、こころの個性を表すパーソナリティ（人格）、他者との人間関係などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や心理検査を行いたい。

○　この授業は、履修希望者が多数になった場合は抽選になることがあります。詳細は第１回目の講義でお話し致しますので、希望者は必ず第１回目の授業に出席してください。
○　教科書は必ず必要です。その他の必要な資料は、学習支援システムに掲載します。
★詳細な授業内容については、授業開始前に、学習支援システムの中の当該科目のお知らせを確認してください。★
○　最終成績は、定期試験の成績をもと（70％）とし、授業への積極性・貢献度(15%)や課題レポート1回の成績（15％）を加味して、決定します。
○　伊藤ひろみのメールアドレスは、　hiromi.ito.rk@hosei.ac.jp です。
○　状況が変化し、授業の内容と成績算定方式を変更するときには、改めて、お知らせします。

【到達目標】
「パーソナリティ」「こころの働き」という２つの授業を通じて、人間のこころのメカニズムについて知識を身につけて欲しい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、こころの個性を表すパーソナリティ（人格）、他者との人間関係などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や心理検査を行いたい。「こころの働き」とペアで履修することが望ましい。授業期間中に数回、課題の提出を求めるつもりだが、その場合は原則として提出期限１週間後に、正解を学習支援システムに掲載するので、かならず自分の答えとつきあわせて確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の幅広い内容を紹介する
第2回	心理学の対象	心理学の研究対象について説明する
第3回	基本的なこころの機能	一人一人が持っているこころの機能、すなわちパーソナリティについて説明する
第4回	心理学の研究方法	心理学が用いる研究方法について説明する
第5回	心理学の領域と周辺諸科学	心理学がどのような他の学問領域と関連しているのか説明する
第6回	パーソナリティ把握のスキーム	パーソナリティを把握するための諸理論について説明する
第7回	パーソナリティの発達	パーソナリティがどのように発達していくのか説明する
第8回	パーソナリティの形成	パーソナリティが遺伝と環境の影響を受けてどのように形成されるのか説明する
第9回	パーソナリティの能力的側面	知的能力について説明する
第10回	知能と実際的知的能力	知的能力を構成する諸特性について説明する
第11回	気質と性格	性格の内容と性格の諸理論について説明する
第12回	防衛機制	人が無意識におこなう防衛機制について説明する
第13回	パーソナリティの指向的側面	好み・関心・人生観といった指向的側面について説明する
第14回	パーソナリティの把握と心理検査	心理検査をいくつか紹介する。心理テストを自己採点してみる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
テキストの関連箇所を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、各章の末尾にある「次のステップへ」の課題を解いてみよう。課題を出すことがあるが、授業前に必ずやっておくこと。

【テキスト（教科書）】
伊藤隆一・千田雅博・渡辺昭彦　『現代の心理学』　金子書房　2003年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
総合成績は、期末試験の成績をもとに(70%)、課題レポート１回(15%)と授業への積極的参加度・貢献度(15%)を加味して決定する。
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

【学生の意見等からの気づき】
今後とも、わかりやすく、具体的で、実践的な授業を行って行きたい。

【学生が準備すべき機器他】
心理学に関するビデオ・ＤＶＤを見せることがある。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。
「こころの働き」とペアで履修することが望ましい。

【Outline (in English)】
This course (Personality) introduces the personal functions of the human mind, for instance, human ability, character and development, and personality tests to students taking this course.　The goal of this course is to obtain basic knowledge about general psychology. Participants are recommended not only to take this course but also to take "Functions of the Human Mind".
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

こころの働き

伊藤　ひろみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的なこころの機能である、感覚・知覚、動機づけ、学習、記憶などについて講義する。必要に応じて、小実験なども行いたい。

○　この授業は、履修希望者が多数になった場合は抽選になることがあります。詳細は第1回目の講義でお話し致しますので、希望者は必ず第１回目の授業に出席してください。
○　教科書は必ず必要です。その他の必要な資料は、学習支援システムに掲載します。
★詳細な授業内容については、授業開始前に、学習支援システムの中の当該科目のお知らせを確認してください。★
○　最終成績は、定期試験の成績をもと（70％）とし、授業への積極性・貢献度(15%)や課題レポート1回の成績（15％）を加味して、決定します。
○　伊藤ひろみのメールアドレスは、　hiromi.ito.rk@hosei.ac.jp です。
○　状況が変化し、授業の内容と成績算定方式を変更するときには、改めて、お知らせします。

【到達目標】
さまざまなこころの機能を学び、日々の人間の行動について考え、理解していくことをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、人間のこころの共通性・一般法則などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。「パーソナリティ」とペアで履修することが望ましい。
授業期間中に数回、課題の提出を求めるつもりだが、その場合は原則として提出期限１週間後に、正解を学習支援システムに掲載するので、かならず自分の答えとつきあわせて確認して欲しい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の幅広い内容について説明する
第2回	基本的なこころの機能	感覚・知覚、動機づけ、学習、記憶、思考といった基本的なこころの働きについて説明する
第3回	感覚の種類（1）	８つの感覚について説明する
第4回	感覚の種類（2）	〃　　（２）
第5回	知覚の法則	大脳の働きとして起こる、さまざまな知覚の法則を説明する
第6回	錯覚	対象を誤って知覚する錯覚について、錯視図や多義図形などを用いて説明する
第7回	動機づけのメカニズム	行動を引き起こすエネルギーとしての動機づけについて説明する
第8回	一時的動機と二次的動機、外発的動機と内発的動機	さまざまな動機の種類について説明する
第9回	欲求不満、葛藤	動機が充足されない状況である欲求不満状況や葛藤について説明する
第10回	学習の定義	経験による永続的な行動変容を意味する学習について説明する
第11回	本能行動、初期学習行動、無条件反射行動	さまざまな行動を、学習か遺伝かという形成要因をもとに分類する
第12回	条件反射行動、自発的行動、条件づけ	学習によって形成される行動と条件づけのメカニズムについて説明する
第13回	効果的な学習方法	効果的な学習方法について、具体的に説明する
第14回	記憶のメカニズム	覚え、貯蔵し、思い出す、記憶のメカニズムについて説明する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
各回の授業内容がテキストのどの章、どの節の記述と対応しているのか、テキストを熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、テキスト各章の末尾にある「次のステップへ」の課題を解いてみよう。

【テキスト（教科書）】
伊藤隆一・千田雅博・渡辺昭彦　『現代の心理学』　金子書房　2003年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
総合成績は、期末試験の成績をもとに(70%)、課題レポート１回(15%)と授業への積極的参加度・貢献度(15%)を加味して決定する。
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、さらに実践的な授業をめざしたい。

【学生が準備すべき機器他】
心理学に関するビデオ・DVDを見せることがある。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。
「パーソナリティ」とペアで履修することが望ましい。

【Outline (in English)】
This course (Functions of the Human Mind) introduces the fundamental functions of the human mind, for instance, sensation and perception, motivation, learning and memory to students taking this course. The goal of this course is to obtain basic knowledge about general psychology. Participants are recommended not only to take this course but also to take "Personality".
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%, Short report:15%and In class contribution: 15%.

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

パーソナリティ

山本　晃輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間の性格のことを，心理学ではパーソナリティと呼ぶ。本授業では，心理学の観点から，パーソナリティの性質と特徴，測定法などに関して実証的な知見をもとに学ぶ。人間の心理，行動への理解を深めることを通して，日常生活のさまざまな場面で心理学の知識を活用するための基礎力を養うことが目的である。

【到達目標】
・パーソナリティ心理学の研究領域が理解できる。
・パーソナリティ心理学の基礎的な方法論が理解できる。
・パーソナリティ心理学の理論が理解できる。
・心理学における個人差の問題が理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
パーソナリティ心理学の理論や研究方法などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	パーソナリティとは	パーソナリティの定義について説明する
第2回	パーソナリティの理論（1）	類型論について説明する
第3回	パーソナリティの理論（2）	特性論について説明する
第4回	ビッグファイブ	ビッグファイブの理論とその発展形について説明する
第5回	パーソナリティの理論に関する振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第6回	パーソナリティの測定法（1）	投影法，面接法について説明する。
第7回	パーソナリティの測定法（2）	投影法，面接法について説明する。
第8回	パーソナリティの発達	遺伝と発達，青年期，成人期とパーソナリティとの関係性について説明する。
第9回	国，地域の影響	国や地域とパーソナリティとの関係性について説明する。
第10回	パーソナリティの測定法，発達，文化差に関する振り返り	パーソナリティの測定法，発達，文化差に関する振り返りおよび確認を行う。
第11回	ダークトライアド	サイコパスやナルシシズムなどについて説明する。
第12回	パーソナリティと健康	タイプA行動やタイプCパーソナリティについて説明する。
第13回	パーソナリティの病理	パーソナリティ障害について説明する。
第14回	まとめ	各回の振り返りと重要事項を確認する。基礎知見の応用展開について説明する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、各4時間を標準とする。配布資料を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、授業で紹介した図書などに目をとおすこと。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】
ライブラリ読んでわかる心理学１　読んでわかる心理学　清水寛之・瀧川真也・槙　洋一・山本晃輔　共著　サイエンス社　2024年

【成績評価の方法と基準】
授業中に実施する小課題(60%)およびレポート課題(40%)を合わせて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度のフィードバックで好評だった学生からの質問紹介と回答は、今年度も引き続き実施する。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
This course is based on empirical findings on the nature of personality and its measurement methods from the perspective of psychology. The goal is to cultivate foundational skills for applying psychological knowledge in various everyday situations by enhancing understanding of human psychology and behavior.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short examination: 60%、Short reports: 40%

PSY100LC（心理学 / Psychology 100）

こころの働き

山本　晃輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的なこころの機能である，感覚・知覚、注意、対人認知などに関する心理学の基礎知見を学ぶ。人間の心理，行動への理解を深めることを通して，日常生活のさまざまな場面で心理学の知識を活用するための基礎力を養うことが目的である。

【到達目標】
・心理学の研究領域が理解できる。
・心理学の基礎的な方法論が理解できる。
・感覚・知覚に関する心理学の基礎知識が理解できる。
・対人認知に関する心理学の基礎知識が理解できる。
・思考・問題解決に関する心理学の基礎知識が理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
現代心理学の枠組みや心理学の研究方法、人間のこころの共通性・一般法則などについて講義する。また、必要に応じて、小実験や映像教材を使用した授業を行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	現代心理学の枠組み	現代心理学の研究領域について説明する。
第2回	心理学における方法論	実験法，調査法，観察法などの心理学の基本的な方法論について説明する。
第3回	感覚知覚（1）	視覚，聴覚について説明する。
第4回	感覚知覚（2）	嗅覚，味覚，触覚および注意について説明する。
第5回	心理学における方法論と感覚知覚の振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第6回	対人認知（1）	対人認知を規定する要因について説明する。
第7回	対人認知（2）	対人認知の相互作用について説明する。
第8回	集団	集団の心理的メカニズムについて説明する。
第9回	社会と文化	文化心理学や個人主義，集団主義について説明する。
第10回	対人認知，集団，社会と文化の振り返り	ここまでの授業の振り返りと確認を行う。
第11回	思考・問題解決（1）	思考と問題解決の基礎的なメカニズムについて説明する。
第12回	思考・問題解決（2）	さまざまな思考法や問題解決の技法について説明する。
第13回	心理的支援	多職種連携，心理療法の基礎について説明する。
第14回	総合的まとめ	各回の振り返りと重要事項を確認する。基礎知見の応用展開について説明する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。配布資料を熟読し、よく確認しておくこと。授業で得た知識をさらに展開できるように、授業で紹介した図書などに目をとおすこと。

【テキスト（教科書）】
以下の教科書を使用します。
ライブラリ　読んでわかる心理学１　読んでわかる心理学　清水寛之・瀧川真也・槙　洋一・山本晃輔　サイエンス社　2024年

【参考書】
適宜、授業の中で話す。適宜、プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
授業中に実施する小課題(60%)およびレポート課題(40%)を合わせて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度のフィードバックで好評だった学生からの質問紹介と回答は、今年度も引き続き実施する。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合は抽選になる可能性があります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
The course aims to provide foundational knowledge in psychology concerning basic mental functions such as sensation, perception, attention, and interpersonal cognition. The goal is to cultivate foundational skills for applying psychological knowledge in various everyday situations by enhancing understanding of human psychology and behavior.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Short examination: 60%、Short reports: 40%

HIS100LC（史学 / History 100）

日本文化論

横山　泰子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を考える一つの手がかりとして、妖怪文化をとりあげます。自国の文化を知るために、様々な文献やマンガ、絵画資料などにふれ、現代の文化が過去とつながっていること、海外の文化とも関係していることを知ります。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的です。
文章だけではなく、映像や絵画、マンガなども文化研究の資料です。娯楽としてそれらを楽しむだけではなく、資料として扱う方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査
2	現代日本の妖怪文化の特徴 「鬼滅の刃」について	現代の日本の妖怪文化を代表する作品を鑑賞し、その特徴を考える
3	娯楽の対象としての妖怪 鬼について	怖いはずのものが楽しみ＝娯楽になることに注目し、妖怪文化の遊びの面をとらえる
4	魔術／呪術の現代	アニメやゲームなどの世界では、魔術や妖術が流行している。古来から行われてきた呪術について考える
5	地域に根ざす妖怪文化	日本には、地域に根ざした多様な妖怪伝承がある。その地域性について考える
6	地域を超える妖怪文化	近年、日本の妖怪文化は諸外国から注目・評価されている。どの点がユニークとされ、興味を持たれているかをとらえる
7	妖怪を表現する技術	歴史的な絵画技術について学ぶ
8	妖怪を表現する技術	歴史に学びながら、自分で妖怪を作ってみる
9	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
10	アジアの妖怪文化と日本人	アジアの妖怪文化は、根底において日本と共通する面を多く持っている。昔話等の比較を試み、アジアの妖怪文化について考える
11	日本の妖怪文化を世界で説明するために	日本文化を世界で説明することが求められる昨今、妖怪について自分なりに説明してみる
12	近代の学問と妖怪	近代の学問の発展のなかで、妖怪はどのようにとらえられるようになったかを考える。
13	近代科学と妖怪	近代科学の発展にともない、過去に妖怪のしわざとされていた現象は科学的に説明可能となった面がある。科学と怪異現象との関係について考える
14	まとめ	学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】その都度指示します

【テキスト（教科書）】
教科書を使用する予定はありません。

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
【成績評価基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
これまでの授業アンケートで「日本文化論ではあるが、海外の妖怪の内容を入れてほしい」という声があったため、数年西洋の話題をとりあげてきました。昨年「西洋の話題は不要ではないか」という声がありましたので、今年は割愛することにしました。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
いそぎの質問等は
yyoko@hosei.ac.jp
にメールで御願いします。
抽選を行う予定です。履修希望者は初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand yokai in Japan as cultural concepts and cultural products. The word yokai means creatures, presences, or phenomena that could be described as mysterious or eerie and are seen in every society.In recent years, interest in yokai culture has continued to build in Japan.After taking this course, you will be able to explain how yokai culture has built in Japan. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

HIS100LC（史学 / History 100）

比較文化論

横山　泰子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
自分たちが生活する日本という国の文化的特徴を、海外との比較をしつつ考える姿勢を身につけます。身近な生活文化に注目し、本を読み、様々な現象を調べながら、日本的な現象とされていることが本当に日本的であるかどうかを考えます。

【到達目標】
日本の文化を比較文化的にとらえるための手がかりとして、「世間」「社会」等の基本的な概念に注目することによって、自文化を相対的に見る視点と異文化に対する興味を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、学生に課題やアンケート、小テスト等を課します。その結果をとりいれて説明をしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明とアンケート	シラバス内容の確認。「日本的」と思われるモノ・コトを考える
2	言語文化	日本の生活文化の特徴を言葉から考える
3	「世間」と「社会」について１	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
4	「世間」と「社会」について２	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
5	「世間」と「社会」について３	「世間」「社会」などの基本的な概念の説明
6	「空気」について	「空気」についての説明
7	贈り物の文化	贈答文化について海外の事例と比較
8	職場の文化１	職場文化を、海外の事例を加えて考える
9	職場の文化２	職場文化を、海外の事例を加えて考える
10	服装の文化	制服やリクルートスーツなどの規則を、海外の事例を加えて考える
11	服装の文化	日本のマスク文化を、海外の事例を加えて考える
12	同調性と安全性１	同調性を重視する社会の性格を考える
13	同調性と安全性２	同調性を重視する社会の性格を考える
14	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を読み、課題作文等を書く　（１時間程度）

【テキスト（教科書）】
鴻上尚史『空気を読んでも従わない』岩波ジュニア新書　２０１９年　８２０円

【参考書】
参考書等については、その都度指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点３０％　授業時の提出物ならびに小テスト７０％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度教科書として指定した『「空気」を読んでも従わない』が好評だったので、今回もより時間をかけて読み、別の視点からの説明も加えることにしました。異文化理解のたすけとなる外国の映画やドラマを視聴する予定です。昨年度映像鑑賞が好評だったので、より多様な作品を選びたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器　筆記用具

【その他の重要事項】
急ぎの質問は、yyoko@hosei.ac.jp
に御願いします。
抽選を行う予定です。初回授業に出席してください。

【Outline (in English)】
This course will help you to understand Japanese culture in everyday life. We ask ourselves the questions what things and phenomena that Japanese peolple think are very Japanese are really Japanese.Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
In class contribution:30%, short reports and tests:70%

HIS100LC（史学 / History 100）

日本文化論

追川　吉生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を考える一つのてがかりとして、日本文化の基層をつくった先史時代の歴史を学ぶ。列島の多様な環境に柔軟に、時に果敢に適応した先史時代のヒトビトの生活が、その後の日本の歴史や文化とどのように関わっていくのかを知る。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的である。本科目では歴史学の一分野である考古学の方法論に基づいて、歴史と文化の関わりを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、受講生に課題やアンケート、小テスト等を課す。また授業中に受講生が意見を発言できる機会を設けたい。シラバスに記した授業の概要は予定であり、これらの結果を取り入れ、また理解が難しいことがうかがえる場合には再度の学習を行いながら進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査。
2	考古学と発掘調査	考古学と遺跡や発掘調査との関わりから、考古学の研究方法の特徴を学ぶ。
3	遺跡の分布と地形	遺跡を残したヒトビトの生活環境や生業は、遺跡にどのように反映されているのか、また考古学では遺跡からそうした情報をどのように読みとるかを学ぶ。
4	縄文時代（1）定住生活の始まり	土器や弓矢の使用、定住生活の始まりから、縄文時代の特徴を考える。
5	縄文時代（2）東京湾沿岸の縄文文化	縄文時代は列島各地の環境に適応した多様な文化が展開した。そのうち、東京湾沿岸域の遺跡のあり方を通して縄文時代の生活を学ぶ。
6	縄文時代（3）八ヶ岳山麓の縄文文化	縄文時代は列島各地の環境に適応した多様な文化が展開した。そのうち、八ヶ岳山麓の遺跡のあり方を通して縄文時代の生活を学ぶ。
7	弥生時代（1）水稲耕作の始まり	弥生時代に始まった米作りは、その後の日本の文化や暮らしに大きな影響を与えてきた。水稲耕作の列島へのひろがりについて考える。
8	弥生時代（2）弥生人のモノづくりと祭り	弥生時代には水稲農耕だけでなく、さまざまな道具が朝鮮半島経由でもたらされた。特に金属器（青銅器や鉄器）は農耕や武器さらには祭りの道具としても発達し、弥生時代の暮らしに大きな変化をもたらした。当初は製品として持ち込まれた金属器は、やがて列島内でも生産が行われるようになる。弥生時代の金属器から、当時のモノづくりについて学ぶ。
9	古墳時代（1）前方後円墳の拡がりと列島の政治体制	古墳時代は西日本を中心に前方後円墳が広く築造された時代である。前方後円墳の拡がりは日本列島のどのような政治体制を反映したものであるのか。「倭国」の王権誕生へと繋がる列島の政治的な変化を学ぶ。
10	古墳時代（2）東国の古墳時代	古墳時代の地域社会のあり方を、倭王権との結び付きが強かった上毛野氏をはじめとした、東国の古墳や集落遺跡から学ぶ。
11	律令国家	「日本」という国家が成立していく様相を、古墳時代の終末期のあり方を通じて学ぶ。
12	中世都市の暮らし	中世都市の暮らしを、鎌倉の都市構造と宗教との関わりを例に学ぶ。
13	中世の城（1）	城とは何か。中世の山城と武家屋敷との関係や、近世城郭への変遷について学ぶ。
14	中世の城（2）	城とは何か。中世の山城と武家屋敷との関係や、近世城郭への変遷について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義資料はhoppiiを通じて配信するので授業前までに各自ダウンロードしておくこと（DLには期限を設ける予定）。
講義資料で学習内容を振り返り、不明な部分があれば次回授業時までに質問事項としてまとめておくこと。
授業の進捗状況によって1～2回のレポートを課すこともある。

【テキスト（教科書）】
hoppiiを通じて配布資料を配信するので、特にテキストを準備する必要はない。

【参考書】
参考書については、随時授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（70%）、授業への参加度（30%）で評価する。
本科目は1限と2限に分かれているため、同一の試験を同時に実施することは不可能である。そのため学期中に数回のミニテストをオンライン上で実施し、これを上記の試験として取り扱う。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートや授業時に配布するリアクションペーパーに記された内容や、毎回の授業前後に寄せられる質問、小テストで推測される受講生の授業内容への理解度から、適宜授業内容に修正を加えていく。より良い授業を展開させるため、受講生からの積極的な質問や意見を期待している。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces Japanese culture. We will look at Prehistoric age of Japan for a clue to understand.
（Learning Objectives)
The goals of this course are to study historical relationships of cultures, using archaeological framework.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.
(Grading Policy)
Final grade will be determined by the final exam.

HIS100LC（史学 / History 100）

比較文化論

追川　吉生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を、海外との比較を通して考える方法を学ぶ。列島の環境や歴史を反映した日本文化であるが、はたしてそれが日本独自のものであるのか。あるいは日本とは異なる環境で生きるヒトビトは、どのような文化や歴史を作りあげてきたのかを考える。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的である。本科目では歴史学の一分野である考古学の方法論に基づいて、歴史と文化の関わりを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、受講生に課題やアンケート、小テスト等を課す。また授業中に受講生が意見を発言できる機会を設けたい。シラバスに記した授業の概要は予定であり、これらの結果を取り入れ、また理解が難しいことがうかがえる場合には再度の学習を行いながら進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査。
2	考古学のあゆみ　考古学の萌芽	先史時代が主な研究対象と捉えられることが多い考古学だが、そのあゆみはどのようなものであったのだろうか。考古学の誕生に大きな影響を及ぼしたルネサンス以降のモノそのものの観察と研究の特徴について学ぶ。
3	人類文化の起源（1）化石人骨の発見	人類の起源はいつかという問いは、ヒトとは何かという根源的な問いに繋がるものである。『種の起源』をダーウィンが発表して以降、各地で化石人骨が見つかり、古人類学や考古学などから人類の進化が研究されてきた。こうした化石人骨の発見と研究の歩みを振り返り、人類の起源がどのように捉えられてきたかを学ぶ。
4	人類文化の起源（2）石器からみた人類の進化と拡散	現代の社会は様々な道具に支えられている。人類は深海や宇宙まで活動領域を拡げる道具や、人類自身を消滅させる威力をもった兵器までも造り出している。この人類のモノづくりの原点が、250万年前に始まった石器の製作である。旧石器時代の石器の変遷から、人類の進化と拡散について学ぶ。
5	人類文化の起源（3）人類進化の解明と遺伝子研究	現在の人類文化の起源を探る研究においては、ミトコンドリアDNAの解析は不可欠なものとなっている。遺伝子研究が人類進化の解明にどのような影響を与えたのかを学ぶ。遺伝子研究との学際的な研究の成果が、人類進化の解明に留まらないということに関して、代表的な調査事例のいくつかを紹介する。
6	人類文化の起源（4）列島最古の人類文化	列島最古の人類文化である旧石器時代とはどのような時代なのか。主要な生活道具である石器の製作技術や種類から考える。
7	東アジアの中の弥生時代（1）　『魏志倭人伝』を読む	『魏志倭人伝』は邪馬台国への道程や所在地に関する論争が注目されがちであるが、考古学からは何が重要なのか。「魏志倭人伝」に記された弥生時代から古墳時代への移行期にあたる列島の社会について学ぶ。
8	東アジアの中の弥生時代（2）北部九州の墓制	北部九州には『魏志倭人伝』に記された諸王国の王墓が発掘されている。それらを通じて弥生時代の東アジアとの交流のあり方を学ぶ。
9	東アジアの中の弥生時代（3）邪馬台国論争とは何か	邪馬台国の所在地に関しては九州説、畿内説などを中心に論争が続いている。果たして邪馬台国は幻の国なのか。発掘調査から明らかになりつつある、邪馬台国の実態について学ぶ。
10	日本の磁器生産とその拡がり (1)磁器の登場	私たちが日常の食事で使用している焼物のうち、ガラス質が磁化した半透明のものを磁器という。これは中国で発明され、日本をはじめとしたアジア各地、更にはヨーロッパにも輸出された。日本の陶器生産の歩みと、中国の陶磁器生産の影響を学ぶ。
11	日本の磁器生産とその拡がり (2)国産磁器生産の成功	日本では江戸時代になって肥前で磁器の国産化に成功した。窯跡遺跡からの出土品や伝世資料から江戸時代の肥前製磁器の技術における海外からの影響を考える。
12	日本の磁器生産とその拡がり (3)海外市場への進出と撤退	日本で磁器生産が成功して程なく、中国では明末清初の海禁政策により磁器の輸出が止まることになる。この機会に肥前製磁器はIMARIとしてヨーロッパ市場へ進出する。世界情勢とも連動した肥前製磁器の生産と流通を通じて、江戸時代の日本のモノづくりの一端を学ぶ。

13	都市の比較研究（1）中世～近世の食文化	日本料理は室町時代の武家の宴会で供された料理を基本に、江戸時代に完成した。遺跡で出土する遺物や食物残滓を中心に、文献史料や絵図資料から日本の食文化の基礎をなす江戸の食生活を探り、海外からの影響の有無を学ぶ。
14	都市の比較研究（2）ヨーロッパの食文化	ヨーロッパの遺跡から発掘された食器や食物残滓を通じて、同時代の日本の都市生活との比較を試みる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義資料はhoppiiを通じて配信するので授業前までに各自ダウンロードしておくこと（DLには期限を設ける予定）。
講義資料で学習内容を振り返り、不明な部分があれば次回授業時までに質問事項としてまとめておくこと。
授業の進捗状況によって１～2回のレポートを課すこともある。

【テキスト（教科書）】
hoppiiを通じて授業日以前に配布資料を配信するので、特にテキストは必要としない。

【参考書】
授業中に随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（70%）、授業への参加度（30%）で評価する。
本科目は1限と2限に分かれているため、同一の試験を同時に実施することは不可能である。そのため学期中に数回のミニテストをオンライン上で実施し、これを上記の試験として取り扱う。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートや授業時に配布するリアクションペーパーに記された内容や、毎回の授業前後に寄せられる質問、小テストで推測される受講生の授業内容への理解度から、適宜授業内容に修正を加えていく。より良い授業を展開させるため、受講生からの積極的な質問や意見を期待している。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces Comparative cultural studies. It is a comparative study of cultures that focuses on Prehistoric archaeology and Historic archaeology.
（Learning Objectives）
The goals of this course are to study historical relationships of cultures, using archaeological framework.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.
(Grading Policy)
Final grade will be determined by the final exam.

HIS100LC（史学 / History 100）

日本文化論

追川　吉生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を考える一つのてがかりとして、日本文化の基層をつくった先史時代の歴史を学ぶ。列島の多様な環境に柔軟に、時に果敢に適応した先史時代のヒトビトの生活が、その後の日本の歴史や文化とどのように関わっていくのかを知る。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的である。本科目では歴史学の一分野である考古学の方法論に基づいて、歴史と文化の関わりを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、受講生に課題やアンケート、小テスト等を課す。また授業中に受講生が意見を発言できる機会を設けたい。シラバスに記した授業の概要は予定であり、これらの結果を取り入れ、また理解が難しいことがうかがえる場合には再度の学習を行いながら進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査。
2	考古学と発掘調査	考古学と遺跡や発掘調査との関わりから、考古学の研究方法の特徴を学ぶ。
3	遺跡の分布と地形	遺跡を残したヒトビトの生活環境や生業は、遺跡にどのように反映されているのか、また考古学では遺跡からそうした情報をどのように読みとるかを学ぶ。
4	縄文時代（1）定住生活の始まり	土器や弓矢の使用、定住生活の始まりから、縄文時代の特徴を考える。
5	縄文時代（2）東京湾沿岸の縄文文化	縄文時代は列島各地の環境に適応した多様な文化が展開した。そのうち、東京湾沿岸域の遺跡のあり方を通して縄文時代の生活を学ぶ。
6	縄文時代（3）八ヶ岳山麓の縄文文化	縄文時代は列島各地の環境に適応した多様な文化が展開した。そのうち、八ヶ岳山麓の遺跡のあり方を通して縄文時代の生活を学ぶ。
7	弥生時代（1）水稲耕作の始まり	弥生時代に始まった米作りは、その後の日本の文化や暮らしに大きな影響を与えてきた。水稲耕作の列島へのひろがりについて考える。
8	弥生時代（2）弥生人のモノづくりと祭り	弥生時代には水稲農耕だけでなく、さまざまな道具が朝鮮半島経由でもたらされた。特に金属器（青銅器や鉄器）は農耕や武器さらには祭りの道具としても発達し、弥生時代の暮らしに大きな変化をもたらした。当初は製品として持ち込まれた金属器は、やがて列島内でも生産が行われるようになる。弥生時代の金属器から、当時のモノづくりについて学ぶ。
9	古墳時代（1）前方後円墳の拡がりと列島の政治体制	古墳時代は西日本を中心に前方後円墳が広く築造された時代である。前方後円墳の拡がりは日本列島のどのような政治体制を反映したものであるのか。「倭国」の王権誕生へと繋がる列島の政治的な変化を学ぶ。
10	古墳時代（2）東国の古墳時代	古墳時代の地域社会のあり方を、倭王権との結び付きが強かった上毛野氏をはじめとした、東国の古墳や集落遺跡から学ぶ。
11	律令国家	「日本」という国家が成立していく様相を、古墳時代の終末期のあり方を通じて学ぶ。
12	中世都市の暮らし	中世都市の暮らしを、鎌倉の都市構造と宗教との関わりを例に学ぶ。
13	中世の城（1）	城とは何か。中世の山城と武家屋敷との関係や、近世城郭への変遷について学ぶ。
14	中世の城（2）	城とは何か。中世の山城と武家屋敷との関係や、近世城郭への変遷について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義資料はhoppiiを通じて配信するので授業前までに各自ダウンロードしておくこと（DLには期限を設ける予定）。
講義資料で学習内容を振り返り、不明な部分があれば次回授業時までに質問事項としてまとめておくこと。
授業の進捗状況によって1～2回のレポートを課すこともある。

【テキスト（教科書）】
hoppiiを通じて配布資料を配信するので、特にテキストを準備する必要はない。

【参考書】
参考書については、随時授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（70%）、授業への参加度（30%）で評価する。
本科目は1限と2限に分かれているため、同一の試験を同時に実施することは不可能である。そのため学期中に数回のミニテストをオンライン上で実施し、これを上記の試験として取り扱う。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートや授業時に配布するリアクションペーパーに記された内容や、毎回の授業前後に寄せられる質問、小テストで推測される受講生の授業内容への理解度から、適宜授業内容に修正を加えていく。より良い授業を展開させるため、受講生からの積極的な質問や意見を期待している。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces Japanese culture. We will look at Prehistoric age of Japan for a clue to understand.
（Learning Objectives)
The goals of this course are to study historical relationships of cultures, using archaeological framework.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.
(Grading Policy)
Final grade will be determined by the final exam.

HIS100LC（史学 / History 100）

比較文化論

追川　吉生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：〈S〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文化の特徴や歴史性を、海外との比較を通して考える方法を学ぶ。列島の環境や歴史を反映した日本文化であるが、はたしてそれが日本独自のものであるのか。あるいは日本とは異なる環境で生きるヒトビトは、どのような文化や歴史を作りあげてきたのかを考える。

【到達目標】
世の中には多様な学問領域があることを知り、いわゆる理系の科目とは異なる思考や発想ができるようになるのが目的である。本科目では歴史学の一分野である考古学の方法論に基づいて、歴史と文化の関わりを学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教員が講義形式で説明し、受講生に課題やアンケート、小テスト等を課す。また授業中に受講生が意見を発言できる機会を設けたい。シラバスに記した授業の概要は予定であり、これらの結果を取り入れ、また理解が難しいことがうかがえる場合には再度の学習を行いながら進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	クラスの概要説明	シラバス内容の確認と、授業で扱うテーマについての希望調査。
2	考古学のあゆみ　考古学の萌芽	先史時代が主な研究対象と捉えられることが多い考古学だが、そのあゆみはどのようなものであったのだろうか。考古学の誕生に大きな影響を及ぼしたルネサンス以降のモノそのものの観察と研究の特徴について学ぶ。
3	人類文化の起源（1）化石人骨の発見	人類の起源はいつかという問いは、ヒトとは何かという根源的な問いに繋がるものである。『種の起源』をダーウィンが発表して以降、各地で化石人骨が見つかり、古人類学や考古学などから人類の進化が研究されてきた。こうした化石人骨の発見と研究の歩みを振り返り、人類の起源がどのように捉えられてきたかを学ぶ。
4	人類文化の起源（2）石器からみた人類の進化と拡散	現代の社会は様々な道具に支えられている。人類は深海や宇宙まで活動領域を拡げる道具や、人類自身を消滅させる威力をもった兵器までも造り出している。この人類のモノづくりの原点が、250万年前に始まった石器の製作である。旧石器時代の石器の変遷から、人類の進化と拡散について学ぶ。
5	人類文化の起源（3）人類進化の解明と遺伝子研究	現在の人類文化の起源を探る研究においては、ミトコンドリアDNAの解析は不可欠なものとなっている。遺伝子研究が人類進化の解明にどのような影響を与えたのかを学ぶ。遺伝子研究との学際的な研究の成果が、人類進化の解明に留まらないということに関して、代表的な調査事例のいくつかを紹介する。
6	人類文化の起源（4）列島最古の人類文化	列島最古の人類文化である旧石器時代とはどのような時代なのか。主要な生活道具である石器の製作技術や種類から考える。
7	東アジアの中の弥生時代（1）　『魏志倭人伝』を読む	『魏志倭人伝』は邪馬台国への道程や所在地に関する論争が注目されがちであるが、考古学からは何が重要なのか。「魏志倭人伝」に記された弥生時代から古墳時代への移行期にあたる列島の社会について学ぶ。
8	東アジアの中の弥生時代（2）北部九州の墓制	北部九州には『魏志倭人伝』に記された諸王国の王墓が発掘されている。それらを通じて弥生時代の東アジアとの交流のあり方を学ぶ。
9	東アジアの中の弥生時代（3）邪馬台国論争とは何か	邪馬台国の所在地に関しては九州説、畿内説などを中心に論争が続いている。果たして邪馬台国は幻の国なのか。発掘調査から明らかになりつつある、邪馬台国の実態について学ぶ。
10	日本の磁器生産とその拡がり (1)磁器の登場	私たちが日常の食事で使用している焼物のうち、ガラス質が磁化した半透明のものを磁器という。これは中国で発明され、日本をはじめとしたアジア各地、更にはヨーロッパにも輸出された。日本の陶器生産の歩みと、中国の陶磁器生産の影響を学ぶ。
11	日本の磁器生産とその拡がり (2)国産磁器生産の成功	日本では江戸時代になって肥前で磁器の国産化に成功した。窯跡遺跡からの出土品や伝世資料から江戸時代の肥前製磁器の技術における海外からの影響を考える。
12	日本の磁器生産とその拡がり (3)海外市場への進出と撤退	日本で磁器生産が成功して程なく、中国では明末清初の海禁政策により磁器の輸出が止まることになる。この機会に肥前製磁器はIMARIとしてヨーロッパ市場へ進出する。世界情勢とも連動した肥前製磁器の生産と流通を通じて、江戸時代の日本のモノづくりの一端を学ぶ。

13	都市の比較研究（1）中世～近世の食文化	日本料理は室町時代の武家の宴会で供された料理を基本に、江戸時代に完成した。遺跡で出土する遺物や食物残滓を中心に、文献史料や絵図資料から日本の食文化の基礎をなす江戸の食生活を探り、海外からの影響の有無を学ぶ。
14	都市の比較研究（2）ヨーロッパの食文化	ヨーロッパの遺跡から発掘された食器や食物残滓を通じて、同時代の日本の都市生活との比較を試みる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義資料はhoppiiを通じて配信するので授業前までに各自ダウンロードしておくこと（DLには期限を設ける予定）。
講義資料で学習内容を振り返り、不明な部分があれば次回授業時までに質問事項としてまとめておくこと。
授業の進捗状況によって１～2回のレポートを課すこともある。

【テキスト（教科書）】
hoppiiを通じて授業日以前に配布資料を配信するので、特にテキストは必要としない。

【参考書】
授業中に随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（70%）、授業への参加度（30%）で評価する。
本科目は1限と2限に分かれているため、同一の試験を同時に実施することは不可能である。そのため学期中に数回のミニテストをオンライン上で実施し、これを上記の試験として取り扱う。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートや授業時に配布するリアクションペーパーに記された内容や、毎回の授業前後に寄せられる質問、小テストで推測される受講生の授業内容への理解度から、適宜授業内容に修正を加えていく。より良い授業を展開させるため、受講生からの積極的な質問や意見を期待している。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces Comparative cultural studies. It is a comparative study of cultures that focuses on Prehistoric archaeology and Historic archaeology.
（Learning Objectives）
The goals of this course are to study historical relationships of cultures, using archaeological framework.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.
(Grading Policy)
Final grade will be determined by the final exam.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章作法

矢口　貢大

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、自己表現や意見表明を適切に行うための文章力の養成を目的とします。読み手にわかりやすい文章で、自分の意見を説得力をもって展開する技術を学んでいきます。最終的には、学術レポートが書けるようになることを目的とします。

【到達目標】
①わかりやすく正確な日本語の書き方を習得する。
②議論を構築し、文章で表現できるようになる。
③学術レポートが書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義と演習から成り、その進行は大きく三段階に分けられます。まず、読みやすく正確な文を書くための基本について学び、演習を行います。次に、説得力のある議論の立て方を学び、小論文を作成します。最後に、学術レポートを書くための文献検索や情報処理の技術を学び、期末課題としてレポートを作成します。
※演習を多く取り入れた授業構成とします。授業中に書いてもらった課題は、ピアレビューや添削によってよりよい作文に仕上げていきます。課題へのフィードバックは「学習支援システム」または紙媒体での添削とコメントによって行います。春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション（授業内容の理解）・文章表現の基本（1）	・オリエンテーション（抽選、授業の目標、進め方および成績評価の説明） ・語順の法則
第2回	文章表現の基本（2）	・読点のうち方 ・書き言葉と話し言葉 ・小テスト（添削演習）
第3回	自己表現の実践（1）	・課題作成（怖い話／笑い話）
第4回	自己表現の実践（2）	・課題の返却と講評 ・主述の一致 ・長文の分割
第5回	論文入門（1）	・論文とは何か ・論理とは何か ・要約練習 ・文章整序
第6回	論文入門（2）	・論証とは何か ・論証のパターン① ・400字作文
第7回	論文入門（3）	・論証のパターン②（反論） ・議論分析の方法 ・400字作文
第8回	論文入門（4）	・パラグラフ・ライティング ・パッセージの構成法 ・アウトラインの作成
第9回	意見表明の実践（1）	・課題作成
第10回	意見表明の実践（2）	・課題返却と講評 ・ピアレビュー
第11回	意見表明の実践（3）	・課題作成
第12回	意見表明の実践（4）	・課題返却と講評 ・ピアレビュー
第13回	情報収集と情報処理（1）	・先行研究の調べ方 ・注と参考文献 ・話題ストラテジー
第14回	情報収集と情報処理（2）	・スキャニング ・スキミング ・要約練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・第2回：小テストを見直し、授業内容を復習する。
・第4・10・12回：課題文の返却後、添削・講評を参考に作文を書き直す。
・第13・14回：レポート作成に必要な資料を読み、文献メモを作る。レポートのアウトラインを作成する。レポートを書き、推敲する。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。レジュメを配布します。

【参考書】
戸田山和久『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHKブックス、2012年
野内良三『日本語作文術』中公新書、2010年
野矢茂樹『新版 論理トレーニング』産業図書、2006年

【成績評価の方法と基準】
配分：
平常点（小テスト・400字作文）（20％）
課題文（40％）
レポート（40％）

【学生の意見等からの気づき】
双方向的な授業にしますが、一人の学生に当てる時間が長すぎないように調整します。メールでの質問にできるだけ迅速に対応するよう留意します。

【学生が準備すべき機器他】
授業内でパソコンを使用する予定です。

【その他の重要事項】
受講希望者が定員を超えた場合は抽選になります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
The aim of this class is to provide students with writing skills to express themselves clearly and persuasively. Students will improve academic writing skills by reading articles and essays critically, editing grammatical and rhetorical errors, learning how to compose an argument, and developing research skills.
Learning activities outside of class: Students will be required to research and write a manuscript for the paper.
Grading Criteria: class participation (quizzes and short essays, 20%), assigned writing (40%), final essay (40%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALDER mark

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this class is to introduce students to a variety of different essay writing styles and their basic construction. Emphasis will also be placed on grammatical structure.　Students will be able to understand how and why to write different types of essays as well as how to turn their essay into a power point presentation.
Grading:
Essays and in class assignments 75%
Final essay and presentation 25%

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
There will be a short lecture on each type of essay writing style used in this course. Students will then be asked to write a short essay employing the essay type being focused on.　Essays topics will be mostly chosen from the student's major.　Feedback will be given one to one and as a class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Introduction to Academic Writing	Introduce the class content, expectations and offer guidance
2回	How to write 1	Discussion of writing for different purposes, and a variety of pre-writing techniques
3回	How to write 2	Introduction to different essays, hooks and thesis statements
4回	Description essay 1	Students will be introduced to the basic skills for writing descriptive essays and begin writing.
5回	Description essay 2	Students will receive their essays back and will engage in peer feedback as well as participate in group editing activities
6回	Opinion essay 1	Students will be introduced to the basic skills for writing opinion essays and begin writing.
7回	Opinion essay 2	Students will receive their essays back and will engage in peer feedback as well as participate in group editing activities
8回	Academic summary 1	Students will be introduced to the basic skills for writing academic summaries and begin writing.
9回	Academic summary 2	Students will receive their essays back and will engage in peer feedback as well as participate in group editing activities
10回	Ted Talk writing	Students will use skills they have learned in class to watch a Ted Talk and write a comprehensive opinion
11回	DVD-social issues	Students will work in teams to create a coherent narrative on the topic of harassment.
12回	Problem Solution 1	Students will be introduced to the basic skills for writing problem/ solution essays and begin writig. **No tech support
13回	Problem Solution 2	Students will receive their essays back and start to create hybrid essays
14回	Final essay	Students will be asked to write and submit an essay showcasing a hybrid effort between AI and the ideas of the student

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Writing assignments as well as self-editing tasks.

【テキスト（教科書）】
プリントを用意する。

【参考書】
Ready to Write More. Longman Press
Academic Writing 2. Oxford Press

【成績評価の方法と基準】
Classroom work and in-class essays-75%
Final hybrid essay-25%

【学生の意見等からの気づき】
After consulting the student evaluations, no changes will be made.

【学生が準備すべき機器他】
辞書・電子辞書を毎回必ず持参して下さい。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning Objectives: By the end of this class, students should be able to write a well-organized, effective paragraph or essay based on the ability to gather and organize information.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to do regular homework and writing rough drafts for 4 essays.
Grading Criteria:
In-class activities (25%) Writing assignments 1-3 (50%) Final writing assignment and presentation (25%)最

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

早舩　由紀見

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
アカデミックライティングの手法を身につけ、400ワード程度の英語論文を完成させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行い、英語論文ライティングの手法を学ぶ。
学んだ手法を使って、授業中に英文を作成する。
英文作成に必要な文法事項の復習を、クイズ形式で行う。
提出された英文については、次の授業で返却し、各自フィードバックを行うほか、授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	What is Academic Writing	論文の構成を知る。
第2回	Choosing a topic	自分の書く論文のテーマを様々な手法で絞りこむ。
第3回	How to find resources	参考文献の役割、探し方について知る。
第4回	Taking Notes	参考文献の記録方法について知る。
第5回	Plagiarism	盗作、盗用の定義を知る。
第6回	In-text Citations	盗作とならないように、参考文献を自分の論文内に引用する方法を学ぶ。
第7回	Planning and Writing an Outline	自分の論文の概要を作成する。
第8回	Main ideas and supporting ideas	論文の本文の構成を学ぶ。
第9回	Topic Sentences and Paragraphs Developing Supporting Ideas and Detail	本文の書き方を学ぶ。
第10回	Introductions Conclusions	イントロダクションと結論について学び、実際に書く。
第11回	Proofreading	自分の書いた英文を校正する。 他人の書いた英文を校正する。
第12回	論文概要完成	作成する論文の概要を完成させる。
第13回	論文完成	学んだことをふまえて、英語論文を完成させる。
第14回	論文評価	完成した論文を評価する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】英文読解、英作文、文法、ボキャブラリーの習得。

【テキスト（教科書）】
指定教科書なし。

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度：20%
授業内演習および宿題提出：20%
論文：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
提出された英作文へのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】
ノートPC必須

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment is held to approximately 20 students to maximize teaching effectiveness.
【Learning Objectives】
To complete an academic paper of around 400 words on the topic students' choose by themselves after learning how to write it in the class.
【Learning activities outside of classroom】
- Review of the class
- Assignments
- Next class preparation
【Grading Criteria/Policy】
Active participation in class 20%
Assignments in the class and after the class 20%
Complete academic paper submission 30%
Final test 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

早舩　由紀見

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
アカデミックライティングの手法を身につけ、400ワード程度の英語論文を完成させること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行い、英語論文ライティングの手法を学ぶ。
学んだ手法を使って、授業中に英文を作成する。
英文作成に必要な文法事項の復習を、クイズ形式で行う。
提出された英文については、次の授業で返却し、各自フィードバックを行うほか、授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	What is Academic Writing	論文の構成を知る。
第2回	Choosing a topic	自分の書く論文のテーマを様々な手法で絞りこむ。
第3回	How to find resources	参考文献の役割、探し方について知る。
第4回	Taking Notes	参考文献の記録方法について知る。
第5回	Plagiarism	盗作、盗用の定義を知る。
第6回	In-text Citations	盗作とならないように、参考文献を自分の論文内に引用する方法を学ぶ。
第7回	Planning and Writing an Outline	自分の論文の概要を作成する。
第8回	Main ideas and supporting ideas	論文の本文の構成を学ぶ。
第9回	Topic Sentences and Paragraphs Developing Supporting Ideas and Detail	本文の書き方を学ぶ。
第10回	Introductions Conclusions	イントロダクションと結論について学び、実際に書く。
第11回	Proofreading	自分の書いた英文を校正する。 他人の書いた英文を校正する。
第12回	論文概要完成	作成する論文の概要を完成させる。
第13回	論文完成	学んだことをふまえて、英語論文を完成させる。
第14回	論文評価	完成した論文を評価する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】英文読解、英作文、文法、ボキャブラリーの習得。

【テキスト（教科書）】
指定教科書なし。

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度：20%
授業内演習および宿題提出：20%
論文：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
提出された英作文へのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】
ノートPC必須

【Outline (in English)】
【Course outline】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment is held to approximately 20 students to maximize teaching effectiveness.
【Learning Objectives】
To complete an academic paper of around 400 words on the topic students' choose by themselves after learning how to write it in the class.
【Learning activities outside of classroom】
- Review of the class
- Assignments
- Next class preparation
【Grading Criteria/Policy】
Active participation in class 20%
Assignments in the class and after the class 20%
Complete academic paper submission 30%
Final test 30%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

FRITZ Erik

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
・明確な目的を持って特定の読者に向けて適切な語彙とスタイルで書くことができる。
・論理構成や段落分けを理解し簡潔で効果的な文章で書くことができる。
・書くプロセス（planning, outlining, drafting）に沿って書けるようになる。
・剽窃(plagiarism)を避けるために様々な引用の仕方を理解し使えるようになる。
・クラスメートのエッセイを読み直し、編集できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・授業計画に従い、グループワークやディスカッションを盛り込み、参加型の授業を実施する。具体的には、ライティングの演習問題を、グループワークで実施し、クラス内で発表し相互理解を深める。ピア編集を活用し、お互いの書いたものを校正、編集し、ライティングスキルの向上につなげる。また、教員による個別フィードバックがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Explanation of syllabus &course introduction Introduction to fluency writing
第2回	Paragraph writing	Fluency writing How to write paragraphs Formatting guidelines and avoiding plagiarism
第3回	Paragraph writing	Fluency writing Learn how to reference your sources
第4回	Paragraph writing	Fluency writing Start Writing #1
第5回	Paragraph writing	Fluency writing Finish &turn in Writing #1 at the end of class
第6回	Paragraph writing	Fluency writing Revise Writing #1
第7回	Essay writing	Fluency writing Finish &turn in Revised Writing #1 at the beginning of the class Brainstorming Write 2 arguments &1 counter argument
第8回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 1
第9回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 2
第10回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 3
第11回	Essay Writing	Fluency writing Introduction &conclusion
第12回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 rough draft due at the end of class
第13回	Essay writing	Fluency writing Revise Writing #2
第14回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 final draft due at the end of the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間程度を標準とする】
・ライティング課題は、全て、初稿提出⇒ピア編集⇒書き直し⇒最終稿提出で進んでいくので、期限までに初稿、最終稿を提出すること。
・リサーチのテーマに沿って、様々なリーディング素材を英語で読みながらまとめていくので、しっかりと事前準備をして進めていくこと。

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by the professor online.

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
・ライティング課題 ７０％　（パラグラフ２０％、エッセイ４０％、 Fluency １０％）
・ピア編集、ピアフィードバック等を含む、クラス内課題取り組み状況　３０％
※上記の評価に加え、欠席１回につき２％減、遅刻１回につき１％減とする。
※交通機関の乱れによる遅刻については、遅延証明がある場合は考慮する。
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
Students need to bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【その他の重要事項】
・授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The course is designed to help students develop skills to communicate effectively in writing. Students will practice group writing assignments that require planning, drafting, revising and editing.
By the end of the course, students will be able to: 1) write for a clear purpose and to a specific audience, using appropriate word and style choices, 2) understand the planning, outlining and drafting process, 3) integrate sources accurately and effectively, 4) write in the style of an English-language academic essay, 5) read and edit their essays in order to improve them.
Each week students will be expected to spend four hours outside of class preparing for their writing assignments.
Final grades will be based on class participation (30%) and writing assignments (70%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

長谷川　秀子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
この授業では、専門的で学術的な文章を読む時に必要な基本的な語彙力、文法力、構文などを確認しながら、リーディング力の向上を図る。語彙については単に暗記するだけでなく、文脈や文構造を理解する力を鍛える。また文の内容を正確に把握し、文章全体を簡潔に要約できる読解力の養成を目指す。トピックは現代社会における国内外の社会、仕事と余暇、環境、ビジネスと経済などを扱い、グローバル社会において世の中の情勢を理解し、意見を表現できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
このクラスの教科書は Introduction, Words in context, Reading, Comprehension 1&2,Vocabulary, Listening 1&2, Your opinion とあり予習が必要な部分と授業で行うところがある。読むことだけではなく、聞くこと、書くこと、話すことも行う。トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。
フィードバックに関しては質問、提出物からまとめてクラスで口頭、又はファイルを見ながら行う。授業内容の変更などは講義連絡を通じて連絡をするので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進めかた、テキストの使い方等の説明。
第2回	Unit 1	Mini Presentation Smart Phones Deserve Smart Users
第3回	Unit 2	The Animals in Our Lives
第4回	Unit 3	Mini Presentation Reforming Japan's Education System
第5回	Unit 4	A Hungry Future
第6回	Unit 5	Mini Presentation No More Unwelcome Advertisements
第7回	Unit 6	A Living Wage
第8回	Unit 7	Mini presentation Keeping Mothers on the Payroll
第9回	Unit 8	Slow Life
第10回	Unit 9	Mini Presentation Volunteering
第11回	Unit 10	Longevity：a Mixed Blessing
第12回	Review (1) News Paper Article	Unit 1-5 Current Topic
第13回	Review (2) News Paper Article	Unit6-1 Current Topic
第14回	Term Exam	Unit 1-10の範囲

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間程度を標準とする】授業の前にテキストの本文を読んでくる。新しい語句の確認をし簡単な要約ができるようにしておく。オリエンテーションで詳細を説明。

【テキスト（教科書）】
未来へ続く道
What's Going On in the World?　David Peaty, Kahori Kobayashi（2017）
SEIBIDO 1900円（税別）　ISBN978-4-7919-6027-9

【参考書】
授業中に紹介の予定。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】ミニプレゼンテーション、小テスト、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
教員との連絡方法はオリエンテーションで連絡予定。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
—
Goals :In this class, we train skills like vocabularies, grammar, sentence structures that are necessary to understand technical and academic materials. We will also practice to understand the content accurately and summarize effectively. The topics of the readings will vary from domestic and international affairs, work and leisure, environment, business and economy.
–
Work outside of class: Read the textbook, check the new vocabularies, and summarize.
——
Grading: Assignment mini presentation 50%,Term exam 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

長谷川　秀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
この授業では、専門的で学術的な文章を読む時に必要な基本的な語彙力、文法力、構文などを確認しながら、リーディング力の向上を図る。語彙については単に暗記するだけでなく、文脈や文構造を理解する力を鍛える。また文の内容を正確に把握し、文章全体を簡潔に要約できる読解力の養成を目指す。トピックは現代社会における国内外の社会、仕事と余暇、環境、ビジネスと経済などを扱い、グローバル社会において世の中の情勢を理解し、意見を表現できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや課題からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行い、授業内で確認していく。このクラスの教科書は Introduction, Words in context, Reading, Comprehension 1&2,Vocabulary, Listening 1&2, Your opinion とあり予習が必要な部分と授業で行うところがある。読むことだけではなく、聞くこと、書くこと、話すことも行う。トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。
COVID－１９による感染状況により授業形態や成績評価の方法が変更する場合は、学習支援システムにて予定を提示するので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Plan for this term
第2回	Unit 11	Mini Presentation The Importance of Biodiversity
第3回	Unit 12	A Home for Endangered Storks
第4回	Unit 13	Mini Presentation Japan's Future Energy Supply
第5回	Unit 14	Green Transportation
第6回	Unit 15	Mini Presentation How Much Is Nature Worth?
第7回	Unit 16	Business Can Be Green
第8回	Unit 17	Mini presentation Storing Energy
第9回	Unit 18	A Dollar a Day
第10回	Unit 19	Mini presentation Beyond Fair Trade
第11回	Unit 20	Shrink the Economy, Not the Earth
第12回	Review (1) Newspaper Article	Mini Presentation Current Issue
第13回	Review (2) Newspaper Article	Current Issue
第14回	Term Exam	Unit 11-20

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間程度を標準とする】授業の前にテキストの本文を読んでくる。新しい語句の確認をし簡単な要約ができるようにしておく。オリエンテーションで詳細を説明。

【テキスト（教科書）】
未来へ続く道
What's Going On in the World?　David Peaty, Kahori Kobayashi（2017）
SEIBIDO 1900円（税別）　ISBN978-4-7919-6027-9

【参考書】
授業にて紹介予定。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】ミニプレゼンテーション、小テスト、課題　50%
期末試験　50%

【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
トピックを理解するための情報はクラスの中で話したり、プリントを配布することがある。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
教員との連絡方法はオリエンテーションで連絡予定。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
—-
Goals: In this class, we train skills like vocabularies, grammar, sentence structures that are necessary to understand technical and academic materials. We will also practice to understand the content accurately and summarize effectively. The topics of the readings will vary from domestic and international affairs, work and leisure, environment, business and economy.
——
Work to be done outside class:
Read the textbook, check the new vocabularies, and summarize.
———-
Grading: Assignment mini presentation 50%, Term exam 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用する語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は、テキストを中心とする講義と演習を行う。また、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは提出された課題レポートから実例や問題点を取り上げ、全体に対して行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	Guidance ガイダンス	授業の説明／予習すべき項目の指示／課題の提示
②	Unit 1 The Scientific Method 精読	テキストの7ページと8ページの精読／科学的方法について／パラグラフの構造の説明／課題の提示
③	Unit 1 The Scientific Method 文法	テキストの9ページと10ページの練習問題／受動態／科学英語の語彙と数式の読み方／課題の提示
④	Unit 2 Observing the Solar System 精読	テキストの11ページと12ページの精読／太陽系の観測史について／課題の提示
⑤	Unit 2 Observing the Solar System 文法	テキストの13ページと14ページの練習問題／方程式の読み方　他動詞の目的語となる動名詞とto-不定詞／課題の提示
⑥	Unit 3 The Beauty of Mathematics 精読	テキストの15ページと16ページの精読／数式の美しさについて／課題の提示
⑦	Unit 3 The Beauty of Mathematics 文法	テキストの17ページと18ページの練習問題／数式の記号について　関係代名詞／課題の提示
⑧	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 精読	テキストの19ページと20ページの精読／電球とLEDについて／課題の提示
⑨	Unit 4 From Light Bulbs to LEDs 文法	テキストの21ページと22ページの練習問題／図形・面積・体積　関係副詞／課題の提示
⑩	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 精読	テキストの23ページと24ページの精読／放射性物質について／課題の提示
⑪	Unit 5 The Risks and Rewards of Radiation 文法	テキストの25ページと26ページの練習問題／長さ・幅・高さ・深さ　分詞構文／課題の提示
⑫	Unit 6 The Man Who Saved Millions 精読	テキストの27ページと28ページの精読／ジェンナーの業績／課題の提示
⑬	Unit 6 The Man Who Saved Millions 文法	テキストの29ページと30ページの練習問題／工具と付属部品の名称　関係代名詞／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、それにテキストから覚えるべき表現や単語を書き出し、何度も反復練習をするように。

【テキスト（教科書）】
Advances in Science : Learning from the Past, Looking to the Future,Dave Rear &Kayoko Murakami, 南雲堂, 2019, 1900円.

【参考書】
『理科系のための英語力強化法』、ジャパンタイムズ、2002年　『公式TOEIC(R)Listening &Reading 問題集 9』、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、2022年

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(40%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（30%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が５回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようお手伝いします。質問があれば何時でもどうぞ。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding paragraph structure.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 40%, final term assignment: 25%, final test: 30%and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味を捉える力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。DVDを使用するリスニングとリーディングの訓練も継続させる。

【到達目標】
一流のサイエンスライターの書いた科学記事を読みこなせるようになる。科学論文でよく使用される語彙や構文を修得できる。文章の中から必要な情報を見つけて、訳読に頼らず、理解できるようになる。短めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で述べられている情報をもとに要点、目的、基本的な文脈を推測できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
前学期に準ずる講義と演習に加えて、TOEIC形式の問題演習（プリント）を随時行い、スキルの仕上げをめざす。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	春学期末レポートのフィードバックとガイダンス	春学期末レポートのフィードバックを行い、本学期のガイダンスを実施する／課題の提示
②	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 精読	テキストの31ページと32ページの精読／アインシュタインの一般相対性理論について／課題の提示
③	Unit 7 Unlocking the Mysteries of Gravity 文法	テキストの33ページと34ページの練習問題／運動を表す動詞　「原因・理由」を表す副詞節／課題の提示
④	Unit 8 The Strange World of Atoms 精読	テキストの35ページと36ページの精読／原子の世界について／課題の提示
⑤	Unit 8 The Strange World of Atoms 文法	テキストの37ページと38ページの練習問題／運動の方向を表す表現「結果・程度」を表す副詞節／課題の提示
⑥	Unit 9 Interstellar Travel 精読	テキストの39ページと40ページの精読／星間旅行について／課題の提示
⑦	Unit 9 Interstellar Travel 文法	テキストの41ページと42ページの練習問題／測定・計量を表す動詞「譲歩」を表す副詞節／課題の提示
⑧	Unit 10 Limitless Energy 精読	テキストの43ページと44ページの精読／核融合について／課題の提示
⑨	Unit 10 Limitless Energy 文法	テキストの45ページと46ページの練習問題／グラフ・図表の英語表現　比較の表し方／課題の提示
⑩	Unit 11 The Surprising Uses of Nanotechnology 要約　基礎	テキストの47ページから50ページの内容の要約／ナノテクノロジーについて　主語・目的語の名詞表現を判別し、文の「主題」をつかむ／課題の提示
⑪	Unit 12 Creating the Perfect Human 要約　基礎	テキストの51ページから54ページの内容の要約／ヒトの遺伝子編集について　「主題」のパラフレーズとディスコースマーカーの働き／課題の提示
⑫	Unit 13 The New Age of Computing 要約　応用	テキストの55ページから58ページの内容の要約／量子コンピューターについて　全体の主旨を理解する論理的思考力と無意識に活用できる文法力／課題の提示
⑬	Unit 14 The Coming of the Machines 要約　応用	テキストの59ページから62ページの内容の要約／ヒトとAIの共存について　背景知識の活用／課題の提示
⑭	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題の提示と説明を行い、提出期限を指示する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各１時間を標準とする。学生の皆さんは英語専用のノートを作成し、覚えるべき表現や単語を書き出し何度も反復練習すること。

【テキスト（教科書）】
前期のテキストを引き続き使用し、プリントを随時配布する。秋学期からの履修者のため、タイトルを提示しておく。
Advances in Science : Learning from the Past, Looking to the Future, 南雲堂, 2019, ISBN 978-4-523-17899-6.

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
全13回の課題レポート(40%)、三段階評価する学期末レポート課題(25%)、学期末に実施する文法・語彙確認テスト（30%)、授業への積極的な参加・貢献(5%)、を総合的に検討して評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとする。総合評価の中には、授業への積極的な参加・貢献も含まれる。未提出課題が５回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語の効果的な勉強法を各自が習得できるようにお手伝いします。前期同様に質問があれば、気軽にしてください。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用する。

【その他の重要事項】
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業へ持参すること。この教科書は一般の本屋さんやアマゾンなどでは販売されていません。大学で、指定の期間内に必ず購入して下さい。受講者には、毎回の課題レポートをきちんと全て提出すること、学期末レポート課題の提出期限を守ることを銘記してもらいたい。それが単位習得のための最善策である。

【Outline (in English)】
(Course outline)
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure. Students will be also trained to improve their listening and reading skills with a whole film or sequences from it.
(Learning Objective)
By the end of the course, students will be able to :
- read scientific articles written by first-rate writers.
- develop their English vocabulary and expressions frequently used in the field of science and technology.
- extract the key information from a passage, without translating each sentence literally.
- understand how the main idea in one paragraph relate to the idea in another, based on processing information described in short conversations, announcements and narrations.
(Learning activities outside of classroom)
Students are expected to:
- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.
(Grading Criteria/Policy)
Final grade will be calculated according to the following process:
13 weekly class assignments: 40%, final term assignment: 25%, final test: 30%, and in-class contribution: 5%.
Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

太田　美智子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
· Reviewing basic grammatical structure in order to write English more correctly and confidently.
· You can choose most appropriate type of essay.
基本的な文法の復習を通してより正確な英文を書けるようにすることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
The lesson will involve using textbook and also free-writing.
For at least the first half of spring semester, this class will be conducted online. Changes from original syllabus for each class session will be posted on the Learning Management System before each class session. This class will
begin on May 5th and by that date a more concrete explanation of how the course will be conducted will be posted on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Explanation of Class Rules. You will write a brief self-introduction.
第2回	Unit 1	* Things Happen for a Reason * Cause &Effect
第3回	Unit 2	* Same or Different? * Compare &Contrast
第4回	Unit 3	* Here's What I Think * Giving an Opinion
第5回	Unit 4	* Sorting Things Out * Classfication Writing
第6回	Unit 5	* Step by Step * Describing a Process
第7回	quiz	quiz
第8回	Unit 6	* Feeling Through your Senses * Descriptive Writing
第9回	Unit 7	* Don't you Agree? * Persuasive Writing
第10回	Unit 8	* You Be the Judge * Writing to Evaluate
第11回	Unit 9	* Two sides to Every Story * Pros &Cons
第12回	Unit 10	* A Bit of Advice * Writing to Advise
第13回	Review	Review
第14回	Check	Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4 時間を標準とする】You are expected to preview each lesson, also do exercises assigned in the textbook.

【テキスト（教科書）】
Jigsaw–Insightful Reading to Successful Writing, Robert Hickling, Jun Yashima, Cengage Learning, 2150yen

【参考書】
Writing Series, Kerry Ito, Kenkyusha

【成績評価の方法と基準】
Class Work and Participation　30％
Short Reports　30％
Term-Examination 40％
Due to the movememt of classes online, the grading policy for this class will be modified.
More specific information will be posted on the Learning Management System on the day class begins.

【学生の意見等からの気づき】
It is important for us to find intersting topics.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skills of writing in a more English-like way, finding and researching good topics and content-based writing.
* Reviewing basic grammatical structure in order to writing more correctly and confidently
* You can choose the most appropriate type of essay
Grading:
Class Work and Participation 30%
Short Reports 30%
Term-Examination 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

太田　美智子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセンス・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。

【到達目標】
· Reviewing basic grammatical structure in order to write English more correctly and confidently.
· You can choose most appropriate type of essay.
基本的な文法の復習を通してより正確な英文を書けるようにすることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
The lesson will involve using textbook and also free-writing.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Explanation of Class Rules. You will write a brief self-introduction.
第2回	Unit 1	* Things Happen for a Reason * Cause &Effect
第3回	Unit 2	* Same or Different? * Compare &Contrast
第4回	Unit 3	* Here's What I Think * Giving an Opinion
第5回	Unit 4	* Sorting Things Out * Classfication Writing
第6回	Unit 5	* Step by Step * Describing a Process
第7回	quiz	quiz
第8回	Unit 6	* Feeling Through your Senses * Descriptive Writing
第9回	Unit 7	* Don't you Agree? * Persuasive Writing
第10回	Unit 8	* You Be the Judge * Writing to Evaluate
第11回	Unit 9	* Two sides to Every Story * Pros &Cons
第12回	Unit 10	* A Bit of Advice * Writing to Advise
第13回	Review	Review
第14回	Check	Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4 時間を標準とする】You are expected to preview each lesson, also do exercises assigned in the textbook.

【テキスト（教科書）】
Jigsaw–Insightful Reading to Successful Writing, Robert Hickling, Jun Yashima, Cengage Learning, 2150yen

【参考書】
Writing Series, Kerry Ito, Kenkyusha

【成績評価の方法と基準】
Class Work and Participation　30％
Short Reports　30％
Term-Examination 40％

【学生の意見等からの気づき】
It is important for us to find intersting topics.

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionaries

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skills of writing in a more English-like way, finding and resarching good topics and content-based writing
* Reviewing basic grammatical structure in order to writing more correctly and confidently
* You can choose the most appropriate type of essay
Grading:
Class Work and Participation 30%
Short Reports 30%
Term-Examination 40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスは、学生のTOEICリーディングおよびリスニングテストの成績向上を目的としています。教科書と追加のオンラインリソースを出発点として、学生は語彙の拡充、文法・読解・作文・リスニング能力の向上、そして試験対策の戦略を学びます。学生は、クラス内での仲間やインストラクターからの即時フィードバック、練習テストに対する書面でのノートや訂正を受け、さらにインストラクターから個別にメールで詳細なフィードバックを受けることができます。

【到達目標】
Students will learn and develop TOEIC test taking skills.
Students will expand their vocabularies and understanding of English Grammar.
Students will practice TOEIC exam questions as individuals and as a class.
Students will aim to improve their TOEIC reading and listening test scores by 50-100 points.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete practice TOEIC reading and listening exam questions and use the textbook to discuss the best ways to approach different kinds of questions. This class will use real past papers and exam questions to continually challenge students and help develop familiarity with the structure of the exam. We will also discuss how to best use your time in the exam. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Course overview, Introduction to the textbook, Overview of TOEIC
第2回	Listening test parts 1+2	Photographs/question-response
第3回	Listening tests parts 3+4	Skimming to predict contexts before listening
第4回	Reading test parts 5,6,+7	Time management, identifying speech using context for clues
第5回	Listening test parts 1+2	Correct verbs similar sounding words
第6回	Listening test parts 3+4	Same-word distractors Different kinds of 'what' questions
第7回	Midterm exam	Midterm exam to make up 20%of grade
第8回	Reading test parts 5,6+7	gerunds and infinitives phrasal verbs adjectives and adverbs
第9回	Listening test parts 1+2	Listening for details Time and location structures
第10回	Listening test parts 3+4	vocabulary clues re-statements questions involving numbers and quantities
第11回	Reading test parts 5,6+7	Suffixes and prefixes future and perfect verb forms 'NOT' questions
第12回	Listening test parts 1,2,3,4	Prepositions Offers, requests and opinions Polite ways to say 'no' 'how' and 'why' questions
第13回	Reading test parts 5,6+7	Pronouns prepositions and conjunctions answering questions with charts and tables
第14回	Final exam	Final exam to make up 20%of grade

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. I may also assign questions and short quizzes based on past papers. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
Tactics for TOEIC® Listening and Reading Test Student Book, Grant Trew, Oxford University Press, ISBN : 9780194529532

【参考書】
Please see Hoppii for additional supplements and aids.

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Class participation: 10%
Final Test: 20%
Midterm test: 20%
Assignments: 30%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class aims to improve students' performance in the TOEIC reading and listening test. By using the textbook and additional online resources as a starting point, this class encourages students to expand their vocabularies, improve grammar, reading, writing and listening skills, and learn test-taking strategies. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on practice tests, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

井上　敏郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、受講生がTOEICテストの点数を上げることを目標にしつつ、英語のリスニング力を向上させることを目的としています。TOEICの試験対策のためのテクニックを習熟すると共に、語彙力や表現力を強化することにより英語のリスニング力の底上げを目指します。この授業はオンラインで行います。

【到達目標】
TOEICテストの50-100点のスコアをアップを目指し、学生はTOEICの出題形式に慣れることにより、スコアアップの対策ができるようになります。さらに、TED Talk等の様々な内容の英語を聞き、理解することによってリスニング力や表現力が向上し、基本となる英語力（語彙力、文法力、読解力、リスニング力）を上達させることができます。簡単な会話やスピーチを理解し、相手が理解できるように伝えることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では特にリスニング力を向上させることに焦点を当てつつ、TOEICのスコアアップを目指します。TOEICの出題形式に慣れ、TOEIC試験対策のテキストを学ぶことにより語彙力、文法力、読解力を向上させます。TED Talkを視聴し、課題を行うことにより様々な内容の英語を聞き、リスニング力の向上につなげます。さらに、TOEICのリスニングパートなどを聞き、発話することでリスニング力を向上させ、簡単なスピーチや会話を理解し伝える力をつけていきます。様々な課題やテストにおいて、随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1.	Introduction / Orientation	オリエンテーション、TOEIC Pre test、目標設定
2.	Part 1 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
3.	Part 2 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
4.	Part 3 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
5.	Part 4 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
6.	Part 5 and Part 6	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
7.	Mid-term	Listening Test 1
8.	Part 1 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
9.	Part 2 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
10.	Part 3 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
11.	Part 4 and Listening Practice	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
12.	Part 7	TOEIC 演習、解説、グループワーク、リスニング、音読
13.	Make-Ups	TOEIC演習、まとめ、学習ポイントの解説、振り返り
14.	小テスト	授業の成果確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。学生は授業の後に要求されている課題を毎週学習することが必要となります。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
参考文献は授業中に提示します。また授業中にプリント資料を配布します。

【成績評価の方法と基準】
Listening Test 1 (20%), Listening Test 2 (20%), Homework (20%), TED Talk Task (20 %), In-class Participation/effort (20 %)

【学生の意見等からの気づき】
学生の要望や関心に配慮しつつ、柔軟に対応したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】
辞書、電子辞書。

【その他の重要事項】
受講生のレベルに応じて、授業の進度やシラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
By the end of this course, students will develop listening ability in English as well as increasing their TOEIC score. In addition to TOEIC test taking skills, students will increase their knowledge in vocabulary, grammar, and expressions, which enable them to have better skills of listening comprehension in English
[Learning Activities outside of classroom]
Students are expected to complete required assignments after each class. It will take at least one hour to complete each assignment.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be decided based on the following:
Listening Test 1 (20%), Listening Test 2 (20%), Homework (20%), TED Talk Task (20 %), In-class Participation/effort (20 %)
This class is performed on line.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語 I

呉　暁林

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業です。
授業では受講者が発音と文法を中心に初級中国語の教科書前半部分を学びながら，デジタル時代に対応する中国語力の基礎（ピンイン入力、読み書き、言語の規則）も習得できることを目指します。
また，受講者が中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。

【到達目標】
中国語表音文字ピンインを使いこなし、簡単な言葉のやり取りができることを到達目標とします。授業で学習した中国語の基礎的な文法・語彙・実用会話文を着実に習得してほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業ではスマホ、ノートPCなどを使う書き読みの練習、アプリを使う録音と発音の検証，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，あいさつ言葉や基本的な実用会話を学びます。
提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・中国語とは？	授業の進め方について・中国語とは。
第2回	中国語ピンイン入力と日常用語(1)	発音とピンイン入力(1)：解説と練習。
第3回	中国語ピンイン入力と日常用語(2)	発音とピンイン入力(2)：解説と練習。
第4回	中国語ピンイン入力と日常用語(3)	発音とピンイン入力(3)：解説と練習。
第5回	中国語の文法と語彙(1)	第1課：自己紹介　　新出語句・文法ポイント（人称代名詞、動詞「是」、～の…（連体修飾語の表し方）、名前の言い方、ドリル、本文朗読、練習問題、会話練習
第6回	中国語の文法と語彙(2)	第2課：一緒に映画を見ようよ 新出語句・文法ポイント（指示代名詞（1）、動詞述語文、形容詞述語文、省略疑問文、語気助詞「吧、ドリル
第7回	中国語の文法と語彙(3)	第3課「一緒に映画を見ようよ」 新出語句、本文朗読、練習問題、会話練習
第8回	中国語の文法と語彙(4)	第4課「キャンパス案内」 新出語句、文法のポイント（指示代詞（2)、所在表現、主述述語文、所有表現「有」、疑問詞疑問文)、ドリル
第9回	中国語の文法と語彙(5)	第3課「キャンパス案内」 新出単語、本文朗読、練習問題、会話練習
第10回	中国語の文法と語彙(6)	第4課「ペットも家族の一員」 新出語句、文法ポイント（100以上の数、量詞、存在表現、選択疑問文、年齢の言い方)、ドリル
第11回	中国語の文法と語彙(7)	第5課「誕生日のお祝い」 新出語句・文法ポイント（介詞（1)、動作の完了・実現を表す助詞「了」、二重目的語、年月日・曜日の言い方、時刻の言い方)、ドリル
第12回	中国語の文法と語彙(8)	第6課「遠距離恋愛」 新出語句、文法ポイント（変化・新たな状況の発生を表す「了」、願望を表す助動詞「想/要」、介詞（2)、「多」＋形容詞、反復疑問文、ドリル
第13回	中国語の文法と語彙(9)	第6課「遠距離恋愛」 本文朗読、練習問題、期末復習
第14回	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。
授業で紹介したソフトやアプリを使ってなれること、また自ら他のソフトやアプリも使ってみることで新しい語学学習の方法にチャレンジしてください。テキストについているCDなど音声資料を十分に活用し、通学時にも何度も聴くくらいの努力を重ねてほしい。音声資料を活用した予習と復習は、文の暗記、暗唱にも大きな効果があります。

【テキスト（教科書）】
丸尾誠・勝川裕子・李⊠倫『初級中国語　この一冊ー4技能の習得を目指してー　改訂版』金星堂
ppt

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点40%（出席・受講態度・発声音量・宿題の提出)、期末試験60%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
紹介されたアプリ、ソフトを積極的に使い、またクラスメートや留学生、ネイティブの方とのコミュニケーションをしましょう。

【学生が準備すべき機器他】
スマホ、ノートPC

【Outline (in English)】
This course is designed for students studying Chinese for the first time. Using textbooks, students acquire grammar rules, Chinese pronunciation, essential vocabulary, word order, and other aspects of the Chinese language.
Students are expected to spend four hours before and after each class to understand the course content.
Attendance is a prerequisite for evaluation. Grades will be based on a total of 40%for regular points (attendance, class attitude, pronunciation volume, and homework submission) and 60%for the final exam.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語ＩＩ

呉　暁林

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に基礎中国語Ⅰを学んだ学生、またその学力のある学生を対象とする授業です。授業では文法を中心に基礎中国語の後半部分を学びます。受講者が中国語力の基礎（表音文字ピンインのキーボード入力、音声入力、「聞く」力・「書く」力）を着実に習得できることを目指します。また，中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。必要に応じて，HSK（中国語能力検定試験＝漢語水平考試の略称）の対策も行います。

【到達目標】
中国語を実際に情報収集検索に使い、初歩的なコミュニケーション能力（発音と入力（ピンイン）、基礎的な文法の理解・語彙・実用会話など）を習得することを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業ではスマホ、ノートPCなどを使う書き読みの練習、アプリを使う録音と発音の検証を行います。簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得を進めながら，基本的な会話文を学びます。
　提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。詳細は学習支援システムで伝達する。中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，基本的な実用会話を学びます。また，必要に応じて，過去問題などを使って，中国語検定（準4級）対策も行います。提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 中国語の表音文字ピンインのキーボード入力と音声入力	授業に使用するソフト・アプリの説明、授業の進め方について
第2回	中国語の文法と語彙(1)	第7課「北京のベストシーズンは？」 文法ポイント（経験を表す「☒」、比較の表現、「有点儿」と「一点儿」、禁止を表す副詞「别/不要」、お金の言い方）、ドリル
第3回	中国語の文法と語彙(2)	第7課「北京のベストシーズンは？」 本文朗読、練習問題、応用練習
第4回	中国語の文法と語彙(3)	第8課「中国語の勉強」、新出語句、 文法ポイント（可能を表す助動詞「会/能/可以」連動文、進行の表現、動詞の重ね型、「越…越…」、ドリル
第5回	中国語の文法と語彙(4)	第8課「中国語の勉強」本文朗読、練習問題、応用練習
第6回	中国語の文法と語彙(5)	第9課「リスニングは難しい」新出語句、文法ポイント（結果補語、義務・必要性を表す助動詞「得/要/☒☒）概数の「多」、数量表現（動作量/時間量）、程度補語（1）ドリル
第7回	中国語の文法と語彙(6)	第9課「リスニングは難しい」本文朗読、練習問題、応用練習
第8回	中国語の文法と語彙(7)	第10課「サークル活動」新出語句、・文法ポイント（兼語文（1）、二つの「怎么」・動作・状態の持続を表す助詞「着」、「是～的」、様態補語）、ドリル
第9回	中国語の文法と語彙(8)	第10課「サークル活動」 本文朗読、練習問題、応用練習
第10回	中国語の文法と語彙(9)	第11課「携帯電話」 新出語句、文法ポイント（兼語文（2）、「把」構文、「一～就」、「一☒～一☒」、「V一下」 ドリル
第11回	中国語の文法と語彙(10)	第11課「携帯電話」 本文朗読、練習問題、応用練習
第12回	中国語の文法と語彙(11)	第12課「財布の紛失」 新出語句、文法ポイント（方向補語、程度補語（2）、受身表現、強調表現）、ドリル、練習問題
第13回	中国語の文法と語彙(12)	第13課「春節に故郷を思う」 新出語句、文法ポイント（「快/快要/就要～了」、自然現象、可能補語、複文、疑問詞の不定用法）ドリルと練習問題
第14回	期末試験	期末試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。
授業で紹介したソフトやアプリを使ってなれること、また自ら他のソフトやアプリも使ってみることで新しい語学学習の方法にチャレンジしてください。テキストについている 音声資料をダウンロードしておいてください。何度も聴くくらいの努力を重ねてほしい。音声資料を活用した予習と復習は、文の暗記、暗唱にも大きな効果があります。

【テキスト（教科書）】
丸尾誠・勝川裕子・李☒倫『初級中国語　この一冊ー4技能の習得を目指してー　改訂版』金星堂
ppt

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。成績評価は宿題レポートの点数（60％）、授業への貢献度（10）と期末試験（30％）を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
紹介されたアプリ、ソフトを積極的に使い、またクラスメートや留学生、ネイティブの方とのコミュニケーションをしましょう。
受講者が充実を感じ、興味を持って学習を続けたいと思うような授業を志します。なお、受講者の理解を優先しますので、上記の授業計画通りには進まない可能性があります。

【Outline (in English)】
The class is for students who have already learned basic Chinese pronunciation and short sentence structure. The course focuses on learning Chinese aspect, idiomatic phrases, basic vocabulary, and other aspects of the Chinese language; Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.Grades are based on lab report quality (60%), class contribution (10%) and final report (30%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

井上　敏郎

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEICテストの成績向上と共に、英語の実力も向上することを目指す。TOEICテストの7種類のパターンについて、それぞれその特徴とポイントを、実践的に行っていくつもりです。この授業はオンラインで行います。

【到達目標】
学生諸君の得意な分野と苦手な分野はそれぞれ違うでしょうが、今回はリスニングと文法を確実に向上させることを目的とするつもりです。具体的には、１００点のアップを目指しましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
TOEICテストの7つのパートを全部扱うつもりですが、上で書いたように、リスニングと文法に重きを置くつもりです。具体的にはリスニングのパート１～３、リーディングのパート５，６です。実際に問題を解きながらの授業となります。また、幾つかを課題として皆さんに配布し、次週に回収した答案を使って、誤答の部分を中心に、解くポイントの説明等を行います。特にリスニングは聞き取りづらい箇所を確認します。リーディングは文法、読みの重要箇所の確認をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1回目	授業説明	聴きづらい音の確認、リスニングの
	リスニング　パート１	要点の確認
	リーディング　パート５	語感の説明
2回目	リスニング　パート１	問題の傾向の説明
	リーディング　パート５	語彙の傾向の説明
3回目	リスニング　パート１	選択肢の傾向の説明
	リーディング　パート５	
4回目	リスニング　パート２	話の流れを掴む練習を積む
	リーディング　パート６	
5回目	リスニング　パート２	わからない文章を前後から理解する
	リーディング　パート６	練習を積む
6回目	リスニング　パート２	語彙の確認
	リーディング　パート６	
7回目	リスニング　パート３	ポイントとなる単語やフレーズの把
	リーディング　パート７（１つの文書）	握の練習を積む
8回目	リスニング　パート３	理解の強弱をつける練習を積む
	リーディング　パート７（１つの文書）	
9回目	リスニング　パート３	リスニングのスピードに慣れる、
	リーディング　パート７（１つの文書）	読むスピードを上げる練習を積む
10回目	リスニング　パート４	何度か聞いたり、時間をかけて読み、
	リーディング　パート７（２つの文書）	文章の長さに慣れる練習を積む
11回目	リスニング　パート４	スピードを上げて、話の流れを掴む
	リーディング　パート７（２つの文書）	練習を積む
12回目	リスニング　パート４	実際のテストと同様のシステムでど
	リーディング　パート７（２つの文書）	のくらい理解できるかを確認する
13回目	リスニング　パート４	上と同様だが、それによって自分の
	リーディング　パート７（２つの文書）	長所、弱点を確認する
14回目	実際のテストに当たる（リスニング）	現在の自分の実力を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】TOEICテストに限らず、結局は問題への慣れが重要です。毎日とは言いませんが、出来るだけ多く自宅学習をやること。一番良いのは、TOEIC公式問題集です。図書館にあると思うので、借りてやってみてください。とにかく本一冊をやりきれば、どんな本でも意味があります。

【テキスト（教科書）】
授業で配布します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
毎回、問題を解きながらの授業なので、皆さんの反応を確かめます。積極的に問題の答えをレスポンスして下さい。この授業の性格から、平常点重視にするつもりです。真面目な授業態度を特に重要視します（６０％）。最後に行う模擬テスト（４０％）と合わせて評価します。

【学生の意見等からの気づき】
ちょっと喋るテンポが速くなったり、またたまに正解の説明を忘れたりすることがあるようなので、今回はそうならないように気をつけます。

【その他の重要事項】
辞書は必ず持参して下さい。

【Outline (in English)】
I'll show you about the characteristics of TOEIC and how to solve the questions so that you can acquire the higher scores.
The goal of this course is to develop your listening and knowledge of grammar.
After each class meeting, students will be expected to solve the relevant subject(s) from the teacher. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Our overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%.
This class is perforemed on line.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

NEIL CONWAY

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Class time will be focused on group and pair work; Active Learning methodologies will be evidenced in all project work. There will be opportunities for students to write and prepare short research-based presentations. Students will be expected to read assigned (or researched) texts each week and report both in verbal and written form. During class, feedback on homework is given using examples from successful reports /assignments. Students are encouraged to share their work and reflect on methods of improvement. The grading methodology is explained at the start of the course along with key information on presenting work properly and advice on achieving good grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction to the course and the work to be ccovered.	Students will recieve guidance on how to successfully complete the course,
2.	Introductions	Talking about other people. Focus on Speaking: voice, posture.
3.	Continuation of the previous theme. First Book Report.	Continuation. Each student will make a book report to their group.
4.	Writing a Book Review	Introduction to the paragraph format. Template for written book review homework.
5.	A Favorite Place	Talking about places. Descriptive language, using voice inflection.
6.	Presentation of the previous theme.	Focusing on voice, posture, eye contact.
7.	A prized possession	Focusing on description and emotion.
8.	Presentation of the previous theme.	Voice, posture, eye contact and gestures.
9.	A Memorable Experience	Organization. Using visual aids.
10.	Presentation of the previous theme.	Putting together all that we have covered.
11.	Show Me How	Show us how to do something.
12.	Presentation of the previous theme.	Clear explanations. Sign posts and transitions.
13.	Movies and Music	Talking about likes and dislikes. Expressing an opinion.
14.	Presentation of the previous theme.	Organization.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.

【テキスト（教科書）】
You must have a dictionary: paper or electronic (NOT a phone).
No textbook. Materials will be supplied by the teacher and students.

【参考書】
Bailey, S., Academic Writing: A Handbook for International Students (Fourth Edition). Routledge (2015). ISBN: 978-1138778504.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
A good dictionary is required. One example is:
Longman Dictionary of Contemporary English (Fifth edition). (2009). Harlow: Pearson Education Limited.
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%

【学生の意見等からの気づき】
Presentations may now use automated slide progression. Add an audio-visual element has been introduced to assist in understanding summary writing. Book genres have been clarified in the Week 3 lesson. More time is now available in class for practice.

【学生が準備すべき機器他】
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/coloured pencils for making notes
an inexpensive timer (such as a 100 Yen shop kitchen timer) which can display seconds and minutes. A digital watch with a countdown function is fine, although an analogue watch is not. *You may not use a smartphone for this purpose*

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.
Grading Criteria:
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%
This class has a strict "NO Smartphones" policy. Your teacher will explain it to you on the first day of class.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALDER mark

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Techniques for handling introductions and increasing the length and interest level of conversations.
2	Family and Leadership	Talking about lifestyle choices
3	Describing/Manners	Students will have the opportunity to talk about some of their favourite things
4	Ted Talk	Students will have the opportunity to watch and listen to a Ted Talk about communication strategies and write a report
5	The Past	Students will have the opportunity to share stories from their childhood memories
6	Travel and Rules	Students will discuss living arrangements and thoughts about order and structure
7	Consolidation	Partner work to show consolidation of the first six chapters of the course
8	Problems and Solutions	Students will discuss a variety of scenarios about their future
9	Describing trends	Students will discuss some trends, past and present and how trends affect culture
10	VOA current news summary practice	Students will use the Voice of America app to listen to current events and write a report with their opinion and a summary of the event
11	Bullying DVD	TDVD viewing and creative writing task with the theme of bullying
12	Marriage and Partnerships	Students will discuss changing marriage and partnership ideas in modern culture
13	Travel	Students will discuss aspects of travel and practice their storytelling technique
14	Final conversation	Partner based conversation to show consolidation of the second part of the course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Most of the work done outside class will be summary writing tasks assigned at the end of each class. Some creative conversation tasks will also be assigned.

【テキスト（教科書）】
Speak Now 3.
Oxford
ISBN: 978-0-19-403017-5

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Mid term assessment 30%
Final assessement 30%
Weekly assignments and homework 40%

【学生の意見等からの気づき】
More time will be on giving more information at an appropriate level.

【学生が準備すべき機器他】
Blackboard, DVD

【None】
None

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, levelled classes for maximum effectiveness.
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.
Learning activities outside this class will focus on watching video of TED talk lectures and preparing discussion and summary points. Also, regular homework-grammar and vocabulary practice from the review sections of the textbook.
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.
Mid-term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

FRITZ Erik

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
・英語で得た情報の内容を的確に把握できる。
・英語で得た情報の要旨を、英語で適切にまとめられる。
・自分の考えを英語で組み立て、（効果的に）発言できる。
・英語で効果的にコミュニケーションできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
英語のでグループワークのディスカッションができるようになることを目指して授業を行います。学生の主体的な参加や発言を歓迎します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introductions	Explanation of syllabus &course introduction Speaking fluency practice
第2回	Discussion skill #1	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to ask Follow-up Questions
第3回	Discussion skill #2	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to extend answers
第4回	Discussion skill #3	Speaking fluency practice Discussion Skill: Listening practice - How to make reactions in English
第5回	Discussion skill #4	Speaking fluency practice Discussion Skill: How to clarify politely in English
第6回	Discussion topic #1	Speaking fluency practice Discussion Topic: Explain one scientific observation or experiment that you were involved in, in English
第7回	Discussion topic #2	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about your department and science courses in English
第8回	Discussion topic #3	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about a recent science news article (not from a research journal) in English
第9回	Discussion topic #4	Speaking fluency practice Discussion Topic: Talk about which laboratory (and research project) most interests you right now, in English
第10回	Discussion Topics & Skills 1-4 Review	Speaking fluency practice Review all four discussion topics and skills in class
第11回	Oral Examination #1 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第12回	Making a Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make and implement their communication strategies learning plan
第13回	Oral Examination #2 and Written Reflection	Students will be individually graded during group discussions. Students will reflect on their learning in writing
第14回	Making a Revised Learning Plan for Effective Communication Strategies	Speaking fluency practice Students will make a revised learning plan, based on their two oral examinations and in-class activities, for effectively communicating in English in the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。
・予習や準備が前提の授業なので、指定された箇所の予習や準備を必ずしてくること。
・授業の内容を振り返り、授業で学んだ新しい言い回しなどを復習すること。

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided online by the professor.

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（貢献度・平常点）：　30％
口頭試験：７０％

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
自身のPCを毎回持参してください。

【その他の重要事項】
毎週の授業への出席は必須です。
・5回以上の理由のない欠席で成績は不合格（D）とします（当校の『履修の手引き』に記載の通り）。
・遅刻は2回で欠席1回分にカウントします。
・期日内の課題提出も必須です。予習をして来ない、授業中に違うことをやっている、授業中におけるアクティビティに参加しようとしない、など授業態度が著しく欠ける人は、評価の対象外、即ち不合格（D）となります。
・受講者の積極的な参加を期待し、特に授業中における積極的な発言を高く評価し授業への貢献度・平常点に加算していきます。
※授業計画や形式は参加者のレベルや進み具合等により、変更される場合があります。

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
Students will be able to:
Correctly understand the content of information obtained in English.
Summarize the information effectively in English.
Construct their own thoughts in English and (effectively) express them.
Communicate effectively in English.
【Learning activities outside of classroom】
Your study time will be more than four hours for a class.
【Grading Criteria /Policy】
Attendance and contribution to the lecture: 30％
Oral Exam #1: 30%
Oral Exam #2: 40%
Your attendance to this class is mandatory.
Your contribution to the class will be evaluated by your participation in group discussion activities and in-class preparations.
For five or more unexcused absences, the final grade will be "D" as specified in the “Course Registration Guide” of our school.
Two instances of tardiness will be counted as one absence.
*The course outline may be subject to change depending on progress.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

NEIL CONWAY

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Class time will be focused on group and pair work; Active Learning methodologies will be evidenced in all project work. There will be opportunities for students to write and prepare short research-based presentations. Students will be expected to read assigned (or researched) texts each week and report both in verbal and written form. During class, feedback on homework is given using examples from successful reports /assignments. Students are encouraged to share their work and reflect on methods of improvement. The grading methodology is explained at the start of the course along with key information on presenting work properly and advice on achieving good grades.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction to the course and the work to be ccovered.	Students will recieve guidance on how to successfully complete the course,
2.	Introductions	Talking about other people. Focus on Speaking: voice, posture.
3.	Continuation of the previous theme. First Book Report.	Continuation. Each student will make a book report to their group.
4.	Writing a Book Review	Introduction to the paragraph format. Template for written book review homework.
5.	A Favorite Place	Talking about places. Descriptive language, using voice inflection.
6.	Presentation of the previous theme.	Focusing on voice, posture, eye contact.
7.	A prized possession	Focusing on description and emotion.
8.	Presentation of the previous theme.	Voice, posture, eye contact and gestures.
9.	A Memorable Experience	Organization. Using visual aids.
10.	Presentation of the previous theme.	Putting together all that we have covered.
11.	Show Me How	Show us how to do something.
12.	Presentation of the previous theme.	Clear explanations. Sign posts and transitions.
13.	Movies and Music	Talking about likes and dislikes. Expressing an opinion.
14.	Presentation of the previous theme.	Organization.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.

【テキスト（教科書）】
You must have a dictionary: paper or electronic (NOT a phone).
No textbook. Materials will be supplied by the teacher and students.

【参考書】
Bailey, S., Academic Writing: A Handbook for International Students (Fourth Edition). Routledge (2015). ISBN: 978-1138778504.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
A good dictionary is required. One example is:
Longman Dictionary of Contemporary English (Fifth edition). (2009). Harlow: Pearson Education Limited.
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%

【学生の意見等からの気づき】
Presentations may now use automated slide progression. Add an audio-visual element has been introduced to assist in understanding summary writing. Book genres have been clarified in the Week 3 lesson. More time is now available in class for practice.

【学生が準備すべき機器他】
Access to a PC with an internet connection, Microsoft Word, PowerPoint and a PDF reader.
Please note that all work submitted to the teacher must only be in (Microsoft Word) .docx format: not PDF, Google Docs or anything else.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/coloured pencils for making notes
an inexpensive timer (such as a 100 Yen shop kitchen timer) which can display seconds and minutes. A digital watch with a countdown function is fine, although an analogue watch is not. *You may not use a smartphone for this purpose*

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
At the end of this course, students will be able to:
· choose from a range of Communication Strategies to deliver a message to an audience over arrange of media
· write an effective summary paragraph
· write an analytical book report
· make interesting and meaningful presentations on a range of academic topics
· carry on a group discussion on a range of academic topics
Work to be done outside of class (preparation, etc.):
Each student should read two books a week from the library and come ready write a book review summarizing the book and give an opinion of it in the form of an academic talk or presentation.
Presentations should be prepared and practiced at home, and students should come prepared to give clear and smooth talks with limited help from notes.
Grading Criteria:
Homework: 10%
Class performance (effort, participation, presentations): 30%
Project Work: 20%
Test: 40%
This class has a strict "NO Smartphones" policy. Your teacher will explain it to you on the first day of class.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALDER mark

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Techniques for handling introductions and increasing the length and interest level of conversations.
2	Family and Leadership	Talking about lifestyle choices
3	Describing/Manners	Students will have the opportunity to talk about some of their favorite things.
4	Ted Talk	Students will watch a Ted Talk themed around communication strategies and write a report
5	The Past	Students will discuss stories from their past that have shaped who they have become
6	Travel and Rules	Students will discuss living arrangements and thoughts about order and structure
7	Consolidation	Students will create longer conversations based on the vocabulary and phrases learned in earlier chapters to create realistic conversations
8	Problems and Solutions	Students will discuss a variety of scenarios about their futures.
9	Describing trends	Students will discuss trends in Japan, past and present and how they affect culture
10	VOA current news and opinion	Using the Voice of America app, students will review current news events and write summaries and opinions
11	Bullying DVD	Students will discuss work, bosses with the theme of bullying
12	Marriage and Partnerships	Students will discuss changing dating and marriage customs
13	Travel	Students will discuss aspects of travel and practice their storytelling technique.
14	Final conversation	Partner based conversation to show consolidation of the second part of the course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】Most of the work done outside class will be summary writing tasks assigned at the end of each class. Some creative conversation tasks will also be assigned.

【テキスト（教科書）】
Speak Now 3.
Oxford
ISBN: 978-0-19-403017-5

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Midterm assessment 30%
Final assessment 30%
Weekly assignments and homework 40%

【学生の意見等からの気づき】
There will be more emphasis on sharing appropriate levels of information to generate interesting conversations

【学生が準備すべき機器他】
Electronic dictionary

【None】
None

【Outline (in English)】
The learning objectives of this class are to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal of this class is to enhance students fluency, pronunciation ability and general comfort of participating in an English environment.
Learning activities outside this class will focus on watching video of TED talk lectures and preparing discussion and summary points. Also, regular homework-grammar and vocabulary practice from the review sections of the textbook.
This class will be student centered, largely focusing on pair work and group work(socially distanced). There will also be text based learning, focusing on vocabulary and grammar exercises that will then be used to enhance variety and interest of discussions.
Feedback will be provided to the class through chapter reviews and class-based grammar consolidation. Individual feedback will also be offered for oral communication as well as written opinion pieces.
Mid-term assessment 30%
Final assessment 30%
Homework and weekly class assignments40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

小町　将之

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
1)正しい文法と語法・コロケーションに支えられた自然な英文を習得できる。
2)自然な英文を文字だけでなく音声も合わせて身に着ける。
3)日本語的な表現を、日英発想の違いを念頭に置いて、直訳ではなく、効果的に英語で表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・この授業は講義形式ではなく、演習形式で行われる。そのため、受講者の積極的な参加が求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Introduction	授業の進め方、学習の仕方、評価などの説明。
2回目	Unit 1	Weather
3回目	Unit 2	The Internet
4回目	Unit 3	Animals
5回目	Unit 4	Friends
6回目	Unit 5	Helping Others
7回目	中間試験	units 1-5
8回目	Unit 6	Traveling
9回目	Unit 7	Collections and Gifts
10回目	Unit 8	Careers
11回目	Unit 9	European Cultures
12回目	Unit 10	Gifted Children
13回目	Unit 11	Restaurants
14回目	Final exam	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・各授業後に学習した内容を復習し、理解した箇所や不明な箇所を確認する。

【テキスト（教科書）】
『Reading Links 2』
Andrew E. Bennett　著
南雲堂、2021年、2310円

【参考書】
必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40%）、期末試験（40%）、課題提出（20%）60%以上で単位習得となる。学期中に4回欠席した場合、原則として単位は認めない。遅刻・早退は2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する際は前もって連絡する。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回授業に持参すること。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
【到達目標（Learning Objectives）】
1) Acquire natural English sentences based on correct grammar, word usage and collocation.
2) Acquire natural English sentences not only in written form but also in audio form.
3) To be able to express Japanese expressions effectively in English, keeping in mind the differences between Japanese and English ideas, rather than translating them directly.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
The standard study time outside of class for this class is 1 hour. Review the contents after each class, and confirm what you understand and what you do not understand.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Mid-term exam (40%), final exam (40%), assignment submission (20%), the total of 60%or more is required to receive credit for the course. As a general rule, no credit will be given for four absences during a semester. Two late arrivals or early departures will be counted as one absence.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

村上　弥生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
高校までに培ってきた英語の文法、語彙を確認し、強化/拡充しながら、実際に読み聞き話す場面で運用する力を高める。
国際的な教養人たることを期待される大学生にふさわしく、英語情報を通じて、世界と社会の現在について、日本語で得られる情報や視点を相対化し、より深く広い理解を得、思考を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
1. 現代社会の直面する問題や情勢を考える材料となるような読み物やビデオのスクリプトを精読、ないし要旨の把握を行い、語彙や表現の拡充、視野の拡大を図る。
２．現在多く議論され、意見の分かれる問題をいくつか取り上げて、短い資料を読んだり、視聴したりする、
２．簡単なリサーチを個々人で行ってもらい、ペア・ワークやクラスでの発表などを通じて、集めた情報や自分の意見を英語で発信する経験を重ねる。
3. 日本語訳の提出やスピーチ原稿、議論の要約の提出、発表などを随時求める。
4. 1〜3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppiに提出されたものを評価して返却するか、もしくは授業時に総評を行い、受講生間での議論の発展につなげる。
5. 読み物や視聴覚資料を通して確認した特に重要な語彙や表現の定着拡充を図るために、応用問題の小テストを3〜4回に一回程度行う。
下記の題材は一昨年度の例であり、今年度はまた社会情勢に合わせて資料やトピックは選びなおす予定である。春学期の授業は，原則として対面で行うが、情勢の変化や授業の進捗状況によってオンラインに変更されることもあるので、随時学習支援システムでの連絡を確認されたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション（AI tools and problems with translation）	授業の進め方についての説明 受講生の自己紹介など。 「AIその他翻訳ツールの発展と死角）
第二回	'Luddite'Teens Don't Want Your Likes-1 スマホを手放す若者達 (以下の題材は昨年度の例であり、今年度はまた社会情勢に合わせて資料やトピックは選びなおす予定である。)	背景説明 要約発表 文法・語彙の確認、拡充 意見交換
第三回	'Luddite'Teens Don't Want Your Likes-2	文法・語彙の確認、拡充 グループでの解釈の検討
第四回	review test-1	前回までの内容・語句・表現の復習 テストー1 前回の意見交換の紹介 次回のドキュメンタリー資料の視聴
第五回	How Technology Tries to Hack Your Brain-1（アテンション・エコノミーとソーシャル・メディア）	文法・語彙の確認、拡充 要約発表
第六回	How Technology Tries to Hack Your Brain－２	文法・語彙の確認、拡充 グループでの意見交換
第七回	Digital Detox or Digital Mindfulness？	関連する資料の紹介、速読 グループでの意見交換
第八回	review test-2	前回までの内容・語句・表現の復習 テストー２ 各自でのdigital mindfulnessの実験と結果の発表
第九回	A French Malian Singer is Caught in an Olympic Storm-1 多様性と多文化社会の問題	背景説明 関連するヴィデオの視聴 文法・語彙の確認、拡充
第十回	A French Malian Singer is Caught in an Olympic Storm-2	和訳の発表 文法・語彙の確認、拡充
第十一回	A French Malian Singer is Caught in an Olympic Storm－３	要約の発表 文法・語彙の確認、拡充 グループでのオリンピックポスター等についての意見交換
第十二回	A French Malian Singer is Caught in an Olympic Storm	和訳の発表 文法・語彙の確認、拡充
第十三回	review test-3	前回までの内容・語句・表現の復習 テストー3
第十四回	テストの解説	他国の移民をめぐる状況についてのリサーチ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1. 与えられた資料については、事前に丁寧に予習を行い和訳を作成する。
2. 各章のトピックに関連する情報や意見について、各人でリサーチを行う。
3. クラスでの情報・意見交換にそなえて、リサーチの結果を紹介したり自分の考え　　を発信する英文を作成する。
4. リスニング資料については、自宅でオンラインで復習する
5. 表現の復習テストに備えて、資料を読みなおしながら、重要な表現、語句の理解、定着に努める

【テキスト（教科書）】
教師による配布、または初回に指示する

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
予習などの平常点（20％）、各種発表やエッセイなどの授業への貢献（30％）、小テスト（50％）。

【学生の意見等からの気づき】
現代世界の大きな問題についての視点が広がり、学生同士の意見も交換できて、資料は高度で有意義だったとの声と、英文が難し過ぎるとの声の両方が聞かれるため、双方に配慮した工夫を行っていきたい。
また全体に不足しているように見受けられる文法、語彙の確認には、引き続き十分時間を配分したい。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

長谷川　秀子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
この授業では、専門的で学術的な文章を読む時に必要な基本的な語彙力、文法力、構文などを確認しながら、リーディング力の向上を図る。語彙については単に暗記するだけでなく、文脈や文構造を理解する力を鍛える。また文の内容を正確に把握し、文章全体を簡潔に要約できる読解力の養成を目指す。トピックは現代社会における国内外の社会、仕事と余暇、環境、ビジネスと経済などを扱い、グローバル社会において世の中の情勢を理解し、意見を表現できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習が必要な部分と授業で行うところがある。読むことだけではなく、聞くこと、書くこと、話すことも行う。トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。オリエンテーションで教科書の使い方、準備すべきことを説明の予定。1つのユニットを大体1回で終わるように授業を行う。
フィードバックに関しては質問、提出物からまとめてクラスで口頭、又はファイルを見ながら行う。授業形態や授業内容が変更する場合は、学習支援システムにて予定を提示するので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	授業の進めかた、テキストの使い方、予習等の説明。
第2回	Unit 1 Mini Presentation	Phone Dirt Reveals Personal Data
第3回	Unit 2	Driverless Buses
第4回	Unit 3 Mini presentation	Stealth Keys
第5回	Unit 4	Unfamiliar Sources of Energy
第6回	Unit 5 Mini Presentation	Delivery by Drone
第7回	Unit 6	Uber and its Future
第8回	Unit 7 Mini Presentation	Convenience Stores in Japan
第9回	Unit 8	Learn English with a Robot
第10回	Unit 9 Mini Presentation	Noise Level and Disease
第11回	Unit 10	Reading Faces
第12回	Review(1) Mini presentation Newspaper article	Current issue
第13回	Review(2) Newspaper article	Current issue
第14回	Term Exam	試験範囲　Unit 1-10

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間程度を標準とする】授業の前にテキストの本文を読んでくる。新しい語句の確認をし簡単な要約ができるようにしておく。オリエンテーションで詳細を説明。

【テキスト（教科書）】
科学の恩恵と私たちの暮らし
Science in Our Daily Life　SEIBIDO
By Toshihiko Kobayashi, Bill Benfield (2018)
ISBN978-4-7919-3416-4 1900円（税別）

【参考書】
必要に応じて講義中に紹介の予定。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】ミニプレゼンテーション、小テスト、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。教員との連絡方法はオリエンテーションで連絡予定。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

———

Goals :In this class, we train skills like vocabularies, grammar, sentence structures that are necessary to understand technical and academic materials. We will also practice to understand the content accurately and summarize effectively. The topics of the readings will vary from domestic and international affairs, work and leisure, environment, business and economy.

——-

Work outside class: Read the textbook, check the new vocabularies, and summarize.

——-

Grading:
Assignment mini presentation 50%
Term exam 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

神　康介

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
本授業は主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イディオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応する内容を演習する。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続くExercisesで物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を行い、語彙力が高まるように学習する。テキスト本文既出の構文を応用すれば書ける英作文の演習を行う。
　授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション、辞書指導等	授業の進め方、英語の勉強法などを説明する。
2	1. Ken Watanabe 2. Sakana-kun 3. Kohei Uchimura 4. Hiromi Miyake	日本の著名人について学習する。
3	5. Taiwan	日本の歴史について学習する。
4	6. Apples	健康について学習する。
5	7. B-Class Food Boom	日本の新しい産業について学習する。
6	8. Food Traceability	食品トレーサビリティ について学習する。
7	9. Naming Rights	経済について学習する。
8	10. Smart Cities	工業技術について学習する。
9	11. Geopark	農業について学習する。
10	12. Rare Earths	最新工業について学習する（1）。
11	13. Biomass	最新工業について学習する（2）。
12	14. Green Curtains	環境について学習する。
13	15. The Robot Industry	産業について学習する。
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回任意の数人が発表するので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句、専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推して読み進めること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
Japan Innovation　南雲堂

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
クラスでの平常点で40％、期末試験の結果で60％で評価する。原則として半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業を有効活用する。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

小町　将之

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
1）英文法、語彙力の向上を目指し、アカデミックな内容の英文を読み解く。
2）リスニング・スピーキングスキルを高め、コミュニケーションスキルを養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・この授業は講義形式ではなく、演習形式で行われる。そのため、受講者の積極的な参加が求められる。
・課題等へのフィードバックは授業内又は学習支援システムで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Introduction	授業の進め方、学習の仕方、評価などの説明。
2回目	Unit 1	Nature
3回目	Unit 2	Music
4回目	Unit 3	Hobbies
5回目	Unit 4	Culture
6回目	Unit 5	Interesting Places
7回目	中間試験	Units 1-5
8回目	Unit 6	Animals
9回目	Unit 7	Art and Design
10回目	Unit 8	Weather
11回目	Unit 9	Traveling
12回目	Unit 10	Entertainment
13回目	Unit 11	Friends
14回目	Final Exam	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・各授業後に学習した内容を復習し、理解した箇所や不明な箇所を確認する。
・授業中に学習した内容を定着させるために、予習する。

【テキスト（教科書）】
『Reading Links 3』
Andrew E. Bennett　著
南雲堂、2022年、2310円

【参考書】
必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】
課題提出（20%）、中間試験（40%）、期末試験（40%）、60%以上で単位習得となる。学期中に4回欠席した場合、原則として単位は認めない。遅刻・早退は2回で欠席1回とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
パソコンを使用する際は前もって連絡する。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
指定の教科書は各自必ず購入し、毎回授業に持参すること。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
【到達目標（Learning Objectives）】
1) To improve English grammar and vocabulary, and to read and understand English texts with academic content.
2）To improve listening and speaking skills and develop communication skills.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
The standard study time outside of class for this class is 1 hour. Review the contents after each class, and confirm what you understand and what you do not understand.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
Mid-term exam (40%), final exam (40%), assignment submission (20%), the total of 60%or more is required to receive credit for the course. As a general rule, no credit will be given for four absences during a semester. Two late arrivals or early departures will be counted as one absence.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

村上　弥生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
高校までに培ってきた英語の文法、語彙を確認し、強化/拡充しながら、実際に読み聞き話す場面で運用する力を高める。
国際的な教養人たることを期待される大学生にふさわしく、英語情報を通じて、世界と社会の現在について、日本語で得られる情報や視点を相対化し、より深く広い理解を得、思考を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
1. 現代社会の直面する問題や情勢を考える材料となるような読み物やビデオのスクリプトを精読、ないし要旨の把握を行い、語彙や表現の拡充、視野の拡大を図る。
２．現在多く議論され、意見の分かれる問題をいくつか取り上げて、短い資料を読んだうえで、簡単なリサーチを個々人で行ってもらい、集めた情報や自分の意見を英語で発信する経験を重ねる。
3. 日本語訳の提出やスピーチ原稿の提出、発表などを随時求める。
4. 1～3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppiに提出されたものを評価して返却、ないし授業時に総評を行い、受講生間での議論の発展につなげる。
5. 学習した語句や表現の定着を図るため、応用的な小テストを随時行う。
下記の題材は昨年度の例であり、今年度はまた社会情勢に合わせて資料やトピックは選びなおす予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	イントロダクション 次回のトピックについての導入（以下は昨年度のトピックである。）パリオリンピック開会式に見る多様性をめぐる分断	夏休みの経験など自由な会話
第二回	Many Gen Z Men Feel Left Behind. Some See Trump as an Answer-1 (アメリカ大統領選挙に見る分断)	背景説明 関連する視聴覚資料の紹介
第三回	Gender divide in U.S. presidential election－2	重要語句、表現、文法の確認 大統領選についての意見交換、発表
第四回	Gender divide in U.S. presidential election - 3	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認
第五回	The trouble with Boys and Men	要約 意見交換、発表 各国の男女の政治動向についての調査
第六回	Changing gender roles	意見文の作成、発表
第七回	review test-1	前回までの内容、英語表現についての小テスト－1 次週からのトピックの紹介
第八回	For Older People Who Are Lonely, Is the Solution a Robot Friend?-1	視聴覚資料の紹介 重要な語句。表現の確認 和訳の発表
第九回	Robot Companions-2	重要な語句。表現の確認 和訳の発表
第十回	Robot Companions-3	コンパニオンとしてのA.I.　の現状と未来についてのリサーチ、発表
第十一回	Robot Companions-4	意見交換
第十二回	A.I. Generated Picture Won an Art Prize. Artists Aren't Happy-1	重要な語句や表現の確認 和訳の発表
第十三回	A.I. Generated Art-2	和訳の発表 重要な語句や表現の確認 意見交換、発表
第十四回	review test-３	前回までの内容、語句、表現の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1. 読む資料については、テキストも含めて事前に丁寧に予習を行う。
2. 各トピックに関連する情報や意見について、各人でリサーチを行う。
3. クラスでの情報・意見交換にそなえて、リサーチの結果を紹介したり自分の考え　　を発信する英文を作成する。
4. 説得力のある、ないし啓発的なスピーチ原稿を作成する
5. 資料を再読し、小テストに備えて語彙や表現の定着に努める

【テキスト（教科書）】
教師による配布、または初回に指示する

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
予習（２０%）、各種発表やエッセイ、議論への積極的貢献など（３０%）、復習テスト（５０%）。

【学生の意見等からの気づき】
現代世界の状況について、高度な英語資料で学び考え意義が大きかったという意見と、英語資料の難易度が高すぎるという意見が見られるため、双方に配慮した工夫を行っていきたい。
不足しているように見受けられる文法、語彙の確認に引き続き十分時間を配分したい。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

長谷川　秀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、語彙力・文法力、構文などを確認しながら4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目指す。グローバル社会における英語の役割も考え、将来の技術者・研究者に必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、高度な英語運用能力の習得を目指していく。学生の積極的な参加が大事となる。

【到達目標】
この授業では、専門的で学術的な文章を読む時に必要な基本的な語彙力、文法力、構文などを確認しながら、リーディング力の向上を図る。語彙については単に暗記するだけでなく、文脈や文構造を理解する力を鍛える。また文の内容を正確に把握し、文章全体を簡潔に要約できる読解力の養成を目指す。トピックは現代社会における国内外の社会、仕事と余暇、環境、ビジネスと経済などを扱い、グローバル社会において世の中の情勢を理解し、意見を表現できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
予習が必要な部分と授業で行うところがある。読むことだけではなく、聞くこと、書くこと、話すことも行う。トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。オリエンテーションで教科書の使い方、準備すべきことを説明の予定。1つのユニットを大体1回で終わるように授業を行う。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーなどからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation Mini presetation	後期の授業の説明
第2回	Unit 11 Mini Presentation	Meditation and Sports
第3回	Unit 12	Digital Disabilities
第4回	Unit 13 Mini Presentation	Euglena Dietary Supplements
第5回	Unit 14	Facts about Koalas
第6回	Unit 15 Mini Presentation	Ants
第7回	Unit 16	Exotic Pets
第8回	Unit 17 Mini Presentation	Culling Feral Cats
第9回	Unit 18	When Do We Become "Old"?
第10回	Unit 19 Mini Presentation	Protecting Earth from Collisions
第11回	Unit 20	Migration to Mars
第12回	Review (1) Mini Presentation Newspaper article	Current issue
第13回	Review (2) Newspaper article	Current issue
第14回	Term Exam	試験範囲 Unit 11-20

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間程度を標準とする】授業の前にテキストの本文を読んでくる。新しい語句の確認をし簡単な要約ができるようにしておく。オリエンテーションで詳細を説明。

【テキスト（教科書）】
科学の恩恵と私たちの暮らし
Science in Our Daily Life　SEIBIDO
By Toshihiko Kobayashi, Bill Benfield (2018)
ISBN978-4-7919-3416-4 1900円（税別）

【参考書】
必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】ミニプレゼンテーション、小テスト、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく3分の1以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
学習支援システムでの連絡を適宜確認すること。
教員との連絡方法はオリエンテーションで連絡予定。

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
——
Goals: In this class, we train skills like vocabularies, grammar, sentence structures that are necessary to understand technical and academic materials. We will also practice to understand the content accurately and summarize effectively. The topics of the readings will vary from domestic and international affairs, work and leisure, environment, business and economy.
———
Work outside class:
Read the textbook, check the new vocabularies, and summarize.
——-
Grading: Assignment mini presentation 50%,Term exam 50%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅠⅠ

神　康介

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。ビジネスの分野では、英語が世界共通語になっているので、現代の職業人は必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
主として読解力向上に主眼を置き、英文の中で重要な語彙、イディオム、構文などを学習する。授業内の練習問題は各種検定試験等に対応するよう工夫する予定である。会話やパッセージを通じて、多岐にわたる思考のあり方を学び、それに続く練習問題で物事の適切な捉え方を実践学習しながら答えを導き出す訓練を行う。英語力習得のみならず、将来必要とする思考力の習得を目指す。
(Learning object)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
　読みにおける語義の意味を類推することの重要性を考えて、派生語、言葉の定義、適語挿入問題、同意語および反意語についての練習問題を用意し、語彙力が高まるよう工夫する。基本的な英作文の演習を行うが、テキスト本文既出の構文を応用すれば書けるように工夫する。
　授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. EXILE HIRO	EXILE HIRO 代名詞
	2. Ebizo Ichikawa	伝統的歌舞伎を超越する市川海老蔵 冠詞
2	3. 400m Relay Silver Medal	400m リレー銀メダル 強調・倒置
	4. The Kimono	着物復権 助動詞
3	5. The Sanriku Railway	恋する三陸鉄道 時制
4	6. Local Issues	地方活性化の鍵 完了形
5	7. Digital Manga	進化するデジタル漫画 受動態
6	8. Stock Investment	トライ　株式投資！　不定詞
7	9. Japan House	魅力発信のジャパン・ハウス 分詞
8	10. Meat Types	ミートタイプ 動名詞
9	11. Functional Foods	機能性食品 仮定法
10	12. Sake	世界の日本酒 関係代名詞
11	13. Royalty-free Strategy	燃料電池車特許権無償 比較
12	14. Telematics	会話する車 前置詞
13	15. Biogas	代替燃料　バイオガス 接続詞
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
毎回任意の数人に発表してもらうので、辞書を教室に持参し、クラス全員が予習してくること。テキストの注釈に関しては,大学教養課程以上の単語や分かりにくい慣用語句,専門用語を中心に解説を加えてあるので、注釈にない語句や表現は、辞書を引く前に、前後の文脈から類推してみること。予習は、事前に内容を理解し、演習問題を解答する。復習は、授業の内容をノート等に整理する。
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text.　Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【テキスト（教科書）】
Breakthrough Japan　(躍進日本）南雲堂

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
クラスでの平常点で40％、期末試験の結果で60％で評価する。半期で4回欠席した場合単位は認めない。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

【学生の意見等からの気づき】
視聴覚機器をもっと活用したい。

【学生が準備すべき機器他】

【Outline (in English)】
(Course outline)
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.
(Learning objective)
At the end of the course, students are expected to acquire the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English.
(Learning activities outside of classroom)
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from text.　Your required study time is at least one hour for each class meeting.
(Grading Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

岩沢　美佐子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立1次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
講義と演習を組み合わせて行う．最初に、(1)前回の復習、(2)前回の課題の解説と解答状況、(3)新規の内容、(4)演習、(5)課題の提示を中心に進める．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.
春学期の授業は，対面を中心に行う．詳細は学習支援システムで伝達する.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと、前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」 裳華房 2016年 2200円+税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
　行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味をきちんと理解して使いこなせるようになったかを期末試験の成績等で判断する.
　ほぼ毎回小テストを行うが，受験回数が全体の２／３以下の学生は不合格とするので注意すること.
課題・演習(25%), 中間試験(25%), 期末試験(50%)

【学生の意見等からの気づき】
見やすい板書を心掛ける.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム

【その他の重要事項】
基本的には全出席が必要です．少なければ、減点がされます.

【Outline (in English)】
(Course Outline)
We learn primary linear algebra which is an essential knowledge for science and engineering students.
1)We learn the calculation methods of vectors and matrices,
and understand the applications to simultaneous linear equations.
2)We know the concepts such as regular matrices and ranks,
and understand the equivalence conditions being regular matrices.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 25%, Mid-term examination 25%, Term-end examination 50%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

岩沢　美佐子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立1次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
講義と演習を組み合わせて行う．最初に、(1)前回の復習、(2)前回の課題の解説と解答状況、(3)新規の内容、(4)演習、(5)課題の提示を中心に進める．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.
春学期の授業は，対面を中心に行う．詳細は学習支援システムで伝達する.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと、前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」 裳華房 2016年 2200円+税

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
　行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味をきちんと理解して使いこなせるようになったかを期末試験の成績等で判断する.
　ほぼ毎回小テストを行うが，受験回数が全体の２／３以下の学生は不合格とするので注意すること.
課題・演習(25%), 中間試験(25%), 期末試験(50%)

【学生の意見等からの気づき】
見やすい板書を心掛ける.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム

【その他の重要事項】
基本的には全出席が必要です．少なければ、減点がされます.

【Outline (in English)】
(Course Outline)
We learn primary linear algebra which is an essential knowledge for science and engineering students.
1)We learn the calculation methods of vectors and matrices,
and understand the applications to simultaneous linear equations.
2)We know the concepts such as regular matrices and ranks,
and understand the equivalence conditions being regular matrices.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 25%, Mid-term examination 25%, Term-end examination 50%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

岩沢　美佐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像，固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ．

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り，応用できることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
講義と演習を組み合わせて行う．最初に、(1)前回の復習、(2)前回の課題の解説と解答状況、(3)新規の内容、(4)演習、(5)課題の提示を中心に進める．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．対面を中心に行う．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの線形結合	平面ベクトルの線形結合, 空間ベクトルの線形結合
2	線形独立と線形従属	線形独立, 線形独立な数ベクトル空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間, 線形独立と線形従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成, R^3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う。 授業全体の講評を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと、
前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」 裳華房 2016年 2200円+税

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
　ベクトル空間に関する基本概念を理解し，具体的な計算ができること，行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し，具体的な計算ができるようになったかなどを期末試験等で判断する．
　ほぼ毎回小テストを行うが，受験回数が全体の２／３以下の学生は不合格とするので注意すること．
課題・演習(25%), 中間試験(25%), 期末試験(50%)

【学生の意見等からの気づき】
見やすい板書を心掛ける．

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム

【その他の重要事項】
基本的には全出席が必要です．少なければ、減点がされます．

【Outline (in English)】
(Course Outline)
We learn primary linear algebra which is an essential knowledge for science and engineering students.
1)We learn the calculation methods of vectors and matrices,
and understand the applications to simultaneous linear equations.
2)We know the concepts such as regular matrices and ranks,
and understand the equivalence conditions being regular matrices.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 25%, Mid-term examination 25%, Term-end examination 50%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習ＩＩ

岩沢　美佐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる線形写像，固有値・固有ベクトル等の概念とその応用について学ぶ．

【到達目標】
ベクトル空間と次元、線形写像と行列表現、線形写像の核と像、行列の固有値と固有ベクトル、直交変換、行列の対角化とその条件、対称行列の対角化などの基本を知り，応用できることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
講義と演習を組み合わせて行う．最初に、(1)前回の復習、(2)前回の課題の解説と解答状況、(3)新規の内容、(4)演習、(5)課題の提示を中心に進める．課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトルの１次結合	平面ベクトルの１次結合, 空間ベクトルの１次結合
2	１次独立と１次従属	１次独立， １次独立な空間ベクトル
3	数ベクトル空間	数ベクトル空間， １次独立と１次従属
4	部分ベクトル空間	定義と例，部分ベクトル空間の生成，R3 の部分ベクトル空間
5	基底	基底，次元
6	基底の取り替え	座標軸の回転，基底の取り替え，座標変換
7	線形写像	写像，線形写像
8	線形写像の像と核	表現行列，像と核の定義，像の次元と階数，次元定理
9	行列の固有値	固有値と固有ベクトル，固有方程式
10	行列の対角化	行列の対角化の意味，対角化の方法
11	正規直交系	内積，正規直交基底
12	直交変換	直交行列，直交変換
13	対称行列の対角化	対称行列の固有値，直交行列による対称行列の対角化
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う。 授業全体の講評を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと、
前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」裳華房 2016年 2200円+税

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
　ベクトル空間に関する基本概念を理解し，具体的な計算ができること，行列の固有値および固有ベクトルの持つ意味を理解し，具体的な計算ができるようになったかなどを期末試験等で判断する．
　ほぼ毎回小テストを行うが，受験回数が全体の２／３以下の学生は不合格とするので注意すること．
課題・演習(25%), 中間試験(25%), 期末試験(50%)

【学生の意見等からの気づき】
見やすい板書を心掛ける．

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム

【その他の重要事項】
基本的には全出席が必要です．少なければ、減点がされます．

【Outline (in English)】
(Course Outline)
We learn primary linear algebra which is an essential knowledge for science and engineering students.
1)We learn the calculation methods of vectors and matrices,
and understand the applications to simultaneous linear equations.
2)We know the concepts such as regular matrices and ranks,
and understand the equivalence conditions being regular matrices.
(Learning Objectives)
At the end of the course, students are expected to understand the following.
1) Vector space and its dimension
2) Linear mapping and related topics (kernel, image, and matrix representation)
3) Matrix eigenvalue and eigenvector
4) Matrix diagonalization (including symmetric matrices)
5) Orthogonal transformation
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 25%, Mid-term examination 25%, Term-end examination 50%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

金沢　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力，逆三角関数の理解，平均値の定理，テイラーの定理の意味を理解し応用できること，簡単な関数のテイラー級数展開ができること，偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う.
課題等に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
教科書の対応する部分に前もって目を通しておく。配布される講義資料をよく読んで，演習問題を指定された期日までに解く。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」裳華房（2016年）
2300 円+税 （第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
特になし．授業では，教科書の他に講義資料を配布する.

【成績評価の方法と基準】
成績は，期末試験(80%)と提出課題（20%）の成績による．（毎回の出席を前提とする。）期末試験では，微分及び偏微分の計算，逆三角関数や双曲線関数の理解，テイラーの定理の利用，多変数関数の極値の問題の解法等について，十分な能力を身につけたかテストする.

【学生の意見等からの気づき】
特になし.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its applications, which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are required to submit weekly assignments.
(Grading Criteria)
The overall grade for the course will be determined based on the biweekly assignments (20%) and the final exam (80%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

金沢　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力，逆三角関数の理解，平均値の定理，テイラーの定理の意味を理解し応用できること，簡単な関数のテイラー級数展開ができること，偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う.
課題等に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
教科書の対応する部分に前もって目を通しておく。配布される講義資料をよく読んで，演習問題を指定された期日までに解く。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」裳華房（2016年）
2300 円+税 （第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
特になし．授業では，教科書の他に講義資料を配布する.

【成績評価の方法と基準】
成績は，期末試験(80%)と提出課題（20%）の成績による．（毎回の出席を前提とする。）期末試験では，微分及び偏微分の計算，逆三角関数や双曲線関数の理解，テイラーの定理の利用，多変数関数の極値の問題の解法等について，十分な能力を身につけたかテストする.

【学生の意見等からの気づき】
ゆっくり，丁寧に説明することを心がける。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its applications, which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are required to submit weekly assignments.
(Grading Criteria)
The overall grade for the course will be determined based on the biweekly assignments (20%) and the final exam (80%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

金沢　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め，さらに2変数関数の積分を扱う．またこれらを用いて図形の面積，体積，長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．課題に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する，また，極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する，
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
教科書の対応する部分に前もって目を通しておく。配布される講義資料をよく読み，演習問題を指定された期日までに解く。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」裳華房（2016年）
2300 円+税 （第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
特になし。授業では，講義資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
成績は，期末試験(80%)と提出課題(20%)の成績による．（毎回の出席を前提とする。）期末試験では，積分および重積分について十分な計算能力が身についていること，広義積分の計算法を理解していること，積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることをテストする。

【学生の意見等からの気づき】
ゆっくり，丁寧に説明することを心がける。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its applications, which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are required to submit weekly assignments.
(Grading Criteria)
The overall grade for the course will be decided based on the biweekly assignments (20%) and the final exam (80%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習ＩＩ

金沢　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる、積分法・重積分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
高校で学習した1変数関数の積分についての知識を深め，さらに2変数関数の積分を扱う．またこれらを用いて図形の面積，体積，長さが求められるようにする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．課題に対するフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	陰関数	陰関数の意味と導関数の計算
2	条件付き極値	陰関数の微分法の応用として条件付き極値問題を扱う
3	不定積分	高等学校での学習事項の復習
4	有理関数の不定積分	部分分数分解，基本的な有理関数の不定積分の方法を理解し計算能力も養う
5	定積分	区分求積法，微分積分学の基本定理について理解する
6	三角関数を含む式の不定積分	基本的な置換の方法，漸化式の方法を理解し計算能力も養う
7	広義積分	広義積分の方法を理解し計算能力も養う
8	2重積分	長方形領域上の2重積分の定義と累次積分による計算方法を理解し計算能力も養う
9	一般領域上の2重積分	一般の領域上の2重積分の計算法および積分順序の変更について知り計算能力も養う
10	変数変換	ヤコビ行列式の意味および2重積分の変数変換について知り計算能力も養う
11	積分の応用	積分法の曲線の長さへの応用
12	面積	積分を応用して面積を計算する，また，極方程式による曲線の表示とその内部の面積の計算法を知る.
13	体積	積分を応用して体積を計算する，
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】教科書の対応する部分に前もって目を通しておく。配布される講義資料をよく読み，演習問題を指定された期日までに解く。

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」裳華房（2016年）　2300円+税 （第４章4.5節、第３章、第５章を学ぶ）

【参考書】
特になし。授業では，講義資料を配布する。

【成績評価の方法と基準】
成績は，期末試験(80%)と提出課題(20%)の成績による．（毎回の出席を前提とする。）期末試験では，積分および重積分について十分な計算能力が身についていること，広義積分の計算法を理解していること，積分法を応用して長さ・面積・体積が求められることをテストする。

【学生の意見等からの気づき】
ゆっくり，丁寧に説明することを心がける。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of integration and its applications, which form the foundation of mathematics necessary in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Integration of one-variable functions
2) Integration for two-variable functions
3) Calculation of length, area, and volume by means of various integrals
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are required to submit weekly assignments.
(Grading Criteria)
The overall grade for the course will be decided based on the biweekly assignments (20%) and the final exam (80%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

佐藤　修一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
力学の基礎の分野について，物理現象を支配する物理法則の基本的な考え方を習得する．物理学の公式としてではなく，ほとんどの物理法則は数少ない「基本法則」から自然に導かれる美しい論理体系であることを理解する．

【到達目標】
基礎となる「基本法則」を礎にして，なぜそうなるのか・なぜそう考えるのかの物理学的な論理を自分で考え・理解し・説明できるように組み立てられるようになる．公式に当てはめるだけの受験物理は一旦忘れ、一から論理を積み上げられる考え方のトレーニングを徹底することで考えかたの基礎を学ぶ．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
２クラス制とした比較的少人数による授業を想定する．基本的には各回のテーマに沿って概要を講義し，基本的な理解を得る．更に演習問題を交えて実際の問題を解くことによって，実践力を養う．毎回の課題は次回に解説を行い，フィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	単位と空間・時間	物理学を記述する基礎となるべき概念について
2	ベクトルと内積外積	ベクトル演算の基礎について
3	座標系	運動を記述する土俵となる様々な座標系にすいて
4	直線運動と速度・加速度	速度・加速度とその表現について
5	自由落下放物運動	重力加速度中の質点の運動学
6	３次元・極座標での運動	座標系変換したときの運動の記述について
7	ニュートンの３法則	ニュートンの３法則の理解と物理的意味について
8	張力・摩擦力	外力と運動におよぼす影響について
9	単振動	単振動の運動学について
10	運動量と力積	運動量と力積の定義，物理的意味について
11	エネルギー、仕事	エネルギーと仕事の定義，物理的意味について
12	保存力と位置エネルギー	保存力と位置エネルギーの定義，物理的意味について
13	運動エネルギー	運動エネルギーの定義，物理的意味について
14	偏微分と勾配	偏微分と勾配の定義と幾何学的意味について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指定する．

【参考書】
力学に関する参考書は数多くあるので，自分の理解度に応じて適宜参照する事．

【成績評価の方法と基準】
平常点とレポート等（50%）および期末試験（50%）から総合的に評価する．

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートおよび日常的な意見や要望・実際の授業の状況などを踏まえ，授業の進度・内容に適宜フィードバックする．

【Outline (in English)】
(Course outline) Learn the idea of the physical law that governs physical phenomena on the field of mechanics. Understand that many physical laws are beautiful logical systems naturally guided from the few "basic laws".
(Learning Objectives) Based on the "fundamental laws" that form the basis of the course, students will be able to think, understand, and explain the physics logic of why things are the way they are and why we think they are the way we do. Forgetting once and for all the physics for entrance examinations in which students simply apply formulas, students will learn the fundamentals of how to think by thoroughly training how to think in a way that allows them to build up logic from scratch.
(Learning activities outside of classroom) The standard study period outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours.
(Grading Criteria /Policy) Grading will be based on the overall evaluation of the student's performance, reports, etc. (50%) and the final examination (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

佐藤　修一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
力学の基礎の分野について，物理現象を支配する物理法則の基本的な考え方を習得する．物理学の公式としてではなく，ほとんどの物理法則は数少ない「基本法則」から自然に導かれる美しい論理体系であることを理解する．

【到達目標】
基礎となる「基本法則」を礎にして，なぜそうなるのか・なぜそう考えるのかの物理学的な論理を自分で考え・理解し・説明できるように組み立てられるようになる．公式に当てはめるだけの受験物理は一旦忘れ、一から論理を積み上げられる考え方のトレーニングを徹底することで考えかたの基礎を学ぶ．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
２クラス制とした比較的少人数による授業を想定する．基本的には各回のテーマに沿って概要を講義し，基本的な理解を得る．更に演習問題を交えて実際の問題を解くことによって，実践力を養う．毎回の課題は次回に解説を行い，フィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	単位と空間・時間	物理学を記述する基礎となるべき概念について
2	ベクトルと内積外積	ベクトル演算の基礎について
3	座標系	運動を記述する土俵となる様々な座標系にすいて
4	直線運動と速度・加速度	速度・加速度とその表現について
5	自由落下放物運動	重力加速度中の質点の運動学
6	３次元・極座標での運動	座標系変換したときの運動の記述について
7	ニュートンの３法則	ニュートンの３法則の理解と物理的意味について
8	張力・摩擦力	外力と運動におよぼす影響について
9	単振動	単振動の運動学について
10	運動量と力積	運動量と力積の定義，物理的意味について
11	エネルギー、仕事	エネルギーと仕事の定義，物理的意味について
12	保存力と位置エネルギー	保存力と位置エネルギーの定義，物理的意味について
13	運動エネルギー	運動エネルギーの定義，物理的意味について
14	偏微分と勾配	偏微分と勾配の定義と幾何学的意味について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指定する．

【参考書】
力学に関する参考書は数多くあるので，自分の理解度に応じて適宜参照する事．

【成績評価の方法と基準】
平常点とレポート等（50%）および期末試験（50%）から総合的に評価する．

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートおよび日常的な意見や要望・実際の授業の状況などを踏まえ，授業の進度・内容に適宜フィードバックする．

【Outline (in English)】
(Course outline) Learn the idea of the physical law that governs physical phenomena on the field of mechanics. Understand that many physical laws are beautiful logical systems naturally guided from the few "basic laws".
(Learning Objectives) Based on the "fundamental laws" that form the basis of the course, students will be able to think, understand, and explain the physics logic of why things are the way they are and why we think they are the way we do. Forgetting once and for all the physics for entrance examinations in which students simply apply formulas, students will learn the fundamentals of how to think by thoroughly training how to think in a way that allows them to build up logic from scratch.
(Learning activities outside of classroom) The standard study period outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours.
(Grading Criteria /Policy) Grading will be based on the overall evaluation of the student's performance, reports, etc. (50%) and the final examination (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

佐藤　修一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
力学の基礎の分野について，物理現象を支配する物理法則の基本的な考え方を習得する．物理学の公式としてではなく，ほとんどの物理法則は数少ない「基本法則」から自然に導かれる美しい論理体系であることを理解する．

【到達目標】
基礎となる「基本法則」を礎にして，なぜそうなるのか・なぜそう考えるのかの物理学的な論理を自分で考え・理解し・説明できるように組み立てられるようになる．公式に当てはめるだけの受験物理は一旦忘れ、一から論理を積み上げられる考え方のトレーニングを徹底することで考えかたの基礎を学ぶ．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
２クラス制とした比較的少人数による授業を想定する．基本的には各回のテーマに沿って概要を講義し，基本的な理解を得る．更に演習問題を交えて実際の問題を解くことによって，実践力を養う．毎回の課題は次回に解説を行い，フィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	抵抗と終端速度	抵抗力があった場合の運動学について
2	減衰振動強制振動	各種振動の運動学について
3	２粒子の弾性衝突	２粒子の弾性衝突の取り扱いについて
4	２次元での衝突	２次元での衝突における運動の表現について
5	重力と重力ポテンシャル	重力と重力ポテンシャル，および重力下における運動について
6	ケプラーの法則と万有引力	ケプラーの法則と万有引力について
7	慣性質量と重力質量	慣性質量と重力質量の違いと物理的意味について
8	ベクトル積	ベクトルの外積の定義と意味について
9	モーメント、角運動量	モーメント、角運動量の定義と導入
10	２粒子系の運動方程式	２粒子系の運動方程式について
11	エネルギー角運動量保存則	エネルギー角運動量保存則について
12	重心座標と相対座標	重心座標と相対座標における表現について
13	自由度と運動方程式	自由度と運動方程式の表現について
14	固定軸まわりの運動	固定軸まわりの運動について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指定する．

【参考書】
力学に関する参考書は数多くあるので，自分の理解度に応じて適宜参照する事．

【成績評価の方法と基準】
平常点とレポート等（50%）および期末試験（50%）から総合的に評価する．

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートおよび日常的な意見や要望・実際の授業の状況などを踏まえ，授業の進度・内容に適宜フィードバックする．

【Outline (in English)】
(Course outline) Learn the idea of the physical law that governs physical phenomena on the field of mechanics. Understand that many physical laws are beautiful logical systems naturally guided from the few "basic laws".
(Learning Objectives) Based on the "fundamental laws" that form the basis of the course, students will be able to think, understand, and explain the physics logic of why things are the way they are and why we think they are the way we do. Forgetting once and for all the physics for entrance examinations in which students simply apply formulas, students will learn the fundamentals of how to think by thoroughly training how to think in a way that allows them to build up logic from scratch.
(Learning activities outside of classroom) The standard study period outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours.
(Grading Criteria /Policy) Grading will be based on the overall evaluation of the student's performance, reports, etc. (50%) and the final examination (50%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

佐藤　修一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
力学の基礎の分野について，物理現象を支配する物理法則の基本的な考え方を習得する．物理学の公式としてではなく，ほとんどの物理法則は数少ない「基本法則」から自然に導かれる美しい論理体系であることを理解する．

【到達目標】
基礎となる「基本法則」を礎にして，なぜそうなるのか・なぜそう考えるのかの物理学的な論理を自分で考え・理解し・説明できるように組み立てられるようになる．公式に当てはめるだけの受験物理は一旦忘れ、一から論理を積み上げられる考え方のトレーニングを徹底することで考えかたの基礎を学ぶ．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
２クラス制とした比較的少人数による授業を想定する．基本的には各回のテーマに沿って概要を講義し，基本的な理解を得る．更に演習問題を交えて実際の問題を解くことによって，実践力を養う．毎回の課題は次回に解説を行い，フィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	抵抗と終端速度	抵抗力があった場合の運動学について
2	減衰振動強制振動	各種振動の運動学について
3	２粒子の弾性衝突	２粒子の弾性衝突の取り扱いについて
4	２次元での衝突	２次元での衝突における運動の表現について
5	重力と重力ポテンシャル	重力と重力ポテンシャル，および重力下における運動について
6	ケプラーの法則と万有引力	ケプラーの法則と万有引力について
7	慣性質量と重力質量	慣性質量と重力質量の違いと物理的意味について
8	ベクトル積	ベクトルの外積の定義と意味について
9	モーメント、角運動量	モーメント、角運動量の定義と導入
10	２粒子系の運動方程式	２粒子系の運動方程式について
11	エネルギー角運動量保存則	エネルギー角運動量保存則について
12	重心座標と相対座標	重心座標と相対座標における表現について
13	自由度と運動方程式	自由度と運動方程式の表現について
14	固定軸まわりの運動	固定軸まわりの運動について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指定する．

【参考書】
力学に関する参考書は数多くあるので，自分の理解度に応じて適宜参照する事．

【成績評価の方法と基準】
平常点とレポート等（50%）および期末試験（50%）から総合的に評価する．

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートおよび日常的な意見や要望・実際の授業の状況などを踏まえ，授業の進度・内容に適宜フィードバックする．

【Outline (in English)】
(Course outline) Learn the idea of the physical law that governs physical phenomena on the field of mechanics. Understand that many physical laws are beautiful logical systems naturally guided from the few "basic laws".
(Learning Objectives) Based on the "fundamental laws" that form the basis of the course, students will be able to think, understand, and explain the physics logic of why things are the way they are and why we think they are the way we do. Forgetting once and for all the physics for entrance examinations in which students simply apply formulas, students will learn the fundamentals of how to think by thoroughly training how to think in a way that allows them to build up logic from scratch.
(Learning activities outside of classroom) The standard study period outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours.
(Grading Criteria /Policy) Grading will be based on the overall evaluation of the student's performance, reports, etc. (50%) and the final examination (50%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語 I

外山　知子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を学びながら、実践に役立つドイツ語を楽しく身につける。

【到達目標】
発音のルールを知って、初見の単語でも発音できる。
独和辞典を用いて、初歩的なテクストを分析して理解する。
簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の形態は対面ですが、Zoomなどによるリアルタイムのオンラインになる回もありますので、「各回の授業形態」を見てください。詳細は「学習支援システム」で伝達します。「学習支援システム」はこまめにチェックしてください。
毎回最新のドイツ事情なども紹介します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行うのが基本ですが、教室で提出する場合もあります。
下の「その他の重要事項」も必ず目を通すこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回 4/14	オリエンテーション/アルファベート	ドイツについて紹介し、発音練習もする。
第2回 4/21	つづりと発音	つづりと発音を学ぶ。
第3回 4/28	ドイツ語のあいさつ 数詞(0-9) Lektion1 説明説明	あいさつ。 Lektion1 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第4回 5/12	Lektion1 文法の補足。 パートナ練習 練習問題	人称代名詞、動詞の現在人称変化、sein、疑問詞についてさらに学ぶ。
第5回 5/19	p.6のLandeskunde Lektion2 文法説明	Lektion2 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第6回 5/26	Lektion2 文法の補足。 パートナ練習 練習問題	haben、名詞の性、語順、決定疑問文と答えについてさらに学ぶ。
第7回 6/2	p.12の Landeskunde 数詞(10-19) Lektion3 文法説明	Lektion3 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第8回 6/9	Lektion3 文法の補足。 パートナ練習 練習問題	定冠詞と名詞の各変化、名詞の複数形についてさらに学ぶ。
第9回 6/16	p.16の Landeskunde 数詞 (20-29) Lektion4 文法説明	Lektion4 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第10回 6/23	Lektion4 文法の補足。 パートナ練習 練習問題	不定冠詞、所有冠詞（不定冠詞類）、否定冠詞（不定冠詞類）についてさらに学ぶ。
第11回 6/30	p.20の Landeskunde 数詞(30-39) Lektion5 文法説明	Lektion5 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第12回 7/7	Lektion5 文法の補足。 パートナ練習 練習問題	現在人称変化の不規則な(1)、名詞の3格、人を表す疑問代名詞についてさらい学ぶ。
第13回 7/14	教科書の復習前半	春学期に学んだ文法事項を復習する。
第14回 7/21	授業全体の復習と授業内試験	特に重要なところを説明し、質問を受け付け、授業内試験をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回の授業で学んだことの復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。
ふだんから辞書をこまめに引いて、早く引けるようにする。

【テキスト（教科書）】
秋田靜男他著『イン・ドイチュラント――ドイツ語インフォメーション　映像付』朝日出版社

【参考書】
中嶋祐二・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版　必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は3分の2以上を必要とする。基本的には期末試験72％、授業参加度（宿題、課題を含む平常点）28％の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。（正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。）正当な理由でなくてもすぐに連絡することは重要である。

【学生の意見等からの気づき】
宿題の提出はなるべく先延ばしにしないように随時働きかける。

【学生が準備すべき機器他】
必要な場合、学生支援システムで伝えます。

【その他の重要事項】
この授業のやり方、その他のお知らせを随時学習支援システムで連絡するので、いつも気をつけていてください。（最初の授業の前に、みなさんが私に個人的に連絡したいときの方法を学習支援システムで伝えるので、控えて利用してください。）
授業中は（Zoomなどをやるとき以外は）パソコン、スマートフォン、その他のモバイルは鞄の中にしまっておくこと。勝手に見ないこと。
２回目以降は毎回教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を持参して使用すること。
板書は手書きでノートに写すこと。許可なく写真に撮らないこと。
教科書には書かれていないがドイツを知るために、あるいはドイツ語を学ぶ上で重要なことも多く語られるので、極力欠席も遅刻もせず、好奇心を持って積極的に授業にのぞんでもらいたい。遅刻の扱いについては授業中に説明する。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve at speaking, listening, reading and writing.
Before each class meeting, students will be expected to have read the nest chapter from the text.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.
Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(72%) and in-class contribution(28%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語ＩＩ

外山　知子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を学びながら、実践に役立つドイツ語を楽しく身につける。ドイツ語圏の歴史、文化を学ぶ。

【到達目標】
独和辞典を用いて、初歩的なテクストを分析して理解する。
簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の形態は対面ですが、Zoomなどによるリアルタイムのオンラインになる回もありますので、「各回の授業形態」を見てください。詳細は「学習支援システム」の「お知らせ」で知らせします。こまめにチェックしてください。
授業の最初にドイツの文化、最新のトピックが紹介されます。春学期春学期と同じ教科書でドイツ語の文法を学び、会話文を学び、テクストを講読する。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
下の「その他の重要事項」も必ず目を通すこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回　9/22	春学期の復習 Lektion6 文法説明	春学期の復習をする。 Lektion6 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第２回 9/29	Lektion6 文法の補足 パートナー練習 練習問題	現在人称変化の不規則な動詞(2)、人称代名詞、非人称のesについてさらに学ぶ。
第3回 10/6	p.28の Landeskunde 数詞(40-49) Lktion7 文法説明	Lektion7 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第4回 10/13	Lektion7 文法補足 パートナー練習 練習問題	前置詞,、前置詞と定冠詞の融合形についてさらに学ぶ。
第5回 10/20	p.32の Landeskunde Lektion8 文法説明	Lektion8 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第6回 10/27	Lektion8 文法補足 パートナー練習 練習問題	話法の助動詞、話法の助動詞の人称変化、話法の助動詞の主な意味についてさらに学ぶ。
第7回 11/10	p.36の Landeskunde Lektion9 文法説明	Lektion9 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第8回 11/17	Lektion9 文法補足 パートナー練習 練習問題	分離動詞、命令形、時刻表限についてさらに学ぶ。
第9回 11/24	p.40の Landeskunde Lektion10 文法説明	Lektion10 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第 10 回 12/1	Lektion10 文法補足 パートナー練習 練習問題	形容詞の格変化、再帰動詞と再帰代名詞についてさらに学ぶ。
第 11 回 12/8	p.44の Landeskunde Lektion11 文法説明	Lektion11 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。
第 12 回 12/15	Lektion11 文法補足 パートナー練習 練習問題	動詞の三基本形、過去人称変化についてさらに学ぶ。
第 13 回 12/22	p.48の Landeskunde Lektion12 文法説明	Lektion12 本文の動画を見て、発音練習と文法説明。現在完了形。
第14回 1/19	1年間の総まとめ 特にドイツ語の特徴である枠構造について復習する。	春学期と秋学期に学んだことを枠構造を中心に復習し、授業内試験をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回の授業で習ったことの復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。
ふだんから辞書をこまめに引いて、早く引けるようにする。

【テキスト（教科書）】
秋山靜男他著『イン・ドイチュラン――ドイツ語インフォメーション　映像付』朝日出版社

【参考書】
中嶋祐二・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版　必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は3分の2以上を必要とする。基本的には試験72％、授業参加度（宿題、課題を含む平常点）28％の割合で総合評価する。遅刻は3回で欠席1回にカウントされる。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。（正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。）正当な理由でなくてもすぐに連絡することは重要である。

【学生の意見等からの気づき】
ドイツ語を学ぶことをきっかけとして普段からドイツへの関心を高めてもらう。

【学生が準備すべき機器他】
必要な場学生学生支援システムで伝えます。

【その他の重要事項】
この授業のやり方、その他のお知らせを随時学習支援システムで連絡するので、いつも気をつけていてください
授業中は（Zoomなどをやるとき以外は）パソコン、スマートフォン、他のモバイルはしまっておくこと。勝手に見ないこと。
２回目以降は毎回教科書と独和辞典（通信機能の付いた機器で代用することは許可しない）を持参して使用すること。

板書は手書きでノートに写すこと。許可なく写真に撮らないこと。教科書には書かれていないが、ドイツを知るために、あるいはドイツ語を学ぶ上で重要なことも多く語られるので、極力欠席も遅刻もせず、好奇心を持って積極的に授業にのぞんでもらいたい。遅刻の扱いについては授業中に説明する。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.
The goal is for students to improve at speaking, listening, reading and writing.
Before each class meeting, students will be expected to have read the nest chapter from the text.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.
Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(72%) and in-class contribution(28%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
Students will develop their English communication skills through discussion and presentation.
Students will improve their spoken English and will be able to express their opinions in informal class discussions and shirt presentations.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete reading comprehension activities from the textbook and discuss the topics they introduce with partners and as a class. Students will respond to discussion questions in short essay form as homework. There will be a short end of semester exam essay to be written in class. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online, or in exceptional circumstances emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com Emma Sensei will post corrections and comments online, and for more specific feedback students can contact the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Week 1 - Class introduction and theme overview	Assessment methods and grading Self introduction to the class
Week 2	Week 2 - Chapter 1 Food and health	Unit 1 - Food and Culture
Week 3	Week 3 - Chapter 1 Food and health	Unit 3 - Saving Lives (food and health problems)
Week 4	Week 4 - Chapter 2 Technology	Unit 4 - Identity Theft
Week 5	Week 5 - Chapter 2 Technology	Unit 6 - Artificial Intelligence
Week 6	Week 6 - Chapter 3 Sports	Unit 7 - Professional Athletes
Week 7	Week 7 - Chapter 3 Sports	Unit 9 - Cheating
Week 8	Week 8 - Class discussion - Discussing the previous topics	Class discussion- which topics did you enjoy the most, and why? Which topics did you enjoy the least and why? Do you disagree with any of the attitudes and opinions presented in the textbook?
Week 9	Week 9 - Chapter 4 Cultural differences	Unit 10 - Attitude and cultures
Week 10	Week 10 - Chapter 4 Cultural differences	Unit 11 - Communication in different cultures
Week 11	Week 11 - Chapter 5 Society	Unit 14 - Immigration
Week 12	Week 12 - Chapter 5 Society	Unit 15 - Gender Differences
Week 13	Week 13 - Class overview and Test preparation	Learn about next week's test and practice example questions together
Week 14	Week 14 End of semester test	End of semester test to make up 30%of grade

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook and will include mini tests and mini essays. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
Vantage Point, Eric Hirata
ISBN 9784863124035 (10-digit ISBN: 4863124031)

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
End of Semester test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
n/a

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語 I

平岡　敦

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語文法と表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】
簡単なフランス語を読み、書き、話せるようにすること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
フランス語初学者を対象とする授業。学習者がフランス語の基礎を身につけられるよう読み、書き、話す練習をする。
授業で課した課題については次回の授業で確認、解説を行う。授業は対面とオンラインを組み合わせて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業紹介、フランス語の音。アルファベ。	授業の進め方の説明。フランス語で使う文字と記号。
第2回	綴りと発音。フランス語の特徴。	綴りの規則を学ぶ。フランス語の特徴について知る。
第3回	名詞の性と数、冠詞。	男性名詞と女性名詞、冠詞の種類と形を学ぶ。
第4回	主語人称代名詞。動詞 être の直説法現在。	主語になる人称代名詞の形を学ぶ。重要な不規則動詞 être の直説法現在形と使い方を学ぶ。
第5回	動詞 avoir の直説法現在。	重要な不規則動詞 avoir の直説法現在形と使い方を学ぶ。
第6回	er 型規則動詞、否定文。	er 型規則動詞の活用と疑問文、否定文の作り方を学ぶ。
第7回	１～４課の復習。	練習問題で１～４課の復習をする。
第8回	疑問文。	疑問文の作り方を学ぶ。
第9回	形容詞の性・数一致。	形容詞の性・数変化の規則を学ぶ。
第10回	ir 動詞の直説法現在。指示形容詞、所有形容詞。	語尾が ir の動詞の活用を学ぶ。指示形容詞、所有形容詞の形と使い分けを学ぶ。
第11回	aller, venir の直説法現在。	不規則動詞 aller, venir の活用を学ぶ。
第12回	近接未来、近接過去。	近い未来と近い過去を示す表現を学ぶ。
第13回	５～８課の復習。	練習問題で５～８課の復習をする。
第14回	前期の復習	前期の復習と確認の試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】各授業で学んだ文法事項の定着をはかるため、練習問題を中心とした課題を課す。

【テキスト（教科書）】
西部由里子『ア・ビエ！』朝日出版社（２０２２年）、２４２０円

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
期末試験70％、課題、授業参加度などを30％として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
受講者が消化不足にならないよう、基本的な文法事項と表現に絞って授業を進めたい。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to understand basic French grammar and to get French expressions.
The goals of this course are to read, write, and speak in French.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語ＩＩ

平岡　敦

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語文法と表現の基礎を学ぶ。

【到達目標】
簡単なフランス語を読み、書き、話せるようにすること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
フランス語初学者を対象とする授業。学習者がフランス語の基礎を身につけられるよう読み、書き、話す練習をする。
授業で課した課題については次回の授業で確認、解説を行う。授業は対面とオンラインを組み合わせて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習。	春学期に習った内容を復習する。
第2回	疑問形容詞、疑問副詞。	疑問形容詞と疑問副詞の用法を学ぶ。
第3回	疑問代名詞。	疑問代名詞の用法を学ぶ。
第4回	非人称構文、命令法	非人称構文の仕組みと命令文の作り方を学ぶ。
第5回	人称代名詞強勢形、直説法複合過去。	人称代名詞の強勢形の形と使い方、直説法複合過去形の形と用法を学ぶ。
第6回	９～１２課の復習。	練習問題をとおして９～１２課の復習をする。
第7回	強調構文、比較級と最上級。	強調構文、比較級の最上級表現の作り方と用法を学ぶ。
第8回	目的語人称代名詞。	目的語人称代名詞の形と用法を学ぶ。
第9回	代名動詞。	代名動詞の仕組みと直説法現在形を学ぶ。
第10回	関係代名詞、受動態。	関係代名詞、受動態の形と用法を学ぶ。
第11回	１３～１６課の復習。	練習問題をとおして１３～１６課の復習をする。
第12回	直説法半過去、指示代名詞。	直説法半過去の活用と用法、指示代名詞の形と用法を学ぶ。
第13回	直説法単純未来。	直説法単純未来の活用と用法を学ぶ。
第14回	後期の復習	後期の復習と確認の試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業時に学んだ文法事項の定着をはかるため、練習問題を中心とする課題を課す。

【テキスト（教科書）】
西部由里子『ア・ピエ！』朝日出版社（２０２２年）、２４２０円

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を70％、課題、授業参加度などを30％として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
受講生が消化不足にならないよう、基本的な文法事項と表現に絞って授業を進めたい。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to understand basic French grammar and to get French expressions.
The goals of this course are to read, write, and speak in French.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
Students will develop their English communication skills through discussion and presentation.
Students will improve their spoken English and will be able to express their opinions in informal class discussions and shirt presentations.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete reading comprehension activities from the textbook and discuss the topics they introduce with partners and as a class. Students will respond to discussion questions in short essay form as homework. There will be a short end of semester exam essay to be written in class. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online, or in exceptional circumstances emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com Emma Sensei will post corrections and comments online, and for more specific feedback students can contact the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Week 1 - Class introduction and themes overview	Assessment methods and grading Self introduction to the class
Week 2	Week 2 - Chapter 1 Food and health	Unit 1 - Food and Culture
Week 3	Week 3 - Chapter 1 Food and health	Unit 3 - Saving Lives (food and health problems)
Week 4	Week 4 - Chapter 2 Technology	Unit 4 - Identity Theft
Week 5	Week 5 - Chapter 2 Technology	Unit 6 - Artificial Intelligence
Week 6	Week 6 - Chapter 3 Sports	Unit 7 - Professional Athletes
Week 7	Week 7 - Chapter 3 Sports	Unit 9 - Cheating
Week 8	Week 8 - Class discussion - Discussing the previous topics	Class discussion- which topics did you enjoy the most, and why? Which topics did you enjoy the least and why? Do you disagree with any of the attitudes and opinions presented in the textbook?
Week 9	Week 9 - Chapter 4 Cultural differences	Unit 10 - Attitude and cultures
Week 10	Week 10 - Chapter 4 Cultural differences	Unit 11 - Communication in different cultures
Week 11	Week 11 - Chapter 5 Society	Unit 14 - Immigration
Week 12	Week 12 - Chapter 5 Society	Unit 15 - Gender Differences
Week 13	Week 13 - End of Semester test preparation	Learn about the end of semester test, practice exam questions together
Week 14	Week 14 - End of Semester test	End of semester test worth 30%of the final grade

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook, which will include mini tests and mini essays. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework, revising material from previous lessons and preparing for upcoming lessons.

【テキスト（教科書）】
Vantage Point, Eric Hirata
ISBN 9784863124035 (10-digit ISBN: 4863124031)

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語 I

渡辺　浩司

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業です。授業では，教科書を使って，文法を中心に初級中国語の前半部分を学びます。受講者が中国語力の基礎（言語の規則・「書く」力・「話す」力・「聞く」力）が習得できることを目指します。また，中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。なお，本授業は，後期開講の「基礎中国語Ⅱ」でも同じ教科書を使います。

【到達目標】
中国語の発音（ピンイン）が正確に発音できること，授業で学習した中国語の基礎的な文法・語彙・実用会話を習得することを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，教科書（発音篇、本篇：第１課～第7課）を使って，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，あいさつ言葉や基本的な実用会話を学びます。受講者の理解を優先しますので、下記の授業計画通りには進まない可能性があります。
小テストを実施した場合は返却・解答し、最終授業で実施する期末テストは、希望者に、後日、個別の学習ポイントを指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、中国館の発音(1)	授業の進め方について、発音(1)：解説文の説明と発音練習。練習1。
第2回	中国語の発音(2)	発音(2)：解説文の説明と発音練習。練習2。
第3回	中国語の発音(3)	発音(3)：解説文の説明と発音練習。練習3。
第4回	中国語の発音(4)	発音(4)：解説文の説明と発音練習。練習4。
第5回	中国語の発音(5)	発音(5)：解説文の説明と発音練習。練習5。
第6回	中国語の文法と語彙(1)	第1課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第7回	中国語の文法と語彙(2)	第2課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第8回	中国語の文法と語彙(3)	第3課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第9回	中国語の文法と語彙(4)	第4課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第10回	中国語の文法と語彙(5)	第5課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第11回	中国語の文法と語彙(6)	第6課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第12回	中国語の文法と語彙(7)	第7課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル。
第13回	前期授業内容の復習	第1課～第7課の復習と補足。
第14回	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】中国語を「話す」力・「聞く」力を培うためには，なるべく多く発音すること、聞くことが大切です。教科書付録のCDも活用して，授業で学んだ教科書各課の新出単語や本文などの発音の反復練習やリスニング練習をしてみましょう。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』（保坂律子・郭雲輝著，朝日出版社，本体：2300円）。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の点数（70％）と平常点（30％）を総合して評価します。欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。（遅刻、早退は二回で欠席一回とする）

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ分かりやすく、全員が理解できるような授業を目指します。
毎回、出席者を複数回（なるべく多く）指名し、発音練習してもらうことも目指します。

【学生が準備すべき機器他】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して課題を出すので、インターネットに接続できる環境・機器が必要です。

【その他の重要事項】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して、授業外でも質問を受け付けます。

【Outline (in English)】
This is a course for students studying Chinese for the first time.
Using textbooks, students acquire grammar rules, Chinese pronunciation, essential vocabulary, word order, and other aspects of the Chinese language.
At the end of the course, students are expected to be able to do the followings:
- pronounce words and sentences accurately.
- acquire basic grammar and read the contents of short texts.
- understand and use simple conversational expressions.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語 I

景　旻

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業です。授業では，教科書を使って，初級中国語の前半部分を学びます。受講者が中国語力の基礎（「話す」力・「聞く」力・「書く」力）を習得できることを目指します。中国語の発音と表記法を学び，漢字だけではない音の世界を楽しむための基礎作りをします。また，中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。なお，本授業は，後期開講の「基礎中国語II」でも同じ教科書を使います。

【到達目標】
受講者が中国語の発音（ピンイン）が正確に発音できること，授業で学習した中国語の基礎的な文法などを理解し，学習した中国語が聞いてもわかるようになることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，教科書（発音篇、本篇：第１課～第7課）を使って，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，あいさつ言葉や基本的な実用会話を学びます。また，スマホ、ノート PC などを使う書き読みの練習，アプリを使う録音と発音の検証など，中国語を活用する方法も適宜紹介します。
毎週皆さんから提出してもらった課題（練習問題）のうち、よく間違っていた箇所などは次週解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・中国語とは？	授業の進め方について・中国語について
	中国語の発音(1)	発音(1)：解説文の説明と発音練習。練習①～⑤。
第2回	中国語の発音(2)	発音(2)：解説文の説明と発音練習。練習①～⑤。
第3回	中国語の発音(3)	発音(3)：解説文の説明と発音練習。練習①～⑤。
第4回	中国語の発音(4)	発音(4)：解説文の説明と発音練習。練習①～⑥。
第5回	中国語の発音(5)	発音(5)：解説文の説明と発音練習。練習①～⑦。
第6回	中国語の文法と語彙(1)	第1課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第7回	中国語の文法と語彙(2)	第2課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第8回	中国語の文法と語彙(3)	第3課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第9回	中国語の文法と語彙(4)	第4課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第10回	中国語の文法と語彙(5)	第5課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第11回	中国語の文法と語彙(6)	第6課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第12回	前期授業内容の復習(1)	第1課～第6課の復習と補足(1)。
第13回	前期授業内容の復習(2)	第1課～第6課の復習と補足(2)。
第14回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】語学学習は，日常的に当該言語に触れることが大切です。中国語圏の好きな映画や音楽などを見つけて，日頃から親しんで欲しいと思います。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』（保坂律子・郭雲輝著，朝日出版社，本体：2300円）。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点30%（出席・受講態度・発声音量），期末試験70%を総合して評価します。
初回授業のガイダンスで平常点（特に出席）を計算する方法を紹介しますので，初回授業を欠席となる方は，必ず後で確認してください。

【学生の意見等からの気づき】
こまめに輪読や復習することが有効だと思われるので，本授業でも行う予定です。

【Outline (in English)】
This class is mainly for students who are learning Chinese for the first time. In the class, we aim to acquire basic Chinese skills ("speaking", "listening", and "writing") while learning the first half of elementary Chinese using textbooks. Learn Chinese pronunciation and notation, and build a foundation for enjoying the world of sounds that are not limited to kanji. In addition, in order to deepen the understanding of Chinese culture, we will introduce Chinese culture as appropriate.
The same textbook will be used for this class as the "Fundamental Chinese II" in the autumn semester.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Evaluation will be based on a comprehensive assessment: 30%from regular performance (attendance, class participation, etc.) and 70%from the final exam.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語ⅠⅠ

景　旻

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は，主に初級中国語の前半部分を学んだ学生を対象とした授業です。授業では，教科書を使って，初級中国語の後半部分を学びます。中国語力の基礎（「話す」力・「聞く」力・「書く」力）など四つの技能の習得を目指します。中国語の発音と表記法をしっかりとマスターし，漢字だけではない音の世界を楽しむための基礎作りをします。また，中国文化に対する理解を深めるために，適宜，中国文化の紹介も行います。なお，本授業は，前期開講の「基礎中国語Ⅰ」と 同じ教科書を使います。

【到達目標】
中国語の発音（ピンイン）が正確に発音できること，授業で学習した中国語の基礎的な文法・語彙・実用会話を習得し，聞いてもわかるようになることを到達目標とします。また，インターネットを利用して中国語で情報収集や活用できることが望ましいです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
本授業では，教科書（本篇：第7課～第14課、及び第15課）を使って，中国語の基礎の学習（発音、ピンイン、簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得）を進めながら，基本的な実用会話を学びます。発音練習、聞き取り練習、発話練習、作文練習を行い，基礎力を養います。適宜，視聴覚教材も使って中国文化の紹介も行います。また，スマホ、ノート PC などを使う書き読みの練習，アプリを使う録音と発音の検証など，中国語を活用する方法も適宜紹介します。
毎週皆さんから提出してもらった課題（練習問題）のうち，よく間違っていた箇所などは次週解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス・前期授業内容の復習	授業の進め方について・前期授業内容の復習
第2回	中国語の文法と語彙(1)	第7課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑥。
第3回	中国語の文法と語彙(2)	第8課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第4回	中国語の文法と語彙(3)	第9課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第5回	中国語の文法と語彙(4)	第10課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第6回	中国語の文法と語彙(5)	第11課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第7回	中国語の文法と語彙(6)	第12課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第8回	中国語の文法と語彙(7)	第1課～第10課の復習＋中国語検定対策(1)。
第9回	中国語の文法と語彙(8)	第1課～第10課の復習＋中国語検定対策(2)。
第10回	中国語の文法と語彙(9)	第13課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第11回	中国語の文法と語彙(10)	第14課：新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル①～⑦。
第12回	後期授業内容の復習(1)	第7課～第14課の復習と補足(1)。
第13回	後期授業内容の復習(2)	第7課～第14課の復習と補足(2)。
第14回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】語学学習は，日常的に当該言語に触れることが大切です。中国語圏の好きな映画や音楽などを見つけて，日頃から親しんで欲しいと思います。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』（保坂律子・郭雲輝著，朝日出版社，本体：2300円）。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点30%（出席・受講態度・発声音量），期末試験70%を総合して評価します。
初回授業のガイダンスで平常点（特に出席）を計算する方法を紹介しますので，初回授業を欠席となる方は，必ず後で確認してください。

【学生の意見等からの気づき】
こまめに輪読や復習することが有効だと思われるので，本授業でも行う予定です。

【Outline (in English)】
This class is mainly for students who have learned "fundamental Chinese I". In class, we aim to acquire basic Chinese skills ("speaking", "listening", and "writing" skills) while learning the second half of elementary Chinese using textbooks. By thoroughly mastering the pronunciation and notation of Chinese, we will lay the foundations for enjoying the world of sounds that are not limited to kanji. In addition, in order to deepen the understanding of Chinese culture, we will introduce Chinese culture as appropriate.
This class will use the same textbook as "fundamental Chinese I" in the first semester.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Evaluation will be based on a comprehensive assessment: 30%from regular performance (attendance, class participation, etc.) and 70%from the final exam.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
1). Students will learn how to speak with others in defined social interactions more effectively and appropriately. 2). Students will have a wider range of vocabulary covering a number of thematic areas and be able to use the grammatical structures covered in the course to achieve objective goals and express their own ideas and opinions more successfully. 3). Students will be able to use reference sources and feedback to better overcome weaknesses and use strengths in their use of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The class uses a textbook organized in thematic units with a focus on specific grammar structures and appropriate functional language. The class will comprise of frequent pair work and group work and listening tasks during class to familiarise students with the use of vocabulary and grammar structures in English. The class will also include realistic listening comprehensions to improve listening skills. Role-play tests will be used to evaluate speech skills, and homework assignments will be set to evaluate progress in writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course guidelines & orientation	Course goals and objectives; course procedures for assignments; grading criteria; suggested study materials and methods; course rules.
2	Who are you?	Present Simple and Present Continuous People and relationships; personality adjectives
3	Good People	Jobs; work Verb Patterns
4	Let's Talk!	Starting, maintaining and ending conversations Conversation topics
5	What happened?	Narrative tenses *-ed /-ing* adjectives describing emotional states
6	Storytelling	Past Simple and Present Perfect Story words; film genres
7	Review and in-class role play test 1 (weeks 2-6)	Review and in-class role play test
8	A likely story	Apologising and giving reasons
9	Facts and figures	Question forms Knowledge; verbs and nouns
10	Decisions	Future plans and intentions Making decisions
11	Can I ask you ...?	Making polite enquiries
12	Success	Modals for rules and advice
13	Review and in-class role play test 2 (weeks 2-6)	Review and in-class role play test
14	Final Review Test: Summary and Explanation	Final Review Test: Summary and Explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Short in-class testing of each unit will be carried out utilizing hard paper copy tests and the Learning Management System.Preparation and practice exercises will be set to consolidate learning of target language. Work to be completed outside class should take students between one hour and ninety minutes per week.

【テキスト（教科書）】
Speakout 3rd edition (B1), Students' Book and e-book with online practice - Antonia Clare &JJ Wilson (Pearson)
ISBN 978-1-293-5953-3) c.￥3,500

【参考書】
No set reference work

【成績評価の方法と基準】
In class testing 50%
Class participation 20%
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】
Students will need their PC or phone to access the Learning Management System for tests

【その他の重要事項】
Attendance Policy
出席ポリシー
３分の１以上または5回以上の理由なき欠席で、成績を不合格（E）とします
More than one-third or five total absences without a valid reason will result in a failing grade (E).

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

文章作法

矢口　貢大

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、自己表現や意見表明を適切に行うための文章力の養成を目的とします。読み手にわかりやすい文章で、自分の意見を説得力をもって展開する技術を学んでいきます。最終的には、学術レポートが書けるようになることを目的とします。

【到達目標】
①わかりやすく正確な日本語の書き方を習得する。
②議論を構築し、文章で表現できるようになる。
③学術レポートが書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
文章作法の基礎については講義形式で伝えます。不明点があれば積極的に質問してください。授業では、小テスト、400字作文、課題文などの作成を随時行ないます。また、履修者同士で評価や議論をすることで、文章の書き方を学んでいきます。作成した課題のフィードバックは、Hoppiiの課題返却機能を用いる予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	・授業の目標、成績評価についての説明
第2回	文章作法の基礎	・文章の書き方 ・小テスト（添削）
第3回	自己紹介文を書く	・400字程度の作文
第4回	課題の返却と講評	・400字程度の作文の添削修正
第5回	要約の練習	・要約の仕方 ・要約の作成
第6回	レポートの書き方（基礎編）	・レポートとは何か ・400字程度の作文
第7回	論文作法	・課題の返却 ・論文とは何か
第8回	レポートの書き方（発展編）	・レポートのテクニック ・400字作文
第9回	議論の方法	・課題の返却 ・議論の仕方
第10回	意見表明の実践（１）	・課題文の作成
第11回	意見表明の実践（２）	・課題文の返却 ・ピアレビュー
第12回	情報収集と情報処理	・文献の調べ方 ・引用の仕方 ・注 ・参考文献
第13回	意見表明の実践（３）	・前回の復習 ・前回をふまえたうえでの課題文の作成
第14回	意見表明の実践（４）	・課題文の返却 ・ピアレビュー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】作文、課題文の作成を宿題にします。
また作文のテーマに関する文献を図書館等で調べます。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。講義ごとにプリントを配布します。

【参考書】
木下是雄『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫、1994年
戸田山和久『新版　論文の教室　レポートから卒論まで』NHKブックス、2012年
野内良三『日本語作文術』中公新書、2010年

【成績評価の方法と基準】
配分：
平常点（小テスト・400字作文）（30％）
課題文（30％）
レポート（40％）

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
授業内でパソコンを使用する予定です。

【その他の重要事項】
受講希望者が定員を超えた場合は抽選になります。授業開始前に掲示を確認して下さい。

【Outline (in English)】
The aim of this class is to provide students with writing skills to express themselves clearly and persuasively. Students will improve academic writing skills by reading articles and essays critically, editing grammatical and rhetorical errors, learning how to compose an argument, and developing research skills.
Learning activities outside of class: Students will be required to research and write a manuscript for the paper.
Grading Criteria: class participation (quizzes and short essays, 20%), assigned writing (40%), final essay (40%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
After taking this class, students will be able to communicate more effectively with others in everyday social situations, and also communicate opinions accurately in discussion with others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The class uses a textbook organized in thematic units with a focus on specific grammar structures and appropriate functional language. The class will comprise frequent pair work and group work and listening tasks during class to familiarise students with the use of vocabulary and grammar structures in English. The class will also include realistic listening comprehensions to improve listening skills. Role-play tests will be used to evaluate speech skills, and homework assignments will be set to evaluate progress in writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Academic Express Placement Test	Class rules and grading criteria Academic Express Placement test
2	Fake News	Relative Clauses News and Social Media
3	Newsmakers	Reported Speech Social Issues and the Environment
4	The future of News	*will*, *might* and *be going to* for predictions
5	Be creative	Comparatives and Superlatives Word building
6	Why do you think that?	Asking for and giving opinions and reasons Extreme adjectives
7	Role Play Assessment Lessons 2-6	Review of previous 4 units
8	Good tourists	First and second conditionals Travel and Tourism
9	Globetrotters	Quantifiers
10	Technology	Talking about the effect on technology on society (present perfect + time markers)
11	You must see ...!	Making and responding to recommendations Describing places
12	Video everywhere	Active and Passive Emphasizing important information
13	Role Play Assessment Lessons 8-12	Review of previous 4 units
14	REVIEW TEST	REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Short in-class testing of each unit will be carried out utilizing hard paper copy tests and the Learning Management System.Preparation and practice exercises will be set to consolidate learning of target language. Work to be completed outside class should take students between one hour and ninety minutes per week.

【テキスト（教科書）】
Speakout 3rd edition (B1), Students' Book and e-book with online practice - Antonia Clare &JJ Wilson (Pearson)
ISBN 978-1-293-5953-3) c.￥3,500

【参考書】
Online audio and video resources are available to students at www.english.com/speakout

【成績評価の方法と基準】
In class testing 50%
Class participation 20%
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring a paper or electronic dictionary to class.Students may use a dictionary on their smartphone, but any use of a smartphone unconnected to the lesson will be penalised and result in a lower grade.

【その他の重要事項】
Attendance Policy
出席ポリシー
３分の１以上または5回以上の理由なき欠席で、成績を不合格（E）とします
More than one-third or five total absences without a valid reason will result in a failing grade (E).

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語 I

杉本　公子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象としています。受講者が中国語の発音と表記法を学び、漢字だけではない音の世界を楽しむための基礎作りをします。そして、「話す」「聞く」「読む」「書く」の基礎力養成を目指します。漢字を使う別の言語を知ることで、他者理解・自己理解の幅を広げることが目的です。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを目標とします。
(1)正確な発音を身につける。
(2)発音表記が正確に読める。
(3)基礎的な文法を理解する。
(4)初歩的な会話ができる。
(5)基礎的な作文ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
正確な発音、発音の表記法、簡体字と、基本的な文法と語彙、初歩的な会話を学びます。発音練習、聞き取り練習、発話練習を行い、基礎力を養います。また、適宜、中国文化の紹介も行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方について
	発音(1)	発音(1)：発音表記・声調・単母音
第2回	発音(2)	発音(2)：複母音・声調記号
第3回	発音(3)	発音(3)：子音・無気音・有気音・そり舌音
第4回	発音(4)	発音(4)：鼻音・声調変化
第5回	発音(5)	発音(5)：発音表記の規則・数字・声調の組み合わせ
第6回	第1課	第1課：人称代名詞・動詞述語文・諾否疑問文
第7回	第2課	第2課：指示代詞・連体修飾語・疑問詞疑問文
第8回	第3課	第3課：助数詞・所有・「いくつ」
第9回	第4課	第4課：形容詞述語文・反復疑問文・「～は？」
第10回	第5課	第5課：場所の指示代詞・存在・「～したい」
第11回	第6課	第6課：日時・名詞述語文・変化・提案・推測
第12回	第1～6課復習	第1～6課：復習
第13回	期末試験1	期末試験（筆記）
第14回	期末試験2・まとめと解説	期末試験（音読）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】中国語を「話す」力・「聞く」力を培うためには、なるべく多く発音すること、聞くことが大切です。教科書付属の音声教材も活用して、授業で学んだ教科書各課の新出単語や本文などについて、発音練習やリスニング練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』、保坂律子・郭雲輝著、朝日出版社、2011年。

【参考書】
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。

【成績評価の方法と基準】
出席を基本とし、平常点（受講態度・発声音量）10％、筆記試験70％、音読試験20％で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】
どんどん間違えてください。そこから多くが学べます。

【Outline (in English)】
Basic Chinese 1
[Course Outline] A first-year Chinese course for students with no background in Chinese. Students will learn to read and write Chinese phonetic alphabet and simplified Chinese characters. Special emphasis will be placed on developing accurate pronunciation.
[Learning Objectives] The goal is to develop the basics of four language skills: listening, speaking, reading, and writing.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Term-end examination: 90%(written test: 70%, oral reading: 20%), in-class contribution: 10%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語II

杉本　公子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、主に初級中国語の前半を学んだ学生を対象としています。受講者が中国語の発音と表記法をしっかりとマスターし、漢字だけではない音の世界を楽しむための基礎作りをします。そして、「話す」「聞く」「読む」「書く」の基礎力養成を目指します。
漢字を使う別の言語を知ることで、他者理解・自己理解の幅を広げることが目的です。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
(1)発音が正確にできる。
(2)基礎的な文法を理解する。
(3)初歩的な会話ができる。
(4)基礎的な作文ができる。
(5)学習した内容のまとまった中国語が聞き取れる。
(6)希望者は、11月後半に実施される中国語検定（準4級）に合格する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
正確な発音、発音の表記法、簡体字と、基本的な文法と語彙、初歩的な会話を学びます。発音練習、聞き取り練習、発話練習を行い、基礎力を養います。また、必要に応じて中国語検定対策も行います。適宜、中国文化の紹介を行います。
課ごとに課題を課します。提出は「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは授業内に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 検定試験案内 第7課(1)	授業の進め方について 中国語検定試験案内 第7課(1)：連動文・時間量・前置詞
第2回	第7課(2) 第8課(1)	第7課(2)：連動文・時間量・前置詞 第8課：経験・動詞の重ね型・選択疑問文
第3回	第8課(2) 第9課(1)	第8課：経験・動詞の重ね型・選択疑問文 第9課：比較・二重目的語・様態補語
第4回	第9課(2) 第10課(1)	第9課：比較・二重目的語・様態補語 第10課：完了・「～なのだ」・「できる」
第5回	第10課(2)	第10課：完了・「～なのだ」・「できる」 リスニング練習
第6回	第11課(1)	第11課：動作の進行・状態の持続・「はやく～」
第7回	第11課(2) 第12課(1)	第11課：動作の進行・状態の持続・「はやく～」 リスニング練習 第12課：方向補語・結果補語・動量補語
第8回	第12課(2)	第12課：方向補語・結果補語・動量補語 リスニング練習
第9回	第13課(1)	第13課：無主語文・「少しも～」・「すぐに～」・「ますます」
第10回	第13課(2)	第13課：無主語文・「少しも～」・「すぐに～」・「ますます」 リスニング練習
第11回	第14課(1)	第14課：「まるで～」・禁止・「少し～」・「～しながら」
第12回	第14課(2)	第14課：「まるで～」・禁止・「少し～」・「～しながら」 リスニング練習
第13回	期末試験1	期末試験（筆記）
第14回	期末試験2・まとめと解説	期末試験（音読）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】中国語を「話す」力・「聞く」力を培うためには、なるべく多く発音すること、聞くことが大切です。教科書付属の音声教材も活用して、授業で学んだ教科書各課の新出単語や本文などの発音の反復練習、リスニング練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』、保坂律子・郭雲輝著、朝日出版社、2011年。

【参考書】
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。
中国語検定協会ホームページ。

【成績評価の方法と基準】
出席を基本とし、平常点（受講態度・発声音量）10％、課題内容10％、試験80％（筆記60％、音読20％）として総合評価します。中国語検定の受験者と合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
ペースが速いときは、遠慮なく言ってください。

【Outline (in English)】
Basic Chinese 2
[Course Outline] Continuation of Basic Chinese 1 held during the spring semester. Emphasis will be given to the acquisition of basic grammatical structures.
[Learning Objectives] The goal is to develop the basics of four language skills: listening, speaking, reading, and writing.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Term-end examination: 80%(written test: 60%, oral reading: 20%), weekly assignments: 10%, in-class contribution: 10%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

今政　肇

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

【到達目標】

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回		
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

【テキスト（教科書）】

【参考書】

【成績評価の方法と基準】

【学生の意見等からの気づき】

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

小屋　多恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
By the end of the course, students should be able to do the following:
· Students will be able to understand the characteristics of English sound changes, intonation, and accents in a systematic way and pronounce and read aloud with accuracy.
· Students will be able to construct their own ideas in English and effectively express their opinions.
· Students will be able to collaborate with partners and group members to create visual aids and deliver effective presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In order to achieve the above goals, the following will be implemented in class as appropriate.
1) SPM
2) Understanding of sound changes, intonation and accent characteristics, and pronunciation practice
3) Reading practice
4) Learning appropriate vocabulary and phrases for various situations
5) Role-playing and pair work for various situations
6) Logically constructing and giving presentations on various topics
This class will not be taught in a lecture style, but rather in a practical exercise style. Therefore, active participation by the students is the basis of the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Orientation and warm-up activity · Explanation of how the class will be conducted · Preparation for English presentations
第2回	Mission 01	[Individual] Introduce yourself
第3回	Mission 01	[Individual] Introduce yourself
第4回	Mission 02	[Group] Give your ideas: Things you enjoy on &off campus
第5回	Mission 02	[Group] Give your ideas: Things you enjoy on &off campus
第6回	Mission 02	[Group] Give your ideas: Things you enjoy on &off campus
第7回	Special mission 1	Presentation and feedback
第8回	Mission 05	[Individual] Introduce your classmates
第9回	Mission 05	[Individual] Introduce your classmates
第10回	Mission 06	[Group] Explain Japanese culture
第11回	Mission 06	[Group] Explain Japanese culture
第12回	Mission 06	[Group] Explain Japanese culture
第13回	Special mission 2	Final presentation 1
第14回	Special mission 2	Final presentation 2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours per class.

【テキスト（教科書）】
松岡昇・傍島一夫『1分間・英語プレゼンテーション』松柏社、2017年

【参考書】
Handouts will be distributed as necessary.

【成績評価の方法と基準】
Class participation (homework assignments, project work, weekly tests): 40%
Presentations: 60%

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring your textbook and your own PC to each lesson.

【その他の重要事項】
· Those who are absent for 5 lessons will not be able to obtain credits.
· Those who are late or leave early will be counted as absent for 0.5 lesson.
· Leaving the class early is not allowed.
· We expect active participation from students, including active participation in class discussions.

【Outline (in English)】
【Course outline】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
【Learning Objectives】
By the end of the course, students should be able to do the followings:
· Students will be able to understand the characteristics of English sound changes, intonation, and accents in a systematic way and pronounce and read aloud with accuracy.
· Students will be able to construct their own ideas in English and effectively express their opinions.
· Students will be able to collaborate with partners and group members to create visual aids and deliver effective presentations.
【Learning activities outside of classroom】
Students are expected to complete the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours per class.
【Grading Criteria】
· Class participation (homework assignments, project work, weekly tests): 40%
· Presentations: 60%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I

ALAN D MORGAN

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
1). Students will learn how to speak with others in defined social interactions more effectively and appropriately. 2). Students will have a wider range of vocabulary covering a number of thematic areas and be able to use the grammatical structures covered in the course to achieve objective goals and express their own ideas and opinions more successfully. 3). Students will be able to use reference sources and feedback to better overcome weaknesses and use strengths in their use of English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The class uses a textbook organized in thematic units with a focus on specific grammar structures and appropriate functional language. The class will comprise of frequent pair work and group work and listening tasks during class to familiarise students with the use of vocabulary and grammar structures in English. The class will also include realistic listening comprehensions to improve listening skills. Role-play tests will be used to evaluate speech skills, and homework assignments will be set to evaluate progress in writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course guidelines & orientation	Course goals and objectives; course procedures for assignments; grading criteria; suggested study materials and methods; course rules.
2	Who are you?	Present Simple and Present Continuous People and relationships; personality adjectives
3	Good People	Jobs; work Verb Patterns
4	Let's Talk!	Starting, maintaining and ending conversations Conversation topics
5	What happened?	Narrative tenses *-ed /-ing* adjectives describing emotional states
6	Storytelling	Past Simple and Present Perfect Story words; film genres
7	Review and in-class role play test 1 (weeks 2-6)	Review and in-class role play test
8	A likely story	Apologising and giving reasons
9	Facts and figures	Question forms Knowledge; verbs and nouns
10	Decisions	Future plans and intentions Making decisions
11	Can I ask you ...?	Making polite enquiries
12	Success	Modals for rules and advice
13	Review and in-class role play test 2 (weeks 2-6)	Review and in-class role play test
14	Final Review Test: Summary and Explanation	Final Review Test: Summary and Explanation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Short in-class testing of each unit will be carried out utilizing hard paper copy tests and the Learning Management System.Preparation and practice exercises will be set to consolidate learning of target language. Work to be completed outside class should take students between one hour and ninety minutes per week.

【テキスト（教科書）】
Speakout 3rd edition (B1), Students' Book and e-book with online practice - Antonia Clare &JJ Wilson (Pearson)
ISBN 978-1-293-5953-3) c.￥3,500

【参考書】
No set reference work

【成績評価の方法と基準】
In class testing 50%
Class participation 20%
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】
Students will need their PC or phone to access the Learning Management System for tests

【その他の重要事項】
Attendance Policy
出席ポリシー
３分の１以上または5回以上の理由なき欠席で、成績を不合格（E）とします
More than one-third or five total absences without a valid reason will result in a failing grade (E).

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、豊かな語彙力・正確な文法力の定着を図ると同時に、それに支えられた4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の総合的な向上を目的とする。理工・生命系の分野では、英語が世界共通語になっていることを受け、将来の技術者・研究者には必要な専門知識を英語で受信・発信できる英語力に加え、社会の要求に応えられる高度な英語運用能力の習得が求められる。本授業では、そのための基礎力・総合力・応用力をつけるべく、学生の英語力を基にどのスキルに重点を置くか見極めた上で、効果的な教授方法を取り入れて実施する。

【到達目標】
After taking this class, students will be able to communicate more effectively with others in everyday social situations, and also communicate opinions accurately in discussion with others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
The class uses a textbook organized in thematic units with a focus on specific grammar structures and appropriate functional language. The class will comprise frequent pair work and group work and listening tasks during class to familiarise students with the use of vocabulary and grammar structures in English. The class will also include realistic listening comprehensions to improve listening skills. Role-play tests will be used to evaluate speech skills, and homework assignments will be set to evaluate progress in writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Academic Express Placement Test	Class rules and grading criteria Academic Express Placement test
2	Fake News	Relative Clauses News and Social Media
3	Newsmakers	Reported Speech Social Issues and the Environment
4	The future of News	*will*, *might* and *be going to* for predictions
5	Be creative	Comparatives and Superlatives Word building
6	Why do you think that?	Asking for and giving opinions and reasons Extreme adjectives
7	Role Play Assessment Lessons 2-6	Review of previous 4 units
8	Good tourists	First and second conditionals Travel and Tourism
9	Globetrotters	Quantifiers
10	Technology	Talking about the effect on technology on society (present perfect + time markers)
11	You must see ...!	Making and responding to recommendations Describing places
12	Video everywhere	Active and Passive Emphasizing important information
13	Role Play Assessment Lessons 8-12	Review of previous 4 units
14	REVIEW TEST	REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Short in-class testing of each unit will be carried out utilizing hard paper copy tests and the Learning Management System.Preparation and practice exercises will be set to consolidate learning of target language. Work to be completed outside class should take students between one hour and ninety minutes per week.

【テキスト（教科書）】
Speakout 3rd edition (B1), Students' Book and e-book with online practice - Antonia Clare &JJ Wilson (Pearson)
ISBN 978-1-293-5953-3) c.￥3,500

【参考書】
Online audio and video resources are available to students at www.english.com/speakout

【成績評価の方法と基準】
In class testing 50%
Class participation 20%
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring a paper or electronic dictionary to class.Students may use a dictionary on their smartphone, but any use of a smartphone unconnected to the lesson will be penalised and result in a lower grade.

【その他の重要事項】
Attendance Policy
出席ポリシー
３分の１以上または5回以上の理由なき欠席で、成績を不合格（E）とします
More than one-third or five total absences without a valid reason will result in a failing grade (E).

【Outline (in English)】
This class reinforces the development of a rich vocabulary and accurate grammatical knowledge, and based on this knowledge, aims at the comprehensive development of the four skills (reading, writing, listening and speaking). In the science and engineering fields, English is the common language. Technicians and scientists of the future will need the ability to comprehend and communicate in English to meet the need of society for high levels of English. In order to meet this need, this class emphasizes the development of basic, comprehensive skills and knowledge and the ability to apply them. Based on the needs of students, a variety of effective approaches will be used to strengthen basic English competency.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

HUGO L DRAINVILLE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Through a task-based approach, working in small teams, students learn to speak, to discuss, to express opinions in order to promote global thinking and communication skills in English. They acquire technical vocabulary, expressions and critical thinking with a personalized focus on their field of study.
Feedback will be provided in class for in-lesson tasks, and through the Hoppii system for out-of-class and assessed tasks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	Introduction to the course aims, goals, objectives, and evaluation criteria.
第2回	Strategic Language Learning	How to set language learning goals and track progress; Learning strategies to improve language learning; How to use technology and resources to support language learning.
第3回	Vocabulary Strategies 1	Context clues and inference; Using a bilingual dictionary effectively
第4回	Vocabulary Strategies 2	Using word parts (prefixes, suffixes, etc.) to infer meaning
第5回	Discourse Strategies 1	Discourse markers
第6回	Discourse Strategies 2	Cohesive devices
第7回	Interactional Strategies 1	Politeness, interruption, and turn-taking
第8回	Interactional Strategies 2	Clarification and confirmation
第9回	Comprehension Strategies	Reading strategies (inference through skimming, scanning, text structure); Listening strategies (context; gist and detail).
第10回	Speaking Strategies 1	Fillers and hesitation; Circumlocution and paraphrasing.
第11回	Speaking Strategies 2	Nonverbal communication; Pronunciation (intonation, rhythm, emphasis).
第12回	Writing Strategies	Brainstorm and outline; Editing and revising.
第13回	Class summary and preparation for final presentation	Summary of the contents covered; Feedback; Instructions and preparation time for the final assignment, with support from the instructor.
第14回	Final evaluation	Online interviews

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.

【テキスト（教科書）】
Course materials for each module will be distributed by the instructor on the Hoppii system, or in class.

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
A notebook is needed for in-class work, while for out-of-class assignments, students are required to use Word software or compatible open source software.

【Outline (in English)】
Course Outline:
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
Learning Objectives:
This course is designed to develop the following skills in English.
(1) to explain Japanese and world events in English
(2) to discuss cross-cultural communication
(3) to gather information in English
(4) to develop critical thinking skills and abilities
Learning activities outside of the classroom:
Prior to each lesson, students are required to review the provided documentation and complete a brief preparation task that will be explained at the conclusion of the previous lesson. In addition, certain in-class tasks will need to be finished as homework assignments.
Grading Criteria:
Participation (25%); Assignments (25%); Final evaluation (50%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
Students will be able to communicate and elicit information in a range of everyday social and academic interactions. Students will acquire an awareness of basic techniques to facilitate communication cross-culturally.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
Each unit of the textbook is themed, structures and vocabulary associated with the theme is presented ias a listening, then used as a basis for guided practice in group and pair work. Critical academic skills are introduced with a short reading and a short video based on the theme (which may be done outside the class). A communicative activity carried out in pairs, groups or as a whole class reinforces the practical application of the language presented in each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Unit 1　Hobbies	Explanation of class structure, grading criteria and rules. Introduction to online content Introductions Verb+Infinitive
2	Unit 2　Clothes and Colors	Comparatives Asking Opinions
3	Unit 3　An active life	Verb + Noun Repetition &Showing Attention
4	Unit 4 Getting around	Indirect Questions Interrupting politely
5	Unit 5 Personality	Simple Present vs Present Continuous Showing surprise
6	Unit 6 Cooking	Imperatives and Sequence Markers Showing understanding
7	Review &Mid-term Review Test	Review Units 1-6
8	Unit 7　Weather	Superlatives Asking to confirm understanding
9	Unit 8　Everyday Activities	Past Continuous Apologising
10	Unit 9 Maths, History &Art	Adjectives ending *-ed* and *-ing* Softening opinions
11	Unit 10 A busy semester	Present Perfect Agreeing
12	Unit 11 Favors and requests	Polite Request forms Explaining Reasons
13	Unit 12 Before you travel	Obligation - *have to* Asking follow up questions
14	FINAL REVIEW TEST	FINAL REVIEW TEST

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some elements of the units that are suitable may be assigned as work to be done outside class. Completion of tasks set outside class will utilise the Language Management system to confirm completion.

【テキスト（教科書）】
Stretch 2 (Susan Stempelski, Oxford University Press,2014) ISBN 978-0-19-460313-3 c.￥3,500

【参考書】
Online resources are available after registration with an access code provided with the student textbook at www.oxfordlearn.com

【成績評価の方法と基準】
Unit Review Testing 35%
In-class contribution 20%
Mid-term Review test 15 %
Final Review Test 30%

【学生の意見等からの気づき】
The element of play and competition in pair and group activities provided to facilitate language practice will be accentuated.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need to use a computer to access online resources and to access tests and quizzes on the Education Management System.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

コミュニケーション・ストラテジー

永井　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
日常生活に関わる簡単な会話から始め、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明し、他者の説明を理解し、意見の交換ができるところまで、幅広いコミュニケーション能力の習得を目指す。また、異文化を理解し尊重し、自分の文化を他者に理解してもらう態度を身に着け、国際人として積極的に異文化交流ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
授業活動は前半・後半と、二部に分ける。
前半では、(1)発音（聞く・話す）の練習、(2)疑問と応答のための文法練習、(3)リスニングにおいて[主語＋述語ペア]及びキーワード・キーフレーズを聞き取る練習を行う。(3)に関しては、後にスピーキングにおいて[主語＋述語ペア]を構築する練習に発展させる。
後半では、様々なパラグラフ構造の短い英文原稿を書き、口頭で発表し、他者と(1)Yes/No疑問文～応答、(2)Wh-疑問文～応答、(3)意見・コメント交換の会話活動を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、「Conclusion/Reasons」	授業の進め方、評価方法の説明。「結論・理由」型の発表～会話。
第2回	「Analysis」	「分析」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第3回	「Theory/Proof」	「理論・証明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第4回	「Controversy」	「論争」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第5回	「Comparison/Contrast」	「比較」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第6回	「Classification」	「分類」型の発表～会話。（発音・QA文法・SVリスニング練習）
第7回	まとめとテスト(1)	第1～6回の発音・QA文法・SVリスニング練習の内容に関わる復習とテスト
第8回	「Instructions」	「指示」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第9回	「Chronological Order」	「歴史」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第10回	「Cause &Effect」	「原因と結果」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第11回	「Process」	「過程」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第12回	「Explanation」	「説明」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習）
第13回	まとめとテスト(2)	第7～12回の発音・QA文法・SVリ文法練習の内容に関わる復習テスト
第14回	「Definition」	「定義」型の発表～会話。（発音・QA文法・SV文法練習問題）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は4時間を標準とする。必ず復習をすること。また指示された事柄に関しては、予習を行うこと。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布する。

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】
毎回のライティング（発表原稿）＆スピーキング実績：48％＋2回の筆記テスト（リスニングに基づく発音・QA文法・SV文法のテスト）：52％より評価する。

【学生の意見等からの気づき】
（変更ではなく継続）
アンケートにおいて、リスニング技能の習得のために①発音（子音・母音それぞれ）②主語＋述語の基本構造③複合文構造と、段階的に行ったのが有り難かったとの声が聞かれたので、継続する。
In the survey, respondents appreciated the step-by-step procedure of (1) pronunciation, (2) basic subject + predicate structure, and (3) compound structure and compound syntax, which will be continued.

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンまたはスマートフォン等、アップロードされた教材にアクセスできるもの。
Laptops and/or smartphones for student access to uploaded materials

【その他の重要事項】
なし

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence necessary for effective participation in society and the world of work. The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum effectiveness.
The goal is for students to acquire a wide range of communication skills and an attitude of understanding and respecting different cultures so that they can actively engage in cross-cultural exchanges as international citizens.
The lesson time is divided into two parts.Part 1 includes (1) pronunciation practice, (2) grammar practice for interrogatives, and (3) understanding subject-predicate pairs. In the second part, the students will first do a writing and oral presentation activity, followed by the following activities: (1) Yes/No questions and answers, (2) Wh- questions and answers, and (3) comments on other students' presentations.
The standard amount of study outside of class time for preparation and review for this class is 4 hours. Be sure to review. Also, students are expected to do preparatory study for the topics indicated in the instructions.
Evaluation will be made from the following: writing&speaking at each session: 48%, and two written tests: 52%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語I

KOPROWSKI MARK

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英語を実社会で有効に使用して仕事をするために必要な英語のコミュニケーション力を養成することを目的とする。日常生活に関わる会話に慣れることから、自分の興味のあるトピックや専門領域の事柄について英語で説明できるところまで幅広いコミュニケーション力の習得を目指すとともに、国際人として異文化に対する理解を深める。確かな基礎力の上に、将来的ニーズや興味に即した英語力、研究や実務につながる応用力をつけられるよう、授業は習熟度別の少人数制で行い、効果向上を図る。

【到達目標】
This one-semester course will focus on developing vocabulary, listening and conversation skills in English. By the end of the course, students will feel more confident and comfortable discussing everyday topics in English. Students will also learn to use a range of natural communication strategies.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
Developing pronunciation, listening and speaking skills will be a regular feature in this course. Students will also learn and use key vocabulary and functional language in order to have more natural and fluent conversations. Pair work and group work will emphasized. Whole-class feedback (error correction related to grammar, vocabulary, pronunciation) will be given after each speaking activity or near the end of each class using the black board.
Students are also provided written feedback and error correction following the mid-term and final speaking examinations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course introduction and explanation	Get to know your teacher and each other. Learn what is expected of you in class.
Week 2	Unit 1 It's good to meet you.(Introducing Yourself)	Vocabulary: Personal information Pronunciation: Sentence Stress
Week 3	Unit 2 What are you into? (Taking about Hobbies and Interests)	Vocabulary: Hobbies and interests Pronunciation: Contractions
Week 4	Unit 3 Who're they (Talking about Friends and Family)	Vocabulary: Relationships Pronunciation: Reduction /t/
Week 5	Unit 4 What shall we watch Talking about Movies and TV	Vocabulary: Movies and TV Shows Pronunciation: /ʃ i:/and /si:/
Week 6	Unit 7 I'm hungry! (Talking about Food)	Vocabulary: Food and drink Pronunciation: Linking
Week 7	MID-TERM EXAMINATION (speaking test)	UNITS 1, 2, 3, 4, 7 10-minute speaking test (in small groups)
Week 8	Unit 8 How do you stay fit? (Talking about health?)	Vocabulary: Sports, exercise and health Pronunciation: Rising and falling intonation
Week 9	Unit 9 I don't feel so good (Talking about illness)	Vocabulary: Health and illness Pronunciation: Reduction /p/
Week 10	Unit 12 Are you going anywhere? (Talking about Travel and Vacations)	Vocabulary: Travel and vacations Pronunciation: Word stress
Week 11	Unit 13 I've never done that before (Talking about experiences)	Vocabulary: Past experiences Pronunciation: Reduction /g/
Week 12	Unit 14 I'm at work (Talking about Work and Jobs)	Vocabulary: Work and jobs Pronunciation: Sentence stress
Week 13	Unit 15 Let's Meet in Paris! (Talking about Future Plans)	Vocabulary: Future plans Pronunciation: Chunking
Week 14	FINAL EXAMINATION: (speaking test)	UNITS 8, 9, 12, 13, 14, 15 10-minute speaking test (in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Weekly out-of-class homework assignments will be given. Students will be responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important to complete homework assignments on time and late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
Complete Communication Book 2
Authors: James Bury, Anthony Sellick, and Kaori Horiuchi
(Seibido, 2022, ISBN 9784791972425)

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Class participation (speaking English, taking notes): 25%
Homework assignments: 25%
Mid-term examination (speaking test): 25%
Final examination (speaking test): 25%

【学生の意見等からの気づき】
None.

【学生が準備すべき機器他】
None.

【その他の重要事項】
Students are expected to have the textbook by the second week of class and bring it to class every week. Students should consider the board as an extension of their textbook. As a result, they should take notes on everything the teacher writes on it.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to develop the communicative competence
necessary for effective participation in society and the world of work.
The class aims to help students acquire a broad ability to communicate, starting from familiarity with daily conversation to explaining topics of students' own interest or field of study, while deepening understanding of foreign cultures necessary for global citizens. Based on a firm foundation of basic skills, the class focuses on the future needs and interests of students as well as the ability to apply English to research and work in a setting of small, leveled classes for maximum
effectiveness.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語I

小林　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。多様な形で英語に親しむ授業とする。

【到達目標】
本授業は、英語で文章を書く能力を養成するためのクラスである。授業では文法的に正確なセンテンスを書くことから始め、様々なパラグラフ、エッセイを書く事を目標とする。また、それぞれの専攻内容についての英文を書くことも目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
テクストの問題を中心に進めつつ、自分なりの英語の表現を学ぶように授業を進めます。オンラインで英作文の課題を課し、フィードバックを行うこともあります。また、リスニングなど多様な形で英語に親しむ授業と致します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Conclusion / Reasons	ガイダンス
第2回	Social Trends	品詞について
第3回	Results /Causes	自動詞、他動詞について
第4回	Several Explanations	リスニングのトレーニング
第5回	Comparison	英作文の練習
第6回	For and Against	英作文の練習
第7回	Classification	テクスト以外の英文を読む
第8回	History	リスニングのトレーニング
第9回	Process	英作文の練習
第10回	Cause and Effect	英作文の練習
第11回	Definition of a New Word	エッセイの書き方について
第12回	Research	リスニングのトレーニング
第13回	New Products	テクスト以外の英文を読む
第14回	Reading Graphs	英作文の練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習をすること、そして指示された場合には予習をして授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
Skills for Better Writing (Intermediate) 南雲堂

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
学期末のレポート(80%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(20%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
ありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline (in English)】
The aim of this class is to develop students' ability of English composition. The students will start from composing grammatically accurate sentences and next write various paragraphs and essays.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語I

小林　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。多様な形で英語に親しむ授業とする。

【到達目標】
本授業は、英語で文章を書く能力を養成するためのクラスである。授業では文法的に正確なセンテンスを書くことから始め、様々なパラグラフ、エッセイを書く事を目標とする。また、それぞれの専攻内容についての英文を書くことも目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
テクストの問題を中心に進めつつ、自分なりの英語の表現を学ぶように授業を進めます。オンラインで英作文の課題を課し、フィードバックを行うこともあります。また、リスニングなど多様な形で英語に親しむ授業と致します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Conclusion / Reasons	ガイダンス
第2回	Social Trends	品詞について
第3回	Results /Causes	自動詞、他動詞について
第4回	Several Explanations	リスニングのトレーニング
第5回	Comparison	英作文の練習
第6回	For and Against	英作文の練習
第7回	Classification	テクスト以外の英文を読む
第8回	History	リスニングのトレーニング
第9回	Process	英作文の練習
第10回	Cause and Effect	英作文の練習
第11回	Definition of a New Word	エッセイの書き方について
第12回	Research	リスニングのトレーニング
第13回	New Products	テクスト以外の英文を読む
第14回	Reading Graphs	英作文の練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習をすること、そして指示された場合には予習をして授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
Skills for Better Writing (Intermediate) 南雲堂

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
学期末のレポート(80%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(20%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
ありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline (in English)】
The aim of this class is to develop students' ability of English composition. The students will start from composing grammatically accurate sentences and next write various paragraphs and essays.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語I

FRITZ Erik

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、さまざまなコミュニケーションニーズに応える技能を養成することを目的とする。日常生活から社会的な場面における会話、専門領域のディスカッションや研究内容のプレゼンテーションまで、幅広く対応できるコミュニケーション力の習得とともに、研究や実務につながる英語力・応用力の涵養を目指す。そのために、グループによるディスカッションを通して、問題解決や、さまざまな情報源からの情報収集・要約から、結果や結論を伝えられるようにするために必要な語彙力、文法力や論理構成に基づく文章作成力、簡単な表現で言い換えられる能力の習得に重点を置く。学生のコミュニケーション力をベースに、他技能との統合も含め、効果的な教授方法により実施する。

【到達目標】
Students will be able to have group discussions in English about the weekly readings, including science-based topics.
Students will be able to summarize and analyze various kinds of readings, including science news and research.
Students will be able to learn new academic vocabulary words and technical terms specific to their fields of study.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
The main feature of this course will be the weekly group discussions in English. Students will be evaluated by how well they prepare for and participate in these discussions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to the course	Class Overview Discussing a Fictional Story
2	Science News	Summarizing and Discussing a Science News Story
3	International Conferences	Discussing about Presenting &Attending an International Conference as an Undergraduate Student
4	Academic Word List (AWL) Graded Readers	How to study the AWL Graded Reader Practice Discussion
5	Graded Readers	English Book Discussion #1
6	Graded Readers	English Book Discussion #2
7	Midterm Exam Research Article	Exam Choose one research article from your field of study
8	Analyzing & Discussing Research	The Elements of a Scientific Research Paper (+ Japanese explanation)
9	Analyzing & Discussing Research	Introduction to Genre Analysis – How to Read Scientific Articles
10	Analyzing & Discussing Research	Genre Analysis – How to Read Scientific Articles (Part 1)
11	Analyzing & Discussing Research	Genre Analysis – How to Read Scientific Articles (Part 2)
12	Analyzing & Discussing Research	How to Read Scientific Articles (Part 3)
13	Analyzing & Discussing Research	How to Read Scientific Articles (Part 4)
14	Final Exam Reflection	Exam Written Reflection in English

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
About 4 hours per week of preparation outside of class should be expected for this course.

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by the professor online.

【参考書】
The professor will provide references in class.

【成績評価の方法と基準】
Assignments &In-class Discussions: 70%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need to bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【Outline (in English)】
This class aims to develop skills that meet a variety of communication needs: English communication skills linked to research and work, as well as those skills used in a wide range of situations, from everyday life and social situations to discussions in specialized fields and research presentations. To this end, the class emphasizes not only the reinforcement of the rich vocabulary, proper grammar, and logical writing skills needed to communicate results and conclusions through group discussions but also the ability to collect and summarize information from various sources. A variety of effective teaching methods, including the integration of other skills, will be employed based on students' communication skills.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語II

宗像　俊輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
技術革新の副作用で生じる社会問題について、CNN、BBC、Bloomberg などの報道記事を読みながら国際的な視野で理解を深める。また、長文読解のスキルを高める。受講者は、科学技術による社会問題の捉え方を学び、その本質や解決法について、自分なりの考えを表現できるようにする。

【到達目標】
①最先端の技術と、それによって生じる社会問題について理解を深める。
②これらの社会問題の解決法について、議論ができるようにする。
③英字新聞や雑誌の記事（Web 版を含む）を読めるようにする。
④英語で話される映像資料に触れる機会を持つ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
【授業の進め方と方法】
①小テストを実施する（単語テストと書き取りテストを予定）
②当日扱う記事内容の背景説明する。
③事前に受講生が訳出したものを確認しながら、重要な単語や文法の解説をする。
④記事に関係する話題を講師が提供し、受講者同士でディスカッションをする。
⑤自然な英語表現を覚えるために、シャドウイング（音声を聴きながら発話する英語習得法）を実施する。
※記事の分量、内容、受講者の理解度に応じ時間配分を変更する場合がある。
※授業中の言語使用は、日本語７割、英語３割の予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の方針説明、自己紹介、英文読解の基礎
第2回	英文記事講読	ソーシャルメディアと大衆扇動①
第3回	英文記事講読	ソーシャルメディアと大衆扇動②
第4回	英文記事講読	学問が迫害に加担するとき①
第5回	英文記事講読	学問が迫害に加担するとき②
第6回	英文記事講読	交通と環境正義①
第7回	英文記事講読	交通と環境正義②
第8回	英文記事講読	科学と性差別①
第9回	英文記事講読	科学と性差別②
第10回	英文記事講読	医療と人種差別①
第11回	英文記事講読	医療と人種差別②
第12回	英文記事講読	気候変動と食料危機
第13回	ディスカッション	受講生が関心を寄せるテーマについてそれぞれ報道記事を持ち寄り、ディスカッションをする。
第14回	期末試験	これまで扱った内容から出題する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1 時間を標準とする】
①毎週出される英文記事を事前に読む。訳出担当者は、指定された部分を日本語訳にする。
②毎回の講義冒頭で実施する小テストの準備をする。
③指定されたリスニング教材のシャドウイングに取り組み、単語やフレーズの書き取りテストの準備をする。

【テキスト（教科書）】
配布資料（BBC、CNN、Bloomberg、その他英字新聞や英文雑誌の記事）

【参考書】
英和辞書、和英辞書を持参する。講義中のみならず、予習時や復習時にわからない単語があれば、すぐに辞書を引くように習慣づけること。
各回のテーマの参考資料は、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
①期末試験(50%)
②小テスト（30%）
③授業へ積極性（グループ・ディスカッション、発表、出席）(20%)

【学生の意見等からの気づき】
わからないことがあればそのままにせず、積極的に質問して解決してください。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
Students will read news articles from CNN, BBC, Bloomberg, etc., and deepen their understanding of social issues that recent technological innovation has caused. In this course, students will get accustomed to reading long texts. Students can express their ideas on how to view and solve these issues.
【到達目標（Learning Objectives）】
1. Students will deepen their understanding of social problems caused by cutting-edge technology.
2. Students will be able to discuss better, practical solutions to the problems.
3. Students will be able to read English-language newspapers and magazines.
4. Students will have opportunities to watch documentaries spoken in English.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
※ Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
1. Students have to read articles before the lecture.
2. Students prepare for quizzes and dictation tests at the beginning of each lecture.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
1. Final exam（50%）
2. Quiz（30%）
3. In-class contribution（20%）

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語II

村上　弥生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目は、理工学に関する新聞・雑誌記事、専門論文を読むためのリーディング力を伸ばすことを目的とする。基本的語彙の定着と専門的な語彙力の増強、文章の論理構成の理解、背景知識の活用・応用によるリーディングスキルの育成に重点を置く。これらのスキルをもとに、個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力を獲得し、研究や社会のニーズに寄与することを目指す。学生のリーディング力をベースに、他技能との統合も含め、効果的な教授方法により実施する。

【到達目標】
グローバルな教養人として求められる英語の読解力、語彙力を身に着ける。
異なる社会や、現代世界が直面する諸問題を論じる文章を主に取り上げ、英語の読解力のみならず、背景的な知識のリサーチなどを通じて、日常的に得られる日本語情報を相対化し、国際人としての視野と志向を広げる。
またリスニングや視覚材料を併用しながら、音声としての英語に触れる機会を多く持つことによって、英語独自の構造に慣れ、構造に従ってスムーズに受容できる力を高める。
高度な英文の読み物については、精読、正確な和訳の作業を通して、文構造や表現、単語の理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
1. 読み物については、
現代の社会、また世界において重要なテーマを1～2選び、関連する資料を学生さんの予習を前提として、丁寧に読む。また、読み物のテーマについての説明も、学生さんに英語で行ってもらったり、また教師からも随時行う。
2. テーマに関連する視聴覚材料をネット等で聞き、内容確認等を行う
3. 各テーマ終了ごとに語彙や表現、内容についての応用的な小テスト、ないし訳の修正や意見文の作成を行ってもらう。
4. 4. 1～3の受講生による訳文、リサーチ、サマリー、意見文については、随時Hoppi、ないし授業中に作成、提出されたものを評価して返却、もしくは授業時に総評を行う。
授業は基本的に対面で行うが、情勢の変化や授業の進捗状況等によってオンラインに変更される場合もあるので、情報システムでのお知らせを常に確認されたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Problems with A.I.tools and translation	授業の進め方についての説明、受講生の自己紹介など AIツールと翻訳の問題を概観
第2回	（題材は社会や時代の変化に添って新たに選びなおすが、以下は昨年度の例である） How Do You Change a Chatbot's Mind？ －1	背景説明 関連する視聴覚資料の紹介
第3回	Manipulation of A.I. － 2	和訳：要約の発表 重要語句、表現、文法の確認 リサーチ・意見文の紹介、発表
第4回	Manipulation of A.I. － 3	重要語句、表現・文法の確認
第5回	review test-1 次回からの読み物の紹介 With Forests in Peril, She 's恩ア Mission to Save 'Mother Trees' － 1（森林を紡ぎ合わせる菌類の存在）	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第6回	Forests as a living network-2	関連する資料、映像の紹介 和訳発表 リサーチ、意見文の発表、紹介 重要語句、表現、文法の確認
第7回	Forests as a living network- 3	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認
第8回	Forests as a living network-4	和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第9回	review test-2 Last-Chance Tourism-1 (消えゆく氷河とツーリズム）	前回までの内容・語句表現の応用の復習テスト 次の読み物の導入
第10回	Last-Chance Tourism － 2	背景説明、 和訳発表 重要語句、表現、文法の確認 意見交換
第11回	Last-Chance Tourism-3	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認 関連する資料の紹介
第12回	Mt. Everest and Over －tourism	和訳発表、 重要語句、表現、文法の確認
第13回	関連するヴィデオ視聴	重要語句、表現、文法の確認
第14回	review test-4	前回までの内容・語句・表現の応用の復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
1.読み物については、わかりやすい日本語に訳せるように十分に細部まで正確な英文理解を行うとともに、背景となっている状況なども併せて調べることが求められる。
2．読み物については音読、また、視聴覚教材については、シャドウイングなどを行いながら復習する。
3．各トピックごとに復習テスト、もしくは訳の修正を行うように準備をする。
4. 全体的なテーマに関連した短い意見文を作成する。

【テキスト（教科書）】
初回に指示する。また随時教師が提供する。

【参考書】
参考書はとくに指定しない。

【成績評価の方法と基準】
予習としての和訳、リサーチ☒%、授業での作文などへの積極的取組20％、復習テストもしくは和訳の修正や意見文60％。

【学生の意見等からの気づき】
英語資料を通じて、現代の世界の様々な側面を広く，また多様な視点から知ることに意義を見出してくれる学生さんが多く、十分こたえられるような題材を提供していくよう引き続き努力したい。

【Outline (in English)】
This class aims to improve students' reading skills to comprehend newspapers, magazine articles, and technical papers related to science and engineering. This class focuses on consolidating basic vocabulary, expanding specialized vocabulary, understanding the logical structure of sentences, and developing reading skills through background knowledge. Based on these skills, the aim is to acquire reading comprehension skills that enable students to grasp the meaning of individual sentences accurately, summarize the whole text concisely and quickly, search for necessary information, and contribute to research and society's needs. A variety of effective teaching methods, including the integration of other skills, will be employed based on students' reading skills.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

中級英語II

柳川　浩三

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Explore global issues and enjoy speaking English

【到達目標】
Objectives to be achieved.
1. Express opinions about global issues in a coherent way.
2. Discuss personal matters in English.
3. Enhance overall English proficiency

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
The primary purpose of this class is to enhance your speaking skills in English. This purpose will be done using various communication tasks such as Show and tell, role plays, impromptu speeches, and public speech.
Students are provided holistic and analytical feedback about their group presentations and individual speeches.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	explaining the purpose of this class
2	Ice breaking	Who is the most positive in this class?/What is good about you?/What is common between us?
3	Show and Tell	Individual presentation by using a photo/picture
4	Help me!	Making suggestions Asking for help
5	Group presentation 1	topic choice group making
6	Group presentation 2	Presentation by groups
7	Group presentation 3	Presentation by groups leading and developing the discussion
8	Human migration	reading and summarizing
9	Human migration	sharing information
10	Presumptions	retelling
11	Gender equality and roles	exchange opinions
12	Universal language of Humor	retelling speaking
13	Examination	writing
14	Another story	individual presentation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
You are supposed to be a responsible member of this class. You are supposed to be well prepared for giving a short speech, a presentation about a global issue by working together with your group members.

【テキスト（教科書）】
Kozo YANAGAWA and Simon Johnson (2021).
Global issues in Action: Tasks that Work 東京：三修社

【参考書】
NA

【成績評価の方法と基準】
1. Disuction tests (35%)
2. Presentations (Group and Solo 25%)
3. Attitude and contribution by classroom observation (15%)
4. Assignment (25%)

【学生の意見等からの気づき】
Overall, the students were very positive about this class, but I will try to make an every effort to tailor the content and procedures to meet the needs or interests of all students.

【その他の重要事項】
The more mistakes you make in speaking English, the better your English should be.
Being late for the class (over 5 minutes) is considered as absence.

【Outline (in English)】
To succeed in this course, you must get out of your chair and actively discuss global issues with partners, in small groups, and with the whole class. You will be asked to improvise, role play, hold debates, give presentations, and engage in other forms of structured discussion in English. The tasks in this course are designed to deepen your learning by nudging you out of your comfort zone. When you complete this course, you will have gained knowledge about the world, practical skills in using the English language, and experience in speaking out. The global issues of focus (poverty, nuclear threats, environmental issues, violations of human rights, and inequality) are selected to broaden your perspective by drawing your attention to different parts of the world.
———
Objectives to be achieved.
1. Express opinions about global issues in a coherent way.
2. Discuss personal matters in English.
3. Enhance overall English proficiency
———
Work to be done outside of the classroom:
You are supposed to be a responsible member of this class. You are supposed to be well prepared for giving a short speech, a presentation about a global issue by working together with your group members.
———
Grading criteria:
1. Examination (45%)
2. Presentations (Group and Solo 25%)
3. Attitude by classroom observation (10%)
4. Assignment (20%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

ALAN D MORGAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
Students will be able to create accurate simple, compound and complex sentences. Students will be able to punctuate these sentences. Students will be able to use reference accurately. Students will be able to outline, organise and write viable paragraphs. Students will acquire the vocabulary necessary to understand further feedback and instruction to enable ongoing instruction in writing in English.
Students will be introduced to specific discreet skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.
First Assignment 15%
Final Assignment 30%
Final Review Test 35%
Participation 20%

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Students will be introduced to specific discrete writing skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.
Some preparation and testing of understanding will be done outside of the classroom, recorded by means the Learning Management System. Feedback on performance will be available to students.
Two written assignments will be assigned to test students ability to integrate skills in writing longer texts.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation: Writing Skills 1-3 :	Orientation - Class rules and grading criteria Simple Sentences &Elements of a paragraph Outside Class - Subject-Verb agreement
2	Skills 4-6	Capitalisation Rules 1 & Punctuation 1 Outside Class - Consistent pronoun use
3	Skills 7-8	Avoiding run-ons and comma splices &Avoiding sentence fragments Outside Class - Simple editing task
4	Skills 9-11	Topic sentences &Supporting sentences Outside Class - Concluding sentences
5	Skill 12	Sentences with Relative Clauses
6	Skills 13-15	Simple vs Compound sentences Complex sentences Outside Class - Sentence Combination
7	Skills 19-20, 16	Transition Words: Chronological order &Verb tense consistency Outside Class - Giving specific examples MID-SEMESTER ASSIGNMENT
8	Skills 17-18, 20	Punctuation 2 and Capitalisation 2 Outside Class - Verb Tense Consistency
9	Skills 22-24	Outlines &Facts vs Opinions Outside Class - Review of Simple, Compound and Complex sentences
10	Skills 25-26, 29	Contrasting opinions and contrast transitions Outside Class - Review Combining sentences
11	Skills 28,31	Writing for an academic audience Transitions of opinion and conclusion
12	Skills 21 &30	Giving specific examples 2 and Irrelevant vs relevant information
13	Skill 32	The essay Outside Class - Outline
14	FINAL WRITTEN REVIEW TEST	WRITTEN TEST &FEEDBACK ON FINAL ASSIGNMENT

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some preparation and testing of understanding will be done outside of the classroom, recorded by means the Learning Management System. Feedback on performance will be available to students.
Two written assignments will be assigned to test students ability to integrate skills in writing longer texts.

【テキスト（教科書）】
Skills For Effective Writing 2, (Cambridge University Press, 2013) ￥2,600 before tax. ISBN 978-1-107-61353-9

【参考書】
No specific reference.

【成績評価の方法と基準】
First Assignment 15%
Final Assignment 30%
Final Review Test 35%
Participation 20%

【学生の意見等からの気づき】
Planning and organisation of longer form writing will be given greater emphasis.

【学生が準備すべき機器他】
A computer or cellphone will be needed to access the Learning Management system for work outside class.

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Students will be able to create accurate simple, compound and complex sentences. Students will be able to punctuate these sentences. Students will be able to use reference accurately. Students will be able to outline, organise and write viable paragraphs. Students will acquire the vocabulary necessary to understand further feedback and instruction to enable ongoing instruction in writing in English.
Students will be introduced to specific discreet skills and be able to test their understanding with examples. Students then practice the skills and are given feedback to reinforce their understanding. Students will be encouraged to analyse their work and those of their classmates to build skills in editing compositions.
Grading Criteria
First Assignment 15%
Final Assignment 30%
Final Review Test 35%
Participation 20%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

乾　展子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
学術的な文章を読むための十分な語彙力と文法力を身につける。また、パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、訳読に頼らず、英文を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。音読や文法事項の確認なども交えます。毎回の授業で課題を提出してもらい、次回の授業内で課題等へのフィードバックを実施します。また、各単元での学習内容の定着を目指した単元毎のテストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方などについての説明
第2回	Unit 1(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第3回	Unit 1(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第4回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 2(1)	本文内容把握
第5回	Unit 2(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第6回	単元テスト	小テスト
	Unit 3(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第7回	Unit 3(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第8回	単元テスト	理解度の確認
	Unit 4(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第9回	Unit 4(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第10回	単元テスト	小テスト
	Unit 5(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第11回	Unit 5(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第12回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 6(1)	本文内容把握
第13回	Unit 6(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第14回	単元テスト	理解度の確認
	これまでのまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
当該授業で扱うUnitの本文の予習として、音声を聞き内容を確認してください。分からない語彙は必ず辞書で調べてください。
2Unit毎で小テストを実施しますので、復習をしてください。

【テキスト（教科書）】
野﨑嘉信 /松本和子 /Alastair Graham-Marr 編著『Science Bridge ニュースでつなぐ日常と科学』（金星堂）

【参考書】
適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
各単元テスト 70％、課題 30%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【学生が準備すべき機器他】
授業には、必ず辞書を持参してください。携帯電話の辞書の使用は認めません。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく5回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
[Learning Objectives]
Based on these skills, the class aims to develop reading comprehension skills that enable students to accurately understand the content of individual sentences through close reading, to quickly and concisely summarize entire sentences, and to search for necessary information to understand them.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please listen to the audio to check the lesson content. Be sure to look up any unfamiliar words in the dictionary.There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (60%), assignments (20%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

乾　展子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
学術的な文章を読むための十分な語彙力と文法力を身につける。また、パラグラフの論理展開や文脈を把握しながら、訳読に頼らず、英文を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業の前までに予習をしてもらいます。予習をを基に、テキストの内容を確認していきます。音読や文法事項の確認なども交えます。毎回の授業で課題を提出してもらい、次回の授業内で課題等へのフィードバックを実施します。また、各単元での学習内容の定着を目指した単元毎のテストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方などについての説明
第2回	Unit 7(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第3回	Unit 7(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第4回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 8(1)	本文内容把握
第5回	Unit 8(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第6回	単元テスト	小テスト
	Unit 9(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第7回	Unit 9(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第8回	単元テスト	理解度の確認
	Unit 10(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第9回	Unit 10(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第10回	単元テスト	小テスト
	Unit 11(1)	語彙の確認
		本文内容把握
第11回	Unit 11(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第12回	単元テスト	語彙の確認
	Unit 12(1)	本文内容把握
第13回	Unit 12(2)	本文内容把握
		本文内容理解問題
		文法演習
第14回	単元テスト	理解度の確認
	これまでのまとめ	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
当該授業で扱うUnitの本文の予習として、音声を聞き内容を確認してください。分からない語彙は必ず辞書で調べてください。
2Unit毎で小テストを実施しますので、復習をしてください。

【テキスト（教科書）】
野﨑嘉信 /松本和子 /Alastair Graham-Marr 編著『Science Bridge ニュースでつなぐ日常と科学』（金星堂）

【参考書】
適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
各単元テスト 70％、課題 30%

【学生の意見等からの気づき】
英語能力をを少しでも各自が伸ばせるように授業に取り組んでいきたいと思います。質問はいつでもしてください。

【学生が準備すべき機器他】
授業には、必ず辞書を持参してください。携帯電話の辞書の使用は認めません。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることがあります。

【注意事項】
・２０分以上の遅刻、早退は欠席１回として扱います。
・正当な理由なく４回以上欠席した場合、不可とします。
・授業中に携帯を使用している場合は退室してもらい、欠席とします。

【Outline (in English)】
[Course outline]
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English.
[Learning Objectives]
Based on these skills, the class aims to develop reading comprehension skills that enable students to accurately understand the content of individual sentences through close reading, to quickly and concisely summarize entire sentences, and to search for necessary information to understand them.
[Learning activities outside of classroom]
In preparation for class, please listen to the audio to check the lesson content. Be sure to look up any unfamiliar words in the dictionary.There will be a quiz every two units, so please review.
[Grading Criteria /Policy]
The final grade will be calculated based on the Mid-term and Final Exams (60%), assignments (20%), and quizzes (20%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディング I

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
Students will learn and develop academic reading in English.
Students will expand their vocabularies and understanding of English Grammar.
Students will participate in read and analyse English texts as individuals and as a class.
Students will submit brief written assignments and tests in English based on class topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted either on the Hoppii system or annotated on email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Overview	Class introduction and theme overview Assessment methods and grading
2	Unit 1: Happiness	Reading exercises: Is there a recipe for happiness? Four Keys to Happiness
3	Unit 2: Inventive Solutions	Reading exercises: The power of creativity Big ideas, Little Packages
4	Unit 3: Connected Lives	Reading exercises: The Power of Crowds Internet Island
5	Unit 4: Saving Our Seas	Reading exercises: Where have all the fish gone? What we eat makes a difference
6	Unit 5: Memory and Learning	Reading exercises: The Art of Memory Sleep and Memory
7	Midterm Review	Review vocabulary and grammar points
8	Unit 6: Animals and Medicine	Reading exercises: The snake chaser A haven for Chimps
9	Unit 7: Nature's Fury	Reading exercises: When tornadoes strike Wildfires
10	Unit 8: Building Wonders	Reading exercises: Unfinished masterpiece Amazing Structures
11	Unit 9: Form and Function	Reading exercises: What are feathers for? Design by nature
12	Unit 10: Smart Advice	Reading exercises: Turning ideas into reality Lessons in Business
13	Group study and tips for final test	Review practice exam questions as a class
14	Final test	Final test to determine 30%of final grade

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. I may also assign questions and short quizzes based on texts related to class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
Pathways: Reading, Writing, and Critical Thinking: 2nd Edition
ISBN 978133762511　(10-digit ISBN: 1337625116)

【参考書】
See Hoppii for additional supplements and aids

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure. This class aims to improve students' accuracy and confidence in reading English academic texts. By using the textbook and additional reading resources as a starting point, this class encourages students to expand their vocabularies and understanding of different grammatical structures to enhance their overall comprehension skills. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and self study to reinforce classroom learning. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
Students will learn and develop academic reading in English.
Students will expand their vocabularies and understanding of English Grammar.
Students will participate in read and analyse English texts as individuals and as a class.
Students will submit brief written assignments and tests in English based on class topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted on the hoppii system or annotated to email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Overview	Class introduction and theme overview Academic Reading I review. Assessment methods and grading
2	Unit 1: Social relationships	The ape in the office Gender in the Wild
3	Unit 2: Science and Investigation	Tech detectives King Tut's family secrets
4	Unit 3: City Solutions	The City Solution Urban Visionary
5	Unit 4: Danger Zone	Scientists Seek Foolproof Signal to Predict Earthquakes, Birds May Have Sensed Severe Storm Days in Advance When Yellowstone Explodes
6	Unit 5: The Travel Business	One on One: Jonathan Tourtellot Ecotourism
7	Midterm review	Review key vocabulary, grammar and reading techniques
8	Unit 6: Information Design	Infographics Even Graphics Can Speak with a Foreign Accent
9	Unit 7: Global Challenges	Seven Things to Know About Climate Change Nine Ways to Make a Difference,
10	Unit 8: Medical Innovations	The Method of Medicine Regenerative medicine
11	Unit 9: World Languages	English in Decline as a First Language, Study Says, Language Death
12	Unit 10: Survival Instinct	K2: Danger and Desire on the Savage Mountain Traveler of the Year
13	Group study and tips for final test	Review practice questions and materials for final test
14	Final test	Final text to make up 30%of grade.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assignments will be set from the textbook. I may also assign questions and short quizzes based on texts related to class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework and reviewing class materials.

【テキスト（教科書）】
10. Textbooks
Pathways 3, Reading, Writing, and Critical Thinking, Second Edition
Colleen Sheils ISBN: 9781337625128

【参考書】
Check Hoppii for additional materials and aids

【成績評価の方法と基準】
A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on
an understanding of paragraph structure. This class aims to improve students' accuracy and confidence in reading English academic texts. By using the textbook and additional reading resources as a starting point, this class encourages students to expand their vocabularies and understanding of different grammatical structures to enhance their overall comprehension skills. Students are expected to spend 4 hours per week completing homework assignments and self study to reinforce classroom learning. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, written notes and corrections on homework they have submitted on the hoppii system or annotated to email submissions, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email. A passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Final Test: 30%
Assignments: 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

柳川　浩三

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。 以下kの授

【到達目標】
学生が英文法のエッセンスを理解し、実際にそれを駆使して、正しく英文の意味を理解できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
オリジナル教科書を使用しながら、断片化した文法知識を整理し、体系化する。それと並行して平易な英文や最新の時事問題を読みながら、その体系化への橋渡しとする。
授業の初めに、前回の授業の宿題からいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。オンラインと対面の日時は学習支援システム等で伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	英文法のエッセンス	導入
2	動詞	すべては動詞が決める
3	名詞	主語、目的語、補語、同格になる
4	形容詞	名詞を形容するか補語になる
5	副詞	副詞はどこを限定するか考える
6	前置詞	前置詞は名詞とセットになって、形容詞か副詞になる
7	Andがわかれば英文が読める	andが何と何をつなぐか考える
8	今までの復習 1	Japan Timesを読む
9	今までの復習 2	歌を聞く
10	今までの復習 3	英文学を読む
11	今までの復習 4	エッセイを読む
12	従属接続詞	名詞・形容詞・副詞のどれかを導く従属接続詞
13	前期末試験	筆記試験(辞書持込み可)
14	テスト返却	テスト復習と夏休みの宿題予告

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
学生は宿題が出たら必ずやる

【テキスト（教科書）】
オリジナルテキスト「品詞とその働き」使用（生協で授業開始時までに購入のこと）

【参考書】
授業中に指示する

【成績評価の方法と基準】
クラス内での貢献（発言・態度・協調姿勢）10%
課題の提出状況と達成度 20％
テスト（70％）
Attitude: 10%
Contribution : 20 %
Exam: 70%

【学生の意見等からの気づき】
昨年度の反省を踏まえて、以下の３点を改善した。１.「節」「関係詞」を加えた。２．名詞・副詞・形容詞のまとめのプリントを新たに作成した。３．練習問題などを精選・改良した。

【その他の重要事項】
教室の座席は全席指定となります。
電子辞書または紙の英和辞書が必携となります（ノートPC, スマホの使用は不可）
5分以上の遅刻は欠席とみなします。
夏季休業期間中に簡易な宿題が出ます。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content. It also aims to provide fundamental and practical knowledge and skills required for reading a range of academic texts.
—-
Goals: To have a better understanding of the essence of English grammar and improve reading proficiency based on the understanding.
Work to be done outside of class: To carry out the assignments.
Grading criteria: Attitude: 10%, Contribution : 20 %, Exam: 70%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

柳川　浩三

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
「品詞とその働き」を用いて、英文の構造を理解し、正確に英文を読む力をつけること。具体的には、時事問題や文学作品を読んだり、タイムリーなスピーチやレクチャーを聞いてその意味を理解できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前期のアカデミックリーディングIで学んだ「品詞とその働き」の理解を確固なものにするために、実際に英文を精読していく。「品詞とその働き」を考えることが、英文を正確にかつ速く理解する上でとても有効且つ重要であることを体感してもらいたい。授業は演習形式で進むので、参加者の積極的が参加が求められます。また、授業の最初に前回の授業の宿題から共通して理解が不足がしている点をピックアップし、フィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	前期の復習 1	前期の復習 四品詞
2	前期の復習 2	前期の復習 前置詞・接続詞
3	関係詞　1	関係代名詞
4	関係詞 2	関係副詞
5	ING 形	四つの用法
6	過去分詞	四つの用法
7	分詞構文（ING形と過去分詞の副詞的用法）	分詞構文の二つのパターン
8	後期中間試験1	関係詞・ING形、過去分詞の復習, 呪文の暗唱
9	To 不定詞 1	toの本質
10	To 不定詞 2	三つの用法
11	名詞のまとめ	副詞的・同格
12	形容詞・副詞のまとめ	歌を聞く 映画を見る
13	期末テスト	辞書持ち込み不可
14	期末テスト返却 授業アンケート	復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
学生は毎週出される宿題を確実に行うことが求められます。

【テキスト（教科書）】
オリジナルテキスト使用

【参考書】
授業内に指示する

【成績評価の方法と基準】
出席・授業内観察（発言・貢献・協同的姿勢）１０％
課題の提出・達成状況 20%
定期考査 70%
中間試験と期末試験各100点合計200点のうち、獲得点数が120点に満たない場合は単位の認定が原則できない。

【学生の意見等からの気づき】
おおむね好評のようであったが、さらなる改善を図りたい。

【その他の重要事項】
座席は全席指定となります。
電子辞書または紙の英和辞書が必携となります。
This is where we begin to fight.
5分以上の遅刻は欠席とみなします。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content. It also aims to provide fundamental and practical knowledge and skills required for reading a range of academic texts. It also aims to enhance reading proficiency of the students, particularly through intensive reading.
—-
Goals: To have a better understanding of the essence of English grammar and improve reading proficiency based on the understanding.
Work to be done outside of class: To carry out the assignments.
Grading criteria: Attitude: 10%, Contribution : 20 %, Exam: 70%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

小屋　多恵子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
リスニングは、英語の4技能（スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング）の中で、最も習得が容易であると言われながら、学習者が苦手である・難しいと考えがちな技能である。実際に使われている単語は既習語であったり、文法は高校までに学習を終えていたりしながら、音がつながったり、弱くなったり、聞こえなくなったりなど、様々な音声変化が起こっていることがリスニングを難しくさせている要因の１つと言える。この授業では、ヒット曲を聞きながら、英語の音声変化のポイントを習得し、リスニング力の基礎を固めることを主要な目的とする。英語音変化やリズム・イントネーション・アクセントに着目し、センテンスレベルからパッセージレベルまでのリスニングスキルを獲得していく。リスニング力のアップのために、音読や文法チェック、なども合わせてブラッシュアップしていこう。

【到達目標】
1) 音声変化やイントネーション・アクセントの特徴を体系的に理解できる。
2) 音声変化を正確に聞き取り、自ら発音できる。
3) 音声変化を様々な英文に応用できる。
4) 英語の歌の背景や内容を理解できる。
5) 重要な文法事項をおさらいできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
1)クイズ
2)音変化やイントネーション・アクセントの特徴を理解し発音練習する
3)英語の歌にみる音変化やイントネーション・アクセントを理解する
4)英語の歌の背景や内容を読む
5)文法の確認

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Introduction	授業ガイダンス リスニングの基本 音変化クイズ
2回	Unit 1 My heart will go on/ Celine Dion	・Listening point：音の連結① ・Grammar：現在完了
3回	Unit 2 Open arms/Journey	・Listening point：音の脱落① ・Grammar：分詞
4回	Unit 4 Don’t look back in anger/Oasis	・Listening point：音の同化 ・Grammar：知覚動詞
5回	Unit 6 I don’t want to miss a thing/Aerosmith	・Listening point：音声変化の複合 ・Grammar：助動詞
6回	Unit 8 The stranger/Billy Joel	・Listening point：音の弱化 ・Grammar：関係代名詞
7回	中間試験	これまでの復習①
8回	Unit 9 Hey now/Cyndi Lauper	・Listening point：音の連結② ・Grammar：不定詞
9回	Unit 10 Every time I close my eyes/Babyface	・Listening point：音の脱落③ ・Grammar：接続詞
10回	Unit 11 Kiss of life/Sade	・Listening point：短縮形の音① ・Grammar：完了不定詞
11回	Unit 12 All I want for Christmas is you/ Mariah Carey	・Listening point：短縮形の音② ・Grammar：5文型
12回	Unit 13 Livin’ la vida loca/ Ricky Martin	・Listening point：音の脱落④ ・Grammar：使役動詞
13回	期末試験	これまでの復習②
14回	Review	音変化クイズ これからのリスニング学習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・各授業後に学習した内容を振り返り、理解した箇所と不明な箇所を明確にする。
・理解した内容は関係書物にあたって学習を深め、不明な点は自主学習によって解決を目指す。
・授業時間内に終わらなかったタスクを次の時間までに仕上げておく。

【テキスト（教科書）】
English with Hit Songs『ポップスで学ぶ総合英語　-改訂新版-』
角山照彦・Simon Capper　成美堂

【参考書】
必要に応じて授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題・小テスト 20%
中間テスト・学期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】
2024年度に音読のfeedbackが良かったという声があったため、2025年度もその要望に応えるように努めたい。

【その他の重要事項】
・５回以上正当な理由なく欠席した者に対しては単位取得不可とする。
・遅刻・早退は２回を持って欠席１回とみなす。

【Outline (in English)】
Course Outline:
Listening is said to be the easiest of the four English language skills (speaking, listening, writing, and reading) to master, yet it is the one that learners tend to consider weak or difficult. One of the factors that make listening difficult is that the actual words and the grammar used are already in high school, but various phonetic changes such as sounds connected, weakened and lost often occur. The primary purpose of this class is to solidify the foundation of listening skills by learning the key points of English sound changes while listening to pop hits. This class will provide students with opportunities for focusing on English sound changes, rhythm, intonation, and accent to acquire listening skills from the sentence level to the passage level and also brushing up your listening skills by reading aloud and checking grammatical points.
Learning Objectives:
By the end of the course, students should be able to do the followings:
A. Systematically understand the characteristics of phonetic changes, intonation, and accent.
B. Listen to phonetic changes accurately and pronounce them by themselves.
C. Apply phonetic changes to a variety of English texts.
D. Understand the background and content of English songs.
E. Review important grammar points.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to do regular homework, clarify what they haven’t understood and resolve it through independent study.
Grading Criteria:
In-class activities, homework and quizzes (20%), mid-term and final exams (80%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングⅠ

NEIL CONWAY

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The aim of this class is to develop students' reading abilities. By the end of the course, students will:
·develop their reading skills both in terms of fluency and comprehension
· extend their vocabulary in common areas of academic interest in English-language undergraduate classes
· practice their comprehension through exposure to texts
· practise and recycle new language through activities based on Active Learning methodologies
· demonstrate their comprehension of ideas by creating short written texts such as summaries, reports and presentations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Each week we will look at a particular theme and explore that theme through reading texts and other media. Themes and topic arising from these texts will be assessed, and academic vocabulary arising from this will be practiced and incorporated into Active Learning tasks which will provide expanded practice opportunities. The homework will involve students doing some research and more reading connected to the week's theme. Students will create written texts based on their reading and research, and this work may be extended by adapting students' research into presentations. Feedback will be given to the class the week following an applicable deadline.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Introduction to the course. First Theme: Humanity &Nature	Course introduction; Materials;
2	History Detectives	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
3	Tradition and Ritual	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
4	Urban Underworlds	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
5	Reef Encounters	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
6	Sweet Scents	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
7	Mid-term test	The test will focus on comprehension and some vocabulary.
8	Who are We?	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
9	Who are We?	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
10	Incredible Insects	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
11	Going to Extremes	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
12	Open Theme: Students will choose their own materials.	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
13	End-of-Semester Exam	The exam will focus on comprehension and vocabulary from the course reading texts (weeks 1 – 12).
14	Course Wrap-up	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】There will be assigned readings for homework which will be accompanied by some writing work.

【テキスト（教科書）】
No textbook: handouts and reading materials will be provided by lecturer (students should have their A4 pocket folders each week to organize these handouts), or will be available online.
Library access is required for students to research their chosen research topics, and sometimes students will be expected to research and bring materials to class.

【参考書】
Students need a good bilingual dictionary (not a smartphone) which they must bring to every class.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to home research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Classwork (including Effort and Performance): 30%
Homework: 10%
Tests and Quizzes: 60%

【学生の意見等からの気づき】
More writing practice has been included, and active learning opportunities have been extended.

【学生が準備すべき機器他】
Each week you should bring a dictionary (paper or electronic, but NOT a phone), a laptop PC with an internet connection, Microsoft Word, and a PDF reader.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/colored pencils for making notes

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】There will be assigned readings for homework which will be accompanied by some writing work.
Grading Criteria:
Classwork (including Effort and Performance): 30%
Homework: 10%
Tests and Quizzes: 60%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・リーディングＩＩ

NEIL CONWAY

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、学術的な文章を読む際の基本的な語彙力、文法力、構文解析力を養成することによって、リーディング力の向上を図る。語彙については日本語との一対一対応による暗記に留まることなく、文脈や文構造を幅広く考慮に入れて意味をとらえる力へと発展させる。また文法と構文解析については既習知識を活用・応用して実際の英文を読む力を養う。これらのスキルをもとに、精読を通して個々の文の内容を正確に把握したり、文章全体を簡潔にかつ迅速に要約したり、必要な情報を検索したりすることができる読解力の養成を目指す。

【到達目標】
The aim of this class is to develop students' reading abilities. By the end of the course, students will:
· develop their reading skills both in terms of fluency and comprehension
· extend their vocabulary in common areas of academic interest in English-language undergraduate classes
· practice their comprehension through exposure to texts
· practise and recycle new language through activities based on Active Learning methodologies
· demonstrate their comprehension of ideas by creating short written texts such as summaries, reports and presentations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
Each week we will look at a particular theme and explore that theme through reading texts and other media. Themes and topic arising from these texts will be assessed, and academic vocabulary arising from this will be practiced and incorporated into Active Learning tasks which will provide expanded practice opportunities. The homework will involve students doing some research and more reading connected to the week's theme. Students will create written texts based on their reading and research, and this work may be extended by adapting students' research into presentations. Feedback will be given to the class the week following an applicable deadline.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Introduction to the course. First Theme: Humanity &Nature	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation。
2	History Detectives	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
3	Tradition and Ritual	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
4	Urban Underworlds	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
5	Reef Encounters	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
6	Sweet Scents	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
7	Mid-term test	The test will focus on comprehension and some vocabulary.
8	Who are We?	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
9	Global Warming	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
10	Incredible Insects	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
11	Going to Extremes	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
12	Open Theme: students deicide class theme.	Class reading; Comprehension Work; Timed reading; Homework allocation
13	End-of-Semester Exam	The exam will focus on comprehension and vocabulary from the course reading texts (weeks 1 – 12).
14	Course Wrap-up	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
There will be assigned readings for homework which will be accompanied by some writing work.

【テキスト（教科書）】
No textbook: handouts and reading materials will be provided by lecturer (students should have their A4 pocket folders each week to organize these handouts), or will be available online.
Library access is required for students to research their chosen research topics, and sometimes students will be expected to research and bring materials to class.

【参考書】
Students need a good bilingual dictionary (not a smartphone) which they must bring to every class.
For MLA information:
https://owl.purdue.edu/owl/research_and_citation/mla_style/mla_formatting_
and_style_guide/mla_formatting_and_style_guide.html
Students should make sure that they have access to the university library. Some internet use connected to home research will be required.

【成績評価の方法と基準】
Classwork (including Effort and Performance): 30%
Homework: 10%
Tests and Quizzes: 60%

【学生の意見等からの気づき】
More writing practice has been included, and active learning opportunities have been extended.

【学生が準備すべき機器他】
Each week you should bring a dictionary (paper or electronic, but NOT a phone), a laptop PC with an internet connection, Microsoft Word, and a PDF reader.
If this course is run in an online format, it will use Zoom and Google Classroom. If the course is run face-to-face, it will use Google Classroom. The Hosei University Hoppi system will have basic information on how to access Google Classroom. *For simplicity, all messages, announcements, homework and assignments will be posted on Google Classroom.*
Students will need a Hosei University email address which they can check regularly in order to communicate with the teacher and access Google Classroom. This address must not change during the semester.
Please make sure that the computer equipment which you use for the course is working: excuses for missed deadlines or missing homework related to electronic device troubles will not be accepted.
A4 file folder (for organizing handouts /your own work)
USB memory stick (for back-ups and printing)
Class notebook (B5 size is good)
a few highlighter pens/colored pencils for making notes

【その他の重要事項】
Note:
This is a 'No Smartphone' class. Your phone must be turned off, and in your bag. Your "Classwork (effort, participation)" grade will be affected if you persistently use /look at your phone.
This class promotes and relies on academic honesty. The use of translation and language-generating technology is considered to be plagiarism and is not allowed under any circumstances. Your course grade will be affected by ignoring this rule.
"Dictionary" means paper dictionary or electronic dictionary. Using a phone as a dictionary is not allowed.

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve academic reading ability through the development of basic vocabulary, grammar and sentence structure analysis skills. Vocabulary development focuses on considering the context and structure to discern meaning, rather than strict translation between English and Japanese. Grammar and sentence structure instruction emphasizes the use and application of previous knowledge to read actual English. Using these skills, it aims to reinforce basic reading competence as well as rapidly and concisely summarize the gist of the content based on an understanding of paragraph structure.
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】There will be assigned readings for homework which will be accompanied by some writing work.
Grading Criteria:
Classwork (including Effort and Performance): 30%
Homework: 10%
Tests and Quizzes: 60%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

基礎英語

小林　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEICの形式になれるための学習を通じて、基礎的な英語力を身につけることを目標とする。また、受講生の理解力を養うため、様々な英文を、リスニングによって理解する機会を多く設ける。

【到達目標】
簡単な英語の文章なら、すべて音声を聞いて書き取ることが出来る英語力を身につけること。また、読解用の英文の音声を聞いて、ある程度の内容を理解できる英語力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本講義は、TOEICでの高得点を目指すための授業を通じて、基礎的な文法を確認し、日常会話の中で使われる語彙を身につけ、リスニング能力を高めるための授業とする。オンラインで授業を進める場合が、リスニングの課題の提出を課し、フィードバックを行うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方と、評価方法の説明
第2回	Unit 1: Travel	TOEICの概要
第3回	Unit 2: Dining Out	リスニングの練習など。
第4回	Unit 3: Media	リスニングの練習など。
第5回	Unit 4: Entertainment	語彙の習得など。
第6回	Unit 5: Purchasing	語彙の習得など。
第7回	Unit 6: Clients	文法の確認など。
第8回	Unit 7: Recruiting	リスニングの練習など。
第9回	Unit 8: Personel	リスニングの練習など。
第10回	Unit 9: Advertising	リスニングの練習、語彙の習得など。
第11回	Unit 10: Meetings	リスニングの練習、語彙の習得など。
第12回	Unit 11: Finance	リスニングの練習、語彙の習得など。
第13回	Unit 12: Offices	リスニングの練習、語彙の習得など。
第14回	期末テスト	英文の書き取り、長文の聞き取り。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】復習を欠かさないこと。また、リスニングを意欲的に行うこと。

【テキスト（教科書）】
THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING（金星堂）

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】学期末の試験の点数(80%)、授業内での課題への取り組みをもとにした平常点(20%)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングを中心に授業を進めます。併せて総合的な英語力を身につけるよう頑張っていきましょう。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students acquire basic English ability by practicing the listening section of TOEIC. At the end of this course, the students are expected to improve their ability of comprehension by listening to various English sentences.
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the class content.
Your overall grade in the class will be decided on the following: term-end examination 80%and in-class contribution 20%.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級ライティング

KOPROWSKI MARK

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この中級レベルのライティング・コースでは、英作文のスキルを段階的に向上させていきます。

【到達目標】
The goals of this writing class are to develop composition skills through the integration of reading and writing activities. Students will learn to write a variety of multi-paragraph composition types on a number of familiar everyday topics. The course will also help students improve their written organizaton, sentence-level grammar, vocabulary, and mechanics. Students will also develop revision skills through self-editing and teacher's comments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In the classroom and at home, students will work on exercises and improve succeeding drafts of their composition assignments. Students will also maintain a vocabulary notebook which they may use during the final composition exam. Pair work will be emphasized.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction &explanation	The students will receive a self-introduction from the teacher. The students will also write a brief self-introduction.
2	Describing Daily Routines	5-minute continuous writing Reading: Bruno's Daily Activities Grammar: Simple Present Tense; Frequency Words; Present Continuous Tense
3	Describing Daily Routines	5-minute continuous writing Grammar: Simple Present Tense; Frequency Words; Present Continuous Tense Start composition #1 (narration): Write about your daily activities and what you are doing and thinking right now
4	Giving Instructions/ Directions	5-minute continuous writing Vocabulary Quiz #1 Reading: A Party
5	Giving Instructions/ Directions	5-minute continuous writing Check vocabulary notebook Grammar: Imperatives; Modals
6	Giving Instructions/ Directions	5-minute continuous writing Reading: Bruno's Cheese Pie Start composition #2 (process description): Tell someone how to do or make something
7	Making a Written Request	5-minute continuous writing Vocabulary Quiz #2 Reading: A Business Letter
8	Making a Written Request	5-minute continuous writing Check vocabulary notebook Grammar: Indirect Requests with would + like to; Direct Requests
9	Making a Written Request	5-minute continuous writing Reading: A Business Letter #2 Start composition #3 (business letter): Write a business letter to a company or an institution
10	Describing Past Events	5-minute continuous writing Vocabulary Quiz #3 Reading: A Terrible Trip
11	Describing Past Events	5-minute continuous writing Check vocabulary notebook Grammar: Simple Past Tense; Past Continuous Tense; Predicate Infinitives
12	Describing Past Events	5-minute continuous writing Reading: A Memorable Trip Start composition #4 (narration): Write about a trip
13	Review for final composition exam	5-minute continuous writing Vocabulary quiz #4
14	Final composition exam	60-minute composition exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be given weekly out-of-class homework assignments, which will comprise of grammar exercises and/or writing assignments. All composition assignments must be typed. Students are responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important that homework be completed on time. Late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
No textbook is required. The instructor will provide all materials.

【参考書】
Composition Practice Book 2 (Third Edition) by Linda Lonon Blanton (Published by Thomson)

【成績評価の方法と基準】
Class participation/effort 20%
Homework assignments 10%
Vocabulary notebook/word cards 10%
Vocabulary quizzes 10%
Compositions 30%
Final composition exam 20%

【学生の意見等からの気づき】
None.

【Outline (in English)】
This intermediate-level writing course will offer a step-by-step approach for the successful development of English composition skills.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語中級ライティング

LOWRI E HUMBERSTONE

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course aims to help students develop their written English skills through discussion and writing exercises. Using the textbook as a starting point for class discussion and homework writing exercises, we will aim to improve students vocabulary and use of grammatical structures. The class encourages active learning and class discussion in order to improve confidence and fluency. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.
このコースは、ディスカッションやライティング演習を通じて、学生が英語の文章スキルを向上させることを目指しています。教科書をクラスディスカッションや宿題のライティング演習の出発点として使用し、学生の語彙力や文法構造の使用を向上させることを目指します。クラスでは積極的な学習とクラスディスカッションを奨励し、自信と流暢さを向上させることを目指しています。学生は同僚や講師から即座のクラスフィードバックを期待でき、また、講師からメールでより詳細なフィードバックを個別に受けることができます。

【到達目標】
Students will learn and develop academic writing skills in English.
Students will improve their English writing skills and will be able to describe people and places in text.
Students will be able to write short, coherent passages in English using complex vocabulary and varied grammatical structures.
Students will be able to write texts which express and justify their opinions in English.
Students will be able to verbally express themselves in English with some fluency.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
In this class we will complete activities from textbooks and discuss texts and topics the textbook introduces. This class prioritises active learning, such as debate and discussion. Assignments may be submitted online or emailed to the sensei directly at senseiemma22@gmail.com For assignment feedback please email Emma Sensei directly.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Introduction to the class topics and assessment methods Write a self introduction and write three personal learning objectives.
2	Chapter 1- Describing people	Interview a classmate Sentences and Capitalisation
3	Chapter 1- Describing people	Write a description of your classmate based on your interview. HOMEWORK- Write a description of someone you admire
4	Chapter 2 - Listing order paragraphs	Intensifiers Topic Sentences Supporting Sentences
5	Chapter 2 - Listing order paragraphs	Sentence structures Draft a listing order paragraph as a class HOMEWORK- Write a listing order paragraph on how the topic “My Dream Career- How will I achieve my goal?”
6	Chapter 3 - Giving instructions	Adjectives and Nouns Prepositions of Place Adjective order
7	Chapter 3 - Giving instructions	Commas Study and draft a ‘How To” paragraph HOMEWORK - Write a “How To” Paragraph on a subject of your choice
8	Chapter 4 - Describing Places	Cumulative adjectives Practicing Prepositions of Place Study and draft a descriptive paragraph as a class
9	Chapter 4 - Describing Places	HOMEWORK - Write a descriptive paragraph
10	Chapter 5 - Stating Reasons and Using Examples	Identifying and organising reasons and examples Transition signals that introduce reasons Conclusion signals
11	Chapter 5 - Stating Reasons and Using Examples	Complex sentences with reason clauses and condition clauses Combining sentences Study and draft a recommendation paragraph as a class HOMEWORK - Write a recommendation of your favourite restaurant
12	Chapter 6 - Expressing your opinion	What are opinion paragraphs? Word forms vocabulary practice Identifying facts and opinions. Opinion signals, source signals, conclusion signals.
13	Chapter 6 - Expressing your opinion	Adjective clauses with who, which and that. Punctuating adjective clauses Combining clauses and sentences. Study and draft an opinion paragraph as a class. HOMEWORK - Write an opinion paragraph on the theme of Capital Punishment (or a subject of your choice).
14	Class overview	What topics have you enjoyed studying in this class? What content and grammar points have you found the most challenging? Review of any challenging grammar points as a class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework writing assignments will be set from the textbook based on class topics. Students are expected to spend 4 hours a week completing homework, revising material from previous lessons and preparing for upcoming lessons. Homework may be submitted to the teacher via email.

【テキスト（教科書）】
Longman Academic Writing Series (Level 2); Paragraphs SB w/ App, Online Practice &Digital Resources,
3rd Edition, Pearson (ISBN: 978-0136769996)

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
The passing grade in this class is 60%.
Attendance: Five or more absences will result in a failing grade; 30 minutes late arrival or early leave equals absence
Class attendance: 20%
Class Participation: 30%
Assignments: 50%

【学生の意見等からの気づき】
If a student is significantly faster than other class members, the instructor will provide extra, more challenging, exercises.

【学生が準備すべき機器他】
Please bring your laptop every week.

【Outline (in English)】
This course aims to help students develop their written English skills through discussion and writing exercises. Using the textbook as a starting point for class discussion and homework writing exercises, we will aim to improve students vocabulary and use of grammatical structures. The class encourages active learning and class discussion in order to improve confidence and fluency. Students can expect immediate class feedback from their peers and the instructor, and can obtain more detailed feedback privately from the instructor via email.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

KOPROWSKI MARK

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this writing class is for students with a limited knowledge of spoken and written English to develop their academic writing skills. Through pair work activities as well as individual writing tasks, students will learn the basic principles.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
This course integrates reading and speaking skills with prewriting, writing and revising. In class and at home, students will work on exercises and write a variety of paragraphs, including descriptive, narrative, exposition, process, and opinion.
Feedback will be given on each academic writing assignment, assessing important features of academic paragraphs, including the topic sentence, supporting sentences, organization, transitions, language use, style, mechanics, presentation, and the concluding sentence.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction & explanation	The students will receive a self-introduction from the teacher. The students will also write a brief self-introduction.
2	Chapter 1 The Topic Sentence	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: personality words -Paragraph organization in English -The topic sentence -Simple sentences -The writing process (Part 1)
3	Chapter 2 Supporting Sentences	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: suffixes -Supporting sentences: major & minor -Using connectors -Parts of speech -The writing process (Part 2)
4	Chapter 3 The Concluding Sentence	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: family words -The concluding sentence -Transitions of conclusion -Simple &Compound sentences -The writing process (Part 3)
5	Chapter 4 Descriptive Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: describing people -Prepositions of place -Using adjectives [Write a descriptive paragraph]
6	Chapter 5 Narrative Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: simple past verbs -Transitions in narrative paragraphs -Complex sentences [Write a narrative paragraph]
7	Chapter 6 Expository Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: verbs for communicating -Transitions in expository paragraphs [Write an expository paragraph]
8	Chapter 7 Unity Chapter 8 Coherence	10-minute continuous writing Vocabulary builder: prepositions of time -Combining sentences -Avoiding fragments
9	Chapter 9 Cohesion	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: dating & marriage customs -The definite article -Personal and demonstrative pronouns
10	Chapter 10 Process	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: sports -Using the imperative [Write a process paragraph]
11	Chapter 11 Reasons and Results	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: exercise -Connectors for reason and result -Review sentence types [Write a reasons and result paragraph]
12	Chapter 12 Opinion	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: movies -Transitions for opinion paragraphs -Avoiding run-on sentences [Write an opinion paragraph]
13	Review for final writing exam	10-minute continuous writing
14	Final writing examination	60-minute final writing exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be given weekly out-of-class homework assignments, which will include grammar exercises and/or writing assignments. All writing assignments must be typed. Students are also responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important that homework be completed on time. Late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
Writing to Communicate 1
Author: Cynthia A. Boardman
(Pearson Longman, 2008 ISBN 978-0-13-614191-4)

【参考書】
An English-Japanese dictionary will be very useful.

【成績評価の方法と基準】
Class participation/effort 10%
Homework assignments 20%
Writing assignments (6 paragraphs) 50%
Final writing exam 20%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The goal of this writing class is for students with a limited knowledge of spoken and written English to develop their academic writing skills. Through pair work activities as well as individual writing tasks, students will learn the basic principles.
This course integrates reading and speaking skills with prewriting, writing and revising. In class and at home, students will work on exercises and write a variety of paragraphs, including descriptive, narrative, exposition, process, and opinion.

Feedback will be given on each academic writing assignment, assessing important features of academic paragraphs, including the topic sentence, supporting sentences, organization, transitions, language use, style, mechanics, presentation, and the concluding sentence.
Grading Criteria:
Class participation/effort 10%
Homework assignments 20%
Writing assignments (6 paragraphs) 50%
Final writing exam 20%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

KOPROWSKI MARK

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
The goal of this writing class is for students with a limited knowledge of spoken and written English to develop their academic writing skills. Through pair work activities as well as individual writing tasks, students will learn the basic principles.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
This course integrates reading and speaking skills with prewriting, writing and revising. In class and at home, students will work on exercises and write a variety of paragraphs, including descriptive, narrative, exposition, process, and opinion.
Feedback will be given on each academic writing assignment, assessing important features of academic paragraphs, including the topic sentence, supporting sentences, organization, transitions, language use, style, mechanics, presentation, and the concluding sentence.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course introduction & explanation	The students will receive a self-introduction from the teacher. The students will also write a brief self-introduction.
2	Chapter 1 The Topic Sentence	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: personality words -Paragraph organization in English -The topic sentence -Simple sentences -The writing process (Part 1)
3	Chapter 2 Supporting Sentences	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: suffixes -Supporting sentences: major & minor -Using connectors -Parts of speech -The writing process (Part 2)
4	Chapter 3 The Concluding Sentence	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: family words -The concluding sentence -Transitions of conclusion -Simple &Compound sentences -The writing process (Part 3)
5	Chapter 4 Descriptive Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: describing people -Prepositions of place -Using adjectives [Write a descriptive paragraph]
6	Chapter 5 Narrative Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: simple past verbs -Transitions in narrative paragraphs -Complex sentences [Write a narrative paragraph]
7	Chapter 6 Expository Paragraphs	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: verbs for communicating -Transitions in expository paragraphs [Write an expository paragraph]
8	Chapter 7 Unity Chapter 8 Coherence	10-minute continuous writing Vocabulary builder: prepositions of time -Combining sentences -Avoiding fragments
9	Chapter 9 Cohesion	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: dating & marriage customs -The definite article -Personal and demonstrative pronouns
10	Chapter 10 Process	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: sports -Using the imperative [Write a process paragraph]
11	Chapter 11 Reasons and Results	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: exercise -Connectors for reason and result -Review sentence types [Write a reasons and result paragraph]
12	Chapter 12 Opinion	10-minute continuous writing -Vocabulary builder: movies -Transitions for opinion paragraphs -Avoiding run-on sentences [Write an opinion paragraph]
13	Review for final writing exam	10-minute continuous writing
14	Final writing examination	60-minute final writing exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be given weekly out-of-class homework assignments, which will include grammar exercises and/or writing assignments. All writing assignments must be typed. Students are also responsible for completing all homework assignments, even if they are absent. It is important that homework be completed on time. Late assignments will not receive full credit.

【テキスト（教科書）】
Writing to Communicate 1
Author: Cynthia A. Boardman
(Pearson Longman, 2008 ISBN 978-0-13-614191-4)

【参考書】
An English-Japanese dictionary will be very useful.

【成績評価の方法と基準】
Class participation/effort 10%
Homework assignments 20%
Writing assignments (6 paragraphs) 50%
Final writing exam 20%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The goal of this writing class is for students with a limited knowledge of spoken and written English to develop their academic writing skills. Through pair work activities as well as individual writing tasks, students will learn the basic principles.
This course integrates reading and speaking skills with prewriting, writing and revising. In class and at home, students will work on exercises and write a variety of paragraphs, including descriptive, narrative, exposition, process, and opinion.

Feedback will be given on each academic writing assignment, assessing important features of academic paragraphs, including the topic sentence, supporting sentences, organization, transitions, language use, style, mechanics, presentation, and the concluding sentence.
Grading Criteria:
Class participation/effort 10%
Homework assignments 20%
Writing assignments (6 paragraphs) 50%
Final writing exam 20%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

宗像　俊輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識（POWER WritingおよびParagraph Writing）を獲得し、自分の意見を1つのパラグラフにまとめる力を養い、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングへと発展させることを目的とする。POWER WritingやParagraph Writingの実践を通して、英作文の作法を学ぶとともに、日本語でのレポート作成や論文執筆にも活用できるようにする。自ら設定したテーマを、1つのパラグラフあるいはエッセイにまとめる経験を積む。

【到達目標】
①POWER Writingの基礎を習得する
②様々な種類のParagraph Writingの使用法を理解する
③Essayの書き方と構造について学ぶ
④より自然な、アカデミックな文章表現に必要な単語、フレーズ、文法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
①あらかじめ指定したリスニング教材を使い、単語やフレーズの書き取りテストを実施する。
②英作文を書く上で基本となる文法の解説を行う。
③当日予定している教科書の範囲について、解説をする。
④必要に応じて例を示しながら、そのエッセイの評価ポイント、改善ポイントを指摘する。
⑤自然な英語表現を覚えるために、シャドウイング（音声を聴きながら発話する英語習得法）を実施する。
⑥時間が余れば、各回で設定しているテーマについて、英作文をつくる。個別に指導する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容および進め方の説明
第2回	アカデミック・ライティングのための基礎知識	そもそもアカデミック・ライティングとは何かについて解説する。基本となる英文法についても、説明を加える。
第3回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か①「解説編」
第4回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か②「実践編–日本語作文で慣れる」
第5回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か③「実践編–英作文で自己紹介にチャレンジ」
第6回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing①「解説編（Descriptive, Comparison and Contrast）」
第7回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing②「解説編（ Process, Narrative）」
第8回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing③「解説編（Summary, Analysis）」
第9回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing④「解説編（Cause and Effect, Persuasive）」
第10回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing⑤「解説編Problem-Solution」
第11回	Section III–Essays（Unit 13-Unit 17）	エッセイの構造について考える
第12回	Paragraph Writingの実践①	日本語で、何を書くか考えをまとめる。
第13回	Paragraph Writingの実践②	第12回で考えた日本語の構想を、英語に変換して英作文の準備をする。
第14回	Paragraph Writingの実践③	第13回の準備作業を受け、1パラグラフ分の英作文を完成させる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、3時間を標準とする】
【ライティング・スキルの習得には、授業時間外学習での各自の取り組みが重要である】
①事前に教科書の指定された範囲に目を通し、各講義で学ぶことについてあらかじめ触れておく。
②指定されたリスニング教材のシャドウイングに取り組み、単語やフレーズの書き取りテストの準備をする。
③今期は2回、ライティング課題を課す予定なので、事前に何を書くかを考えておく。

【テキスト（教科書）】
Matthew A. Taylor and David E. Kluge. "Basic Steps to Academic Writing: From Paragraph to Essay." Tokyo: Cengage Learning K.K., 2012. ISBN: 978-4-86312-209-3

【参考書】
高橋響『英語ライティングの鬼100則』明日香出版社, 2021。ISBN：978-4-7569-2165-9
澤井康佑『新・英語の構文150』美誠社, 2024。ISBN：978-4-8285-3378-0
※参考書は適宜コピーして配布します。

【成績評価の方法と基準】
①最終課題の英作文（30%）※
②中間課題の英作文（20%）※
③各回の文法クイズ（30%）
④授業へ積極性（グループ・ディスカッション、発表、出席）（20%）

【学生の意見等からの気づき】
※①②については、重要度が高いものから順に次の観点で評価します。
1. POWER WritingやParagraph Writingに則った構成か。
2. 指定された字数を満たしているか。
3. 誤字脱字がないか。
4. 単語や文法を正しく使っているか。

【学生が準備すべき機器他】
わからないことがあればそのままにせず、積極的に質問して解決してください。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることもあります。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The purpose of this class is to acquire the basic knowledge of POWER Writing and Paragraph Writing. Students will be able to summarize their opinions and ideas in a single paragraph, and to use the knowledge and the skill in essay writing and academic writing. Through the practice of POWER Writing and Paragraph Writing, students will learn how to compose English essays, and apply the skills to composition of reports and papers in Japanese.
【到達目標（Learning Objectives）】
1. Students acquire the basic knowledge of POWER Writing.
2. Students understand the various types of Paragraph Writing.
3. Students learn how to write an essay
4. Students pick up words, phrases, and grammars which are necessary for more natural, academic writing expression.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Practice makes perfect. Your strenuous effort help your comprehension of POWER writing and Paragraph writing.
Students are expected to spend three hours on preparation and review.
1. Students should read through the designated chapters in the textbook in advance.
2. Students will prepare for the dictation test.
3. Students will be required to compose two essays, so students should think about what they will write about.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
1. English composition on the final assignment (30%*)
2. Mid-term English composition assignment (20%*)

3. Quiz (30%)
4. Attitude (group discussion, presentation, attendance) (20%)
The following points will be used to evaluate 1. and 2.
A. Whether the essay is written by POWER Writing and Paragraph Writing.
B. Whether the number of words in the essay reaches the lower end.
C. Whether there are typographical errors and omissions.
D. Whether words and grammar are used correctly.

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

小屋　多恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
英文論理構成の基礎や展開法を理解し、それをもとに論理的で説得力のある英語でパラグラフを書き、英語で発表することを目的とする。
1)様々な状況において適切な語彙・語句を使って文法的に正しい文を書くことができる。
2)効果的な英文論理構成の基礎を固め、それを基にあるテーマについて論理的で説得力のある英語でパラグラフを書くことができる。
3)正式な書式・句読法に従ってパソコンでパラグラフを作成する。
4)聞き手に理解してもらえる発音でプレゼンテーションを行うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業では、上記の目標を達成するために、授業中実施することは主に次の３つである。
1) 一文レベルの基本文を確認する。
2) パラグラフ・ライティングの構造を学び、理解し、書く。
3) 書いたパラグラフを適切に音読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Guidance	・Introducing the class content and offering guidance ・Discussing writing and process writing ・Layout and rules of punctuation
2回	What is a paragraph? (1)	Pre-writing, the structure of a paragraph (1)
3回	What is a paragraph? (2)	The structure of a paragraph (2)
4回	What is a paragraph? (3)	The development of a paragraph
5回	Explanation (statistics)	How to explain a line graph and a pie chart.
6回	Listing paragraph (1)	What is a listing paragraph?
7回	Listing paragraph (2)	Organizing and writing a listing paragraph
8回	Listing paragraph (3)	Peer editing and revising
9回	Listing paragraph (4)	・Recording your opinion paragraph ・Measure your achievement
10回	Problem/solution paragraphs (1)	What are problem/solution paragraphs?
11回	Problem/solution paragraphs (2)	Organizing and writing problem/solution paragraphs
12回	Problem/solution paragraphs (3)	Peer editing and revising
13回	Problem/solution paragraphs (4) Review quiz	・Recording your problem/solution paragraphs ・Measure your achievement
14回	Review	Sharing your problem/solution paragraphs and making comments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・各授業後に学習した内容を振り返り、理解した箇所と不明な箇所を明確にする。
・理解した内容は関係書物にあたって学習を深め、不明な点は自主学習によって解決を目指す。
・授業時間内に終わらなかったタスクを次の時間までに仕上げておく。

【テキスト（教科書）】
プリントを用意する。

【参考書】
PC/辞書
その他、必要に応じて授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点・小テスト・課題 40%
パラグラフ・エッセイ 60%

【学生の意見等からの気づき】
学期末アンケートにおいて、習ったことをエッセイに活かす時間をもっと多くとって欲しいという声があったので、2025年度はその要望に応えたい。これは、受講する学生ごとに異なる可能性があるので、様子を見ながら、時間を調整していきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PCを使用する。

【その他の重要事項】
・５回欠席した時点で単位取得不可となる。
・遅刻・中抜け・早退は２回を持って欠席１回とみなす。

【Outline (in English)】
Course outline:
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning objectives:
By the end of the course, students should be able to do the followings:
A. Write grammatically correct sentences using appropriate words and phrases in various situations.
B. Understand effective English structure and write logical and persuasive paragraphs on a given topic in English.
C. Write paragraphs on a computer according to formal format and punctuation.
D. Give a presentation with proper pronunciation that is understandable to the audience.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to complete any tasks that were not completed during the class by the next class.
Grading Criteria:
In-class activities, quizzes and assignments (40%), and essays (60%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

小屋　多恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
英文論理構成の基礎や展開法を理解し、それをもとに論理的で説得力のある英語でパラグラフを書き、英語で発表することを目的とする。
1)様々な状況において適切な語彙・語句を使って文法的に正しい文を書くことができる。
2)効果的な英文論理構成の基礎を固め、それを基にあるテーマについて論理的で説得力のある英語でパラグラフを書くことができる。
3)正式な書式・句読法に従ってパソコンでパラグラフを作成する。
4)聞き手に理解してもらえる発音でプレゼンテーションを行うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
授業では、上記の目標を達成するために、授業中実施することは主に次の３つである。
1) 一文レベルの基本文を確認する。
2) パラグラフ・ライティングの構造を学び、理解し、書く。
3) 書いたパラグラフを適切に音読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Guidance	・Introducing the class content and offering guidance ・Discussing writing and process writing ・Layout and rules of punctuation
2回	What is a paragraph? (1)	Pre-writing, the structure of a paragraph (1)
3回	What is a paragraph? (2)	the structure of a paragraph (2)
4回	What is a paragraph? (3)	The development of a paragraph
5回	Explanation (statistics)	How to explain a line graph and a pie chart
6回	Listing paragraph (1)	What is a listing paragraph?
7回	Listing paragraph (2)	Organizing and writing a listing paragraph
8回	Listing paragraph (3)	Peer editing and revising
9回	Listing paragraph (4)	・Recording your opinion paragraph ・Measure your achievement
10回	Problem/solution paragraphs (1)	What are problem and solution paragraphs?
11回	Problem/solution paragraphs (2)	Organizing and writing problem/solution paragraphs
12回	Problem/solution paragraphs (3)	Peer editing and revising
13回	Problem/solution paragraphs (4) Review quiz	・Recording your problem/solution paragraphs ・Measure your achievement
14回	Review	Sharing your problem/solution paragraphs and making comments。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・各授業後に学習した内容を振り返り、理解した箇所と不明な箇所を明確にする。
・理解した内容は関係書物にあたって学習を深め、不明な点は自主学習によって解決を目指す。
・授業時間内に終わらなかったタスクを次の時間までに仕上げておく。

【テキスト（教科書）】
プリントを用意する。

【参考書】
PC/辞書
その他、必要に応じて授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点・小テスト・課題 40%
パラグラフ・エッセイ 60%

【学生の意見等からの気づき】
学期末アンケートにおいて、習ったことをエッセイに活かす時間をもっと多くとって欲しいという声があったので、2025年度はその要望に応えたい。これは、受講する学生ごとに異なる可能性があるので、様子を見ながら、時間を調整していきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PCを使用する。

【その他の重要事項】
・５回欠席した時点で単位取得不可となる。
・遅刻・中抜け・早退は２回を持って欠席１回とみなす。

【Outline (in English)】
Course outline:
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning objectives:
By the end of the course, students should be able to do the followings:
A. Write grammatically correct sentences using appropriate words and phrases in various situations.
B. Understand effective English structure and write logical and persuasive paragraphs on a given topic in English.
C. Write paragraphs on a computer according to formal format and punctuation.
D. Give a presentation with proper pronunciation that is understandable to the audience.
Learning activities outside of classroom:
Students will be expected to complete any tasks that were not completed during the class by the next class.
Grading Criteria:
In-class activities, quizzes and assignments (40%), and essays (60%)

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

村上　弥生

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
大学生は、すでにかなりの文法、語彙を知識として蓄えながらも、実際には頭のどこか深くにしまいこみ、不安定なスキルとなり、発信する英語に生かせないことが多い。翻訳ツールの生成した英語、さらには元となる日本語の適切さを確認する作業も随時行いながら、重要な文法・表現・語彙の固定化を行う。そのうえで、大学生にふさわしいやや高度なトピックについて、自分の集めた情報、考えをまとめて、効果的な短いエッセイを作成する力を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
①ネット等から、講師、もしくは学生さん個々人が選んだテーマについて、短いニュース記事を授業内に読む。その過程で注意すべき文法、重要な表現などをクラスで学んでいく。
②①で紹介されたニュースについてクラス全体でBrain Storming を行う。ニュースと関連した情報、連想される問題や事象をその場で自由に出し合い、視野を広げる。その過程で、関連する基本的な英語表現を身に着ける。
③　①,②で紹介されたニュースやブレインストーミングから着想を得て、各自簡単なリサーチを行い、また自由にテーマを設定し、エッセイを書くと仮定して、第一パラグラフを書く。その過程で効果的な段落構成、エッセイ作成の基本を学ぶ。
④学期終了前に、③で書いた第一段落から一つ選び、簡単なリサーチを行ってエッセイ全体を作成する。
⑤　一つ一つのセンテンスを正確に作成する訓練の一環として、頻繁に英作文の小テストや課題を行う。
⑥　③、④については、クラスでの講評、教員からのアドバイスを受けて、1～2回修正、書き直しを行い完成作品とする。
授業は基本的に対面で行う。しかし、情勢や授業の進捗状況に合わせてオンラインに変更されることもあるので、随時学習支援システムで確認されたい。授業計画に示している題材は、昨年度の例であるので、今年度はまた異なるトピックを選ぶことになる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の説明 受講生各自の自己紹介など
第2回	ニュースの紹介 Furry　Slippers and Sweatpants: Young Chinese Embrace 'Gross Outfits' あtWork-1(昨年度の例) 競争社会への静かな抵抗	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第3回	Gross Outfits at Work-2 brain storming	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第4回	Gross Outfits at Work-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第5回	Gross Outfits at Work-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第6回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1 国家が強制するボランティア活動	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第7回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.－1-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第8回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第9回	Compulsory Volunteer at Work in the U.K.-4	第一段落の発表、総評 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 効果的な段落構成の学習
第10回	Eco-anxiety－1 (気候変動と環境不安)	ニュースの購読 英語らしい文作成のための文法、表現の確認
第11回	Eco-anxiety-2	ニュースを出発点としたブレインストーミング 視野、トピック、語彙の拡大
第12回	Eco-anxiety-3	学生さんの調査結果のクラスでの共有 （視野、トピック、語彙の拡大） 英語らしい文作成のための文法、表現の確認 英作文小テスト 効果的な段落構成の学習
第13回	Eco-anxiety-4	第一段落の発表、総評
第14回	エッセイの準備と発表、講評	上記三つの大罪のうち一つを選択し各自エッセイを作成する本格的準備と指導

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎週、ないし隔週で、授業で紹介されたニュースやbrain stormingから着想を得てテーマを設定し、簡単なリサーチを行ったり、第一パラグラフを作成する。
教師の指示に従ってパラグラフの書き直しを行う。
また、授業で得た英語表現の知識をもとに、正確なセンテンスの作成の練習を行う。
学期中に1－2回程度作成するエッセイについて、より詳しいリサーチなどを行い充実したエッセイを書く。また教師やクラスでの検討を経て、エッセイの再作成を行う。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
特になし。ネットで視聴可能なものを教師が指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組み(ニュース、リサーチの発表、ブレインストーミングへの貢献など)（30％）小テスト（20％）、英文エッセーの作成の過程（50％）

【学生の意見等からの気づき】
各受講生の様々な意見や情報をクラス全体で共有することが豊かな経験だったという言葉が多く聞かれるが、同時に翻訳ツールに英語を、またAIにリサーチを頼りすぎてしまうという反省意見も聞かれ、また教師として課題提出物をを確認する際に同感する場面も多い。日本語、英語ともに何を言語で表現したいのか、絶えず問い返していく試みを多くし、一文、一文、また段落構成としても適切なものが作成できるような訓練を積み重ねていきたい。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Learning Objectives

Activities in the course are designed to meet two goals. Firstly, students will acquire a solid basis required for constructing accurate sentences through expressing information and ideas in English and being given feedback from the instructor in each class. Secondly, students will acquire the basic skill of writing English essays effectively by constantly writing paragraphs based on a variety of topics and research. Students will be expected to do one or two preparations in the following list before each class. 1.Browse news websites created for English learners and select some stories. 2.Summarize one of those stories to be shared in class. 3.Do research to collect relevant information and/or shape your opinions. 4.Write first paragraphs.
Learning Activities Outside of the Classroom
After each class, students will be expected to do some of the following tasks. 1.Rewrite first paragraphs following suggestions from the instructor 2. Research more extensively or in a more focused manner. 3.Write short essays or rewrite them following instructions from the instructor. 4.Review useful expressions and grammatical knowledge acquired in each class meeting. Your required study time is at least four hours for each class meeting.
Grading Criteria
Your final grading will be decided based on contribution and active participation in activities held in the classroom such as brainstorming and exchange of ideas and information (30%,) sentence writing tests（20％）and the process of writing essays (50%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

宗像　俊輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識（POWER WritingおよびParagraph Writing）を獲得し、自分の意見を1つのパラグラフにまとめる力を養い、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングへと発展させることを目的とする。POWER WritingやParagraph Writingの実践を通して、英作文の作法を学ぶとともに、日本語でのレポート作成や論文執筆にも活用できるようにする。自ら設定したテーマを、1つのパラグラフあるいはエッセイにまとめる経験を積む。

【到達目標】
①POWER Writingの基礎を習得する
②様々な種類のParagraph Writingの使用法を理解する
③Essayの書き方と構造について学ぶ
④より自然な、アカデミックな文章表現に必要な単語、フレーズ、文法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
①あらかじめ指定したリスニング教材を使い、単語やフレーズの書き取りテストを実施する。
②英作文を書く上で基本となる文法の解説を行う。
③当日予定している教科書の範囲について、解説をする。
④必要に応じて例を示しながら、そのエッセイの評価ポイント、改善ポイントを指摘する。
⑤自然な英語表現を覚えるために、シャドウイング（音声を聴きながら発話する英語習得法）を実施する。
⑥時間が余れば、各回で設定しているテーマについて、英作文をつくる。個別に指導する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容および進め方の説明
第2回	アカデミック・ライティングのための基礎知識	そもそもアカデミック・ライティングとは何かについて解説する。基本となる英文法についても、説明を加える。
第3回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か①「解説編」
第4回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か②「実践編–日本語作文で慣れる」
第5回	Section I–Getting Started（Unit 1-Unit 3）	POWER Writingとは何か③「実践編–英作文で自己紹介にチャレンジ」
第6回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing①「解説編（Descriptive, Comparison and Contrast）」
第7回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing②「解説編（ Process, Narrative）」
第8回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing③「解説編（Summary, Analysis）」
第9回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing④「解説編（Cause and Effect, Persuasive）」
第10回	Section II–Types of Paragraph（Unit 4-Unit 12）	様々なParagraph Writing⑤「解説編Problem-Solution」
第11回	Section III–Essays（Unit 13-Unit 17）	エッセイの構造について考える
第12回	Paragraph Writingの実践①	日本語で、何を書くか考えをまとめる。
第13回	Paragraph Writingの実践②	第12回で考えた日本語の構想を、英語に変換して英作文の準備をする。
第14回	Paragraph Writingの実践③	第13回の準備作業を受け、1パラグラフ分の英作文を完成させる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、3時間を標準とする】
【ライティング・スキルの習得には、授業時間外学習での各自の取り組みが重要である】
①事前に教科書の指定された範囲に目を通し、各講義で学ぶことについてあらかじめ触れておく。
②指定されたリスニング教材のシャドウイングに取り組み、単語やフレーズの書き取りテストの準備をする。
③今期は2回、ライティング課題を課す予定なので、事前に何を書くかを考えておく。

【テキスト（教科書）】
Matthew A. Taylor and David E. Kluge. "Basic Steps to Academic Writing: From Paragraph to Essay." Tokyo: Cengage Learning K.K., 2012. ISBN: 978-4-86312-209-3

【参考書】
高橋響『英語ライティングの鬼100則』明日香出版社, 2021。ISBN：978-4-7569-2165-9
澤井康佑『新・英語の構文150』美誠社, 2024。ISBN：978-4-8285-3378-0
※参考書は適宜コピーして配布します。

【成績評価の方法と基準】
①最終課題の英作文（30%）※
②中間課題の英作文（20%）※
③各回の文法クイズ（30%）
④授業へ積極性（グループ・ディスカッション、発表、出席）（20%）
※①②については、重要度が高いものから順に次の観点で評価します。
1. POWER WritingやParagraph Writingに則った構成か。
2. 指定された字数を満たしているか。
3. 誤字脱字がないか。
4. 単語や文法を正しく使っているか。

【学生の意見等からの気づき】
わからないことがあればそのままにせず、積極的に質問して解決してください。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることもあります。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The purpose of this class is to acquire the basic knowledge of POWER Writing and Paragraph Writing. Students will be able to summarize their opinions and ideas in a single paragraph, and to use the knowledge and the skill in essay writing and academic writing. Through the practice of POWER Writing and Paragraph Writing, students will learn how to compose English essays, and apply the skills to composition of reports and papers in Japanese.
【到達目標（Learning Objectives）】
1. Students acquire the basic knowledge of POWER Writing.
2. Students understand the various types of Paragraph Writing.
3. Students learn how to write an essay
4. Students pick up words, phrases, and grammars which are necessary for more natural, academic writing expression.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
Practice makes perfect. Your strenuous effort help your comprehension of POWER writing and Paragraph writing.
Students are expected to spend three hours on preparation and review.
1. Students should read through the designated chapters in the textbook in advance.
2. Students will prepare for the dictation test.
3. Students will be required to compose two essays, so students should think about what they will write about.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
1. English composition on the final assignment (30%*)
2. Mid-term English composition assignment (20%*)
3. Quiz (30%)

4. Attitude (group discussion, presentation, attendance) (20%)
The following points will be used to evaluate 1. and 2.
A. Whether the essay is written by POWER Writing and Paragraph Writing.
B. Whether the number of words in the essay reaches the lower end.
C. Whether there are typographical errors and omissions.
D. Whether words and grammar are used correctly.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

柳川　浩三

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は受講生のTOEICの点数を上げることを当面の目標としつつ、受講生の英語リスニング力の底上げを図ることです。この目的の達成のために、以下の３つにポイントをおきます。
１．TOEIC 受験方略（テクニック）への習熟
２．リスニング強化のための音（音声）の知識への習熟
３．音読（reproduction）の正しい方法の習得

【到達目標】
1.TOEICリスニングパートに対するテクニックを適切に使える。
２.リスニング力トレーニングを日ごろから実践する
３.英語音声の（特に子音）特徴を体系的に理解しそれをリスニングやスピーキングに活かせる
4 TOEIC Reading パートに対するテクニックを適切に使える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
3つのポイントからTOEICの点数アップを目指します。1 テスト方略への習熟、2 リスニング力の強化のための戦略（a. 通訳トレーニング方の援用　b. 音変化の知識の習得と発音練習　c. リスニングを意識したリーディングへの習熟　d. メタ認知方略を用いたリスニングへの習熟）、3 TOEIC特有の語彙力強化です。
また、学期途中にそれぞれのTOEIC点数の伸長を測るため３回の模擬試験を実施します。結果は、個別に学習支援システムを用いて伝えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	TOEICとは、 この授業のねらい
2	実力を上げるために君は何を知っておくべきか その1	弱く曖昧に発音する音 第1回リスニングテスト
3	その2	/t/の八変化
4	その3	リスニングと発音を一体化する
5	その4	舌の位置を意識化する
6	リスニングとリーディングを関連づける	リスニングを意識した速読の仕方
7	君は何をするべきか	静聴～口頭練習へ
8	リスニングの実際1	BBC World
9	リスニングの実際：映画・歌 第2回リスニングテスト	タイタニック Just the way you are(Blueno Mars) Wonderful world (Eric Clapton) One thing　(One Direction), Hero (Maria Carry)
10	Part1,2をクリックする：今の力で100点上げる	Part1：聞く前の準備 Part2：文頭集中と反芻 第2回リスニングテスト返却と振り返り
11	Part3,4をクリックする	聞きながら解く マークシート用紙はいつ塗るか 図表問題をどう解くか
12	Part5,6をクリックする	形、意味、形+意味の3つに分ける。 アイスパンを調整する。
13	第3回リスニングテスト	どれだけ伸びたか測ってみる。
14	Part7をクリックする	解き方の手順 第3回リスニングテスト返却

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
英語のリスニング口頭練習(reproduction)が課されます。

【テキスト（教科書）】
「英語リスニング発音教本」柳川浩三著 (オリジナルテキスト　非売品)
「公式TOEIC Listening &Reading 問題集 4」（財）国際ビジネスコミュニケーション協会

【参考書】
授業内に指示します。

【成績評価の方法と基準】
試験:60％　計3回のリスニングテスト
平常点評価40％:課題（reproduction)の達成状況と授業中の取り組み姿勢

【学生の意見等からの気づき】
日頃から、学生に英語を聞く習慣を植えつけたい。

【その他の重要事項】
3回を超える理由なき欠席は単位不認定となります。
5分を超える遅刻は欠席とみなします
短期間で点数UPがしやすいリスニングに比重を置いた講座です。
例年、多くの学生が50-100点アップしています。
Part5-7は授業回数3回分程度でポイントを絞ってお伝えします。

【Outline (in English)】
This class aims to enhance your TOEIC listening score by 100.
—-
　Goals: To deploy appropriate strategies for the TOEIC.
To keep repeated practice of oral reading.
To have a better understanding of the system of English consonants to improve listening proficiency.
Work to be done outside of class: To carry out the practice of oral reading four or five times over the term.
Grading criteria: Exam: 60%, Assignment : 40%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

FRITZ Erik

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
・明確な目的を持って特定の読者に向けて適切な語彙とスタイルで書くことができる。
・論理構成や段落分けを理解し簡潔で効果的な文章で書くことができる。
・書くプロセス（planning, outlining, drafting）に沿って書けるようになる。
・剽窃(plagiarism)を避けるために様々な引用の仕方を理解し使えるようになる。
・クラスメートのエッセイを読み直し、編集できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
・授業計画に従い、グループワークやディスカッションを盛り込み、参加型の授業を実施する。具体的には、ライティングの演習問題を、グループワークで実施し、クラス内で発表し相互理解を深める。ピア編集を活用し、お互いの書いたものを校正、編集し、ライティングスキルの向上につなげる。また、教員による個別フィードバックがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	Explanation of syllabus & course introduction Introduction to fluency writing
第2回	Paragraph writing	Fluency writing How to write paragraphs Formatting guidelines and avoiding plagiarism
第3回	Paragraph writing	Fluency writing Learn how to reference your sources
第4回	Paragraph writing	Fluency writing Start Writing #1
第5回	Paragraph writing	Fluency writing Finish &turn in Writing #1 at the end of class
第6回	Paragraph writing	Fluency writing Revise Writing #1
第7回	Essay writing	Fluency writing Finish &turn in Revised Writing #1 at the beginning of the class Brainstorming Write 2 arguments &1 counter argument
第8回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 1
第9回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 2
第10回	Essay writing	Fluency writing Body paragraph 3
第11回	Essay Writing	Fluency writing Introduction &conclusion
第12回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 rough draft due at the end of class
第13回	Essay writing	Fluency writing Revise Writing #2
第14回	Essay writing	Fluency writing Writing #2 final draft due at the end of the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間程度を標準とする】
・ライティング課題は、全て、初稿提出⇒ピア編集⇒書き直し⇒最終稿提出で進んでいくので、期限までに初稿、最終稿を提出すること。
・リサーチのテーマに沿って、様々なリーディング素材を英語で読みながらまとめていくので、しっかりと事前準備をして進めていくこと。

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by the professor online.

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
・ライティング課題 ７０％　（パラグラフ２０％、エッセイ４０％、Fluency １０％）
・ピア編集、ピアフィードバック等を含む、クラス内課題取り組み状況　３０％
※上記の評価に加え、欠席１回につき２％減、遅刻１回につき１％減とする。
※交通機関の乱れによる遅刻については、遅延証明がある場合は考慮する。
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
Students need to bring their computers (laptops or tablets) to every class.

【その他の重要事項】
・授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがあります。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
The course is designed to help students develop skills to communicate effectively in writing. Students will practice group writing assignments that require planning, drafting, revising and editing.
By the end of the course, students will be able to: 1) write for a clear purpose and to a specific audience, using appropriate word and style choices, 2) understand the planning, outlining and drafting process, 3) integrate sources accurately and effectively, 4) write in the style of an English-language academic essay, 5) read and edit their essays in order to improve them.
Each week students will be expected to spend four hours outside of class preparing for their writing assignments.
Final grades will be based on class participation (30%) and writing assignments (70%).

LANe100LC（英語 / English language education 100）

上級英語

FRITZ Erik

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is suitable for students who wish to learn about and discuss scientific research in English. Students will be able to choose a research article they are interested in. Students will then learn how to read it. Finally, students will learn how to present the research in the style of an international conference. The professor will lead the students each step of the way.

【到達目標】
1) Students will be able to read and analyze a scientific paper in English.
2) Students will be able to discuss the sections of a scientific paper in English
3) Students will be able to give a presentation based on a scientific paper in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
In this course, students will have weekly discussions in English about their chosen research articles. The professor will guide each discussion. Students will also have the opportunity to present their chosen research several times in class. After each presentation, students will receive feedback and reflect on how to improve their presentations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	The Elements of a Scientific Research Paper Introduction to Genre Analysis – How to Read Scientific Articles
2	Research Paper Selection	Genre Analysis – How to Read Scientific Articles (Part 1)
3	Scientific Paper Analysis	Genre Analysis – How to Read Scientific Articles (Part 2)
4	Scientific Paper Analysis	How to Read Scientific Articles (Part 3)
5	Scientific Paper Analysis	How to Read Scientific Articles (Part 4)
6	Presentation Script Writing	How to write an academic presentation script
7	Presentation Script Writing + Q&A	How to write an academic presentation script and and answer questions
8	Presentation Slide Creation	How to create presentation slides
9	Presentation Delivery	How to deliver an effective presentation
10	Peer Review Presentations	Present to peers and receive feedback
11	Presentation #1 Reflection	Present to the professor for feedback Written reflection in English
12	Revisions	Revise and improve presentations
13	Revisions & Presentation Practice	Finish revisions and practice presentations
14	Presentation #2	Final presentation Written reflection in English

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by the professor online.

【参考書】
All references and links will be provided by the professor in class.

【成績評価の方法と基準】
Weekly in-class discussions: 50%
Presentation #1: 20%
Presentation #2: 30%

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring a computer (laptop or tablet) to every class.

【その他の重要事項】
Any student, regardless of English proficiency, is welcome in this course. The syllabus may change according to the number of students enrolled.

【Outline (in English)】
This course will provide students many opportunities to discuss scientific research in English. Students will be able to learn about various research projects through in-class discussions. Students will also learn valuable presentation skills they can use in graduate school and at international conferences in the future.
Students will be evaluated by their in-class discussions and preparation for those discussions. Students will also be evaluated by their performance in two presentations.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

上級スペイン語

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスはスペイン語文法既習者を対象とします。これまでの復習を行いながら、さらなるスペイン語の運用能力を高めていきます。またスペイン語圏の文化や社会について、さらに深く学んでいきます。

【到達目標】
少人数の環境を最大限に活かし、主にプレゼンテーションを行いながらスペイン語圏についてさらに学びを深めながら、スペイン語の運用能力も高めていきます。
尚、この時間はスペイン語検定対応クラスに指定されています。５級、６級の受検、合格を目指して頑張りましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
このスペイン語上級クラスの履修者数はそれほど多くないので、毎回、各自テーマを自由に設定しプレゼンテーションを行なってもらいます。そしてスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第2回	メキシコ	メキシコについてのプレゼンテーションを行いながら、同国の言語文化、社会について総合的に学習
第3回	グアテマラ	グアテマラについてのプレゼンテーションを行いながら、同国の言語文化、社会について総合的に学習
第4回	コスタリカ	コスタリカについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第5回	キューバ	キューバについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第6回	エクアドル	エクアドルについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第7回	ペルー	ペルーについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第8回	ボリビア	ボリビアについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第9回	パラグアイ	パラグアイについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第10回	ウルグアイ	ウルグアイについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第11回	アルゼンチン	アルゼンチンについてのプレゼンテーションを行いながら、スペイン語圏の言語文化、社会について総合的に学習
第12回	チリ	チリについてのプレゼンテーションを行いながら、同国の言語文化、社会について総合的に学習
第13回	スペイン	スペインについてのプレゼンテーションを行いながら、同国の言語文化、社会について総合的に学習
第14回	まとめ	スペイン語圏の魅力について語り合う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
教科書は使いません。適宜プリント配布。

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 ５０％
小レポートの提出を含む平常点 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is an advanced Spanish class for Global education.
Learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０%

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

上級ドイツ語

高橋　完治

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実践的な言語使用の観点のもとに文法の知識と語彙を拡充し，多くの表現を学んで，ドイツ語運用能力のさらなる向上を図る．

【到達目標】
日常のさまざまな場面においてドイツ語で表現することができ，また情報を得ることができる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
どのテーマも，写真や絵とドイツ語とを（時には推理力を働かせて）結び付けることから始める．ビデオを観て，これをテーマへの導きとする場合もある．この導入部の後，重要な語句や表現を多角的に理解し，これをもとに，Lesetextの読解，聴解，ひな形に沿って文章を書くなど，種々の課題をこなしてドイツ語運用能力を鍛える．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Vergleich	メディアに関する語句に親しむ／いろいろな観点から事物を比較する
2	Vor- und Nachteile	SNSへ写真を投稿することについての意見を読む／写真投稿のメリット・デメリットを述べる
3	Filme	映画の紹介文を読み，内容をドイツ語で纏める／映画のレビューを書く
4	Feiern	さまざまな慶事についてのテクストを読む／日本の結婚式の概要を書く
5	Gefühle	どんな時にどんな感情を抱くのかを表現する
6	Glückwünsche	さまざまな祝辞を学ぶ／祝いの手紙や礼状，招待に応ずるメール，招待を断るメールを書く
7	Reflexive Verben	再帰動詞を学び，喜び・立腹・諍い・謝罪といった感情や出来事を盛り込んだ物語や会話を創作する
8	Feste	Kieler WocheおよびAlmabtriebについてのテクストを読む／ドイツ語圏の祭りを一つ選び，それについて調べてドイツ語で発表する
9	Erlebnisse an einem anderen Ort	異国での暮らしについて書かれたブログを読み，内容を整理する／新しい環境での生活についてブログを書く
10	Leben in der Stadt / Vorstellungsgespräch	街の人々の営みをドイツ語で描写する／採用面接でよく使われるフレーズに親しむ
11	Adjektivendungen / Gespräche bei Banken und Behörden	形容詞の弱変化に親しむ／銀行や役所の窓口でよく使われるフレーズに親しむ
12	Höflichkeit	丁寧な依頼や申し出の表現を学ぶ
13	Stadtbeschreibung	ウィーンについて知る／自分の街を評価する
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】復習用の課題と取り組む．

【テキスト（教科書）】
Stefanie Dengler u. a.: Netzwerk neu A2.1, Kurs- und Übungsbuch mit Audios und Videos. Ernst Klett Sprachen

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
理解度は高かったようだ．

【Outline (in English)】
This course is designed to further teach students common expressions, as well as to enhance their grammatical knowledge and vocabulary from a practical language perspective, enabling them to attain advanced proficiency in the German language. By the end of the course, students should be capable of expressing themselves effectively and obtaining information in various common situations.
After each class meeting, students are expected to review the learning content. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

上級フランス語

平岡　敦

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語運用能力を総合的に高め、フランス・フランス語圏についての認識を深める。

【到達目標】
フランス語運用4技能を総合的に高め、フランス・フランス語圏への留学も視野に入れ、フランス語検定資格取得をめざす。
これまでの学習で抜けている文法事項等を補う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
検定試験問題にあたる。インターネットのフランス語サイトなどで、フランス・フランス語圏についての情報を取得して、発表し、議論する。そのほか、受講者の目的と希望に合わせて、授業内容を組み立て進めていくつもりです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介 名詞・代名詞	受講者が関心を抱くフランス・フランス語圏の事象について語る。 フランス語の名詞・代名詞について整理する。
2	冠詞・前置詞	定冠詞・不定冠詞・部分冠詞・前置詞について整理する。
3	第1群規則動詞	第１群規則動詞直説法現在の活用についてまとめる。
4	第2群規則動詞・不規則動詞	第２群規則動詞、主な不規則動詞の直説法現在形についてまとめる。
5	代名動詞	代名動詞の直説法現在の活用と用法についてまとめる。
6	比較の表現	比較級・最上級の表現を整理する。
7	疑問の表現	疑問文のパターンを整理し、疑問代名詞、疑問副詞、疑問形容詞についてまとめる。
8	過去の表現：複合過去形	過去分詞・直説法複合過去形についてまとめする。
9	未来の表現	直説法単純未来形についてまとめる。
10	過去の表現：半過去形	直説法半過去についてまとめる。
11	ジェロンディフ	現在分詞・ジェロンディフについてまとめる。
12	条件法	条件法現在形の活用と用法についてまとめる。
13	接続法	接続法現在形の活用と用法についてまとめる。
14	まとめ	フランス・フランス語圏について調べ、フランス語で作文し、発表する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
インターネットのフランス語サイトで、フランス・フランス語圏について調べます。

【テキスト（教科書）】
資料適宜配布

【参考書】
適宜指示します

【成績評価の方法と基準】
平常点100％で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
前年度は授業がなかったためフィードバックできません。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students develop reading and writing skills in French.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.Your study time will be more than one hour for a class.
Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination (30%),French certification examination(20%) and in-class contribution(50%).

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

上級中国語

東　会娟

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎知識を身につけている学生を対象とした中国語の授業である。受講者が読む・聞く・話すなど中国語の実践的運用能力を修得する。さらに、中国の文化と事情について理解を深め、異文化との向き合い方を身につける。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
①600字程度の中国語で書かれた文章を読みこなせるようになる。
②中国語でまとまった意見が言えるようになる。
③中国の現代文化や時代とともに変化する中国事情について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
　既に中国語の基礎を習得していることを前提として授業を進めるが、3年次に中国語を選択しなかった学生の履修も歓迎する。
　この授業では激動する中国の今を最新の記事と共に学び、厳選されたトピックスの読解を通じて自己表現力の向上を目標とする。
　提出された課題を次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業のすすめかたについての説明を行う。
第2回	2022年は中国のスーパー宇宙年	中国人の宇宙への夢：神話から現実へ
第3回	楼蘭を破らずに終に還らじ	シルクロードに関する歴史や地理
第4回	超クール！「閃光少女」	パラリンピックと身体障害者
第5回	国産ブーム、いまなお健在	中国風ファッションと中医薬
第6回	「テント経済」に見る新たな消費トレンド	中国のアウトドア事情
第7回	北京冬季五輪のエピソード	コロナ対策・ロボットレストラン・ボランティア
第8回	文字は時代を映し出す	若者に人気の字体
第9回	飲食こぼれ話	中国の食文化
第10回	若者は欲しがらず、老人はつかいこなせないもの、なーんだ？	デジタル化と高齢化社会
第11回	パンダの名前はどう決める？	外交親善使節の名前の決め方
第12回	デジタル化が市民生活の助けに	デジタル化都市の実態
第13回	2000年代生まれの職場改革	中国のジェネレーションギャップ
第14回	期末試験とふりかえり	期末試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準とする。授業前に教科書についているCDを聞くなど予習すること。授業後に課題を提出すること。

【テキスト（教科書）】
時事中国語の教科書　2023年度版　全民健康（CD+音声ダウンロード付）
三潴正道，陳祖蓓，古屋順子

【参考書】
『月刊聴く中国語』HSJ

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席＋課題）50％、期末試験50％で合算して成績評価を行う。中国語の各種検定試験の受験による加点がある。

【学生の意見等からの気づき】
時事情報を多く取り入れるようにする。

【Outline (in English)】
This course is offered to the students who have learned the basics of the Chinese language. According to the students'level, it enhances vocabulary and grammar, and also cultivates skills to operate the Chinese language. At the end of the course, students should be able to do the followings：
①Be able to read articles written in Chinese about 600 words.
②Be able to express opinions in a certain amount of words in Chinese.
③Increase understanding of Chinese culture and cunrrent evevnts.
Your study time will be more than two hours for a class.
Grading will be decided based on usual performance score (50%) and term-end examination (50%).

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

上級朝鮮語

魏　聖銓

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：楽しく韓国語を学ぼう
この授業は、入門、初級コースで学習した韓国語の表現などを、より確実に定着し、その表現を応用し、実際の場面で使えるようにすることを目的としています。

【到達目標】
この授業は、入門、初級コースで学習した韓国語の表現などを、より確実に定着し、その表現を応用し、実際の場面で使えるようにすることを目標としています。
語彙力をアップ、聞き取り、話すことの頻度を増やし、バランスよく韓国語が上達できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
各回の授業形態については，学習支援システムでその都度提示する．
提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
　ハングル5級から4級レベルの文法・単語・表現を学習しながら、日常の会話に活用できるような授業を展開していきます。読む・聞くのインプット学習と「文を書く」・「自分で思ったことを話す」アウトプット学習がうまくリンクできるように、ペアワーク、グループワークも多く取り入れて授業を行います。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	全体の授業のガイダンス	自己紹介 前期の復習、後期の授業について
2	外来語とアルファベット	表現：－（　）／動詞語幹＋てください（　/　と(　)　の違い） 韓国の名所：水原　単語練習：外来語
3	アルファベットの表記について　／会話練習：	音読コーナー：新大久保とホットク 異文化紹介：韓国の匙と箸
4	慶州旅行	間接話法の中での「依頼」表現：　/　／ようだ、そうだ水量表現：(　)　　。 韓国の名所：慶州　／　単語練習：交通機関　／応用コーナー：建物とマップ
5	変則の学習	短文:アルバイト　／　異文化紹介：カルビとプルゴギ
6	ホワイトクリスマス	「-　+形容詞」表現：　/　表現　(　)　／「-　+形容詞」 韓国の名所：安東　単語練習：スポーツ
7	韓国映画	会話練習：美味しいパン屋さん 美味しいパン屋へ行く行き方／　異文化紹介：韓国のデリバリー文化
8	総復習とおさらい	ハングル能力検定試験5級＆4級について
9	ソウルタワーと東京タワー　/　原因・理由、事柄の順序	表現：　/　/　（し）たことがある/ない 韓国と日本の名所：ソウルタワー＆東京タワー　単語練習：果物
10	疑問代名詞と縮約形　変則	変則の学習 応用短文：道を教える　／異文化：韓国のアパート（マンション）
11	釜山で買い物　／(し)てもよい　/	表現：-　/-　,-　韓国の名所：釜山　単語練習：野菜
12	色、服装を表す表現について　／　変則	変則の学習 音読コーナー　応用短文：:私が好きな色　／　異文化紹介：韓服と着物
13	韓国語スピーチ大会　／－ている２　-	逆接表現　／韓国と日本のことわざ　／韓国の名所：仁川　単語練習：装身具、アクセサリー
14	まとめ。	まとめ。 韓国紙幣の人物　／　新幹線と富士山　／異文化紹介：　ソウル城郭

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】音声付きテキストなどで、耳に慣らすことをお勧めします。

【テキスト（教科書）】
『韓国と日本くらべて学ぶ中級韓国語』　魏 聖銓　朝日出版社

【参考書】
辞書は『朝鮮語辞典』（小学館）をはじめ、『コスモス朝和辞典』(白水社)、『韓日辞典』(民衆書林出版／三修社販売)・『ポータブル日韓・韓日辞典』(小学館)を勧めますが、電子辞書の方もお勧めします。

【成績評価の方法と基準】
クラスの総合成績は、以下に基づいて決定されます。
クイズ10％
中間試験20％
まとめ30％
課題20％
クラス貢献20％
合格点は60以上です。
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Quiz　10％
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　20％
A passing score is 60 or up.

【学生の意見等からの気づき】
楽しく、継続すれば、自分のものになる！
韓国の会話も楽しみましょう。

【学生が準備すべき機器他】
赤色のペン

【Outline (in English)】
Advanced Korean
Students will increase their Korean reading comprehension ability with different forms of language, oral expression ability and their practical ability to deal with various situations. This course is intended to further teach students many common expressions as well as build on their grammatical knowledge and vocabulary from the viewpoint of practical language use in order that they can achieve Korean language ability at an advanced level.
One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] It is recommended to familiarize yourself with the text with audio.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Quiz　10％
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　20％
A passing score is 60 or up.

LANe100LC（英語 / English language education 100）

ビジネス英語

早舩　由紀見

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、Business managementの初歩をTask Base Projectで学び、総合的な英語力を身につけることを目標としている。
学習者が主体的に理解し、考えながらBusiness managementを学び、英語を「聞き、読み、話し、書く」という対話的な活動を通じて、英語をコミュニケーションの道具として使い、グローバル化した社会への対応力を養う。

【到達目標】
1. BNC/COCA Word Frequency Lists 2000～3000語の語彙を習得する
2. 様々なBusinessに関する内容について、問題を提起し、解決方法について英語で話すことができる
3. Business management について、自分の考えを話すことができる
4. Business managementに関する内容について、クラスメートとディスカッションする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
学生が主体的に行うタスクベースで授業を行う。
教科書で学んだことをもとに、インターネットで検索、調査してさらに知識を深め、自分の考えを形成し、英語で発信(ライティング、スピーキング)する。
提出物に対しては全体フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 1 Business and our lives 前半	- Warm up thinking - Words definitions - Speaking - Reading
第2回	Chapter 1 Business and our lives 後半	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第3回	Chapter 2 Enterprizes and companies 前半	- Warm up thinking - Words definitions - Speaking - Reading
第4回	Chapter 2 Enterprizes and companies 後半	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第5回	Chapter 3 The PESTLE analysis 前半	- Warm up thinking - Words definitions - Speaking - Reading
第6回	Chapter 3 The PESTLE analysis 後半	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第7回	Chapter 4 The SWOT analysis	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第8回	Chapter 5 Resource management	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第9回	Chapter 6 Team management	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第10回	Chapter 8 What is marketing?	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第11回	Chapter 9The marketing mix	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第12回	Chapter10 Financial statements	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第13回	Chapter 11 Digital technology and business	- Reading - Vocabulary - Research and discuss - Writing your idea
第14回	Chapter 12 Including the SDGs in business	・Companies ・Vocabulary ・Reading

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】リーディングの予習。Vocabularyの意味と発音。

【テキスト（教科書）】
CLIL Business Management
CLIL 英語で学ぶ経営入門
Ikuko Ueno, Tae Funakoshi, Brandon Kramer
上野育子、船越多枝、ブランドン・クレーマー
三修社

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加度：30%
授業内演習：30%
期末試験 ：40%

【学生の意見等からの気づき】
受講生の意向をよく聞いて、授業を進める。
課題へのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン

【Outline (in English)】
【Course outline】
The aim of this class is to learn the basics of business management through a task-based project and to acquire comprehensive English skills.
【Learning Objectives】
Students will learn business management while actively understanding and thinking, and through interactive activities such as listening, reading, speaking and writing English, they will use English as a tool for communication and develop the ability to respond to a globalized society.
【Learning activities outside of classroom】
- Review of the class
- Assignments
- Next class preparation
【Grading Criteria/Policy】
Active participation in class 30%
In-class quizzes 30%
Final test 40%

LANe100LC（英語 / English language education 100）

英語資格試験準備講座

宗像　俊輔

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法と読解に焦点をあて、TOEICテストのスコアアップを問題演習を通じて目指す準備講座である。

【到達目標】
英文法の基本を理解し、リーディング問題とリスニング問題が解けるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
①講義では教科書の単元に沿って、講義の冒頭でその単元のキーポイントを講師より説明する。
②課題を答え合わせをしながら、講師より各問題の解き方を説明する。
③リーディングについては、必要に応じて文法の説明をする。
※記事の分量、内容、受講者の理解度に応じ時間配分を変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の方針説明、自己紹介、TOEICの効率的な解き方について
第2回	Unit 1：Restaurants（人称代名詞） Unit 2：Entertainment（不定代名詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第3回	Unit 2：Entertainment（不定代名詞） Unit 3：Business（現在・過去の時制）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第4回	Unit 3：Business（現在・過去の時制） Unit 4：The Office（現在完了）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第5回	Unit 4：The Office（現在完了） Unit 5：Telephone（前置詞[時・期間]）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第6回	Unit 6：Letters & E-mails（前置詞[位置・場所]） Unit 7：Health（数量形容詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第7回	Unit 7：Health（数量形容詞） Unit 8：The Bank & The Post Office（自動詞と他動詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第8回	Unit 8：The Bank & The Post Office（自動詞と他動詞） Unit 9：New Products（接尾辞と品詞―形容詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第9回	Unit 9：New Products（接尾辞と品詞―形容詞） Unit 10：Travel（接尾辞と品詞―副詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第10回	Unit 11：Daily Life（分詞構文） Unit 12：Job Applications（比較）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第11回	Unit 12：Job Applications（比較） Unit 13　Shopping（受動態）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第12回	Unit 13　Shopping（受動態） Unit 14 Education（関係代名詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第13回	Unit 14 Education（関係代名詞）	キーポイントの説明、問題演習、文法解説
第14回	問題演習	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
①教科書の指定された範囲の問題を事前に解いておき、講義に臨む。この課題は授業終了後に提出する。
②テキスト・配布資料の予習と復習は不可欠。日常的に英語ニュースや洋書に親しんでおくとなおよい。

【テキスト（教科書）】
Yoshizuka, Hiroshi, et al.　Best Practice for the TOEIC Test: Intermediate. 成美堂, 2022. 定価2,750円。978-4-7919-7253-1。

【参考書】
英和辞書、和英辞書を持参する。講義中のみならず、予習時や復習時にわからない単語があれば、すぐに辞書を引くように習慣づけること。
各回のテーマの参考資料は、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
1. 期末試験 (50%)
2. 課題（30%）
3. 貢献と姿勢 (20%)

なお、全学TOEIC-IPテストが2024年度も実施される場合は、本学で基準となる点数を獲得した学生に対し、成績評価で優遇する。

【学生の意見等からの気づき】
わからないことがあれば、積極的に質問してください。

【その他の重要事項】
授業計画は予定であり変更されることもあります。

【Outline (in English)】
【授業の概要（Course outline）】
This course is designed to help students prepare for the listening and reading sections of the TOEIC Test, focusing on grammar and comprehension.
【到達目標（Learning Objectives）】
Students are to acquire basic knowledge of English grammar and to be able to solve reading and listening sections of the TOEIC tests.
【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】
※Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.
Preparation and review are essential. The lecturer recommended that students should be familiar with newspaper articles and books that are written in English daily.
【成績評価の方法と基準（Grading Criteria /Policy）】
1. Final Exam（50%）
2. Assignments（30%）
3. In-class contribution（20%）

LANe100LC（英語 / English language education 100）

生命機能学基礎英語　I

豊岡　博子、山本　兼由、佐藤　勉、川岸　郁朗、常重　アントニオ、廣野　雅文、水澤　直樹、曽和　義幸、林　真人

開講時期：秋学期授業/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命科学の世界では英語が共通語である．新しい発見はすべて英語で報告されるため，生命科学を学ぶには科学英語の能力向上が必須である．著名な生物学の教科書を読解することで，科学を英語で理解するための基礎的能力を身につけることを目標とする．

【到達目標】
生物学のさまざまな分野に関する英文テキストを詳細に読解し，その科学的内容を理解する能力を身につけることを目標にする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
履修生をグループに分け，少人数で講義を実施する．教員はテキストの内容を適宜補足する説明を行い，学生は各自が音読・翻訳・図の説明等を行う．学生の説明とそれに関連する事項についてその場でディスカッションする．オンラインの場合はメール・Hoppii・Zoom等で質問を受け付け，回答を同様にメール・Hoppii・Zoom等を通してフィードバックする．
今年度は基本的に対面で行うが，状況によってはオンラインで行う可能性もある．いずれの授業方法にするかについては，学習支援システムで提示する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	英語のテキストの配布、講義方針の説明.
第2回	英文テキストの講読-1	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第3回	英文テキストの講読-2	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第4回	英文テキストの講読-3	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第5回	英文テキストの講読-4	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第6回	英文テキストの講読-5	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第7回	英文テキストの講読-6	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第8回	英文テキストの講読-7	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第9回	英文テキストの講読-8	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第10回	英文テキストの講読-9	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第11回	英文テキストの講読-10	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第12回	英文テキストの講読-11	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第13回	英文テキストの講読-12	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第14回	アチーブメントテスト	これまでの復習と習熟度の検定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準としする】
必ず予習（音読，翻訳，説明）をする．また，分子生物学I・II，生物化学I・II，細胞生物学I・II，生物物理学I・IIの内容とも関連するので，読解にあたって注意すること．

【テキスト（教科書）】
英語教科書「BIOLOGY 6th Edition」の第３章"Water and The Fitness of The Environment"，第６章"An Introduction to Metabolism"，第８章"Membrane Structure and Function"，第１７章"From Gene to Protein"をテキストとする．テキストについてはガイダンス時に改めて説明する．

【参考書】
適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
＜評価方法＞平常点（取り組みやレポート提出など）を30％，アチーブメントテストの成績を70％として評価する．ただし，一定以上の平常点がない場合，成績評価対象外となる．
＜評価基準＞英語による生命科学の基本的な原理の理解度を基準とする．

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はZoomを利用した質問時間を設けた．今年度もオンラインとなった場合には実施する．

【学生が準備すべき機器他】
資料配布，課題提出，連絡等には学習支援システムを利用する．

【その他の重要事項】
毎回必ず出席して実践し，レポートを提出することが前提である．また，授業の各回の前に，テキスト（図の説明も含む）の音読と翻訳の予習を必ず行うこと．その過程で，テキスト中の科学的原理等について理解が不足していることに気づいた場合は，日本語教材などで学習しておくこと．

【Outline (in English)】
The aim of this course is to provide freshman level students with basic knowledge and skills of academic English for Bioscience. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on the quality of presentation and discussion (30%) and achievement test (70%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

生命機能学基礎英語　ＩＩ

山本　兼由、佐藤　勉、西川　正俊、廣野　雅文、豊岡　博子、水澤　直樹、曽和　義幸、常重　アントニオ、金子　智行、川岸　郁朗

開講時期：春学期授業/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命科学の世界では英語が共通語である．新しい発見はすべて英語で報告されるため，生命科学を学ぶには科学英語の能力向上が必須である．著名な生物学の教科書を読解することで，科学を英語で理解するための基礎的能力を身につけることを目標とする．

【到達目標】
生物学のさまざまな分野に関する英文テキストを詳細に読解し，その科学的内容を理解する能力を身につけることを目標にする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
履修生をグループに分け，少人数で講義を実施する．教員はテキストの内容を適宜補足する説明を行い，学生は各自が音読・翻訳・図の説明等を行う．学生の説明とそれに関連する事項についてその場でディスカッションする．オンラインの場合はメール・Hoppii・Zoom等で質問を受け付け，回答を同様にメール・Hoppii・Zoom等を通してフィードバックする．
今年度は基本的に対面で行うが，状況によってはオンラインで行う可能性もある．いずれの授業方法にするかについては，学習支援システムで提示する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	英語のテキストの配布、講義方針の説明.
第2回	英文テキストの講読-1	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第3回	英文テキストの講読-2	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第4回	英文テキストの講読-3	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第5回	英文テキストの講読-4	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第6回	英文テキストの講読-5	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第7回	英文テキストの講読-6	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第8回	英文テキストの講読-7	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第9回	英文テキストの講読-8	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第10回	英文テキストの講読-9	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第11回	英文テキストの講読-10	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第12回	英文テキストの講読-11	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第13回	英文テキストの講読-12	テキストの当該章の音読，翻訳，図を交えて内容の説明.
第14回	アチーブメントテスト	これまでの復習と習熟度の検定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準としする】
必ず予習（音読，翻訳，説明）をする．また，分子生物学Ⅰ・II，生物化学Ⅰ・II，細胞生物学Ⅰ・II，生物物理学Ⅰ・IIの内容とも関連するので，読解にあたって注意すること．

【テキスト（教科書）】
英語教科書「BIOLOGY 6th Edition」の第３章"Water and The Fitness of The Environment"，第６章"An Introduction to Metabolism"，第８章"Membrane Structure and Function"，第１７章"From Gene to Protein"をテキストとする．テキストについてはガイダンス時に改めて説明する．

【参考書】
適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
＜評価方法＞平常点（取り組みやレポート提出など）を30％，アチーブメントテストの成績を70％として評価する．ただし，一定以上の平常点がない場合，成績評価対象外となる．
＜評価基準＞英語による生命科学の基本的な原理の理解度を基準とする．

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はZoomを利用した質問時間を設けた．今年度もオンラインとなった場合には実施する．

【学生が準備すべき機器他】
資料配布，課題提出，連絡等には学習支援システムを利用する．

【その他の重要事項】
毎回必ず出席して実践し，レポートを提出することが前提である．また，授業の各回の前に，テキスト（図の説明も含む）の音読と翻訳の予習を必ず行うこと．その過程で，テキスト中の科学的原理等について理解が不足していることに気づいた場合は，日本語教材などで学習しておくこと．

【Outline (in English)】
The aim of this course is to provide sophomore level students with basic knowledge and skills of academic English for Bioscience. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on the quality of presentation and discussion (30%) and achievement test (70%).

BLS300LC（生物科学 / Biological science 300）

生命機能学英語　I

佐藤　勉、西川　正俊、廣野　雅文、水澤　直樹、曽和　義幸、川岸　郁朗、山本　兼由、金子　智行、豊岡　博子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「生命機能学研究I」「生命機能学演習I」の履修とともに，実験実証を基盤とする生命科学研究を自立的に実施する能力を養う．配属研究室で与えられた課題について，自ら実験を行い，得られた結果を正しく解析し，研究成果をまとめる．そのために必要な最先端生命科学の情報を得るため，英文学術論文等を読解する能力を身につける．

【到達目標】
各自の課題について研究を行うにあたり，参照すべき英語学術論文を正確に読解できること，その内容をまとめて第三者に論理的に説明できることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
配属研究室の教員の指導の下に，各自に与えられた課題について，その内容と意義を正確に理解し，関連する英語学術論文を読解し，研究を遂行する．理解が不足している点や学生の質問については，教員と随時ディスカッションすることでフィードバックする．
今年度は基本的に対面で行うが，状況によってはオンラインで行う可能性もある．いずれの授業方法にするかについては，メール等で連絡する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	課題研究を中心とした授業の進め方や目標の設定等.
第2回	生命機能学英語− 1	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第3回	生命機能学英語− 2	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第4回	生命機能学英語− 3	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第5回	生命機能学英語− 4	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第6回	生命機能学英語− 5	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第7回	生命機能学英語− 6	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第8回	生命機能学英語− 7	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第9回	生命機能学英語− 8	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第10回	生命機能学英語− 9	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第11回	生命機能学英語− 10	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第12回	生命機能学英語− 11	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第13回	生命機能学英語− 12	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第14回	講評	これまでの理解度に対する評価および新たな目標の設定.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準とする】
実験遂行上必要な内容について，原著論文や参考書等で情報収集し，理解を深める．
必要に応じ，研究討論などのために配当時間外での取り組みが必要である．

【テキスト（教科書）】
テキストは用いない．

【参考書】
課題に応じて適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
研究への継続的な取り組み，実験に関する計画立案・実施・結果取得の状況，結果の解釈と考察の内容を総合的に評価する(100%).

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンは常時持参する．
その他に必要な情報機器および施設については，配属研究室の指導教員が指示する．

【その他の重要事項】
＜本科目のカリキュラム上の位置づけと履修の心構え＞

本科目は配属研究室で行われる少人数教育の一環で，「生命機能学研究I」「生命機能学演習I」とリンクして実施する．4年次開講の「生命機能学研究・演習・英語II」および「生命機能学研究・演習・英語III」へつながる科目である．最先端の研究を実践するものであるため，能動的な姿勢で履修することが必要である．
＜研究室配属について＞
7月初旬に各研究室の説明会を開催する．その後，配属希望研究室の調査を行い，それをもとに配属研究室を決定する．

【Outline (in English)】
The aim of this laboratory course is to provide junior level students with essential knowledge and skills of academic English required for conducting research in bioscience. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on the quality of presentation and discussion (100%).

LANe400LC（英語 / English language education 400）

生命機能学英語　ＩＩ

金子　智行、佐藤　勉、川岸　郁朗、曽和　義幸、水澤　直樹、廣野　雅文、山本　兼由、西川　正俊、豊岡　博子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「生命機能学研究II」「生命機能学演習II」の履修とともに，実験実証を基盤とする生命科学研究を自立的に実施する能力を養う．配属研究室で与えられた課題について，自ら実験を行い，得られた結果を正しく解析し，研究成果をまとめる．そのために必要な最先端生命科学の情報を得るため，英文学術論文等を読解する能力を身につける．

【到達目標】
各自の課題について研究を行うにあたり，参照すべき英語学術論文を正確に読解できること，その内容をまとめて第三者に論理的に説明できることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
配属研究室の教員の指導の下に，各自に与えられた課題について，その内容と意義を正確に理解し，関連する英語学術論文を読解し，研究を遂行する．理解が不足している点や学生の質問については，教員と随時ディスカッションすることでフィードバックする．
今年度は基本的に対面で行うが，状況によってはオンラインで行う可能性もある．いずれの授業方法にするかについては，メール等で連絡する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	課題研究を中心とした授業の進め方や目標の設定等.
第2回	生命機能学英語－１	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第3回	生命機能学英語－２	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第4回	生命機能学英語－３	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第5回	生命機能学英語－４	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第6回	生命機能学英語－５	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第7回	生命機能学英語－６	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第8回	生命機能学英語－７	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第9回	生命機能学英語－８	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第10回	生命機能学英語－９	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第11回	生命機能学英語－１０	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第12回	生命機能学英語－１１	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第13回	生命機能学英語－１２	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第14回	講評	これまでの理解度に対する評価および新たな目標の設定.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準とする】
実験遂行上必要な内容について，原著論文や参考書等で情報収集し，理解を深める．
必要に応じ，研究討論などのために配当時間外での取り組みが必要である．

【テキスト（教科書）】
テキストは用いない．

【参考書】
課題に応じて適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
研究への継続的な取り組み，実験に関する計画立案・実施・結果取得の状況，結果の解釈と考察の内容を総合的に評価する(100%).

【学生の意見等からの気づき】
特になし．

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンは常時持参する．
その他に必要な情報機器および施設については，配属先の指導教員が指示する．

【その他の重要事項】
＜本科目のカリキュラム上の位置づけと履修の心構え＞

本科目は配属研究室で行われる少人数教育の一環で，「生命機能学研究II」「生命機能学演習II」とリンクして実施する．「生命機能学研究・演習・英語III」へつながる科目である．最先端の研究を実践するものであるため，自分の課題に関連する論文を積極的に探して読むなど，能動的な姿勢で履修することが必要である．

【Outline (in English)】

The aim of this laboratory course is to provide senior level students with essential knowledge and skills of academic English required for conducting research in bioscience. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on the quality of presentation and discussion (100%).

LANe400LC（英語 / English language education 400）

生命機能学英語　ＩＩＩ

豊岡　博子、廣野　雅文、曽和　義幸、金子　智行、金子　智行、川岸　郁朗、山本　兼由、佐藤　勉、西川　正俊、水澤　直樹

開講時期：秋学期授業/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「生命機能学研究III」「生命機能学演習III」の履修とともに，実験実証を基盤とする生命科学研究を自立的に実施する能力を養う．配属研究室で与えられた課題について，自ら実験を行い，得られた結果を正しく解析し，研究成果をまとめる．そのために必要な最先端生命科学の情報を得るため，英文学術論文等を読解する能力を身につける．

【到達目標】
各自の課題について研究を行うにあたり，参照すべき英語学術論文を正確に読解できること，その内容をまとめて第三者に論理的に説明できることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
配属研究室の教員の指導の下に，各自に与えられた課題について，その内容と意義を正確に理解し，関連する英語学術論文を読解し，研究を遂行する．理解が不足している点や学生の質問については，教員と随時ディスカッションすることでフィードバックする．
今年度は基本的に対面で行うが，状況によってはオンラインで行う可能性もある．いずれの授業方法にするかについては，メール等で連絡する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	課題研究を中心とした授業の進め方や目標の設定等.
第2回	生命機能学英語－１	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第3回	生命機能学英語－２	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第4回	生命機能学英語－３	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第5回	生命機能学英語－４	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第6回	生命機能学英語－５	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第7回	生命機能学英語－６	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第8回	生命機能学英語－７	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第9回	生命機能学英語－８	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第10回	生命機能学英語－９	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第11回	生命機能学英語－１０	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第12回	生命機能学英語－１１	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第13回	生命機能学英語－１２	課題研究の背景および実施実験結果に関連した英語学術論文の読解と発表.（各自の研究進行状況により具体的な内容は異なる）.
第14回	講評	これまでの理解度に対する評価および新たな目標の設定.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準とする】
実験遂行上必要な内容について，原著論文や参考書等で情報収集し，理解を深める．
必要に応じ，研究討論などのために配当時間外での取り組みが必要である．

【テキスト（教科書）】
テキストは用いない．

【参考書】
課題に応じて適宜紹介する．

【成績評価の方法と基準】
研究への継続的な取り組み，実験に関する計画立案・実施・結果取得の状況，結果の解釈と考察の内容を総合的に評価する(100%).

【学生の意見等からの気づき】
特になし．

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンは常時持参する．
その他に必要な情報機器および施設については，配属研究室の指導教員が指示する．

【その他の重要事項】
＜本科目のカリキュラム上の位置づけと履修の心構え＞

本科目は配属研究室で行われる少人数教育の一環で，「生命機能学研究III」「生命機能学演習III」とリンクして実施する．最先端の研究を実践し，その集大成として成果をまとめるためには，自分の課題に関連する論文を積極的に探して読むなど，能動的な姿勢で履修することが必要である．

【Outline (in English)】

The aim of this laboratory course is to provide senior level students with essential knowledge and skills of academic English required for conducting research in bioscience. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class. Grading will be decided based on the quality of presentation and discussion (100%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

杉山　健一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル，ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式，平面の方程式，連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義，分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法，行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列，連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通し、前回の授業に対する演習問題を解くなど、復習することが望ましい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、紹介する.

【成績評価の方法と基準】
【期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。】
成績は、レポート提出、期末試験の成績等の成績を総合的に、判断して評価する。
レポート提出及び成果(30%)，期末試験の成績(70%)として、成績を付ける。
なお，初回の授業で課題の提出の仕方について、説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自習あるいは講義の時に分からないことがあれば、質問すること。講義中、講義の終了後でも構いません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

杉山　健一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル，ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式，平面の方程式，連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義，分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法，行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列，連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通し、前回の 授業に対する演習問題を解くなど、復習することが望ましい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜、紹介する.

【成績評価の方法と基準】
【期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。】 成績は、レポート提出、期末試験の成績等の成績を総合的に、判断 して評価する。 レポート提出及び成果 (30%), 期末試験の成績 (70%) として、成績 を付ける。 なお，初回の授業で課題の提出の仕方について、説明する.

【学生の意見等からの気づき】
自習あるいは講義の時に分からないことがあれば、質問すること。講義中、講義の終了後でも構いません。

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 30%, Term-end examination 70%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

木村　真琴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
毎回小テストを行う.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する.
期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。
評価は期末試験の得点(100%)により行う.
小テストの受験回数が、全実施回数の７割に満たない者は不合格とする.
少テストの得点を成績の微調整のために利用することがある.

【学生の意見等からの気づき】
小テストが役に立っているようである.

【その他の重要事項】
＊　以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
＊　小テストを、全実施回数の７割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Grade evaluation will be based on the final exam. For those who fail the final exam, adjustments may be made based on the total score of the Take-home tests.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

木村　真琴

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
毎回小テストを行う.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する.
期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う。
評価は期末試験の得点(100%)により行う.
小テストの受験回数が、全実施回数の７割に満たない者は不合格とする.
少テストの得点を成績の微調整のために利用することがある.

【学生の意見等からの気づき】
小テストが役に立っているようである.

【その他の重要事項】
＊　以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
＊　小テストを、全実施回数の７割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Grade evaluation will be based on the final exam. For those who fail the final exam, adjustments may be made based on the total score of the Take-home tests.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

三橋　秀生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ．
１）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する．
２）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する．

【到達目標】
１）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける．
２）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する．
３）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する．

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する．
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する．
期末試験を８０％，演習課題等を２０％として成績をつける．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して，講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと．

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること．
その他は適宜，指示する．

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜，指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 20%, Term-end examination 80%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

三橋　秀生

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ．
１）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する．
２）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する．

【到達目標】
１）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける．
２）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する．
３）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う．
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
適宜，指示する．

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する．
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する．
期末試験を８０％，演習課題等を２０％として成績をつける．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
教科書を予習して，講義のときに分からないことを質問すること．これは講義中でも講義の後でも構いません．また章末の演習問題をやっておくこと．

【学生が準備すべき機器他】
初回時に貸与ノートPCを持参すること．
その他は適宜，指示する．

【その他の重要事項】
「学習支援システム」の「お知らせ」のチェックを怠らないこと．
担当教員から，学習支援システムを通じた連絡がないか，日ごろからメールも含め、確認をよくするようにしてください．
その他の重要事項は適宜，指示します．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 20%, Term-end examination 80%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学演習 I

高木　悟

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ．
1）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する．
2）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する．

【到達目標】
1）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける．
2）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する．
3）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
毎回最後に課題を出し，その解答を個別確認してフィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル，ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式，平面の方程式，連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義，分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法，行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列，連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通すこと，前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
(1)「理工系のための線形代数」高木他著，培風館, 2016　※ 改訂版（2018年以降発行）でもよい．
(2)「理工系のための基礎数学 [改訂増補版]」高木他著，培風館, 2020

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味等について，十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(20%)，提出課題（60%），毎回のレビューシート（20%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
教科書の演習問題が自力で解けるように，重要な項目を復習しながら問題演習する．

【その他の重要事項】
授業に関する連絡は「学習支援システム」のお知らせに掲載するので，こまめにチェックすること．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Assignments 60%, Term-end examination 20%, Review sheets 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

線形代数学及び演習 I

陸名　雄一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の学生にとって必須の知識である線形代数学の初歩を学ぶ.
１）　ベクトルと行列の計算方法を修得し，連立１次方程式の解法への応用を理解する.
２）　正則行列や階数などの概念を知り，正則行列であることの同値条件を理解する.

【到達目標】
１）　行列式、逆行列、行列の階数、掃き出し法などを理解して十分な計算技能を身に付ける.
２）　行基本変形によって連立１次方程式が解けること，逆行列が求められることの理由を十分に理解する.
３）　正則行列と連立方程式の解法，行列の階数の理論等との関連を理解する.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行い，基本的な概念の理解を深めるとともに具体的な問題に応用できる能力を養う.
受講者には十分な予習・復習をし、実際に手を動かして練習問題を解きながら理解を深めていく態度が求められる.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ベクトル	幾何ベクトルと数ベクトル， ベクトルの内積と外積
2	平面の方程式	直線の方程式， 平面の方程式， 連立１次方程式
3	行列	行列の定義，行列の和およびスカラー倍，転置行列，対称行列，交代行列
4	行列の積	行列の積の定義， 分割した行列による積
5	正則行列	単位行列，正則行列，正則行列の性質
6	連立１次方程式（１）	連立１次方程式の解法， 行列を用いた連立１次方程式の解法
7	逆行列	逆行列， 連立１次方程式と逆行列
8	連立１次方程式（２）	連立１次方程式の解と解法
9	行列の階数	階数の定義と求め方
10	置換と行列式	置換，行列式
11	行列式の性質	列に関する行列式の性質，基本変形と行列式，積の行列式
12	余因子展開	行列式の余因子展開
13	余因子展開の応用	正則行列の判定条件，クラメルの公式
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，１回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている.
授業を受ける前に、教科書の対応する部分に目を通すこと．前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 線形代数」　裳華房　2016年　2200円＋税

【参考書】
相談に応じて紹介する.

【成績評価の方法と基準】
行列の計算，連立方程式の解法および行列の階数や基本変形の意味などをきちんと理解して使いこなせるようになったかを評価する.
成績は，期末試験，演習課題等の成績を総合的に判断して評価する.
期末試験を６０％，演習課題等を４０％として成績をつける.
成績評価の方法と基準を変更する場合がある．その場合の具体的な方法と基準は，学習支援システムまたは授業中に提示する.

【学生の意見等からの気づき】
学習の習慣化が不十分である．履修内容の理解・定着に必要な学習方法・分量について真剣に考えてもらいたい.

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する.
・オンライン受講に必要な情報の提供
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the beginning of linear algebra which is essential knowledge for science and engineering students.
1) Learn how to calculate vectors and matrices and understand the application to simultaneous linear equations.
2) Know concepts such as regular matrix and rank, and understand equivalence condition of being regular matrix.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Students understand determinants, inverse matrices, the rank of matrices, and solving simultaneous linear equations and acquire sufficient computational skills.
2) Students understand why simultaneous linear equations can be solved and the inverse matrix is obtained by the elementary operations for matrices.
3) Students understand the relationship among regular matrices, solving simultaneous equations, and the rank of matrices.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria /Policy)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.
The methods and criteria for grading may change. Specific methods and standards in that case will be presented in the learning support system or during class.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

渡邉　昇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2 変数のテイラーの定理, 2 変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房 2300 円+税
（第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算，逆三角関数や双曲線関数の理解，テイラーの定理の利用，多変数関数の極値の問題の解法等について，十分な能力を身につけたかを期末試験や演習で判断する．原則として毎授業時間に復習確認のクイズを行う．成績は期末試験の成績（９０％）を主としレポート・演習の成績や授業中の態度を平常点（１０％）として加味して総合的に評価する．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する場合が多く、「知っている」として学習を怠る傾向があり、これがつまづきの原因となることを忘れないよう．

【学生が準備すべき機器他】
授業中に，オンラインでの小テストを実施する。各自は，Hoppii に接続できる機器を持参すること。また，毎回の授業後に追加資料とレポートを Hoppii に提示するので，毎回必ずチェックすること．

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること．

【Outline (in English)】
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Goal)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 10%, Term-end examination 90%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

渡邉　昇

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第 2 次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房 2300 円+税
（第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算，逆三角関数や双曲線関数の理解，テイラーの定理の利用，多変数関数の極値の問題の解法等について，十分な能力を身につけたかを期末試験や演習で判断する．原則として毎授業時間に復習確認のクイズを行う．成績は期末試験の成績（９０％）を主としレポート・演習の成績や授業中の態度を平常点（１０％）として加味して総合的に評価する．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する場合が多く、「知っている」として学習を怠る傾向があり、これがつまづきの原因となることを忘れないよう．

【学生が準備すべき機器他】
授業中に，オンラインでの小テストを実施する。各自は，Hoppii に接続できる機器を持参すること。また，毎回の授業後に追加資料とレポートを Hoppii に提示するので，毎回必ずチェックすること．

【その他の重要事項】
オンライン授業実施時には，「学習支援システム」の「お知らせ」にて配布資料などの情報と担当教員への連絡方法を提示するので，毎回必ずチェックすること．

【Outline (in English)】
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Goal)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 10%, Term-end examination 90%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

寺田　至

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
高校での学習内容と重複する部分もあるが、より地に足のついた議論を学ぶことになる．
問題を解けることも重要であるが、大学で学ぶ数学独自の論理の展開も楽しんでいただけたらと思う．

【学生が準備すべき機器他】
もしも必要性が生じた場合には、口頭および「お知らせ欄」を通じて指示・周知する。

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する．
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

坂田　繁洋

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）
2300 円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験(100%)で判断する.
※期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.
ただし、小テストを全実施回数の7割以上受験しない者は不合格とする.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
小テストを、全実施回数の7割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the Term-end examination 100%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

坂田　繁洋

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ.

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う.
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年）
2300 円+税
（第１章、第２章、第４章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
適宜、指示する.

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験(100%)で判断する.
※期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う.
ただし、小テストを全実施回数の7割以上受験しない者は不合格とする.

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する.
・授業資料の配布
・小テストの実施
小テストを、全実施回数の7割以上受験すること.

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the Term-end examination 100%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

陸名　雄一

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書・参考書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
相談に応じて紹介する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．
※ 期末試験は、機械工学科、電気電子工学科、応用情報工学科で統一試験として行う．

【学生の意見等からの気づき】
学習の習慣化が不十分である．履修内容の理解・定着に必要な学習方法・分量について真剣に考えてもらいたい。

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する．
・オンライン受講に必要な情報の提供
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学演習 I

高木　悟

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
毎回最後に課題を出し，その解答を個別確認してフィードバックする．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
基本的に，1回の授業は教科書の1つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通すこと，前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
(1)「理工系のための基礎数学 [改訂増補版]」高木他著，培風館, 2020
(2)「理工系のための微分積分 [改訂版]」長谷川他著，培風館, 2023

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算，逆三角関数や双曲線関数の理解，テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について，十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(20%)，提出課題（60%），毎回のレビューシート（20%）として総合的に評価する．初回の授業で課題の提出ルールを説明する．

【学生の意見等からの気づき】
教科書の演習問題が自力で解けるように，重要な項目を復習しながら問題演習する．

【その他の重要事項】
授業に関する連絡は「学習支援システム」のお知らせに掲載するので，こまめにチェックすること．

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Assignments 60%, Term-end examination 20%, Review sheets 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

微分積分学及び演習 I

陸名　雄一

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系の様々な分野で必要な数学の基礎となる，微分法・偏微分法およびその応用について学ぶ．

【到達目標】
極限値や導関数・偏導関数などの計算能力、逆三角関数の理解、平均値の定理、テイラーの定理の意味を理解し応用できること、簡単な関数のテイラー級数展開ができること、偏導関数を用いて2変数関数の性質を調べることができることを目標とする．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせて行う．
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数列の極限	実数、数列の極限
2	関数の極限と連続関数	関数の極限、連続関数
3	導関数（1）	導関数の定義、導関数の公式、三角関数・指数関数の導関数
4	逆三角関数	逆三角関数、逆三角関数の導関数
5	導関数（2）	双曲線関数、対数微分法、媒介変数表示
6	平均値の定理とその応用	極値、平均値の定理、ロピタルの定理
7	テイラーの定理	高次導関数、テイラーの定理
8	テイラー級数	近似式と誤差の評価、テイラー級数展開、オイラーの公式
9	テイラーの定理の応用	極値、微分とグラフの凹凸、増減表
10	多変数関数	基本的な用語、多変数関数のグラフ
11	偏微分	偏微分係数、偏導関数、高階偏導関数
12	合成関数の導関数	合成関数の微分の公式、線形近似と接平面、全微分
13	2変数関数の極値	合成関数の第2次導関数, 2変数のテイラーの定理, 2変数関数の極値
14	総合演習	講義の総まとめとして演習を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】一度聞いただけで数学の知識が定着することはないので、学生は予習をして講義に臨み、講義後は復習し、さらには講義中に指示されたものや教科書の練習問題を解く等して、計算の技術を身につけて貰いたい．

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税
（第1章、第2章、第4章4.1節～4.4節を学ぶ）

【参考書】
相談に応じて紹介する．

【成績評価の方法と基準】
微分及び偏微分の計算、逆三角関数や双曲線関数の理解、テイラーの定理の利用、多変数関数の極値の問題の解法等について、十分な能力を身につけたかを期末試験の成績(60%)、提出課題（40%）として総合的に評価する． 初回の授業で課題の提出ルールを説明する．
成績評価の方法と基準を変更する場合がある．その場合の具体的な方法と基準は，学習支援システムまたは授業中に提示する．

【学生の意見等からの気づき】
学習の習慣化が不十分である．履修内容の理解・定着に必要な学習方法・分量について真剣に考えてもらいたい．

【その他の重要事項】
以下のように学習支援システムを利用する．
・オンライン受講に必要な情報の提供
・授業資料の配布
・課題の出題および提出

【Outline (in English)】
(Course outline)
Learn the method of differentiation and partial differentiation and its application which form the foundation of mathematics required in various fields of science and engineering.
(Learning Objectives)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Short reports 40%, Term-end examination 60%.
The methods and criteria for grading may change. Specific methods and standards in that case will be presented in the learning support system or during class.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

入門数学

高木　悟

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎学力を拡充しつつ、微分積分学（及び）演習Ⅰをフォローする講義・演習です.
高校数学の復習から始め，上述講義の進度に合わせて演習，解説を行います.

【到達目標】
高校で習う微分法の復習から始め，逆三角関数や陰関数の理解をし，極限値や導関数，偏導関数などの計算能力を高めることを目標とします．さらにそれを用いて工学に応用するための基礎を勉強します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前半に単元の説明をし，後半に演習をします．自ら積極的に問題を解くことが要求されます．毎回最後に課題を出し，その解答を個別確認してフィードバックします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	三角関数	三角関数の復習をし，演習を行ないます.
2	数列の極限	数列の極限の難しさを観察し，演習を行ないます.
3	指数関数・対数関数・逆三角関数	指数関数，対数関数，逆三角関数を解説します.
4	関数の極限	導関数の定義，三角関数・指数関数の導関数の計算をします.
5	微分法	極値，平均値の定理，ロピタルの定理を解説します.
6	微分の計算	様々な関数の微分計算をします.
7	微分法の応用	微分がどういった場面で必要とされるかを解説します.
8	極値問題	具体的な例をあげ，計算演習をします.
9	偏微分	偏微分係数，偏導関数の解説をします.
10	偏微分の計算	様々な関数の偏微分計算をします.
11	接平面の方程式	接平面の方程式を具体的に計算します.
12	２変数関数の極値問題	２変数関数の極値について考えます.
13	条件付き極値問題	条件の付いた極値問題を考えます.
14	総合演習	これまで習った事項の総合演習をします.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，1回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通すこと，前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税

【参考書】
(1)「理工系のための基礎数学 [改訂増補版]」高木他著，培風館, 2020
(2)「理工系のための微分積分 [改訂版]」長谷川他著，培風館, 2023

【成績評価の方法と基準】
到達目標を達成できているかどうか，授業時の課題（70%）とレビューシート（30%）で評価する．期末試験は実施しない.

【学生の意見等からの気づき】
レビューシートを用いて，微分積分学（及び）演習Ⅰの授業で理解できていない項目をヒアリングし，それを次回フォローする.

【その他の重要事項】
同時に微分積分学（及び）演習Ⅰを履修すること.
授業に関する連絡は「学習支援システム」のお知らせに掲載するので，こまめにチェックすること.

【Outline (in English)】
The main object is to support the student could understand fundamental properties of Calculus.
(Goal)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Assignments 70%, Review sheets 30%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

入門物理学

鈴木　健夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学は自然科学や工学の基礎である。この授業では力学を中心に物理現象の原理を理解し、自ら考え作業することを通じて物理の基本的な概念・法則を身に着け、それを応用して自然科学の諸現象を理解する力を養い、物理的思考法・科学的思考法を身につけることを目標とする。特に高校時代に物理を履修していなかったり、理解が十分でなかった学生を対象とする。

【到達目標】
・運動の分析（速度・加速度、x-tグラフ・v-tグラフの理解）。
・力の理解（つり合い、力のベクトル性、作用反作用の法則）。
・運動方程式を典型的な例（等加速度直線運動、等速円運動、単振動）に適用し使いこなせるようにする。
・運動量と力積、運動量保存則の理解。
・仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存則について概念を理解し、基礎的な問題に適用できるようにする。
・波動、音、光について基本的な内容のいくつかについて理解を深める。
上記の諸項目についてその概念を取り囲む背景を踏まえてその数学的記述（グラフ化、数式化）ができるようにする。微積分など数学的な手法は必要に応じて使い、高校から大学への移行が自然に行われるように進める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
講義と内容に沿った実験、実習を組み合わせて授業を進める。相互作用型演示実験講義(ILDs)である。学習内容をもとに実験結果を個人で予想し、グループで討論した上で実験結果を確認する。さらに演習問題に取り組み理解を深めた上で確認テストにより理解度を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、運動の分析	ガイダンス ・物理量と単位、単位の換算 ・運動の分析（速度・加速度） ・x-tグラフ、v-tグラフ ・斜面上の物体の運動 ・等速直線運動
2	等加速度直線運動、落体の運動	・等加速度直線運動の公式 ・自由落下 ・ボイスメモを使った自由落下時間の測定実験（授業内） ・鉛直投射
3	落体の運動の実験、重力加速度	・斜方投射 ・加速度センサーを用いた重力加速度の測定実験（授業内及び課題）
4	静力学、運動の法則	・力のつりあい ・作用反作用 ・力と加速度、運動の法則
5	運動方程式の応用、様々な力、仕事とエネルギー	・運動方程式 ・摩擦力、弾性力 ・仕事の原理 ・運動エネルギー
6	力学的エネルギー保存の法則	・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則
7	円運動と慣性力	・等速円運動 ・向心力 ・慣性力
8	単振動	・単振動の周期・振動数 ・単振動の速度加速度 ・単振動の具体例（ばね振り子、単振り子）
9	万有引力	・ケプラーの法則 ・万有引力の法則 ・人工衛星
10	運動量と力積	・運動量と力積の定義 ・運動量保存の法則 ・反発係数 ・反発係数の測定実験（授業内）
11	波動Ⅰ（波の一般論）	・波の表現 ・横波、縦波 ・重ね合わせの原理 ・波の独立性 ・定常波
12	波動Ⅱ（干渉、音波）	・波の干渉 ・反射、屈折 ・音波の特徴 ・うなり ・ドップラー効果
13	波動Ⅲ（光）	・光波の特徴 ・光の屈折 ・光の干渉 ・回折格子による分光器の政策と実験（授業内と課題）
14	波動Ⅳ（光の性質）	・CDによる分光の実験（授業内） ・偏光 ・レンズの法則

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】準備では授業計画に示されたテーマについて教科書に目を通す、復習では授業中に行った問題演習を見直し理解が浅い部分を集中的に学習する。毎回の予習復習の時間は、4時間以上を想定している。翌週の授業開始時に前回の学習内容の確認テストを行う。また、3回程度課題が出る。これにかかる時間はそれぞれ最低4時間を想定している。

【テキスト（教科書）】
高校物理基礎、物理の教科書（数研出版など）。持っていない場合は生協等で購入。

【参考書】
よくわかる初等力学　前野昌弘著　東京書籍

【成績評価の方法と基準】
試験（50％）、毎時間ごとの振り返り・確認テスト（30％）、課題(20％)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
履修後に最後まで続けられない学生が出るため、基本的な概念の定着を図ると同時に、学生の参加による相互討論などを増やし、学生の主体的な取り組みを強める。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、
電卓、ストップウォッチ(スマホなど電卓、ストップウォッチの機能を持つものがあればそれでよい。)

【Outline (in English)】
【Course outline】
The aim of this course is to help students acquire essential concepts and laws of physics through thinking and working,and students will understand various phenomena of natural science with their concepts and laws.This course is especially aimed at students who didn't take physics in high school or didn't understand it well enough.
【Learning Objectives】
By the end of this course,students should be able to do the followings:
-Understanding motion analysis.　i.e.velocity,acceleration,and their graphs
-Understanding balance of power,and law of action and reaction
-Appling equation of motion on uniform acceleration linear motion,uniform circular motion,and simple harmonic oscillation
-Understanding momentum and impulse,conservation of momentum
-Understanding work and energy,conservation of mechanical energy
-Understanding basic concepts of thermodynamics,wave motion and electromagnetics
【Learning activities outside of classroom】
Before each class meeting,students will be expected to have read the indicated chapters from the text.After each class meeting,students will be expected to have completed the required assignment.Your study time will be more than four hours for a class.At the start of the next week class,a test will be given to confirm what was learned last week.Students will be tasked assignment report about 4 times.Your study time for this will be more than four hours for each report.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination:50%Reflection card and Confirmation test for each class meeting:30%
Assignment report:20%

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

高橋　正則

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、様々なスポーツ活動を通して、自身の身体運動に関する実践知を修得します。また、生涯にわたって健康の維持・増進を図るために、他者との関わりの中でスポーツ活動や身体運動を継続することの重要性を学びます。

【到達目標】
スポーツの基本的なルールや技術を理解し、チームメイトと協力して練習やゲームすることができるとともに、運動継続に必要な基礎的知識や態度（振り返り）を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてゴール型のスポーツ種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる場合があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと身体活動の効果について	授業の目的や方法、スケジュール、注意事項、継続した身体活動の効果について説明する。
2	体力測定	基礎体力（筋力、筋持久力、柔軟性、瞬発力、敏捷性等）をチェックし、自分自身の体力を知る。
3	バスケットボールの基礎（パス、ドリブル、シュート）	パス、ドリブル、シュート等の基本技術を習得するとともに、それらを積極的に活用しながらチームメイトと協力してゲームを行う。
4	バスケットボールの基礎（ドリブルシュート、ジャンプシュート、フリースロー、ディフェンス）	高度な技術に挑戦するとともに、チームメイトと協力して戦術を意識したゲームを行う。
5	バスケットボール（応用）試合	ゾーンディフェンスや速攻等、高度な戦術を意識してチームメイトと協力してゲームを行う。
6	フットサルの基礎	サッカーボールに慣れるとともに、フットサル用コートでチームメイトと協力してゲームを行う。
7	サッカーの基礎	ボールコントロール、パス、シュート等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
8	サッカー（応用）試合	チームメイトと協力し、攻守における戦術を意識したゲームを行う。
9	ユニホックの基礎	ユニホックの特徴を理解し、基本的なスティックの操作を習得する。またゴールへの正確なシュートを目指す。
10	ソフトバレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を確認する。またチームメイトと協力し、戦術を意識したゲームを行う。
11	卓球の基礎	フォアハンド、バックハンド、サーブ、ラリー等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
12	バレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
13	バドミントンの基礎	オーバーヘッド、サイドアーム、アンダーハンドストローク等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
14	総括	全学習内容の振り返りと体力測定結果のフィードバックを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業前における健康の維持・管理に留意するとともに、授業で行うスポーツ種目に関する競技特性やルールをあらかじめ調べておいて下さい。また、授業後には授業内容に関する自身の経験を振り返り、自己評価や今後の課題をノート等を用いてまとめて下さい。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）、競技特性とルールの理解（30%）、技術の習得（10%）により総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業内容は、感染症等の予防対策を講じながら、受講人数と使用可能な体育施設等を考慮し、参加学生に十分な運動量を確保できるよう配慮します。

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には体育実技に適した服装および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい（素足での授業出席は不可）。

【その他の重要事項】
受講希望者が多い場合には、履修年次等を考慮して抽選によって受講者を決定します。なお、使用可能な体育施設または天候等により、授業内容を変更する場合があります。

【Outline (in English)】
This course introduces an importance of continuable sport activities or physical exercise throughout concerns with others to students taking this course so as to attempt to maintain and promote the health. Some sports of goal type are mainly utilized in this class.
Your final grade in the class will be calculated affording to the the following process:
- Usual performance score: 60%
- Understanding of competition characteristics and rules: 30%
- Acquisition of skills: 10%

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

高橋　正則

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、様々なスポーツ活動を通して、自身の身体運動に関する実践知を修得します。また、生涯にわたって健康の維持・増進を図るために、他者との関わりの中でスポーツ活動や身体運動を継続することの重要性を学びます。

【到達目標】
スポーツの基本的なルールや技術を理解し、チームメイトと協力してゲームすることができるとともに、運動継続に必要な基礎的知識や態度（振り返り）を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてゴール型のスポーツ種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる場合があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと身体活動の効果について	授業の目的や方法、スケジュール、注意事項、および継続した身体活動の効果について説明する。
2	体力測定	基礎体力（筋力、筋持久力、柔軟性、瞬発力、敏捷性等）をチェックし、自分自身の体力を知る。
3	バスケットボールの基礎（パス、ドリブル、シュート）	パス、ドリブル、シュート等の基本技術を習得するとともに、それらを積極的に活用しながらチームメイトと協力してゲームを行う。
4	バスケットボールの基礎（ドリブルシュート、ジャンプシュート、フリースロー、ディフェンス）	高度な技術に挑戦するとともに、チームメイトと協力して戦術を意識したゲームを行う。
5	バスケットボール（応用）試合	ゾーンディフェンスや速攻等、高度な戦術を意識してチームメイトと協力してゲームを行う。
6	フットサルの基礎	サッカーボールに慣れるとともに、フットサル用コートでチームメイトと協力してゲームを行う。
7	サッカーの基礎	ボールコントロール、パス、シュート等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
8	サッカー（応用）試合	チームメイトと協力し、攻守における戦術を意識したゲームを行う。
9	ユニホックの基礎	ユニホックの特徴を理解し、基本的なスティックの操作を習得する。またゴールへの正確なシュートを目指す。
10	ソフトバレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を確認する。またチームメイトと協力し、戦術を意識したゲームを行う。
11	卓球の基礎	フォアハンド、バックハンド、サーブ、ラリー等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
12	バレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
13	バドミントンの基礎	オーバーヘッド、サイドアーム、アンダーハンドストローク等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
14	総括	全学習内容の振り返りと体力測定結果のフィードバックを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業前における健康の維持・管理に留意するとともに、授業で行うスポーツ種目に関する競技特性やルールをあらかじめ調べておいて下さい。また、授業後には授業内容に関する自身の経験を振り返り、自己評価や今後の課題をノート等を用いてまとめて下さい。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60％）、競技特性とルールの理解（30％）、技術の習得（10％）により総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業内容は、感染症等の予防対策を講じながら、受講人数と使用可能な体育施設等を考慮し、参加学生に十分な運動量を確保できるよう配慮します。

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には体育実技に適した服装および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい（素足での授業出席は不可）。

【その他の重要事項】
受講希望者が多い場合には、履修年次等を考慮して抽選によって受講者を決定します。なお、使用可能な体育施設または天候等により、授業内容を変更する場合があります。

【Outline (in English)】
This course introduces an importance of continuable sport activities or physical exercise throughout concerns with others to students taking this course so as to attempt to maintain and promote the health. Some sports of goal type are mainly utilized in this class.
Your final grade in the class will be calculated affording to the the following process:
- Usual performance score: 60%
- Understanding of competition characteristics and rules: 30%
- Acquisition of skills: 10%

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

谷内　花恵

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます.
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して，基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ことで，基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します．また，体力測定の実施により自分自身の体力を知り，運動・生活習慣を見直すと共に，授業を通して大学卒業後にスポーツを取り入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します.

【到達目標】
1，ゴール型スポーツ種目の基本的技術，競技特性，ルール，ゲーム方法を学ぶ
2，体力の向上を通じて，心身の健康維持を図ることができる
3，体力測定の実施により自身の体力を把握し，運動・生活習慣を見直すことができる
4，スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる
5，実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します．履修希望者が多数の場合には，初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します．第2回目は体力測定を実施します．第3回目以降は各種スポーツ実技を実施します．各種スポーツ種目では，主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます．あわせて，準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します．最終回の授業では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します.
なお，大体育館の天井工事に伴い種目や場所が変更となる可能性があります．詳細はガイダンス等でお知らせします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的，到達目標，履修上の注意，成績評価などの説明　*希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	バスケットボール	競技特性を理解し，ドリブル，パス，シュートなどの基礎的技術を学ぶ
4	バスケットボール	１対１の基礎を学ぶ
5	バスケットボール	２対２，３対３のミニゲームを実施しチームでの攻防を学ぶ
6	バスケットボール	５対５のミニゲームを実施し，チームでの攻防を学ぶ
7	バスケットボール	試合形式のゲームを実施しバスケットボール全体を体験的に理解する
8	フットサル	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
9	フットサル	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
10	サッカー	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
11	サッカー	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
12	ヨーガ	ヨーガの特性を理解し，基本的な呼吸法を学ぶ
13	ヨーガ	ヨーガの呼吸法，ポーズ，瞑想を学び，心と身体の繋がりを体験的に理解する
14	総括	これまでの授業の振り返り，将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業にあたり心身の不調がないように体調を十分に整えた上で授業に臨むこと.

【テキスト（教科書）】
必要に応じて資料を配布します.

【参考書】
授業担当教員が必要に応じて紹介します.

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度(10%)とします.
評価の際には【個人カード】を重視し，総合的に評価します.

【学生の意見等からの気づき】
学生が主体的に授業に参加でするように工夫していきます．また，学生の様子や要望によって授業内容を検討していきます.

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には運動着および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい.

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は，定員を32名として抽選を行います．受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで，必ず初回の授業に参加してください．天候等により教場が変更になることがありますので，その場合は掲示板で確認してください.
体調不良，怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は担当教員に報告・相談すること.

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.
【Learning Objectives】

1.To study the basic techniques, athletic characteristics, rules, and game methods of goal-type sports.
2.To maintain physical and mental health through the improvement of physical fitness.
3.Physical fitness testing will enable the participants to understand their physical fitness and to review their exercise and lifestyle habits.
4.To acquire social skills such as discipline and communication through practical sports.
5.To learn lifelong exercise habits through practical training.
【Learning activities outside of classroom】
Students will be expected to be in good health condition. Your study time is one hour.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on Leadership, class contribution and attitude:60%, Game characteristics and understanding of the rules :30%, skill level:10%.
Grading will be comprehensive with an importance on the personal card.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

谷内　花恵

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます．
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して，基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ことで，基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します．また，体力測定の実施により自分自身の体力を知り，運動・生活習慣を見直すと共に，授業を通して大学卒業後にスポーツを取り入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します．

【到達目標】
1，ゴール型スポーツ種目の基本的技術，競技特性，ルール，ゲーム方法を学ぶ
2，体力の向上を通じて，心身の健康維持を図ることができる
3，体力測定の実施により自身の体力を把握し，運動・生活習慣を見直すことができる
4，スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる
5，実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します．履修希望者が多数の場合には，初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します．第2回目は体力測定を実施します．第3回目以降は各種スポーツ実技を実施します．各種スポーツ種目では，主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます．あわせて，準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します．最終回の授業では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します．
なお，大体育館の天井工事に伴い種目や場所が変更となる可能性があります．詳細はガイダンス等でお知らせします．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的，到達目標，履修上の注意，成績評価などの説明　＊希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	バスケットボール	競技特性を理解し，ドリブル，パス，シュートなどの基礎的技術を学ぶ
4	バスケットボール	１対１の基礎を学ぶ
5	バスケットボール	２対２，３対３のミニゲームを実施しチームでの攻防を学ぶ
6	バスケットボール	５対５のミニゲームを実施し，チームでの攻防を学ぶ
7	バスケットボール	試合形式のゲームを実施しバスケットボール全体を体験的に理解する
8	フットサル	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
9	フットサル	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
10	サッカー	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
11	サッカー	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
12	ヨーガ	ヨーガの特性を理解し，基本的な呼吸法を学ぶ
13	ヨーガ	ヨーガの呼吸法，ポーズ，瞑想を学び，心と身体の繋がりを体験的に理解する
14	総括	これまでの授業の振り返り，将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業にあたり心身の不調がないように体調を十分に整えた上で授業に臨むこと．

【テキスト（教科書）】
必要に応じて資料を配布します．

【参考書】
授業担当教員が必要に応じて紹介します．

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度(10%)とします．
評価の際には【個人カード】を重視し，総合的に評価します．

【学生の意見等からの気づき】
学生が主体的に授業に参加でするように工夫していきます．また，学生の様子や要望によって授業内容を検討していきます．

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には運動着および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい．

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は，定員を32名として抽選を行います．受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで，必ず初回の授業に参加してください．天候等により教場が変更になることがありますので，その場合は掲示板で確認してください．
体調不良，怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は担当教員に報告・相談すること．

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.
【Learning Objectives】
1.To study the basic techniques, athletic characteristics, rules, and game methods of goal-type sports.
2.To maintain physical and mental health through the improvement of physical fitness.
3.Physical fitness testing will enable the participants to understand their physical fitness and to review their exercise and lifestyle habits.
4.To acquire social skills such as discipline and communication through practical sports.
5.To learn lifelong exercise habits through practical training.
【Learning activities outside of classroom】
Students will be expected to be in good health condition. Your study time is one hour.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on Leadership, class contribution and attitude:60%, Game characteristics and understanding of the rules :30% , skill level:10%.
Grading will be comprehensive with an importance on the personal card.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

植村　直己

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①ゴール型スポーツ種目の基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します。
第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第4回	アルティメット	フライングディスク基礎、ゲーム
第5回	サッカー	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第6回	アルティメット	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第7回	サッカー	基礎練習、ゲーム
第8回	バスケットボール	競技特性、ルールの理解、ゲーム
第9回	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第11回	バスケットボール	基礎練習、ゲーム
第12回	ソフトバレーボール	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

高橋　正則

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、様々なスポーツ活動を通して、自身の身体運動に関する実践知を修得します。また、生涯にわたって健康の維持・増進を図るために、他者との関わりの中でスポーツ活動や身体運動を継続することの重要性を学びます。

【到達目標】
スポーツの基本的なルールや技術を理解し、チームメイトと協力してゲームすることができるとともに、運動継続に必要な基礎的知識や態度（振り返り）を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてゴール型のスポーツ種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる場合があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと身体活動の効果について	授業の目的や方法、スケジュール、注意事項、身体活動の効果について説明する。
2	体力測定	基礎体力（筋力、筋持久力、柔軟性、瞬発力、敏捷性等）をチェックし、自分自身の体力を知る。
3	バスケットボールの基礎（パス、ドリブル、シュート）	パス、ドリブル、シュート等の基本技術を習得するとともに、それらを積極的に活用しながらチームメイトと協力してゲームを行う。
4	バスケットボールの基礎（ドリブルシュート、ジャンプシュート、フリースロー、ディフェンス）	高度な技術に挑戦するとともに、チームメイトと協力して戦術を意識したゲームを行う。
5	バスケットボール（応用）試合	ゾーンディフェンスや速攻等、高度な戦術を意識してチームメイトと協力してゲームを行う。
6	フットサルの基礎	サッカーボールに慣れるとともに、フットサル用コートでチームメイトと協力してゲームを行う。
7	サッカーの基礎	ボールコントロール、パス、シュート等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
8	サッカー（応用）試合	チームメイトと協力し、攻守における戦術を意識したゲームを行う。
9	ユニホックの基礎	ユニホックの特徴を理解し、基本的なスティックの操作を習得する。またゴールへの正確なシュートを目指す。
10	ソフトバレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を確認する。またチームメイトと協力し、戦術を意識したゲームを行う。
11	卓球の基礎	フォアハンド、バックハンド、サーブ、ラリー等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
12	バレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
13	バドミントンの基礎	オーバーヘッド、サイドアーム、アンダーハンドストローク等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
14	総括	全学習内容の振り返りと体力測定結果のフィードバックを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業前における健康の維持・管理に留意するとともに、授業で行うスポーツ種目に関する競技特性やルールをあらかじめ調べておいて下さい。また、授業後には授業内容に関する自身の経験を振り返り、自己評価や今後の課題をノート等を用いてまとめて下さい。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60％）、競技特性とルールの理解（30％）、技術の習得（10％）により総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業内容は、感染症等の予防対策を講じながら、受講人数と使用可能な体育施設等を考慮し、参加学生に十分な運動量を確保できるよう配慮します。

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には体育実技に適した服装および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい（素足での授業出席は不可）。

【その他の重要事項】
受講希望者が多い場合には、履修年次等を考慮して抽選によって受講者を決定します。なお、使用可能な体育施設または天候等により、授業内容を変更する場合があります。

【Outline (in English)】
This course introduces an importance of continuable sport activities or physical exercise throughout concerns with others to students taking this course so as to attempt to maintain and promote the health. Some sports of goal type are mainly utilized in this class.
Your final grade in the class will be calculated affording to the the following process:
- Usual performance score: 60%
- Understanding of competition characteristics and rules: 30%
- Acquisition of skills: 10%

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

高橋　正則

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、様々なスポーツ活動を通して、自身の身体運動に関する実践知を修得します。また、生涯にわたって健康の維持・増進を図るために、他者との関わりの中でスポーツ活動や身体運動を継続することの重要性を学びます。

【到達目標】
スポーツの基本的なルールや技術を理解し、チームメイトと協力してゲームすることができるとともに、運動継続に必要な基礎的知識や態度（振り返り）を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてゴール型のスポーツ種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる場合があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと身体活動の効果について	授業の目的や方法、スケジュール、注意事項、身体活動の効果について説明する。
2	体力測定	基礎体力（筋力、筋持久力、柔軟性、瞬発力、敏捷性等）をチェックし、自分自身の体力を知る。
3	バスケットボールの基礎（パス、ドリブル、シュート）	パス、ドリブル、シュート等の基本技術を習得するとともに、それらを積極的に活用しながらチームメイトと協力してゲームを行う。
4	バスケットボールの基礎（ドリブルシュート、ジャンプシュート、フリースロー、ディフェンス）	高度な技術に挑戦するとともに、チームメイトと協力して戦術を意識したゲームを行う。
5	バスケットボール（応用）試合	ゾーンディフェンスや速攻等、高度な戦術を意識してチームメイトと協力してゲームを行う。
6	フットサルの基礎	サッカーボールに慣れるとともに、フットサル用コートでチームメイトと協力してゲームを行う。
7	サッカーの基礎	ボールコントロール、パス、シュート等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
8	サッカー（応用）試合	チームメイトと協力し、攻守における戦術を意識したゲームを行う。
9	ユニホックの基礎	ユニホックの特徴を理解し、基本的なスティックの操作を習得する。またゴールへの正確なシュートを目指す。
10	ソフトバレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を確認する。またチームメイトと協力し、戦術を意識したゲームを行う。
11	卓球の基礎	フォアハンド、バックハンド、サーブ、ラリー等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
12	バレーボールの基礎	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ等の基本技術を積極的に活用し、チームメイトと協力してゲームを行う。
13	バドミントンの基礎	オーバーヘッド、サイドアーム、アンダーハンドストローク等の基本技術を積極的に活用し、ペアと協力してゲームを行う。
14	総括	全学習内容の振り返りと体力測定結果のフィードバックを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】授業前における健康の維持・管理に留意するとともに、授業で行うスポーツ種目に関する競技特性やルールをあらかじめ調べておいて下さい。また、授業後には授業内容に関する自身の経験を振り返り、自己評価や今後の課題をノート等を用いてまとめて下さい。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60％）、競技特性とルールの理解（30％）、技術の習得（10％）により総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業内容は、感染症等の予防対策を講じながら、受講人数と使用可能な体育施設等を考慮し、参加学生に十分な運動量を確保できるよう配慮します。

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には体育実技に適した服装および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい（素足での授業出席は不可）。

【その他の重要事項】
受講希望者が多い場合には、履修年次等を考慮して抽選によって受講者を決定します。なお、使用可能な体育施設または天候等により、授業内容を変更する場合があります。

【Outline (in English)】
This course introduces an importance of continuable sport activities or physical exercise throughout concerns with others to students taking this course so as to attempt to maintain and promote the health. Some sports of goal type are mainly utilized in this class.
Your final grade in the class will be calculated affording to the the following process:
- Usual performance score: 60%
- Understanding of competition characteristics and rules: 30%
- Acquisition of skills: 10%

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

谷内　花恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます．
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して，基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ことで，基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します．また，体力測定の実施により自分自身の体力を知り，運動・生活習慣を見直すと共に，授業を通して大学卒業後にスポーツを取り入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します．

【到達目標】
1，ゴール型スポーツ種目の基本的技術，競技特性，ルール，ゲーム方法を学ぶ
2，体力の向上を通じて，心身の健康維持を図ることができる
3，体力測定の実施により自身の体力を把握し，運動・生活習慣を見直すことができる
4，スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる
5，実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します．履修希望者が多数の場合には，初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します．第2回目は体力測定を実施します．第3回目以降は各種スポーツ実技を実施します．各種スポーツ種目では，主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます．あわせて，準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します．最終回の授業では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します．
なお，大体育館の天井工事に伴い種目や場所が変更となる可能性があります．詳細はガイダンス等でお知らせします．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的，到達目標，履修上の注意，成績評価などの説明　*希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	バスケットボール	競技特性を理解し，ドリブル，パス，シュートなどの基礎的技術を学ぶ
4	バスケットボール	１対１の基礎を学ぶ
5	バスケットボール	２対２，３対３のミニゲームを実施しチームでの攻防を学ぶ
6	バスケットボール	５対５のミニゲームを実施し，チームでの攻防を学ぶ
7	バスケットボール	試合形式のゲームを実施しバスケットボール全体を体験的に理解する
8	フットサル	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
9	フットサル	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
10	サッカー	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
11	サッカー	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
12	ヨーガ	ヨーガの特性を理解し，基本的な呼吸法を学ぶ
13	ヨーガ	ヨーガの呼吸法，ポーズ，瞑想を学び，心と身体の繋がりを体験的に理解する
14	総括	これまでの授業の振り返り，将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業にあたり心身の不調がないように体調を十分に整えた上で授業に臨むこと．

【テキスト（教科書）】
必要に応じて資料を配布します．

【参考書】
授業担当教員が必要に応じて紹介します．

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度(10%)とします．
評価の際には【個人カード】を重視し，総合的に評価します．

【学生の意見等からの気づき】
学生が主体的に授業に参加でするように工夫していきます．また，学生の様子や要望によって授業内容を検討していきます．

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には運動着および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい．

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は，定員を32名として抽選を行います．受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで，必ず初回の授業に参加してください．天候等により教場が変更になることがありますので，その場合は掲示板で確認してください．
体調不良，怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は担当教員に報告・相談すること．

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.
【Learning Objectives】

1.To study the basic techniques, athletic characteristics, rules, and game methods of goal-type sports.
2.To maintain physical and mental health through the improvement of physical fitness.
3.Physical fitness testing will enable the participants to understand their physical fitness and to review their exercise and lifestyle habits.
4.To acquire social skills such as discipline and communication through practical sports.
5.To learn lifelong exercise habits through practical training.
【Learning activities outside of classroom】
Students will be expected to be in good health condition. Your study time is one hour.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on Leadership, class contribution and attitude:60%, Game characteristics and understanding of the rules :30%, skill level:10%.
Grading will be comprehensive with an importance on the personal card.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

谷内　花恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます．
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して，基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ことで，基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します．また，体力測定の実施により自分自身の体力を知り，運動・生活習慣を見直すと共に，授業を通して大学卒業後にスポーツを取り入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します．

【到達目標】
1，ゴール型スポーツ種目の基本的技術，競技特性，ルール，ゲーム方法を学ぶ
2，体力の向上を通じて，心身の健康維持を図ることができる
3，体力測定の実施により自身の体力を把握し，運動・生活習慣を見直すことができる
4，スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる
5，実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します．履修希望者が多数の場合には，初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します．第2回目は体力測定を実施します．第3回目以降は各種スポーツ実技を実施します．各種スポーツ種目では，主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます．あわせて，準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します．最終回の授業では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します．
なお，大体育館の天井工事に伴い種目や場所が変更となる可能性があります．詳細はガイダンス等でお知らせします．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的，到達目標，履修上の注意，成績評価などの説明　*希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	バスケットボール	競技特性を理解し，ドリブル，パス，シュートなどの基礎的技術を学ぶ
4	バスケットボール	１対１の基礎を学ぶ
5	バスケットボール	２対２，３対３のミニゲームを実施しチームでの攻防を学ぶ
6	バスケットボール	５対５のミニゲームを実施し，チームでの攻防を学ぶ
7	バスケットボール	試合形式のゲームを実施しバスケットボール全体を体験的に理解する
8	フットサル	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
9	フットサル	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
10	サッカー	競技特性を理解し，基礎技術のトレーニングを実施する
11	サッカー	基礎技術のトレーニングおよび，ミニゲームを実施する
12	ヨーガ	ヨーガの特性を理解し，基本的な呼吸法を学ぶ
13	ヨーガ	ヨーガの呼吸法，ポーズ，瞑想を学び，心と身体の繋がりを体験的に理解する
14	総括	これまでの授業の振り返り，将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業にあたり心身の不調がないように体調を十分に整えた上で授業に臨むこと．

【テキスト（教科書）】
必要に応じて資料を配布します．

【参考書】
授業担当教員が必要に応じて紹介します．

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度(10%)とします．
評価の際には【個人カード】を重視し，総合的に評価します．

【学生の意見等からの気づき】
学生が主体的に授業に参加でするように工夫していきます．また，学生の様子や要望によって授業内容を検討していきます．

【学生が準備すべき機器他】
実技実施の際には運動着および運動靴（室内用及び屋外用）を必ず用意して下さい．

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は，定員を32名として抽選を行います．受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで，必ず初回の授業に参加してください．天候等により教場が変更になることがありますので，その場合は掲示板で確認してください．
体調不良，怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は担当教員に報告・相談すること．

【Outline (in English)】
【Course outline】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.
【Learning Objectives】

1.To study the basic techniques, athletic characteristics, rules, and game methods of goal-type sports.
2.To maintain physical and mental health through the improvement of physical fitness.
3.Physical fitness testing will enable the participants to understand their physical fitness and to review their exercise and lifestyle habits.
4.To acquire social skills such as discipline and communication through practical sports.
5.To learn lifelong exercise habits through practical training.
【Learning activities outside of classroom】
Students will be expected to be in good health condition. Your study time is one hour.
【Grading Criteria /Policy】
Grading will be decided based on Leadership, class contribution and attitude:60%, Game characteristics and understanding of the rules :30%, skill level:10%.
Grading will be comprehensive with an importance on the personal card.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅰ

植村　直己

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主にゴール型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①ゴール型スポーツ種目の基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します。
第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、主にゴール型ボールゲームを中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第4回	アルティメット	フライングディスク基礎、ゲーム
第5回	サッカー	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第6回	アルティメット	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第7回	サッカー	基礎練習、ゲーム
第8回	バスケットボール	競技特性、ルールの理解、ゲーム
第9回	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第11回	バスケットボール	基礎練習、ゲーム
第12回	ソフトバレーボール	ルール、競技特性の理解、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
　体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this class, you will understand the significance and importance of sports and physical exercise through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on goal-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

越智　英輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

越智　英輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

越智　英輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

金光　興二

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトボール	ルールを理解、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅱ

越智　英輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主としてベースボール型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
4	ソフトボール	競技特性、ゲーム
5	ソフトボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	ソフトボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

植田　央

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトバレーボール	ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities. Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution (60%), level of understanding(30%), and technical acquisition (10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

高田　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1.スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2.自分のからだを良く理解し，からだやものを安全かつうまく使える
3.他者を良く理解し，うまくコミュニケーションがとれる
4.各種スポーツの基本的な技術を習得する
5.各種スポーツの競技特性・ルールを理解し，かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。授業の最終回では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要，目的，到達目標，履修上の注意と成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
第3回	ソフトバレーボール（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第4回	バレーボール（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第5回	バレーボール（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第6回	テニス（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第7回	テニス（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第8回	アルティメット（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第9回	卓球（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第10回	卓球（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第11回	バドミントン（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第12回	バドミントン（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第13回	バスケットボール（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第14回	授業のまとめと解説	これまでの授業の振り返り，体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・実技形式の授業のため，心身を十分に整えた上で授業に臨むこと。
・準備学習として，各競技の基本的なルールを調べる。
・復習として，授業での自身の反省をまとめる。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
・リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度（10%）とします。
・【個人カード】を重視し，総合的に評価します。
・臨機応変に柔軟かつ積極的に対応する姿勢や，学生間で協力する姿勢を高く評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
シューズ（屋内，屋外）を含めて，スポーツを実施するためにふさわしい服装を準備してください。普段着，素足やサンダルでの受講は認めません。

【その他の重要事項】
・履修を希望する学生が多数の場合は，初回のガイダンス時に抽選をします。
・競技レベルや性別は問いません。
・安全面を考慮し，アクセサリー類は外して臨んでください。
・履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
・授業前に必ず体育館事務室前の掲示板で授業の実施場所を確認してください。
・担当教員は，日本バスケットボール協会公認C級コーチ，公認キッズサポーターおよび日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かしたスポーツの指導を行います。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
This course deals with the sports and physical activities. It also enhances the development of students' skill in a communication with others.
Course outline: This course introduce essential the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

植田　央

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	ソフトバレーボール	ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities. Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution (60%), level of understanding(30%), and technical acquisition (10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

高田　佑輔

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を，自分自身や他者との関わりによって理解し，生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1.スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2.自分のからだを良く理解し，からだやものを安全かつうまく使える
3.他者を良く理解し，うまくコミュニケーションがとれる
4.各種スポーツの基本的な技術を習得する
5.各種スポーツの競技特性・ルールを理解し，かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。授業の最終回では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要，目的，到達目標，履修上の注意と成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
第3回	ソフトバレーボール（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第4回	バレーボール（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第5回	バレーボール（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第6回	テニス（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第7回	テニス（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第8回	アルティメット（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第9回	卓球（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第10回	卓球（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第11回	バドミントン（導入）	競技特性とルールの理解，ゲーム
第12回	バドミントン（基本技術）	基本的技術の習得，ゲーム
第13回	バスケットボール（基本技術）	競技特性とルールの理解，基本的技術の習得，ゲーム
第14回	授業のまとめと解説	これまでの授業の振り返り，体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・実技形式の授業のため，心身を十分に整えた上で授業に臨むこと。
・準備学習として，各競技の基本的なルールを調べる。
・復習として，授業での自身の反省をまとめる。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
・リーダーシップ，積極性，態度などの平常点（60%），競技特性やルールの理解度（30%），技術の習得度（10%）とします。
・【個人カード】を重視し，総合的に評価します。
・臨機応変に柔軟かつ積極的に対応する姿勢や，学生間で協力する姿勢を高く評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
シューズ（屋内，屋外）を含めて，スポーツを実施するためにふさわしい服装を準備してください。普段着，素足やサンダルでの受講は認めません。

【その他の重要事項】
・履修を希望する学生が多数の場合は，初回のガイダンス時に抽選をします。
・競技レベルや性別は問いません。
・安全面を考慮し，アクセサリー類は外して臨んでください。
・履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
・授業前に必ず体育館事務室前の掲示板で授業の実施場所を確認してください。
・担当教員は，日本バスケットボール協会公認C級コーチ，公認キッズサポーターおよび日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かしたスポーツの指導を行います。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
This course deals with the sports and physical activities. It also enhances the development of students' skill in a communication with others.
Course outline: This course introduce essential the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅲ

越智　英輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋内ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	安静時心拍数，体脂肪率，長座体前屈，握力などの測定
3	ソフトバレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	バレーボール	競技特性・ルールを理解、ゲーム
5	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
6	バレーボール	応用的技術の理解、ゲーム
7	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	テニス	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技の紹介・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom:Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植田　央

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス	ルールを理解、ゲーム
4	テニス	競技特性、ゲーム
5	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
6	テニス	応用的技術の理解、ゲーム
7	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities. Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution (60%), level of understanding(30%), and technical acquisition (10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

高田　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。授業の最終回では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス（導入）	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	テニス（基本技術）	基本的技術の習得、ゲーム
5	テニス（基本技術）	基本的技術の理解、ゲーム
6	アルティメット（基本技術）	競技の紹介・ルールの理解、ゲーム
7	バドミントン（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
8	バドミントン（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	卓球（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
10	卓球（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
11	バレーボール（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
12	バレーボール（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
13	バスケットボール（基本技術）	競技の紹介・ルールの理解、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・実技形式の授業のため，心身を十分に整えた上で授業に臨むこと。
・準備学習として，各競技の基本的なルールを調べる。
・復習として，授業での自身の反省をまとめる。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。その際は学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
シューズ（屋内，屋外）を含めて，スポーツを実施するためにふさわしい服装を準備してください。普段着，素足やサンダルでの受講は認めません。

【その他の重要事項】
・履修を希望する学生が多数の場合は，初回のガイダンス時に抽選をします。
・競技レベルや性別は問いません。
・安全面を考慮し，アクセサリー類は外して臨んでください。
・履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
・授業前に必ず体育館事務室前の掲示板で授業の実施場所を確認してください。
・担当教員は，日本バスケットボール協会公認C級コーチ，公認キッズサポーターおよび日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かしたスポーツの指導を行います。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduce essential the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植村　直己

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主に屋外ネット型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①屋外ネット型スポーツ種目を中心として、基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します。第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、屋外ネット型ゲーム等を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。
最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	テニス	基本ストロークのグリップ、スィング法
第4回	テニス	基礎練習、ルール、ゲーム
第5回	テニス	競技特性・ルールの理解、ダブルス形式
第6回	テニス	ダブルスゲーム
第7回	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第8回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第9回	ソフトバレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	バレーボール	基本的技術の習得、ルールの理解、ゲーム
第11回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第12回	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、体力測定データの解説、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特にありません。必要に応じて適宜資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
　体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this course, you will understand the significance and importance of sports and physical activity through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on net-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植村　直己

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主に屋外ネット型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①屋外ネット型スポーツ種目を中心として、基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します。第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、屋外ネット型ゲーム等を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。
最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	テニス	基本ストロークのグリップ、スィング法
第4回	テニス	基礎練習、ルール、ゲーム
第5回	テニス	競技特性・ルールの理解、ダブルス形式
第6回	テニス	ダブルスゲーム
第7回	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第8回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第9回	ソフトバレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	バレーボール	基本的技術の習得、ルールの理解、ゲーム
第11回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第12回	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、体力測定データの解説、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特にありません。必要に応じて適宜資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
　体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this course, you will understand the significance and importance of sports and physical activity through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on net-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

金光　興二

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス	ルールを理解、ゲーム
4	テニス	競技特性、ゲーム
5	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
6	テニス	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植田　央

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス	ルールを理解、ゲーム
4	テニス	競技特性、ゲーム
5	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
6	テニス	応用的技術の理解、ゲーム
7	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
9	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
11	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	バレーボール	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。具体的には、授業開始日に学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities. Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution (60%), level of understanding(30%), and technical acquisition (10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

高田　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を、自分自身や他者との関わりによって理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。授業の最終回では，これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説，スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス（導入）	競技特性・ルールを理解、ゲーム
4	テニス（基本技術）	基本的技術の習得、ゲーム
5	テニス（基本技術）	基本的技術の理解、ゲーム
6	アルティメット（基本技術）	競技の紹介・ルールの理解、ゲーム
7	バドミントン（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
8	バドミントン（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	卓球（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
10	卓球（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
11	バレーボール（導入）	基本的技術の習得、ゲーム
12	バレーボール（基本技術）	競技特性・ルールの理解、ゲーム
13	バスケットボール（基本技術）	競技の紹介・ルールの理解、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
・実技形式の授業のため，心身を十分に整えた上で授業に臨むこと。
・準備学習として，各競技の基本的なルールを調べる。
・復習として，授業での自身の反省をまとめる。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。その際は学習支援システム上に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
シューズ（屋内，屋外）を含めて，スポーツを実施するためにふさわしい服装を準備してください。普段着，素足やサンダルでの受講は認めません。

【その他の重要事項】
・履修を希望する学生が多数の場合は，初回のガイダンス時に抽選をします。
・競技レベルや性別は問いません。
・安全面を考慮し，アクセサリー類は外して臨んでください。
・履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
・授業前に必ず体育館事務室前の掲示板で授業の実施場所を確認してください。
・担当教員は，日本バスケットボール協会公認C級コーチ，公認キッズサポーターおよび日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かしたスポーツの指導を行います。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduce essential the importance of sports and physical activities to students taking this course.
Learning Objectives: The end of the course, students should acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion.
Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to spend 1 hour to understand the course content.
Grading Criteria /Policies: Grading will be decided based on skills of sports (10%), understanding rules and characteristics of sports (30%), and in-class contribution(60%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植村　直己

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主に屋外ネット型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①屋外ネット型スポーツ種目を中心として、基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員30名として受講者を決定します。第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、屋外ネット型ゲーム等を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。
最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	テニス	基本ストロークのグリップ、スィング法
第4回	テニス	基礎練習、ルール、ゲーム
第5回	テニス	競技特性・ルールの理解、ダブルス形式
第6回	テニス	ダブルスゲーム
第7回	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第8回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第9回	ソフトバレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	バレーボール	基本的技術の習得、ルールの理解、ゲーム
第11回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第12回	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、体力測定データの解説、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特にありません。必要に応じて適宜資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
　体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this course, you will understand the significance and importance of sports and physical activity through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on net-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

植村　直己

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を自分自身や他者との関わりによって実技を通じて理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を実技を通して学びます。
主に屋外ネット型のボールゲームを中心とした種目を通して、基本技術の習得やコミュニケーションの重要性を学ぶことで、基礎的かつ総合的なところから健康づくりの方法を習得します。
また、体力測定の実施により自分自身の体力を知り、運動・生活習慣を見直すと共に、授業を通して、大学卒業後にスポーツを取入れたライフスタイルをどのように構築していくかを学習します。

【到達目標】
①屋外ネット型スポーツ種目を中心として、基本的技術、競技特性、ルール、ゲーム方法を学ぶ。
②体力の向上を通じて、心身の健康維持を図ることができる。
③体力測定の実施により自身の体力を把握し、運動・生活習慣を見直すことができる。
④スポーツ実技を通じて規律やコミュニケーション能力といった社会性を習得できる。
⑤実技を通して生涯にわたる運動習慣を学習することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
週1回の実技を半期にわたって実施します。履修希望者が多数の場合には、初回のガイダンスにて授業ごとに抽選で定員32名として受講者を決定します。第2回は体力測定を実施します。第3回以降は各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ種目では、屋外ネット型ゲーム等を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮を説明します。
最終回授業では、これまでの授業の振り返りや体力測定データの解説、スポーツ・身体運動の意義・重要性について概説します。
本授業は、原則対面で実施します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細は、ガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明
第2回	体力測定	安静時心拍数、体脂肪率、長座体前屈、握力などの測定
第3回	テニス	基本ストロークのグリップ、スィング法
第4回	テニス	基礎練習、ルール、ゲーム
第5回	テニス	競技特性・ルールの理解、ダブルス形式
第6回	テニス	ダブルスゲーム
第7回	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第8回	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
第9回	ソフトバレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第10回	バレーボール	基本的技術の習得、ルールの理解、ゲーム
第11回	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
第12回	バスケットボール	基本的技術の習得、ゲーム
第13回	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
第14回	総括	これまでの授業を振り返り、体力測定データの解説、将来のスポーツ・身体運動について議論

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】実技に当たって心身の不備が無いよう、体調を十分に整えた上で授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】
特にありません。必要に応じて適宜資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点（60％）、競技特性やルールの理解度（30％）、技術の習得度（10％）とします。
評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生が要望するスポーツをできるだけ実施したい。また、要望を参考にゲームの実施方法について都度検討する。

【その他の重要事項】
初回の授業でガイダンスと履修希望者が多数の場合は、定員を32名として抽選を行います。受講希望者は集合場所を体育館事務室前の掲示板で確認したうえで、必ず初回の授業に参加してください。
天候等により教場が変更になることがありますので、その場合は掲示板で確認してください。
　体調不良、怪我などの理由で授業に参加することが困難な場合は、担当教員に報告・相談すること。
個別に連絡、相談等がある場合は、下記まで連絡願います。
担当教員メールアドレス：naomi.uemura.gg@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】
In this course, you will understand the significance and importance of sports and physical activity through practical skills through relationships with yourself and others, and learn the basics for maintaining and improving physical and mental health throughout your life from practical skills.
By learning basic skills and the importance of communication, mainly through events centered on net-type ball games, you will learn how to improve your health from a basic and comprehensive perspective.
In addition, you will learn about your own physical fitness by conducting physical fitness tests, review your exercise and lifestyle, and learn how to build a lifestyle that incorporates sports after graduating from university through classes.

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学実習Ⅳ

金光　興二

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ・身体運動の意義や重要性を各種のスポーツ実技を通して、自分自身や他者との関わりを理解し、生涯にわたる心身の健康の維持・増進のための基礎を学びます。

【到達目標】
1. スポーツ・身体運動の意義や重要性を理解する
2. 自分のからだを良く理解し、からだやものを安全かつうまく使える
3. 他者を良く理解し、うまくコミュニケーションがとれる
4. 各種スポーツの基本的な技術を習得する
5. 各種スポーツの競技特性・ルールを理解し、かつレベルに応じたルールの設定ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は選択科目です。週1回の実技を半期にわたって実施します。具体的には、初回のガイダンス及び第2回の体力測定の後、各種スポーツ実技を実施します。各種スポーツ実技では、主として屋外ネット型の運動種目を中心に基本的技術・ルールを学びます。あわせて、準備・整理運動などの安全面の配慮やニュースポーツを紹介します。詳細については初回のガイダンスで説明します。
なお、大体育館の天井工事に伴い、種目や場所が変更となる可能性があります。詳細はガイダンス等でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、到達目標、履修上の注意、成績評価などの説明 *希望者が多数の場合は抽選
2	体力測定	体脂肪率、長座体前屈、握力など
3	テニス	ルールを理解、ゲーム
4	テニス	競技特性、ゲーム
5	テニス	基本的技術の習得、ゲーム
6	テニス	応用的技術の理解、ゲーム
7	バレーボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
8	バスケットボール	競技特性・ルールの理解、ゲーム
9	バドミントン	競技特性・ルールの理解、ゲーム
10	バドミントン	基本的技術の習得、ゲーム
11	卓球	競技特性・ルールの理解、ゲーム
12	卓球	基本的技術の習得、ゲーム
13	ニュースポーツ	競技特性・ルールの理解、基本的技術の習得、ゲーム
14	総括	これまでの授業の振り返り、体力測定データのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
日頃から自分自身の体調管理につとめてください。
各種スポーツの競技特性やルールを確認した上で授業にのぞんでください。

【テキスト（教科書）】
特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】
必要に応じて紹介します。

【成績評価の方法と基準】
リーダーシップ、積極性、態度などの平常点(60%)、競技特性やルールの理解度（30%）、技術の習得度(10%)とします。評価の際には、【個人カード】を重視し、総合的に評価します。
オンライン・オンデマンド授業に変更になった場合は、成績評価の方法と基準も変更します。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートをもとに、授業内容の変更を検討します。

【その他の重要事項】
履修者数や天候などによって実施する種目や回数を変更する可能性があります。
履修を希望する学生が多数の場合は、初回のガイダンス時に抽選します。
競技レベルや性別を問いません。
シューズ（室内・屋外）を含めて、実技にふさわしい服装で参加してください。
担当教員は、企業在籍中に社会人野球現役選手および高校・大学において野球部監督の経験を有しており、その経験を生かしたスポーツ指導を行います。

【Outline (in English)】
The purpose of this course is to acquire an understanding of fundamental principles of life-long health promotion. This course also introduces the importance of sports and physical activities.
Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.
Final grade will be calculated according to the following process in-class contribution(60%), level of understanding(30%), and technical acquisition(10%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学講義Ⅰ

高田　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会において，「健康」を獲得・維持し豊かで独立した生活を送るためには，適切な運動・栄養・休養を日常生活に取り入れることが必要である。本講義では，運動・身体活動を含む様々な生活習慣が健康にどのような影響を及ぼすかを科学的知見に基づき学ぶ。これを通じ，適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に日常生活に取り入れる方法を理解することを目的とする。

【到達目標】
・健康を獲得および維持するために必要となる生活習慣の基礎知識を身につけることができる。
・身につけた知識を単なる知識として留めるだけではなく，日常生活での実践につなげることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は講義形式を対面で実施します。授業の最後に個人の考えや意見をまとめたリアクションペーパーを課し，その中からいくつかを次回授業で全体に対してフィードバックを行います。また，グループワークを実施することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方（ルール），評価方法や履修上の注意点などを説明します
2	健康とは何か	さまざまな意味がある「健康」とは何かを説明します
3	喫煙と飲酒	喫煙と飲酒について，他国の取り組みとともに説明します
4	休養と睡眠	休養と睡眠について説明します
5	ストレスと運動	ストレスと運動について説明します
6	栄養と食事1	日本人の食事についてグループワークを行います
7	栄養と食事2	生きていく上で必要な栄養と食事について説明します
8	栄養と食事3	みなさんの食事の現状把握と改善策をグループワークを通じて検討します
9	女性の健康1	女性特有の健康問題について説明します
10	女性の健康2	女性の健康問題についてグループワークを行います
11	若年者の健康問題	若年者の健康問題について説明します
12	生活習慣病と運動	生活習慣病と運動の関係について説明します
13	生涯スポーツ	ニュースポーツなど生涯スポーツについて，他国の取り組みとともに説明します
14	試験および解説	本授業の試験を行い，その後解説をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業で使用するパワーポイントのスライドを用いて授業内容の復習を十分にすること。

【テキスト（教科書）】
特に指定せず，毎回資料を配布します。

【参考書】
特に指定せず，必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業参画度（50%）とレポートや試験など（50%）によって，授業の理解度，意欲，関心，態度を総合的に評価します。授業への参画度は毎回のリアクションペーパーやグループワークの内容に加え，発言など授業への取り組み方で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
課題の提出は，学習支援システムを通じて行うこともあります。

【その他の重要事項】
・授業の運営方針や授業計画の説明などを行うため，初回の授業には必ず出席してください。
・実技科目の「スポーツ健康科学実習」と合わせて，運動や健康への関心を高めてください。
・担当教員は日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かした授業を展開します。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces the influence of a variety of lifestyle including exercise and physical activity on health benefit based on scientific insights.
(Learning Objectives)
The end of the course, students should be able to explain how to incorporate effectively and safety appropriate exercise and physical activity into daily life.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based in class contribution (50%), and the quality of the students' term end examination (50%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学講義Ⅰ

高田　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会において，「健康」を獲得・維持し豊かで独立した生活を送るためには，適切な運動・栄養・休養を日常生活に取り入れることが必要である。本講義では，運動・身体活動を含む様々な生活習慣が健康にどのような影響を及ぼすかを科学的知見に基づき学ぶ。これを通じ，適切な運動やその他の身体活動を効果的また安全に日常生活に取り入れる方法を理解することを目的とする。

【到達目標】
・健康を獲得および維持するために必要となる生活習慣の基礎知識を身につけることができる。
・身につけた知識を単なる知識として留めるだけではなく，日常生活での実践につなげることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は講義形式を対面で実施します。授業の最後に個人の考えや意見をまとめたリアクションペーパーを課し，その中からいくつかを次回授業で全体に対してフィードバックを行います。また，グループワークを実施することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	この授業の進め方（ルール），評価方法や履修上の注意点などを説明します
2	健康とは何か	さまざまな意味がある「健康」とは何かを説明します
3	喫煙と飲酒	喫煙と飲酒について，他国の取り組みとともに説明します
4	休養と睡眠	休養と睡眠について説明します
5	ストレスと運動	ストレスと運動について説明します
6	栄養と食事1	日本人の食事についてグループワークを行います
7	栄養と食事2	生きていく上で必要な栄養と食事について説明します
8	栄養と食事3	みなさんの食事の現状把握と改善策をグループワークを通じて検討します
9	女性の健康1	女性特有の健康問題について説明します
10	女性の健康2	女性の健康問題についてグループワークを行います
11	若年者の健康問題	若年者の健康問題について説明します
12	生活習慣病と運動	生活習慣病と運動の関係について説明します
13	生涯スポーツ	ニュースポーツなど生涯スポーツについて，他国の取り組みとともに説明します
14	試験および解説	本授業の試験を行い，その後解説をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
授業で使用するパワーポイントのスライドを用いて授業内容の復習を十分にすること。

【テキスト（教科書）】
特に指定せず，毎回資料を配布します。

【参考書】
特に指定せず，必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業参画度（50%）とレポートや試験など（50%）によって，授業の理解度，意欲，関心，態度を総合的に評価します。授業への参画度は毎回のリアクションペーパーやグループワークの内容に加え，発言など授業への取り組み方で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
課題の提出は，学習支援システムを通じて行うこともあります。

【その他の重要事項】
・授業の運営方針や授業計画の説明などを行うため，初回の授業には必ず出席してください。
・実技科目の「スポーツ健康科学実習」と合わせて，運動や健康への関心を高めてください。
・担当教員は日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かした授業を展開します。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
(Course outline)
This course introduces the influence of a variety of lifestyle including exercise and physical activity on health benefit based on scientific insights.
(Learning Objectives)
The end of the course, students should be able to explain how to incorporate effectively and safety appropriate exercise and physical activity into daily life.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based in class contribution (50%), and the quality of the students' term end examination (50%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学講義Ⅱ

高田　佑輔

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会において，「健康」を獲得・維持し豊かで独立した生活を送るためには，適切な運動・栄養・休養を日常生活に取り入れることが必要である。本講義では，スポーツやトレーニングが健康にどのような影響を及ぼすかを科学的知見に基づき学ぶ。これを通じ，スポーツやトレーニングを効果的また安全に日常生活に取り入れる方法を理解することを目的とする。

【到達目標】
・健康を獲得および維持するために必要となるスポーツやトレーニングの基礎知識を身につけることができる。
・身につけた知識を単なる知識として留めるだけではなく，日常生活での実践につなげることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は講義形式を対面で実施します。授業の最後に個人の考えや意見をまとめたリアクションペーパーを課し，その中からいくつかを次回授業で全体に対してフィードバックを行います。また，グループワークを実施することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	この授業の進め方（ルール），評価方法や履修上の注意点などを説明します
第2回	スポーツと体育の定義	言葉の語源や定義および世界の中等教育段階のスポーツの状況を説明します
第3回	発育発達と運動	発育・発達と運動との関係を説明します
第4回	体力の概念	体力の概念と，行動体力と防衛体力について説明します
第5回	熱中症と水分補給	熱中症の注意や水分補給について説明します
第6回	スポーツ栄養学	運動と栄養について説明します
第7回	骨格筋の働き	骨格筋の構造と筋線維の特性について説明します
第8回	トレーニングの理論	トレーニングの原理・原則について説明します
第9回	トレーニング1	筋力トレーニングについて説明します
第10回	トレーニング2	持久力のトレーニングについて説明します
第11回	トレーニング3	柔軟性のトレーニングと敏捷性のトレーニングについて説明します
第12回	古代オリンピックと近代オリンピック	古代オリンピックのはじまりと終焉，そして近代オリンピックの復興について説明します
第13回	アダプテッドスポーツ	パラリンピックに代表される障がい者スポーツやアダプテッドスポーツについて説明します
第14回	試験および解説	本授業の試験を行い，その後解説をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・準備学習として，授業のトピックスについて一週間の新聞記事から調べる。
・復習として，授業で使用する資料を用いて知識の定着を図る。

【テキスト（教科書）】
特に指定せず，毎回資料を配付します。

【参考書】
特に指定せず，必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業参画度（50%）とレポートや試験など（50%）によって，授業の理解度，意欲，関心，態度を総合的に評価します。授業への参画度は毎回のリアクションペーパーの内容や発言など授業への取り組み方で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
課題の提出は，学習支援システムを通じて行うこともあります。

【その他の重要事項】
・授業の運営方針や授業計画の説明などを行うため，初回の授業には必ず出席してください。
・実技科目の「スポーツ健康科学実習」と合わせて，運動や健康への関心を高めてください。
・担当教員は日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かした授業を展開します。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
(Course outline)
In modern society, it is necessary to incorporate appropriate exercise, nutrition, and rest in daily life for healthy and abundance. This class learn the effects of sport and training on health based on scientific knowledge.
(Learning Objectives)
The purpose of this class is to acquire an understanding of appropriate sport and training in a daily life.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based in class contribution(50%), and the quality of the term-end examination(50%).

HSS100LC（健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 100）

スポーツ健康科学講義Ⅱ

高田　佑輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会において，「健康」を獲得・維持し豊かで独立した生活を送るためには，適切な運動・栄養・休養を日常生活に取り入れることが必要である。本講義では，スポーツやトレーニングが健康にどのような影響を及ぼすかを科学的知見に基づき学ぶ。これを通じ，スポーツやトレーニングを効果的また安全に日常生活に取り入れる方法を理解することを目的とする。

【到達目標】
・健康を獲得および維持するために必要となるスポーツやトレーニングの基礎知識を身につけることができる。
・身につけた知識を単なる知識として留めるだけではなく，日常生活での実践につなげることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP2」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業は講義形式を対面で実施します。授業の最後に個人の考えや意見をまとめたリアクションペーパーを課し，その中からいくつかを次回授業で全体に対してフィードバックを行います。また，グループワークを実施することもあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	この授業の進め方（ルール），評価方法や履修上の注意点などを説明します
第2回	スポーツと体育の定義	言葉の語源や定義および世界の中等教育段階のスポーツの状況を説明します
第3回	発育発達と運動	発育・発達と運動との関係を説明します
第4回	体力の概念	体力の概念と，行動体力と防衛体力について説明します
第5回	熱中症と水分補給	熱中症の注意や水分補給について説明します
第6回	スポーツ栄養学	運動と栄養について説明します
第7回	骨格筋の働き	骨格筋の構造と筋線維の特性について説明します
第8回	トレーニングの理論	トレーニングの原理・原則について説明します
第9回	トレーニング1	筋力トレーニングについて説明します
第10回	トレーニング2	持久力のトレーニングについて説明します
第11回	トレーニング3	柔軟性のトレーニングと敏捷性のトレーニングについて説明します
第12回	古代オリンピックと近代オリンピック	古代オリンピックのはじまりと終焉，そして近代オリンピックの復興について説明します
第13回	アダプテッドスポーツ	パラリンピックに代表される障がい者スポーツやアダプテッドスポーツについて説明します
第14回	試験および解説	本授業の試験を行い，その後解説をします

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
・準備学習として，授業のトピックスについて一週間の新聞記事から調べる。
・復習として，授業で使用する資料を用いて知識の定着を図る。

【テキスト（教科書）】
特に指定せず，毎回資料を配付します。

【参考書】
特に指定せず，必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業参画度（50%）とレポートや試験など（50%）によって，授業の理解度，意欲，関心，態度を総合的に評価します。授業への参画度は毎回のリアクションペーパーの内容や発言など授業への取り組み方で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
受講学生の意見を考慮し，改善できることはその都度検討していきます。

【学生が準備すべき機器他】
課題の提出は，学習支援システムを通じて行うこともあります。

【その他の重要事項】
・授業の運営方針や授業計画の説明などを行うため，初回の授業には必ず出席してください。
・実技科目の「スポーツ健康科学実習」と合わせて，運動や健康への関心を高めてください。
・担当教員は日本スポーツ協会公認スポーツリーダーの資格を有し，その経験を生かした授業を展開します。
・授業に関する質問や相談は授業の前後に対応します。

【Outline (in English)】
(Course outline)
In modern society, it is necessary to incorporate appropriate exercise, nutrition, and rest in daily life for healthy and abundance. This class learn the effects of sport and training on health based on scientific knowledge.
(Learning Objectives)
The purpose of this class is to acquire an understanding of appropriate sport and training in a daily life.
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
(Grading Criteria /Policies)
Grading will be decided based in class contribution(50%), and the quality of the term-end examination(50%).

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

長谷川　秀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。

【到達目標】
授業では英語で自分の考えや、身の回りのことを話す、書くということから始め、英語のアカデミックライティングまでを学んでいく。”Output English”にフォーカスを置き、いままで学んだ"Input English"を使いながら、話す、書くを磨く。授業中は書く時間やミニプレゼンテーションの時間をとる。このクラスは少人数構成が望ましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーや課題などからからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
教科書を使いながら英文の書き方を学び、トピックに関する意見や考えを発表する時間、グループディスカッション、ミニプレゼンも行う。オリエンテーションで教科書の使い方、準備すべきことを説明の予定。1つのユニットを大体2回で終わるように授業を行うが、教科書以外の内容もカバーする予定。クラスの中で書いたり、発表する時間には積極的な参加を望む。
フィードバックに関しては質問、提出物からまとめてクラスで口頭、又はファイルを見ながら行う。授業内容の変更などは講義連絡を通じて連絡をするので確認のこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Orientation	テキストの使い方と授業準備授業の進め方の説明 Writing
第2回	Unit 1 (1) Mini presentation	What is a Paragraph?
第3回	Unit 1 (2)	What is a Paragraph? Writing
第4回	Unit 2 (1) Mini presentation	Narration Writing
第5回	Unit 2 (2)	Narration Writing
第6回	Unit 3 (1) Mini presentation	Mini presentation Process Writing
第7回	Unit 3 (2)	Process Writing
第8回	Unit 4 (1) Mini presentation	Description of Feelings Writing
第9回	Unit 4 (2)	Description of Feelings Writing
第10回	Unit 5 (1) Mini presentation	Description of People Writing
第11回	Unit 5 (2)	Description of People Writing（1）Outline
第12回	Unit 6	Description of Places &Locations Writing（2）Introdection, Body
第13回	Unit 7	Definition Writing（3） Conclusion, Refererences
第14回	Term Review and Exam	復習と試験 試験範囲　Unit 1-6

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1.5時間程度を標準とする】
各ユニットの項目を理解すること。課題などのWriting, ミニプレゼンの用意をする。

【テキスト（教科書）】
はじめてのパラグラフ・ライティング
”Smart Writing”
Active Approach to Paragraph Writing
By Miyako Nakaya, Manabu Yoshihara, Ruth Fallon (2017)
SEIBIDO
ISBN978-4-7919-6032-3

【参考書】
必要に応じて授業、学習主演システムで紹介。

【成績評価の方法と基準】
ミニプレゼンテーション、課題　50%
期末試験　50%
【注意事項】原則としてすべての授業に出席すること。やむをえない理由で長期にわたって欠席の場合は、速やかに担当教員に連絡すること。考慮すべき理由なく３分の１以上欠席した者は、評価の対象とならない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて資料配布や課題提出が行われる。

【その他の重要事項】
担当者の連絡先はオリエンテーションで連絡。
授業では辞書が必要なので用意をしておくこと。
学習支援システムで連絡、確認事項、授業資料などを確認すること。

【Outline (in English)】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Goals: We focus on "Output English" using "Input English" you have already leaned, and practice expressing yourself (speaking and writing) and your opinions in English.
Work outside of the classroom:　Understand each unit's contents, complete homework and prepare for mini presentations.
Grading: Assignment mini presentation 50%
Term Exam 50%

LANe200LC（英語 / English language education 200）

アカデミック・ライティング

染谷　昌弘

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「アカデミック・ライティング」２単位 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、英文をセンテンスレベルで正確に組み立てるための基本的な知識や、自分の意見や考えをまとめてパラグラフを書く基礎力を身につけ、エッセイ・ライティング、アカデミック・ライティングを視野に入れた力へと発展させることを目的とする。伝えたいテーマについて調査し、その結果をパラグラフ構成に則って効果的に書く経験を通して、学生に達成感と自信を与える。授業は習熟度別で少人数で行う。
Academic Writing (2 credits)　for 【Outline and objectives】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.

【到達目標】
この授業はアカデミックライティングを紹介するコースです。各科目でエッセイを作成することを目標とします。毎週、文章から段落、構造レベルまで、効果的な文章を書くためのあらゆる部分を段階的に学習し、授業の終わりにはエッセイを作成します。
This course introduces academic writing to university students.The goal will be the production of an essays in each subject.Each class students will study in stages, from sentence to paragraph to structure levels, all parts of effective writing. And the end of each class, students will write effective English paragraph, and essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
First,students will understand a comprehensive structure of the essay writing.　Second, students will learn some expressions for it.　Third, students will write the essay actually. Finally, students will prepare for the quiz given in the next class.
In class, students will discuss their research in small groups in after individually completing tasks assigned by the textbook to develop knowledge of writing in English.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Explanation for the class pcoceeding, task submission, getting evaluated, and so on.
2	Conclusion /Reasons	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
3	Social Trends	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
4	Results /Causes	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
5	Several Explanations	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
6	Comparison	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
7	For and Against	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
8	Classification	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
9	History	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
10	Processes	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
11	Causes and Effects	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
12	Definition of a New Word	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
13	Research	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.
14	New Products	Comprehensive understanding of the topic essay pattern. Reading Model Essay. Doing some Writing Tasks. Making original essay.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues.

【テキスト（教科書）】
Skills for Better Writing〈Interrmediate〉【Third Edition】
石谷　由美子
南雲堂
2022年
2200円

【参考書】
Dictionary

【成績評価の方法と基準】
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Submission (30%). Quiz (40%). Assignment (20%). Group Discussion(10%)

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム Web Class を使用します。

【その他の重要事項】
初回授業時に、授業履修に関しての注意事項を説明します。必ず参加すること。また、指定の教科書は各自必ず購入し、毎回の授業に忘れずに持参すること。この教科書は、一般の本屋さんやアマゾンなどでは購入できませんので、必ず大学で購入して下さい。

【Outline (in English)】
Outline
Academic Writing (2 credits)　for 【Outline and objectives】
This class aims at developing students' basic knowledge of accurately constructing English sentences leading to writing paragraphs and essays in which students develop the foundations of academic writing. Attention will be paid to not merely translating to English, but to developing the awareness and skill of writing in a more English-like way, finding and researching good topics, and content-based writing. Classes are leveled and enrollment held to approximately 20 students in order to maximize teaching effectiveness.
Goal
This course introduces academic writing to university students.　The goal will be the production of an essays in each subject.Each class students will study in stages, from sentence to paragraph to structure levels, all parts of effective writing. And the end of each class, students will write an effective English paragraph and essay.
Work to be done outside of classroom
Work to be done outside of class (preparation, etc.)
Students will be expected to be self-motivated and do at least two hours of research on their chosen issues.

Grading criteria
Your overall grade in the class will be decided based on the following:Submission (30%). Quiz (40%). Assignment (20%). Group Discussion(10%)

LANe100LC（英語 / English language education 100）

SAプログラム

加藤　友規

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
社会のグローバル化が進む中で、理工系の研究者・技術者として活躍するために英語を科学技術コミュニケーション手段として習得することは必須である。また、言語に限らず、専門分野・文化・宗教などが異なる他者と協働して仕事の成果を出すことは、グローバル化の時代を生き抜くのに必要なスキルである。
本演習では提携校であるマレーシアのマラ工科大学ペナン校が提供する、主に電気工学とロボットに関する２週間のグローバルPBL（Global Project Based Learning）に参加し、専門知識・専門知識を応用する力・英語コミュニケーション能力・他者との協働能力・プレゼンテーションスキルなどを身に着けることを目標とする。
In the era of advancing globalization, it is essential for researchers and engineers in science and technology to acquire English as a means of scientific and technological communication. Additionally, the ability to collaborate with others who have different languages, areas of expertise, cultures, and religions, and to achieve work results, is a crucial skill for thriving in a globalized world.
In this course, students will participate in a two-week Global Project-Based Learning (Global PBL) program, primarily focused on electrical engineering and robotics, provided by our partner institution, Universiti Teknologi MARA (UiTM) Penang in Malaysia. The goal is to develop expertise, the ability to apply specialized knowledge, English communication skills, collaboration skills with others, and presentation skills.

【到達目標】
１．理工学（特に電気工学・ロボット工学・プログラミング）に関する専門知識を深める。
２．専門知識を応用・活用する力を身に着ける。
３．英語コミュニケーション能力を向上させる。
４．専門分野や文化的背景の異なる他者と協働する能力を身につける。
５．英語プレゼンテーションスキルを向上させる。
1.Deepen specialized knowledge in science and engineering, particularly in electrical engineering, robotics, and programming.
2.Develop the ability to apply and utilize specialized knowledge.
3.Improve English communication skills.
4.Acquire the ability to collaborate with others from different specialties and cultural backgrounds.
5.Enhance English presentation skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
本演習は夏季休暇中の約2週間の短期ＳＡ（スタディーアブロード）集中授業である。
シラバス執筆時点では、８月３１日東京出発～９月１５日東京帰着の予定であるが、詳細はプログラムの実施が決定した段階でお知らせする。
本プログラムへの法政大学からの参加枠は１０名の予定であるが、現地ではマレーシア・インドネシア・福岡の大学からの参加もあり、３カ国４大学から合計で２０～３０名の学生の参加がある想定である。参加学生は、なるべく国や専門性が異なる３～４名ずつの班に分けられ、ロボットやプログラミングに関する課題解決型のPBLを行うことになる。現地での最後の２日間には、成果物のデモンストレーションや英語での成果発表会が行われる。現地での使用言語は基本的に英語である。
なお、現地での授業のほかに事前と事後にそれぞれ１～２回、授業を行う予定である。
This program is a short-term Study Abroad (SA) intensive course during the summer vacation, lasting approximately two weeks. As of the writing of the syllabus, the planned schedule is departure from Tokyo on August 31 and return to Tokyo on September 15. However, the details will be provided once the program is officially confirmed.
The participation quota for Hosei University is expected to be 10 students, but there will also be participants from universities in Malaysia, Indonesia, and Fukuoka. The total number of students is expected to range from 20 to 30, coming from four universities across three countries. Participants will be divided into groups of 3-4 students, aiming for a mix of different nationalities and specialties, and will engage in project-based learning (PBL) focused on solving challenges related to robotics and programming. During the last two days of the program, there will be demonstrations of the results and presentations in English. The primary language of instruction on-site will be English.
In addition to the classes held on-site, there will be one or two preparatory and follow-up sessions before and after the program.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり /Yes

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Day 1 Arrival in Kuala Lumpur Malaysia	・クアラルンプール国際空港に到着し、ペトロナス社・UiTMシャーアラム本部校などを訪問し見学する。クアラルンプール市内に宿泊する。 ・ホテルにて、この日の日報を書く。 Arrive at Kuala Lumpur International Airport, visit and tour Petronas Corporation and the UiTM Shah Alam main campus. Stay overnight in Kuala Lumpur city. Write the daily report at the hotel.

第2回	Day 2 Arrival in Penang	・クアラルンプールからUiTMペナン校へ移動する。 ・昼食後、１３時頃からｇPBLの開会式がある。各自、英語で自己紹介を行う。 ・班分けとミッション１に関する課題の説明がある。 ・１７：３０まで実習したあと、宿舎にチェックインし、この日の日報を書く。 Travel from Kuala Lumpur to UiTM Penang campus. After lunch, the opening ceremony of gPBL will begin around 1:00 PM. Each participant will introduce themselves in English. There will be group assignments and an explanation of the task for Mission 1. After working on the tasks until 5:30 PM, check in to the accommodation and write the daily report for the day.
第3回	Day 3 Mission 1 (continued)	・9時に演習室に集合し、正午までMission１の続きを行う。 ・昼食後、１３時～１７：３０までMisson1についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM and continue Mission 1 until noon. After lunch, work on the Mission 1 tasks from 1:00 PM to 5:30 PM. Then return to the accommodation and write the daily report for the day.
第4回	Day 4 Mission 1 (continued)	・9時に演習室に集合し、正午までMission１の続きを行う。 ・昼食後、１３時～１７：３０までMisson1についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM and continue Mission 1 until noon. After lunch, work on Mission 1 from 1:00 PM to 5:30 PM. Then return to the accommodation and write the daily report for the day.
第5回	Day 5 Mission 1 (continued)	・9時に演習室に集合し、正午までMission１の続きを行う。 ・昼食後、１３時～１７：３０までMisson1についての実習（発表準備を含む）のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM and continue Mission 1 until noon. After lunch, work on Mission 1 (including preparation for the presentation) from 1:00 PM to 5:30 PM. Then return to the accommodation and write the daily report for the day.
第6回	Day 6 Mission 1 and Mission 2	・9時に演習室に集合し、Misson 1についてのデモンストレーションと班紹介を班ごとに順番に行う。 ・昼食後、お祈りの時間の後に、１５時頃からMisson 2に関する課題の説明がある。 ・１７：３０までMisson 2についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM for a demonstration of Mission 1 and group introductions, with each group presenting in turn. After lunch and prayer time, there will be an explanation of the Mission 2 tasks starting around 3:00 PM. After working on Mission 2 until 5:30 PM, return to the accommodation and write the daily report for the day.
第7回	Day 7 Independence day	・マレーシア独立記念日の地域のイベントに参加し、Ｍｉｓｓｉｏｎ１で製作したロボットの紹介を含む、技術の紹介と地域との交流を行う。 ・パークロイヤルホテルにチェックインし、この日の日報を書く。 Participate in a local event for Malaysia's Independence Day, where you will introduce the robot created in Mission 1, showcase the technology, and engage with the community. Check in at Park Royal Hotel and write the daily report for the day.
第8回	Day 8 Mission 2 (continued)	・午前中はペナン島を見学し、市内で昼食後にUiTMに戻る。 ・午後はUiTMにて、Mission 2の実習の続きを行う。 ・１７：３０までMisson 2についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 In the morning, visit Penang Island and return to UiTM after having lunch in the city. In the afternoon, continue the Mission 2 tasks at UiTM. After working on Mission 2 until 5:30 PM, return to the accommodation and write the daily report for the day.
第9回	Day 9 Mission 2 (continued)	・9時に演習室に集合し、正午までMission ２の続きを行う。 ・昼食後、１３時～１７：３０までMisson 2についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM and continue Mission 2 until noon. After lunch, work on Mission 2 from 1:00 PM to 5:30 PM. Then return to the accommodation and write the daily report for the day.

第10回	Day 10 Mission 2 (continued)	・9時に演習室に集合し、正午までMission 2の続きを行う。 ・昼食後、１３時～１４時に知能ロボットに関する特別講演を聴講する。 ・１７：３０までMisson 2についての実習のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM and continue Mission 2 until noon. After lunch, attend a special lecture on intelligent robots from 1:00 PM to 2:00 PM. After working on Mission 2 until 5:30 PM, return to the accommodation and write the daily report for the day.
第11回	Day 11 Experience the Penang and Mission 2 (continued)	・午前中はUiTM教員の引率により、Penang島の中心部を見学し、歴史を学ぶ。 ・市内で昼食後、UiTMに戻り、１７：３０までMisson ２についての実習（試合と発表準備を含む）のあと、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 In the morning, under the guidance of UiTM faculty, visit the central area of Penang Island and learn about its history. After lunch in the city, return to UiTM and work on Mission 2 until 5:30 PM (including the competition and preparation for the presentation). Afterward, return to the accommodation and write the daily report for the day.
第12回	Day 12 Mission 2 (competition as demonstration)	・9時に演習室に集合して準備の後、10時からMission 2の成果物のデモンストレーションとして、ロボット対戦トーナメントを行う。 ・昼食後、１７：３０まで翌日の発表準備会の準備を行う。その後、宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM for preparation, then from 10:00 AM, hold a robot competition tournament as a demonstration of the results of Mission 2. After lunch, prepare for the presentation preparation session the following day until 5:30 PM. Afterward, return to the accommodation and write the daily report for the day.
第13回	Day 13 Final Presentation	・9時に演習室に集合して、午後の最終発表会の準備を行う。 ・昼食後、１3時から最終発表会として、各班ごとに10分程度のプレゼンテーションを英語で行う（必ず全員が発表を分担する）。 ・プレゼンテーションの後、閉会式と表彰式を行う。 ・宿舎に戻り、この日の日報を書く。 Gather in the training room at 9:00 AM to prepare for the final presentation session in the afternoon. After lunch, from 1:00 PM, each group will give a 10-minute presentation in English as part of the final presentation session (all members must participate in the presentation). After the presentations, the closing ceremony and award ceremony will take place. Return to the accommodation and write the daily report for the day.
第14回	Day 14 Final Day at UiTM	・宿舎をチェックアウトし、演習室の撤収・清掃作業を行う。 ・事後授業として、帰国後に主に学内関係者向けに成果発表会（或いはスライドの製作と動画の公開）を行う可能性があるので、その準備を行う。 ・成果物を整理し、電子提出する。 Check out of the accommodation and carry out the packing and cleaning of the training room. As a follow-up class, a presentation of results might be held after returning to the home country, mainly for internal stakeholders (or by creating slides and publishing videos), so preparations for this will be made. Organize the deliverables and submit them electronically.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前の英語学習（TOEIC550点以上を取得していることが望ましい）。宿舎での各日の日報の作成・発表用のスライドと原稿の作成および発表練習。

Preliminary English study (a TOEIC score of 550 or higher is desirable). Preparation of daily reports at the accommodation, including creating slides and scripts for presentations, as well as practicing the presentations.

【テキスト（教科書）】

事前学習あるいは現地大学で指示を受ける。

The instructions for the textbooks will be given either as pre-study or at the local university.

【参考書】

事前学習あるいは現地大学で指示を受ける。

The instructions for the references will be given either as pre-study or at the local university.

【成績評価の方法と基準】
毎日の実施内容に関する日報の提出、現地大学教員による評価（出席状況を含む）、最終日に行うプレゼンテーション原稿、パワーポイント等プレゼンテーション資料をもとにＳＡ委員会が総合的に評価する。 評価基準：本科目の到達目標を60％以上達成している学生を合格とする。
The daily reports on the activities, evaluations by the local university faculty (including attendance), the presentation script to be given on the final day, and presentation materials such as PowerPoint will be comprehensively assessed by the SA committee.
Evaluation criteria: Students who achieve 60%or more of the course objectives will be considered as passing.

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。
Since this is a new course for this year, no survey has been conducted.

【学生が準備すべき機器他】
現地にはノートＰＣを持参して下さい。海外用SIMやモバイルWIFIをレンタルすることが望ましいです。
Please bring a laptop with you. It is recommended to rent a SIM card for overseas use or a mobile Wi-Fi device.

【その他の重要事項】
本科目は夏季集中で実施されます。
履修登録期間内に学生が履修登録することはできません。
実施が決定次第，学習支援システム等でご案内し，説明会を実施したうえで参加（履修）学生を募集します。
大学から費用の支援はある予定ですが、海外研修ですので相応の自己負担が生じます。このあたりも、説明会で詳しくご説明します。
This course will be conducted as a summer intensive.
Students will not be able to register for the course during the regular registration period.
Once the course is confirmed, we will provide information through the learning support system and hold an orientation session, after which students will be recruited for participation (enrollment).
The university plans to provide financial support, but since this is an overseas program, there will be a certain level of personal expenses. Details on this will be explained during the orientation session.

【Outline (in English)】
In the era of advancing globalization, it is essential for researchers and engineers in science and technology to acquire English as a means of scientific and technological communication. Additionally, the ability to collaborate with others who have different languages, areas of expertise, cultures, and religions, and to achieve work results, is a crucial skill for thriving in a globalized world.
In this course, students will participate in a two-week Global Project-Based Learning (Global PBL) program, primarily focused on electrical engineering and robotics, provided by our partner institution, Universiti Teknologi MARA (UiTM) Penang in Malaysia. The goal is to develop expertise, the ability to apply specialized knowledge, English communication skills, collaboration skills with others, and presentation skills.

HUM100LC（その他の人文学 / humanities 100）

宗教と社会

立田　由紀恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
宗教はそれを信仰しない人にとっては得体の知れないものに見えてしまいがちです。特に紛争や戦争に宗教が絡むと、宗教がそれらの対立や暴力の源になっていると考えられることがしばしばあります。しかし宗教は人々や共同体を支える重要な役割を果たしており、そのネガティブな面は宗教に限られた問題ではないことが多いです。この授業では特に宗教紛争、宗教対立と呼ばれる事例を研究して、宗教に対する理解を深めることを目的とします。
Religion seems unobtainable to those who do not believe in it. Especially when religion is involved in conflicts and wars, it is often seen as the source of those conflicts and violence. However, religion plays a vital role in supporting people and communities, and its negative aspects are usually not a problem limited to religion. The purpose of this class is to deepen students' understanding of religion, especially by studying cases of what are called religious conflicts or religious confrontations.

【到達目標】
・「宗教とは何か」という問いに対して自分自身の考えを答えられるようになる
・宗教と紛争に対し、表面的ではない理解を持てるようになる
・世界中の信仰を持つ人々に対する理解を深める
・宗教を他人事ではなく自分たちの社会に存在するものとしてとらえられるようになる
・To be able to answer the question “What is religion?” with your own thoughts
・To be able to have a deeper understanding of religion and conflict
・To deepen your understanding of people of faith around the world
・To be able to see religion as something that exists in our own society, rather than something that is someone else's problem

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
・予習（指定された内容をインターネットや書籍で調べ、自分の考えをまとめる）
・講義（予習への応答を含む）
・リアクションペーパー（教員によるフィードバックをつけて返却）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：宗教と社会、宗教と紛争について	「宗教が紛争を引き起こす」という理解が持つ問題点を考える出発点として、まず「宗教＝信仰」という単純な見方を見直し、宗教とは何かという問いに対するより深い答えを探す。
2	北アイルランド：ふたつのキリスト教徒の間の対立	北アイルランドでは、カトリックとプロテスタントのふたつのキリスト教の間で数十年にわたる深刻な対立が続いている。先進国の中で起きている紛争と宗教の様子を見る。
3	南アフリカ、アメリカ黒人：虐げられた黒人の解放と宗教	人は、何世紀にもわたる人種差別と戦ってきた。その戦いの中で宗教が果たしてきた役割を見る。
4	インド、パキスタン、スリランカ：ヒンドゥー教と対立	インドの中心的な宗教であるヒンドゥー教は日本の宗教伝統と似た部分が多い。そのインドと周辺の国における、ヒンドゥー教が関わる紛争を見る。
5	シリア、レバノン：アラブ世界のキリスト教とイスラーム	中東の主な宗教はイスラームだが、ヨーロッパよりも古くから続くキリスト教の伝統もある。ここでは中東で特にキリスト教との多いシリアとレバノンにおけるキリスト教徒とムスリムの関係を見る。
6	タイ、ミャンマー：仏教と暴力	仏教はよく平和的な宗教と見られるが、その仏教も紛争と無縁ではない。ここではタイやミャンマーという仏教が中心的な国における紛争を見る。
7	中間まとめ：リアクションペーパーへの返答	第6回までのリアクションペーパーへの返答を中心として宗教と紛争について学んだことを振り返り、これから学ぶ中で着目する点を確認する。
8	ボスニア・ヘルツェゴビナ、コソボ：多民族国家ユーゴスラビアの崩壊	20世紀末に崩壊した旧ユーゴスラビアは、多数の民族が平和的に共存する国家として知られていた。さまざまな宗教が平和に共存する社会が深刻な対立を抱えることになった背景を見る。
9	イスラエル・パレスチナ：３つの宗教の聖地で起きる対立	70年以上続くイスラエル・パレスチナ問題は、現代の宗教紛争の代表的な例である。ユダヤ教、キリスト教、イスラームの３宗教の聖地が集まるこの地域で、宗教が紛争の中でどのような役割を果たしてきたかを見る。
10	アメリカ保守派キリスト教、イスラーム過激派：信仰に基づく暴力	宗教紛争と呼ばれるものの大多数は宗教の教えに基づいてはいないが、宗教の教えや信仰に基づいて暴力的な行動を取る人々もいる。ここではキリスト教とイスラームにおけるそのような例を見る。
11	日本：日本の「宗教」と戦争	日本人は宗教を持たないから紛争が起きにくいと考える人もいるが、日本社会には現在も宗教が深く根付いている。日本における宗教の姿を見ながら、宗教が第二次世界大戦前や戦中の日本で果たした役割を見る。
12	ウクライナ戦争と宗教	現在、私たちにとっておそらく最も身近な戦争であるウクライナ戦争は宗教紛争とは考えられないが、そこでも宗教が果たしている役割はある。今まで学んだことをベースに、ウクライナ戦争の背景にある宗教を見る。

13	宗教と平和：平和構築のために宗教ができること	世界のほとんどの宗教は、その教えの中に平和を求める姿勢を持っている。学期を通して宗教が紛争の中で果たす役割を見てきた今、宗教が平和構築のために果たせる役割を考える。
14	試験・まとめと解説	1学期間のリアクションペーパーへの返答を中心に学んできたことを振り返り準備し、期末試験を受ける。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は計4時間を標準とします。
準備：配付資料を読み、予習課題を書く（3時間）
復習：授業の内容をまとめ、期末試験に備える（1時間）
Approximately 4 hours total of work is required before and after each class.
Before class: Read the distributed materials and write the preparation assignment. (3 hours)
After class: Review the class and prepare for the final exam. (1 hour)

【テキスト（教科書）】
なし（必用な資料は授業で配布）

【参考書】
なし（授業時に紹介）

【成績評価の方法と基準】
予習課題：30％
リアクションペーパー：20％
期末試験：50％
Preparation assignment: 30%
Reaction paper: 20%
Final exam: 50%

【学生の意見等からの気づき】
板書を見やすく書く。動画等の視聴覚教材を効果的に用いる。

【Outline (in English)】
[Outline and objectives]
Religion seems unobtainable to those who do not believe in it. Especially when religion is involved in conflicts and wars, it is often seen as the source of those conflicts and violence. However, religion plays a vital role in supporting people and communities, and its negative aspects are usually not a problem limited to religion. The purpose of this class is to deepen students' understanding of religion, especially by studying cases of what are called religious conflicts or religious confrontations.
[Goal]
· To be able to answer the question "What is religion?" with your own thoughts
· To be able to have a deeper understanding of religion and conflict
· To deepen your understanding of people of faith around the world
· To be able to see religion as something that exists in our society, rather than something that is someone else's problem
[Works to be done outside of class]
Approximately 4 hours total of work is required before and after each class.
Before class: Read the distributed materials and write the preparation assignment. (3 hours)
After class: Review the class and prepare for the final exam. (1 hour)
[Grading Criteria]
Preparation assignment: 30%
Reaction paper: 20%
Final exam: 50%

PLN100LC（地球惑星科学 / Earth and planetary science 100）

地学基礎

辻　忠恭

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、天体の運動や大気の運動など、宇宙・気圏・水圏・固体地球における地球に係わる諸現象について、動画や簡単な実験も交えながら学び、各現象の要因となる基本原理・基本法則を理解し、日常生活でみられる地学的諸現象に関する学習を通して、科学的な見方や考え方を養う。
加え、SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）に関わる、気候変動、水質汚濁などにも触れ、地球環境のために自ら行動できる知識を身につけることを目指す。

【到達目標】
・恒星や惑星、銀河の特徴を理解し、説明することができる。
・日常生活に関わる地学的諸現象に関心を持ち現象と発生メカニズムについて説明ができる。
・SDGsに関わる環境問題の課題や災害を理解し、主体的に対応するための知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義形式による授業を基本として進める。適宜、動画資料も使用し理解を深める。
各回実施のリアクションペーパーより疑問点を取り上げ、次回の授業の初めに全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地学とはなにか？	地学とはなにか？
第2回	宇宙における地球1	宇宙の誕生と銀河
第3回	宇宙における地球2	太陽系と太陽と月
第4回	大気中に起る現象1	大気と大気放射と地球温暖化
第5回	大気中に起る現象2	気圧と風
第6回	大気中に起る現象3	大気汚染
第7回	大気中に起る現象4	雲と降水
第8回	大気中に起る現象5	酸性雨と集中豪雨
第9回	天気の現象1	天気の変化
第10回	天気の現象2	台風と竜巻
第11回	大気と海洋1	大気大循環と世界の気候区分
第12回	大気と海洋2	海水の運動と水質汚濁
第13回	活動する地球	地形と地震と防災
第14回	全体のまとめ	全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】前回の授業内容を理解しておくこと。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業にて配布する。

【参考書】
田淵 洋編著「自然環境の生い立ち(第3版) − 第四紀と現在 − 」朝倉書店
水越允治・山下脩二「気候学入門」古今書院
福岡義隆「人間的尺度の地球環境」古今書院

【成績評価の方法と基準】
試験に加え、平常点として授業中の参加の度合、貢献度を考慮し、総合的に判断する。
※試験80％,平常点（授業参加の姿勢，リアクションペーパーの内容等）20％

【学生の意見等からの気づき】
好評の身近にある現象についての気付きや、知的興味を満たし新しい発見がある内容をとりあげることについては、引き続き踏襲する。

【Outline (in English)】
【Course outline】
We will learn various phenomena related to the earth in the space, atmosphere, hydrosphere, geosphere, such as planetary motion and atmospheric circulation.
And We will understand the basic principles and basic rules that are the factors.
In addition, We will learn climate change, water pollution, etc. related to SDGs (Sustainable Development Goals) and aim to acquire knowledge that will enable us to take action for the global environment.
【Learning Objectives】
· We will understand the characteristics of stars, planets, and galaxies.
· We will being interested in various phenomena related to daily life and being able to explain the phenomena and the mechanism of phenomenon occurrence.
· We will acquire knowledge that can respond to environmental issues related to SDGs, and disasters.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policies】
Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Term end examination: 80%、in class contribution: 20%

PLN100LC（地球惑星科学 / Earth and planetary science 100）

地学基礎

辻　忠恭

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、天体の運動や大気の運動など、宇宙・気圏・水圏・固体地球における地球に係わる諸現象について、動画や簡単な実験も交えながら学び、各現象の要因となる基本原理・基本法則を理解し、日常生活でみられる地学的諸現象に関する学習を通して、科学的な見方や考え方を養う。
加え、SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）に関わる、気候変動、水質汚濁などにも触れ、地球環境のために自ら行動できる知識を身につけることを目指す。

【到達目標】
・恒星や惑星、銀河の特徴を理解し、説明することができる。
・日常生活に関わる地学的諸現象に関心を持ち現象と発生メカニズムについて説明ができる。
・SDGsに関わる環境問題の課題や災害を理解し、主体的に対応するための知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義形式による授業を基本として進める。適宜、動画資料も使用し理解を深める。
各回実施のリアクションペーパーより疑問点を取り上げ、次回の授業の初めに全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	地学とはなにか？	地学とはなにか？
第2回	宇宙における地球1	宇宙の誕生と銀河
第3回	宇宙における地球2	太陽系と太陽と月
第4回	大気中に起る現象1	大気と大気放射と地球温暖化
第5回	大気中に起る現象2	気圧と風
第6回	大気中に起る現象3	大気汚染
第7回	大気中に起る現象4	雲と降水
第8回	大気中に起る現象5	酸性雨と集中豪雨
第9回	天気の現象1	天気の変化
第10回	天気の現象2	台風と竜巻
第11回	大気と海洋1	大気大循環と世界の気候区分
第12回	大気と海洋2	海水の運動と水質汚濁
第13回	活動する地球	地形と地震と防災
第14回	全体のまとめ	全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】前回の授業内容を理解しておくこと。

【テキスト（教科書）】
担当教員が作成した印刷物を授業にて配布する。

【参考書】
田淵 洋編著「自然環境の生い立ち(第3版) − 第四紀と現在 − 」朝倉書店
水越允治・山下脩二「気候学入門」古今書院
福岡義隆「人間的尺度の地球環境」古今書院

【成績評価の方法と基準】
試験に加え、平常点として授業中の参加の度合、貢献度を考慮し、総合的に判断する。
※試験80％,平常点（授業参加の姿勢，リアクションペーパーの内容等）20％

【学生の意見等からの気づき】
好評の身近にある現象についての気付きや、知的興味を満たし新しい発見がある内容をとりあげることについては、引き続き踏襲する。

【Outline (in English)】
【Course outline】
We will learn various phenomena related to the earth in the space, atmosphere, hydrosphere, geosphere, such as planetary motion and atmospheric circulation.
And We will understand the basic principles and basic rules that are the factors.
In addition, We will learn climate change, water pollution, etc. related to SDGs (Sustainable Development Goals) and aim to acquire knowledge that will enable us to take action for the global environment.
【Learning Objectives】
· We will understand the characteristics of stars, planets, and galaxies.
· We will being interested in various phenomena related to daily life and being able to explain the phenomena and the mechanism of phenomenon occurrence.
· We will acquire knowledge that can respond to environmental issues related to SDGs, and disasters.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policies】
Your overall grade in the class will be decided based on the following.
Term end examination: 80%、in class contribution: 20%

BSC100LC（基礎化学 / Basic chemistry 100）

入門化学

田　艶

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では，化学の基礎知識および基本的な考え方を学ぶ。
特に高校時代に化学を履修していなかったり，理解が十分でなかった学生を対象とする。

【到達目標】
化学の基本的な概念や原理に関する基礎知識を確実なものとし，根拠を伴って化学物質の構造や性質，化学反応性を理解し，推測・説明できる力を養う。特に高校時代に化学を履修していなかったり，理解が十分でなかった学生を対象とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
本講義では，入門化学として，化学に関する基本的な概念を体系的に概説する。講義と演習を組み合わせることによって，基本的な概念や原理の理解を深め，根拠を伴って化学物質の構造や性質，化学反応性を理解し，推測・説明できる力を養う。課題等の提出・フィードバックは，「学習支援システム」を通じて行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序論	化学と物質，物質の分類，分離と精製，成分の検出，測定及び測定データの扱い
第2回	物質の構成粒子Ⅰ	原子の構造，元素周期表，物質量，原子量，分子量
第3回	物質の構成粒子Ⅱ	電子配置，電子軌道，エネルギー準位
第4回	化学結合Ⅰ	イオン結合とイオン結晶、イオン化エネルギー、電子親和力、格子エネルギー、金属結合と金属結晶
第5回	化学結合Ⅱ	共有結合と共有結合結晶、配位結合、分子間力、水素結合、分子結晶
第6回	物質の状態	熱運動と物質の三態、気液平衡と蒸気圧、状態図、気体の性質
第7回	反応速度	反応速度とその表し方，反応速度に影響する因子，活性化エネルギー，触媒
第8回	化学反応と熱・光エネルギー	反応熱、熱化学反応式、ヘスの法則
第9回	酸化と還元Ⅰ	酸化と還元の定義，酸化数，酸化還元反応式，イオン化傾向
第10回	酸化と還元Ⅱ	電池、電気分解、腐食
第11回	酸と塩基Ⅰ	酸と塩基、pH、酸と塩基の強さ
第12回	酸と塩基Ⅱ	中和滴定、緩衝作用
第13回	無機物質	非金属元素 典型金属元素 遷移元素
第14回	まとめ	授業内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は,4時間を標準とする】
第1回目：予習なし。授業内容の復習と演習問題
第2回目～第14回目：参考資料及び配布資料等による予習，授業内容の復習と演習問題

【テキスト（教科書）】
すでに持っている教科書や図書館の蔵書を最大限に利用していただくため，テキストは特に指定しない。

【参考書】
高校「化学基礎」及び「化学」
マクマリー一般化学(上，下)
その他、授業中に適宜紹介する

【成績評価の方法と基準】
小テストを複数回行い、その平均点で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
授業内容や難易度に等についてアンケートを実施し，要望に応じて随時調整する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline (in English)】
Course outline: This course introduces the basic concepts in chemistry to students taking this course.
Learning Objectives: The goals of this course are to understanding essential concept of chemistry.
Learning activities outside of classroom: Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
Grading Criteria /Policy: Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination (50%), Short reports and in class contribution (50%)
Term-end examination (50%), Short reports and in class contribution (50%)

BLS100LC（生物科学 / Biological science 100）

入門生物学

齋藤　理佳

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義の概要としては、「講義者・受講者・受講内容」が密接につながった授業を展開することにより「生きた授業」を実践する。
目的としては、この授業によって基礎生物科学の基本的な概念や原理をもとに育成された科学的自然観を、新たなる自分の知識として広げていくこと。
特に高校時代に生物を履修していなかったり、理解が十分でなかった学生を対象とする。

【到達目標】
講義は、（1）生命の多様性、（2）生命の基本単位である細胞、（3）遺伝子　（4）人間の形態と機能　の4本立てで行う。（1）及び（2）においては、生命とはなにか、また体細胞や生殖細胞だけでなはく、幹細胞、そして癌細胞の特質が説明できる。さらにこれらの細胞と人間の健康を紐付けて説明できる。一方、（3）においては、遺伝子やDNAを中心に学ぶ。ヒト－細胞ー核ー染色体ーDNAー遺伝子の関係を理解できる。さらに遺伝の基礎を説明できる。（4）においては、神経系や感覚系、血液循環や生体防御などの「マクロ」分野を学び、私たちの持っている身体の機能の特徴が理解できることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義形式で授業は進める。パワーポイントと書画/黒板を使用し、必要であれば講義内容のさらなる理解度アップのための授業も取り入れる。また、学習支援システムを通じて行うこともあるがその場合には小テストを提出してもらい、提出翌週の講義の冒頭において正解を提示するとともに解説も併せフィードバックを行う。これにより、さらに理解を深めてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生命と自然科学	生物(動物,植物,細菌)の共有する特徴とは？ 細菌とは？ ウイルスとは？
2	化学的構成部品、エネルギーと酵素	生物を構成する基本物質とは？ 酵素のはたらき
3	細胞:生物の基本単位ー細胞の構造と区画ー	細胞をグルーピングすると？
4	細胞:生物の基本単位ー幹細胞と癌細胞ー	幹細胞とは？　：未分化な細胞（ES細胞,IPS細胞,体性幹細胞,臍帯血幹細胞） がん細胞とは？　：増殖がコントロールできない細胞
5	遺伝子ーDNAの構造ー	DNAとは？　遺伝子とは？　染色体とは？
6	遺伝子ーDNAの複製と損傷ー	DNA複製及びDNA複製エラーについて 損傷したDNAの修復について
7	遺伝子ー遺伝子からタンパク質へ①ー	遺伝子の働きについて
8	遺伝子ー遺伝子からタンパク質へ②ー	突然変異のメカニズム
9	遺伝子ーDNAテクノロジーー	DNAテクノロジーの素晴らしき新世界
10	遺伝ー遺伝の様式ー	遺伝子が生物の遺伝的形質を決める メンデルの法則
11	遺伝ー染色体とヒトの遺伝学ー	ヒトの身近な遺伝について
12	神経系と感覚系-神経と感覚の伝わり方-	神経と感覚の伝わり方
13	神経系と感覚系-神経系の構造と機能-	中枢神経系と末梢神経系の構造と機能について
14	生殖ー植物と動物の生殖ー	植物及び動物の有性生殖について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
各時間の講義の予習として、毎時間ごとの講義テーマに関する項目を予め参考書類などで調べておくこと。
また復習としては、毎時間ごとに授業中に配布したプリント、power pointとともに重要ポイントをまとめるので、それらについて理解を深めておくこと。

【テキスト（教科書）】
特に指定なし。
こちらからプリントを配布する。

【参考書】
1） ケイン生物学
M.Cain/H.Damman/R.Lue/C.Yoon 原著　石川統監訳　東京化学同人
2）Essential細胞分子生物学原著第3版
B.Alberts et al.(著)、中村桂子/松原謙一（翻訳）南江堂
3） Essential Cell Biology 4th edition原著第4版
B.Alberts et al.(著)、Garland Science
4）The cell 細胞の分子生物学原著第5版
B.Alberts et al.(著)、中村桂子/松原謙一（翻訳）ニュ

【成績評価の方法と基準】
授業評価アンケートの指摘に応じ講義内容や講義レベル、講義形式および配布資料などを適宜修正する
成績評価については、上記（1）～（4）までのテーマ及び最新の基礎生物科学において講義中に話した内容を十分に理解できたかどうか、さらに自分自身の知識としてどれだけ身に着いたかを評価基準とする。具体的には授業にどれだけ熱意を持って取り組んでいるかを含む平常点及び授業内課題併せて30%、期末試験70%とする。

【学生の意見等からの気づき】
全体的に授業の進行スピードが速めなので、その度ごとにみなさんの様子をみながらひとつひとつ理解できているか否かを確認しつつ、場合によっては進行スピードの速度をゆっくりに切り替えることにより、きめ細かい授業を展開したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
生物学の基礎を固める授業をベースに展開していきますが、

その際に、本教員はヒトの幹細胞を用いて、ヒトのがん遺伝子の研究を行っている研究者であるので、細胞についても体細胞や生殖細胞のみならず、幹細胞やがん細胞についても少々含めつつ、各種遺伝子のはたらきについて、さらにヒトの遺伝学まで幅広い話を展開する予定です。

【Outline (in English)】
【Course outline】
Basic biological sciences is the study of all living things — from bacteria to plants to animals — and their relationship to their environments. This class study the structure and function of cells, organ systems, and tissues in animals and plants.
【Learning Objectives】
You learn about physiology, behavior, genetics and heredity, pharmacology. This class provides a foundation of understanding in the basic biological sciences.
【Learning activities outside of classroom】
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
【Grading Criteria /Policy】
Final grade will be calculated according to the following process Mid-term report and/or in-class contribution(30%), term-end examination (70%).

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

入門数学

高木　悟

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎学力を拡充しつつ、微分積分学（及び）演習Ｉをフォローする講義・演習です.
高校数学の復習から始め，上述講義の進度に合わせて演習，解説を行います.

【到達目標】
高校で習う微分法の復習から始め，逆三角関数や陰関数の理解をし，極限値や導関数，偏導関数などの計算能力を高めることを目標とします．さらにそれを用いて工学に応用するための基礎を勉強します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
前半に単元の説明をし，後半に演習をします．自ら積極的に問題を解くことが要求されます．毎回最後に課題を出し，その解答を個別確認してフィードバックします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	三角関数	三角関数の復習をし，演習を行ないます.
2	数列の極限	数列の極限の難しさを観察し，演習を行ないます.
3	指数関数・対数関数・逆三角関数	指数関数，対数関数，逆三角関数を解説します.
4	関数の極限	導関数の定義，三角関数・指数関数の導関数の計算をします.
5	微分法	極値，平均値の定理，ロピタルの定理を解説します.
6	微分の計算	様々な関数の微分計算をします.
7	微分法の応用	微分がどういった場面で必要とされるかを解説します.
8	極値問題	具体的な例をあげ，計算演習をします.
9	偏微分	偏微分係数，偏導関数の解説をします.
10	偏微分の計算	様々な関数の偏微分計算をします.
11	接平面の方程式	接平面の方程式を具体的に計算します.
12	２変数関数の極値問題	２変数関数の極値について考えます.
13	条件付き極値問題	条件の付いた極値問題を考えます.
14	総合演習	これまで習った事項の総合演習をします.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
基本的に，1回の授業は教科書の１つの節が対応するように構成されている．授業を受ける前に，教科書の対応する部分に目を通すこと，前回の授業に対する演習問題を解くことが必要である.

【テキスト（教科書）】
礒島・桂・間下・安田共著 「コア講義 微分積分」 裳華房（2016年） 2300円+税

【参考書】
(1)「理工系のための基礎数学 [改訂増補版]」高木他著，培風館, 2020
(2)「理工系のための微分積分 [改訂版]」長谷川他著，培風館, 2023

【成績評価の方法と基準】
到達目標を達成できているかどうか，授業時の課題（70%）とレビューシート（30%）で評価する．期末試験は実施しない.

【学生の意見等からの気づき】
レビューシートを用いて，微分積分学（及び）演習Ｉの授業で理解できていない項目をヒアリングし，それを次回フォローする.

【その他の重要事項】
同時に微分積分学（及び）演習Ｉを履修すること.
授業に関する連絡は「学習支援システム」のお知らせに掲載するので，こまめにチェックすること.

【Outline (in English)】
The main object is to support the student could understand fundamental properties of Calculus.
(Goal)
By the end of the course, students should be able to do the followings:
1) Calculation of limit value, derivative, and partial derivative
2) Inverse triangular functions and their derivative
3) Understanding mean-value theorem and Taylor's theorem, and their applications
4) Taylor series expansion
5) Investigating the extrema of two-variable functions
(Learning activities outside of classroom)
Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
Students are encouraged to prepare for the textbook and solve the exercises (or assignments) corresponding to the previous lesson.
(Grading Criteria)
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Assignments 70%, Review sheets 30%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎 I

小鍋　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目的とする。本講義では、物理学の中でも特に基礎的な分野である、力学と熱力学について学ぶ。力学は、力と運動に関する学問であり、物理学で必要な思考法や数学的技術を多く含んでいる。一方、熱力学は、熱に関する学問であり、車を動かす動力や気象現象を理解するには無くてはならない。古典力学の基本概念を学ぶ。具体的には、運動の記述法や運動の３法則とその応用を学ぶ。

【到達目標】
・力学では、力や力学的エネルギーなど力学の基礎概念を理解し、自由落下、単振動を通して力学の基本法則を正確に把握する。
・熱力学では、熱と温度の関係、分子運動と熱との関係、熱力学の法則について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	物理学概論序論	微積分とベクトルを用いて運動を表現する方法を学ぶ
2	質点の運動学	速度と加速度
3	質点の力学	運動の法則
4	質点の運動(1)	自由落下、粘性抵抗力のもとでの落下運動
5	質点の運動(2)	単振動
6	質点の運動(3)	減衰振動と強制振動
7	質点系の力学	重心の運動
8	演習	力学の演習
9	熱と温度(1)	熱平衡状態と温度
10	熱と温度(2)	経験温度と熱力学的温度
11	熱と温度(3)	気体の分子運動論
12	熱力学(1)	熱力学第一法則
13	熱力学(2)	熱力学第二法則
14	演習	熱力学の演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces classical mechanics and thermodynamcis, which includes; mathematical representation of motion of mass point, Newton's laws of motion and their application to motion prediction for a particle, work and energy, conservative force and potential energy, conservation of energy, 1st law of thermodynamics and 2nd law of thermodynamics.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of mechanics and thermodynamics described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

物理学基礎ⅠⅠ

小鍋　哲

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、光学と電磁気学について学ぶ。光学は、光の学問であり我々の身の回りにあるレーザーや画像処理技術などの基礎となっている。講義では、光の反射、屈折、干渉など光の波としての様々な性質を説明する。電磁気学は、電気・磁気現象に関する学問であり、携帯電話や非接触ICカードの基礎となっている。講義では、電磁気現象の基本である電場、電位、静電容量や電場のエネルギー、電流と磁場の働き、電磁誘導および電磁波の発生について説明する。

【到達目標】
生命現象や化学現象を含むあらゆる自然現象は、起源を辿れば物理学の法則に支配されている。本講義では、自然現象の基礎である物理学を数式により定式化し、それを数理的に処理することに慣れ、得られた結果を定性的に理解する物理的思考能力を身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義と演習により進める。レポートや宿題により講義や演習で扱えなかった問題を解き、理解を深める。レポート課題や宿題については、提出期限後の授業で解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	光学(1)	光の性質について学ぶ
2	光学(2)	光の反射と屈折について学ぶ
3	光学(3)	光の干渉について学ぶ
4	電場(1)	クーロンの法則について学ぶ
5	電場2)	電場と電位について学ぶ
6	電場(3)	静電容量と電場のエネルギーについて学ぶ
7	電流(1)	オームの法則について学ぶ
8	電流(2)	キルヒホッフの法則について学ぶ
9	電流(3)	電流と磁場について学ぶ
10	電流(4)	電流に働く力について学ぶ
11	電磁誘導	ファラデーの法則について学ぶ
12	電磁波	マクスウェル方程式について学ぶ
13	演習	電磁気学の演習について学ぶ
14	量子力学	光量子仮説と量子力学の誕生について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
毎回授業後に授業内容を復習する。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は特に定めない。

【参考書】
「基礎からの物理学」山本貴博　裳華房。
「物理学」　小出昭一郎　裳華房。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト(50%)、レポート点(30%)、授業への積極的な貢献度(出席など)(20%)を目安として総合的に成績評価を行う。
評価するポイントは、
・物理法則を正確に理解しているか
・物理現象を数学的に正確に扱えるか
である。

【学生の意見等からの気づき】
講義ノートを配布することで理解が深まったとのことなので、今年度も講義ノートを学習支援システムで公開する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline (in English)】
（Course outline）
This course introduces electromagnetism, which includes; Coulomb's law, Gauss's law, Biot-Savart' law, Faraday's law.
（Learning Objectives）
At the end of the course, students are expected to understand the basics of electromagnetism described above.
（Learning activities outside of classroom）
After each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.
（Grading Criteria /Policy）
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
Term-end examination: 50%、Short reports : 30%、in class contribution: 20%.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

入門物理学

鈴木　健夫

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物理学は自然科学や工学の基礎である。この授業では力学を中心に物理現象の原理を理解し、自ら考え作業することを通じて物理の基本的な概念・法則を身に着け、それを応用して自然科学の諸現象を理解する力を養い、物理的思考法・科学的思考法を身につけることを目標とする。特に高校時代に物理を履修していなかったり、理解が十分でなかった学生を対象とする。

【到達目標】
・運動の分析（速度・加速度、x-tグラフ・v-tグラフの理解）。
・力の理解（つり合い、力のベクトル性、作用反作用の法則）。
・運動方程式を典型的な例（等加速度直線運動、等速円運動、単振動）に適用し使いこなせるようにする。
・運動量と力積、運動量保存則の理解。
・仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存則について概念を理解し、基礎的な問題に適用できるようにする。
・波動、音、光について基本的な内容のいくつかについて理解を深める。
上記の諸項目についてその概念を取り囲む背景を踏まえてその数学的記述（グラフ化、数式化）ができるようにする。微積分など数学的な手法は必要に応じて使い、高校から大学への移行が自然に行われるように進める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
講義と内容に沿った実験、実習を組み合わせて授業を進める。相互作用型演示実験講義(ILDs)である。学習内容をもとに実験結果を個人で予想し、グループで討論した上で実験結果を確認する。さらに演習問題に取り組み理解を深めた上で確認テストにより理解度を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス、運動の分析	ガイダンス ・物理量と単位、単位の換算 ・運動の分析（速度・加速度） ・x-tグラフ、v-tグラフ ・斜面上の物体の運動 ・等速直線運動
2	等加速度直線運動、落体の運動	・等加速度直線運動の公式 ・自由落下 ・ボイスメモを使った自由落下時間の測定実験（授業内） ・鉛直投射
3	落体の運動の実験、重力加速度	・斜方投射 ・加速度センサーを用いた重力加速度の測定実験（授業内及び課題）
4	静力学、運動の法則	・力のつりあい ・作用反作用 ・力と加速度、運動の法則
5	運動方程式の応用、様々な力、仕事とエネルギー	・運動方程式 ・摩擦力、弾性力 ・仕事の原理 ・運動エネルギー
6	力学的エネルギー保存の法則	・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則
7	円運動と慣性力	・等速円運動 ・向心力 ・慣性力
8	単振動	・単振動の周期・振動数 ・単振動の速度加速度 ・単振動の具体例（ばね振り子、単振り子）
9	万有引力	・ケプラーの法則 ・万有引力の法則 ・人工衛星
10	運動量と力積	・運動量と力積の定義 ・運動量保存の法則 ・反発係数 ・反発係数の測定実験（授業内）
11	波動Ⅰ（波の一般論）	・波の表現 ・横波、縦波 ・重ね合わせの原理 ・波の独立性 ・定常波
12	波動Ⅱ（干渉、音波）	・波の干渉 ・反射、屈折 ・音波の特徴 ・うなり ・ドップラー効果
13	波動Ⅲ（光）	・光波の特徴 ・光の屈折 ・光の干渉 ・回折格子による分光器の政策と実験（授業内と課題）
14	波動Ⅳ（光の性質）	・CDによる分光の実験（授業内） ・偏光 ・レンズの法則

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】準備では授業計画に示されたテーマについて教科書に目を通す、復習では授業中に行った問題演習を見直し理解が浅い部分を集中的に学習する。毎回の予習復習の時間は、4時間以上を想定している。翌週の授業開始時に前回の学習内容の確認テストを行う。また、3回程度課題が出る。これにかかる時間はそれぞれ最低4時間を想定している。

【テキスト（教科書）】
高校物理基礎、物理の教科書（数研出版など）。持っていない場合は生協等で購入。

【参考書】
よくわかる初等力学　前野昌弘著　東京書籍

【成績評価の方法と基準】
試験（50％）、毎時間ごとの振り返り・確認テスト（30％）、課題(20％)により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
履修後に最後まで続けられない学生が出るため、基本的な概念の定着を図ると同時に、学生の参加による相互討論などを増やし、学生の主体的な取り組みを強める。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、
電卓、ストップウォッチ(スマホなど電卓、ストップウォッチの機能を持つものがあればそれでよい。)

【Outline (in English)】
【Course outline】
The aim of this course is to help students acquire essential concepts and laws of physics through thinking and working,and students will understand various phenomena of natural science with their concepts and laws.This course is especially aimed at students who didn't take physics in high school or didn't understand it well enough.
【Learning Objectives】
By the end of this course,students should be able to do the followings:
-Understanding motion analysis.　i.e.velocity,acceleration,and their graphs
-Understanding balance of power,and law of action and reaction
-Appling equation of motion on uniform acceleration linear motion,uniform circular motion,and simple harmonic oscillation
-Understanding momentum and impulse,conservation of momentum
-Understanding work and energy,conservation of mechanical energy
-Understanding basic concepts of thermodynamics,wave motion and electromagnetics
【Learning activities outside of classroom】
Before each class meeting,students will be expected to have read the indicated chapters from the text.After each class meeting,students will be expected to have completed the required assignment.Your study time will be more than four hours for a class.At the start of the next week class,a test will be given to confirm what was learned last week.Students will be tasked assignment report about 4 times.Your study time for this will be more than four hours for each report.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination:50%Reflection card and Confirmation test for each class meeting:30%
Assignment report:20%

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎Ⅰ

清水　隆

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、生物学研究は急速に進歩し、社会にも大きな影響を与えています。本講義では、複雑な生命活動を理解するための基礎知識を身につけ、今後の研究や社会活動に生かしていくことを目的とします。また、生物学の発展に尽力した人物を取り上げ、その功績を掘り下げます。

【到達目標】
本講義は高校で生物学を履修してこなかった学生や、生物学が苦手だった学生を主な対象とします。今後の他講義を理解したり、卒業研究を遂行する上で必要な基礎知識を身につけます。そのために、毎回の小テストでは基本語句を習得し、講義内の演習や提出課題では、講義内容をより深く理解し自分の言葉で記述する力を獲得します。期間内に２回実施するまとめ試験で到達度を確認します。講義中は内容をノートにまとめることが要求されます。前期（生物学基礎Ⅰ）では生物学の基本、生物学史、細胞学、遺伝学を中心に進めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
「生物学基礎Ⅰ」と「生物学基礎Ⅱ」を通年で受講することが望ましいです。毎回の講義開始時に、前回の講義内容に関する用語チェックを実施します。講義中には、適宜演習時間を設け、提出課題が課せられます。さらに２回のまとめ試験を加えて成績を評価します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生命とは何か（序章） 生物学の基本（１章）	授業内容の説明および評価方法 生物学の歴史と方法　生物の多様性・共通性・階層性　遺伝学の基礎
2	細胞：生物の基本単位（２章）	細胞を見る技術　細胞を構成する物質
3	オルガネラ（２章）	細胞小器官の機能　細胞膜の構造と機能
4	恒常性（２章）	生体の内部環境を安定に保つしくみ
5	生体を構成する分子１（３章）	核酸の種類と構造
6	生体を構成する分子２（３章）	タンパク質の構造と機能
7	生体を構成する分子３（３章）	糖の種類と構造
8	生体を構成する分子４（３章） 中間試験	脂質の構造 前期前半の理解到達度判定
9	遺伝１（５章）	中間試験の解説と講評 遺伝子としてのDNA
10	遺伝２（５章）	遺伝情報の転写と翻訳
11	遺伝３（５章）	遺伝子発現制御　細胞の形態維持と運動
12	代謝１（４章）	触媒としての酵素　エネルギーの循環
13	代謝２（４章）	呼吸　エネルギー産生
14	代謝３（４章） 現代生物学の最前線　ク　ゲノム編集作物の現在１	光合成　代謝経路のネットワー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
① 予習：教科書の指示された部分を読んでおくこと
　　最近の科学ニュースについて自分の意見をまとめておくこと
② 復習：重要用語をまとめ、次回小テストの準備をすること
③ 提出課題

【テキスト（教科書）】
「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　第４版」和田勝　羊土社　2020　3200円

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
① 用語チェック（10 %）　② 提出課題（10 %）　③ まとめ試験（２回で80 %）

【学生の意見等からの気づき】
授業の難易度、レジュメの見やすさなどについては、学生からの意見を適宜取り入れて改善してきました。また、「基礎事項の復習に役立った」「生物学に対する興味が深まった」との評価がありました。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline (in English)】
In recent years, biological research has advanced rapidly and has great influence on society as well. In this lecture, we aim to acquire basic knowledge to understand complicated life activities, and make use of it in future research and social activities. Also, the person who contributed to the development of biology will be taken up and we will learn about their achievements.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

生物学基礎ＩＩ

清水　隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、生物学研究は急速に進歩し、社会にも大きな影響を与えています。本講義では、複雑な生命活動を理解するための基礎知識を身につけ、今後の研究や社会活動に生かしていくことを目的とします。また、生物学の発展に尽力した人物を取り上げ、その功績を掘り下げます。

【到達目標】
本講義は高校で生物学を履修してこなかった学生や、生物学が苦手だった学生を主な対象とします。今後の他講義を理解したり、卒業研究を遂行する上で必要な基礎知識を身につけます。そのために、毎回の小テストでは基本語句を習得し、講義内の演習や提出課題では、講義内容をより深く理解し自分の言葉で記述する力を獲得します。期間内に２回実施するまとめ試験で到達度を確認します。講義中は内容をノートにまとめることが要求されます。後期（生物学基礎Ⅱ）では発生学、免疫学、生態学を中心に進めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
「生物学基礎Ⅰ」と「生物学基礎Ⅱ」を通年で受講することが望ましいです。毎回の講義開始時に、前回の講義内容に関する用語集の作成をします。講義中には、適宜演習時間を設け、提出課題が課せられます。さらに２回のまとめ試験を加えて成績を評価します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 多細胞生物への道（６章）	授業内容の説明および評価方法
2	細胞（６章）	原核生物と真核生物 細胞間の結合様式と役割
3	遺伝子１（６章）	細胞間の情報交換ホルモンの受容と遺伝子発現
4	遺伝子２（７章）	DNAの複製　突然変異
5	遺伝子３（７章）	原核生物における遺伝子発現制御
6	遺伝子４（８章）	真核生物における遺伝子発現制御
7	細胞分裂	細胞周期 がん治療の最前線
8	中間試験 生殖と発生１（８章）	後期前半の理解到達度判定 生殖細胞の形成　受精と卵割
9	生殖と発生２（８章）	オーガナイザーと胚葉分化、形態形成
10	個体を守る免疫１（９章）	非特異的生体防御　特異的生体防御
11	個体を守る免疫２（９章）	体液性免疫　細胞性免疫　性感染症の予防と対策
12	さまざまな疾病（10章） 個体としてのまとまり（11章）	細胞の老化と再生　早老症　寿命と遺伝子 血友病　コレラ　がん
13	進化（12章）	古生物学概論　進化のしくみ 生物多様性はなぜ重要か
14	遺伝子工学・細胞工学	再生医療の最前線

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】
① 予習：教科書の指示された部分を読んでおくこと
　　最近の科学ニュースについて自分の意見をまとめておくこと
② 復習：重要用語をまとめること
③ 提出課題

【テキスト（教科書）】
「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　第３版」和田勝　羊土社　2015　3200円

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
① 提出課題（20 %）　② まとめ試験（２回で80 %）

【学生の意見等からの気づき】
授業の難易度、レジュメの見やすさなどについては、学生からの意見を適宜取り入れて改善してきました。また、「基礎事項の復習に役立った」「生物学に対する興味が深まった」との評価がありました。

【Outline (in English)】
In recent years, biological research has advanced rapidly and has great influence on society as well. In this lecture, we aim to acquire basic knowledge to understand complicated life activities, and make use of it in future research and social activities. Also, the person who contributed to the development of biology will be taken up and we will learn about their achievements.

BSP100LC（初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育 / Basic study practice 100）

情報リテラシーと表現技術

若林　哲

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理工系レポートにふさわしい表現力や効果的なプレゼンテーションの仕方を習得する。

【到達目標】
理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、ワード・エクセル・パワーポイントを用いた効果的なレポート作成とインパクトのあるプレゼンテーションの仕方を習得すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
対面講義と演習を行う。
ワード・エクセル・パワーポイントを用いたレポート作成演習を行う。この演習を通して、理工系レポートにふさわしい表現力を習得するとともに、効果的なプレゼンテーションについても学習する。提出課題については授業内でのフィードバックと個別フィードバックを適宜行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報リテラシーってなんだ？	情報リテラシーとは何についてを学ぶのか、情報モラルや情報セキュリティについて学ぶ。
第2回	ワードは便利？ それとも不便？	実際にWordを使ってできる便利な機能、日本語作成にとっては不便な部分を克服する方法を学ぶ。著作権や個人情報に関する理解を深める。
第3回	エクセルで文書作成？	表計算のツールでもあるExcelを使ってレポートの作成もできる可能性を探る。情報環境の近代史など情報に関して学ぶ。
第4回	ワードとエクセルでレポート作成！	文章設計や科学論文の書き方を学び、IoT機器の結果からレポートを作成する。
第5回	パワーポイントでプレゼン！	PowerPointを使ってどんなプレゼンができるのかチャレンジする。
第6回	エクセル演習	ピボットテーブルの使い方を学び、課題を用いて演習を行う。
第7回	パワーポイントにエクセルの表やグラフを組み込む	PowerPointのプレゼンにExcelで作成した表や動画・写真などをきれいに入れる技を習得する。情報セキュリティの時事ネタからどのような事に気をつけなければならないかを学ぶ。
第8回	レポートを作成しよう【中間テスト】	実験データを提供し、その値を元に実験レポートをWordとExcelで作成する。 インターネットを用いて調査し、レポートをまとめる。後半は【中間テスト】
第9回	事例による個人情報と著作権	個人情報や著作権の取り扱い方法を学ぶ。情報セキュリティに関する事例を紹介し、対策などをグループ討議する。
第10回	マナーとモラルをもう一度	個人情報保護、著作権の侵害などの情報モラルや情報セキュリティに関する内容を改めて詳しく解説する。仮想卒業論文をネタにWordの使い方を演習する。
第11回	グラフの作成	Excelを使ったグラフ作成方法の基本と応用を習得する。自己PR資料を作成する。
第12回	困ったときにどうするか？	Officeの利用方法をインターネット検索で調べる方法のこつを学ぶ。仮想エントリーシートを作成して、自己アピールを作成する。
第13回	パワーポイント演習と実践	PowerPointを使ってプレゼン作成の演習。自己PRを例に良いプレゼントは何かを学ぶ。
第14回	授業時間内テスト	授業時間内で提示されたデータを元にOfficeで資料を作成する課題を完成させる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】教科書は基本的に自習用となっており、事前に独習して進める。授業中は基本的な使い方は教科書で自習している前提で演習を行う。
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
演習課題は、残りを時間外に復習も兼ねて完成させ、レポートにまとめ期日までに提出する。

【テキスト（教科書）】
講義資料は授業の数日前にHoppiiよりダウンロードできるように準備し、PDFで配布する。
下記書籍を生協では準備してもらっている。
書籍名：30時間でマスター　Office2021
出版社：実教出版
定価　：本体1150円
ISBN　：978-4-407-35937-4

【参考書】
書籍名：サイエンス・ライティング入門
著者名：落合洋文
出版社：ナカニシヤ出版
定価　：本体1500円
ISBN978-4-7795-0139-5
書籍名：理科系の作文技術
著者名：木下是雄
出版社：中公新書
定価　：本体700円
ISBN4-12-100624-0
情報モラルや情報セキュリティの最新情報は下記のWebなどで収集して欲しい。
https://www.ipa.go.jp/

【成績評価の方法と基準】
評価方法：　演習や課題の提出物(40%)、中間テスト(20%)、最終課題(20%)、授業内テスト(20%)で総合的に評価する。
評価基準：　本科目において設定した達成目標を60％以上達成している学生を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
日本語に限らず、情報を発信するために必要な事柄を身につけて欲しい。

【学生が準備すべき機器他】
貸与されたノートパソコンまたはOfficeが使えるノートパソコン。

【その他の重要事項】
授業形態は大学からの指示に従い、対面が禁止されない限りは対面で実施の方向で考えています。
基本的にOfficeのアプリの基本的な使い方は教科書を読みながら自習して事前に進めておく事。授業内では自習でわからなかった部分の質問に対応する形とする。

【Outline (in English)】
[Course outline] Acquire the ability to express yourself appropriately for scientific and technical reports and how to give effective presentations.
[Learning Objectives] In this course, you will acquire the ability to express yourself appropriately for writing scientific and technical reports, and learn how to create effective reports and make impactful presentations using Microsoft Word, Excel, and PowerPoint.
[Learning outside of class hours] Approximately 4 hours of study is required for preparation and review for each class in order to understand the course content.
[Grading Criteria] Grades will be based on the following criteria and a score of 60%or above will be considered a pass.
< Exercises and assignment submissions: 40%, midterm exams: 20%, final assignments: 20%, in-class exams: 20%>

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語コミュニケーション

高橋　完治

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
身近なテーマについて話す・聞く・読む・書く練習をする．ドイツ語コミュニケーション能力の基礎を身につけることが目的である．

【到達目標】
日常生活のなかでよく使われる平易な表現や言い回しを理解し，運用できる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
どのテーマも，写真や絵とドイツ語とを（時には推理力を働かせて）結び付けることから始める．ビデオを観て，これをテーマへの導きとする場合もある．この導入部の後，手本となる会話を多角的に理解し，これをもとに，互いにインタビューをしたり紹介文を書いたり，班同士で情報を交換して隠れた事柄を見つけ出したりなど，さまざまな内容のペア作業やグループ作業を展開する．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Kontakte (1)	あいさつを交わす／名前を訊く・答える
2	Kontakte (2)	出身地を訊く・答える／ペアで簡単なDialogを作る
3	Kontakte (3)	国名に親しむ／duとSieの使い分けに慣れる
4	Kontakte (4)	「お元気ですか」の表現を使う／人を紹介する
5	Personalien (1)	名前のつづりを伝える／職業を訊く・答える
6	Personalien (2)	配偶関係・子供の有無について話す
7	Personalien (3)	居住地と年齢を訊き合う／人物の紹介文を書く
8	Familie (1)	家族のことを尋ねる・答える
9	Familie (2)	家族について簡単な記事を書く
10	Einkaufen, Möbel (1)	買い物をする時の表現を学ぶ／家具の値段を訊く・答える
11	Einkaufen, Möbel (2)	「すてきだ，モダンだ」など家具を評価する
12	Gegenstände, Produkte	身の回りの物の名を訊く／物を形容する言葉（色・形・素材）に親しむ
13	Wie viele ...?	物をいくつ持っているか，物がいくつ必要かを表現する
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】授業の後，学習事項を振り返る．音声教材に繰り返し接し，発音の質や聞き取り能力の向上に努める．

【テキスト（教科書）】
Franz Specht u. a.: Menschen A1/1, Kursbuch. Hueber

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
ドイツ語学習は楽しい経験となったようだ．

【Outline (in English)】
By developing the four skills of speaking, listening, reading, and writing, this German course aims to equip students with basic communicative abilities necessary for simple everyday situations. By the end of the course, students should be capable of understanding and using familiar everyday expressions and very basic phrases.
After each class meeting, students are expected to review the learning content, listen to the native speakers on audio, and practice speaking along with them. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語コミュニケーション

高橋　完治

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語に初めて触れる学生諸君を対象とし，身近なテーマについて話す・聞く・読む・書く練習をする．ドイツ語コミュニケーション能力の基礎を身につけることが目的である．

【到達目標】
日常生活のなかでよく使われる平易な表現や言い回しを理解し，運用できる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
どのテーマも，写真や絵とドイツ語とを（時には推理力を働かせて）結び付けることから始める．ビデオを観て，これをテーマへの導きとする場合もある．この導入部の後，手本となる会話を多角的に理解し，これをもとに，互いにインタビューをしたり紹介文を書いたり，班同士で情報を交換して隠れた事柄を見つけ出したりなど，さまざまな内容のペア作業やグループ作業を展開する．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Kontakte (1)	あいさつを交わす／名前を訊く・答える
2	Kontakte (2)	出身地を訊く・答える／ペアで簡単なDialogを作る
3	Kontakte (3)	国名に親しむ／duとSieの使い分けに慣れる
4	Kontakte (4)	「お元気ですか」の表現を使う／人を紹介する
5	Personalien (1)	名前のつづりを伝える／職業を訊く・答える
6	Personalien (2)	配偶関係・子供の有無について話す
7	Personalien (3)	居住地と年齢を訊き合う／人物の紹介文を書く
8	Familie (1)	家族のことを尋ねる・答える
9	Familie (2)	家族について簡単な記事を書く
10	Einkaufen, Möbel (1)	買い物をする時の表現を学ぶ／家具の値段を訊く・答える
11	Einkaufen, Möbel (2)	「すてきだ，モダンだ」など家具を評価する
12	Gegenstände, Produkte	身の回りの物の名を訊く／物を形容する言葉（色・形・素材）に親しむ
13	Wie viele ...?	物をいくつ持っているか，物がいくつ必要かを表現する
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】授業の後，学習事項を振り返る．音声教材に繰り返し接し，発音の質や聞き取り能力の向上に努める．

【テキスト（教科書）】
Franz Specht u. a.: Menschen A1/1, Kursbuch. Hueber

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
グループ作業は楽しかったようだ．理解度を確認する機会を増やすことにする．

【Outline (in English)】
This course is designed for students with no prior knowledge of the German language. It aims to equip students with basic communicative abilities needed in simple everyday situations by developing the four skills of speaking, listening, reading, and writing. By the end of the course, students should be able to understand and use familiar everyday expressions and very basic phrases.
After each class meeting, students are expected to review the learning content, listen to the native speakers on audio, and practice speaking along with them. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

中級ドイツ語リーディング

高橋　完治

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日常のさまざまな場面との関連のもとに，ドイツ語読解能力の向上を図る．

【到達目標】
日常的なテーマについて書かれた平易なテクストの要点をつかむことができる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
問いに答えるという仕方で，テクストの内容を大まかにあるいは細かく把握してゆく．この作業に付随する種々のタスクをこなすことで，語彙と文法事項の復習・拡充を図り，聴く能力と書く能力の強化もおこなう．テーマと取り組みやすくするために視聴覚資料を活用し，テクストに対する質問を自分で作成して訊き合うなどのペア作業やグループ作業も織り交ぜる．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Vergangenes (1)	人物の過去の行動を叙述する
2	Vergangenes (2)	経験を語る
3	Beruf und Arbeit	経歴についてのメールを読み，質問を作成する
4	Wer ist der Täter?	複数の人物の供述を読んで比較し，虚偽を見つける
5	Arbeitsalltag	企業実習についてのブログを読む
6	Orte und Richtungen	通勤・通学についてのテクストを読む／場所・移動に関する前置詞について学ぶ
7	Briefe	手紙の書き方の基本を学ぶ／招待状を読んで返信を書く
8	Fit und gesund (1)	健康的な生活についての意見を読む／体調不良を訴える表現を学ぶ
9	Fit und gesund (2)	健康上の問題について助言する
10	Fit und gesund (3)	健康に関する広告を理解する／問い合わせのメールを書く
11	Wohnung (1)	居住空間についての意見を読む／住まいの広告を理解する
12	Wohnung (2)	どの部屋に何を置くのか，部屋のどこに何を置くのかを表現する／居住空間や家具を評価する
13	Wohnung (3)	ドイツのさまざまな住宅様式の長所と短所を整理する／自分の住まいを描写する
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】復習用の課題と取り組む．

【テキスト（教科書）】
Stefanie Dengler u. a.: Netzwerk neu A1.2, Kurs- und Übungsbuch mit Audios und Videos. Ernst Klett Sprachen

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
理解度は高かったようだ．

【Outline (in English)】
This German course is designed to further improve students' reading skills in relation to everyday situations. By the end of the course, students should be able to comprehend the main points of simple texts on familiar topics.
After each class meeting, students are expected to review the learning content. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

中級ドイツ語コミュニケーション

鈴木　淳子

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本文法の習得とともにドイツ語によるコミュニケーション能力を養う.

【到達目標】
文法の知識をしっかり身に付けたうえで、それを適切に運用し、簡単な内容をドイツ語で表現できるようになる。読む・聞く・書く・話す力をバランスよく学習する。ドイツ語検定試験4級受験にも対応できる能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
文法の詳しい説明をした後、教科書の課題に取り組む。音読・対話を重視する。
折にふれて独検問題もしくはその模擬問題にも挑戦する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	基礎ドイツ語コミュニケーションの学習内容の確認	L.1-4 (p.2-25)
2	前置詞の格変化	L.5 (p.26-27)
3	3・4格支配の前置詞	L.5 (p.26-27)
4	動詞・形容詞の前置詞支配、前置詞と人称代名詞・疑問代名詞の融合系	L.5 (p.28-31)
5	話法の助動詞 未来形	L.6 (p.32-33)
6	分離動詞 非分離動詞	L.6 (p.34-35)
7	接続詞	L.6 (p.34-35)
8	読みもの	L.6 (p.36-37)
9	独検問題	別プリント
10	動詞の3基本形 過去人称変化	L.7 (p.38-39)
11	過去人称変化（続）	L.7 (p.38-39)
12	現在完了形	L.7 (p.40-43)
13	現在完了形（続）	L.7 (p.40-43)
14	総復習	L.5-7 (p.26-43)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】
授業の後、学習事項を振り返る。音読の他、音声教材も使って聞き取り能力を高める。

【テキスト（教科書）】
前田良三・高木葉子著『ドイツ語ナビゲーション 3.0』、朝日出版社

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（70%）、平常点および授業態度（30%）を総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の多くがドイツおよびドイツ語に強い関心をもっているのが分かった。その気持ちを汲みながら良質の授業を目指したい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve german communicative skills of students. They learn the basic grammer and then learn to use it properly in various situations. They practice hearing, reading, writing and speaking german language. This practice will be helpful to them when they take a certification examination [Diplom Deutsch].
After each class meeting, students will be expected to review the last lesson. Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

中級ドイツ語コミュニケーション

高橋　完治

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語技能検定試験も視野に入れながら，下記のテーマについて話す・聞く・読む・書く練習をする．ドイツ語コミュニケーション能力の向上が目的である．

【到達目標】
日常生活に必要な表現や言い回しを理解し，運用できる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
どのテーマも，写真や絵とドイツ語とを（時には推理力を働かせて）結び付けることから始める．ビデオを観て，これをテーマへの導きとする場合もある．この導入部の後，手本となる会話を多角的に理解し，これをもとに，互いにインタビューをしたりメールを書いたり，班同士で情報を交換して隠れた事柄を見つけ出したりなど，さまざまな内容のペア作業やグループ作業を展開する．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Freizeit (1)	「スキーは得意」「料理は苦手」など得手不得手を話す
2	Freizeit (2)	余暇活動について話す
3	Uhrzeiten	時刻を訊く・答える
4	Verabredungen	誘い・受諾・断りの表現を学ぶ
5	Ein Tag in Berlin	ベルリン見物の日程を組む
6	Essen und Trinken (1)	食料品の名前に親しむ
7	Essen und Trinken (2)	食習慣について話す
8	Essen und Trinken (3)	「おいしく召し上がれ」「コーヒーはいかが」など食卓で使う表現を学ぶ
9	Reisen, Verkehrsmittel (1)	交通機関の名称，乗車・降車の表現，駅や車内のアナウンスに親しむ
10	Reisen, Verkehrsmittel (2)	交通機関を利用する際に必要となる情報をやり取りする
11	Vergangenes (1)	過去の行動について話す
12	Feste	ドイツの祭りやイベントについて知る／地元の祭りについてドイツ語で質疑応答する
13	Vergangenes (2)	人物の行動を描写する／経験の有無を訊き合う
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】授業の後，学習事項を振り返る．音声教材に繰り返し接し，発音の質や聞き取り能力の向上に努める．

【テキスト（教科書）】
Franz Specht u. a.: Menschen A1/1, Kursbuch. Hueber

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
ドイツ語学習は楽しい経験となったようだ．

【Outline (in English)】
This German course aims to enhance students' speaking, listening, reading, and writing skills so that they can attain communicative competence at an intermediate level. The course also provides support for students preparing for the DDJ (Diplom Deutsch in Japan) tests. By the end of the course, students should be capable of understanding and using a broader range of everyday expressions and basic phrases.
After each class meeting, students are expected to review the learning content, listen to the native speakers on audio, and practice speaking along with them. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

中級ドイツ語ライティング

高橋　完治

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日常のさまざまな場面との関連のもとに，ドイツ語で書く力を向上させる．

【到達目標】
日常的な事柄に関する平易で短い文章（たとえば祭りや街の紹介文，旅の思い出話など）を，文法的に正確なドイツ語で書くことができる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
視聴覚資料を活用するなどしてテーマと取り組み易くしたうえで，語彙や文法事項を復習・拡充し，テクストを書き換える，ひな形に沿って書く，ペアでやり取りするなど，さまざまなタスクをこなしてゆく．提出された答案は添削し，コメントを付して返却する．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Jobsuche (1)	仕事を得るに至った経緯が書かれたテクストを読み，内容をドイツ語で纏める／求人広告を理解する
2	Jobsuche (2)	求人について電話で照会するためのひな型を学ぶ
3	Jobsuche (3)	経歴を書く
4	Telefonieren	ビジネス電話でよく使われる表現を学ぶ
5	Feste und Arbeit	ドイツの祭りとそこで働く人々について書かれた記事を読む／地元の祭りを紹介するテクストを書く
6	Kleidung (1)	衣服に関する表現を学ぶ／〈どの～？〉〈この～〉を言い表す
7	Kleidung (2)	服装を描写する
8	Im Kaufhaus	デパートのどこで何が買えるのかを訊く・教える
9	Berlin	ベルリンについて書かれた記事を読む／街を紹介するテクストを書く
10	Städtereise (1)	ホテルの受付でチェックインする際の表現を学ぶ
11	Städtereise (2)	旅先での行動を順序立てて述べる／旅の思い出話を読み，内容について問いを作成する
12	Städtereise (3)	旅の思い出話を創作する
13	Wetter /Reiseziele	天気を言い表す／ドイツ人の好む観光地とそこでの行動について書かれた記事を読む／日本人の好む観光地とそこでの行動について書く
14	Was kann ich schon?	まとめとテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】復習用の課題と取り組む．

【テキスト（教科書）】
Stefanie Dengler u. a.: Netzwerk neu A1.2, Kurs- und Übungsbuch mit Audios und Videos. Ernst Klett Sprachen

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する．

【成績評価の方法と基準】
平常点（60%）にテストの成績（40%）を加えて評価する．

【学生の意見等からの気づき】
理解度は高かったようだ．

【Outline (in English)】
This German course is designed to further enhance students' writing skills in everyday situations. By the end of the course, students should be capable of composing short and simple texts in grammatically correct German on familiar topics, such as descriptions of festivals and cities, as well as travel stories.
After each class meeting, students are expected to review the learning content. The required study time is at least one hour for each class meeting.
Grading will be determined based on the usual performance score (60%) and the term-end examination (40%).

LANd100LC（ドイツ語 / German language education 100）

基礎ドイツ語コミュニケーション

鈴木　淳子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本文法の習得とともにドイツ語によるコミュニケーション能力を養う.

【到達目標】
文法の知識をしっかり身に付けたうえで、それを適切に運用し、簡単な内容をドイツ語で表現できるようになる。読む・聞く・書く・話す力をバランスよく学習する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
文法の詳しい説明をした後、教科書の課題に取り組む。音読・対話を重視する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	アルファベート 発音	補助プリント
2	発音復習、挨拶表現 主語になる人称代名詞 規則動詞の現在人称変化	L.1 (p.ii-iii, 2-5)
3	定動詞の位置 sein,habenの現在人称変化	L.1 (p.2-7)
4	名詞の性 定冠詞と名詞の格変化 不定冠詞と名詞の格変化	L.2 (p.8-9)
5	疑問代名詞 名詞の複数形 男性弱変化名詞	L.2 (p.10-11)
6	読みもの	L.2 (p.12-13)
7	不規則動詞の現在人称変化	L.3 (p.14-15)
8	命令形	L.3 (p.14-15)
9	人称代名詞１・３・４格 非人称主義es 不定代名詞man	L.3 (p.16-19)
10	これまでの復習	L.1-3 (p.2-19)
11	定冠詞類 不定冠詞類	L.4 (p.20-21)
12	nichtの位置 ja,nein,dochの用法	L.4 (p.22-23)
13	読みもの	L.4 (p.24-25)
14	総復習	L.1-4 (p.2-25)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は，1時間を標準とする】
授業の後、学習事項を振り返る。音読の他、音声教材も使って聞き取り能力を高める。

【テキスト（教科書）】
前田良三・高木葉子著『ドイツ語ナビゲーション 3.0』、朝日出版社

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（70%）、平常点および授業態度（30%）を総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の多くがドイツおよびドイツ語に強い関心をもっているのが分かった。その気持ちを汲みながら良質の授業を目指したい。

【Outline (in English)】
The purpose of this class is to improve german communicative skills of students. They learn the basic grammer and then learn to use it properly in various situations. They practice hearing, reading, writing and speaking german language.
After each class meeting, students will be expected to review the last lesson. Grading will be decided based on term-end examination(70%) and in-class contribution(30%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語コミュニケーション

ギユモ　セレスト

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初めてフランス語コミュニケーションを学ぶ人を対象とした授業である。主に会話的な表現を学ぶ。具体的にはフランス・フランス語圏での日常生活に必要な自己表現力を養う。

【到達目標】
主な目標は以下の通りである：
- フランス語で簡単な自己紹介ができること
- フランス語の基礎コミュニケーション力を身につけること
- フランス・フランス語圏の文化・習慣や価値観について理解すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
毎週フランスの日常生活の様々なシチュエーションをテーマにして授業を行う。その際に、文法を学習・復習しながら、新しい語彙と役に立つ表現を身につけ、ロールプレイやインタービュー等の授業内活動によってそれらの使い方を練習する。また、正しい発音はフランス語話者との効果的なコミュニケーションに必要不可欠であるため、毎週フランス語の子音・母音やリズム等の音声的特徴の説明・練習をする。
課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の紹介、Leçon 0	挨拶 フランス語の綴りと発音 授業でよく使う表現
第2回	Leçon 1-2	職業・身分を言う 国籍を言う 話せる言語を言う 数字(0-19)
第3回	Leçon 2-3	住んでいる所を尋ねる・言う 家族について話す 年齢を尋ねる・言う 数字（20-100）
第4回	Leçon 4	好みを言う 理由を尋ねる・言う
第5回	Leçon 5	ものについて尋ねる・説明する 位置や場所を尋ねる・言う
第6回	Leçon 6	容姿や服装を尋ねる・説明する 持ち主を言う
第7回	Leçon 7	移動について説明する 交通手段を言う
第8回	Leçon 8	天候について話す 時刻を尋ねる・言う
第9回	Leçon 9	食習慣について話す 値段を尋ねる・言う
第10回	Leçon 10	習慣について話す 日常の生活について話す 数（100～999999）
第11回	Leçon 11	過去のことを話す（1） いつのことだったかを言う
第12回	Leçon 12	過去のことを話す（2） 期間を言う
第13回	Leçon 13	過去の習慣について話す 変化を表す
第14回	まとめ、期末テスト	まとめ、期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習　（オーラルテストを定期的に行う）
- 語彙の復習
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
エマニュエル アンティエ 著, 三上 純子 著, ミシェル サガズ (2020) フラッシュ！ 三訂版,駿河台出版社, 2400円+税

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点 60％　（授業参加、小テスト）
期末試験 40％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
This class is designed for students learning French communication for the first time. It primarily focuses on conversational expressions. Specifically, it aims to develop the ability to express oneself in everyday situations in France and other French-speaking regions.
The main objectives of this course are as follows: to enable students to introduce themselves in simple French, to develop basic communication skills in the language, and to gain an understanding of culture, customs and values in France and French-speaking regions.
Work to be done outside of class:
Students are expected to complete regular homework and reviewthe course material before class.
Grading criteria:
In class activities and assignments 60 %, Final exam 40%

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

中級フランス語リーディング

平岡　敦

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、すでにフランス語の基礎を学んだことのある学生を対象としています。初級文法を身につけ、フランス語の文章を読めるようになることが目的です。フランス語検定４級以上合格程度の読解能力を養います。

【到達目標】
フランス語検定4級合格程度のフランス語読解能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書とフランス語検定の問題を併用しながら、読解能力と読解のために必要な文法能力の向上をめざします。授業では、暗唱の確認をした後に、教科書のフランス語を読み、教科書の練習問題を通して文法事項の理解を確認します。受講生の人数や、フランス語のレベル、興味関心に応じて、進度は調節します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業紹介、第1課、第2課	授業の進め方、辞書等の紹介を行ったのち、フランス語の単語の発音を確認する。
第2回	第3課、第4課	不定冠詞、冠詞、所有形容詞を用いた文章や疑問文を音読し、それらの用法を学習する。
第3回	第5課	フランス語のアクセントと音節について学習し、複数の文章を読む方法を身につける。可能ならば、フランス語の歌を歌い、音節がどのようなものか体験する。
第4回	第6課	形容詞の用法を学習し、男性形、女性形、単数系、複数形を自在に使いこなすための練習をする。
第5回	第7課	縮約と倒置について学習しする。また、「同格」についても学習する。
第6回	第1課から第7課の復習	第1課から第7課のいずれかの暗唱や書き取りを行い、苦手な文法事項や音を分析する。時間があれば、仏検3級相当の問題を解き、理解の定着度と学習効果を分析する。
第7回	第8課	フランス語の句読法（ポンクチュアシオン）について学習する。長めの文章を読むときに気をつけるべき句読法への注意力を養う。
第8回	第9課	部分を表すdeについて学習する。
第9回	第10課	関係代名詞quiについて学習する。また、反対語について知り、文章読解に必要な語彙を広げるためのコツを身につける。
第10回	第8課から第10課の復習	第8課から第10課のいずれかの暗唱や書き取りを行い、苦手な文法事項や音を分析する。時間があれば、仏検3級相当の問題を解き、理解の定着度と学習効果を分析する。
第11回	第11課	関係代名詞qui、que、dontについて学び、フランス語の文の修飾に慣れる。
第12回	第12課	過去分詞の用いかたについて学習する。形容詞的な用い方や複合過去の構成要素としての用い方など、過去分詞の多様な働きを理解する。
第13回	第13課	半過去の用いかたを学習し、特に情景描写をする文章を読めるようにする。
第14回	第14課	フランス語の手紙を読む。とくに、手紙特有の表現を身につける。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各4時間を標準とします。】
まず、教科書の文章を予習段階で徹底的に音読し、指定した箇所を暗唱しましょう。また、教科書のフランス語を自力で和訳しましょう。

【テキスト（教科書）】
適宜、指示をします。

【参考書】
適宜、指示をします。

【成績評価の方法と基準】
授業内の取り組み100％。
授業に3分の2以上参加していることが単位認定の必要条件です。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students develop reading skill in French.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.Your study time will be more than one hour for a class.
Final grade will be calculated according to the in-class contribution(100%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語コミュニケーション

沖本　龍哉

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語のあいさつを初めとする基本表現を身につけて、日常的に使えるようにする。
・身につけた表現はどのような場面で使えるか、具体的に考えて、実践できるようにする。

【到達目標】
・身につけたフランス語の表現を使って、実際にコミュニケーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、
・フランス語の音声に耳を慣らす。（きく）
・口で自然と正しい発音ができる。（まねる）
・身につけた表現を使用してみる。（つたえる）
以上の三つのステップを意識しながら、実際に使えるフランス語の表現を身につけることで、外国語に対する苦手意識の克服や、コミュニケーション能力の向上をめざす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	主語人称代名詞
第3回	Leçon 2	疑問副詞 comment
第4回	Leçon 3	動詞 être
第5回	Leçon 4	否定文
第6回	前半の小テスト	Leçon 1 から 4 までの復習
第7回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第8回	Leçon 5	出身地
第9回	Leçon 6	動詞 habiter「住む」
第10回	Leçon 7	疑問文
第11回	Leçon 8	疑問副詞 quand où combien
第12回	後半の小テスト	Leçon 5 から 8 までの復習
第13回	外国語を学ぶ方法について	効率のよい学習方法を考える
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、2時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

中級フランス語コミュニケーション

ギユモ　セレスト

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、今までのフランス語の授業によって学んできた文法や語彙を応用・復習し、その理解を深めながら、様々な授業内活動を通じて言語知識とコミュニケーション能力をを発展させ、活かしていく。

【到達目標】
主な目標は以下の通りである：
- フランス語のコミュニケーション力を高めること
- フランス・フランス語圏の文化・習慣や価値観について理解すること
- 実用フランス語技能検定資格5級以上を取得すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
毎週フランスの日常生活の様々なシチュエーションをテーマにして授業を行う。その際に、文法を学習・復習しながら、新しい語彙と役に立つ表現を身につけ、ロールプレイやインタービュー等の授業内活動によってそれらの使い方を練習する。それに加えて、フランス語技能検定試験の過去問等でも練習する。
また、正しい発音はフランス語話者との効果的なコミュニケーションに必要不可欠であるため、毎週フランス語の子音・母音やリズム等の音声的特徴の説明・練習をする。
課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の紹介	授業の説明 互いにフランス語で自己紹介する。
第2回	Unité 1	誰かに挨拶する 誰かを紹介する 仏検過去問
第3回	Unité 2	OuiかNonで答える質問をする 質問に答える 仏検過去問
第4回	Unité 3	買い物をする 値段を尋ねる 仏検過去問
第5回	Unité 4	いつ起こったことなのかを説明する 仏検過去問
第6回	Unité 5	どこなのかを説明する 道を尋ねる・教える 仏検過去問
第7回	Unité 6	家族や友達のことを話す 誰かのことを紹介したり尋ねたりする 仏検過去問
第8回	Unité 7 (1)	ものを描写する 趣味について話す 仏検過去問
第9回	Unité 7 (2)	ものを描写する 趣味について話す 仏検過去問
第10回	Unité 8	交通手段について話す 切符を買う 仏検過去問
第11回	Unité 9	過去の出来事や、状況、習慣について話す 仏検過去問
第12回	Unité 10	仮定する 条件をつける 仏検過去問
第13回	復習	復習・まとめ 仏検過去問小テスト
第14回	まとめ、期末試験	まとめ 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
授業の理解を深めるために、以下の授業時間外の学習が必要となる：
- 毎週の宿題（教科書の問題や授業支援システム上の読解・文法練習）
- 教科書内容を予習・復習
- 語彙の復習
- 分からない単語は事前に辞書で意味や発音を確認すること

【テキスト（教科書）】
アルベリック・ドリブル /ベアトリックス・ファイフ /寺田寅彦 (2017) リズコミ！ フランス語会話 (Rythmes et communication), 朝日出版, 2500円+税

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点70％　（授業参加、小テスト）
期末試験30％
※正当な理由なく5回もしくはそれ以上欠席した場合、評価の対象としない。

【学生の意見等からの気づき】
NA

【その他の重要事項】
授業の進度によって、シラバスの内容を変更することがある。

【Outline (in English)】
In this course, students will apply and review the grammar and vocabulary they have learned in previous French classes, deepening their understanding of these concepts. Through various in-class activities, they will further develop their linguistic knowledge and communication skills, putting them into practical use.
The main objectives of this course are as follows: to enhance students' communication skills in French, to deepen their understanding of the culture, customs, and values of France and other French-speaking regions, and to prepare them to obtain Level 5 or higher in the APEF Test.
Work to be done outside of class:
Students are expected to complete regular homework and review the course material before class.
Grading criteria:
In class activities and assignments 70％, Final exam 30%

LANf300LC（フランス語 / French language education 300）

中級フランス語ライティング

平岡　敦

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語での作文力を養成し、フランス・フランス語圏についての認識を深める。

【到達目標】
フランス語で手紙や日記などを書き、自己表現することができる。
フランス語検定資格4級以上を取得できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
フランス語検定試験問題に当たって、文法のポイントを押さえながら、
フランス語で書き、自己表現する練習を重ねる。
インターネットでメールを送ったり、日本についての紹介記事を書いてみる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業紹介	授業の紹介。 慣用句や熟語表現を用いてフランス語で作文する
第2回	動詞の法	さまざまな法を用いて、フランスで作文する。
第3回	代名詞	さまざまな代名詞を用いて、フランス語で作文する。
第4回	前置詞	さまざまな前置詞を用いて、フランス語で作文する。
第5回	冠詞と名詞	さまざまな冠詞を用いて、フランス語で作文する。
第6回	動詞の時制：過去の表現	過去時制を用いて、日記を書く。
第7回	動詞の時制:未来の表現	未来時制を用いて、将来の計画を記す。
第8回	疑問文	級友にフランス語で手紙を書き、さまざまな質問をする。
第9回	自己紹介文	できるだけ詳しくフランス語で自己紹介をする。
第10回	感想文	フランス・フランス語圏の映画を見て、感想や意見を述べる。
第11回	メールを送る	フランス語で級友とメールのやりとりをする。
第12回	解説文	日本の歴史、社会、文化などをフランス語で解説する。
第13回	詩作	フランス語で詩やシャンソンを書いてみる。
第14回	総復習	さまざまな文体によるフランス語作文を試みる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とします】授業で学んだ事柄の定着を計るため、仏検過去問への取り組みなど適宜課題を課します。

【テキスト（教科書）】
学習支援システム上でオンライン教材を示します。
適宜プリント配布を行います。

【参考書】
適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点５０％、検定試験への取り組み２０％、期末試験３０％として総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students develop writing skill in French. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.Your study time will be more than one hour for a class.
Final grade will be calculated according to the following process:Term-end examination(30%), Test in Practical French Proficiency (20%)and in-class contribution(50%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

中級フランス語コミュニケーション

平岡　敦

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語でのコミュニケーション能力を高め、
フランス・フランス語圏について認識を深める。

【到達目標】
実用フランス語技能検定資格5級以上を取得する。
フランス語のインターネットサイト等で情報を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
フランス語技能検定試験の過去問等にあたりながら、コミュニケーション能力を高めます。
ペア・ワークやグループ・ワークを取り入れ、フランス・フランス語圏の最新事情について情報交換する場を設けます。
学習支援システムを通じて、課題の提出やフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の紹介	互いにフランス語で自己紹介する。
第2回	直説法複合過去	直説法複合過去形を使って、過去について語り合う。
第3回	代名動詞	代名動詞を用いて、日常の習慣を語り合う。
第4回	直説法半過去	直説法半過去形を用いて、過去の習慣を語り合う。
第5回	直説法単純未来	直説法単純未来を用いて、未来について語り合う。
第6回	疑問形	互いの現在、過去、未来についてたずね合う。
第7回	ジェロンディフ	ジェロンディフを用いて語り合う。
第8回	中性代名詞	互いに質問し、中性代名詞を用いて答える。
第9回	受動態	受動態を用いて語り合う。
第10回	条件法現在	条件法現在形を用いて丁寧に語る。
第11回	条件法過去	反実仮想の過去について語り合う。
第12回	接続法現在	互いに接続法現在を用いて語り、聞きとる。
第13回	考えを述べる	フランス・フランス語圏の映画や音楽について、語り合う。
第14回	総まとめ	フランス語のインターネットサイトでフランス・フランス語圏について調べ、フランス語で発表する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
フランス語文法の定着を図り、表現力を高めるため、練習問題を中心とした課題をこなします。

【テキスト（教科書）】
学習支援システム上でオンライン教材を示します。
適宜プリント配布を行います。

【参考書】
適宜、指示をします。

【成績評価の方法と基準】
平常点　５０％
実用フランス語技能検定資格への取り組み　２０％
期末試験　３０％として総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】
The aim of this course is to help students boost their communication skills in French.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.
Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination (30%),Test in Practical French Proficiency(20%) and in-class contribution(50%).

LANf100LC（フランス語 / French language education 100）

基礎フランス語コミュニケーション

沖本　龍哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・フランス語のあいさつを初めとする基本表現を身につけて、日常的に使えるようにする。
・身につけた表現はどのような場面で使えるか、具体的に考えて、実践できるようにする。

【到達目標】
・身につけたフランス語の表現を使って、実際にコミュニケーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
この授業では、
・フランス語の音声に耳を慣らす。（きく）
・口で自然と正しい発音ができる。（まねる）
・身につけた表現を使用してみる。（つたえる）
以上の三つのステップを意識しながら、実際に使えるフランス語の表現を身につけることで、外国語に対する苦手意識の克服や、コミュニケーション能力の向上をめざす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	この授業で何を学ぶか
第2回	Leçon 1	不定冠詞 un une des
第3回	Leçon 2	定冠詞 le la les
第4回	Leçon 3	C'est「これは～です」
第5回	Leçon 4	Il y a「～があります（います）」
第6回	Leçon 5	Voici Voilà「あそこ（ここ）に～があります」
第7回	前半の小テスト	Leçon 1 から 5 までの復習
第8回	外国語を学ぶ目的について	語学の意味について話し合う
第9回	Leçon 6	動詞 aimer「～が好き」
第10回	Leçon 7	動詞 vouloir「ほしい」
第11回	Leçon 8	動詞 faire「～する」
第12回	Leçon 9	動詞 finir「終わる」
第13回	後半の小テスト	Leçon 6 から 9 までの復習
第14回	まとめ	この授業で学んだこと

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回の授業後に、学んだことや気づいたことについて、2時間ほどかけてコメントを作成して、期日までに提出する。
・コメントに記入したことを次回の授業で説明できるようにしておくことで、お互いの意見や感想が共有され、授業内容の理解が深まります。

【テキスト（教科書）】
特定の教科書は使用せず、必要に応じて、参考書を指示する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第５版 小型版』倉方秀憲編、旺文社、2020年。

【成績評価の方法と基準】
・毎回のコメント提出（４０％）と出席（４０％）、小テスト（２０％）の結果から評価する。
・提出されたコメントの文章から、授業内容の理解力や学習する姿勢を評価する。
・欠席は３回まで可とし、４回以上の欠席は、単位取得を不可とする。

【学生の意見等からの気づき】
語学の楽しさを知ってもらえるように、わかりやすい説明を心がけています。

【Outline (in English)】
This class aims to learn basic French grammar, acquire practical expressions, and become able to have simple daily conversations.
After each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.
Your overall grade in the class will be decided based on the following Reaction Papers (40%), class contribution (40%) and two quizzes (20%).

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語コミュニケーション

渡辺　雅哉

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ごく基本的なスペイン語へのアプローチ。このクラスでは、文法事項の説明は必要最小限に留め、むしろスペイン語の豊かな表現になるべく多く触れてみたい。

【到達目標】
文法を逐一正確に理解することよりも、日常的によく用いられる表現をなるべくたくさん身につけること。それにより、ごく基本的なレベルのスペイン語で自分自身の意志を表現できるようになること。挨拶や簡単な自己紹介の仕方はもちろん、ホテルやレストランでの、あるいはショッピングの際の遣り取りに必要と思われる表現その他を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
概ね教科書に沿って授業を進める。会話のページでは、初等文法の知識だけでは理解が困難なものもいくつか含まれている。それらについても、ある程度の説明を加える。理屈抜きでの暗記が求められることはない。なお、扱われる動詞の時制はすべて直説法現在。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回　ガイダンス	ガイダンス。アルファベットと発音	授業の進め方についての説明。スペイン語の発音。アクセントの位置の見定め
第2回　教科書第1課	名詞。冠詞	男性名詞と女性名詞。単数形と複数形。定冠詞と不定冠詞
第3回　教科書第2課	主格人称代名詞。規則動詞	yo（私は）その他の主格人称代名詞。規則動詞の3つのパターン（ar動詞・er動詞・ir動詞）
第4回　教科書第3課	冠詞。挨拶その他の表現	定冠詞と不定冠詞。日常生活に必要な表現のあれこれ
第5回　教科書第2課	主格人称代名詞。規則動詞	yo（私は）その他の主格人称代名詞。規則動詞の３つのパターンの活用と用い方（１）
第6回　教科書第3課	２つのbe動詞。動詞hay	２つのbe動詞serとestarの使い分け。動詞hayとestarの違い
第7回　教科書第3課	形容詞	英語とは異なった形容詞の扱い
第8回　教科書第4課	不規則動詞（１）	yoに対応する活用のみが不規則な動詞hacerその他の用い方
第9回　教科書第4課	目的格人称代名詞	やはり英語とは異なった直接目的格人称代名詞（～を）と間接目的格人称代名詞（～に）の用い方
第 10 回　教科書第5課	不規則動詞（２）。所有形容詞の前置形	quererその他の語幹母音変化動詞の用い方。前から名詞を修飾する所有形容詞（～の）の扱い
第 11 回　教科書第6課	不規則動詞（３）	irその他、活用が複雑な不規則動詞の用い方
第 12 回　教科書第7課	gustar型の動詞。所有形容詞の後置形	使用頻度の高い動詞gustarの扱い。前置形に比べてやや難しい所有形容詞の後置形の用い方
第 13 回　春学期の復習	教科書第１課～第７課	特に重要な事項についての復習。挨拶・自己紹介その他【到達目標】に記した表現の確認。
第 14 回　春学期試験	試験。まとめと解説	春学期の学習の成果をを問う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に教科書に目を通しておくこと。復習の際には、特に動詞の扱いに時間を割くこと。本授業の準備・復習時間は１回につき１時間以上が標準となる。

【テキスト（教科書）】
田村さと子『アニモ！』白水社、2021年、2200円（＋税）　ISBN978- 4 - 560- 01677- 0　C3087

【参考書】
授業中に紹介する。なお、まだ持っていない学生は早めに辞書を１冊用意すること（辞書については、初回のガイダンスの折に何冊か紹介する）。

【成績評価の方法と基準】
平常点30％、定期試験70％の比率で評価する。「平常点」は「出席点」ではない。単に出席するだけでは意味がないので、積極的な姿勢で授業に臨むこと。

【学生の意見等からの気づき】
堅苦しい文法用語の類はなるべく使わない。

【その他の重要事項】
わからないことがあったら、授業中に何でも質問すること。些細な内容であってもかまわない。

【Outline (in English)】
A class for the achivement of basic skills of Spanish communication.
　Emphasis is placed on the daily expressions rather than detaild knowledge of grammer.
By the end of the course,students should be able to speak and write Spanish with basic vocabulary in the present tense.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is more than one hour.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination; 70%and in-class contribution; 30%.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語コミュニケーション

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の表現の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて○○国に行ってみたい、○○をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語表現の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第2回	第１課（前半）	アファベット、母音、子音
第3回	第１課（後半）	音節の分け方、アクセントのルール
第4回	第２課（前半）	名詞の性、名詞の数 挨拶表現
第5回	第２課（後半）	冠詞、形容詞
第6回	第３課（前半）	主格人称代名詞、ser動詞
第7回	第３課（後半）	文の構造、指示語
第8回	第４課（前半）	estar動詞、所有形容詞
第9回	第４課（後半）	Hayの用法、HayとEstarの比較
第10回	第５課（前半）	直説法現在形・規則動詞
第11回	第５課（後半）	直説法現在形・規則動詞
第12回	第６課（前半）	現在形不規則動詞１
第13回	第６課（後半）	直接目的格人称代名詞
第14回	第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
岡田敦美 那須まどり著「改訂版 エスピギータ～実りのスペイン語」朝日出版社、2022年、2530円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
小レポートの提出を含む平常点 ５０％
期末試験 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０%

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

中級スペイン語コミュニケーション

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて○○国に行ってみたい、○○をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。
尚、この時間はスペイン語検定対応クラスに指定されています。５級、６級の受検、合格を目指して頑張りましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
前期に引き続き基礎的な文法事項や会話表現などを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。またスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解をさらに深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第８課（前半）	gustar動詞
第2回	第８課（後半）	前置詞格人称代名詞
第3回	第９課（前半）	再帰動詞
第4回	第９課（後半）	無人称文、接続詞
第5回	第１０課（前半）	点過去１（規則動詞）
第6回	第１０課（後半）	点過去２（規則動詞）
第7回	第１１課（前半）	点過去（不規則動詞）
第8回	第１１課（後半）	関係代名詞 所有形容詞
第9回	第１２課（前半）	現在分詞
第10回	第１２課（後半）	不定語、否定語
第11回	第１３課（前半）	過去分詞、現在完了
第12回	第１３課（後半）	受動態
第13回	第１４課	比較級
第14回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
岡田敦美 那須まどり著「改訂版 エスピギータ～実りのスペイン語」朝日出版社、2022年、2530円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
小レポートの提出を含む平常点 ５０％
期末試験 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０%

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

中級スペイン語コミュニケーション

渡辺　雅哉

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期の「基礎スペイン語コミュニケーション」と同じテキストを用いながら、筆記と会話の両面にわたってスペイン語での表現の幅をいっそう広めることに努める。文法の知識の習得はもちろん大切だが、「中級」とはいえ、あまり細かいことに拘泥する必要はない。なお、テキストは第８課から始めるが、第７課までの内容に関して不明なこと、学んでいないことがあった場合には、その旨申し出ること。

【到達目標】
直説法の現在・過去・未来の3つの時制を織り交ぜながら、スペイン語で自身を表現できるようになること。コミュニケーションのクラスであるから、特に会話の能力の向上に努める。時間が許せば、接続法にも触れてみたい。概ね事実を素直に表現するために用いられるのが直説法なのに対し、主観が強く投影された表現方法が接続法である。日本スペイン協会が実施しているスペイン語技能検定の6級（入門）と5級（初級）はもちろん、4級（中級）が狙えるレベルを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
概ね教科書に沿って授業を進める。日常生活に必要と思われる語彙や表現については、教科書で扱われていないものでも紹介していきたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回　ガイダンス。教科書第8課	ガイダンス。再帰動詞	秋学期の授業の進め方についての説明。再帰動詞の基本的な用い方
第2回　教科書第9課	過去分詞。現在完了	過去分詞の作り方と用い方。現在完了の扱い。
第3回　教科書第 10 課	無人称文。不定語と否定語	特定の主語を取らない無人称表現（人は～する）。「何か」「誰か」を意味する不定語と、「誰も」「何も」を意味する否定語の扱い
第4回　教科書第 11 課	現在分詞。時刻の表現	現在分詞の作り方。進行形の扱い。時刻に関する３つの表現（「何時ですか」「何時に～しますか」「何時間～しますか」）
第5回　教科書第 12 回	点過去（１）。使役・放任その他の表現	点過去の規則活用。使役（強いて～させる）と放任（～させておく）の用い方
第6回　教科書第 13 課	点過去（２）	点過去の不規則活用
第7回　教科書第 13 課	比較の表現	形容詞と副詞の比較級と最上級の作り方
第8回　教科書第 14 課	線過去。日付その他の表現	線過去の規則活用と不規則活用。日付や曜日や西暦その他の表現
第9回　教科書第 14 課	点過去と線過去。過去完了	点過去と線過去の使い分け。過去完了の用い方
第 10 回　教科書第 15課	未来。時間の経過を表すhacer	未来の用い方。時間の経過に関するhacerの２つの表現の仕方
第 11 回　教科書第 16課	過去未来。過去未来完了	過去未来と過去未来完了の用い方
第12回	総復習	動詞の用い方を中心とした、秋学期の総復習
第 13 回　秋学期の試験	秋学期の試験	秋学期の学習の成果を問う
第14回	試験の見直し	試験結果の個別のチェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に教科書に目を通しておくこと。特に動詞に関して、活用と用法をともに念入りに復習すること。

【テキスト（教科書）】
田村さと子『アニモ！』白水社、2200円（＋税）　ISBN978-4-560-01677-0　C3087

【参考書】
授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点30％、定期試験70％の比率で評価する。「平常点」は「出席点」ではない。単に出席するだけでは意味がないので、積極的な姿勢で授業に臨むこと。

【学生の意見等からの気づき】
堅苦しい文法用語の類は、できるだけ使わない。

【学生が準備すべき機器他】
わからないことがあったら、授業中に何でも質問すること。些細な内容であってもかまわない。

【Outline (in English)】
An intermediate class of Sapnish communication. Students are also required to improve their capability of speaking and writing.
By the end of the course, students should be able to speak and write Spanish to a certain degree in the past, present and future tenses.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the texto. Your requird study time is more than one hour.
Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination; 70%ando in-class contribution; 30%.

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語コミュニケーション

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語表現の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて○○国に行ってみたい、○○をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語表現の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第2回	第１課（前半）	アファベット、母音、子音
第3回	第１課（後半）	音節の分け方、アクセントのルール
第4回	第２課（前半）	名詞の性、名詞の数 挨拶表現
第5回	第２課（後半）	冠詞、形容詞
第6回	第３課（前半）	主格人称代名詞、ser動詞
第7回	第３課（後半）	文の構造、指示語
第8回	第４課（前半）	estar動詞、所有形容詞
第9回	第４課（後半）	Hayの用法、HayとEstarの比較
第10回	第５課（前半）	直説法現在形・規則動詞
第11回	第５課（後半）	直説法現在形・規則動詞
第12回	第６課（前半）	現在形不規則動詞１
第13回	第６課（後半）	直接目的格人称代名詞
第14回	第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
岡田敦美 那須まどり著「改訂版 エスピギータ～実りのスペイン語」朝日出版社、2022年、2530円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
小レポートの提出を含む平常点 ５０％
期末試験 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０%

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

中級スペイン語リーディング

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の読解力を鍛えつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。世界遺産人気ナンバーワンのマチュピチュ（ペルー）や奇跡の絶景と言われている天空の鏡ウユニ塩湖（ボリビア）が決して「遠い世界」ではなくなるでしょう。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて○○国に行ってみたい、○○をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語読解力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
科目名に「中級」とありますが、教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを繰り返しながらゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力とは？	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第2回	第１課（前半）	アファベット、母音、子音
第3回	第１課（後半）	音節の分け方、アクセントのルール
第4回	第２課（前半）	名詞の性、名詞の数
第5回	第２課（後半）	冠詞、形容詞
第6回	第３課（前半）	主格人称代名詞、ser動詞
第7回	第３課（後半）	文の構造、指示語
第8回	第４課（前半）	estar動詞、所有形容詞
第9回	第４課（後半）	Hayの用法、HayとEstarの比較
第10回	第５課（前半）	直説法現在形・規則動詞
第11回	第５課（後半）	直説法現在形・規則動詞
第12回	第６課（前半）	現在形不規則動詞１
第13回	第６課（後半）	直接目的格人称代名詞
第14回	第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
岡田敦美 那須まどり著「改訂版 エスピギータ～実りのスペイン語」朝日出版社、2022年、2530円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
小レポートの提出を含む平常点 ５０％
期末試験 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０％

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

中級スペイン語ライティング

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語で書く力を鍛えつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。世界遺産人気ナンバーワンのマチュピチュ（ペルー）や奇跡の絶景と言われている天空の鏡ウユニ塩湖（ボリビア）が決して「遠い世界」ではなくなるでしょう。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて○○国に行ってみたい、○○をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語で作文する力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
科目名に「中級」とありますが、教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを繰り返しながらゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力とは？	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第2回	第１課（前半）	アファベット、母音、子音
第3回	第１課（後半）	音節の分け方、アクセントのルール
第4回	第２課（前半）	名詞の性、名詞の数
第5回	第２課（後半）	冠詞、形容詞
第6回	第３課（前半）	主格人称代名詞、ser動詞
第7回	第３課（後半）	文の構造、指示語
第8回	第４課（前半）	estar動詞、所有形容詞
第9回	第４課（後半）	Hayの用法、HayとEstarの比較
第10回	第５課（前半）	直説法現在形・規則動詞
第11回	第５課（後半）	直説法現在形・規則動詞
第12回	第６課（前半）	現在形不規則動詞１
第13回	第６課（後半）	直接目的格人称代名詞
第14回	第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的に目についた、あるいは耳にしたスペイン語をメモをしたりするなど、常にスペイン語やスペイン語圏のニュース、話題にアンテナを張ってみてください。また、自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。例えばタコスを自分で作って家族や友人に振る舞ってみる、スペイン料理のお店に行って食レポを書いてみる、スペイン語の歌に挑戦してみる、など。そうすることで、これまで見えてこなかった新しい世界、自分自身に気が付くかもしれません。なんだかワクワクしませんか？

【テキスト（教科書）】
岡田敦美 那須まどり著「改訂版 エスピギータ～実りのスペイン語」朝日出版社、2022年、2530円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
小レポートの提出を含む平常点 ５０％
期末試験 ５０％

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんからは、「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「春休みか夏休みを利用してスペイン語圏に絶対行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【その他の重要事項】
出席の回数そのものは平常点としてカウントされません。ただ漫然と教室に来てイスに座ってスマートフォンをいじっているだけ、というのが一番意味がなく時間の無駄、人生の無駄、なので質を重視します。
これまで未知の世界だったスペイン語、その豊かで多様性に満ちた文化、人々の暮らし、考え方などを知ることで、何か一つでも二つでも「これ面白いな」と思うことがあれば、それがあなたにとっての「大収穫」です。そして、それは点数とか成績評価とは全く無縁のものです。

【Outline (in English)】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and learning Spanish can help you expand your vision of the world!
Preparation:Let's Learn more about Latin American culture!
Grading Criteria
Usual performance score and short reports：５０％
Term-end examination：５０％

LANs100LC（スペイン語 / Spanish language education 100）

基礎スペイン語 I

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語は世界中で多く話されている言語のうちのひとつである。スペイン、ラテンアメリカ諸国での公用語であるほか、近年では、日本にもスペイン語を話す旅行者や生活者も多く見かけられる。本講義では、スペイン語の文法を中心に学びながら、スペイン語圏の文化や習慣への関心・理解を促していく。

【到達目標】
①スペイン語への興味・関心の向上。
②スペイン語初級文法の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
文法中心に講義に進めていくが、必要に応じて音楽や映像などを紹介し、スペイン語圏の文化に親しみながら、言語自体への関心を持てるようにする。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。
※本講義は基本的には、大学の方針に倣って対面形式で実施する予定です。
　ただし、状況により、オンラインに切り替えるなども検討します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義内容説明。
第2回	名詞	性と数
第3回	定冠詞／不定冠詞	un/una, el/la unos/unas, los/las
第4回	形容詞	スペイン語の形容詞の特徴、性と数
第5回	数詞	数の数え方、序数
第6回	所有格	所有形容詞／所有代名詞
第7回	指示詞	指示形容詞／指示代名詞
第8回	疑問詞	疑問詞の種類、疑問文の作り方
第9回	規則動詞・現在形①	動詞の使い方、ar型の動詞
第10回	規則動詞・現在形②	er型/ir型の動詞
第11回	不規則動詞：serとestar	英語のbe動詞に相当する２つの動詞
第12回	動詞hay・否定語・不定語	英語のthere is/areに相当する動詞、そのほか文章作りに便利なごく
第13回	時間の言い方	時刻、時間などの言い方
第14回	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は自由だが、復習をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。また、スペイン語は発音が非常に大事な言語です。授業内外で発音をしっかり練習することを求めます。

【テキスト（教科書）】
それぞれの課に合わせプリントを配布。

【参考書】
『超入門スペイン語』(大学書林)

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点35%で判定。

【学生の意見等からの気づき】
スペイン語の習得はもちろんですが、語学を通じてスペイン語圏の社会・文化に興味を持ってもらえるような内容にしていきます。

【Outline (in English)】
【Course Outline】
Improve comprehension of Spanish language communication skill, mainly through grammar but also with introducing the cultures and customs of hispanophone countries.
【Learning Objectives】
Improve comprehension of Spanish language communication skill.
【Learning activities outside of classroom】
Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
【Grading Criteria/Policy】
Your overall grade in the class will be decided based on the following.　Term-end examination:　65%, and in-class contribution: 35%.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語コミュニケーション

松本　ジュン

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身につけるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。
春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 ハングルと発音を覚える（1）	母音（1）,子音（1）
2	第2課 ハングルと発音を覚える（2）	子音（2）
3	第3課 ハングルと発音を覚える（3）	母音（2）,終声,連用化
4	第4課 私は山田ユリです。	自己紹介をする
5	第5課 この近所にスーパーマーケットがありますか。	場所を尋ねる/教える
6	第6課 ヤンニョムチキン1つください。	物を頼む/数を言う
7	中間試験	第1課～第6課の内容で中間試験をおこなう
8	第7課 写真1枚撮ってください。	何かを頼む
9	第8課 週末は何をしますか。	行動を言う
10	第9課 遠くありません。	否定する
11	第10課 コーヒー1杯召し上がってください。	目上の人と話す
12	第11課 私は地下鉄できました。	過去のことを話す
13	第12課 今度是非行きたいです。	希望を言う
14	期末試験	第7課～第12課の内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『根と幹　改訂版』生越直樹　生越まり子　池ミン京　朝日出版社　2022年
（本体2100円+税10%）

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【学生が準備すべき機器他】
赤色のペン

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean. It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in korean usingbasic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differencesbetween Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation. Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course. With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語コミュニケーション

魏　聖銓

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：楽しく韓国語の表現を学ぼう
韓国語の文字の読み書きができるようにする。
韓国語は日本語と7割以上似ているため、単語や表現、簡単な文法などが身につきます。

【到達目標】
ハングルの読み・書きを覚えて初歩的な文法に基づいた表現を習得し、韓国旅行などに使える簡単な会話能力を身につけることを目標にしています。 ハングル能力検定試験5級についてもガイドします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
各回の授業形態については，事前に学習支援システムでその都度提示する．
韓国語を学びたい人を対象にし、韓国語の文字であるハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を楽しく学び、それに基づいた表現を身に付けるようにします。
簡単なフレーズ、会話表現も練習します。また、K-POP、韓国の文化、ソウルの風景についても随時紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	韓国語と文字について	自分の名前が書ける！ 韓国語と文字の紹介
2	基本母音字	基本母音字＆単語練習 アンニョンハセヨ（こんにちは）
3	基本子音字１	単語ゲームにチャレンジ/　カムサハムニダ（ありがとうございます）
4	基本子音字２	基本子音字２＆単語練習 トマンナヨ　（また会いましょう）
5	重母音	重母音＆単語練習
6	パッチム（終声）	パッチム（終声）＆単語練習 チョンマネヨ（どういたしまして）
7	文字のまとめ	文字に関する　　単語ゲーム２つ チャルモッケスムニダ（いただきます）
8	発音の変化について	７つの発音変化の簡単法則
9	発音の変化の活用例	パッチムの７グループも覚えましょう！
10	会話1　私は日本人です。	会話1　私は日本人です。 ハングルの表記と発音の間は？
11	会話2　ツツジではありません。	名詞の否定表現／期末テストのプレビュー
12	会話3　時間ありますか。	＜韓国体験１＞ 韓国の料理「サムゲタン」の紹介
13	簡単文法	＜韓国体験２＞　ソウルの風景
14	応用会話の練習	買い物の場面での会話

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】音声付きテキストなどで、耳に慣らすことをお勧めします。

【テキスト（教科書）】
『NEW!　韓国語＆会話』　魏 聖銓　亜細亜大学購買部

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
クラスの総合成績は、以下に基づいて決定されます。
クイズなど　10％
課題　30％
クラスでの発言　20％
総まとめ　40％
合格点は60以上です。

【学生の意見等からの気づき】
楽しく、継続すれば、自分のものになる

【学生が準備すべき機器他】
赤色のペン

【Outline (in English)】
Korean expression
Students will review the writing system, pronunciation, and grammar learned at the elementary level while acquiring elementary communication skills.One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] It is recommended to familiarize yourself with the text with audio.Your overall grade in the class will be decided based on the following
Quiz　10％
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　20％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

中級朝鮮語コミュニケーション

魏　聖銓

開講時期：**秋学期授業/Fall**

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：楽しく韓国語を学ぼう

【到達目標】
初級で学んだ文字・発音・文法などをしっかり再確認し、次のステップの発音変化の練習・文法を強化し、現地ですぐに使える会話ができるようにするのが目標です。
連体形と不規則変則が理解できるように学習する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
　各回の授業形態については，事前に学習支援システムでその都度提示する．
　ハングル5級から4級レベルの文法・単語・表現を学習しながら、日常の会話に活用できるような授業を展開していきます。読む・聞くのインプット学習と「文を書く」・「自分で思ったことを話す」アウトプット学習がうまくリンクできるように、ペアワーク、グループワークも多く取り入れて授業を行います。
提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	全体の授業のガイダンス	自己紹介 前期の復習、後期の授業について
2	7　　外来語とアルファベット	表現：－（　）　　／動詞語幹＋てください（　/　と(　)　の違い） 韓国の名所：水原　　単語練習：外来語
3	アルファベットの表記について　／会話練習： 	音読コーナー：新大久保とホットク　異文化紹介：韓国の匙と箸
4	8　　慶州旅行　／ようだ、そうだ水量表現：(　)　　。	間接話法の中での「依頼」表現：　/ 韓国の名所：慶州　／　単語練習：交通機関　／応用コーナー：建物とマップ
5	変則の学習	短文:アルバイト　／　異文化紹介：カルビとプルゴギ
6	9　ホワイトクリスマス 表現　(　)　　／「-　+形容詞」	「-　+形容詞」表現：　　/ 韓国の名所：安東　　単語練習：スポーツ
7	韓国映画	会話練習：美味しいパン屋さん　美味しいパン屋へ行く行き方　／　異文化紹介：韓国のデリバリー文化
8	総復習とおさらい	ハングル能力検定試験5級＆4級について
9	10　ソウルタワーと東京タワー　/　原因・理由、事柄の順序	表現：　/　　/　（し）たことがある/ない 韓国と日本の名所：ソウルタワー＆東京タワー　単語練習：果物
10	疑問代名詞と縮約形　変則	変則の学習 応用短文：道を教える　／異文化：韓国のアパート（マンション）
11	11　　釜山で買い物　／(し)てもよい　/	表現：-　　/-　　,-　　韓国の名所：釜山　　単語練習：野菜
12	色、服装を表す表現について　／　変則	変則の学習 音読コーナー　応用短文：:私が好きな色　／　異文化紹介：韓服と着物
13	12　韓国語スピーチ大会　／－ている２　-	逆接表現　　／韓国と日本のことわざ　／韓国の名所：仁川　　単語練習：装身具、アクセサリー
14	まとめ。	まとめ。 韓国紙幣の人物　／　新幹線と富士山　／異文化紹介：　ソウル城郭

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】音声付きテキストなどで、耳に慣らすことをお勧めします。

【テキスト（教科書）】
『韓国と日本くらべて学ぶ中級韓国語』　魏 聖銓　朝日出版社

【参考書】
辞書は『朝鮮語辞典』（小学館）をはじめ、『コスモス朝和辞典』(白水社)、『韓日辞典』(民衆書林出版／三修社販売)・『ポータブル日韓・韓日辞典』(小学館)を勧めますが、電子辞書の方もお勧めします。

【成績評価の方法と基準】
クラスの総合成績は、以下に基づいて決定されます。
クイズなど　10％
課題　20％
中間試験　20％
まとめ　30％
クラス貢献　20％
合格点は60以上です。

【学生の意見等からの気づき】
楽しく、継続すれば、楽しい韓国語は自分のものになる！
韓国の会話をより楽しもう！

【学生が準備すべき機器他】
赤色のペン

【Outline (in English)】
Korean expression
Students will review the writing system, pronunciation, and grammar learned at the elementary level while acquiring elementary communication skills.One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] It is recommended to familiarize yourself with the text with audio.Your overall grade in the class will be decided based on the following
Quiz　10％
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　20％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

中級朝鮮語コミュニケーション

松本　ジュン

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、朝鮮語の基礎文法を習得している人が対象となる。
中級レベルの文法事項、慣用表現について解説しながら進める。具体的には教科書に沿って、各課のテーマごとの話題を日常生活で用いられる会話と結び付けて学んでいく。受講に際してハングルの読み書きはもちろん、簡単なあいさつ、自己紹介ができることが望ましい。

【到達目標】
・初級の内容を定着させ、朝鮮語の実践的な運用能力を伸ばしていきます。
・毎回の授業のテーマから日常で使用する簡単な会話ができることをめざします。
・ハングル能力検定試験4級、韓国語能力試験中級レベルの実力養成を目標に授業をすすめます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
各回の授業の内容については事前に学習支援システムでその都度提示します。また提出される課題についても教員が確認をして、次回の授業で全体に対してフィードバックをおこなう予定です。春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回、オンライン授業7回と2つの形態を組み合わせて実施します。
週一回の春学期のみの授業のため、予習が大前提で大切なので欠かさずにおこないましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと第1課どこに行かれますか。	授業のすすめ方と　　体の叙述・疑問・尊敬表現を習い、丁寧に話す練習をする。
第2回	第1課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第3回	第2課 あそこに見える建物は何ですか。	動詞・存在詞の連体形（1）を習い、詳しく説明する練習をする。
第4回	第2課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第5回	第3課 映画を見るつもりです。	動詞・存在詞の連体形（2）を習い、詳しく説明する練習をする。
第6回	第3課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第7回	中間試験	第1課～第3課の内容で中間試験をおこなう
第8回	第4課 もう少し大きいのはありませんか。	形容詞・指定詞の連体形を習い、詳しく説明する練習をする。
第9回	第4課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第10回	第5課 簡単なのでよく作ります。	語幹用言のまとめと理由を言う場合の表現を習う。
第11回	第5課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第12回	第6課 カラオケに行くとよく歌います。	変則と場所を教える場合に使う表現を練習する。
第13回	第6課 練習問題と応用練習にチャレンジ	練習問題と応用練習を解きながら会話力を身につける。
第14回	期末試験	第4課～第5課まで学んだ内容で期末試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業では事前に予習をして授業に臨むことが前提になります。教科書の音声を聴くことも効果的です。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められます。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる一番近い道になります。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしいです。

【テキスト（教科書）】
『韓国朝鮮語中級テキスト　改訂版　花と実』生越直樹・生越まり子・池ミン京、朝日出版社、2023年、2310円

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
教員は受講者がたくさんの文に触れることができる場面をもうけ、楽しく授業に参加できる環境づくりにつとめます。
語学の授業では、受講者自身が積極的に授業に参加することが前提となります。毎回の授業のための予習はもちろん、日々の復習にも力を入れて授業に臨んでください。

【Outline (in English)】
This course is for students who have already mastered the basic Korean grammar.
The aim of this class is to acquire the conversational level Korean based on the text book theme.
Students are expected to prepare for the class and it is desirable to have four(reading,listening, writing,speaking) basic skills.
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語コミュニケーション

魏　聖銓

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：楽しく韓国語を学ぼう
韓国語の文字の読み書きができるようにする。また、韓国の文化などにも触れていきます。
韓国語は日本語と7割以上似ているため、単語や表現、簡単な文法などが身につきます。

【到達目標】
初級で学んだ文字・発音・文法などをしっかり再確認し、次のステップの発音変化の練習・文法を強化し、現地ですぐに使える会話ができるようにするのが目標です。
韓国語の文法、連体形や不規則変則が使えるように学習する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
各回の授業形態については，事前に学習支援システムでその都度提示する．提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行う
　ハングル5級から4級レベルの文法・単語・表現を学習しながら、日常の会話に活用できるような授業を展開していきます。読む・聞くのインプット学習と「文を書く」・「自分で思ったことを話す」アウトプット学習がうまくリンクできるように、ペアワーク、グループワークも多く取り入れて授業を行います。春学期の授業は，原則としてオンラインで行う。 詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	全体の授業のガイダンス	授業の流れの説明、初級の復習、ガイダンス
2	1　桜 形容詞・指定詞の現在	連体形／形容詞・指定詞の過去・未来の連体形
3	韓国の名所：ソウル１ ☒梁津水産市場、単語練習：花	-ている１　/　(12-3　参) ／韓国と日本の四字熟語 変則の説明と練習　／異文化紹介：花見
4	2　韓国の記念日 動詞・存在詞の連体形	伝聞　引用文　/韓国の名所：済州道 単語練習：趣味
5	語幹説明 会話：☒梁津	語幹説明と練習問題　異文化紹介：韓国の記念日について
6	3　ビビンパ　/ 接続詞　原因理由から・ので：(　)	接続詞　順接・逆接の表現　-　/ 韓国の名所：全州　単語練習：韓国の食べ物 韓国語の漢字の理解
7	変則の学習	応用問題：短文　（私の日記） /異文化紹介：のり巻きと韓国のキンパ
8	復習　中間まとめ	復習　中間まとめ
9	4　デザートとダイエット 体（普通体）ぞんざいな言い方	動詞の禁止の表現　- 韓国の名所：ソウル２（広場市場），（東大門）　単語練習：スイーツ
10	韓国のスイーツ　/ 会話：キンパと海苔巻	音読コーナー：誕生日とケーキ屋さん　/　異文化紹介：誕生日の朝にわかめスープ
11	5　？週末に何をしますか。	仮定表現　（　）　/　役に立つ表現：　-　/-　/-(　) 韓国の名所：ソウル３ 汝矣島(　) 漢江遊覧船　/　単語練習：場所
12	作文：　私の一日/応用作文コーナー：週末の過ごし方	変則と応用問題：短文　（ヒーリング）　異文化紹介：日韓共同開催2002年ワールドカップと日韓友好
13	6　韓国のお盆と暦　/　敬語表現：(　)　/位置名詞 韓国の名所：平昌(　) と江陵(　)	家族名称と家族写真　／　可能・不可能表現　(　)　/ 会話：KTX　アメリカーノ（カード文化）
14	プレゼン：韓国旅行に役立つ表現 まとめ。	プレゼン：韓国旅行に役立つ表現まとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】音声付きテキストなどで、耳に慣らすことをお勧めします。

【テキスト（教科書）】
『韓国と日本くらべて学ぶ中級韓国語』　魏 聖銓　朝日出版社

【参考書】
辞書は『朝鮮語辞典』（小学館）をはじめ、『コスモス朝和辞典』(白水社)、『韓日辞典』(民衆書林出版／三修社販売)・『ポータブル日韓・韓日辞典』(小学館)を勧めますが、電子辞書の方もお勧めします。

【成績評価の方法と基準】
クラスの総合成績は、以下に基づいて決定されます。
クイズ10％
課題30％
クラスでの発言20％
期末総まとめ　40％
合格点は60以上です。

【学生の意見等からの気づき】
楽しく、継続すれば、自分のものになる！
韓国の会話をより楽しもう！

【学生が準備すべき機器他】
赤色のペン

【Outline (in English)】
Intermediate Korean
Students will master basic Hangul grammar, vocabulary, and knowledge of expressions as well as daily conversation and composition skills.One hour is the standard for out-of-class learning such as preparation and review of this lesson] It is recommended to familiarize yourself with the text with audio.Your overall grade in the class will be decided based on the following
Quiz　10％
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　20％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

中級朝鮮語リーディング

魏　聖銓

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、朝鮮語の基礎文法を習得している人が対象となる。朝鮮語の読解を通じて語彙力を高めながら文章が解釈できることを目指し、総合的な朝鮮語の力を身につけていく。受講に際してハングルの読み書きはもちろん、簡単なあいさつ、自己紹介などができることが望ましい。

【到達目標】
・初級の内容を定着させ、韓国語の実践的な運用能力を伸ばしていく。
・授業でおこなう読解を通じて日常で使用する簡単な文章を理解できるようになることをめざす。
・韓国語の文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の文化等についても触れることができる。
・ハングル能力検定試験4級、韓国語能力試験初級・中級にチャレンジできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
　各回の授業の進め方としては、教員が事前に配布した韓国語の資料を各自が授業の前に講読しておき、考えてきた韓国語の解釈を授業中にみんなと共有し、理解を深めていく。
　毎回の課題は、いくつかのテーマから自由に選んで、その文章を読み、理解するここと。提出される課題は教員がその都度確認をして、次回の授業で全体に対してフィードバックをおこなう予定である。
　春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業10回、オンライン授業4回と2つの形態を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと授業の流れについて 自己紹介	授業のすすめ方、注意点の説明 自己紹介をしてみましょう
第2回	日本語と韓国語について	日本語と韓国語について考えてみましょう
第3回	韓国にも花見はありますか？！	韓国語で書かれている「花見」についての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第4回	韓国にも日本と同じように「花火」をやるの？	韓国語で書かれている「花火大会」についての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第5回	異文化コミュニケーション「食事のマナー」	韓国語で書かれている「食事マナー」についての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第6回	日韓の食べ物の異文化について	韓国語で書かれている「韓国料理」などについての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第7回	韓国の映画を見てみましょう。	韓国語で書かれている「韓国の映画」を鑑賞して、皆で話しながら理解を深める。
第8回	日韓のカレンダーの違いについて	韓国語で書かれている「祝日や記念日」についての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第9回	中間テスト	これまで学んだ内容の総まとめとして
第10回	K-POPは聞いたことありますか	韓国語で書かれている「K-POP」を見ながら、皆で話しながら理解を深める。
第11回	韓国ドラマについて	韓国語で書かれている「韓流ドラマ」を見て、皆で話しながら理解を深める。
第12回	韓国のクリスマス	韓国語で書かれている「クリスマス」についての文を読み、日本語訳しながら理解を深める。
第13回	力試し	朝鮮語で書かれているお正月についての文を訳しながら理解を深める。
第14回	総まとめ＆振り返り	総まとめ＆振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業では事前に予習をしておくと、授業の理解度がアップする。また、配られた資料は繰り返し音読することで韓国語に慣れ、韓国語の授業が楽しくなる。毎回課題を提出することで。課題ポイントがどんどん貯まる。語学の学習はその言語に触れる時間を多増やせば増やすほど、上手くなる！ 楽しくなる！

【テキスト（教科書）】
『韓国と日本　くらべて学ぶ中級韓国語』魏聖銓　朝日出版社
また、ハンドアウト（資料）なども随時配布する。

【参考書】
『韓日辞典』(民衆書林出版／三修社販売)・『ポータブル日韓・韓日辞典』(小学館)

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　30％
授業への貢献度　20％

【学生の意見等からの気づき】
中級朝鮮語リーディングは2024年度に新設された講義です。
教員は受講者がたくさんの文に触れることができる場面を設け、楽しく授業に参加できる環境づくりにつとめます。
語学の授業では、受講者自身が積極的に授業に参加することが前提となります。毎回の授業のための予習・復習にも力を入れて楽しい授業にしていきましょう。

【学生が準備すべき機器他】
ドリルなどのチェック、日本語訳の訂正などに、赤ペンを使いますので、毎回持参してください。

【Outline (in English)】
This course is for students who have already mastered the basic Korean grammar.
The aim of this class is to acquire comprehensive Korean proficiency through reading comprehension.
Students are expected to prepare for the class and it is desirable to have four(reading,listening,writing,speaking) basic skills.
Midterm exam　20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

中級朝鮮語ライティング

魏　聖銓

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が自ら韓国語で作文し、発信することで日本語と韓国語の比較ができ、語学の面白さが発見できる。今まで習ってきたさまざまな文型・語彙、表現を日常生活のいろいろな場面を想定してアクティブに実践練習を行います。

【到達目標】
自分の身近な話題を見つけ日本語にしたものを韓国語にするスキルを身につけると同時に自分で作った作文を使って会話ができるようにすることを到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
　教科書の文章をベースに模倣・書き換え練習を通して、韓国語の文章力を着実に習得します。文章能力の基礎となる口頭表現の能力を重視し、文体的には書き言葉よりも話し言葉のほうに重点を置きます。
　授業内では、LINEなどを使用し、翻訳ソフトも活用していきます。
　提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 自己紹介＆趣味 私の学科と専攻	自己紹介の表現で使われる単語や表現について。
2	食べ物について	日本の自慢したい日本の食べ物、気になる韓国の食べ物
3	料理を作ってみましょう。	料理をつくってみましょう。
4	SNSと私	Facebook、LINEなどのSNSやインタネットの利用状況について書く
5	デザートとダイエット	食べてみたいデザートは何ですか。
6	外国旅行、国内旅行、留学などについて	行ってみたい国やすでに旅行に行ったところについて文を書いてみましょう。
7	作文の発表 文法と誤用例の確認	作文の発表 作文したものを会話に仕上げてみる。 文法と誤用例の確認
8	週末の過ごし方、趣味	趣味も様々、週末の過ごし方もいろいろ。
9	韓国の記念日と日本の記念日の違いについて	文化が違うと、祝日や記念日もかなり異なる。
10	韓国にも漢字はありますか？	韓国人と漢字で筆談はできるのかな。
11	面白い話、怖い話、ためになる話を書いてみましょう。	面白い話、怖い話、ためになる話を話してみましょう。
12	新大久保へいってみましょう。	コリアタウンと言われている新大久保に行って買い物をしたことはありますか。
13	期末作文発表会	学生が書いた作文を口頭で発表する。
14	学習の総括＆振り返り	学習の総括＆振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・学習時間は、各2時間を標準とします。】学生は基本的な朝鮮語の読み書きを身につけ、教科書の音源を授業の前後に聞いてみてください。韓国語をパソコンで入力する体験や、ハングルでのネット検索もやってみましょう。

【テキスト（教科書）】
『韓国と日本　くらべて学ぶ中級韓国語』魏聖銓　朝日出版社

【参考書】
資料は随時配布する

【成績評価の方法と基準】
受講状況と作文宿題などの平常点は50%、
学習発表30％、
会話文のペアワーク20％とします。

【学生の意見等からの気づき】
朝鮮語ライティングは朝鮮語リーディングと連動することで、読み方や表現の習得が容易になります。また、会話が上達するためには、自分で作った作文が一番効果的だと思います。

【学生が準備すべき機器他】
ドリルなどのチェックなどに赤ペンを使用します。

【Outline (in English)】
The course aims to help students develop their language skills. Students actively practice writing in a variety of imaginary daily scenarios using the sentence patterns and vocabulary they have learned.Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Assignments are graded based on reading and writing materials (50%), presentations (30%), and short reports (20%).

LANk100LC（朝鮮語 / Korean language education 100）

基礎朝鮮語 I

松本　ジュン

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
はじめて朝鮮語を学ぶ人を対象とし、朝鮮語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を教え、それに基づいた表現を身につけるようにする。特に日本語との類似点、相違点にも注意しながら進めていく。

【到達目標】
ハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
朝鮮語文法の基礎を学ぶとともに、朝鮮半島の歴史や文化等について認識を深める。受講者が母語や英語等既習言語と比較しながら、可能なかぎり朝鮮語の文法規則を自ら見いだせるよう、単文の構造、品詞の形等を提示する。また朝鮮半島の最新事情について情報交換する場をもうける。
毎回提出される課題については教員が確認をして、次回の授業で取り上げながら全体に対してフィードバックをおこなう予定である。春学期の授業形態は全14回のうち、対面授業7回とオンライン授業7回の両方を組み合わせて実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとハングルの仕組みおよび文章構造	韓国語の語順、語彙、分かち書きについて学習
第2回	第1課　母音（1）	基本母音10個について学習
第3回	第2課　子音	基本子音のうち平音の　について学習
第4回	第3課　子音	基本子音のうち平音の　について学習
第5回	第4課　子音・母音	鼻音の　と複合母音の　について学習
第6回	第5課　子音・母音	激音の　と複合母音の　について学習
第7回	第6課　子音	濃音の　について学習
第8回	第7課　母音（2）	複合母音7個について学習
第9回	第8課　終声（パッチム）①	終声であるパッチム7個について学習
第10回	中間試験	朝鮮語の読み試験　終声であるパッチムを理解して単語を発音してみる
第11回	第9課　発音の変化①	連音化・　音弱化・鼻音化について学習
第12回	第9課　発音の変化②	激音化・濃音化・流音化・口蓋音化について学習
第13回	第10課　単語の調べ方および日本語のハングル表記方法	辞書の引き方・日本語のハングル表記について学習
第14回	期末試験	春学期に学んだ内容で期末試験をおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする。本授業では事前に教科書を読んで授業に臨むことが前提になる。教科書の音声を聞くことも効果的である。毎回課題を提出し、取り組みには丁寧さと正確さが求められる。
語学の学習は毎日その言語に触れることが上達できる道になる。持続的な学習が大切であることを皆さんの心構えとしてもってほしい。

【テキスト（教科書）】
『韓国語の初歩　三訂版』厳基珠　金三順　金天鶴　申鉉竣　吉川友丈　白水社　2019年　2200円+税

【参考書】
随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
本授業の成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。
中間試験　20％
期末試験　30％
課題　20％
授業への貢献度　30％

【学生の意見等からの気づき】
「もっと話す機会がほしい」との意見がありました。
教員も受講者がたくさん話せる場面をもうけ、みんなが楽しく参加できる授業の環境づくりにつとめたいと思います。
語学の授業では、受講者自身が積極性をもち授業に臨むことが大前提となりますので日頃の復習と予習にも力を入れましょう。

【Outline (in English)】
This course is intended for beginners in Korean. It starts with reading and writing,and then introduces students to basic expressions in Korean using basic grammar rules.Emphasis is placed on similarities and differences between Korean and Japanese throughout the course.
The course will be starting from the Hangeul's literacy and acquisition of basic grammar. By the end of the course, students are expected to be able to do the simple conversation.
Before and after each class meeting, students are expected to spend about four hours of studying to understand the course. With the assumption, read the text book before class and submit the assignment every class. It is effective to expose to the language every day to improve your skill.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Midterm exam 20％
Finals　30％
Assignment　20％
Class contribution　30％
A passing score is 60 or up.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語コミュニケーション

景　旻

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は基礎的中国語を学習した学生を対象としています。学生が挨拶言葉、例文、対話文と短文などの復習と学習を通じて、中国語の基礎力（音読、聞き取り、基本的語彙の応用、文法事項の理解など）を固め、着実にレベルアップできるように図ります。具体的には学生が(1)より正確な発音を身につける、(2) 孤立語の特徴を持つ中国語の語順と基本的な構造をきちんと理解する、(3)基礎的な中国語を聞いて理解できることを目指します。

【到達目標】
学生はピンインをしっかりマスターすること。
所定の話題について確実に中国語で会話や表現ができるようになること。
6月後半実施の中国検定試験準4級あるいは11月実施の4級をクリアすること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
少しまとまった文章にも触れつつ、内容理解、発話練習、作文練習を行い、すでに学習してきた内容の定着をめざします。必要に応じて中国語検定問題も扱います。適宜、中国文化の紹介をします。
毎週皆さんから提出してもらった課題（練習問題）のうち、よく間違っていた箇所などは次週解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと復習	授業計画 復習と確認 挨拶言葉と発音チェック
第2回	第1課、第2課 自己紹介・家族の紹介	ポイント（人称代名詞、動詞述語文、～☒?）指示代詞、的」、疑問詞疑問文、也） ドリル
第3回	第3課 第4課	ポイント（量詞、所有の「有」、几、多少）、（形容詞述語文、反復疑問文、名詞＋呢? ） ドリル
第4回	第5課 第6課	ポイント（場所指示代詞、存在の「有・在」、助動詞「想・要」、（日付・時の言葉、名詞述語文、「了」、「吧」） ドリル
第5回	第7課 第8課	ポイント（主述述語文・二重目的語、持続・分離動詞） （「☒」、動詞の重ね型、選択疑問文「A☒是 B) ドリル
第6回	第9課 第10課	ポイント(比較文、二重目的をとる動詞、様態補語、お金の数え方)、（「V了/V＋了」、「是…的」、「会/能/可以」 ドリル
第7回	第11課 第12課	ポイント（在V…呢、V着、快V）、方向補語、結果補語、動量補語、有点儿） ドリル
第8回	第13課	ポイント（自然現象を表す無主語文、一点儿＋都/也＋否定、一…就～、越…越～） ドリル
第9回	第14課	ポイント（たとえの表現、像…一☒ 、禁止表現　別/不要、有点儿＋…、動作の同時進行の表現　一☒…一☒ ドリル
第10回	中間復習	文法のまとめと点検
第11回	講読 新教科書 第５課 初対面の自己紹介文	文型の練習と翻訳
第12回	第６課	文型の練習と翻訳
第13回	第７課	文型の練習と翻訳
第14回	期末試験	期末試験とフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】語学学習は、日常的に当該言語に触れることが大切です。中国語圏の好きな映画や音楽などを見つけて、日頃から親しんで欲しいと思います。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』保坂律子・郭雲輝著、朝日出版、2011年
『すぐ読める中国語』胡金定ほか著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介。
語学電子辞書、たとえばCASIO　EX-word、『広辞苑/英和・和英/中日・日中辞典』などを持っていると便利です。
中国検定試験に挑戦するために以下の本
中検準4級問題集〈2015年版〉　中検研究会
中検4級問題集〈2015年版〉 中検研究会
中検3級問題集〈2015年版〉中検研究会

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点30%（出席・受講態度・発声音量）、期末試験70%を総合して評価します。
初回授業のガイダンスで平常点（特に出席）を計算する方法を紹介しますので、初回授業を欠席となる方は、必ず後で確認してください。

【学生の意見等からの気づき】
提示した学習の要点を中心に予習し、欠かさず授業に出席する人とそうでない人の語学力の差が拡大するので、学習のモチベーションは不可欠です。
こまめに輪読や復習することが有効だと思われるので、本授業でも行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】
ＤＶＤ、ＣＤ。スマートフォンのLINGの音声機能を活用して、発音のチェックをすることがある。

【その他の重要事項】
教科書を必ず購入してください。

【Outline (in English)】
This course is intended for students with basic knowledge of Chinese language. It focuses on simple and compound sentences, reinforcing language knowledge and developing students' language proficiency.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Evaluation will be based on a comprehensive assessment: 30%from regular performance (attendance, class participation, etc.) and 70%from the final exam.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語コミュニケーション

杉本　公子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎中国語をひととおり学習した学生を対象としています。受講者がこれまで学んだことを基に、少しまとまった文章に触れながら、「読む」「書く」「聞く」を中心に、自信をもって表現できるようになることを目標とします。また、中国語検定試験にも対応します。
漢字を使う別の言語を知ることで、他者理解・自己理解の幅を広げることが目的です。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
(1)学んだ基礎事項が応用できる。
(2)少しまとまった中国語が読める。聞ける。
(3)会話、作文で、自信をもって表現できる。
(4)希望者は、中国語検定試験（準４級以上）に合格する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
少しまとまった文章にも触れつつ、内容理解、発話練習、作文練習を行い、すでに学習してきた内容の定着をめざします。
必要に応じて中国語検定問題も扱います。適宜、中国文化の紹介をします。
課ごとに課題を出します。提出とフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 第1～4課・復習1	ガイダンス これまでの復習：発音・数字・簡単な作文練習
第2回	中国語検定案内 第5課(1)	中国語検定試験問題 第5課：動詞述語文・形容詞述語文・疑問文
第3回	第5課(2)	第5課：動詞述語文・形容詞述語文・疑問文 練習問題
第4回	第6課(1)	第6課：量詞・日時・名詞述語文・「在」の用法
第5回	第6課(2)	第6課：量詞・日時・名詞述語文・「在」の用法 練習問題
第6回	第7課(1)	第7課：助動詞「会」と「想」・助詞「了」・連動文
第7回	第7課(2)	第7課：助動詞「会」と「想」・助詞「了」・連動文 練習問題
第8回	第8課(1)	第8課：前置詞・助詞・「～なのだ」構文・数量補語
第9回	第8課(2)	第8課：前置詞・助詞・「～なのだ」構文・数量補語 練習問題
第10回	復習2	復習2：第5課から第8課までの文法のまとめ、確認練習問題
第11回	第9課(1)	第9課：助動詞・動詞の重ね型・方向補語
第12回	第9課(2)	第9課：助動詞・動詞の重ね型・方向補語 練習問題
第13回	期末試験1	期末試験（筆記）
第14回	期末試験2・まとめと解説	期末試験（音読）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】教科書の予習・復習。付属の音声教材を使っての音読練習、リスニング練習。

【テキスト（教科書）】
『すぐ読める中国語　改訂版』、胡金定・吐山明月著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。
中国語検定協会ホームページ。

【成績評価の方法と基準】
出席を基本とし、平常点（受講態度・発声音量）10％、課題内容20％、試験70％（筆記50％、音読20％）として総合評価します。中国語検定の受験者と合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングが苦手と思う方は、自主的に教科書付属の音声教材をたくさん聞いてください。

【Outline (in English)】
Basic Chinese Communication
[Course Outline] Students are offered training in listening, reading, and writing. Special emphasis will be placed on developing accurate pronunciation.
[Learning Objectives] The goal is to consolidate the foundation of Chinese communication skills.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Term-end examination: 70%(written test: 50%, oral reading: 20%), weekly assignments: 20%, in-class contribution: 10%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語コミュニケーション

渡辺　浩司

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は基礎的な中国語を学習した学生を対象としています。受講者が「読む」・「話す」・「書く」ことを練習し、中国語の基礎力を固め、着実に中国語のレベルアップを図ります。

【到達目標】
(1)正確な発音を身につけること、(2) 中国語の語順と基本的な構造をきちんと理解すること、(3)基礎的な中国語を聞いて理解できること、(4)日常的な話題について中国語で表現できること、を目標とします。
6月後半に実施される中国検定試験で、準4級以上を取得できるよう目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
少しまとまった文章に触れつつ、内容理解、発話練習、作文練習を行い、すでに学習してきた内容を定着させ、無理なく新しい内容を勉強します。受講者の理解を優先しますので、下記の授業計画通りには進まない可能性があります。小テストを実施した場合は返却・解答し、最終授業で実施する期末テストは、希望者に、後日、個別の学習ポイントを指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス、第一課、第二課	授業計画 声調・単母音・複合母音 子音(1)・第三声
第2回	第二課続き、第三課	子音(2)・“不”の変調
第3回	第四課、復習１、あいさつ用語・教室用語	鼻母音・児化音・“一”の変調ピンイン表記上の注意点・数字（年月日・曜日）・確認テスト あいさつ用語、教室用語
第4回	第五課	“是”の用法・動詞述語文・形容詞述語文・構造助詞“的”・疑問文
第5回	第五課	人称代詞・本文・練習
第6回	第六課	量詞・日時の語順・名詞述語文・前置詞“□”・“在”の用法
第7回	第六課	指示代詞・本文・練習
第8回	第七課	助動詞“会”・助詞“了”・前置詞“□”・助動詞“想”・連動文
第9回	第七課	時刻・本文・練習
第10回	第八課	前置詞“离”・前置詞“从”“到”・助詞“□”・“是～的”構文・数量補語
第11回	第八課	回数・本文・練習
第12回	第九課	助動詞“能”・助動詞“可以”・助動詞“要”・動詞の重ね型・方向補語
第13回	第九課	方向補語・本文・練習
第14回	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストについている CD を十分に活用し、通学時にも何度も聴くくらいの努力を重ねてほしい。CD を活用した予習と復習は、文の暗記、暗唱にも大きな効果がある。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『すぐよめる中国語　改訂版』胡金定・吐山明月著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験70％、平常点30％で評価します。欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。（遅刻、早退は二回で欠席一回とする、忌引による公欠は認めない）
中国語検定試験の合格者は加点します。

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ分かりやすく、全員が理解できるような授業を目指します。
毎回、出席者を複数回（なるべく多く）指名し、発音練習してもらうことも目指します。

【その他の重要事項】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して、授業外でも質問を受け付けます。

【Outline (in English)】
This is a class for students who have already learned basic Chinese pronunciation and short sentence structure.
This course focuses on pronunciation, listening, expression and composition practice in order to cultivate verbal expression and listening ability.
At the end of the course, students are expected to be able to do the followings:
- pronounce words and sentences accurately.
- acquire basic grammar and read the contents of texts.
- understand and use natural conversational expressions.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語コミュニケーション

杉本　公子

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎中国語をある程度学んだ方を対象としています。受講者がこれまで学んだ基礎的文法を用いた中国語について、聞くのも話すのも、自信をもってできるようになることを目標に学びます。
これまで学んだ中国語にさらになじむことで、中国語の世界を体感し、他者理解・自己理解の幅を広げることが目的です。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
・基本文法・語順を理解している。
・基礎的な中国語が聴きとれる。
・音読できる。
・中国語で自分のことが表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
リスニングに重点を置いた教科書を使用します。例文に触れ、音読と聞き取りをしながら文法理解の定着をはかります。対話練習もして使う練習をします。そして、それらを使った長文が聞き取れるよう、穴埋めや書き取りなどをします。
課ごとに課題を出します。提出とフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方について
	発音	発音の復習
	第1課	人名、出身地
第2回	第1課	人物紹介
	第2課	親族呼称
		年齢
第3回	第2課	家族の紹介
第4回	第3課	曜日、予定
第5回	第4課	時刻、動作の持続時間
第6回	第5課	年月日、誕生日
第7回	第6課	場所、所在地
第8回	第7課	交通手段、行き方
第9回	第7課	所要時間
	第8課	値段、色
第10回	第8課	買い物
第11回	第9課	飲食、食事の注文
第12回	第9課	食事の注文
	第10課	勉強、趣味
第13回	第10課	勉強、趣味
		出来具合
第14回	復習	期末試験・復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
意味や構造が不明な文がないかを確認しましょう。
原稿を見ながら音声を繰り返し聴きましょう。

【テキスト（教科書）】
『聴力UP！ 中国語リスニングトレーニング』、胡金定・陳敏・吐山明月著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
『ケンタ君の中国語』、保坂律子・郭雲輝著、朝日出版社、2011年。
『すぐ読める中国語　改訂版』、胡金定・吐山明月著、朝日出版社、2016年。
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。
中国語検定協会ホームページ、検定試験問題。

【成績評価の方法と基準】
出席を基本とし、平常点（音読、取り組み）40％、筆記試験60％で総合評価します。
各種中国語検定試験の受験者と合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度アンケート実施の対象外。

【Outline (in English)】
Intermediate Chinese Communication
[Course Outline] This Chinese course aims at improving student's listening and speaking skills.
[Learning Objectives] The goal is to consolidate the foundation of Chinese communication skills and to enjoy cultural aspects of the Chinese-speaking world.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Examinations: 60%, in-class contribution: 40%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

基礎中国語コミュニケーション

平井　新

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象としています。受講者が中国語の基礎的な読み、書き、聞き、話す力を習得できることを目指します。語学学習に加えて、中国文化の紹介なども適宜とり入れていきます。
なお、本授業は月曜日開講の「基礎中国語Ⅰ」の授業と相互補完しており、一冊の教科書を共通して使用します。また、後期開講の「基礎中国語Ⅱ」と同じ教科書を使います。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
(1)正確な発音を身につける。
(2)発音表記が正確に読める。
(3)基礎的な文法を理解する。
(4)初歩的な会話ができる。
(5)基礎的な作文ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」、生命科学部「DP1」。

【授業の進め方と方法】
本授業は教科書の前半部分（発音篇、本篇：第1課～第6課）を学びます。ピンインの読み書き、基礎語彙の発音、簡体字（中国語の漢字）の読み書き、文法の学習を行いながら、基礎的な日常会話を学びます。また、中国文化にも親しみます。
毎週課題を課します。提出は「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは授業内に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方について
	発音(1)：単母音	発音(1)：発音表記・単母音 発音練習とあいさつ言葉。練習③④⑤。
第2回	発音(2)：複母音	発音(2)：複母音 発音練習とあいさつ言葉。練習③④⑤。
第3回	発音(3)：子音	発音(3)：子音 発音練習とあいさつ言葉。練習③④⑤。
第4回	発音(4)：鼻音	発音(4)：鼻音 発音練習とあいさつ言葉。練習③④⑤。
第5回	発音(5)：声調の組み合わせ	発音(5)：声調の組み合わせ 発音練習とあいさつ言葉。練習③④⑤⑥。
第6回	表現と語彙(1) 第1課	第1課：動詞述語文 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第7回	表現と語彙(2) 第2課	第2課：疑問詞疑問文 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第8回	表現と語彙(3) 第3課	第3課：所有 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第9回	表現と語彙(4) 第4課	第4課：形容詞述語文 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第10回	表現と語彙(5) 第5課	第5課：存在 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第11回	表現と語彙(6) 第6課	第6課：名詞述語文 新出単語・文法ポイント・本文の説明と発音練習。ドリル③④⑥。
第12回	復習	復習（第1～6課）
第13回	期末試験1	期末試験（筆記）
第14回	期末試験2・まとめと復習	期末試験（音読） 第1課～第6課の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】
中国語によるコミュニケーション能力を養うには、できるだけ多く練習することが大切です。教科書付録のCDも活用して、授業で学んだ教科書各課の新出単語や本文などの聞き取りや発音の反復練習をしてみましょう。
漢字に頼らず、耳を慣らしてください。

【テキスト（教科書）】
『ケンタくんの中国語』、保坂律子・郭雲輝、朝日出版社、2011年。

【参考書】
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』同学社、2016年。

【成績評価の方法と基準】
平常点（受講態度・発声音量）10％、課題内容30％、期末試験60％（筆記40％、音読20％）として総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】
漢字は、見て理解できても、いざ書こうとするとわからなくなるもの。書いて覚えましょう。

【学生が準備すべき機器他】
情報機器。

【Outline (in English)】
Chinese Communication
[Course Outline] A Mandarin Chinese course for students with no background in Chinese. Students will be offered training in applying their newly gained Chinese skills in listening, speaking, reading and writing. Special emphasis will be placed on developing accurate pronunciation. Students are also recommended to enroll in Basic Chinese 1 held during the spring semester.
[Learning Objectives] The goal is to develop the basics of four language skills: listening, speaking, reading, and writing.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Term-end examination: 60%(written test: 40%, oral reading: 20%), weekly assignments: 30%, in-class contribution: 10%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語コミュニケーション

景　旻

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は基礎中国語と中国語中級（前期）を学習した学生を対象としています。日記風の文章の講読を行います。受講者が文章を読み、書くために必要な基本表現を身につけ、読解力と表現力の強化をします。

【到達目標】
中国語の理解力、表現力を身につけることを目指します。
11月後半に実施される中国語検定（4級）の合格を到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
さまざまな出来事を記述する文章を題材に、音読、リスニング、作文と翻訳の訓練を通して、基本的表現を習得します。また、過去問題などを使い、中国語検定（4級）対策も行います。
毎週皆さんから提出してもらった課題（練習問題）のうち、よく間違っていた箇所などは次週解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	発音の復習と日常用語	教科書発音編
第2回	第８課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第3回	文法の復習	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第4回	第９課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第5回	第１０課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第6回	第１１課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第7回	第１２課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第8回	第１３課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第9回	第１４課	文型と表現の復習、リスニング、作文、本文の講読と日本語訳
第10回	文法の復習と確認	文型と表現の復習、リスニング、作文、
第11回	中国語検定試験対策	過去問を解く
第12回	中国語検定試験対策	過去問を解く
第13回	後期試験	試験時間60分
第14回	試験公評	答え合わせと問題発見

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】語学学習は、日常的に当該言語に触れることが大切です。中国語圏の好きな映画や音楽などを見つけて、日頃から親しんで欲しいと思います。

【テキスト（教科書）】
『すぐ読める中国語』胡金定ほか著、朝日出版社、2013年。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介。

【成績評価の方法と基準】
出席状況を評価の前提条件とします。平常点30%（出席・受講態度・発声音量）、期末試験70%を総合して評価します。なお資格取得者には追加点を与えます。
初回授業のガイダンスで平常点（特に出席）を計算する方法を紹介しますので、初回授業を欠席となる方は、必ず後で確認してください。

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は日々の積み重ねが大切です。
期待できる教育効果を得るには、学生が欠かさず授業に出席し、積極的に授業参加すること、授業中、教員が学習要点を提示し、発音指導と練習を繰り返すこと、どちらも必要です。
こまめに輪読や復習することが有効だと思われるので、本授業でも行う予定です。

【Outline (in English)】
This course is designed for students who have completed both basic and intermediate Chinese courses in previous semesters. The course is expected to develop students' proficiency in reading comprehension, listening and writing.
Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
Evaluation will be based on a comprehensive assessment: 30%from regular performance (attendance, class participation, etc.) and 70%from the final exam.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語コミュニケーション

杉本　公子

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎中国語を学習した学生を主な対象としています。少しまとまった文章に触れながら、語彙を増やしつつ基礎文法の再確認をし、中国語を正確に理解し、表現する力を養います。また、中国語検定試験にも対応します。
漢字を使う別の言語を知ることで、他者理解・自己理解の幅を広げることが目的です。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
(1)学んだ基礎事項が応用できる。
(2)少しまとまった中国語が読める。聞ける。
(3)会話、作文で、大胆にとりくみ、自信をもって表現できる。
(4)新しい文法事項が理解できる。
(5)希望者は、中国語検定試験（準4級以上）に合格する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
音読、作文、リスニング練習を行い、すでに学習してきた内容の定着をめざします。
必要に応じて中国語検定対策も行います。適宜、中国文化の紹介をします。
課ごとに課題を出します。提出とフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	中国語検定案内	中国語検定問題
第2回	第10課(1)	助詞「了」・兼語文・疑問詞の用法
第3回	第10課(2)	助詞「了」・兼語文・疑問詞の用法 練習問題
第4回	第11課(1)	接続詞・二重目的語・語気助詞
第5回	第11課(2)	接続詞・二重目的語・語気助詞 練習問題
第6回	第12課(1)	「～なので」・結果補語・「～を」
第7回	第12課(2)	「～なので」・結果補語・「～を」 練習問題
第8回	第13課(1)	比較・受け身・可能性
第9回	第13課(2)	比較・受け身・可能性 練習問題
第10回	第14課(1)	「もうすぐ～」・「少しも～」・可能補語
第11回	第14課(2)	「もうすぐ～」・「少しも～」・可能補語 練習問題
第12回	復習3	復習3：第9課から第14課までの文法のまとめ 確認練習問題
第13回	期末試験1	期末試験（筆記）
第14回	期末試験2・まとめと解説	期末試験（音読）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1時間を標準とする】教科書の予習・復習。付属の音声教材を使っての音読練習、リスニング練習。

【テキスト（教科書）】
『すぐ読める中国語　改訂版』、胡金定・吐山明月著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。
中国語検定協会ホームページ。

【成績評価の方法と基準】
出席を基本とします。平常点（受講態度・発声音量）10％、課題内容20％、試験70％（筆記50％、音読20％）として総合評価します。中国語検定の受験者と合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
本文を書いてみると発見があります。実際に書いてみましょう。

【Outline (in English)】
Intermediate Chinese Communication
[Course Outline] Students are offered training in listening, reading, and writing, and will be introduced to more complex grammatical structures.
[Learning Objectives] The goals are to improve students' comprehensive Chinese language skills and lay a solid foundation for further Chinese language study.
[Learning Activities Outside of Classroom] Assignments, which would be about an hour work, are given every week.
[Grading Criteria] Term-end examination: 70%(written test: 50%, oral reading: 20%), weekly assignments: 20%, in-class contribution: 10%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語コミュニケーション

渡辺　浩司

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は基礎中国語コミュニケーション（前期）を学習した学生を対象とします。文章を読む・書くために必要な基本表現を身につけ、読解力と表現力の強化を図ります。

【到達目標】
受講者が中国語の文章表現を口（声に出して読める）、音（耳から聴きとれる）、手（漢字と単語を書ける）ようにマスターすることを目指します。
3月に実施される中国語検定（4級）の合格を目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
ディプロマポリシーのうち、以下に関連している。理工学部：「DP3」と「DP4」。

【授業の進め方と方法】
教材の文章を題材に、音読、リスニング、作文と翻訳の訓練を通して、基本的表現を習得します。また、必要に応じて中国語検定（4級）対策も行います。受講者の理解を優先しますので、下記の授業計画通りには進まない可能性があります。
小テストを実施した場合は返却・解答し、最終授業で実施する期末テストは、希望者に、後日、個別の学習ポイントを指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし /No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスと復習２	授業計画 文法のまとめ・確認テスト
第2回	第10課	動態助詞“了”・構造助詞“得”・兼語文・“☒”の用法・疑問詞の用法
第3回	第10課	疑問詞・離合動詞・本文・練習
第4回	第11課	接続詞“要是”・動態助詞“了”・二重目的語・助詞“着”・語気助詞“吧”
第5回	第11課	方位詞・乗り物・本文・練習
第6回	第12課	“因☒～，所以…”・構造助詞“地”・結果補語・“把”構文・助詞“着”
第7回	第12課	結果補語・本文・練習
第8回	第13課	前置詞“比”・“A没有B～”・“被”構文・“一～，就…”・助動詞“会”
第9回	第13課	病気・天候・本文・練習
第10回	第14課	“快要～了”・“一点儿都(/也)”＋否定文・二つの“了”の併用・お金の言い方・可能補語
第11回	第14課	可能補語・通貨・本文・練習
第12回	復習３	文法のまとめ・確認テスト
第13回	第10課からの応用練習	第10課～第14課の文法や単語を利用した作文
第14回	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・学習時間は、各2時間を標準とします。教科書付録のCDを活用して，授業で学んだ教科書各課の新出単語や会話文、短文などの音読の反復練習をしてみましょう。NHKで放送される「テレビで中国語」や中国語のドラマ・映画を見てみましょう。中国語語学関連の携帯アプリも使ってみましょう。

【テキスト（教科書）】
『すぐよめる中国語　改訂版』胡金定・吐山明月著、朝日出版社、2016年。

【参考書】
必要に応じて授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験70％、平常点30％で評価します。欠席回数が授業回数の三分の一を超えた場合は評価しない。（遅刻、早退は二回で欠席一回とする、忌引による公欠は認めない）
中国語検定試験の受験者および合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ分かりやすく、全員が理解できるような授業を目指します。
毎回、出席者を複数回（なるべく多く）指名し、発音練習してもらうことも目指します。

【その他の重要事項】
「学習支援システム（HOPPII）」を利用して、授業外でも質問を受け付けます。

【Outline (in English)】
This is a class for students who have already learned "Basic Chinese Communication".
This course will focus on Chinese pronunciation, how to read pronunciation notation, reading and writing kanji(simplified letters),and provide practice applying basic vocabulary, grammar and conversation patterns.
At the end of the course, students are expected to be able to do the followings:
- pronounce words and sentences accurately.
- acquire basic grammar and read the contents of texts.
- understand and use natural conversational expressions.
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.
Your overall grade in the class will be decided based on the following
Term-end examination: 70%、in class contribution: 30%.

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語リーディング

呉　暁林

開講時期：**春学期授業**/Spring

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、中級レベルの中国語を習得した学生を対象とします。まとまった文章を読む力が無理なく着実に身につくことを目指します。本文の音読、重要な文法事項と表現をまとめたポイントの理解、練習問題の取り組みを通して学びます。

【到達目標】
受講者が以下の学力を習得できることを到達目標とします。
・長文の構造を理解し、意味がつかめる。
・声に出して読める。
・簡体字の文がある程度難なく読める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
・初級文法を復習して無理なくレベルアップしていきます
・本文の音読をしてピンインの力を固めていきます。
・本文の文の構造をしっかり理解し、意味をとります。
・日本語に訳して日本語と中国語の変換、多様な表現を理解していきます。
・三課ごとに異なる形式の練習問題に取り組み、学習内容をを確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方について 初級中国語文法の復習
第2回	第１課大学生の週末	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第3回	第２課飲食習慣	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第4回	第３課　北京の交通	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第5回	第４課　好まれる数字	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第6回	第５課　大学生のアルバイト	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第7回	第６課　集団生活	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第8回	第７課　値段の交渉	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第9回	第８課　プレゼントと風習	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第10回	第９課　中国的結婚式	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第11回	第10課　とも働きの家庭	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第12回	第11課　中国人の呼称	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第13回	第12課　理想的な職業	音読 読解のポイント 練習問題 読解と翻訳
第14回	期末試験	文章の読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、各4時間を標準とする】
教科書についているCDを聞けるようにスマホやクラウトに変換しておく。
必ず声に出して音読するようにしましょう。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情改訂版』白水社2022年第9刷。

【参考書】
中国語検定協会ホームページ、HSKホームページ
『ケンタ君の中国語』、保坂律子・郭雲輝著、朝日出版社、2011年。
『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』、相原茂・石田知子・戸沢市子著、同学社、2016年。

【成績評価の方法と基準】
平常点（音読、取り組み）40％、期末試験60％として総合評価します。
中国語スピーチコンテストや作文コンテストの参加や各種中国語検定の受験者と合格者はそれぞれ加点します。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度アンケート実施の対象外。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（スマホ利用も可）。情報機器。

【Outline (in English)】
[Course Outline]
This Chinese course aims to improve students' reading and expressive skills.
[Learning Objectives]
The goal is to strengthen the foundation of Chinese reading comprehension and to enhance the understanding of Chinese social life. This course is designed for students who have acquired an intermediate level of Chinese. The goal is for students to steadily and naturally develop their ability to read coherent texts. Learning will be conducted through reading aloud of the text, understanding key grammatical points and expressions, and working on practice exercises.
[Learning Activities Outside of Classroom]
Assignments, which require approximately four hours of work per week, will be given.
[Grading Criteria]
Examinations: 60%
In-class contribution: 40%

LANc100LC（中国語 / Chinese language education 100）

中級中国語ライティング

呉　暁林

開講時期：**秋学期授業**/Fall

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が自ら表現し、発信する立場から中国語を捉え直し、今まで習ってきたさまざまな文型・語彙、表現を日常生活のいろんな場面を想定してアクティブに使う訓練を行います。

【到達目標】
学習者が教科書の内容を学び、アプリとソフトを活用して確実に中国語で自分の身近な話題を発信できることを到達目標とします。実践的に中国語スピーチコンテストや中国語作文コンクールなどにい積極的に参加することで実績を残していくことを勧めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
本授業ではスマホ、ノートPCなどを使う書き読みの練習を行います。手本となる文章をベースに模倣・書き換え練習を通して、中国語の文章力を着実に習得します。また、中国人のコミュニケーションツールやLINEなどを使用し、翻訳ソフトも活用していきます。
提出された課題のうちいくつかを次回の授業で取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし /No

【授業計画】授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション：中国語で作文しましょう！	授業計画と学習方法の紹介、アプリとソフトの案内。
第2回	自己紹介	作文の形式と標点符号の使い方、主語の省略、人称代名詞と指示代名詞。
第3回	我的好朋友	人物の描写、接続詞
第4回	做海☒	ポスターの書き方 書き言葉と話し言葉
第5回	我的拿手菜	プロセスを説明する文種の書き方 順番を表す表現 「把」構文
第6回	充☒快☒的一天	記述文を書くときの注意点 動作の順番、動作を行う時間 引用するときの書き方
第7回	我的☒好	文章の書き出し 使役表現
第8回	打工	出来事の書き方 文章の最後の書き方
第9回	☒☒旅行	旅行記を書く時の注意点 五感に訴える表現 理由の書き方
第10回	我☒的大学	四字熟語 修飾語と補語
第11回	我的故☒	場所の紹介文を書く時の注意点 比喩表現 自分の考え方や気持ちを表すときの書き方
第12回	我喜☒的一本☒	作品を紹介する文章の書き方 作品を紹介するときの表現 薦めるときの書き方
第13回	期末発表	学生が書いた作文を口頭で発表する。ライティングとスピーキングの総合訓練。
第14回	まとめと解説	期末レポート（小作文）のフィードバック、及び文法と誤用例の総復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、2時間を標準とする】学生は基本的な中国語簡体字の読み書きを身につけ、教科書についているCDを授業前と後に聞いてみてください。中国語を使ってインターネットを利用してみてください。パソコン、スマホの中国語入力法を覚えてみてください。

【テキスト（教科書）】
楊彩虹・趙晴・陳敏著『文章力アップ　伝わる中国語作文』朝日出版2021年

【参考書】
及川淳子著『2年めの伝える中国語ー自分のこと日本のこと』白水社2019年
郭春貴著『誤用から学ぶ中国語』
相原茂著『作文ルール66日中翻訳技法』

【成績評価の方法と基準】
受講状況と作文宿題などの平常点は50%、学習発表30%、期末レポートは20%とします。
中国語スピーチコンテストや中国語作文コンクールなどに参加した学生には追加点を与えます。

【学生の意見等からの気づき】
積極的にアプリやソフトを使って習いましょう。実験、課題など取り組まなければならないことが多い中で、効率的な学習を如何に工夫するのか、一緒に考えていきたいです。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコンやスマートフォンを授業に持参してください。

【Outline (in English)】
The course aims to help students develop their language skills. Students actively practice writing in a variety of imaginary daily scenarios using the sentence patterns and vocabulary they have learned.Before /after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Assignments are graded based on reading and writing materials (50%), presentations (30%), and short reports (20%).

法政大学
HOSEI University